別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画			備考
事項	記入欄		
計画の区分	学部の設置		
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　チバガクエン 学校法人　千葉学園		
フリガナ 大学の名称	チバショウカダイガク 千葉商科大学		
大学本部の位置	千葉県市川市国府台一丁目３番１号		
大学の目的	本学は広く商業、経済、政策等に関する諸科学の総合的研究及び学理の応用のため専門の学芸を教授するとともに、これらの成果を広く社会に提供し社会の発展に寄与することを目的とし、高き人格識見と教養とを備え、特に経済界を始め、地域社会の発展に資する人材を育成し、もって社会の進運に貢献することを使命とする。		
新設学部等の目的	【総合政策学部】 総合政策学部では、本学の建学の精神に基づき、実学教育を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家（※）」を育成することを教育理念とし、社会の多様な課題について具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。 本学として育成を目指す3つの力「高い倫理観」・「幅広い教養」・「専門的な知識・技能」について、経済学を中心に体系的に学ぶことのできる【経済学科】と、法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係の諸分野を横断的に学ぶことのできる【政策情報学科】との間で相互に連携を図りながら、社会的課題の解決に資する能力を身につけさせる。 【経済学科】 経済・社会における様々な問題や個別課題の解決に対して、幅広い視点に立ちながら判断、行動できる人物及びそのための創造的な活動に貢献できる人物を育成することを主とし、知識、技術、思考力、実践力を身につけた学生を養成する。 経済学を中心とした社会科学を学ぶカリキュラムを設置することにより、経済・社会を分析するにあたり必要となる「理論・実証」といった両面の学問体系を修得させる。また、ゼミナール科目群による演習等を通じて、経済・社会における問題・課題を発見し、これを解決に導くことができる専門的知識とスキルを身につけさせる。 【政策情報学科】 実社会の現場において、様々な問題や個別課題の解決に対して、幅広い視点に立ちながら判断、行動できる人物及びそのための創造的な活動に貢献できる人物を育成することを主とし、知識・技術・思考力・実践力を身につけた学生を養成する。 法学・政治学・経済学・社会学及び周辺領域を横断的に学ぶカリキュラムを設置することにより、普遍的な学問体系を修得させる。また、公共政策・まちづくり・文化・コミュニケーション等に関する体系的な科目群を提供することで、地域や社会へ貢献するための専門的知識を深め、実践スキルを身につけさせる。 ※「治道家」とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。		

新設学部等の概要

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	備考
	年	人	年次 人	人			年　月 第　年次		
総合政策学部 （Faculty of Policy Planning and Management）									
経済学科 （Department of Economics）	4	150	－	600	学士 （経済学） （Bachelor of Economics）	経済学関係	令和７（2025）年 ４月 第１年次	千葉県市川市国府台一丁目３番１号	
政策情報学科 （Department of Policy Informatics）	4	150	－	600	学士 （政策情報学） （Bachelor of Policy Informatics）	法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係	令和７（2025）年 ４月 第１年次	同上	
計		300	－	1,200					

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	備考
◆令和７（2025）年４月　入学定員の変更 商経学部：商学科[定員増]（20） 経営学科[定員増]（20） サービス創造学部：サービス創造学科[定員増]（30） 人間社会学部：人間社会学科[定員増]（30） ◆令和７（2025）年４月　学生募集停止 商経学部：経済学科（△200） 政策情報学部：政策情報学科（△125） 国際教養学部：国際教養学科（△75）	

教育課程

新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	備考
	講義	演習	実験・実習	計		
総合政策学部　経済学科	147科目	55科目	0科目	202科目	124単位	
総合政策学部　政策情報学科	173科目	59科目	0科目	232科目	124単位	

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新		人	人	人	人	人	人	人	
	総合政策学部　経済学科	6 (6)	9 (8)	0 (0)	0 (0)	15 (14)	0 (0)	11 (0)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (4)	9 (8)	0 (0)	0 (0)	14 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	5 (4)	9 (8)	0 (0)	0 (0)	14 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)			
	計（ａ～ｄ）	6 (6)	9 (8)	0 (0)	0 (0)	15 (14)			
設	総合政策学部　政策情報学科	5 (5)	4 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (12)	0 (0)	28 (3)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (4)	4 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	5 (4)	4 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)			
	計（ａ～ｄ）	5 (5)	4 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (12)			
分	計	11 (11)	13 (13)	2 (2)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	39 (3)	
既	基盤教育機構	15 (13)	9 (7)	2 (1)	2 (6)	28 (27)	0 (0)	97 (99)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	15 (13)	9 (7)	2 (1)	2 (6)	28 (27)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	15 (13)	9 (7)	2 (1)	2 (6)	28 (27)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	15 (13)	9 (7)	2 (1)	2 (6)	28 (27)			
	商経学部　商学科	18 (19)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	31 (32)	0 (0)	19 (4)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	18 (19)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	31 (32)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　15人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	18 (19)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	31 (32)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	18 (19)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	31 (32)			

設	商経学部　経営学科	4 (5)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	13 (14)	0 (0)	12 (6)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (5)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	13 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	4 (5)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	13 (14)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	4 (5)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	13 (14)			
	サービス創造学部　サービス創造学科	8 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (12)	0 (0)	12 (2)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　12人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	8 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（ａ～ｄ）	8 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (12)			
	人間社会学部　人間社会学科	11 (11)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	8 (1)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	11 (11)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	20 (20)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　12人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	11 (11)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	20 (20)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	11 (11)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	20 (20)			
分	計	56 (57)	36 (34)	9 (8)	2 (6)	103 (105)	0 (0)	148 (112)	
合　計		67 (68)	49 (47)	11 (10)	2 (6)	129 (131)	0 (0)	187 (115)	

職　種	専　属	その他	計	
事務職員	114人 (114人)	72人 (72人)	186人 (186人)	
技術職員	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
図書館職員	1人 (1人)	－ (－)	1人 (1人)	
その他の職員	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
指導補助者	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
計	115人 (115人)	72人 (72人)	187人 (187人)	

校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	103,524.56㎡	0㎡	0㎡	103,524.56㎡	
	その他	55,336.42㎡	0㎡	0㎡	55,336.42㎡	
	合計	158,860.98㎡	0㎡	0㎡	158,860.98㎡	

校舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	66,816.13㎡ (　66,816.13㎡)	0㎡ (　0㎡)	0㎡ (　0㎡)	66,816.13㎡ (　66,816.13㎡)	

教室・教員研究室	教　室	教員研究室	大学全体
	127室	180室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
	総合政策学部	645,966〔234,606〕 (626,288〔230,332〕)	1,321〔424〕 (968〔420〕)	27,755〔25,727〕 (27,755〔25,727〕)	25,065〔25,006〕 (25,065〔25,006〕)	( )	( )	学部単位での特定不能なため、全体の数とする。
	計	645,966〔234,606〕 (626,288〔230,332〕)	1,321〔424〕 (968〔420〕)	27,755〔25,727〕 (27,755〔25,727〕)	25,065〔25,006〕 (25,065〔25,006〕)	( )	( )	

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	
	4,265.55㎡	0㎡	13,629.19㎡	大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
経費の見積り	教員１人当り研究費等		390千円	390千円	390千円	390千円			
	共同研究費等		31,734千円	31,734千円	31,734千円	31,734千円			
	図書購入費	88,232千円	88,232千円	88,232千円	88,232千円	88,232千円			図書購入費には、図書・雑誌・電子ジャーナル・電子書籍・データベース・CD-ROM等の購入に係る費用を含む。
	設備購入費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
	学生１人当り納付金		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
			1,260千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	― 千円	― 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入、雑収入　等						

既設大学等の状況	大学等の名称	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
			年	人	年次 人	人		倍			
	千葉商科大学	◆千葉商科大学 【商経学部】									
		・商学科	4	430	－	1,720	学士（商学）	1.10	昭和25（1950）年度		
		・経済学科	4	200	－	800	学士（経済学）	1.11	昭和30（1955）年度		【商経学部経済学科】 令和７（2025）年度より学生募集停止
		・経営学科	4	180	－	720	学士（経営学）	1.12	昭和39（1964）年度		
		計		810		3,240		1.11			
		【政策情報学部】									【政策情報学部政策情報学科】
		・政策情報学科	4	125	－	500	学士（政策情報学）	1.17	平成12（2000）年度		令和７（2025）年度より学生募集停止
		【サービス創造学部】									
		・サービス創造学科	4	200	－	800	学士（経営学）	1.09	平成21（2009）年度		
		【人間社会学部】									
		・人間社会学科	4	200	－	800	学士（人間社会学）	1.07	平成26（2014）年度		
		【国際教養学部】									【国際教養学部国際教養学科】
		・国際教養学科	4	75	－	300	学士（国際教養学）	0.52	平成27（2015）年度		令和７（2025）年度より学生募集停止
		◆千葉商科大学大学院								千葉県市川市国府台一丁目３番１号	
		・商学研究科（商学コース・経済学コース・政策情報学コース・中小企業経営管理コース）	2	51	－	102	修士（商学）又は修士（経済学）又は修士（政策情報学）又は修士（経営管理）	0.72	昭和52（1977）年度		【商学研究科】 令和６（2024）年度収容定員変更に係る学則変更［入学定員増（21人）］
		・政策研究科	3	6	－	18	博士（政策研究）	0.61	平成12（2000）年度		【政策研究科】 令和６（2024）年度収容定員変更に係る学則変更［入学定員減（14人）］
		・会計ファイナンス研究科	2	70	－	140	会計学修士（専門職） 税務ファイナンス修士（専門職）	1.27	平成17（2005）年度		※収容定員充足率は、令和６（2024）年４月１日現在

附属施設の概要	該当なし

（注）
1　共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
3「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
4　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
6　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
7　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ	1前	○	2				○			1				41	
		実学入門I	1前	○	2				○							7	メディア
		実学入門II	1後	○	2				○			1				41	
		小計（3科目）	－	－	6	0	0	－			0	1	0	0	0	41	－
	人文科学	歴史学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		倫理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		文学研究入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		哲学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		人文地理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会史入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		芸術理論研究入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		経済思想史入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		応用心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会ネットワーク論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		表象文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		比較文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		演劇・身体表現論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（14科目）	－	－	0	28	0	－			0	0	0	0	0	11	－
	社会科学	教育学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		経済学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		現代思想入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		国際政治学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会思想史入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		政治学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		途上国貧困研究入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		法学入門（公法）	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		法学入門（私法）	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		民俗学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ジャーナリズム論	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		経済成長と社会問題	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（14科目）	－	－	0	28	0	－			1	0	0	0	0	11	－
	自然科学	認知心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		生物学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		情報化社会のための数学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		自然地理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		宇宙科学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		データサイエンス入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		データ活用の統計学	1・2・3・4前			2		○								1	
		物理学と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		化学と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		テクノロジー論	1・2・3・4前			2		○								4	オムニバス、集中
		小計（11科目）	－	－	0	22	0	－			0	0	0	0	0	11	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	倫理・SDGs	SDGs論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		エネルギー論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		サステナブルな地域づくり実践	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス倫理	1・2・3・4後			2		○								1	
		環境倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		情報倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		生命倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		多文化共生社会論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地域に役立つ再生可能エネルギービジネス	1・2・3・4前			2		○								1	
		地域共創デザイン論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地球環境論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		文化創造論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（12科目）	－	－	0	24	0	－			0	0	0	0	0	11	－
	自然言語	英語とその世界	1前・後	○		2			○							24	
		中国語とその世界	1前・後	○		2			○							6	
		日本語とその世界	1前			2			○							1	留学生のみ必修
		英語コミュニケーション基礎A	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		英語コミュニケーション基礎B	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		韓国語コミュニケーション入門	1・2・3・4前・後			2			○							1	
		韓国語コミュニケーション基礎	1・2・3・4前・後			2			○							1	
		中国語コミュニケーション入門	1・2・3・4前			2			○							2	
		中国語コミュニケーション基礎	1・2・3・4後			2			○							2	
		異文化コミュニケーション（英語）	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		異文化コミュニケーション（韓国語）	1・2・3・4前・後			2			○							1	
		異文化コミュニケーション(中国語)	1・2・3・4後			2			○							1	
		国際語としての英語	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		国際語としての中国語	1・2・3・4前			2		○								1	
		小計（14科目）	－	－	0	28	0	－			0	0	0	0	0	34	－
	情報言語	情報入門	1前	○	2				○							14	
		プログラミング入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		情報科学概論	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		情報処理	1・2・3・4前・後			2			○							5	
		情報実践	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		小計（5科目）	－	－	2	8	0	－			0	0	0	0	0	16	－
	会計言語	会計リテラシー	1前・後	○	2			○								4	
		経理実務入門I	1・2・3・4前			2		○								1	
		経理実務入門II	1・2・3・4後			2		○								1	
		税務実務入門I	1・2・3・4前			2		○								1	
		税務実務入門II	1・2・3・4後			2		○								1	
		簿記特講	1・2・3・4後			2			○							2	
		小計（6科目）	－	－	2	10	0	－			0	0	0	0	0	8	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	キャリア・健康管理	生活と金融リテラシーI	1後	○	2			○								3	
		生活と金融リテラシーII	1・2・3・4前			2		○								1	
		生活と金融リテラシーIII	1・2・3・4後			2		○								1	
		キャリア入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		インターンシップ概論	2・3・4前			2		○								1	
		就業力実践	3・4前・後			2		○								2	
		コーチング論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		健康・スポーツ演習	1・2・3・4前・後			2			○							7	
		健康科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（9科目）	－	－	2	16	0	－			0	0	0	0	0	13	－
アドバンスト科目群	グローバル	Extensive Reading & Listening	2・3・4前			2			○							1	
		Grammar in Use	1・2・3・4後			2			○							1	
		Global Communication	2・3・4前			2			○							1	
		Digital Communication	2・3・4後			2			○							1	
		Language & Culture	2・3・4後			2			○							1	
		Global Studies	1・2・3・4後			2			○							1	
		Academic English	2・3・4前			2			○							1	
		多文化ワークショップ	1・2・3・4後			2			○							1	
		地域研究A	2・3・4前			2		○								1	
		地域研究B	2・3・4後			2		○								1	
		多文化フィールドワークA	2・3・4前			2			○							1	
		多文化フィールドワークB	2・3・4後			2			○							1	
		ビジネス中国語	2・3・4後			2			○							1	
		実用中国語	2・3・4前			2			○							1	
		海外短期文化研修I	1・2・3・4前			2			○							1	集中
		海外短期文化研修II	1・2・3・4前			2			○							1	集中
		海外長期文化研修I	1・2・3・4前			2			○							1	集中
		小計（17科目）	－	－	0	34	0	－			0	0	0	0	0	9	－
	情報・データサイエンス	AI概論	2・3・4前			2		○								1	
		社会科学のための情報学特論	1・2・3・4後			2		○				1				11	オムニバス
		データサイエンス実践	2・3・4後			2			○							1	
		データサイエンスのための数学	1・2・3・4後			2		○								1	
		データサイエンスのためのプログラミングI	1・2・3・4後			2			○							1	
		データサイエンスのためのプログラミングII	2・3・4前			2			○							1	
		データ活用の統計学実践	2・3・4後			2		○				1					
		データサイエンスプロジェクトI	3・4前			2			○							1	
		データサイエンスプロジェクトII	3・4後			2			○							1	
		統計システム開発実習I	3・4前			2			○							1	
		統計システム開発実習II	3・4後			2			○							1	
		小計（11科目）	－	－	0	22	0	－			0	1	0	0	0	13	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
アドバンスト科目群	キャリア	CSR経営論	2・3・4前			2		○								1	
		イノベーション実践A	2・3・4前			2			○							1	
		イノベーション実践B	2・3・4後			2			○							1	
		キャリア形成論	2・3・4後			2		○								1	
		仕事の意思決定	2・3・4後			2		○								1	
		ディーセント・ワーク論	2・3・4前			2		○								1	
		ライフヒストリー研究	2・3・4前			2		○								1	
		業界・企業研究A（IT、金融ビジネス）	2・3・4前			2		○								1	
		業界・企業研究B（ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ領域、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ領域）	2・3・4前			2		○								1	
		社会実践論	2・3・4後			2		○								1	
		小計（10科目）	－	－	0	20	0	－			0	0	0	0	0	6	－
	総合教養	総合教養A	2・3・4前			2		○			1						
		総合教養B	2・3・4前			2		○				1					
		総合教養C	2・3・4前			2		○				1					
		総合教養D	2・3・4後			2		○			1						
		総合教養E	2・3・4後			2		○				1					
		総合教養F	2・3・4後			2		○				1					
		小計（6科目）	－	－	0	12	0	－			1	2	0	0	0	0	－
専門科目群	学部入門科目	経済入門	1前	○	2			○			1						
		データ分析入門	1後	○	2			○			1	1					
		ミクロ経済学I	1前	○	2			○			1	1					
		マクロ経済学I	1後	○	2			○				2					
		小計（4科目）	－	－	8	0	0	－			2	4	0	0	0	0	－
	経済理論・経済政策領域	ミクロ経済学II	2・3・4前・後	○		2		○			1	1					経政、経デ、ビ経
		マクロ経済学II	2・3・4前・後	○		2		○				2					経政、経デ、ビ経
		ミクロ経済学III	2・3・4後			2		○			1						
		マクロ経済学III	2・3・4前			2		○				1					
		経済数学	1・2・3・4後			2		○				1					
		ゲーム理論	2・3・4前	○		2		○			1						
		行動経済学	2・3・4前	○		2		○			1						経デ、ビ経
		経済シミュレーション	2・3・4後	○		2			○		1						
		経済政策論I	2・3・4前	○		2		○			1						経政
		経済政策論II	2・3・4後	○		2		○				1					経政
		財政学I	2・3・4前	○		2		○			1						経政
		財政学II	2・3・4後	○		2		○			1						経政
		地方財政論	2・3・4前	○		2		○			1						経政
		公共経済学I	2・3・4前	○		2		○			1						経政、経デ
		公共経済学II	2・3・4後	○		2		○			1						経政、経デ
		公共選択論	2・3・4後			2		○			1						
		環境経済学	2・3・4前	○		2		○								1	経政
		小計（17科目）	－	－	0	34	0	－			3	5	0	0	0	1	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	産業組織論I	2・3・4前	○		2		○				1					ビ経
		産業組織論II	2・3・4後	○		2		○				1					ビ経
		産業政策論I	2・3・4前	○		2		○				1					ビ経
		産業政策論II	2・3・4後	○		2		○				1					ビ経
		企業経済学	2・3・4後	○		2		○			1						ビ経
		労働経済学I	2・3・4前	○		2		○				1					経政
		労働経済学II	2・3・4後	○		2		○				1					経政
		医療経済学	2・3・4前	○		2		○			1						
		ビジネスエコノミクス	2・3・4後	○		2		○								1	ビ経
		交通経済学I	2・3・4前	○		2		○				1					経デ、ビ経
		交通経済学II	2・3・4後	○		2		○				1					経デ、ビ経
		都市経済学	2・3・4前	○		2		○				1					ビ経
		地域経済論I	2・3・4前	○		2		○				1					ビ経
		地域経済論II	2・3・4後	○		2		○				1					ビ経
		GIS入門	2・3・4前	○		2		○				1					経デ
		国際経済学I	2・3・4前	○		2		○				1					経政
		国際経済学II	2・3・4後	○		2		○				1					経政
		国際金融論I	2・3・4前	○		2		○				1					経政
		国際金融論II	2・3・4後	○		2		○				1					経政
		ヨーロッパ経済論	2・3・4後			2		○				1					
		アメリカ経済論	2・3・4前			2		○								1	
		アジア経済論	2・3・4後			2		○				1					
		日本経済論	2・3・4後	○		2		○			1						
		開発経済論I	2・3・4前	○		2		○				1					
		開発経済論II	2・3・4後	○		2		○				1					
		金融論I	2・3・4前	○		2		○				1					経政、ビ経
		金融論II	2・3・4後	○		2		○				1					経政、ビ経
		企業金融論I	2・3・4前	○		2		○								1	ビ経
		企業金融論II	2・3・4後	○		2		○								1	ビ経
		小計（29科目）	－	－	0	58	0	－			2	8	0	0	0	3	－
	経済と歴史・思想領域	経済史I	1・2・3・4前	○		2		○				1					
		経済史II	1・2・3・4後	○		2		○				1					
		政治的公正と経済	2・3・4後	○		2		○			1						
		西洋経済史	2・3・4前			2		○				1					
		小計（4科目）	－	－	0	8	0	－			1	1	0	0	0	0	－
	経済とデータ分析領域	経済統計学I	2・3・4前	○		2		○				1					経デ
		経済統計学II	2・3・4後	○		2		○				1					経デ
		計量経済学I	2・3・4前	○		2		○				1					経デ
		計量経済学II	2・3・4後	○		2		○				1					経デ
		計量経済学演習	2・3・4前	○		2			○			1					経デ
		データビジュアライゼーション	2・3・4前	○		2		○								3	オムニバス、経デ
		データ分析プログラミング	2・3・4後	○		2			○							1	経デ
		人間行動論	2・3・4後	○		2		○								1	経デ
		実験社会科学	2・3・4前	○		2			○							1	経デ
		政策デザイン実践	2・3・4後	○		2			○							3	共同、経デ
		小計（10科目）	－	－	0	20	0	－			0	1	0	0	0	6	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI	2前	○	2				○		5	9					共同、オムニバス
	学部基礎ゼミII	2後	○	2				○		5	9					
	研究ゼミI	3前	○	2				○		5	9				26	
	研究ゼミII	3後	○	2				○		5	9				26	
	研究ゼミIII	4前	○	2				○		5	9				26	
	研究ゼミIV	4後	○	2				○		5	9				26	
	小計（6科目）	－	－	12	0	0	－			5	9	0	0	0	26	－
合計（202科目）		－	－	32	372	0	－			6	9	0	0	0	128	－

学位又は称号	学士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒　業　要　件　及　び　履　修　方　法

卒業要件はCUC基盤教育科目群、専門科目群、ゼミナール科目群の各卒業要件単位数を満たした上で、合計124単位以上修得すること。
（アドバンスト科目群も卒業要件単位数に含めることができる。）

■CUC基盤教育科目群　30単位以上
○CUCベーシック　6単位（必修）
○人文科学　2単位以上（選択）
○社会科学　2単位以上（選択）
○自然科学　2単位以上（選択）
○倫理・SDGs　2単位以上（選択）
○自然言語　2単位以上（選択必修2単位含む）
「英語とその世界」「中国語とその世界」より選択
○情報言語　2単位以上　（必修2単位含む）
○会計言語　2単位以上（必修2単位含む）
○キャリア・健康管理　4単位以上（必修2単位含む）

■専門科目群　52単位以上
○学部入門科目　8単位（必修）
○コース科目　24単位以上（選択必修）
コースは以下3コースの内、1コースを選択
「経済政策コース」
「ビジネス経済コース」
「経済データ分析コース」

注釈：表中における備考欄の記載については、下記の通りとする。
経政→経済政策コース選択必修科目
ビ経→ビジネス経済コース選択必修科目
経デ→経済データ分析コース選択必修科目

■ゼミナール科目群　12単位（必修）

（履修科目の登録上限：44単位（年間））

授業期間等

1学年の学期区分	2学期
1学期の授業期間	13週
1時限の授業の標準時間	105分

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ	1前	○	2				○		1					41	
		実学入門I	1前	○	2				○							7	メディア
		実学入門II	1後	○	2				○		1					41	
		小計（3科目）	－	－	6	0	0	－			1	0	0	0	0	41	－
	人文科学	歴史学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		倫理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		文学研究入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		哲学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		人文地理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会史入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		芸術理論研究入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		経済思想史入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		応用心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会ネットワーク論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		表象文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		比較文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		演劇・身体表現論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（14科目）	－	－	0	28	0	－			0	0	0	0	0	11	－
	社会科学	教育学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		経済学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		現代思想入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		国際政治学入門	1・2・3・4前・後			2		○				1					
		社会学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会思想史入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		政治学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		途上国貧困研究入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		法学入門（公法）	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		法学入門（私法）	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		民俗学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ジャーナリズム論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		経済成長と社会問題	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（14科目）	－	－	0	28	0	－			0	1	0	0	0	11	－
	自然科学	認知心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		生物学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		情報化社会のための数学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		自然地理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		宇宙科学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		データサイエンス入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		データ活用の統計学	1・2・3・4前			2		○								1	
		物理学と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		化学と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		テクノロジー論	1・2・3・4前			2		○								4	オムニバス、集中
		小計（11科目）	－	－	0	22	0	－			0	0	0	0	0	11	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	
CUC基盤教育科目群	倫理・SDGs	SDGs論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		エネルギー論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		サステナブルな地域づくり実践	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス倫理	1・2・3・4後			2		○								1	
		環境倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		情報倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		生命倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		多文化共生社会論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地域に役立つ再生可能エネルギービジネス	1・2・3・4前			2		○								1	
		地域共創デザイン論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地球環境論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		文化創造論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（12科目）	－	－	0	24	0	－			0	0	0	0	0	11	－
	自然言語	英語とその世界	1前・後	○		2			○							24	
		中国語とその世界	1前・後	○		2			○							6	
		日本語とその世界	1前			2			○							1	留学生のみ必修
		英語コミュニケーション基礎A	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		英語コミュニケーション基礎B	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		韓国語コミュニケーション入門	1・2・3・4前・後			2			○							1	
		韓国語コミュニケーション基礎	1・2・3・4前・後			2			○							1	
		中国語コミュニケーション入門	1・2・3・4前			2			○							2	
		中国語コミュニケーション基礎	1・2・3・4後			2			○							2	
		異文化コミュニケーション（英語）	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		異文化コミュニケーション（韓国語）	1・2・3・4前・後			2			○							1	
		異文化コミュニケーション(中国語)	1・2・3・4後			2			○							1	
		国際語としての英語	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		国際語としての中国語	1・2・3・4前			2		○								1	
		小計（14科目）	－	－	0	28	0	－			0	0	0	0	0	34	－
	情報言語	情報入門	1前	○	2				○		1					13	
		プログラミング入門	1・2・3・4前・後			2		○			1					1	
		情報科学概論	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		情報処理	1・2・3・4前・後			2			○							5	
		情報実践	1・2・3・4前・後			2			○							2	
		小計（5科目）	－	－	2	8	0	－			1	0	0	0	0	15	－
	会計言語	会計リテラシー	1前・後	○	2			○								4	
		経理実務入門I	1・2・3・4前			2		○								1	
		経理実務入門II	1・2・3・4後			2		○								1	
		税務実務入門I	1・2・3・4前			2		○								1	
		税務実務入門II	1・2・3・4後			2		○								1	
		簿記特講	1・2・3・4後			2			○							2	
		小計（6科目）	－	－	2	10	0	－			0	0	0	0	0	8	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	キャリア・健康管理	生活と金融リテラシーI	1後	○	2			○								3	
		生活と金融リテラシーII	1・2・3・4前			2		○								1	
		生活と金融リテラシーIII	1・2・3・4後			2		○								1	
		キャリア入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		インターンシップ概論	2・3・4前			2		○								1	
		就業力実践	3・4前・後			2		○								2	
		コーチング論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		健康・スポーツ演習	1・2・3・4前・後			2			○							7	
		健康科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（9科目）	－	－	2	16	0	－			0	0	0	0	0	13	－
アドバンスト科目群	グローバル	Extensive Reading & Listening	2・3・4前			2			○							1	
		Grammar in Use	1・2・3・4後			2			○							1	
		Global Communication	2・3・4前			2			○							1	
		Digital Communication	2・3・4後			2			○							1	
		Language & Culture	2・3・4後			2			○							1	
		Global Studies	1・2・3・4後			2			○							1	
		Academic English	2・3・4前			2			○							1	
		多文化ワークショップ	1・2・3・4後			2			○							1	
		地域研究A	2・3・4前			2		○								1	
		地域研究B	2・3・4後			2		○								1	
		多文化フィールドワークA	2・3・4前			2			○							1	
		多文化フィールドワークB	2・3・4後			2			○							1	
		ビジネス中国語	2・3・4後			2			○							1	
		実用中国語	2・3・4前			2			○							1	
		海外短期文化研修I	1・2・3・4前			2			○							1	集中
		海外短期文化研修II	1・2・3・4前			2			○							1	集中
		海外長期文化研修I	1・2・3・4前			2			○							1	集中
		小計（17科目）	－	－	0	34	0	－			0	0	0	0	0	9	－
	情報・データサイエンス	AI概論	2・3・4前			2		○								1	
		社会科学のための情報学特論	1・2・3・4後			2		○			1		1			10	オムニバス
		データサイエンス実践	2・3・4後			2			○							1	
		データサイエンスのための数学	1・2・3・4後			2		○								1	
		データサイエンスのためのプログラミングI	1・2・3・4後			2			○							1	
		データサイエンスのためのプログラミングII	2・3・4前			2			○							1	
		データ活用の統計学実践	2・3・4後			2		○								1	
		データサイエンスプロジェクトI	3・4前			2			○							1	
		データサイエンスプロジェクトII	3・4後			2			○							1	
		統計システム開発実習I	3・4前			2			○							1	
		統計システム開発実習II	3・4後			2			○							1	
		小計（11科目）	－	－	0	22	0	－			1	0	1	0	0	12	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	
アドバンスト科目群	キャリア	CSR経営論	2・3・4前			2		○								1	
		イノベーション実践A	2・3・4前			2			○							1	
		イノベーション実践B	2・3・4後			2			○							1	
		キャリア形成論	2・3・4後			2		○								1	
		仕事の意思決定	2・3・4後			2		○								1	
		ディーセント・ワーク論	2・3・4前			2		○								1	
		ライフヒストリー研究	2・3・4前			2		○								1	
		業界・企業研究A（IT、金融ビジネス）	2・3・4前			2		○								1	
		業界・企業研究B（ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ領域、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ領域）	2・3・4前			2		○								1	
		社会実践論	2・3・4後			2		○								1	
		小計（10科目）	－	－	0	20	0	－			0	0	0	0	0	6	－
	総合教養	総合教養A	2・3・4前			2		○								1	
		総合教養B	2・3・4前			2		○								1	
		総合教養C	2・3・4前			2		○								1	
		総合教養D	2・3・4後			2		○								1	
		総合教養E	2・3・4後			2		○								1	
		総合教養F	2・3・4後			2		○								1	
		小計（6科目）	－	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	3	－
専門科目群	学部入門科目	政策情報学概論	1前	○	2			○			1		2				共同
		公共政策入門	1後	○	2			○					1				
		現代社会学入門	1後	○	2			○				1					
		経済入門	1前	○	2			○								1	
		小計（4科目）	－	－	8	0	0	－			1	1	2	0	0	1	－
	法学・政治学領域	憲法特論	1・2・3・4後	○		2		○				1					地政
		公法各論	2・3・4後	○		2		○				1					地政
		行政法	2・3・4後	○		2		○				1					地政
		行政学	2・3・4後	○		2		○				1					地政
		民法I	1・2・3・4前	○		2		○				1					地政、地経
		民法II	2・3・4前	○		2		○				1					地政
		民法III	2・3・4前	○		2		○				1					地政
		政治過程論	2・3・4後	○		2		○					1				地政
		政治学特論	2・3・4前	○		2		○				1					地政
		公共政策論	2・3・4前	○		2		○					1				地政、地経、政メ
		コミュニティ政策論	2・3・4後	○		2		○					1				地政
		政策分析とシステム思考	2・3・4後	○		2			○				1				地経、政メ
		地域分析論	2・3・4前	○		2		○					1				地政
		計画理論入門	1・2・3・4後	○		2		○					1				地経
		実験社会科学	2・3・4前			2			○		1						
		政策事情特論	2・3・4後			2		○								1	
		論文作成技法	2・3・4前			2		○								1	
		社会科学特論I	2・3前			2		○								1	
		社会科学特論II	2・3後			2		○								1	
		言語表現解釈論I	2・3前			2		○								1	
		言語表現解釈論II	2・3後			2		○								1	
		合意形成論	2・3・4前	○		2		○								1	地経
		社会心理学	2・3・4後	○		2		○								1	地経
		人間行動論	2・3・4後	○		2		○					1				地経
		非営利組織論	2・3・4後	○		2		○								1	地経
		小計（25科目）	－	－	0	50	0	－			1	2	2	0	0	5	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	
専門科目群	経済学・AIデータサイエンス領域	地方財政論	2・3・4前	○		2		○								1	地政
		地域経済論I	2・3・4前	○		2		○								1	地経
		地域経済論II	2・3・4後	○		2		○								1	地経
		マクロ経済学I	2・3・4後	○		2		○								2	
		ミクロ経済学I	2・3・4前	○		2		○								2	
		社会経済学	1・2・3・4後	○		2		○				1					政メ
		日本経済論	2・3・4後	○		2		○								1	地経
		マーケティング論I	2・3・4前・後	○		2		○								1	地経、政メ
		数理的思考法I	2・3前			2		○								1	
		数理的思考法II	2・3後			2		○								1	
		論理とデータ解釈技法I	2・3前			2		○								1	
		論理とデータ解釈技法II	2・3後			2		○								1	
		デジタルツイン景観表現	2・3・4後	○		2		○			1						政メ
		デジタルツイン実践	2・3・4後			2			○		2						共同
		3次元アバター表現	2・3・4前			2		○			1						
		AIと社会	2・3・4後	○		2		○			1						地経、政メ
		データ分析プログラミング	2・3・4後	○		2			○				1				政メ
		データビジュアライゼーション	2・3・4前			2		○			2		1				オムニバス
		情報社会	2・3・4後	○		2		○			1						地経
		小計（19科目）	－	－	0	38	0	－			4	1	1	0	0	9	－
	学問領域を越える多元的共創活動による学び	政策デザイン実践	2・3・4後	○		2			○		1		1			1	共同、政メ
		政策情報学演習	2・3・4後			2			○		1						
		行動経済学	2・3・4前	○		2		○								1	地経、政メ
		シリアスゲームデザイン	2・3・4前			2		○								1	
		サービスデザイン	2・3・4前			2		○								1	
		ソーシャルプロデュース論	2・3・4前			2		○								1	
		メディアプロデュース実践I	2・3・4前			2		○								1	
		メディアプロデュース実践II	2・3・4後			2		○								1	
		プランニングワークショップI	2・3・4前	○		2			○		1	2					共同、政メ
		プランニングワークショップII	2・3・4後			2			○		1	2					共同
		小計（10科目）	－	－	0	20	0	－			3	2	1	0	0	6	－
	社会学領域	映像エスノグラフィ	2・3・4後	○		2		○				1					政メ
		映像コミュニケーション	1・2・3・4前			2		○				1					
		ライフストーリーとメディア論	2・3・4前			2		○				1					
		情報メディア分析論	2・3・4後			2		○								1	
		ビジュアルメディア論	2・3・4後			2		○								1	
		シナリオ・ライティング	2・3・4後			2		○								1	
		音響と文化	2・3・4前			2		○								1	
		都市政策・計画論	2・3・4後	○		2		○								1	地政

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
専門科目群	社会学領域	環境政策入門	2・3・4前	○		2		○			1						地政、地経、政メ
		環境政策論	2・3・4後	○		2		○			1						地政
		地域環境マネジメント	2・3・4後			2		○			1						
		環境アセスメント	2・3・4後			2		○			1						
		都市計画入門	2・3・4前	○		2		○								1	地政、地経、政メ
		地域文化政策論	2・3・4前	○		2		○			1						地政、政メ
		現代文化論	2・3・4後	○		2		○								1	地経、政メ
		地域社会と文化	2・3・4後	○		2		○			1						政メ
		マルチメディア論	2・3・4前			2		○								1	
		現代アート論	2・3・4前			2		○								1	
		質的調査法	2・3・4後			2			○		1						
		文学表現	2・3・4後			2		○								1	
		情報編集論	2・3・4後			2		○				1					
		批評的思考法	2・3・4後			2		○								1	
		広報メディアコミュニケーション	2・3・4前・後	○		2		○				1				1	
		デジタルリテラシー	1・2・3・4前・後			2		○				1				1	
		Webデザイン	2・3・4後			2		○								1	メディア
		Webとソーシャルメディア	2・3・4前	○		2		○			1						政メ
		アニメーションと社会	2・3・4後			2		○								1	
		メディア音響論	1・2・3・4前			2		○								1	
		表象文化論基礎A	2・3・4前			2		○								1	
		表象文化論基礎B	2・3・4後			2		○								1	
		視覚メディア論	1・2・3・4前・後			2		○				1					
		MIDIワークショップ	2・3・4前・後			2		○								1	
		メディアワークショップ	2・3・4前・後			2		○								1	
		メディアスタディーズI	2・3・4前			2		○			1						
		メディアスタディーズII	2・3・4後			2		○			1						
		音楽と地域文化	2・3・4後			2		○								1	
		小計（36科目）	－	－	0	72	0	－			4	2	0	0	0	12	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI	2前	○	2				○		5	3	2			1	共同、オムニバス
	学部基礎ゼミII	2後	○	2				○		5	3	2			1	共同、オムニバス
	研究ゼミI	3前	○	2				○		5	4	2			26	
	研究ゼミII	3後	○	2				○		5	4	2			26	
	研究ゼミIII	4前	○	2				○		5	4	2			26	
	研究ゼミIV	4後	○	2				○		5	4	2			26	
	小計（6科目）	－	－	12	0	0	－			5	4	2	0	0	27	－
合計（232科目）		－	－	32	432	0	－			5	4	2	0	0	151	－

学位又は称号	学士（政策情報学）	学位又は学科の分野	法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件はCUC基盤教育科目群、専門科目群、ゼミナール科目群の各卒業要件単位数を満たした上で、合計124単位以上修得すること。 （アドバンスト科目群も卒業要件単位数に含めることができる。） ■CUC基盤教育科目群　30単位以上 ○CUCベーシック　6単位（必修） ○人文科学　2単位以上（選択） ○社会科学　2単位以上（選択） ○自然科学　2単位以上（選択） ○倫理・SDGs　2単位以上（選択） ○自然言語　2単位以上（選択必修2単位含む） 「英語とその世界」「中国語とその世界」より選択 ○情報言語　2単位以上　（必修2単位含む） ○会計言語　2単位以上（必修2単位含む） ○キャリア・健康管理　4単位以上（必修2単位含む） ■専門科目群　52単位以上 ○学部入門科目　8単位（必修） ○コース科目　24単位以上（選択必修） コースは以下3コースの内、1コースを選択 「地域政策コース」 「地域経営コース」 「政策メディアコース」 注釈：表中における備考欄の記載については、下記の通りとする。 地政→地域政策コース選択必修科目 地経→地域経営コース選択必修科目 政メ→政策メディアコース選択必修科目 ■ゼミナール科目群　12単位（必修） （履修科目の登録上限：44単位（年間）） 1学年の学期区分 2学期 1学期の授業期間 13週 1時限の授業の標準時間 105分		

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	人文科学	アジアの歴史	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		アメリカの文学と文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		イギリスの文学と文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		イスラーム・アラブ文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		演劇	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		音楽史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		カウンセリング心理学	1・2・3・4前			2		○								1	
		教育学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		近代日本文学	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		実学への招待	1・2・3・4前・後			2		○			1					7	
		言語学	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		現代中国の思想	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		古典日本文学	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		社会思想史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		宗教学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○			1					3	
		性格心理学	1・2・3・4後			2		○								1	
		世界の文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		哲学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		日本史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本の文化	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		東アジア文化論	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		美術史	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		Film Studies	1・2・3・4後			2		○								1	
		ヨーロッパの歴史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		倫理学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		歴史学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		論理学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		海外短期文化研修I	1・2・3・4前・後			2			○							1	集中
		海外短期文化研修II	1・2・3・4前・後			2			○							1	集中
		海外長期文化研修	1・2・3・4前・後			4			○							1	集中
		小計（31科目）	－	－	0	64	0	－			4	0	0	0	0	28	－
	社会科学	観光文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		グローバル・アジア論	1・2・3・4前			2		○								1	
		Global Studies	1・2・3・4後			2		○								1	
		経済と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		現代社会と宗教	1・2・3・4前			2		○								1	
		日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		国際関係論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ジェンダー論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		質的調査法	1・2・3・4後			2		○								1	
		社会学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		社会調査法	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会ネットワーク論	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		商業と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		生活環境論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		政治学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		世界の紛争と平和	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地理学と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	社会科学	日本現代社会論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本政治史	1・2・3・4前			2		○								1	
		福祉論	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		文化人類学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		法学	1・2・3・4前・後			2		○			1					1	
		民俗学	1・2・3・4前			2		○								1	
		小計（23科目）	－	－	0	46	0	－			3	0	0	0	0	15	－
	自然科学	宇宙科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		エネルギー論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		化学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		科学技術史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		数と計算	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		環境と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		健康科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		コーチング論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		自然科学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		自然地理	1・2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		情報と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		数学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スポーツ科学	1・2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		生物学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		生物と機能	1・2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		生命と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地球科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地球環境論	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		統計学入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		物理学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（20科目）	－	－	0	40	0	－			0	0	0	0	0	15	－
	外国語科目	英語（A）I	1・2・3・4前・後			2		○			1					23	
		英語（A）II	1・2・3・4前・後			2		○			1					23	
		英語（B）I	1・2・3・4前・後			2		○			2					20	
		英語（B）II	1・2・3・4前・後			2		○			2					20	
		英語（C）I	1・2・3・4前・後			2		○			1					10	
		英語（C）II	1・2・3・4前・後			2		○			1					10	
		基礎英語I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		基礎英語II	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スポーツ英語	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス英語I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		中級英語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		中級英語II	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		中級英語III	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス英語II	1・2・3・4後			2		○								2	
		ビジネス英語III	1・2・3・4後			2		○								1	
		プレゼンテーション英語	1・2・3・4後			2		○								1	
		中国語（A）I	1・2・3・4前・後			2		○			1					12	
		中国語（A）II	1・2・3・4後			2		○			1					11	
		中国語（B）I	1・2・3・4前・後			2		○								9	
		中国語（B）II	1・2・3・4後			2		○								9	
		中国語（C）I	1・2・3・4前・後			2		○								8	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	外国語科目	中国語（C）II	1・2・3・4後			2		○								8	
		基礎中国語会話I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		基礎中国語会話II	1・2・3・4後			2		○								1	
		基礎中国語文法I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		基礎中国語文法II	1・2・3・4後			2		○								1	
		中級中国語I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		中級中国語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		上級中国語I	1・2・3・4前・後			2		○			1						
		上級中国語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		ドイツ語I	1・2・3・4前・後			2		○								4	
		ドイツ語II	1・2・3・4前・後			2		○								4	
		ドイツ語III	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		ドイツ語IV	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		フランス語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		フランス語II	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		フランス語III	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		フランス語IV	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スペイン語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スペイン語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		スペイン語III	1・2・3・4前			2		○								1	
		スペイン語IV	1・2・3・4後			2		○								1	
		韓国語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		韓国語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		韓国語III	1・2・3・4前			2		○								1	
		韓国語IV	1・2・3・4後			2		○								1	
		小計（46科目）	－	－	0	92	0	－			11	0	0	0	0	63	－
	情報科目	情報入門	1・2・3・4前・後	○	2			○								13	
		小計（1科目）	－	－	2	0	0	－			0	0	0	0	0	13	－
CUC基盤教育科目群	簿記会計科目	会計学への扉	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		簿記特講	1・2・3・4後			4		○								2	
		税理実務研究I	1・2・3・4前			2		○								1	
		税理実務研究II	1・2・3・4後			2		○								1	
		経理実務入門	1・2・3・4前			2		○								1	
		税務実務入門	1・2・3・4前			2		○								1	
		小計（6科目）	－	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	4	－
	体育科目	基礎体育学実習	1・2・3・4前・後	○	1					○						8	
		体育学実習I	1・2・3・4前・後	○	1					○						6	
		体育学実習II	1・2・3・4前・後			1				○						6	
		体育学実習III	1・2・3・4前・後			1				○						6	
		小計（4科目）	－	－	2	2	0	－			0	0	0	0	0	8	－
	キャリア科目	キャリアデザイン	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		雇用と労働の法律	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		企業研究	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		職業・業界研究	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス探究	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		ホスピタリティ実践	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		マナー・ディスカッション	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		インターンシップ	3・4前			2		○								1	
		就業力実践	3・4後			2		○								1	
		小計（9科目）	－	－	0	18	0	－			0	0	0	0	0	6	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	日本語関連科目	文章表現	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本語聴解I	1・2・3・4前			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語読解I	1・2・3・4前			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語聴解II	1・2・3・4後			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語読解II	1・2・3・4後			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語聴解III	1・2・3・4前			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語読解III	1・2・3・4後			2		○								1	留学生のみ履修可
		小計（7科目）	－	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	2	－
レクチャー科目群	学部共通基礎科目	経済学入門	1前・後	○	2			○				2				3	
		商学入門	1前・後	○	2			○								3	
		経営学入門	1前・後	○	2			○								4	
		初級簿記I	1前・後	○	2			○								11	
		初級簿記II	1前・後	○	2			○								11	
		小計（5科目）	－	－	10	0	0	－			0	2	0	0	0	21	－
	学科基礎科目	マクロ経済学基礎	1前・後	○		2		○				2				2	
		ミクロ経済学基礎	1前・後	○		2		○			1	2					
		政治経済学基礎	1前・後	○		2		○									2023年度不開講
		経済統計基礎	1・2・3・4前・後	○		2		○								1	
		小計（4科目）	－	－	0	8	0	－			1	4	0	0	0	3	－
レクチャー科目群		アカデミック・リテラシー	1前			2		○								1	
		国際経済論I	2・3・4前	○		2		○				1					国経
		国際経済論II	2・3・4後	○		2		○				1					国経
		経済成長論	2・3・4前			2		○			1						
		計量経済学	2・3・4前	○		2		○				1					
		マクロ経済学中級	2・3・4前・後	○		2		○				2					
		マクロ経済学上級	2・3・4前			2		○				1					
		ミクロ経済学中級	2・3・4前	○		2		○			1						
		ミクロ経済学上級	2・3・4後			2		○			1						
		公共経済学	2・3・4前	○		2		○								1	公経
		行動経済学	2・3・4前	○		2		○									公経、2023年度不開講
		経済史I	2・3・4前	○		2		○				1					
		経済史II	2・3・4後	○		2		○				1					
		西洋経済史	2・3・4後			2		○				1					
		経済政策I	2・3・4前	○		2		○			1						公経
		経済政策II	2・3・4後	○		2		○			1						公経
		地域産業論	2・3・4後	○		2		○				2					地経
		地域開発論	2・3・4前・後	○		2		○				1					地経
		開発経済論	2・3・4後	○		2		○									国経、2023年度不開講
		産業組織論	2・3・4後	○		2		○				1					地経
		現代の日本経済	2・3・4前・後	○		2		○				1					地経
		日本と世界経済	2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		アメリカ経済論	2・3・4後	○		2		○								1	国経
		ヨーロッパ経済論	2・3・4前	○		2		○				1					国経
		アジア経済論	2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		実験経済学	2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		環境経済学	2・3・4後			2		○								1	
		農業経済学	2・3・4前	○		2		○								1	地経
		生産システム論	2・3・4後			2		○				1					
		交通経済学	2・3・4後	○		2		○				1					地経
		経済地理I	2・3・4前	○		2		○								1	地経
		経済地理II	2・3・4後	○		2		○								1	地経

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
レクチャー科目群	現代産業論	2・3・4前・後			2		○				1					
	情報産業論	2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
	ゲーム理論	2・3・4前			2		○			1						
	財政学I	2・3・4前・後	○		2		○			2						公経
	財政学II	2・3・4前・後	○		2		○			2						公経
	地方財政論	2・3・4後	○		2		○			1						地経
	金融論I	2・3・4前	○		2		○				1					公経
	金融論II	2・3・4後	○		2		○				1					公経
	金融機関論	2・3・4後			2		○								1	
	国際金融論	2・3・4後	○		2		○				1					国経
	与信管理論A	2・3・4前			2		○			1						
	与信管理論B	2・3・4後			2		○								1	
	経済統計中級	2・3・4前			2		○				1					
	経済統計上級	2・3・4後			2		○				1					
	社会政策	2・3・4前	○		2		○			1						公経
	公共政策	2・3・4前・後	○		2		○								2	公経
	産業政策論	2・3・4前	○		2		○				1					地経
	社会保障論	2・3・4前・後	○		2		○			1						地経
	労働経済論	2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
	グローバル社会論	2・3・4前	○		2		○								1	国経
	ビジネス倫理	2・3・4前・後			2		○								1	
	中国の社会とビジネス	2・3・4後			2		○			1						
	中国ビジネスコミュニケーション基礎	2・3・4前			2		○								1	
	中国ビジネスコミュニケーション実践	2・3・4後			2		○								1	
	商業中国語	2・3・4前			2		○								1	
	中小企業論入門	1・2・3・4前・後			2		○								4	
	中小企業政策論	2・3・4後	○		2		○								1	地経
	商品学	2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
	ブランド論	2・3・4前・後			2		○								2	
	職業指導	2・3・4前			2		○								1	
	ビジネス実践	2・3・4前			2		○								1	
	電子商取引実践	2・3・4後			2		○								1	
	貿易論I	2・3・4前	○		2		○				1					国経
	貿易論II	2・3・4後	○		2		○				1					国経
	貿易英語I	2・3・4前			2		○								1	
	貿易英語II	2・3・4後			2		○								1	
	観光文化論実践	1・2・3・4前・後			2		○								1	
	インターネット社会論	1前・後			2		○								1	
	情報科学概論	1前・後			2		○								1	
	情報処理	1前・後			2		○								6	
	応用情報処理	2・3・4前・後			2		○								4	
	コンピュータシステム	2・3・4後			2		○								1	
	情報システム論	2・3・4後			2		○								1	
	プログラミングI	2・3・4前・後			2		○								5	
	プログラミングII	2・3・4後			2		○								2	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
レクチャー科目群	情報数学	1前・後			2		○								1	
	情報技術論	2・3・4前			2		○								1	
	経営情報概論	2・3・4前			2		○								1	
	経営情報処理	2・3・4前・後			2		○								1	
	情報ビジネス論	2・3・4前・後			2		○								1	
	情報資源管理	2・3・4前・後			2		○								1	
	経営情報システム論	2・3・4後			2		○								1	
	情報システム設計	2・3・4後			2		○								1	
	ネットワーク管理I	2・3・4前			2		○								1	
	ネットワーク管理II	2・3・4後			2		○								1	
	Web情報デザイン	2・3・4前・後			2		○								2	
	映像情報処理I	2・3・4前・後			2		○			1					1	
	映像情報処理II	2・3・4前・後			2		○			1						
	音楽情報デザインI	2・3・4前・後			2		○								1	
	音楽情報デザインII	2・3・4後			2		○								1	
	中級簿記特講	1・2・3・4前・後				4	○									2023年度不開講
	中級簿記I	2・3・4前・後			2		○								3	
	中級簿記II	2・3・4後			2		○								2	
	会計学総論I	1前・後			2		○								4	
	会計学総論II	1前・後			2		○								3	
	憲法I	1前・後			2		○			1					1	
	憲法II	1前・後			2		○			1					1	
	民法(1)I	2・3・4前			2		○								1	
	民法(1)II	2・3・4後			2		○								1	
	民法(2)I	2・3・4前			2		○								1	
	民法(2)II	2・3・4後			2		○								1	
	商法I	2・3・4前・後			2		○								1	
	商法II	2・3・4前・後			2		○								1	
	刑法I	2・3・4前			2		○								1	
	刑法II	2・3・4後			2		○								1	
	会社法I	2・3・4前			2		○								1	
	会社法II	2・3・4後			2		○								1	
	経済法I	2・3・4前			2		○								1	
	経済法II	2・3・4後			2		○								1	
	行政法I	2・3・4前	○		2		○									公経、2023年度不開講
	行政法II	2・3・4後	○		2		○									公経、2023年度不開講
	労働法I	2・3・4前			2		○								1	
	労働法II	2・3・4後			2		○								1	
	国際取引法I	2・3・4前	○		2		○								1	国経
	国際取引法II	2・3・4後	○		2		○								1	国経

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
レクチャー科目群	税法I	2・3・4前・後			2		○								1	
	税法II	2・3・4前・後			2		○								1	
	金融商品取引法I	2・3・4前			2		○								1	
	金融商品取引法II	2・3・4後			2		○								1	
	知的財産法I	2・3・4前			2		○									2023年度不開講
	知的財産法II	2・3・4後			2		○									2023年度不開講
	外書講読I	2・3・4前			2		○								1	
	外書講読II	2・3・4後			2		○								1	
	英語学（１）	2・3・4前			2		○			1						
	英語学（２）	2・3・4後			2		○			1						
	英語音声学（１）	1前			2		○			1						
	英語音声学（２）	1後			2		○			1						
	ｺﾐｭﾆｶﾃｨｳﾞ・ｸﾞﾗﾏｰ(1)	2前			2		○								1	
	ｺﾐｭﾆｶﾃｨｳﾞ・ｸﾞﾗﾏｰ(2)	2後			2		○								1	
	英語音声学特講（１）	2・3・4前			2		○								1	
	英語音声学特講（２）	2・3・4後			2		○								1	
	英文学（１）	2・3・4前			2		○								1	
	英文学（２）	2・3・4後			2		○								1	
	リーディング（１）	2・3・4前			2		○			1						
	リーディング（２）	2・3・4後			2		○			1						
	ライティング（１）	2・3・4前			2		○								1	
	ライティング（２）	2・3・4後			2		○								1	
	ライティング（３）	2・3・4後			2		○								1	
	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(1)	2前			2		○								3	
	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(2)	2後			2		○								3	
	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(3)	2・3・4前			2		○								2	
	ｵｰﾗﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(4)	2・3・4後			2		○								2	
	時事英語	2・3・4後			2		○								1	
	アメリカ文化論	2・3・4前			2		○								1	
	イギリス文化論	2・3・4後			2		○								1	
	ヨーロッパ文化論	2・3・4後			2		○								1	
	地中海文化論	2・3・4前			2		○								1	
	異文化理解論（１）	2・3・4前			2		○								1	
	異文化理解論（２）	2・3・4後			2		○								1	
	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2・3・4前			2		○								1	
	小計（152科目）	－		0	302	4	－			9	7	0	0	0	58	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（商経学部　経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
セミナー科目群	研究基礎A	1前	○	2				○		2	6				1	
	研究基礎B	1後	○	2				○			4				14	オムニバス
	研究I	2後	○	2				○		10	7				38	
	研究IIA	3前	○	2				○		11	7				41	
	研究IIB	3後	○	2				○		11	7				41	
	卒業研究A	4前	○	2				○		12	7				45	
	卒業研究B	4後	○	2				○		12	7				45	
	小計（7科目）	－	－	14	0	0	－			12	7	0	0	0	45	－
合計（315科目）		－	－	28	600	4	－			12	7	0	0	0	205	－

学位又は称号	学士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件はCUC基盤教育科目群、レクチャー科目群、セミナー科目群の各卒業要件単位数を満たした上で、合計124単位以上修得すること。 ■CUC基盤教育科目群 28単位以上 ○人文科学　2単位以上（選択） ○社会科学　2単位以上（選択） ○自然科学　2単位以上（選択） 上記3つの区分より合計12単位以上 ○外国語科目　12単位以上（選択） ○情報科目　2単位以上（必修2単位含む） ○体育科目　2単位以上（必修2単位含む） ■レクチャー科目群　54単位以上 ○学部共通基礎科目　10単位（必修） ○学科基礎科目　4単位以上（選択必修） ○主専攻コース　12単位以上（選択必修） 主専攻コースは「国際経済コース」 「公共経済コース」 「地域経済コース」　を設ける。 注釈：表中における備考欄の記載については、下記の通りとする。 国経→国際経済コース選択必修科目 公経→公共経済コース選択必修科目 地経→地域経済コース選択必修科目 ○副専攻コース　8単位以上（選択必修） 主専攻コース以外のコースを選択 ■セミナー科目群　14単位（必修） （履修科目の登録上限：44単位（年間）） 1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	13週
	1時限の授業の標準時間	105分

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	人文科学	アジアの歴史	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		アメリカの文学と文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		イギリスの文学と文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		イスラーム・アラブ文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		演劇	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		音楽史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		カウンセリング心理学	1・2・3・4前			2		○								1	
		教育学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		近代日本文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		実学への招待	1・2・3・4前・後			2		○								8	
		言語学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		現代中国の思想	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		古典日本文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会思想史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		宗教学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		心理学入門	1・2・3・4前・後			2		○								4	
		性格心理学	1・2・3・4後			2		○								1	
		世界の文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		哲学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		日本史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本の文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		東アジア文化論	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		美術史	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		Film Studies	1・2・3・4後			2		○								1	
		ヨーロッパの歴史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		倫理学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		歴史学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		論理学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		海外短期文化研修I	1・2・3・4前・後			2		○								1	集中
		海外短期文化研修II	1・2・3・4前・後			2		○								1	集中
		海外長期文化研修	1・2・3・4前・後			4		○								1	集中
		小計（31科目）	－	－	0	64	0	－			0	0	0	0	0	32	－
	社会科学	観光文化論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		グローバル・アジア論	1・2・3・4前			2		○								1	
		Global Studies	1・2・3・4後			2		○								1	
		経済と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		現代社会と宗教	1・2・3・4前			2		○								1	
		日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		国際関係論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ジェンダー論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		質的調査法	1・2・3・4後			2		○								1	
		社会学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		社会調査法	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		社会ネットワーク論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		商業と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		生活環境論	1・2・3・4前・後			2		○								1	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	社会科学	政治学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		世界の紛争と平和	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地理学と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本現代社会論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本政治史	1・2・3・4前			2		○								1	
		福祉論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		文化人類学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		法学	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		民俗学	1・2・3・4前			2		○			1						
		小計（23科目）	－	－	0	46	0	－			1	0	0	0	0	17	－
	自然科学	宇宙科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		エネルギー論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		化学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		科学技術史	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		数と計算	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		環境と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		健康科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		コーチング論	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		自然科学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		自然地理	1・2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		情報と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		数学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スポーツ科学	1・2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		生物学入門	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		生物と機能	1・2・3・4前・後			2		○									2023年度不開講
		生命と倫理	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地球科学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		地球環境論	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		統計学入門	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		物理学	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（20科目）	－	－	0	40	0	－			0	0	0	0	0	15	－
	外国語科目	英語（A）I	1・2・3・4前・後			2		○								24	
		英語（A）II	1・2・3・4前・後			2		○								24	
		英語（B）I	1・2・3・4前・後			2		○								22	
		英語（B）II	1・2・3・4前・後			2		○								22	
		基礎英語I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		基礎英語II	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スポーツ英語	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス英語I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		中級英語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		中級英語II	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		中級英語III	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス英語II	1・2・3・4後			2		○								2	
		ビジネス英語III	1・2・3・4後			2		○								1	
		プレゼンテーション英語	1・2・3・4後			2		○								1	
		中国語（A）I	1・2・3・4前・後			2		○								13	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	外国語科目	中国語（A）II	1・2・3・4後			2		○								12	
		中国語（B）I	1・2・3・4前・後			2		○								9	
		中国語（B）II	1・2・3・4後			2		○								9	
		基礎中国語会話I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		基礎中国語会話II	1・2・3・4後			2		○								1	
		基礎中国語文法I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		基礎中国語文法II	1・2・3・4後			2		○								1	
		中級中国語I	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		中級中国語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		上級中国語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		上級中国語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		ドイツ語（A）I	1・2・3・4後			2		○								1	
		ドイツ語（A）II	1・2・3・4前			2		○								1	
		ドイツ語（B）I	1・2・3・4後			2		○								1	
		ドイツ語（B）II	1・2・3・4前			2		○								1	
		ドイツ語（C）I	1・2・3・4後			2		○								1	
		ドイツ語（C）II	1・2・3・4前			2		○								1	
		ドイツ語I	1・2・3・4前・後			2		○								4	
		ドイツ語II	1・2・3・4前・後			2		○								4	
		ドイツ語III	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		ドイツ語IV	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		フランス語（A）I	1・2・3・4後			2		○								1	
		フランス語（A）II	1・2・3・4前			2		○								1	
		フランス語（B）I	1・2・3・4後			2		○								1	
		フランス語（B）II	1・2・3・4前			2		○								1	
		フランス語（C）I	1・2・3・4後			2		○								1	
		フランス語（C）II	1・2・3・4前			2		○								1	
		フランス語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		フランス語II	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		フランス語III	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		フランス語IV	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スペイン語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		スペイン語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		スペイン語III	1・2・3・4前			2		○								1	
		スペイン語IV	1・2・3・4後			2		○								1	
		韓国語I	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		韓国語II	1・2・3・4後			2		○								1	
		韓国語III	1・2・3・4前			2		○								1	
		韓国語IV	1・2・3・4後			2		○								1	
		小計（54科目）	－	－	0	108	0	－			0	0	0	0	0	58	－
CUC基盤教育科目群	情報科目	情報入門	1・2・3・4前・後	○	2			○				1				12	
		情報実践	1・2・3・4後			2		○								5	
		ICT基礎	1・2・3・4前・後			2		○				1				1	
		Ｗｅｂ基礎	1・2・3・4前・後			2		○				1				1	
		プログラミング基礎	1・2・3・4後			2		○				1					
		小計（5科目）	－	－	2	8	0	－			0	1	0	0	0	12	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
CUC基盤教育科目群	簿記会計科目	会計学への扉	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		簿記特講	1・2・3・4後			4		○								2	
		税理実務研究I	1・2・3・4前			2		○								1	
		税理実務研究II	1・2・3・4後			2		○								1	
		経理実務入門	1・2・3・4前			2		○								1	
		税務実務入門	1・2・3・4前			2		○								1	
		小計（6科目）	－	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	4	－
	体育科目	基礎体育学実習	1・2・3・4前・後			1				○						8	
		体育学実習I	1・2・3・4前・後			1				○						6	
		体育学実習II	1・2・3・4前・後			1				○						6	
		小計（3科目）	－	－	0	3	0	－			0	0	0	0	0	8	－
	キャリア科目	キャリアデザイン	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		雇用と労働の法律	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		企業研究	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		職業・業界研究	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		ビジネス探究	1・2・3・4前・後			2		○								2	
		ホスピタリティ実践	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		マナー・ディスカッション	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		インターンシップ	3・4前			2		○								1	
		就業力実践	3・4後			2		○								1	
		小計（9科目）	－	－	0	18	0	－			0	0	0	0	0	6	－
	日本語関連科目	文章表現	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		日本語聴解I	1・2・3・4前			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語読解I	1・2・3・4前			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語聴解II	1・2・3・4後			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語読解II	1・2・3・4後			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語聴解III	1・2・3・4前			2		○								1	留学生のみ履修可
		日本語読解III	1・2・3・4後			2		○								1	留学生のみ履修可
		小計（7科目）	－	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	2	－
専門科目群	コース共通科目	政策情報学概論	1前・後	○	2			○			1	1	1			1	
		政策情報実務	3前			2		○				2				1	
		小計（2科目）	－	－	2	2	0	－			1	3	1	0	0	1	－
	地域政策コース科目	行政実務入門	1後			2		○								2	
		憲法特論	1・2・3・4後	○		2		○				1					
		法学基礎	1・2・3・4前	○		2		○				1					
		日本史特論	1・2・3・4後	○		2		○			1						
		世界史特論	1・2・3・4前	○		2		○				1					
		経済学特論	1・2・3・4後	○		2		○				1					
		行政実務（社会）	1・2・3後			2		○								1	
		行政実務（人文）	1・2・3後			2		○				1					
		行政実務（自然）	1・2・3前			2		○								1	
		数的処理I	2・3前			2		○								1	
		数的処理II	2・3後			2		○								1	
		行政文章	2・3前			2		○								1	
		行政実務（英語）	2・3前			2		○				1					
		数的処理応用I	2・3前			2		○								1	
		数的処理応用II	2・3後			2		○								1	
		行政文章応用	2・3後			2		○								1	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	
専門科目群	地域政策コース科目	行政実務応用（社会）I	2・3前			2		○								1	
		行政実務応用（社会）II	2・3後			2		○								1	
		行政実務応用（人文）I	2・3前			2		○				1					
		行政実務応用（人文）II	2・3後			2		○				1					
		行政実務応用（自然）I	2・3前			2		○								1	
		行政実務応用（自然）II	2・3後			2		○								1	
		行政法	2・3・4後	○		2		○				1					
		刑法	2・3・4後	○		2		○				1					
		民法	2・3・4前	○		2		○				1					
		法学各論	2・3・4前	○		2		○				1					
		行政文章特論	2・3・4前			2		○								1	
		政策事情特論	2・3・4後			2		○								1	
		社会学特論	2・3・4後	○		2		○				1					
		行政学	2・3・4後	○		2		○				1					
		地方財政論	2・3・4後	○		2		○			1						
		政治学特論	2・3・4前	○		2		○				1					
		マクロ経済学	2・3・4後	○		2		○			1						
		ミクロ経済学	2・3・4前	○		2		○			1						
		経営学	2・3・4前	○		2		○				1					
		日本経済論	2・3・4前	○		2		○			1						
		政策プロセス論	2・3・4後	○		2		○					1				
		地域経済論	2・3・4前	○		2		○				1					
		地域政策論	2・3・4前	○		2		○			1						
		経営戦略論	2・3・4後	○		2		○				1					
		マーケティング論	2・3・4後	○		2		○				1					
		政策情報学演習	2・3・4後	○		2		○			1						
		医療と地域社会	2・3・4後			2		○								1	
		都市計画入門	2・3・4前	○		2		○			1						
		地域文化政策論	2・3・4前	○		2		○			1						
		都市政策・計画論	2・3・4後	○		2		○			1						
		環境学入門	2・3・4前	○		2		○			1						
		コミュニティ形成論	2・3・4前	○		2		○					1				
		非営利組織論	2・3・4後	○		2		○			1						
		地域環境マネジメント	2・3・4後	○		2		○			1						
		環境アセスメント	2・3・4後	○		2		○			1						
		環境社会学	2・3・4後	○		2		○			1						
		環境政策論	2・3・4前	○		2		○			1						
		合意形成論	2・3・4前	○		2		○			1						
		コミュニティ政策論	2・3・4後	○		2		○					1				
		公共政策論	2・3・4前	○		2		○					1				
		地域分析論	2・3・4後	○		2		○					1				
		小計（57科目）	－	－	0	114	0	－			5	4	1	0	0	7	－
	メディア情報コース科目	映像基礎	1・2・3・4前	○		2		○				1					
		画像表現基礎	1・2・3・4前・後	○		2		○			1	1				1	
		デザイン基礎	1・2・3・4前・後	○		2		○				1					
		デッサン基礎	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		音楽基礎	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		マルチメディア表現基礎	1・2・3・4前・後	○		2		○				1					
		制作基礎	1・2・3・4前・後			2		○								3	
		統計学	1・2・3・4前	○		2		○			1						
		記号と社会	1・2・3・4前	○		2		○				1					
		データ解析法	2・3・4後	○		2		○			1						

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	
専門科目群	メディア情報コース科目	言語思想論	2・3・4前			2		○								1	
		批評理論	2・3・4後			2		○								1	
		東アジア地域研究I	2・3・4前			2		○								1	
		東アジア地域研究II	2・3・4後			2		○								1	
		色彩学	2・3・4後	○		2		○			1						
		情報文献検索	2・3・4後			2		○								1	
		身体表現	2・3・4後	○		2		○			1						
		創作と芸術	2・3・4前	○		2		○			1						
		パフォーミング・アーツ（A）	2・3・4前	○		2		○			1						
		パフォーミング・アーツ（B）	2・3・4後	○		2		○			1						
		現代芸術	2・3・4前			2		○								1	
		エディトリアルデザイン	2・3・4前・後	○		2		○				1					
		文学表現	2・3・4後			2		○								1	
		画像表現	2・3・4前・後	○		2		○				1				1	
		映像論	2・3・4前			2		○								1	
		映像表現	2・3・4後	○		2		○				1					
		作曲法	2・3・4後			2		○								1	
		映像音響表現論	2・3・4後			2		○								1	
		ＭＩＤＩ表現	2・3・4前・後			2		○								1	
		サウンドデザイン	2・3・4前			2		○								1	
		映像プロデュース論（A）	2・3・4前			2		○								1	
		映像プロデュース論（B）	2・3・4後			2		○								1	
		ネットワークシステム管理	2・3・4後			2		○								1	
		インターフェイス設計論	2・3・4前	○		2		○				1					
		プロデュース･演出論	2・3・4前			2		○								1	
		プログラミング（A）I	2・3・4前	○		2		○			1						
		プログラミング（A）II	2・3・4後	○		2		○			1						
		プログラミング（B）I	2・3・4前	○		2		○			1						
		プログラミング（B）II	2・3・4後	○		2		○			1						
		データベース設計論	2・3・4前	○		2		○			1						
		情報処理技術（ハードウェア）	2・3・4前	○		2		○			1						
		情報処理技術（ソフトウェア）	2・3・4後	○		2		○			1						
		表現メディア論	2・3・4前	○		2		○			1						
		ソフトウェア工学	2・3・4後	○		2		○			1						
		シナリオ・ライティング	2・3・4後			2		○								1	
		Ｗｅｂデザイン	2・3・4後			2		○								1	
		アニメーション表現	2・3・4後			2		○								1	
		企画・制作実習I	2・3・4前	○		2		○			2	2				1	
		企画・制作実習II	2・3・4後	○		2		○			2	2				2	
		３次元ＣＧ表現I	2・3・4前	○		2		○			1						
		３次元ＣＧ表現II	2・3・4後	○		2		○			1						
		デッサン技法I	2・3・4前	○		2		○			1						
		デッサン技法II	2・3・4後	○		2		○			1						
		写真技法	2・3・4後			2		○								1	
		VRコンテンツ制作	2・3・4後	○		2		○			1	1					
		モデル・シミュレーション	2・3・4後	○		2		○				1					
		小計（56科目）	－	－	0	112	0	－			5	4	0	0	0	18	－

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（政策情報学部　政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	備考
セミナー科目群	ゼミナール	入門ゼミI	1前	○	2				○		3	2					
		入門ゼミII	1後	○	2				○		9	7	1				
		ゼミナールI	2前	○	2				○		9	7	1			1	
		ゼミナールII	2後	○	2				○		9	7	1			1	
		ゼミナールIII	3前	○	2				○		9	7	1			1	
		ゼミナールIV	3後	○	2				○		9	7	1			1	
		卒業研究I	4前	○	2				○		9	7	1			1	
		卒業研究II	4後	○	2				○		9	7	1			1	
		小計（8科目）	－	－	16	0	0	－			9	7	1	0	0	1	－
合計（281科目）			－	－	20	543	0	－			9	7	1	0	0	142	－

学位又は称号	学士（政策情報学）	学位又は学科の分野	法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件はCUC基盤教育科目群、専門科目群、セミナー科目群の各卒業要件単位数を満たした上で、合計124単位以上修得すること。 ■CUC基盤教育科目群 16単位以上 ○人文科学 ○社会科学 ○自然科学 上記3つの区分より合計6単位以上 ○外国語科目　8単位以上（選択） ○情報科目　2単位以上（必修2単位含む） ■専門科目群　60単位以上 ○コース共通科目　2単位（必修） ○コース専門科目　40単位以上（選択必修） コース専門科目は「地域政策コース」「メディア情報コース」のいずれかを選択する。 ■セミナー科目群　16単位（必修） （履修科目の登録上限：44単位（年間））	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	13週
	1時限の授業の標準時間	105分

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	CUC ベーシック	自分未来ゼミ	○	この科目は、履修者の学生生活、さらには未来の起点となる科目である。将来の可能性を広げ、人生の選択肢の多様性を認識する場とする。講義は毎回、ディスカッション形式で行われ、建学の精神、大学とは何か、大学生活で何を実現するか、自分自身が何者か、企業と社会がどのように変化しているかなどについて、語り合う。主役は学生であり、教員はファシリテーターに徹する。履修者自身の自らアクションを起こす、広く深く考える、チームで成果を出すという一連の流れを体験する場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	CUC ベーシック	実学入門I	○	本科目では、高い倫理観を備えた「治道家」を目指すという建学の精神を踏まえながら学修・研究を進め、その成果をレポート作成、プレゼンテーションなどの形で表現するのに必要な考え方や技能、すなわちアカデミック・リテラシーの基礎を学ぶ。研究活動の入門として、文献やデータの入手のためにインターネットや図書館資料などの活用を学び、入手した文献やデータを解釈するための思考の型の基礎を学ぶことを目的とする。その上で、アカデミックな文書の構造と作法を学び、情報技術やデータ活用も踏まえ、研究の目的に基づいたレポート執筆のための基礎を学ぶことを目的とする。これらを動画形式の学習教材を活用し、独学でPCの利用スキルや実践的な問題解決能力を養い自己学習力を向上させる。この取り組みを通じて、今後の学修や研究活動、さらには社会で活躍するために必要な能力を身につける。	メディア
ＣＵＣ基盤教育科目群	CUC ベーシック	実学入門II	○	実学入門Iで修得した知識について、実践を通じて理解を深め、大学4年間の学びの基礎的な土台として活用できるまでに習熟することを目指す。具体的には、高い倫理観を備えた「治道家」を目指すという建学の精神を実践を通じて理解を深め、さらに自立的に研究を進めることを実践を通じて学ぶ場とする。さらにその成果を論文執筆、プレゼンテーションなどの形で表現することを実践を通じて学ぶ場とする。自立的な研究については、文献やデータの入手のために図書館やインターネットの活用を実践を通じて学び、入手した文献やデータを解釈するための思考の型の基礎を実践を通じて学ぶ場とする。その上で、実際に特定の研究目的に基づいた論文・プレゼンテーションを作成することを通じて論文の書き方・プレゼンテーションの作り方を身に付けることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	歴史学入門		歴史は、人間が記憶し、記録されてきたことにもとづいて叙述され、一定の集団の間で共有されてきたものである。この講義では、歴史がどのように記録され、つくられてきたかについて理論的ないし批判的な知見を提供する。また歴史とは何かという問いに対する多様な理論を提示するとともに、そしてそうした理論に基づいたアプローチで歴史記述の分析をする研究手法についても検討していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	倫理学入門		倫理学は、現在では哲学のカテゴリーの中に存在する一分野として理解されている。実際、倫理学は哲学思想と切り離すことができない関係にある。倫理学は非常に古い学問のひとつであり、紀元前の古代ギリシアに、その起源を突き止めることができる。本科目では、古代ギリシアから現代に至るまでの倫理学の関心・理論・学説の変遷に対する基礎的な知識について講義し、さらにそうした理論を用いて、現代社会の倫理的な諸問題に対する分析する方法、そして解決の理論的考察といった倫理学の実践についても教授する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	文学研究入門		文学とは何なのか。批評とは何なのか。こうした問いについてさまざまな考え方ないし思想があり、そうしたものは歴史の中で登場してきた。文学について考える際には、こうした思想と歴史的な位置づけに対する理論的な理解が必要である。さらに文学作品を研究すると言うとき、単にその内容に対してだけ目を向けるのではなく、その文学作品の文体や構造にも着目し、多角的な理論的アプローチを用いて分析するということを意味する。文学に対する理論的な理解を獲得するとともに、文学テクストの分析方法と批判理論の適用について学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	哲学入門		本科目では、〈世界〉という言葉をキーワードとして捉え、西欧の主要な哲学的試行を体験的に学修してゆく。西欧哲学の主要な原理論をふまえ、各自〈世界〉の意味を探究し、その上で、自分なりに世界の〈可能性〉の（本質）を了解することにある。自身の世界了解とその可能性を問うことで、新たに実践哲学ないし倫理学への通路が拓かれるだろう。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	人文地理学入門		人文地理学は自然環境を舞台に、文明社会が歴史時代を通じてどのように築き上げられて来たのかを社会空間の形成に着目しながら明らかにする学問である。本科目では地域を記載する上で重要な役割を果たす地形図を用いて人間の作り上げた土地利用空間を把握するとともに、資本主義の発展に伴う大都市圏の地域構造の成り立ちを現代社会の中に位置付けて考察する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	社会史入門		政治的転換点を軸に歴史を描こうとする従来型の歴史学とは異なり、一般大衆の生活ないし文化に着目して歴史を描こうとする社会史という歴史学の新しいアプローチが存在する。本科目では、社会史に対する知見を深め、歴史解釈の多様なありかたについて理解し批判できる能力を養成するとともに、それに基づいた実践ができるようになることを目的に、講義を提供する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	芸術理論研究入門		昨今では、美や芸術に対する理解は「芸術作品」モデルを起点にする固定観念が自由になってきており、空間的にも美術館のような非日常空間だけではなく、日常における感性的な経験全般にまで広がってきている。他方で、依然として、「芸術作品」モデルに基づく伝統的な芸術理論は芸術受容の参照点であり続けているのもじじつである。以上のような現代の芸術受容・創造の状況を総合的に踏まえつつ、芸術理論の歴史的変遷について理解し、作品の制作と批評について理論的な理解を深めていくことを目的とし、講義をする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	経済思想史入門		本科目では、人間の経済行為に関するさまざまな側面、経済活動に関連する社会現象、経済学および経済システムまたは経済政策の背後にあるそれぞれの思想に対する知見を提供し、そうした思想の歴史的変遷に対する理解を深めることを目指す。それによって、なぜ人間の経済行為はこのようなものになるのか、なぜ経済学はこのような形なのか、今の経済システムはなぜこのような形なのか、なぜ経済政策はこのようなものが実施されるのかといった問いに対する見解を持つことができるようになることを目的として講義をする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	心理学入門		人間の思考や行動の根底には心の動きがある。心理学は、人の心の動きを捉え理解しようとする学問であり、そのアプローチは多岐にわたる。この講義では、心理学の歴史にも触れながら、目には見えない“こころ”へのさまざまに工夫されたアプローチについて学んでいく。心理学の成り立ちを理解し、基本的な知識を身に付けることをめざす。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	応用心理学入門		本科目では、現代の応用心理学の潮流と社会心理学・発達心理学・性格心理学・臨床心理学の各分野について、基礎的な理論に対する理解を得た上で、問題の捉え方や代表的な応用や介入方法などの具体的なケースに対する知見を修得し、修得した応用心理学のさまざまな知識ないしスキルを、自分自身の生活の中で応用できるようになることを目的に講義をする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	社会ネットワーク論		現代社会ではネットワークの重要性が高まっている。それはインターネットに代表されるコンピュータネットワークのみならず、国家関係・組織構造・人間関係などの心理・社会的ネットワーク、流行・販売戦略などの商業的ネットワーク、感染症などの疫学的ネットワーク、人体内部の生理的・神経的ネットワークなど、あらゆる領域とスケールで見いだすことができる。本科目では、基本的なネットワーク理論およびそれに関連する具体的な事例について学ぶことで、現代社会を新たな視点から捉え直すことができる能力を養うことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	表象文化論		文学も含めて、多種多様なテクスト（絵画、彫刻、音楽、映画など）に対して、われわれは日々触れている。そのような媒体の媒体毎の性質との関係でメッセージを読解・分析する手法に対する理論的理解と、その実践について講義する。さまざまな論考を参照しつつ、それぞれの媒体に特有の表現方法を考察し分析する。さらに、作品と媒体の関係から見られる文化的背景を明らかにしていく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	比較文化論		近年、宗教紛争や民族問題が取り沙汰されるなかで、これらの諸問題は私たち自身と切り離し得ないということが広く認識されてきている。また、グローバル化の進展に伴い、身近な生活のなかで異文化を意識することが多くなってきている。だからこそ、「文化の多様性の視点」にもとづき、ローカルな現場で生じている複雑な文化の動態を捉えることが重要な課題として浮かび上がってくる。このことを踏まえ、本科目では比較文化的な視点や考え方を解説していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	演劇・身体表現論		芸術作品として認識されてきた伝統的な枠組みは、美術（視覚芸術）と音楽（聴覚芸術）と演劇（身体芸術）であるが、本科目は演劇ないし身体芸術を着目し、それに関する制作・受容双方の理論、そして個々の具体的な作品について取り上げていく。さまざまな芸術舞踊作品、劇場作品についての知識とその背後の思想、さらには理論的な解釈を教授しつつ、身体をメディアとした芸術を創作するための思考、方法論についての知見を深めていく。また身体芸術の視点から、芸術史、思想史を辿る。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	教育学入門		「教育」は人間に不可欠な営みであるために、また、私たちの誰しもが教育経験を持つがゆえに、多くの人から関心が向けられるテーマといえる。教育を巡っては、何を教育すべきかという理念の問い、教育はどのような文化の中で成立しているのかといった文化的な問い、そうしたものがどのような歴史的な経緯で成立してきたのかという歴史学的な問い、教育が社会に対してどのような効果を及ぼすのかという社会学的な問い等々、さまざまな視点からの問いがある。本科目では、教育をめぐって、身近な（あるいは身近であった）事象・トピックについて考えてもらうことを通して、教育学的知見を養う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	経済学入門		私たちの社会を構成している市場経済の基本的な仕組みを理解するために、経済学（ミクロ経済学とマクロ経済学）の基本的な考え方を学ぶ。ただし、数学的分析は扱わない。あくまで経済学的思考を修得することが講義の目的となる。一般教養としての経済・金融知識を身に付け、毎日の経済ニュースを深く理解できるようになることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	現代思想入門		「現代思想」と言うと、20世紀後半に「現代思想」と称された哲学思想（構造主義、ポスト構造主義、ポストモダン等々）と、21世紀以降のさまざまな形で、さまざまなコミュニティの中で影響力を持つことになった現代の思想潮流を指す。この二つの視点を考慮しつつ、現代の時代状況、およびそこに生きる人間の在り方を探るために、現代の思想家たちの思想的な見方・考え方を取り扱う。現在の資本主義社会の体制を生み出した近代社会の思想的出自に対する理解を深めつつ、現代社会を生きる人間が直面しているさまざまな状況を理論的に考察する。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	国際政治学入門		国際社会における諸現象に対し認識枠組みを与え、そこから諸問題に対する解決のアプローチを提示するのが国際政治学である。本科目では、国際政治に関する理論的分析枠組み、国際政治の歴史的展開に関する基本的知識に対する理解を深める。現代国際政治の問題についても採り上げ、全体として国際政治に関する知見を深めることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	社会学入門		集団や組織、人間同士の関係から形成されている社会というものに対して、社会学の基本的な考え方や説明のしかたを学ぶ。社会学の基礎的な概念と社会の基礎となる集団の特質に関する理解を深めることを通じて、現実の社会事象に対する理解を深め、さらに自己と社会とのつながりについての客観的な分析視角を得ることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	社会思想史入門		本科目では、近代の思想家たちが社会について何を・どう考えてきたか考えてみる。「私」は「社会」のなかで生き、「社会」に影響されながら、「社会」を作りだしている。では、その「社会」とは何か。社会という言葉で、どのようなことが考えられてきたのか、そして、考えることができるのか。そして、私たちが埋め込まれている社会的制約について検討する（＝対象化する）。社会思想史は、自分がどのような歴史的制約のなかに生きているのかを知り、あらたな可能性を切り開くための思考の準備作業である。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	政治学入門		人々の生活や経済活動は、さまざまなルールやシステムの上に成り立っている。それらのルールやシステムは、過去に誰かが決定し、未来に誰かが改廃する。日本などの民主主義国は、その「誰か」を人々（みんな）としている。つまり、社会のルールやシステムは、改良・改悪することができ、みんながその決定の主体となる。政治学とは、そのメカニズムを探求し、社会をより良くするための学問である。本科目では、本格的な政治学を研究する前段として、基本的な知見を共有する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	途上国貧困研究入門		本科目では、開発途上国の貧困の実態とその背景と構造について、具体的な文脈に即して、主として経済学のアプローチを用いて（時には社会学も）分析し、解き明かしていく。途上国の経済発展の過程で生じた貧困問題について適切な議論が議論でき、さらに貧困問題の多様性、多面性について理解することができるようになることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	法学入門（公法）		本科目は法とは何かということについて考える。「社会あるところに法あり」という法格言がある。私たちの社会にはさまざまな法が定められ、その法に羈束されながら私たちは生活をしている。法の世界を知ることによって、私たちに保障される権利についても学びたい。本科目ではとりわけ公法分野を取り扱う。主として日本国憲法と刑法について講義する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	法学入門（私法）		本科目は法とは何かということについて考える。「社会あるところに法あり」という法格言がある。私たちの社会にはさまざまな法が定められ、その法に羈束されながら私たちは生活をしている。法の世界を知ることによって、私たちに保障される権利についても学びたい。本科目ではとりわけ私法分野を取り扱う。主として民法と商法について講義する。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	民俗学入門		それぞれのコミュニティの生活文化を研究対象として、その歴史的な変遷や地域差を明らかにし、現代社会を捉え直していくのが民俗学である。本科目では、民俗学の研究方法、概念、現代的課題について平易に概説する。自然環境と人間のかかわりを単に知識として修得するのではなく、民家の構造や道具（民具）、生業など人間の日常的な暮らしや活動が、いかに環境と結びついているかを具体的に理解し、それらを活用していく術を模索していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	ジャーナリズム論		マスメディアとジャーナリズムに関する基本概念を学びつつ、ジャーナリズムの影響過程、世論形成に対する強力さ、情報媒体としての性質について理解を深めることを目的とする。そして送り手の社会的責任、受け手のメディアリテラシーについても考察する。現代のマスメディアとジャーナリズムの動向に対しても知見を得る場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	経済成長と社会問題		本科目においては、経済成長の段階において、そしてそれぞれの時代的状況において、貧困・格差等の社会問題がどのような形で現れてくるのかについて経済学的・社会学的な観点からの分析を教授し、履修者に対してこのような問題の多角性と多様性に対する理解を深めさせる。社会・環境問題に対する経済学的・社会学的理解を持つことにより、適切な実践ができるようになることを目的に講義を行う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	日本国憲法		この講義では日本国憲法の基礎事項を中心に解説する。最初に憲法とはどのような法であるかを解説し、次に日本国憲法の定める統治の仕組みを解説する。これらの知識を前提とし、日本国憲法の保障する人権の意義や内容、限界について解説していく。講義では裁判所の判決も積極的に取り上げ、具体的な憲法問題の解決方法についても学修していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	認知心理学入門		心理学は心と行動を科学的に研究する学問であり、その研究アプローチは多岐にわたる。本科目では、広範な心理学のなかでも、知覚という現象を出発点にして考えてみたい。さまざまな知覚に関する知見を目にしていくうちに、「日常」という環境におかれた人間の心のあり方を問い直すことができるはずである。この講義ではさまざまな心理現象を実際に体験しながら心理学における多様な研究アプローチを学ぶことを通して、豊かな人間性を養い、幅広い視野を獲得するための、教養としての心理学を学ぶ。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	地学入門		日本は地震や火山、水害など多くの災害が発生する国である。東日本大震災では多くの方々が被災し、毎年のように大雨による水害による被害が発生している。自然災害の発生を予想し対策を立てるためには、これらの地学的現象を理解する必要がある。また地球温暖化をはじめとする環境問題を解決するためにも、我々の住むこの地球の仕組みを理解しなくてはならない。本科目では、地球の成り立ちから構成、地震や火山などのメカニズム、生命の誕生から人類の歴史までも学び、地学が社会と密接に関係していることを理解し行動できる力を養う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	生物学入門		生物学はその扱う対象によって分子レベルの分子生物学から地球規模の生態学まで非常に広い範囲を含むが、本科目ではとくに「物質の状態」としての生物とその「進化」を中心に講義を進める。本科目では生き物が織りなす生命活動の普遍性と多様性について理解し、命（いのち）の偶然を感じることで、生物学がさまざまな学問領域と関連していることの視点を養っていくことを目的とする。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	情報化社会のための数学入門		社会科学系の学生が苦手と感じがちな「数学」思考のおもしろさを再発見し、数学と社会科学との関わりを学ぶことで、社会科学に対して新たな視点をもってもらうことがこの講義の目的である。そのために、数学がどのように生まれどう発展してきたかを説明し、数を計算する手法がなぜ現在のコンピュータにつながり、そして人工知能技術にまで発展してきたかを論じていくことで数学的思考を身に付けることを目指す。なお、シラバス中の授業計画は一応のめやすであり、受講学生のレベルに応じて柔軟に対応することとする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	自然地理学入門		地球環境問題、自然災害を含む地球表面で見られる私たちに身近な諸現象は地球という複雑で大きなシステムで生じている。本科目では地圏、水圏、大気圏を中心とする地球環境システムの概要を学んだ上で、身近な諸現象のメカニズムと互いの関連について理解することを目的とする。また、地球環境問題を科学的に理解するために必要な基礎知識を広く身に付け、今後の地球環境のあり方を考える力を修得していく場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	宇宙科学入門		探査対象であった宇宙は、近年では利用する対象へと変貌しつつある。本科目では、まず、太陽系や系外惑星を中心に宇宙に存在するさまざまな天体とその現象などの基礎的な知識を修得する。その上で、月や火星の利用について学ぶ。利用にあたっては課題も多く、具体的には、人員・物資の運搬や所有権の帰属などがある。これらの課題も考えながら，宇宙全般に関する理解を深め，新たな視点を養成する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	データサイエンス入門		近年、ビッグデータ、人工知能(AI)、デジタルトランスフォーメーション(DX)といった言葉がニュースで取り上げられることが多くなってきた。今後訪れる社会は『データ駆動の社会』になるだろうと言われていて、これまでの様にデータの扱いは理工系の学部出身者に任せておけばよいという考え方は徐々に通じなくなっていくと予想されている。本科目では、資源としてのデータ、データ分析の基礎、AIの考え方、データの活用事例等を学び、DXの時代が到来しても対処し得る基本的な考え方を養う。 （講義名：データで動く社会）	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	データ活用の統計学		現代では無数の統計データが存在しており、広く一般に公開されている。この統計データは人やモノの動きの結果が定量的に集約されているものである。ただし膨大な統計データがある中で、そこから新たな知見を観察することは容易ではない。こうした困難に対して、本科目では統計データの観察方法や解析の方法などを提供し、統計データの特徴を見出していく。あわせて、現代の企業や家計、政府などの統計データに触れながら、基礎的解析の知識を修得していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	物理学と社会		近年、放射性物質や放射線がニュースで取り上げられることが多くなってきた。放射線にはどの様な種類があって、どの様なメカニズムで発生するのかということを知るには、物理学の知見が不可欠である。特に、日常用語ではエネルギー資源の省略語として使われることが多いエネルギーという概念は、物理学では万物が有する特性であることを理解する必要がある。本科目では、原子核の安定性とエネルギー、各種放射線の発生メカニズム、各種放射線の特徴の理解によって、感情的な言説に惑わされず、自然科学の知見に基づいた冷静な判断を下せる力を養っていく。 （講義名：原子核と放射線）	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	化学と社会		私たちの生命や豊かな生活は、実は化学の力にえられている。しかし、化学がどのように社会生活の役に立っているかと聞かれたら、私たちはどれほど正確に答えられるだろうか。本科目では化学の基礎知識を理解した上で、身のまわりの現象やさまざまな食品・製品、環境や資源・エネルギー、生命や医薬・医療、未来の科学などについて、化学の視点で考えることのできる能力を身に付けることを目的とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	テクノロジー論		人類社会において、これまで多くのテクノロジーが生み出されてきた。その影響は、われわれの生活環境、社会システム、思考判断・倫理観までにも及んできた。この講義では、こうした人類社会へ大きな影響を与えたテクノロジーを取り上げ、その系譜・意図・背景などを学んだ上で、実際にそれらがどのように社会を変えるに至ったか理解を深める。なお、本科目では、AIなど今後の人類社会に大きな影響を及ぼす可能性が高いテーマも扱っていく。本科目はオムニバス形式で実施する。 第1回 36 関口 雄祐 テクノロジーとテクノロジー論についてのガイダンス 第2回 55 譲原 晶子 芸術活動とテクノロジー 第3回 55 譲原 晶子 芸術活動とテクノロジー 第4回 36 関口 雄祐 商いとテクノロジー 第5回 36 関口 雄祐 商いとテクノロジー 第6回 36 関口 雄祐 生命科学とテクノロジー 第7回 36 関口 雄祐 生命科学とテクノロジー 第8回 36 関口 雄祐 中間まとめ；ショートレポート＆学生間共有 第9回 61 NGUYEN Thuy 貧困解決とテクノロジー 第10回 61 NGUYEN Thuy 貧困解決とテクノロジー 第11回 58 渡辺 恭人 計算技術とテクノロジー 第12回 58 渡辺 恭人 計算技術とテクノロジー 第13回 36 関口 雄祐 最終まとめ；レポート＆学生間共有	オムニバス、集中
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	SDGs論		2015年に国連でSDGs（Sustainable Development Goals、 持続可能な開発目標）が定められ、国際社会が2030年までに達成すべき目標が定められた。SDGsは、われわれが今生きている社会の深刻な問題に焦点を当てており、こうした問題に対してわれわれは無関係ではいられない。本科目では、SDGsを通じて、われわれの社会の問題の本質を理解して、われわれの日常行動がそうした問題とどのような関係を持ち、われわれの日常行動の変容によって、何をもたらすことができるかについて考える。なぜSDGsに掲げられている問題が2030年までに、つまりはすぐに解決すべきと国際社会が考えている問題であるのか、そしてこうした問題の解決の困難さは何が原因なのかを理解し、解決のためにわれわれがなすべきことは何なのかを考える。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	エネルギー論		持続可能社会の実現のために、脱炭素を中心とした社会の大きな変革が求められている。一方で、われわれの生活環境の維持、社会活動の継続のためには炭素のみならず食料・資源・エネルギーなどの諸問題の解決も同時に必要である。本科目では、これらに関する現状について学び、その解決の糸口を技術や政策などから多面的に理解し行動していく能力を養うことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	サステナブルな地域づくり実践		本科目では、本学における農業分野（ワイン、養蜂、その他）での実践例を主とした題材としつつ、農業をコミュニティや地域のサステナビリティのために活用していくというアプローチの内実・機能・有用性・限界を主として社会学的な観点から見ていき、こうした実践の現状と課題を分析した上で、適切な実践に結びつけられるようになることを目指す。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	ビジネス倫理		われわれは自覚せずとも、何らかの道徳的・倫理的価値観に則って日々さまざまな判断をしながら生活を送っている。企業も同様である。利益だけ追求している企業は非倫理的と思う向きがあるかもしれないが、実はそうした無限の利益追及すらも数ある道徳的価値観のひとつであって、しかもせいぜい200年ほどの歴史しかないものである。人類の歴史の中でさまざまな考え方がこれまで生まれてきており、すでに廃れたものもあれば、今日でも影響力を持っているものもある。影響力のある価値観は明確に意識されずともわれわれの中に根付き、われわれのものの考え方に影響を与えている。またはわれわれを取り巻く法律やルールに反映されている。この講義では、今日のわれわれが引き受けている倫理的・道徳的価値観を意識化し、客観化する。次に、具体的な企業活動のケースを取り上げ、企業がどうしてこのような行動を取るのかについて分析する。また、価値観同士が衝突していてジレンマに立たされているようなケースも分析する。「倫理的な問題」と世に言われているものは、実のところ、こうした複数の価値観が衝突するケースを指している。こうした倫理的問題を、企業、従業員、消費者、行政といった多様なステークホルダーの視線から分析し、そしてその解決について考えていく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	環境倫理		人間活動が地球環境を大きく変えつつある人新世において、私たちが直面している地球環境問題解決のためには科学的な問題の理解に加え、社会的、文化的な観点を含む多面的で実効性のある対策を考える必要がある。本科目では地球環境問題のメカニズムとその現状を理解し、多様で広範な視点からその問題解決の道を探り、持続可能な未来を考える力を修得することを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	情報倫理		インターネット社会を健全に発展させるための前提として、各個人が最低限守るべきルールとしての「情報倫理」についての理解を深める。「情報倫理」とは「情報の生産、収集、処理・加工、記憶・蓄積および流通、利用などの各場面において個人または組織として行うべき、または行ってはならない規範のこと」をいう。インターネット社会において、私たちが社会生活を営む上で、他人の権利との衝突を避けるべく、各個人が最低限守るべきルールを理解し、安全に利用できる能力を修得することを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	生命倫理		生命活動は、生物の仕組みに則って40億年続いてきた営みである。しかし、人類は科学技術を発達させるなかで、生命（いのち）にかかわる技術をも手にし、とくに近年の発達は著しい。いっぽうで、その技術の使い手となる個人の意識や社会制度が急速に変わることは難しく、生命をめぐる技術と社会その狭間に倫理的問題が多く生じている。本科目では、遺伝子組換え、ゲノム編集、iPS細胞、cfDNA検査などをテーマの取り上げ、その社会受容にあたり議論を生む推進・反対双方の主張を多面的に理解する視点を養うことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	多文化共生社会論		文化や民族という概念は、それをアイデンティティの構成要素とする人間集団によって歴史的に形成されてきたものである。そして自己と他者とを分かつ差異を生み出すものとなる。そしてこのような文化や民族という概念は決して静的なものではなく、さまざまな文化間交流や、政治関係、フーコーが定義するような権力の関係によって変わっていったり、再構築されたりする動的なものである。サイードが、「東洋とは西洋がアイデンティティを確立するための植民地主義の効果/産物として構築されたものである」と論じるように、アイデンティが他者との権力関係によって他者から規定されたものを引き受けるような状況も存在する。本科目では、このような文化・民族概念の背後の複雑な力学に対する理解を深め、他者との共生を可能とする、来るべきグローバルな多文化共生社会はいかようなものであり得るか、どのようなものであるべきかについて検討することを目的とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	地域に役立つ再生可能エネルギービジネス		本科目では、本学における「自然エネルギー100%大学」（大学所有のメガソーラー発電所などの発電量と大学のエネルギー使用量を同量にするための試み）のための一連の実践を主とした題材としつつ、再生可能エネルギーによるビジネスモデルの理解と実践方法を学ぶ。この分野における新しいビジネスモデルの創出について多様な視点と実践力を身に付けることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	地域共創デザイン論		少子高齢化が進むにつれ表出してくる諸問題への対応（地方創生・地域創生）が日本中で課題となっている。地域創成は今の日本社会において待ったなしの喫緊の課題であり、それぞれの地域ですでにそれぞれの取り組みがなされてきている。しかしながら、本当に地域創生を進めるためには、志を同じくする人たちとの共創により共感を生み出す事が重要だ。この共感を生み出すのは、それなりの仕掛けが必要である。自治体、企業、個人という立場を超えた真の共創を実現するために、「設計」して「表現」すること、つまり「デザイン」という概念が重要だ。地域共創のためのデザインをいかに創出するかということを理論・実践の両面から検討していくことが本科目のテーマである。各地域に置いて「まち・ひと・しごと」を活性化する活動を実践している人たちがいる。この講義では地域共創の実践者をゲスト講師に招き、共感を生み出すための「設計」と「表現」を検討する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	地球環境論		地球温暖化をはじめとして、今世紀を生きる人類には多くの環境問題が立ちはだかっている。温室効果ガスの排出量は増加を続けており、早急に削減が必要な状況に陥っている。一方で環境問題に対しては誤解に基づく否定的意見が多いことも事実である。本科目では、地球温暖化について、自然科学的研究の成果を踏まえ、現在の気候システムのメカニズムや過去の気候変動について解説を行う。また、地球温暖化以外の環境問題についても触れ、人類が置かれている状況を理解し、行動できる力を養う場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	文化創造論		本科目では、単なる座学の枠を越えて、地域に実際に入っていき、地域の人間たちと協創する中で、実地で新しい文化を創造していくことを体験し経験し、他者とそれを共有する場とする。地域の中での実際のコミュニケーションからいかに新しい文化を創造していくかについて哲学的に理論的に検討することを目的とする。新たなる文化創造に結びつける実践力も同時に養う場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	英語とその世界	○	本科目は、異文化間コミュニケーション力の基盤として、外国語（英語）を運用するための知識や技能を養成することを目的とする。異文化間コミュニケーション力は、実社会で多様な言語文化を背景とする人々と協働する上で欠かせないスキルである。講義では、英語による異文化間コミュニケーション力の土台作りとして、英語コミュニケーションの実践的な演習を行うとともに、多様な言語文化を背景とする人々と良好な関係を築くために必要となる、自他文化に対する理解を深める。	選択必修（英語または中国語）
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	中国語とその世界	○	本科目は、異文化間コミュニケーション力の基盤として、外国語（中国語）を運用するための知識や技能を養成することを目的とする。異文化間コミュニケーション力は、実社会で多様な言語文化を背景とする人々と協働する上で欠かせないスキルである。講義では、中国語による異文化間コミュニケーション力の土台作りとして、中国語コミュニケーションの場面を想定した演習の中で中国語の基礎を学ぶとともに、中国の言語文化を背景とする人々と良好な関係を築くために必要となる、中国文化および日本文化に対する理解を深める。	選択必修（英語または中国語）

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	日本語とその世界		本科目は、留学生を対象とした必修科目であり、日本における異文化間コミュニケーション力の基盤として、外国語（日本語）を運用するための普遍的な知識や技能を養成することを目的とする。日本語での異文化間コミュニケーション力は、日本の大学で学び、実社会で日本人と協働する上で欠かせないスキルである。講義では、日本語で学べる力および日本人と協働できる力を養う実践的な演習を行うとともに、日本の言語文化を背景とする人々と良好な関係を築くために必要となる、自他文化に対する理解を深める。	留学生のみ必修
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	英語コミュニケーション基礎A		本科目は、互いの母語が使えない者同士の意思疎通に欠かせない、国際共通語としての英語を身に付けることを目的とする。講義では、国内や海外のさまざまな地域の空港、ホテル、観光地などで遭遇する異文化コミュニケーションに対応できる力を養う。「英語コミュニケーション基礎A」は映像教材を活用し、特に英語圏の文化・生活様式に触れつつ、言語コミュニケーションの基礎となるリスニングの強化と基本構文の定着を図る。毎回の振り返りにより、個々のつまづきを解消し、AIツール利用も含めた効果的な学修方法を身に付ける。必修科目の準備あるいは補強として、必修科目での学びの効果を高めることをねらう。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	英語コミュニケーション基礎B		国際共通語としての英語は、特にお互いの母語が使えない者同士の意思疎通には欠かせない基本的なコミュニケーションツールである。本講義では、国内や海外のさまざまな地域の空港、ホテル、観光地などで遭遇する異文化コミュニケーションに対応できる力を養う。「英語コミュニケーション基礎B」は特に英語圏の文化・生活様式を学びながら、場面や状況を想定した対話練習を通して、リスニング力・スピーキング力を鍛え、身振りや表情、AIツールも効果的に活用した異文化コミュニケーション力を鍛えることを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	韓国語コミュニケーション入門		本科目は、韓国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した、簡単なコミュニケーション活動を通して、韓国語の基本的なフレーズ・語彙・発音・文の組み立てを学ぶことを目的とする。韓国語の発音や文字を一から学びたい者は、まずはこの講義から始めるのが望ましい。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	韓国語コミュニケーション基礎		本科目は、韓国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した、簡単なコミュニケーション活動を通して、韓国語のフレーズ・語彙・発音・文の組み立てを学ぶことを目的とする。韓国語の発音や文字をある程度身に付けている履修者を想定し、「韓国語コミュニケーション入門」よりも幅広い話題や表現を扱えるようになることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	中国語コミュニケーション入門		中国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した、簡単なコミュニケーション活動を通して、基本的なフレーズ・語彙・発音・文の組み立てを学ぶことを目的とする。中国語の発音や文法を一から始めたい人向けの授業であり、秋学期の必修科目の準備としても活用できるものとする。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	中国語コミュニケーション基礎		中国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した簡単なコミュニケーション活動を行う。すぐに使える会話表現を練習しながら基本的な語彙・発音・文の組み立てを定着させることを目的とする。AIツールの利用も含めた効果的な学修方法を理解し、中国語で情報交換できる力を自分で鍛えていける力を身に付けることを目指す。春学期の必修科目での学びを補強・定着させるためにも活用できるものとする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	異文化コミュニケーション（英語）		国際共通語としての英語は、特にお互いの母語が使えない者同士の意思疎通には欠かせない基本的なコミュニケーションツールである。本講義では、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な異文化接触・多文化交流場面を想定した対話練習や、文化差や言語差によるミスコミュニケーションのケーススタディを通して、英語圏を含め、さまざまな文化背景を持つ人々と人間関係を築けるよう英語による異文化コミュニケーション力を鍛えることを目指す（非言語コミュニケーション・AIツールの効果的な活用も含む）。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	異文化コミュニケーション（韓国語）		海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、日韓交流場面を想定した対話練習を行い、韓国文化や生活様式についてグループワークを通して理解を深めることを目的とする。日韓の文化差によるミスコミュニケーションのケーススタディを通して、韓国文化を背景する人々と人間関係を築けるよう韓国語による異文化コミュニケーション力を鍛える（非言語コミュニケーション・AIツールの効果的な活用も含む）。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	異文化コミュニケーション（中国語）		海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、日中交流場面を想定した対話練習を行い、中国文化や中国のさまざまな地域の生活様式についてグループワークを通して理解を深めることを目的とする。日中の文化差や言語差（漢字の違いなど）によるミスコミュニケーションのケーススタディを通して、特に中国文化を背景する人々と人間関係を築けるよう中国語による異文化コミュニケーション力を鍛える（非言語コミュニケーション・AIツールの効果的な活用も含む）。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	国際語としての英語		国際共通語としての英語は、特にお互いの母語が使えない者同士の意思疎通には欠かせない基本的なコミュニケーションツールである。本科目では、異文化接触・多文化交流に関わる読み物や映像教材（ニュースやインタビュー、ドキュメンタリーなど）を通して、日本を含め世界各地でどのような人々がどのように英語を使っているかを学ぶことを目的とする。さまざまな英語に触れつつ、文化差や言語差によるミスコミュニケーションの実例を知り、異文化接触・多文化交流の場で英語を道具として使う土台を作ることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	国際語としての中国語		中国語は多くの人が第一言語として使用する言語であり、中国本土だけでなく、台湾、香港、シンガポールを含め、世界各地で10億人もの人々に使われている。本科目では、中国語が活躍する異文化交流場面を想定した対話練習を行い、中国本土や中華圏の文化や生活様式についてグループワークを通して理解を深めることを目的とする。さまざまな中国語に触れつつ、文化差や言語差によるミスコミュニケーションの実例を知り、異文化接触・多文化交流の場で中国語を道具として使う土台を作る場とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報入門	○	近年、Society5.0やDXといったキーワードを通じて情報技術が社会活動に取り組まれ学びや仕事の方法が徐々に変化している。さらに大規模言語モデルを利用したAI技術が大きく発展した結果、知識とは何か、といった根本的な問題についても考えさせられるようになっている。一方で、大学で学ぶべき専門知識やそれを社会に活かすための基本的なICTスキルを身に付けることは依然として重要であり、そのための学修の価値は変わっていない。 本科目では、大学生活や社会生活で必要となるパソコン、スマートフォン、インターネット、AIなどの情報利活用技術について、「みつける」、「まとめる」、「つたえる」の三つの力を通じ実践的に学ぶ。具体的には、パソコンの基本操作、電子メールや情報検索などウェブサービスの利活用、文書作成、表計算、プレゼンテーションスキル、タイピングスキル等を身に付けると同時に、演習を通じて情報の活用や表現の技法、情報倫理などを研究や学修を効果的に進めるための考え方や技能、すなわちアカデミック・リテラシーとして修得する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	プログラミング入門		コンピュータを思い通りに動作させるには、コンピュータへの命令を一つずつ順に記したプログラムを作成するが、その作業のことをプログラミングと呼ぶ。プログラムを作成する過程では、自分で問題を解決するための考え方やその手法や手順すなわちアルゴリズムを学修する必要がある。初学者を対象に、アルゴリズムの基礎とプログラミングの基本要素である変数、式、条件分岐、繰り返し、関数の概念などを学ぶことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報科学概論		コンピュータの仕組みや構成要素などのテクノロジとその社会における活用方法や事例、そして情報セキュリティ、情報倫理に関する内容について講義を行う。具体的には、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、電子メールやWWWなどのインターネットサービスやＬＡＮなどに関する知識の理解を目的とする。また、企業など組織の業務でコンピュータを利用する場合の情報システムの活用方法や事例、最新のテクノロジを講義で扱う。更に、情報セキュリティにおける脅威やリスク、対策と関係法令など情報社会のコンプライアンスに関する知識を扱う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報処理		Microsoftオフィスソフトを利用して「みつける」、「まとめる」、「つたえる」の３つの力を統合することを意識して学ぶ場とする。情報を収集し、分析・加工することにより、新たな情報を創出するとともに、分かりやすく表現するために必要な情報処理の基礎的な知識や技能をコンピュータを利用した演習形式で修得することを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報実践		表計算ソフトを実務で使いこなすための利用方法を学ぶ場とする。表計算ソフトでは、関数及びデータ分析ツールを用いた統計処理やデータベースとしての基本的な使い方を学ぶ場とする。「みつける」、「まとめる」、「つたえる」の３つの力を統合し発揮できるような演習を通じて、課題や目的に応じた情報スキルを適切に選んで活用し必要な情報を主体的に収集、判断、処理、伝達ができる能力と問題発見・問題解決の能力を身に付けることを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	会計リテラシー	○	会計の基本的な知識を得て、会計情報を理解し、会社のお金の流れを知り、その会社の状況と課題を理解し、それを自分の仕事に生かしていけるようになるのは、社会人であれば誰でも必要な基本的な能力である。本授業では、会計リテラシーを学修し、その役割さらにはアカウンタビリティの重要性を理解することで倫理観を養うとともに、事例から会計情報を入手し活用する能力を身に付け、ビジネス社会において活用するための実践的な学びへと誘う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	経理実務入門I		企業や個人事業で行われている経理・総務の実務を時系列に沿って解説し、実物の様式を用いて記入方法を学び、社会人になって役立つ経理、社会保険などの基礎知識を修得することを目的とする。簿記・会計の資格試験に合格することはキャリア形成のためには有効である。しかし、これに加えて実際の事例を理解し、その処理方法を学ぶことはキャリア形成に大変役立つと考える。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	経理実務入門II		企業や個人事業で行われている経理・総務の実務を時系列に沿って解説し、実物の様式を用いて記入方法を学び、社会人になって役立つ税務の基礎知識を修得することを目的とする。簿記・会計の資格試験に合格することはキャリア形成のためには有効である。しかし、これに加えて実際の事例を理解し、その処理方法を学ぶことはキャリア形成に大変役立つと考える。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	税務実務入門I		所得税は、個人の１年間に得た所得に対して課税される国税であり、法人税、消費税と並び我が国の租税収入の柱となるものである。しかし、本来一番身近であるはずの所得税では、給与所得者が多く、源泉徴収制度により課税が完結してしまうため、その全体像は案外知られていない。そこで、本科目では、各回の授業において税務の場で必要とされている税理士の仕事内容、税理士としての仕事上の経験やエピソードを踏まえて、所得税法の概要と10に分類されている各所得の内容と金額の計算から納税額までを計算するプロセスを講義し、キャリア形成に役立つ所得税の知識を修得する場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	税務実務入門II		税務とは収益や費用などを基に、企業が国に納付するべき税金を計算し、申告することであり、税務をしないと脱税容疑がかかってしまうので、上場・非上場を問わず、ほぼあらゆる企業において財務会計は行われている。本科目では税務の場で必要とされている、消費税及び相続税の納税義務の法律的な理解、およびその税額を計算するプロセスおよび具体的な方法、そして実際の申告のしかたを取り扱う。キャリア形成に役立つ税の知識を修得する場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	簿記特講		簿記とは、商品の取引など、企業における経済活動の動きを整理・記録するための手段であり、会社のお金の流れを理解できるようになるという点で、経理の業務を担当する人間だけではなく、社会人であれば誰にとっても役に立つスキルである。本科目では、簿記の基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けながら、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格することを目指すとともに、さらに上級へと学修できる能力を養うことを目標とする。授業は週2回行い、個々の実力に応じた指導をしていく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	生活と金融リテラシーI	○	豊かな人生を築いていくためには，自分自身の人生を設計するライフプランの存在が大きな役割を果たす。その達成のために、学生生活の早い段階で基本的なマネープランに関する基礎知識を修得し，あわせて倫理的理解の養成が必要となる。本科目では、これらを実践することで，人生に生かしていく能力を身に付けることを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	生活と金融リテラシーII		パーソナルファイナンスは、個人のライフデザインを土台にライフプランに方向づけられた個人と家計のファイナンスである。本科目「生活と金融リテラシーII」は、AFP（=2級FP技能士）水準を前提とし、パーソナルファイナンスに関する6科目のうち、ライフプランニング、タックスプランニング、金融資産運用設計の3科目を扱う。 残りの3科目は秋学期開講の「生活と金融リテラシーIII」で扱う。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	生活と金融リテラシーIII		パーソナルファイナンスは、個人のライフデザインを土台にライフプラン方向づけられた個人と家計のファイナンスである。本科目「生活と金融リテラシーIII」は、AFP（=2級FP技能士）水準を前提とし、パーソナルファイナンスに関する6科目のうち、リスク管理、不動産、相続・事業承継の3科目を扱う。残りの3科目は春学期開講の「生活と金融リテラシーII」で扱う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	キャリア入門		本科目では、自分自身が価値観や強みを大切にしつつ人生を歩むために、キャリア形成のための知識を身に付けることを目的とする。社会の現状を理解しつつ、自分の価値観や強みについて理解を深め成長するための方法、キャリア形成の理論の基礎を学ぶ場とする。大学生活の過ごし方についても考え、働く上でのトラブルを回避するために、ワークルールの基礎についても学ぶ場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	インターンシップ概論		本科目では、インターンシップ、オープンカンパニーについての理解を深め、就業体験を業界・企業研究、適職発見などに活かすためのポイントを学ぶことを目的とする。プログラムの発見、比較検討などの方法を学ぶ場とする。これらのプログラムに参加する際の目標設定や、実際に参加する際のマナーなどについても学ぶ場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	就業力実践		本科目は、自分自身が価値観や強みを大切にしながら人生を歩むために、自分自身の卒業後の進路について考えるとともに、実際の進路を選択するための知識やスキルを身に付けることを目的として実施する。具体的には、講義において、業界・企業研究、自己分析の知識やスキルを身に付け、使いこなせるようにすることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	健康管理	コーチング論		本科目は、なりたい自分に自分を導くセルフコーチングの技術を学び、心身の健康を管理するための能力を身に付けることを目的とする。健康の定義には、社会的にも満たされた状況が必要とされる。より良い社会性を身に付けるためのケーススタディを軸に、自身がどんな言葉や態度を持ってリードするのか、主体的に判断できる能力を獲得する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	健康管理	健康・スポーツ演習		本科目は、生涯にわたり自身の健康を管理するための基礎知識を学ぶとともに、実践及びその振り返りを通して、健康とスポーツの関連について理解を深めることを目的とする。また健康・スポーツ活動に内在する4つの経験(自己開示、他者協力、挑戦達成、楽しさ実感)を通じて、身体的な健康だけでなく精神的にも社会的にも自身を豊かにする能力を獲得する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	健康管理	健康科学		自身の健康、健康管理に関する理解を深めるために、特に以下の3つのテーマについて学ぶ。 1. 人生の質（QOL）について、2. 有酸素運動の効用について、3. 喫煙・飲酒・薬物・ゲームなどに共通する依存性について 現在と将来を健康に生きるための知識を科学的に考えることができるようになり、自分の考えやそのための方法をまとめられるようになることを目指す。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	グローバル	Extensive Reading & Listening		地球規模の諸問題および世界諸地域の言語文化に関する映像資料を主教材として、そうしたトピックについて背景知識を蓄えつつ、情報収集や議論を行うに十分な英語のリーディング力・リスニング力・語彙力を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Grammar in Use		ビジネスに関わる多文化コミュニケーション場面を想定し、背景知識を蓄えつつ、文脈の中で英語表現を学び、適切な構造とコミュニケーション・スタイルを身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Global Communication		ビジネスに関わる多文化コミュニケーション場面（英文報告書やメール、英語での打ち合わせや交渉、顧客対応など）を想定した演習を通じて、国際語としての英語を用いたグローバル・コミュニケーション力を鍛える。	
アドバンスト科目群	グローバル	Digital Communication		デジタル・コミュニケーションのための英語を実践を通じて鍛え、英語でのコミュニケーションの実例を通じて、AIツール利用を含むデジタル・リテラシーを身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Language & Culture		世界諸地域の言語文化をトピックとして様々な地域文化について学びながら、異質に思える生活行動やコミュニケーション・スタイルに遭遇した際、その背景を考え適切に解釈する力を身につけ、多文化コミュニケーション環境における柔軟な対応力の土台をつくる。同時に、様々な地域文化との比較を通して自文化への理解を深め、英語によるリサーチ・議論・発表・エッセイライティングの演習を通して、異文化を背景とする相手に客観的に説明できる力を鍛える。	
アドバンスト科目群	グローバル	Global Studies		英語での交換留学や国際貿易・海外マーケティングなどに関わるコミュニケーション場面で、地球規模の諸課題について英語を用いて建設的な議論ができる力を身につける。国際的な現象や国境を超えた出来事、地球環境問題、グローバル・ネットワークにまつわる課題などをトピックとして取り上げ、英語による演習を通じて、リサーチ・議論・発表・エッセイ・ライティングを行う力を鍛える。地球規模と地域規模の関係にも注目し、自文化を含めて様々な視点から物事を考える態度を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Academic English		英語での交換留学を想定し、現地の学生たちとともに、専門分野について文献を読み、議論し、リサーチや発表を行うのに十分なアカデミックな英語力を鍛える。専門的な分野についてのリーディング・ディスカッション・プレゼンテーション・レポート作成演習を通して、専門的な話題に対応できるアカデミックな語彙を強化し、伝わる文章・プレゼンテーションを作成するための文構造・論理構造・文章構成を身につけ、説得力のあるディスカッションのための論理的かつ批判的思考力を鍛える。	
アドバンスト科目群	グローバル	多文化ワークショップ		日本国内の異文化コミュニティでの交流やキャンパスでの多言語多文化交流の実体験、そしてホームステイ先や職場における多言語交流を想定したケース・スタディを通じて、多文化・多様性を肌で感じ、自分ごととして考える土台を作る。	
アドバンスト科目群	グローバル	地域研究A		国際関係を理解するために、日本の周辺地域としてのアジア・太平洋地域における文化と宗教について知り、その成り立ちについて、その時間的、空間的な変化とそれを超えた相似性を理解しておくことが必要である。この講義では、それぞれの文化と宗教を他地域と比較しながら、それらがどのように形作られ発展してきたのかを主な論点として解説する。また、写真を通してそれぞれの地域における文化と宗教の現状と課題について、関連する写真や新聞記事を通して考察する。	
アドバンスト科目群	グローバル	地域研究B		アジア諸地域の日本にとっての重要性を念頭におきながら、貧困問題を中心としてアジアの経済・社会について理解を深める。世界の貧困問題は、持続可能な開発目標（SDGs）にある17の目標の最初にあげられており、先進国、発展途上国すべてがその解決にむけて取り組むべき問題とされている。先進国、中進国、貧困国が含まれるアジア地域の経済・社会的な多様性を理解し、世界の貧困問題を考える力を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	多文化フィールドワークA		社会の中の異なる立場や視点を理解し、多文化、多様性の社会における課題について協働で検討できる力を身につける。まず、多文化共生社会を理解する上で有効なアプローチとなるフィールドワークという研究手法を学びながら、日本の多文化共生に関する社会情勢と在日外国人の現状を理解し、ソーシャル・デザインの視点から課題を考える。その上で、履修者自らの問題意識に即してグループごとに課題を設定し、フィールドワークを実践、成果報告を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	グローバル	多文化フィールドワークB		社会の中の異なる立場や視点を理解し、多文化、多様性の社会における課題について協働で検討できる力を身につける。多文化共生社会を理解する上で有効なアプローチとなるフィールドワークという研究手法を学びながら、日本国内の異文化コミュニティに赴いて日本で暮らす外国人の生活・ネットワーク・コミュニティの構造を文化人類学的視点から探る。その上で、履修者自らの問題意識に即してグループごとに課題を設定し、フィールドワークを実践、成果報告を行う。	
アドバンスト科目群	グローバル	ビジネス中国語		主にビジネスの場面での中国語でのコミュニケーションを想定し、中国事情や中国人のコミュニケーション・スタイルについての知識も身につけながら、実践的な演習を通じて中国語でのコミュニケーション力を鍛える。様々なコミュニケーション場面について、関連するやりとりの実例や中国事情を示す映像資料を利用して、会話や文書でのコミュニケーション実践練習を行う。経済・環境・テクノロジー・社会活動など、より広い領域の話題について中国語でコミュニケーションが会話が行えるよう、語彙力を強化し文法の知識を高める。	
アドバンスト科目群	グローバル	実用中国語		中国語圏での交換留学を想定し、留学先の生活・文化や中国人のコミュニケーション・スタイルについての知識も身につけながら、現地で有意義な学生生活を送るのに必要になるコミュニケーション力を鍛える。留学先の授業や課題に関するコミュニケーション場面や、様々な地域からの留学生や留学先の人々とのコミュニケーション場面を取り上げ、語彙力を強化し文法の知識を高めながら、実践的な演習を通じて、実用的な中国語力（読む・聞く・話す・対話する・書く）を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	海外短期文化研修I		本学で提供している短期の海外研修に参加し、研修先の生活環境の中に身を置き、言語力も含めた異文化コミュニケーション力を実践の中で養う。その地域の言語コミュニケーション・文化・生活様式・歴史的背景について、実体験を通して理解を深め、比較を通して自文化を客観的に見る視点を獲得する。I, II は別の研修先を選ぶこと。	集中
アドバンスト科目群	グローバル	海外短期文化研修II		本学で提供している短期の海外研修に参加し、研修先の生活環境の中に身を置き、言語力も含めた異文化コミュニケーション力を実践の中で養う。その地域の言語コミュニケーション・文化・生活様式・歴史的背景について、実体験を通して理解を深め、比較を通して自文化を客観的に見る視点を獲得する。I, II は別の研修先を選ぶこと。	集中
アドバンスト科目群	グローバル	海外長期文化研修I		本学で提供している1学期間の海外研修に参加し、研修先の生活環境の中で言語力も含めた異文化コミュニケーション力を向上させつつ、現地学生とともに専門分野の講義を受講し、アカデミックな場面での言語コミュニケーション力や他文化での協働力を鍛える。その地域の言語コミュニケーション・文化・生活様式・歴史的背景について、現地での生活体験や講義での調査・発表を通して理解を深め、自他文化について客観的に比較対照し、説明できる力、ミスコミュニケーションを解決できる力を身につける。	集中
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	AI概論		この科目では、AIの起源や進化、主要な技術の概要を学ぶ。講義では、機械学習、深層学習、自然言語処理、コンピュータビジョンなど、AIの主要な分野の基本的な原理とその応用について解説する。また、AIの倫理や社会的影響、法律的な側面についても議論する。この科目を修得することで、AIの基本的な概念や応用分野についての理解を深め、AIが現代社会に及ぼす影響や可能性について考える能力を身につけることが期待される。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	社会科学のための情報学特論		この科目では、社会科学の観点から情報やデータサイエンスの応用について学ぶ。講義では、担当する教員がそれぞれの専門分野から最新の研究成果や実践事例を紹介し、学生に新たな知見や考える機会を提供する。この科目を修得することで、社会科学の分野において情報・データサイエンスの知識がどのように活用されているか理解を深め、学生自らのキャリアや研究の可能性について視野を広げることが期待される。 第1回 2 田原 慎二 社会科学と情報・データサイエンス 第2回 95 小野 聡 地域の計画におけるシミュレーションとゲーミング 第3回 20 大矢野 潤 データビジュアライゼーション 第4回 26 久保 誠 プログラミング方法論 第5回 25 久保 裕也 ウェブ情報学・サービス情報学 第6回 43 寺野 隆雄 AIの社会応用 第7回 41 出口 弘 会計と情報 第8回 44 仲野 友樹 企業における情報システムの活用 第9回 48 平原 隆史 ネットワークで見る社会と人間 第10回 51 宮田 大輔 母関数と数え上げプログラミング 第11回 50 箕原 辰夫 計算機システム 第12回 58 渡辺 恭人 地理位置情報システムの利活用 第13回 2 田原 慎二 経済学におけるデータ分析	オムニバス
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンス実践		この科目では、多変量解析、時系列解析、クラスタリング、次元削減、画像処理、自然言語解析などのデータ分析の実践について学ぶ。講義では、Pythonなどのプログラミング言語のデータ分析ライブラリを活用して、データセットの操作、モデリング、評価を行う。また、機械学習アルゴリズムの適用やモデルの評価方法についても学ぶ。これらの学修を通じて、実際のデータに対してデータサイエンスの手法を適用し、問題の発見や解決などデータサイエンスの実践的な力を養うことが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスのための数学		この科目では、線形代数、微積分、確率、初歩的な集合論などの内容を詳細に説明し、データサイエンスに必要となる数学的なアプローチについて学ぶ。講義では、線形代数、微分積分、確率、集合論、アルゴリズムなどについて学び、数学的なモデルを構築する能力を養う。この科目を修得することで、データの解釈やモデリングにあたり数学的な思考を用いながら行う能力を身につけることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスのためのプログラミングI		この科目では、Pythonなどのプログラミング言語を取り上げて、基本的な文法や構文（変数、条件分岐、ループなど）、関数の定義と呼び出し、データ構造、アルゴリズム、モジュール、入力と出力、エラーハンドリング、オブジェクト指向などのプログラミングの基礎について学ぶ。この科目を修得することで、基本的なプログラミングスキルを習得し、データサイエンスの分野への基礎を築くことが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスのためのプログラミングII		この科目では、初歩的なプログラミング知識を身に付けた学生を対象として、データ処理・分析によく用いられるライブラリの活用法や、データのクレンジング、変換、集計、統合などの実践的なデータ処理技術を習得することを目指す。さらに、データの可視化の手法についても学び、グラフ作成や基本的な統計解析手法を身に付ける。この科目を修得することで、データサイエンスにおける基礎的なデータ処理スキルを身につけることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データ活用の統計学実践		この科目では、統計学の基本的な概念や手法を理解することを目指す。講義では、確率の基礎、確率分布、仮説検定、データの相関、回帰分析、多変量解析、時系列分析、ベイズ統計学など、データサイエンスのために必要となる統計学の基本的なトピックをカバーする。この科目を修得することで、データの分析やモデリングにあたって統計学を活用するための統計学の基礎的な知識を身につけることが期待される。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスプロジェクトI		「データサイエンスプロジェクトI・II」では、実際のデータサイエンスプロジェクトに取り組む。学生は自身の興味や関心のあるテーマを選び、データの収集、前処理、可視化、モデリング、評価などの一連のプロセスを実践する。「データサイエンスプロジェクトI」では、目的の設定、データの作成／探索、手法の選定の仕方などを学び、実際に自分の研究方針を決定することを行う。講義はゼミナール科目群形式として、教員や他の学生とのディスカッションやフィードバックが行われ、プロジェクトの進捗や結果の報告を行う。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスプロジェクトII		「データサイエンスプロジェクトI・II」では、実際のデータサイエンスプロジェクトに取り組む。学生は自身の興味や関心のあるテーマを選び、データの収集、前処理、可視化、モデリング、評価などの一連のプロセスを実践する。「データサイエンスプロジェクトII」では、成果として研究発表の機会を設けることで、学術的なプレゼンテーションスキル、自身の研究成果を広く発信する力を養う。この科目を通じて、実践的なデータサイエンスのスキルを磨き、プロジェクトの遂行能力やそれ広く発信する力を身に付けることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	統計システム開発実習I		「統計システム開発実習I・II」では、システム開発を体験するためのPBL（Project Based Learning）に取り組む。このうち「統計システム開発実習I」では、導入としてソフトウェアの受託開発の業務の流れを模擬的に体験できるワークショップを実施する。次に、このワークショップの振り返りを通じて、なぜ、どのように業務が「失敗」するのかを検討し、アジャイルなどのソフトウェア開発作法を用いる際の要点を理解する。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	統計システム開発実習II		「統計システム開発実習I・II」では、システム開発を体験するためのPBL（Project Based Learning）に取り組む。このうち「統計システム開発実習II」こでは、少人数でのグループワークとして、情報通信系の企業などで実務に関わっている社会人から提示されたテーマをもとに、限定的な規模での受託開発業務に実際に取り組む。納品をし検収を受けた結果をもとに、最終課題として成果発表会を行う。	
アドバンスト科目群	キャリア	CSR経営論		今日の消費者や投資家は、企業が自社の経済的利益を追求するだけでなく、社会的責任（CSR）を果たすことを求めている。当講義では企業のCSR経営の概要や必要とされる背景、課題、CSRの国際規格である「ISO26000」の内容などについて分かりやすく説明する。また、企業のSDGsへの取組みも含め実例紹介をしながら履修者に今後の企業の在り方や姿勢をディスカッションを交え考える。	
アドバンスト科目群	キャリア	イノベーション実践A		企業、自治体、社会で活躍するビジネスパーソンなどが事業創造、商品企画、広告・PR戦略、地方振興などに関する企画提案の課題を出し、それにグループで取り組み、企画提案をするワークショップ形式の科目である。	
アドバンスト科目群	キャリア	イノベーション実践B		企業、自治体、社会で活躍するビジネスパーソンなどが事業創造、商品企画、広告・PR戦略、地方振興などに関する企画提案の課題を出し、それにグループで取り組み、企画提案をするワークショップ形式の科目である。「イノベーション実践A」とは科目の構成は同じだが、異なる組織から課題が出題される。	
アドバンスト科目群	キャリア	キャリア形成論		大学生は目先の問題である就職先について考えることが多いが、それはキャリアの第一歩に過ぎない。そこから出発して、いかに自分のキャリアを育て、経験やスキルを蓄積して、5年後の自分、10年後の自分を確立していく意識を持ち、そしてそのための実践が必要であることを意識する必要がある。本講義では、キャリア形成の理論に対する体系的な学びを提供する。主要なキャリア形成の理論を身に付けつつ、その理論を活かした上で、自身のキャリアプラン、アクションプランを立てることを目標とする。	
アドバンスト科目群	キャリア	仕事の意思決定		われわれはビジネスの世界で生活している際、何らかの意思決定を迫られるときがあり、その決定が大きな岐路をもたらすこともある。ビジネス、危機管理、個人の人生などにおける意思決定の場面について、ケースディスカッションを行い、どのような意思決定をするべきかを考える。その際、それぞれの選択肢を理論的に分析する能力が必要となるので、そのために、意思決定のための理論も同時に提供していく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	キャリア	ディーセント・ワーク論		本科目では「まっとうな仕事、働き方」について考察を深める。労働をめぐるヒューマンライツ、ダイバーシティの推進、ワークルール、労働とジェンダーなどについて理解を深める。現代社会の労働と人権をめぐる最新事情を学ぶ。学生時代のアルバイトにおいて、卒業後の社会においてまっとうな働き方ができるように理解を深める。	
アドバンスト科目群	キャリア	ライフヒストリー研究		様々な人物のライフヒストリーについて書籍や映像をもとに確認し、読み解く。ライフヒストリーをもとにディスカッションも行う。キャリア形成に関して理解を深めるとともに、ロールモデルと出会う機会とする。	
アドバンスト科目群	キャリア	業界・企業研究A （IT、金融ビジネス）		本科目では、IT・金融ビジネスを中心に企業活動の最新事情について学ぶ。業界構造、ビジネスモデルを学んだ上で、最新のトピックス、各企業のポジショニングなどを学ぶ。ケーススタディ、実務家による講演なども盛り込む。	
アドバンスト科目群	キャリア	業界・企業研究B （ホスピタリティ領域、グローバル領域）		本科目では、旅行・ホテル・運輸などを中心としたホスピタリティ領域、商社、メーカーなどを中心としたグローバルビジネスに関して企業活動の最新事情について学ぶ。業界構造、ビジネスモデルを学んだ上で、最新のトピックス、各企業のポジショニングなどを学ぶ。ケーススタディ、実務家による講演なども盛り込む。	
アドバンスト科目群	キャリア	社会実践論		社会で活躍する様々な分野のビジネスパーソンを招き、これまでのキャリア形成や、現在の仕事について講演を聞く。本学の卒業生を招聘することもある。登壇者の業界・企業やプロフィールについて事前に予習する。事前・事後にグループディスカッションにより、内容に関する理解を深める。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養A		数的処理のうち数的推理と資料解釈について詳説する。例題を用いて数的推理と資料解釈の基本的な出題パターンを扱い演習問題を繰り返し解くことで、速く正確に計算する技能を修得することができる。さらに、定期的に演習をおこない実践的な問題を集中して解くことにより数的推理と資料解釈に関する理解が深まる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養B		政治・経済・社会について詳説する。演習問題を繰り返し解くことで、政治・経済・社会に関する履修者の知識を深める。社会人として持ちうるべき、政治・経済・社会に関する知識と思考力を修得することができる。履修者が、日本における政治・経済・社会に関わる問題に関心持ち、内容を把握して、自ら考えることができるようになる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養C		文章理解（現代文）について詳説する。現代文はあらゆる学問の基礎にあり、その強化は理解力やコミュニケーション能力の向上につながると期待できる。また、論作文とその書き方も教える。社会人になると、計画書や報告書などを書く機会があるが、論作文について学ぶことは文章を構成する上で役立つと期待できる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養D		数的処理のうち判断推理と図形について詳説する。例題を用いて判断推理と図形の基本的な出題パターンを扱い演習問題を繰り返し解くことで、速く正確に計算する技能を修得することができる。さらに、定期的に演習をおこない実践的な問題を集中して解くことにより判断推理と図形に関する理解が深まる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養E		日本史、世界史、および地理について詳説する。演習問題を繰り返し解くことで、日本史、世界史、地理に関する履修者の知識を深める。歴史的な見地から日本、そして世界を俯瞰することで、日本のあるべき形や自身のアイデンティティを考える機会を学生に与える。地理を学ぶことで今ある世界、そして未来の形について考えることができるようになる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養F		文章理解（英文）と自然科学（生物・地学）について詳説する。演習問題を繰り返し解くことでこれらの分野の知識を深める。履修者の英語力が養われれば、国際性を高めることができる。また、生物、地学に関する教養としての知識を修得することができる。学生が生物、地学に興味を持ち、自分なりに考えることができるようになる。	
専門科目群	学部入門科目	経済入門	○	本科目では、経済学科における学びを始めるにあたり必要となる、経済に関する基本的な知識を提供する。具体的には、経済の仕組み、現代経済の主要なトピック、経済学の基本的な内容などについて学ぶ。講義ではまず実生活における経済的な事象や現象を理解するためのフレームワークを提供する。そして、所得分配、経済政策、国際経済、経済成長など、現代の経済における主要な話題についても紹介する。また、経済学への導入として、マクロ経済の動向、企業の意思決定、市場の動きなどについても学ぶ。	
専門科目群	学部入門科目	データ分析入門	○	本科目では、経済をデータに基づいて分析するにあたり必要となる、統計学、数学、経済統計の基本的な内容について学ぶ。具体的な内容としては、統計学は記述統計、数学は経済学を学ぶにあたり必要な中学・高校数学の復習、経済統計はGDP、物価指数、失業率などの基本的な経済指標などを学ぶ。また、EBPMの基礎となる因果推論についても基本的な考え方を学ぶ。	
専門科目群	学部入門科目	ミクロ経済学I	○	本科目では、ミクロ経済学に関する入門的な内容を扱い、ミクロ経済の分析やミクロ経済に関する問題を理解するために必要な基礎知識を学ぶ。まず、ミクロ経済の基礎である市場メカニズムの理論を学ぶ。市場経済を構成する消費者と生産者の需要・供給を理解し、そして経済主体の行動や市場経済の働きの分析を通じて、経済理論の基本的な考え方を身に付けることができるようにする。また、入門的な内容からどのように現実の経済問題の分析へ応用できるか、できるだけ身近な経済問題を取り上げ、ミクロ経済学の考え方に基づいて、経済問題に対する思考能力を養成する。	
専門科目群	学部入門科目	マクロ経済学I	○	本科目では、マクロ経済学に関する入門的な内容を扱い、マクロ経済の分析やマクロ経済に関する問題を理解するために必要な基礎知識を学ぶ。まず、GDPや物価、失業率といった重要な経済指標を扱い、それらの測定方法や意義について学ぶ。次に、需要と供給といったマクロ経済の基本概念について扱う。本科目を履修することで、マクロ経済に関する指標から経済全体の動向を理解し、経済問題に対して批判的な思考を養成することが期待される。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	ミクロ経済学II	○	本科目では、「ミクロ経済学I」の続きとして、入門レベルの内容を理解した履修者を対象に、さらに深く理解することを目指す。消費者や生産者は、効用や利潤を最大化するべく、さまざまな行動を行う。経済主体における個々の行動を学ぶことにより、市場メカニズムを通して財やサービスや生産要素がどのように配分されるのかを学ぶ。本科目を履修することで、より高度なミクロ経済学の知識を身に付け、経済学的な分析能力を高め、経済の複雑な相互関係を解する力を養成する。	経政、経デ、ビ経
専門科目群	経済理論・経済政策領域	マクロ経済学II	○	本科目では、「マクロ経済学I」の続きとして、入門レベルの内容を理解した履修者を対象に、さらに深く理解することを目指す。まずはマクロ経済学の基本モデルであるケインズ経済学に基づいて議論する。そして、貨幣市場の分析や所得の決定要因について学ぶ。また、財政政策や金融政策の効果や限界など、マクロ経済学の重要なテーマを取り上げる。さらに、現実の経済問題への対応についても学ぶ。本科目を履修することで、より高度なマクロ経済学の知識を身に付け、経済現象をより深く理解することが期待される。	経政、経デ、ビ経

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済理論・経済政策領域	ミクロ経済学III		社会には無数の人々が存在し、さまざまな組織や機構が形成されている。それらが相互依存しつつ複雑に関連している経済活動も、全体としては秩序が保たれているように見える。このような個人と全体との経済秩序を保つメカニズムを解明することが、本科目の目的である。講義では、一般均衡理論を中心に解説を行う。競争市場において消費者や生産者はどのように行動するのか、競争市場の基本的な性質とは何か学ぶ。講義の後半では、種々の経済制度の性質を明らかにした上で、制度の理論的な比較分析を行う。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	マクロ経済学III		本科目では、「マクロ経済学II」の続きとして、より発展的な内容を扱う。まず、長期的な経済成長と技術進歩の関係性などを扱い、経済成長モデルを用いた経済発展の要因を分析し、現代のグローバルな経済状況を理解するための知識を深める。次に、消費や投資に関する経済理論を通じて、実社会をどのように説明できるかについて学ぶ。 本科目を履修することで、より高度なマクロ経済学の知識を身に付け、経済現象の分析と将来の展望について洞察力を養成することが期待される。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	経済数学		本科目では、経済学を学ぶ上で必要となる数学の基礎を学ぶ。具体的には、集合、関数、グラフなどの基本的な数学概念を学んだ上で、方程式の解法、最適化問題の解法、級数、対数・指数関数の扱い、平均・分散などの入門レベルの統計数学を学ぶ。経済学の中で数学が具体的にどう使われているかを例題として扱う。経済学の各分野の入門レベルの教科書を読むときに困らない程度の数学の素養を修得することを目標とする。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	ゲーム理論	○	複数の意思決定主体が存在する状況はゲームと呼ばれる。本科目の目的は、複数の主体が相互に依存しているゲームの状態でどのような現象が起こるのかを理論的に解明することである。1人の意思決定問題から分析を始め、戦略形ゲームやベイジアンゲーム、提携形ゲームを扱う。理論的な側面を中心に解説する予定であるが、オークションや保険契約の問題、割り当てゲームや節電ゲームなど定期的に応用例を紹介し、どのようにゲーム理論が実社会で活用されているのかについても解説する。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	行動経済学	○	多くの経済理論が依拠してきた消費者や生産者が利己的かつ合理的に行動するという仮定の妥当性を検証するとともに、人間の行動に内在するバイアスのメカニズムを明らかにしようとするのが行動経済学という分野である。本科目では、主に不確実性下の行動に関するプロスペクト理論、時間を通じた行動に関する双曲割引の理論、および他者への感情を考慮した社会的選好の理論について解説する。また、こうした知見を踏まえた上で、社会的厚生を改善しようとする規範的分析にも焦点を当て、本人の自由を損なわない範囲で行動変容を促そうとするナッジや、負担の増加を通じて半強制的に行動変容を促そうとする悪行税（害悪税）についても解説する。	経デ、ビ経
専門科目群	経済理論・経済政策領域	経済シミュレーション	○	本科目では、一国の経済の長期的な趨勢・成長についての理論とシミュレーションの手法を学修する。いわゆる動学的な経済学と呼ばれる分野を中心に扱う。講義の前半では、ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎的なモデルについて簡単に触れ、経済モデルや経済成長とは何かについて議論する。講義の後半では、前半で学修した理論モデルのシミュレーション分析を演習形式で行う。講義はシミュレーション分析が初めての履修者にも分かるように行われる。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	経済政策論I	○	経済政策とは、総じて言えば、経済をより良い方向に導くために行われる政策である。本科目では、ミクロ経済学の視点から経済政策に取り組む。本科目では、なぜ政府による政策が必要なのかという問題意識のもと、政府が市場に介入する必要性を明らかにする。内容としては、政府介入による競争市場への影響、自由貿易と保護貿易の効果、産業政策、所得再分配政策などについて取り上げる。	経政
専門科目群	経済理論・経済政策領域	経済政策論II	○	経済政策とは、総じて言えば、経済をより良い方向に導くために行われる政策である。本科目では、マクロ経済学の視点から経済政策に取り組む。財政政策、金融政策などのマクロ経済政策の効果は、経済成長、経済の安定化などといった形で表れる。本科目では、まずそれらのメカニズムを理論的に明らかにした上で、具体的な事例なども取り上げながら、経済政策について解説する。	経政

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済理論・経済政策領域	財政学I	○	本科目では、財政学の領域全般について理論と制度の両面から教える。理論的には、最適な資源配分・所得再分配・経済の安定化の機能、財政民主主義下の予算の意義、財源調達などの租税の役割、租税負担の公平な配分、租税の余剰分析、公債負担論、経費の経済学をテーマとする。制度的には、日本の財政概況、予算制度、所得税や消費税、国債制度、超高齢社会における社会保障制度をテーマとする。目的は、財政に関する基礎的な知識を身に付けることである。	経政
専門科目群	経済理論・経済政策領域	財政学II	○	本科目では、租税について理論と制度の両面から教える。理論的には、財源調達・所得再分配・経済の安定化の機能、アダム･スミスとワグナーの租税原則、租税の公平と効率、転嫁と帰着、最適課税、ピグー税をテーマとする。制度的には、所得税の仕組みと課税漏れ問題、法人税の仕組みと所得税との二重課税問題、消費税の仕組みと逆進性などの問題、相続税や贈与税と今後のあり方、日本の環境対策税、国際課税をテーマとする。目的は、租税に関する基礎的な知識を身に付けることである。	経政
専門科目群	経済理論・経済政策領域	地方財政論	○	本科目では、地方自治体の財政ついて理論と制度の観点から教える。理論的には、地方財政の機能、予算の意義と予算原則、地方税の機能と原則、地方交付税・国庫支出金の機能、地方債の発行と世代間の負担の公平、地方歳出の構造と財政の硬直化をテーマとする。制度的には、予算の循環過程、地方税の分類と仕組み、地方交付税・国庫支出金・地方債の仕組み、土木費や教育費などの歳出、財政診断をテーマとする。目的は、地方財政に関する基礎的な知識を身に付けることである。	経政
専門科目群	経済理論・経済政策領域	公共経済学I	○	政府や地方公共団体といった公共部門の活動を経済学の観点から研究するのが公共経済学という分野である。本科目では、市場経済に対する政府介入の根拠となる市場の失敗の概念を中心に解説した上で、特に公共財と外部性について掘り下げる。公共財については、純粋公共財の構成要件である非競合性と非排除性、その効率的供給に関するサミュエルソン条件、および自発的供給の際に生じるフリーライダー問題について解説する。外部性については、正の外部性と負の外部性、政府が補助金や課税といった手法で外部性に対応しようとするピグー的対処法、および当事者間の交渉に委ねようとするコース的対処法について解説する。	経政、経デ
専門科目群	経済理論・経済政策領域	公共経済学II	○	本科目では、公共部門の活動のうち、財源調達手段としての租税、および租税と給付を組み合わせた所得再分配に焦点を当てる。租税については、資源配分に歪みを与えない一括税、特定の財の消費量や生産量に課税する物品税、および所得を課税ベースとする所得税について解説する。所得再分配については、生活に必要な最低限の所得を確保しようとする最低所得保障、それがもたらす労働供給の歪みを緩和しようとする負の所得税、およびそれらを評価する枠組みとしての社会厚生関数について解説する。	経政、経デ
専門科目群	経済理論・経済政策領域	公共選択論		公共部門の選択に関わる投票者、利益団体、政治家、官僚といった行為主体の行動に焦点を当て、経済学の手法を用いて主に事実解明的分析を行うのが公共選択論という分野である。本科目では、中位投票者定理と投票のパラドックス、政治家の得票最大化行動と利益団体のレントシーキングがもたらす政策選択の歪み、および官僚の予算最大化仮説について解説する。また、こうした知見を踏まえた上で、政府の失敗を是正しようとする規範的分析にも焦点を当て、憲法や基本法の制定を通じてこうした問題に対処しようとする立憲的アプローチについても解説する。	
専門科目群	経済理論・経済政策領域	環境経済学	○	本科目では、これまでに起こった（起こっている）環境問題を素材にして、何故環境を破壊するような経済活動が行われるのか、それを是正するためにはどのような政策が必要かを検討する。経済学の基本的なツールを用いるが、ミクロ経済学の応用として環境問題を扱うことを中心とするのではなく、環境問題の事例から原因・対応策（主たる政策手段・枠組み）を検討することを重視する。	経政

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	産業組織論I	○	本科目では、市場における企業行動についてミクロ経済学的な手法を用いて分析し、学びを深める。企業は市場において、利潤最大化を目的として、価格戦略、製品戦略、市場参入や合併といったさまざまな行動を行う。こうした一連の行動は、市場競争を促し、ひいては人々の生活の豊かさにも影響を及ぼすものである。ただし、産業に応じて政府が市場に関与することで、効率・公正な市場取引が行われることから公的部門の関与も欠かせないものである。本科目ではミクロ経済学の理論（完全競争市場、独占市場）的な側面を踏まえつつ、産業の組織構造や企業の経営戦略、政府の競争政策を分析する。これによって、ニュースや新聞等で報道されるさまざまな企業の行動を学び、企業行動や競争政策における問題を発見し、解決策を導き出す力を養成する。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	産業組織論II	○	本科目では、市場における企業行動についてミクロ経済学的な手法を用いて分析し、学びを深める。企業は市場において、利潤最大化を目的として、価格戦略、製品戦略、市場参入や合併といったさまざまな行動を行う。こうした一連の行動は、市場競争を促し、ひいては人々の生活の豊かさにも影響を及ぼすものである。ただし、産業に応じて政府が市場に関与することで、効率・公正な市場取引が行われることから公的部門の関与も欠かせないものである。本科目ではミクロ経済学の理論（完全競争、独占）的な側面をより発展させ、寡占市場などのより広範な学びを行う。その中では公的部門の企業や市場への関りについても触れることで企業の取り巻く状況について理解を深める。これによって、ニュースや新聞等で報道されるさまざまな企業の行動を学び、企業行動や競争政策における問題を発見し、解決策を導き出す力を養成する。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	産業政策論I	○	本科目では、産業政策とは何か、具体的な政策のあり方とその効果はいかなるものであったか、第二次世界大戦後の日本の産業政策を対象として、産業政策の実態を教える。また、経済安全保障や国家戦略としてIT政策などを手掛かりに、これからの産業政策の必要性、手法も触れながら、PPP（Public Private Partnership：官民連携）やミッション志向、起業家国家の産業政策などの産業政策の新機軸などについても解説する。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	産業政策論II	○	本科目では、重要な戦略産業分野における産業政策のあり方について、1970年代以降の重要政策・プロジェクトを対象として、意義・効果・実態を教える。1990年代以降の社会インフラとして重要性を高め、他の諸産業や社会・経済の基盤となる情報通信(IT)分野を中心に、日米における政策動向を比較しながら、今後の産業政策のあり方について考えるための理論・フレームなどを解説する。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	企業経済学	○	本科目では、経済活動における株式会社など「企業」の役割に注目し、現代経済社会における企業のあるべき姿や企業社会のあり方について学ぶ。株式会社における経営者と株主の関係や、投資家、従業員、取引先、地域社会など幅広いステークホルダーとあるべき関係をコーポレート・ガバナンス（企業統治）の視点などから考える。「貪欲な資本主義」への反省から、米国などで生まれつつある新しい形の非営利型企業体などについても検証する。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	労働経済学I	○	本科目の前半では、労働の基礎について学ぶ。労働法や非正規雇用問題、雇用保険、生活保護制度などのごく概略を紹介しつつ、履修者の質問に答える形で基礎知識を供給する。後半では、失業について扱う。特になぜ日本の失業率は国際的に低いのかの検討を通して、日本労働市場の諸特徴を生む法制度のいくつかを紹介する。またなぜ若者の失業率は他の年齢に比べて高いのかの検討を通して、人的資本理論や内部労働市場論、インサイダーアウトサイダー理論を紹介する。	経政

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	労働経済学II	○	本科目では、ミクロ経済理論を労働市場、労働力・労働サービスに応用する。そのことを通して、賃金格差や失業・長時間労働の問題を、市場需給的な見方で理解する能力を身に付けることを目指す。労働供給(労働者側)、労働需要(企業側)、雇用・失業・労働時間(取引される労働量)、賃金・賃金格差(労働の単価)について、ミクロ経済理論を応用し、それぞれの現状や特徴、また労働サービスは生産物(製品)というより生産要素(材料)としての性質が強いことから派生する特性や、人特有のさまざまな問題・法制度等も考慮する。	経政
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	医療経済学	○	本科目では、履修者が健康・医療・介護に関連する各種の市場の仕組みと課題を理解した上で、自分自身で考える力を修得することを目的とする。また、ミクロ経済学やマクロ経済学の応用分野として講義を実施する。これらの市場では多くの規制が実施され、所得再分配との関わりも大きいため、制度設計が重要な役割を果たす。具体的には、医療需要、医療供給、医療サービス市場、公定価格制度、不確実性と情報の非対称性、公的医療保険、高齢化と医療費増加要因、国際比較、医療技術の費用便益、予防、医薬品の研究開発、医師・看護師などの労働市場、地域医療制度、介護保険制度などを取り上げる。	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	ビジネスエコノミクス	○	本科目では、最近の動向を踏まえながら「経営の経済学」をテーマに、経営の全般的なトピックスについて、ミクロ経済学の応用という立場から体系的に学ぶ。具体的には、市場における競争相手とパートナー、サプライヤー、最終消費者の関係についてや，ゲーム理論の基礎的な概念と考え方をもとに、企業による価格、製品、流通・マーケティング、サプライチェーン、プラットフォームをめぐる意思決定について解説する。最新のビジネス動向を念頭に、AI・IoT・ビッグデータ活用やネットビジネス、サブスクリプションなどのビジネスモデルについても扱う。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	交通経済学I	○	本科目では、交通市場における企業、家計、政府の行動についてミクロ経済学的な手法を用いて分析し、学びを深める。交通は人々の生活に欠かせないものであるが、経済学的な見地から見てみると、特殊な特性を持つ。それゆえに、交通市場は公的部門による規制が行われてきた。現在では、公的部門の規制も緩やかなものとなり、交通市場にも変化が生じている。本講義では、交通の特性を理解しつつ、経済学的な見地からの考察、特に規制（経済的規制や社会的規制）とその具体的な内容について学ぶ。	経デ、ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	交通経済学II	○	本科目では、交通市場における企業、家計、政府の行動についてミクロ経済学的な手法を用いて分析し、学びを深める。交通は人々の生活に欠かせないものであるが、経済学的な見地から見てみると、特殊な特性を持つ。それゆえに、交通市場は公的部門による規制が行われてきた。現在では、公的部門の規制も緩やかなものとなり、交通市場にも変化が生じている。本講義では、交通の特性を理解しつつ、経済学的な見地からの考察、特に規制による人々の生活への影響について学びを深める。LCC（低費用航空会社）の登場による航空市場競争の変化や地方における鉄道路線の廃線などの例を紹介しつつ、交通市場の変化を理解する。	経デ、ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	都市経済学	○	本科目では、都市経済学の基礎的な内容について学ぶ。具体的には、都市の存在理由や都市規模の決定、都市内部での土地利用形態、土地・住宅市場と政策介入の効果について学ぶ。途中、ミクロ経済学や金融論の知識が必要になるので、適宜、復習を兼ねて解説を行う。ミクロ経済学を中心に、他の経済学の基礎科目で学んだ内容が応用科目にどのように活かされているかを感じられるようにする。現実の都市問題に対して、分析的な視点をもてるようになることを目標とする。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	地域経済論I	○	本科目では、地域経済とは何か、RESASなどのデータなどを活用しながら、具体的な地域を対象として、その特徴や課題、発展の可能性などを考える手法を教える。また、経済安全保障やSDGs、脱炭素などの国家的な政策の流れと関連して、個別の地域がどのように持続性を高めていくのか、具体的な取組などを解説しながら、あるべき地方経済の活性化策について解説する。	ビ経

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	地域経済論II	○	本科目では、具体的な地域経済の活性化に向けた政策・事業等の事例を用いて、現実的・実践的な地域経済の活性化方策について教える。ビッグデータや公表資料、Jstat-map、RESAS、地域みらいカルテなどのEBPMのツールを活用し、データによる地域経済の見える化やその現状を踏まえた活性化方策、それらの方策を実現するためのプロセス、条件などについて解説する。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	GIS入門	○	本科目では、地域分析の手法の1つであるGIS（地理情報システム）の基本的な操作を学ぶ。GISは対象物に位置情報を付与することで、地域に存在する人口や施設などの対象物をデジタルの地図で描写することを可能とする、位置に関するさまざまな情報を持ったデータを電子的な地図上で扱う情報システム技術である。位置に関する複数のデータを地図上で重ね合わせ、視覚的に判読しやすい状態で表示できるため、高度な分析や、分析結果の共有・管理もしやすくなる。講義ではGISに関わるアプリケーションソフトの操作技法の修得のみならず、データの入手やその加工等の空間データの扱い方を学ぶ。一連の内容を通して、履修者が産業や人口などの対象物の空間的な差異を明らかにし、簡単な地域分析をGISを通して行えるようになることを目標とする。	経デ
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	国際経済学I	○	本科目では、国際経済学の中で特に貿易論の内容を扱う。国間の分業・貿易のパターンがどのように決まるか、自由貿易は各国に利益をもたらすか、関税はどのような効果を持つかなどを学ぶ。具体的には部分均衡分析による貿易政策の効果分析と、リカードモデルによる比較優位に基づく貿易理論の基礎を学ぶ。貿易政策の効果、比較優位に基づく貿易パターン、貿易利益命題などを図や式を使って分析し、論証できるようになることを目標とする。	経政
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	国際経済学II	○	本科目では、国際経済学の中で特に貿易論の内容を扱う。貿易が国内産業や所得分配、厚生に与える影響を学ぶ。具体的には比較優位に基づく古典貿易理論として、リカードモデル、特殊要素モデル、ヘクシャー・オリーンモデルを学ぶ。比較優位の決定要因、財価格の変化と要素価格の変化の関係、関税政策の効果を学ぶ。貿易が国内産業や所得分配、厚生に与える影響を、図や式を使って分析し、論証できるようになることを目標とする。	経政
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	国際金融論I	○	本科目では、国際金融を学ぶ上で重要である、外国為替市場の特徴、為替レートの決定メカニズム、国際収支について詳しく学ぶ。為替レートの決定メカニズムにおいては、購買力平価や金利平価、マネタリーモデルなどを扱い、理論的な背景を学ぶとともに、実際のデータや事例を基に考察する。また、金本位制やブレトンウッズ体制などの国際通貨体制の歴史を学ぶ。これらの学びを通じて国際経済の中で生じる複雑な問題について理解を深め、現代経済におけるグローバルなビジネスや投資、金融市場についても理解を深める。	経政
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	国際金融論II	○	本科目では、国際金融を学ぶ上で重要である、マンデルフレミングモデルや、通貨危機、世界金融危機、ユーロ危機について詳しく学ぶ。マンデルフレミングモデルを用いた経済政策の分析においては、財政政策や金融政策がどのように国際金融市場に影響を与えるかという点を扱う。また、通貨危機の発生メカニズムや解決方法に関する理論的な背景を学ぶとともに、実際のデータや事例とともに考察する。さらに、世界金融危機やユーロ危機といった大きな国際的経済危機の発生過程とその対応策に関して学ぶ。これらの学びを通じて国際経済の中で生じる複雑な問題について理解を深め、現代経済におけるグローバルなビジネスや投資、金融市場についても理解を深める。	経政
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	ヨーロッパ経済論		本科目では、古くからヨーロッパの経済を牽引していた国の一つであるイギリスに焦点をあて、その経済の時系列的な移り変わりを学ぶ。まずは、イギリス産業革命がおきた要因、その特徴、海外への波及などを中心に、産業革命という現象を理解する。さらに、イギリス産業革命を支えた綿業・製鉄業・鉄道業などの役割や、技術・労働・人口動態・生活様式・教育・ジェンダーなど、現代における産業革命研究の主なテーマについても触れながら、18世紀～21世紀の各時代のイギリス経済について学ぶことにより、イギリスがヨーロッパ経済にどのような影響をあたえてきたのかを理解する。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	アメリカ経済論		アメリカは、世界最大の経済規模を誇るだけではなく、その経済力、技術力、文化的な影響力、政治的な影響力の大きさ、日本との関係の深さなど圧倒的な存在である。そうしたアメリカ経済を歴史的に概観し、そして、世界の中のアメリカという視点で学ぶことで、今日のアメリカ経済の特徴・実態・課題を、そして、その背景を理解し、検討する力を身に付ける。また、アメリカ社会の実態や課題、日米関係も概観する中で、アメリカ経済だけでなく、現代社会や世界経済、日米関係なども把握し、考える力を身に付ける。	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	アジア経済論		最近は、アジア諸国の経済発展に勢いがあり、その企業の台頭も目覚ましい。インフラ整備、工業化、技術革新等の経験を見ても、アジア諸国は途上国の「成功例」とされることが多いが、気候変動、物価高騰、不透明な政治情勢等、経済に影響を与えうるリスクも潜む。本科目では、経済発展と工業化のプロセス、企業グループ（財閥及び国営・国有企業）の特徴、各国経済（ASEAN、中国、台湾、インド、韓国）の実情とリスク、国際協調体制における位置付けを中心として、注目するべきトピックを網羅的に学修しながら、そのようなアジア経済の行方を多角的かつ客観的に分析するためのスキルも養成する。	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	日本経済論	○	本科目では、1985年のプラザ合意以降の「バブル」の形勢と崩壊、その後の「失われた30年」と呼ばれる経済停滞など、日本経済の動きについて学ぶ。バブル崩壊後の金融機関の不良債権処理や、日本の経済システム全般に及んだ構造改革、異次元の金融緩和や財政出動、成長戦略を柱とする「アベノミクス」など、時々の経済政策の光と影に目を向け、巨額の政府債務と中央銀行による巨額の国債保有に至りながら、いまだに低成長から抜けられない日本経済の課題について考える。	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	開発経済論I	○	途上国が経済的に発展し、豊かになるためにはどうすれば良いかについて、多角的にそのプロセスを分析し、適切な政策の処方箋を追求していくのが開発経済論である。本科目では、開発経済論の学問的潮流の変遷、マクロ経済成長の要因とその仕組み、貿易・直接投資・開発援助が経済発展に与える影響、貿易や金融のグローバル化のあり方、開発における国際機関（WTO、IMF、OECD等）の役割を中心として、開発における経済学的なメカニズムに特に着目し、途上国が発展するための方策を把握するべく、国際的に注目されるトピックを交え、それらに必要な理論や政策議論を網羅的に学修する。	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	開発経済論II	○	途上国が経済的に発展し、豊かになるためにはどうすれば良いかについて、多角的にそのプロセスを分析し、適切な政策の処方箋を追求していくのが開発経済論である。本科目では、主要国（日米欧及び新興国）や国際機関（世界銀行、ADB等）の援助政策、援助効果向上や対外債務問題への取組み、社会開発（教育、環境、ジェンダー等）のあり方、人間の安全保障に向けた取組み、開発におけるビジネスの役割を中心として、貧困削減を目指すための支援を行う開発援助や国際協力の役割に特に着目し、途上国が発展するための方策を把握するべく、国際的に注目されるトピックを交え、それらに必要な理論や政策議論を網羅的に学修する。	
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	金融論I	○	本科目では、マクロ金融について取り上げる。金融についての基本的な知識を幅広く修得することと、マクロ経済における金融の役割や金融政策の目的・方法とその効果についての理解を目指す。貨幣金融の理論と歴史と現状を正しく把握することを通じて現代資本主義や国民生活問題を解明することを課題としている。具体的には、貨幣、利子率、貯蓄と投資の基本的な概念を理解してから、マクロ経済の均衡の中で、国民所得とともに利子率が決まってくることを見る。そして中央銀行が利子率や貨幣供給量に影響を与えることにより、実体経済に効果を及ぼそうとしていることを講義する。	経政、ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	金融論II	○	本科目では、ミクロ金融について取り上げる。銀行を中心とした金融制度について詳しく論じる。金融制度、金融市場についてその歴史を概観し、金融仲介機関の種類、機能などを説明したあと、金融システムの安定性の重要性、その確保のための対策、そして金融市場と金融資産にはどのようなものがあるのかを見る。特に、ブルーデンス政策について詳しく議論する。くわえて、銀行や証券会社・保険会社といった金融仲介機関や株式市場といった金融市場の役割や仕組みを講義する。	経政、ビ経

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	企業金融論I	○	本科目では、企業金融の基礎理論を学ぶ。具体的には、重要なキーワードである「資本コスト」と「現在価値」について解説した上で、企業の投資決定について講義する。資本調達やペイアウト政策などは「企業金融論II」で取り上げる。両方を履修することで、 1年間かけて、企業金融について体系的に学ぶことができる。 企業金融において合理的な意思決定を可能にする分析枠組みを理解することは、企業経営を財務面から評価したり、のぞましい資産運用のあり方を検討したりする際にも有効である。	ビ経
専門科目群	地域・国際・産業経済領域	企業金融論II	○	本科目では、「企業金融論I」の続きとして、企業による資本の調達や投資について学ぶ。実際の企業の財務戦略を取り上げたり、ケーススタディを行ったりすることで、企業金融の基礎について講義する。本講義では、特に企業の資本調達について解説する。また、ペイアウト政策やM＆Aについても取り上げる。 企業金融において合理的な意思決定を可能にする分析枠組みを理解することは、企業経営を財務面から評価したり、のぞましい資産運用のあり方を検討したりする際にも有効である。	ビ経
専門科目群	経済と歴史・思想領域	経済史I	○	本科目では、「古代」から「近世」までの経済の歴史について、その基礎的な事項を学ぶ。中世社会経済の基礎となった封建制・領主制やそれを基にした中世農業の様子や土地の経営、都市の形成と自治の成立による都市商業の発展などについて理解する。さらに、中世商業の発展の広がりによりその後訪れた近世の大航海時代について、その中心となったポルトガル・スペイン・オランダの経済やそのなかにおける安土桃山時代・江戸時代の日本経済との関連について学ぶ。	
専門科目群	経済と歴史・思想領域	経済史II	○	本科目では、「近代」から「現代」までの経済の歴史について、その基礎的な事項を学ぶ。まず、前工業化期の特徴であるプロト工業化について、その特徴やその後おとずれる産業革命に対する役割を理解する。さらに、ドイツ・フランス・日本等のそれぞれの工業化の様子にもふれながら、当時の世界の政治情勢等を背景とする世界的な工業化の進展についても学ぶ。また、世界恐慌などの第一次・第二次世界大戦中および両戦間期における世界の経済の様子や1945年以降の世界経済の進展・変化についても理解する。	
専門科目群	経済と歴史・思想領域	政治的公正と経済	○	本科目は、履修者が政治的公正の考え方を理解した上で、各種の課題について自分自身で考え、履修者間で議論し、異なる考え方を理解した上で、自分自身の見解を深めることを目的とする。さまざまな背景を持った人々で構成される社会では、相手の考え方を理解した上で議論する機会を提供する。政治的公正としては、功利主義、自由主義、自由至上主義、共同体主義を学び、チケット転売、動物愛護、公的年金、外国人労働者、喫煙、最低賃金などの問題を取り上げる。各問題を学ぶ前後での理解の深さの違いや、自分自身の考え方の変化を確認することで、理解が深まったことを確認する。	
専門科目群	経済と歴史・思想領域	西洋経済史		本科目では、17世紀から20世紀までのアメリカに焦点をあて、その経済の時系列的な移り変わりを学ぶ。植民地時代・産業革命期・第二次産業革命期・20世紀のアメリカを4つの区分に分け、それぞれの経済の特徴を理解する。まず、植民地時代においては、ヨーロッパからの植民の様子や北部・南部の経済発展の違いなど、初期アメリカ経済を理解する。産業革命期においては、アメリカの初期工業化の進展とその背景にある南北戦争などの当時の政治的な状況を理解する。第二次産業革命期や20世紀のアメリカでは、新たな生産システムの誕生と拡大、ビック・ビジネスの広がり、パクス・アメリカーナなどについて理解する。	
専門科目群	経済とデータ分析領域	経済統計学I	○	本科目では、主要な経済統計と経済学を学ぶにあたって必要となる統計学の基礎的な知識について学ぶ。具体的には、経済統計としてGDP、産業連関表、指数統計（物価指数、景気動向指数等）、失業率などについて学ぶ。統計学で学ぶ内容の範囲としては、データの代表値、分散、標準偏差、変動係数などの記述統計、確率の基礎、単回帰などの推測統計の基礎的な部分について扱う。	経デ

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済とデータ分析領域	経済統計学II	○	本科目では、経済の構造や循環を分析するために用いられる主要な経済統計である国民経済計算や産業連関表について主に取り上げる。国民経済計算については、各勘定の構造やGDPなどの主要な指標について解説する。産業連関表については、表の構造やこれを用いた波及効果分析の手法について解説する。国民経済計算や産業連関表は、基礎となる統計・資料から作成される加工統計（二次統計）であるが、それがどのように作成されているのかについても概説する。これらの学修を通じて、国民経済の循環と構造の把握やその分析についての知識を修得することを目指す。	経デ
専門科目群	経済とデータ分析領域	計量経済学I	○	本科目では、経済理論や政策効果などの検証を行う際に必要となる計量経済学の基礎的な知識の修得を目指す。検証の際には経済モデルを理解し、それを詳細に検証する方法を理解する必要がある。そのため、経済理論などのモデルの理解のみならず、数学や統計学などの知識も学修する。単回帰分析など計量経済学の基礎となる分析手法を学び、経済理論や政策効果を検証する上で必要不可欠な計量経済学の知識を修得し、実際の計量分析につなげることを目標とする。	経デ
専門科目群	経済とデータ分析領域	計量経済学II	○	本科目では、経済理論や政策効果などの検証を行う際に必要となる計量経済学の基礎的な知識の修得を目指す。検証の際には経済モデルを理解し、それを詳細に検証する方法を理解する必要がある。そのため、経済理論のみならず、数学や統計学などの知識も学修する。重回帰分析など計量経済学Iよりも専門的な学びを通して、経済理論や政策効果を検証する上で必要不可欠な計量経済学の知識を修得し、実際の計量分析につなげることを目標とする。	経デ
専門科目群	経済とデータ分析領域	計量経済学演習	○	本科目では、「計量経済学I・II」の講義の内容を踏まえ、実際にデータを入手し、経済理論や政策効果の検証などさまざまなテーマに対して、計量分析の手法を学ぶ。計量分析にあたっては、分析に適したデータの検討やその入手、加工などの手順を経る必要があり、またパソコンのソフトウェアの操作手法も学ぶ必要がある。こうした実際の分析に当たって必要な知識を学ぶことで、計量経済学の講義の内容を深めることにつながり、経済理論や政策効果の検証が可能となる。最終的には、履修者の関心となるテーマについて、計量経済学的に分析できるようになることを目標とする。	経デ
専門科目群	経済とデータ分析領域	データビジュアライゼーション	○	高度に情報化された社会においては、情報収集能力、課題解決能力、論理的思考力が必要であるとされているが、それらの前提には「問題発見能力」があることの認識は重要である。さらに、発見した問題を「見える化（ビジュアライズ）」することは問題点を明確化・具体化し、異なる立場にある人たちと問題意識を共有することで、解決していくための協同を促す効果的な手段になりうる。 本科目では実際に地域が抱える問題点をヒアリングし、実際のデータを用いた可視化を試みる。具体的には地域から提供されたデータに、プログラミング言語Pythonで利用可能である豊富なビジュアライゼーションツール、データ分析ツールを適応し成果物を得る。得られた成果物を地域にフィードバックすることを通じ、地域やデータ処理・可視化ツールに対する理解を深めていく。 第1回 68 長尾 雄行／95 小野 聡／35 杉本 卓也 ガイダンス 第2回 35 杉本 卓也 データの特徴を読む 第3回 35 杉本 卓也 データの特徴をグラフで表現する 第4回 95 小野 聡 自治体の総合計画から地域の政策課題を理解する 第5回 95 小野 聡 地域データを使用して問題を可視化する 第6回 69 長尾 雄行 単変量解析（基本統計量の記述） 第7回 69 長尾 雄行 多変量解析（関係の可視化） 第8回 35 杉本 卓也 地域の問題点の可視化と現状把握 第9回 95 小野 聡 ロジックモデルについて学ぶ 第10回 95 小野 聡 特定の政策課題からロジックモデルを描く 第11回 69 長尾 雄行 データとロジックモデルを組み合わせる 第12回 69 長尾 雄行／95 小野 聡／35 杉本 卓也 問題解決策の検討 第13回 69 長尾 雄行／95 小野 聡／35 杉本 卓也 総合討論	オムニバス、経デ

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済とデータ分析領域	データ分析プログラミング	○	本科目の目的は、問題の構造を把握したり、政策の効果を分析するための基礎となる、定量的・定性的なデータ処理スキルを身に付けることである。本科目は大きく2つのパートに分かれる。第一に、R言語を用いた公的統計の活用方法を学ぶ。このパートではオープンデータを用いた統計処理手法の演習と合わせて、推測統計の概念を導入しその手法についても演習を行う。第二に、QGISを用いて地理情報システムを活用する演習を行う。このパートではQGISで実施可能な分析に関する演習に加えて、地理情報システムの概要についても解説する。公的データのオープン化が進むにつれて、政府、企業、市民社会などのさまざまな場面で情報にアクセスができるようになってきた。今後広く活用される公的情報・地理情報の処理能力を身に付け、データ分析技能を活かして企業や社会に貢献する人材となる足がかりを築いてもらうことが、履修者に求められる到達点である。	経デ
専門科目群	経済とデータ分析領域	人間行動論	○	社会課題を解決するための政策形成においては、問題を構造化して捉え、適切なアプローチを模索することが求められる。社会は複数の人間の関係性の中で形成されるものであり、社会の中で生活する市民の行動や認知は、絶えず社会の中で影響を受け続ける。その中では市民の行動が意図しない影響を引き起こし、問題化することもある。社会課題の分析においては、人間の行動に対する理解が求められると言える。本科目では、社会心理学や行動経済学などの行動科学の分析技法やモデルを概説する。それを通じて、問題の構造を人間行動の観点から理解し、政策に反映させるための視座を得ることを、本科目における履修者に期待する到達点とする。	経デ
専門科目群	経済とデータ分析領域	実験社会科学	○	本科目の目的は、「根拠に基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making(EBPM)」のための社会実証実験を、適切な方法で実施できるようになることである。導入として、論文の匿名査読を題材に、バイアスを取り除く方法を体験するワークショップを実施する。さらに、治験における2重盲検法、教育工学における実験計画法・準実験計画法、デザインにおけるABテストなどについての学びを基に、対照実験の結果を材料として統計的検定を行う内容での実習に取り組む。学期中盤以降は、グループワークとして、教員から例示された政策課題もしくは履修者たち自身が考えた政策課題についての実験計画を立て、実験協力者を集め、実験を実施して、政策の効果を検証する。学期末には成果発表会と振り返りを行う。	経デ

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済とデータ分析領域	政策デザイン実践	○	世界は急速な少子高齢化とAIなどの技術進歩の影響を受け、これまでの法制度や社会経済システムでは対応できない問題に溢れている。公共性の視点から既存の制度の在り方を見直し、社会をより良い方向に先導する必要があるからこそ、地域公共政策にはデザインアプローチの導入が必要である。 以上の社会的要請を受け、本科目では1）リサーチ・デザインを基にフィールドワークを実施し、五感を通じて地域社会の問題解決と魅力の再発見に必要な体験を修得する。さらに、2）テクノロジーを組み合わせて地域を分析する。グラフ、統計分析、GIS、調査記録に基づく主観地図、2D、3Dモデルを駆使し、多様な人々を紡ぐコミュニティを表現するアイディアを得る。3）ワークショップを実施し、人々の共感を得る営みを通じて共創的社会に必要なコミュニケーション能力を養う。以上の取り組みを反復し、共感の得られる政策をデザインする能力を修得する。 第1回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 デザインアプローチの視点から公共政策の問題を考える 第2回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 フィールド・ワークに出かけ、空間を評価する 第3回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（1）観察・記録データを扱う 第4回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（2）仮説の設計 第5回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（3）暮らしやすさを考える 第6回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（4）ロジック・モデルの構築 第7回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（5）共感を得る居場所を考える 第8回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 空間デザインの技法（1）調査記録に基づく主観地図入門 第9回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 空間デザインの技法（2）グラフ・統計分析入門 第10回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 空間デザインの技法（3）2D・3Dモデル入門 第11回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 ソーシャル・デザイン案の構想 第12回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 ソーシャル・デザイン案の分析 第13回 120 戸川 和成／69 長尾 雄行／19 榎戸 敬介 ソーシャル・デザイン案の発表と共有	共同、経デ

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI	○	「学部基礎ゼミI」と「学部基礎ゼミII」では、三年次からのゼミナール科目群における学修や研究に向けた、基本的な知識・技能の修得を行う。このうち学部基礎ゼミIでは、経済の基本的な枠組みや、ミクロ経済学・マクロ経済学の基本的な内容、経済学を学ぶにあたり必要となる統計学・数学の基本的な内容などについて演習を行い、知識の定着を図る。また、三年次のゼミ選択に向けて、経済学における様々な分野について概略的な紹介も行う。 第1回 8 大塚 茂晃 経済の基本的な枠組み 第2回 8 大塚 茂晃 市場メカニズムと競争市場の均衡 第3回 8 大塚 茂晃 市場における家計と企業の行動 第4回 3 磯山 友幸／4 内海 幸久 日本経済／ゲーム理論 第5回 1 今井 重男／6 山田 武 サービス経済／医療経済 第6回 5 江波戸 順史／7 大賀 紀代子 財政／経済史 第7回 9 藏田 幸三／10 後藤 啓 地域経済／貿易論 第8回 11 佐藤 哲彰／2 田原 慎二 労働経済／経済統計 第9回 12 中尾 将人／13 藤田 輔 国際経済／国際開発 第10回 14 松崎 朱芳／8 大塚 茂晃 産業組織／金融論 第11回 8 大塚 茂晃 マクロ経済における国民経済の循環 第12回 8 大塚 茂晃 マクロ経済における国民所得の決定 第13回 8 大塚 茂晃 主要な経済指標と統計学・数学の基礎	共同、オムニバス
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミII	○	本科目および「学部基礎ゼミI」では、三年次からのゼミナール科目群における学修や研究に向けた、基本的な知識・技能の修得を行う。このうち本科目では、理論経済学、実証経済学などの経済学における分野ごとにクラスを分け、各分野における基本的な知識の修得を目指す。また、レジュメの作成方法、先行研究・文献の探し方、発表の仕方など、ゼミナール科目群に参加するにあたり必要となる基本的な技能の修得を目指す。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部経済学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	研究ゼミI	○	本科目および「研究ゼミII」は三年次の履修を想定した演習科目である。このうち本科目では、研究にあたって必要となる基本的な事項について、担当教員の専門に応じた内容を学びつつ、初歩的な研究活動を行う。本科目における活動を通じて、対象となる分野へのより深い理解や、その分野で現在どのようなことが課題になっており、それを解決するためにはどのようなことが必要かといった、課題の発見・解決能力を身に付けることを目指す。	
ゼミナール科目群	研究ゼミII	○	本科目および「研究ゼミI」は三年次の履修を想定した演習科目である。このうち本科目では、「研究ゼミI」で修得した知識・技能に基づいた研究活動を行う。本科目における活動を通じて、対象となる分野へのより深い理解や、その分野で現在どのようなことが課題になっており、それを解決するためにはどのようなことが必要かといった、課題の発見・解決に向けた能力を身に付けることを目指す。	
ゼミナール科目群	研究ゼミIII	○	本科目および「研究ゼミIV」は四年次の卒業論文の作成を中心とした演習科目である。このうち本科目では、卒業論文の執筆にあたり必要となる参考文献の把握や先行研究のサーベイ、整理などを行う。本科目における卒業論文の作成を通じて、課題の発見・検討・解決について学生が自ら取り組み、これを卒業論文などの形で成果物としてまとめ上げる能力を修得することを目指す。	
ゼミナール科目群	研究ゼミIV	○	本科目および「研究ゼミIII」は四年次の卒業論文の作成を中心とした演習科目である。このうち本科目では、「研究ゼミIII」の内容に基づいた調査、研究、分析などを行い、これを卒業論文としてまとめる作業を行う。本科目における卒業論文の作成を通じて、課題の発見・検討・解決について学生が自ら取り組み、これを卒業論文などの形で成果物としてまとめ上げる能力を修得することを目指す。	

（注）

1　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

2　専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が４０人を超えることを想定するものについては，その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。

3　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

4　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	CUC ベーシック	自分未来ゼミ	○	この科目は、履修者の学生生活、さらには未来の起点となる科目である。将来の可能性を広げ、人生の選択肢の多様性を認識する場とする。講義は毎回、ディスカッション形式で行われ、建学の精神、大学とは何か、大学生活で何を実現するか、自分自身が何者か、企業と社会がどのように変化しているかなどについて、語り合う。主役は学生であり、教員はファシリテーターに徹する。履修者自身の自らアクションを起こす、広く深く考える、チームで成果を出すという一連の流れを体験する場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	CUC ベーシック	実学入門I	○	本科目では、高い倫理観を備えた「治道家」を目指すという建学の精神を踏まえながら学修・研究を進め、その成果をレポート作成、プレゼンテーションなどの形で表現するのに必要な考え方や技能、すなわちアカデミック・リテラシーの基礎を学ぶ。研究活動の入門として、文献やデータの入手のためにインターネットや図書館資料などの活用を学び、入手した文献やデータを解釈するための思考の型の基礎を学ぶことを目的とする。その上で、アカデミックな文書の構造と作法を学び、情報技術やデータ活用も踏まえ、研究の目的に基づいたレポート執筆のための基礎を学ぶことを目的とする。これらを動画形式の学習教材を活用し、独学でPCの利用スキルや実践的な問題解決能力を養い自己学習力を向上させる。この取り組みを通じて、今後の学修や研究活動、さらには社会で活躍するために必要な能力を身につける。	メディア
ＣＵＣ基盤教育科目群	CUC ベーシック	実学入門II	○	実学入門Iで修得した知識について、実践を通じて理解を深め、大学4年間の学びの基礎的な土台として活用できるまでに習熟することを目指す。具体的には、高い倫理観を備えた「治道家」を目指すという建学の精神を実践を通じて理解を深め、さらに自立的に研究を進めることを実践を通じて学ぶ場とする。さらにその成果を論文執筆、プレゼンテーションなどの形で表現することを実践を通じて学ぶ場とする。自立的な研究については、文献やデータの入手のために図書館やインターネットの活用を実践を通じて学び、入手した文献やデータを解釈するための思考の型の基礎を実践を通じて学ぶ場とする。その上で、実際に特定の研究目的に基づいた論文・プレゼンテーションを作成することを通じて論文の書き方・プレゼンテーションの作り方を身に付けることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	歴史学入門		歴史は、人間が記憶し、記録されてきたことにもとづいて叙述され、一定の集団の間で共有されてきたものである。この講義では、歴史がどのように記録され、つくられてきたかについて理論的ないし批判的な知見を提供する。また歴史とは何かという問いに対する多様な理論を提示するとともに、そしてそうした理論に基づいたアプローチで歴史記述の分析をする研究手法についても検討していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	倫理学入門		倫理学は、現在では哲学のカテゴリーの中に存在する一分野として理解されている。実際、倫理学は哲学思想と切り離すことができない関係にある。倫理学は非常に古い学問のひとつであり、紀元前の古代ギリシアに、その起源を突き止めることができる。本科目では、古代ギリシアから現代に至るまでの倫理学の関心・理論・学説の変遷に対する基礎的な知識について講義し、さらにそうした理論を用いて、現代社会の倫理的な諸問題に対する分析する方法、そして解決の理論的考察といった倫理学の実践についても教授する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	文学研究入門		文学とは何なのか。批評とは何なのか。こうした問いについてさまざまな考え方ないし思想があり、そうしたものは歴史の中で登場してきた。文学について考える際には、こうした思想と歴史的な位置づけに対する理論的な理解が必要である。さらに文学作品を研究すると言うとき、単にその内容に対してだけ目を向けるのではなく、その文学作品の文体や構造にも着目し、多角的な理論的アプローチを用いて分析するということを意味する。文学に対する理論的な理解を獲得するとともに、文学テクストの分析方法と批判理論の適用について学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	哲学入門		本科目では、〈世界〉という言葉をキーワードとして捉え、西欧の主要な哲学的試行を体験的に学修してゆく。西欧哲学の主要な原理論をふまえ、各自〈世界〉の意味を探究し、その上で、自分なりに世界の〈可能性〉の（本質）を了解することにある。自身の世界了解とその可能性を問うことで、新たに実践哲学ないし倫理学への通路が拓かれるだろう。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	人文地理学入門		人文地理学は自然環境を舞台に、文明社会が歴史時代を通じてどのように築き上げられて来たのかを社会空間の形成に着目しながら明らかにする学問である。本科目では地域を記載する上で重要な役割を果たす地形図を用いて人間の作り上げた土地利用空間を把握するとともに、資本主義の発展に伴う大都市圏の地域構造の成り立ちを現代社会の中に位置付けて考察する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	社会史入門		政治的転換点を軸に歴史を描こうとする従来型の歴史学とは異なり、一般大衆の生活ないし文化に着目して歴史を描こうとする社会史という歴史学の新しいアプローチが存在する。本科目では、社会史に対する知見を深め、歴史解釈の多様なありかたについて理解し批判できる能力を養成するとともに、それに基づいた実践ができるようになることを目的に、講義を提供する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	芸術理論研究入門		昨今では、美や芸術に対する理解は「芸術作品」モデルを起点にする固定観念が自由になってきており、空間的にも美術館のような非日常空間だけではなく、日常における感性的な経験全般にまで広がってきている。他方で、依然として、「芸術作品」モデルに基づく伝統的な芸術理論は芸術受容の参照点であり続けているのもじじつである。以上のような現代の芸術受容・創造の状況を総合的に踏まえつつ、芸術理論の歴史的変遷について理解し、作品の制作と批評について理論的な理解を深めていくことを目的とし、講義をする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	経済思想史入門		本科目では、人間の経済行為に関するさまざまな側面、経済活動に関連する社会現象、経済学および経済システムまたは経済政策の背後にあるそれぞれの思想に対する知見を提供し、そうした思想の歴史的変遷に対する理解を深めることを目指す。それによって、なぜ人間の経済行為はこのようなものになるのか、なぜ経済学はこのような形なのか、今の経済システムはなぜこのような形なのか、なぜ経済政策はこのようなものが実施されるのかといった問いに対する見解を持つことができるようになることを目的として講義をする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	心理学入門		人間の思考や行動の根底には心の動きがある。心理学は、人の心の動きを捉え理解しようとする学問であり、そのアプローチは多岐にわたる。この講義では、心理学の歴史にも触れながら、目には見えない“こころ”へのさまざまに工夫されたアプローチについて学んでいく。心理学の成り立ちを理解し、基本的な知識を身に付けることをめざす。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	応用心理学入門		本科目では、現代の応用心理学の潮流と社会心理学・発達心理学・性格心理学・臨床心理学の各分野について、基礎的な理論に対する理解を得た上で、問題の捉え方や代表的な応用や介入方法などの具体的なケースに対する知見を修得し、修得した応用心理学のさまざまな知識ないしスキルを、自分自身の生活の中で応用できるようになることを目的に講義をする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	社会ネットワーク論		現代社会ではネットワークの重要性が高まっている。それはインターネットに代表されるコンピュータネットワークのみならず、国家関係・組織構造・人間関係などの心理・社会的ネットワーク、流行・販売戦略などの商業的ネットワーク、感染症などの疫学的ネットワーク、人体内部の生理的・神経的ネットワークなど、あらゆる領域とスケールで見いだすことができる。本科目では、基本的なネットワーク理論およびそれに関連する具体的な事例について学ぶことで、現代社会を新たな視点から捉え直すことができる能力を養うことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	表象文化論		文学も含めて、多種多様なテクスト（絵画、彫刻、音楽、映画など）に対して、われわれは日々触れている。そのような媒体の媒体毎の性質との関係でメッセージを読解・分析する手法に対する理論的理解と、その実践について講義する。さまざまな論考を参照しつつ、それぞれの媒体に特有の表現方法を考察し分析する。さらに、作品と媒体の関係から見られる文化的背景を明らかにしていく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	比較文化論		近年、宗教紛争や民族問題が取り沙汰されるなかで、これらの諸問題は私たち自身と切り離し得ないということが広く認識されてきている。また、グローバル化の進展に伴い、身近な生活のなかで異文化を意識することが多くなってきている。だからこそ、「文化の多様性の視点」にもとづき、ローカルな現場で生じている複雑な文化の動態を捉えることが重要な課題として浮かび上がってくる。このことを踏まえ、本科目では比較文化的な視点や考え方を解説していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	人文科学	演劇・身体表現論		芸術作品として認識されてきた伝統的な枠組みは、美術（視覚芸術）と音楽（聴覚芸術）と演劇（身体芸術）であるが、本科目は演劇ないし身体芸術を着目し、それに関する制作・受容双方の理論、そして個々の具体的な作品について取り上げていく。さまざまな芸術舞踊作品、劇場作品についての知識とその背後の思想、さらには理論的な解釈を教授しつつ、身体をメディアとした芸術を創作するための思考、方法論についての知見を深めていく。また身体芸術の視点から、芸術史、思想史を辿る。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	教育学入門		「教育」は人間に不可欠な営みであるために、また、私たちの誰しもが教育経験を持つがゆえに、多くの人から関心が向けられるテーマといえる。教育を巡っては、何を教育すべきかという理念の問い、教育はどのような文化の中で成立しているのかといった文化的な問い、そうしたものがどのような歴史的な経緯で成立してきたのかという歴史学的な問い、教育が社会に対してどのような効果を及ぼすのかという社会学的な問い等々、さまざまな視点からの問いがある。本科目では、教育をめぐって、身近な（あるいは身近であった）事象・トピックについて考えてもらうことを通して、教育学的知見を養う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	経済学入門		私たちの社会を構成している市場経済の基本的な仕組みを理解するために、経済学（ミクロ経済学とマクロ経済学）の基本的な考え方を学ぶ。ただし、数学的分析は扱わない。あくまで経済学的思考を修得することが講義の目的となる。一般教養としての経済・金融知識を身に付け、毎日の経済ニュースを深く理解できるようになることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	現代思想入門		「現代思想」と言うと、20世紀後半に「現代思想」と称された哲学思想（構造主義、ポスト構造主義、ポストモダン等々）と、21世紀以降のさまざまな形で、さまざまなコミュニティの中で影響力を持つことになった現代の思想潮流を指す。この二つの視点を考慮しつつ、現代の時代状況、およびそこに生きる人間の在り方を探るために、現代の思想家たちの思想的な見方・考え方を取り扱う。現在の資本主義社会の体制を生み出した近代社会の思想的出自に対する理解を深めつつ、現代社会を生きる人間が直面しているさまざまな状況を理論的に考察する。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	国際政治学入門		国際社会における諸現象に対し認識枠組みを与え、そこから諸問題に対する解決のアプローチを提示するのが国際政治学である。本科目では、国際政治に関する理論的分析枠組み、国際政治の歴史的展開に関する基本的知識に対する理解を深める。現代国際政治の問題についても採り上げ、全体として国際政治に関する知見を深めることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	社会学入門		集団や組織、人間同士の関係から形成されている社会というものに対して、社会学の基本的な考え方や説明のしかたを学ぶ。社会学の基礎的な概念と社会の基礎となる集団の特質に関する理解を深めることを通じて、現実の社会事象に対する理解を深め、さらに自己と社会とのつながりについての客観的な分析視角を得ることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	社会思想史入門		本科目では、近代の思想家たちが社会について何を・どう考えてきたか考えてみる。「私」は「社会」のなかで生き、「社会」に影響されながら、「社会」を作りだしている。では、その「社会」とは何か。社会という言葉で、どのようなことが考えられてきたのか、そして、考えることができるのか。そして、私たちが埋め込まれている社会的制約について検討する（＝対象化する）。社会思想史は、自分がどのような歴史的制約のなかに生きているのかを知り、あらたな可能性を切り開くための思考の準備作業である。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	政治学入門		人々の生活や経済活動は、さまざまなルールやシステムの上に成り立っている。それらのルールやシステムは、過去に誰かが決定し、未来に誰かが改廃する。日本などの民主主義国は、その「誰か」を人々（みんな）としている。つまり、社会のルールやシステムは、改良・改悪することができ、みんながその決定の主体となる。政治学とは、そのメカニズムを探求し、社会をより良くするための学問である。本科目では、本格的な政治学を研究する前段として、基本的な知見を共有する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	途上国貧困研究入門		本科目では、開発途上国の貧困の実態とその背景と構造について、具体的な文脈に即して、主として経済学のアプローチを用いて（時には社会学も）分析し、解き明かしていく。途上国の経済発展の過程で生じた貧困問題について適切な議論が議論でき、さらに貧困問題の多様性、多面性について理解することができるようになることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	法学入門（公法）		本科目は法とは何かということについて考える。「社会あるところに法あり」という法格言がある。私たちの社会にはさまざまな法が定められ、その法に羈束されながら私たちは生活をしている。法の世界を知ることによって、私たちに保障される権利についても学びたい。本科目ではとりわけ公法分野を取り扱う。主として日本国憲法と刑法について講義する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	法学入門（私法）		本科目は法とは何かということについて考える。「社会あるところに法あり」という法格言がある。私たちの社会にはさまざまな法が定められ、その法に羈束されながら私たちは生活をしている。法の世界を知ることによって、私たちに保障される権利についても学びたい。本科目ではとりわけ私法分野を取り扱う。主として民法と商法について講義する。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	民俗学入門		それぞれのコミュニティの生活文化を研究対象として、その歴史的な変遷や地域差を明らかにし、現代社会を捉え直していくのが民俗学である。本科目では、民俗学の研究方法、概念、現代的課題について平易に概説する。自然環境と人間のかかわりを単に知識として修得するのではなく、民家の構造や道具（民具）、生業など人間の日常的な暮らしや活動が、いかに環境と結びついているかを具体的に理解し、それらを活用していく術を模索していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	ジャーナリズム論		マスメディアとジャーナリズムに関する基本概念を学びつつ、ジャーナリズムの影響過程、世論形成に対する強力さ、情報媒体としての性質について理解を深めることを目的とする。そして送り手の社会的責任、受け手のメディアリテラシーについても考察する。現代のマスメディアとジャーナリズムの動向に対しても知見を得る場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	経済成長と社会問題		本科目においては、経済成長の段階において、そしてそれぞれの時代的状況において、貧困・格差等の社会問題がどのような形で現れてくるのかについて経済学的・社会学的な観点からの分析を教授し、履修者に対してこのような問題の多角性と多様性に対する理解を深めさせる。社会・環境問題に対する経済学的・社会学的理解を持つことにより、適切な実践ができるようになることを目的に講義を行う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	社会科学	日本国憲法		この講義では日本国憲法の基礎事項を中心に解説する。最初に憲法とはどのような法であるかを解説し、次に日本国憲法の定める統治の仕組みを解説する。これらの知識を前提とし、日本国憲法の保障する人権の意義や内容、限界について解説していく。講義では裁判所の判決も積極的に取り上げ、具体的な憲法問題の解決方法についても学修していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	認知心理学入門		心理学は心と行動を科学的に研究する学問であり、その研究アプローチは多岐にわたる。本科目では、広範な心理学のなかでも、知覚という現象を出発点にして考えてみたい。さまざまな知覚に関する知見を目にしていくうちに、「日常」という環境におかれた人間の心のあり方を問い直すことができるはずである。この講義ではさまざまな心理現象を実際に体験しながら心理学における多様な研究アプローチを学ぶことを通して、豊かな人間性を養い、幅広い視野を獲得するための、教養としての心理学を学ぶ。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	地学入門		日本は地震や火山、水害など多くの災害が発生する国である。東日本大震災では多くの方々が被災し、毎年のように大雨による水害による被害が発生している。自然災害の発生を予想し対策を立てるためには、これらの地学的現象を理解する必要がある。また地球温暖化をはじめとする環境問題を解決するためにも、我々の住むこの地球の仕組みを理解しなくてはならない。本科目では、地球の成り立ちから構成、地震や火山などのメカニズム、生命の誕生から人類の歴史までも学び、地学が社会と密接に関係していることを理解し行動できる力を養う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	生物学入門		生物学はその扱う対象によって分子レベルの分子生物学から地球規模の生態学まで非常に広い範囲を含むが、本科目ではとくに「物質の状態」としての生物とその「進化」を中心に講義を進める。本科目では生き物が織りなす生命活動の普遍性と多様性について理解し、命（いのち）の偶然を感じることで、生物学がさまざまな学問領域と関連していることの視点を養っていくことを目的とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	情報化社会のための数学入門		社会科学系の学生が苦手と感じがちな「数学」思考のおもしろさを再発見し、数学と社会科学との関わりを学ぶことで、社会科学に対して新たな視点をもってもらうことがこの講義の目的である。そのために、数学がどのように生まれどう発展してきたかを説明し、数を計算する手法がなぜ現在のコンピュータにつながり、そして人工知能技術にまで発展してきたかを論じていくことで数学的思考を身に付けることを目指す。なお、シラバス中の授業計画は一応のめやすであり、受講学生のレベルに応じて柔軟に対応することとする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	自然地理学入門		地球環境問題、自然災害を含む地球表面で見られる私たちに身近な諸現象は地球という複雑で大きなシステムで生じている。本科目では地圏、水圏、大気圏を中心とする地球環境システムの概要を学んだ上で、身近な諸現象のメカニズムと互いの関連について理解することを目的とする。また、地球環境問題を科学的に理解するために必要な基礎知識を広く身に付け、今後の地球環境のあり方を考える力を修得していく場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	宇宙科学入門		探査対象であった宇宙は、近年では利用する対象へと変貌しつつある。本科目では、まず、太陽系や系外惑星を中心に宇宙に存在するさまざまな天体とその現象などの基礎的な知識を修得する。その上で、月や火星の利用について学ぶ。利用にあたっては課題も多く、具体的には、人員・物資の運搬や所有権の帰属などがある。これらの課題も考えながら，宇宙全般に関する理解を深め，新たな視点を養成する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	データサイエンス入門		近年、ビッグデータ、人工知能(AI)、デジタルトランスフォーメーション(DX)といった言葉がニュースで取り上げられることが多くなってきた。今後訪れる社会は『データ駆動の社会』になるだろうと言われていて、これまでの様にデータの扱いは理工系の学部出身者に任せておけばよいという考え方は徐々に通じなくなっていくと予想されている。本科目では、資源としてのデータ、データ分析の基礎、AIの考え方、データの活用事例等を学び、DXの時代が到来しても対処し得る基本的な考え方を養う。 （講義名：データで動く社会）	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	データ活用の統計学		現代では無数の統計データが存在しており、広く一般に公開されている。この統計データは人やモノの動きの結果が定量的に集約されているものである。ただし膨大な統計データがある中で、そこから新たな知見を観察することは容易ではない。こうした困難に対して、本科目では統計データの観察方法や解析の方法などを提供し、統計データの特徴を見出していく。あわせて、現代の企業や家計、政府などの統計データに触れながら、基礎的解析の知識を修得していく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	物理学と社会		近年、放射性物質や放射線がニュースで取り上げられることが多くなってきた。放射線にはどの様な種類があって、どの様なメカニズムで発生するのかということを知るには、物理学の知見が不可欠である。特に、日常用語ではエネルギー資源の省略語として使われることが多いエネルギーという概念は、物理学では万物が有する特性であることを理解する必要がある。本科目では、原子核の安定性とエネルギー、各種放射線の発生メカニズム、各種放射線の特徴の理解によって、感情的な言説に惑わされず、自然科学の知見に基づいた冷静な判断を下せる力を養っていく。 （講義名：原子核と放射線）	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	化学と社会		私たちの生命や豊かな生活は、実は化学の力にえられている。しかし、化学がどのように社会生活の役に立っているかと聞かれたら、私たちはどれほど正確に答えられるだろうか。本科目では化学の基礎知識を理解した上で、身のまわりの現象やさまざまな食品・製品、環境や資源・エネルギー、生命や医薬・医療、未来の科学などについて、化学の視点で考えることのできる能力を身に付けることを目的とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	テクノロジー論		人類社会において、これまで多くのテクノロジーが生み出されてきた。その影響は、われわれの生活環境、社会システム、思考判断・倫理観までにも及んできた。この講義では、こうした人類社会へ大きな影響を与えたテクノロジーを取り上げ、その系譜・意図・背景などを学んだ上で、実際にそれらがどのように社会を変えるに至ったか理解を深める。なお、本科目では、AIなど今後の人類社会に大きな影響を及ぼす可能性が高いテーマも扱っていく。本科目はオムニバス形式で実施する。 第1回 32 関口 雄祐 テクノロジーとテクノロジー論についてのガイダンス 第2回 52 譲原 晶子 芸術活動とテクノロジー 第3回 52 譲原 晶子 芸術活動とテクノロジー 第4回 32 関口 雄祐 商いとテクノロジー 第5回 32 関口 雄祐 商いとテクノロジー 第6回 32 関口 雄祐 生命科学とテクノロジー 第7回 32 関口 雄祐 生命科学とテクノロジー 第8回 32 関口 雄祐 中間まとめ；ショートレポート＆学生間共有 第9回 63 NGUYEN Thuy 貧困解決とテクノロジー 第10回 63 NGUYEN Thuy 貧困解決とテクノロジー 第11回 55 渡辺 恭人 計算技術とテクノロジー 第12回 55 渡辺 恭人 計算技術とテクノロジー 第13回 32 関口 雄祐 最終まとめ；レポート＆学生間共有	オムニバス、集中
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	SDGs論		2015年に国連でSDGs（Sustainable Development Goals、 持続可能な開発目標）が定められ、国際社会が2030年までに達成すべき目標が定められた。SDGsは、われわれが今生きている社会の深刻な問題に焦点を当てており、こうした問題に対してわれわれは無関係ではいられない。本科目では、SDGsを通じて、われわれの社会の問題の本質を理解して、われわれの日常行動がそうした問題とどのような関係を持ち、われわれの日常行動の変容によって、何をもたらすことができるかについて考える。なぜSDGsに掲げられている問題が2030年までに、つまりはすぐに解決すべきと国際社会が考えている問題であるのか、そしてこうした問題の解決の困難さは何が原因なのかを理解し、解決のためにわれわれがなすべきことは何なのかを考える。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	エネルギー論		持続可能社会の実現のために、脱炭素を中心とした社会の大きな変革が求められている。一方で、われわれの生活環境の維持、社会活動の継続のためには炭素のみならず食料・資源・エネルギーなどの諸問題の解決も同時に必要である。本科目では、これらに関する現状について学び、その解決の糸口を技術や政策などから多面的に理解し行動していく能力を養うことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然科学	サステナブルな地域づくり実践		本科目では、本学における農業分野（ワイン、養蜂、その他）での実践例を主とした題材としつつ、農業をコミュニティや地域のサステナビリティのために活用していくというアプローチの内実・機能・有用性・限界を主として社会学的な観点から見ていき、こうした実践の現状と課題を分析した上で、適切な実践に結びつけられるようになることを目指す。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	ビジネス倫理		われわれは自覚せずとも、何らかの道徳的・倫理的価値観に則って日々さまざまな判断をしながら生活を送っている。企業も同様である。利益だけ追求している企業は非倫理的と思う向きがあるかもしれないが、実はそうした無限の利益追及すらも数ある道徳的価値観のひとつであって、しかもせいぜい200年ほどの歴史しかないものである。人類の歴史の中でさまざまな考え方がこれまで生まれてきており、すでに廃れたものもあれば、今日でも影響力を持っているものもある。影響力のある価値観は明確に意識されずともわれわれの中に根付き、われわれのものの考え方に影響を与えている。またはわれわれを取り巻く法律やルールに反映されている。この講義では、今日のわれわれが引き受けている倫理的・道徳的価値観を意識化し、客観化する。次に、具体的な企業活動のケースを取り上げ、企業がどうしてこのような行動を取るのかについて分析する。また、価値観同士が衝突していてジレンマに立たされているようなケースも分析する。「倫理的な問題」と世に言われているものは、実のところ、こうした複数の価値観が衝突するケースを指している。こうした倫理的問題を、企業、従業員、消費者、行政といった多様なステークホルダーの視線から分析し、そしてその解決について考えていく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	環境倫理		人間活動が地球環境を大きく変えつつある人新世において、私たちが直面している地球環境問題解決のためには科学的な問題の理解に加え、社会的、文化的な観点を含む多面的で実効性のある対策を考える必要がある。本科目では地球環境問題のメカニズムとその現状を理解し、多様で広範な視点からその問題解決の道を探り、持続可能な未来を考える力を修得することを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	情報倫理		インターネット社会を健全に発展させるための前提として、各個人が最低限守るべきルールとしての「情報倫理」についての理解を深める。「情報倫理」とは「情報の生産、収集、処理・加工、記憶・蓄積および流通、利用などの各場面において個人または組織として行うべき、または行ってはならない規範のこと」をいう。インターネット社会において、私たちが社会生活を営む上で、他人の権利との衝突を避けるべく、各個人が最低限守るべきルールを理解し、安全に利用できる能力を修得することを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	生命倫理		生命活動は、生物の仕組みに則って40億年続いてきた営みである。しかし、人類は科学技術を発達させるなかで、生命（いのち）にかかわる技術をも手にし、とくに近年の発達は著しい。いっぽうで、その技術の使い手となる個人の意識や社会制度が急速に変わることは難しく、生命をめぐる技術と社会その狭間に倫理的問題が多く生じている。本科目では、遺伝子組換え、ゲノム編集、iPS細胞、cfDNA検査などをテーマの取り上げ、その社会受容にあたり議論を生む推進・反対双方の主張を多面的に理解する視点を養うことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	多文化共生社会論		文化や民族という概念は、それをアイデンティティの構成要素とする人間集団によって歴史的に形成されてきたものである。そして自己と他者とを分かつ差異を生み出すものとなる。そしてこのような文化や民族という概念は決して静的なものではなく、さまざまな文化間交流や、政治関係、フーコーが定義するような権力の関係によって変わっていったり、再構築されたりする動的なものである。サイードが、「東洋とは西洋がアイデンティティを確立するための植民地主義の効果/産物として構築されたものである」と論じるように、アイデンティが他者との権力関係によって他者から規定されたものを引き受けるような状況も存在する。本科目では、このような文化・民族概念の背後の複雑な力学に対する理解を深め、他者との共生を可能とする、来るべきグローバルな多文化共生社会はいかようなものであり得るか、どのようなものであるべきかについて検討することを目的とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	地域に役立つ再生可能エネルギービジネス		本科目では、本学における「自然エネルギー100％大学」（大学所有のメガソーラー発電所などの発電量と大学のエネルギー使用量を同量にするための試み）のための一連の実践を主とした題材としつつ、再生可能エネルギーによるビジネスモデルの理解と実践方法を学ぶ。この分野における新しいビジネスモデルの創出について多様な視点と実践力を身に付けることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	地域共創デザイン論		少子高齢化が進むにつれ表出してくる諸問題への対応（地方創生・地域創生）が日本中で課題となっている。地域創成は今の日本社会において待ったなしの喫緊の課題であり、それぞれの地域ですでにそれぞれの取り組みがなされてきている。しかしながら、本当に地域創生を進めるためには、志を同じくする人たちとの共創により共感を生み出す事が重要だ。この共感を生み出すのは、それなりの仕掛けが必要である。自治体、企業、個人という立場を超えた真の共創を実現するために、「設計」して「表現」すること、つまり「デザイン」という概念が重要だ。地域共創のためのデザインをいかに創出するかということを理論・実践の両面から検討していくことが本科目のテーマである。各地域に置いて「まち・ひと・しごと」を活性化する活動を実践している人たちがいる。この講義では地域共創の実践者をゲスト講師に招き、共感を生み出すための「設計」と「表現」を検討する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	地球環境論		地球温暖化をはじめとして、今世紀を生きる人類には多くの環境問題が立ちはだかっている。温室効果ガスの排出量は増加を続けており、早急に削減が必要な状況に陥っている。一方で環境問題に対しては誤解に基づく否定的意見が多いことも事実である。本科目では、地球温暖化について、自然科学的研究の成果を踏まえ、現在の気候システムのメカニズムや過去の気候変動について解説を行う。また、地球温暖化以外の環境問題についても触れ、人類が置かれている状況を理解し、行動できる力を養う場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	倫理・SDGs	文化創造論		本科目では、単なる座学の枠を越えて、地域に実際に入っていき、地域の人間たちと協創する中で、実地で新しい文化を創造していくことを体験し経験し、他者とそれを共有する場とする。地域の中での実際のコミュニケーションからいかに新しい文化を創造していくかについて哲学的に理論的に検討することを目的とする。新たなる文化創造に結びつける実践力も同時に養う場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	英語とその世界	○	本科目は、異文化間コミュニケーション力の基盤として、外国語（英語）を運用するための知識や技能を養成することを目的とする。異文化間コミュニケーション力は、実社会で多様な言語文化を背景とする人々と協働する上で欠かせないスキルである。講義では、英語による異文化間コミュニケーション力の土台作りとして、英語コミュニケーションの実践的な演習を行うとともに、多様な言語文化を背景とする人々と良好な関係を築くために必要となる、自他文化に対する理解を深める。	選択必修 （英語or中国語）
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	中国語とその世界	○	本科目は、異文化間コミュニケーション力の基盤として、外国語（中国語）を運用するための知識や技能を養成することを目的とする。異文化間コミュニケーション力は、実社会で多様な言語文化を背景とする人々と協働する上で欠かせないスキルである。講義では、中国語による異文化間コミュニケーション力の土台作りとして、中国語コミュニケーションの場面を想定した演習の中で中国語の基礎を学ぶとともに、中国の言語文化を背景とする人々と良好な関係を築くために必要となる、中国文化および日本文化に対する理解を深める。	選択必修 （英語or中国語）

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	日本語とその世界		本科目は、留学生を対象とした必修科目であり、日本における異文化間コミュニケーション力の基盤として、外国語（日本語）を運用するための普遍的な知識や技能を養成することを目的とする。日本語での異文化間コミュニケーション力は、日本の大学で学び、実社会で日本人と協働する上で欠かせないスキルである。講義では、日本語で学べる力および日本人と協働できる力を養う実践的な演習を行うとともに、日本の言語文化を背景とする人々と良好な関係を築くために必要となる、自他文化に対する理解を深める。	留学生のみ必修
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	英語コミュニケーション基礎A		本科目は、互いの母語が使えない者同士の意思疎通に欠かせない、国際共通語としての英語を身に付けることを目的とする。講義では、国内や海外のさまざまな地域の空港、ホテル、観光地などで遭遇する異文化コミュニケーションに対応できる力を養う。「英語コミュニケーション基礎A」は映像教材を活用し、特に英語圏の文化・生活様式に触れつつ、言語コミュニケーションの基礎となるリスニングの強化と基本構文の定着を図る。毎回の振り返りにより、個々のつまづきを解消し、AIツール利用も含めた効果的な学修方法を身に付ける。必修科目の準備あるいは補強として、必修科目での学びの効果を高めることをねらう。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	英語コミュニケーション基礎B		国際共通語としての英語は、特にお互いの母語が使えない者同士の意思疎通には欠かせない基本的なコミュニケーションツールである。本科目では、国内や海外のさまざまな地域の空港、ホテル、観光地などで遭遇する異文化コミュニケーションに対応できる力を養う。「英語コミュニケーション基礎B」は特に英語圏の文化・生活様式を学びながら、場面や状況を想定した対話練習を通して、リスニング力・スピーキング力を鍛え、身振りや表情、AIツールも効果的に活用した異文化コミュニケーション力を鍛えることを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	韓国語コミュニケーション入門		本科目は、韓国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した、簡単なコミュニケーション活動を通して、韓国語の基本的なフレーズ・語彙・発音・文の組み立てを学ぶことを目的とする。韓国語の発音や文字を一から学びたい者は、まずはこの講義から始めるのが望ましい。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	韓国語コミュニケーション基礎		本科目は、韓国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した、簡単なコミュニケーション活動を通して、韓国語のフレーズ・語彙・発音・文の組み立てを学ぶことを目的とする。韓国語の発音や文字をある程度身に付けている履修者を想定し、「韓国語コミュニケーション入門」よりも幅広い話題や表現を扱えるようになることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	中国語コミュニケーション入門		中国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した、簡単なコミュニケーション活動を通して、基本的なフレーズ・語彙・発音・文の組み立てを学ぶことを目的とする。中国語の発音や文法を一から始めたい人向けの授業であり、秋学期の必修科目の準備としても活用できるものとする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	中国語コミュニケーション基礎		中国の生活や文化に触れながら、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な場面を想定した簡単なコミュニケーション活動を行う。すぐに使える会話表現を練習しながら基本的な語彙・発音・文の組み立てを定着させることを目的とする。AIツールの利用も含めた効果的な学修方法を理解し、中国語で情報交換できる力を自分で鍛えていける力を身に付けることを目指す。春学期の必修科目での学びを補強・定着させるためにも活用できるものとする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	異文化コミュニケーション（英語）		国際共通語としての英語は、特にお互いの母語が使えない者同士の意思疎通には欠かせない基本的なコミュニケーションツールである。本講義では、海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、具体的な異文化接触・多文化交流場面を想定した対話練習や、文化差や言語差によるミスコミュニケーションのケーススタディを通して、英語圏を含め、さまざまな文化背景を持つ人々と人間関係を築けるよう英語による異文化コミュニケーション力を鍛えることを目指す（非言語コミュニケーション・AIツールの効果的な活用も含む）。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	異文化コミュニケーション（韓国語）		海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、日韓交流場面を想定した対話練習を行い、韓国文化や生活様式についてグループワークを通して理解を深めることを目的とする。日韓の文化差によるミスコミュニケーションのケーススタディを通して、韓国文化を背景する人々と人間関係を築けるよう韓国語による異文化コミュニケーション力を鍛える（非言語コミュニケーション・AIツールの効果的な活用も含む）。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	異文化コミュニケーション（中国語）		海外旅行や日常生活での外国人対応、キャンパスでの留学生との交流など、日中交流場面を想定した対話練習を行い、中国文化や中国のさまざまな地域の生活様式についてグループワークを通して理解を深めることを目的とする。日中の文化差や言語差（漢字の違いなど）によるミスコミュニケーションのケーススタディを通して、特に中国文化を背景する人々と人間関係を築けるよう中国語による異文化コミュニケーション力を鍛える（非言語コミュニケーション・AIツールの効果的な活用も含む）。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	国際語としての英語		国際共通語としての英語は、特にお互いの母語が使えない者同士の意思疎通には欠かせない基本的なコミュニケーションツールである。本科目では、異文化接触・多文化交流に関わる読み物や映像教材（ニュースやインタビュー、ドキュメンタリーなど）を通して、日本を含め世界各地でどのような人々がどのように英語を使っているかを学ぶことを目的とする。さまざまな英語に触れつつ、文化差や言語差によるミスコミュニケーションの実例を知り、異文化接触・多文化交流の場で英語を道具として使う土台を作ることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	自然言語	国際語としての中国語		中国語は多くの人が第一言語として使用する言語であり、中国本土だけでなく、台湾、香港、シンガポールを含め、世界各地で10億人もの人々に使われている。本科目では、中国語が活躍する異文化交流場面を想定した対話練習を行い、中国本土や中華圏の文化や生活様式についてグループワークを通して理解を深めることを目的とする。さまざまな中国語に触れつつ、文化差や言語差によるミスコミュニケーションの実例を知り、異文化接触・多文化交流の場で中国語を道具として使う土台を作る場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報入門	○	近年、Society5.0やDXといったキーワードを通じて情報技術が社会活動に取り組まれ学びや仕事の方法が徐々に変化している。さらに大規模言語モデルを利用したAI技術が大きく発展した結果、知識とは何か、といった根本的な問題についても考えさせられるようになっている。一方で、大学で学ぶべき専門知識やそれを社会に活かすための基本的なICTスキルを身に付けることは依然として重要であり、そのための学修の価値は変わっていない。 本科目では、大学生活や社会生活で必要となるパソコン、スマートフォン、インターネット、AIなどの情報利活用技術について、「みつける」、「まとめる」、「つたえる」の三つの力を通じ実践的に学ぶ。具体的には、パソコンの基本操作、電子メールや情報検索などウェブサービスの利活用、文書作成、表計算、プレゼンテーションスキル、タイピングスキル等を身に付けると同時に、演習を通じて情報の活用や表現の技法、情報倫理などを研究や学修を効果的に進めるための考え方や技能、すなわちアカデミック・リテラシーとして修得する。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	プログラミング入門		コンピュータを思い通りに動作させるには、コンピュータへの命令を一つずつ順に記したプログラムを作成するが、その作業のことをプログラミングと呼ぶ。プログラムを作成する過程では、自分で問題を解決するための考え方やその手法や手順すなわちアルゴリズムを学修する必要がある。初学者を対象に、アルゴリズムの基礎とプログラミングの基本要素である変数、式、条件分岐、繰り返し、関数の概念などを学ぶことを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報科学概論		コンピュータの仕組みや構成要素などのテクノロジとその社会における活用方法や事例、そして情報セキュリティ、情報倫理に関する内容について講義を行う。具体的には、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、電子メールやWWWなどのインターネットサービスやＬＡＮなどに関する知識の理解を目的とする。また、企業など組織の業務でコンピュータを利用する場合の情報システムの活用方法や事例、最新のテクノロジを講義で扱う。更に、情報セキュリティにおける脅威やリスク、対策と関係法令など情報社会のコンプライアンスに関する知識を扱う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報処理		Microsoftオフィスソフトを利用して「みつける」、「まとめる」、「つたえる」の３つの力を統合することを意識して学ぶ場とする。情報を収集し、分析・加工することにより、新たな情報を創出するとともに、分かりやすく表現するために必要な情報処理の基礎的な知識や技能をコンピュータを利用した演習形式で修得することを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	情報言語	情報実践		表計算ソフトを実務で使いこなすための利用方法を学ぶ場とする。表計算ソフトでは、関数及びデータ分析ツールを用いた統計処理やデータベースとしての基本的な使い方を学ぶ場とする。「みつける」、「まとめる」、「つたえる」の３つの力を統合し発揮できるような演習を通じて、課題や目的に応じた情報スキルを適切に選んで活用し必要な情報を主体的に収集、判断、処理、伝達ができる能力と問題発見・問題解決の能力を身に付けることを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	会計リテラシー	○	会計の基本的な知識を得て、会計情報を理解し、会社のお金の流れを知り、その会社の状況と課題を理解し、それを自分の仕事に生かしていけるようになるのは、社会人であれば誰でも必要な基本的な能力である。本授業では、会計リテラシーを学修し、その役割さらにはアカウンタビリティの重要性を理解することで倫理観を養うとともに、事例から会計情報を入手し活用する能力を身に付け、ビジネス社会において活用するための実践的な学びへと誘う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	経理実務入門I		企業や個人事業で行われている経理・総務の実務を時系列に沿って解説し、実物の様式を用いて記入方法を学び、社会人になって役立つ経理、社会保険などの基礎知識を修得することを目的とする。簿記・会計の資格試験に合格することはキャリア形成のためには有効である。しかし、これに加えて実際の事例を理解し、その処理方法を学ぶことはキャリア形成に大変役立つと考える。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	経理実務入門II		企業や個人事業で行われている経理・総務の実務を時系列に沿って解説し、実物の様式を用いて記入方法を学び、社会人になって役立つ税務の基礎知識を修得することを目的とする。簿記・会計の資格試験に合格することはキャリア形成のためには有効である。しかし、これに加えて実際の事例を理解し、その処理方法を学ぶことはキャリア形成に大変役立つと考える。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	税務実務入門I		所得税は、個人の１年間に得た所得に対して課税される国税であり、法人税、消費税と並び我が国の租税収入の柱となるものである。しかし、本来一番身近であるはずの所得税では、給与所得者が多く、源泉徴収制度により課税が完結してしまうため、その全体像は案外知られていない。そこで、本科目では、各回の授業において税務の場で必要とされている税理士の仕事内容、税理士としての仕事上の経験やエピソードを踏まえて、所得税法の概要と10に分類されている各所得の内容と金額の計算から納税額までを計算するプロセスを講義し、キャリア形成に役立つ所得税の知識を修得する場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	税務実務入門II		税務とは収益や費用などを基に、企業が国に納付するべき税金を計算し、申告することであり、税務をしないと脱税容疑がかかってしまうので、上場・非上場を問わず、ほぼあらゆる企業において財務会計は行われている。本科目では税務の場で必要とされている、消費税及び相続税の納税義務の法律的な理解、およびその税額を計算するプロセスおよび具体的な方法、そして実際の申告のしかたを取り扱う。キャリア形成に役立つ税の知識を修得する場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	会計言語	簿記特講		簿記とは、商品の取引など、企業における経済活動の動きを整理・記録するための手段であり、会社のお金の流れを理解できるようになるという点で、経理の業務を担当する人間だけではなく、社会人であれば誰にとっても役に立つスキルである。本科目では、簿記の基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けながら、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格することを目指すとともに、さらに上級へと学修できる能力を養うことを目標とする。授業は週2回行い、個々の実力に応じた指導をしていく。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	生活と金融リテラシーI	○	豊かな人生を築いていくためには，自分自身の人生を設計するライフプランの存在が大きな役割を果たす。その達成のために、学生生活の早い段階で基本的なマネープランに関する基礎知識を修得し，あわせて倫理的理解の養成が必要となる。本科目では、これらを実践することで，人生に生かしていく能力を身に付けることを目的とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	生活と金融リテラシーII		パーソナルファイナンスは、個人のライフデザインを土台にライフプランに方向づけられた個人と家計のファイナンスである。本科目「生活と金融リテラシーII」は、AFP（=2級FP技能士）水準を前提とし、パーソナルファイナンスに関する6科目のうち、ライフプランニング、タックスプランニング、金融資産運用設計の3科目を扱う。 残りの3科目は秋学期開講の「生活と金融リテラシーIII」で扱う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	生活と金融リテラシーIII		パーソナルファイナンスは、個人のライフデザインを土台にライフプラン方向づけられた個人と家計のファイナンスである。本科目「生活と金融リテラシーIII」は、AFP（=2級FP技能士）水準を前提とし、パーソナルファイナンスに関する6科目のうち、リスク管理、不動産、相続・事業承継の3科目を扱う。残りの3科目は春学期開講の「生活と金融リテラシーII」で扱う。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	キャリア入門		本科目では、自分自身が価値観や強みを大切にしつつ人生を歩むために、キャリア形成のための知識を身に付けることを目的とする。社会の現状を理解しつつ、自分の価値観や強みについて理解を深め成長するための方法、キャリア形成の理論の基礎を学ぶ場とする。大学生活の過ごし方についても考え、働く上でのトラブルを回避するために、ワークルールの基礎についても学ぶ場とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	インターンシップ概論		本科目では、インターンシップ、オープンカンパニーについての理解を深め、就業体験を業界・企業研究、適職発見などに活かすためのポイントを学ぶことを目的とする。プログラムの発見、比較検討などの方法を学ぶ場とする。これらのプログラムに参加する際の目標設定や、実際に参加する際のマナーなどについても学ぶ場とする。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	キャリア	就業力実践		本科目は、自分自身が価値観や強みを大切にしながら人生を歩むために、自分自身の卒業後の進路について考えるとともに、実際の進路を選択するための知識やスキルを身に付けることを目的として実施する。具体的には、講義において、業界・企業研究、自己分析の知識やスキルを身に付け、使いこなせるようにすることを目指す。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	健康管理	コーチング論		本科目は、なりたい自分に自分を導くセルフコーチングの技術を学び、心身の健康を管理するための能力を身に付けることを目的とする。健康の定義には、社会的にも満たされた状況が必要とされる。より良い社会性を身に付けるためのケーススタディを軸に、自身がどんな言葉や態度を持ってリードするのか、主体的に判断できる能力を獲得する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	健康管理	健康・スポーツ演習		本科目は、生涯にわたり自身の健康を管理するための基礎知識を学ぶとともに、実践及びその振り返りを通して、健康とスポーツの関連について理解を深めることを目的とする。また健康・スポーツ活動に内在する4つの経験(自己開示、他者協力、挑戦達成、楽しさ実感)を通じて、身体的な健康だけでなく精神的にも社会的にも自身を豊かにする能力を獲得する。	
ＣＵＣ基盤教育科目群	健康管理	健康科学		自身の健康、健康管理に関する理解を深めるために、特に以下の3つのテーマについて学ぶ。 1. 人生の質（QOL）について、2. 有酸素運動の効用について、3. 喫煙・飲酒・薬物・ゲームなどに共通する依存性について 現在と将来を健康に生きるための知識を科学的に考えることができるようになり、自分の考えやそのための方法をまとめられるようになることを目指す。	
アドバンスト科目群	グローバル	Extensive Reading & Listening		地球規模の諸問題および世界諸地域の言語文化に関する映像資料を主教材として、そうしたトピックについて背景知識を蓄えつつ、情報収集や議論を行うに十分な英語のリーディング力・リスニング力・語彙力を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Grammar in Use		ビジネスに関わる多文化コミュニケーション場面を想定し、背景知識を蓄えつつ、文脈の中で英語表現を学び、適切な構造とコミュニケーション・スタイルを身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Global Communication		ビジネスに関わる多文化コミュニケーション場面（英文報告書やメール、英語での打ち合わせや交渉、顧客対応など）を想定した演習を通じて、国際語としての英語を用いたグローバル・コミュニケーション力を鍛える。	
アドバンスト科目群	グローバル	Digital Communication		デジタル・コミュニケーションのための英語を実践を通じて鍛え、英語でのコミュニケーションの実例を通じて、AIツール利用を含むデジタル・リテラシーを身につける。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	グローバル	Language & Culture		世界諸地域の言語文化をトピックとして様々な地域文化について学びながら、異質に思える生活行動やコミュニケーション・スタイルに遭遇した際、その背景を考え適切に解釈する力を身につけ、多文化コミュニケーション環境における柔軟な対応力の土台をつくる。同時に、様々な地域文化との比較を通して自文化への理解を深め、英語によるリサーチ・議論・発表・エッセイライティングの演習を通して、異文化を背景とする相手に客観的に説明できる力を鍛える。	
アドバンスト科目群	グローバル	Global Studies		英語での交換留学や国際貿易・海外マーケティングなどに関わるコミュニケーション場面で、地球規模の諸課題について英語を用いて建設的な議論ができる力を身につける。国際的な現象や国境を超えた出来事、地球環境問題、グローバル・ネットワークにまつわる課題などをトピックとして取り上げ、英語による演習を通じて、リサーチ・議論・発表・エッセイ・ライティングを行う力を鍛える。地球規模と地域規模の関係にも注目し、自文化を含めて様々な視点から物事を考える態度を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	Academic English		英語での交換留学を想定し、現地の学生たちとともに、専門分野について文献を読み、議論し、リサーチや発表を行うのに十分なアカデミックな英語力を鍛える。専門的な分野についてのリーディング・ディスカッション・プレゼンテーション・レポート作成演習を通して、専門的な話題に対応できるアカデミックな語彙を強化し、伝わる文章・プレゼンテーションを作成するための文構造・論理構造・文章構成を身につけ、説得力のあるディスカッションのための論理的かつ批判的思考力を鍛える。	
アドバンスト科目群	グローバル	多文化ワークショップ		日本国内の異文化コミュニティでの交流やキャンパスでの多言語多文化交流の実体験、そしてホームステイ先や職場における多言語交流を想定したケース・スタディを通じて、多文化・多様性を肌で感じ、自分ごととして考える土台を作る。	
アドバンスト科目群	グローバル	地域研究A		国際関係を理解するために、日本の周辺地域としてのアジア・太平洋地域における文化と宗教について知り、その成り立ちについて、その時間的、空間的な変化とそれを超えた相似性を理解しておくことが必要である。この講義では、それぞれの文化と宗教を他地域と比較しながら、それらがどのように形作られ発展してきたのかを主な論点として解説する。また、写真を通してそれぞれの地域における文化と宗教の現状と課題について、関連する写真や新聞記事を通して考察する。	
アドバンスト科目群	グローバル	地域研究B		アジア諸地域の日本にとっての重要性を念頭におきながら、貧困問題を中心としてアジアの経済・社会について理解を深める。世界の貧困問題は、持続可能な開発目標（SDGs）にある17の目標の最初にあげられており、先進国、発展途上国すべてがその解決にむけて取り組むべき問題とされている。先進国、中進国、貧困国が含まれるアジア地域の経済・社会的な多様性を理解し、世界の貧困問題を考える力を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	多文化フィールドワークA		社会の中の異なる立場や視点を理解し、多文化、多様性の社会における課題について協働で検討できる力を身につける。まず、多文化共生社会を理解する上で有効なアプローチとなるフィールドワークという研究手法を学びながら、日本の多文化共生に関する社会情勢と在日外国人の現状を理解し、ソーシャル・デザインの視点から課題を考える。その上で、履修者自らの問題意識に即してグループごとに課題を設定し、フィールドワークを実践、成果報告を行う。	
アドバンスト科目群	グローバル	多文化フィールドワークB		社会の中の異なる立場や視点を理解し、多文化、多様性の社会における課題について協働で検討できる力を身につける。多文化共生社会を理解する上で有効なアプローチとなるフィールドワークという研究手法を学びながら、日本国内の異文化コミュニティに赴いて日本で暮らす外国人の生活・ネットワーク・コミュニティの構造を文化人類学的視点から探る。その上で、履修者自らの問題意識に即してグループごとに課題を設定し、フィールドワークを実践、成果報告を行う。	
アドバンスト科目群	グローバル	ビジネス中国語		主にビジネスの場面での中国語でのコミュニケーションを想定し、中国事情や中国人のコミュニケーション・スタイルについての知識も身につけながら、実践的な演習を通じて中国語でのコミュニケーション力を鍛える。様々なコミュニケーション場面について、関連するやりとりの実例や中国事情を示す映像資料を利用して、会話や文書でのコミュニケーション実践練習を行う。経済・環境・テクノロジー・社会活動など、より広い領域の話題について中国語でコミュニケーションが会話が行えるよう、語彙力を強化し文法の知識を高める。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	グローバル	実用中国語		中国語圏での交換留学を想定し、留学先の生活・文化や中国人のコミュニケーション・スタイルについての知識も身につけながら、現地で有意義な学生生活を送るのに必要になるコミュニケーション力を鍛える。留学先の授業や課題に関するコミュニケーション場面や、様々な地域からの留学生や留学先の人々とのコミュニケーション場面を取り上げ、語彙力を強化し文法の知識を高めながら、実践的な演習を通じて、実用的な中国語力（読む・聞く・話す・対話する・書く）を身につける。	
アドバンスト科目群	グローバル	海外短期文化研修I		本学で提供している短期の海外研修に参加し、研修先の生活環境の中に身を置き、言語力も含めた異文化コミュニケーション力を実践の中で養う。その地域の言語コミュニケーション・文化・生活様式・歴史的背景について、実体験を通して理解を深め、比較を通して自文化を客観的に見る視点を獲得する。I, II は別の研修先を選ぶこと。	集中
アドバンスト科目群	グローバル	海外短期文化研修II		本学で提供している短期の海外研修に参加し、研修先の生活環境の中に身を置き、言語力も含めた異文化コミュニケーション力を実践の中で養う。その地域の言語コミュニケーション・文化・生活様式・歴史的背景について、実体験を通して理解を深め、比較を通して自文化を客観的に見る視点を獲得する。I, II は別の研修先を選ぶこと。	集中
アドバンスト科目群	グローバル	海外長期文化研修I		本学で提供している1学期間の海外研修に参加し、研修先の生活環境の中で言語力も含めた異文化コミュニケーション力を向上させつつ、現地学生とともに専門分野の講義を受講し、アカデミックな場面での言語コミュニケーション力や他文化での協働力を鍛える。その地域の言語コミュニケーション・文化・生活様式・歴史的背景について、現地での生活体験や講義での調査・発表を通して理解を深め、自他文化について客観的に比較対照し、説明できる力、ミスコミュニケーションを解決できる力を身につける。	集中
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	AI概論		この科目では、AIの起源や進化、主要な技術の概要を学ぶ。講義では、機械学習、深層学習、自然言語処理、コンピュータビジョンなど、AIの主要な分野の基本的な原理とその応用について解説する。また、AIの倫理や社会的影響、法律的な側面についても議論する。この科目を修得することで、AIの基本的な概念や応用分野についての理解を深め、AIが現代社会に及ぼす影響や可能性について考える能力を身につけることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	社会科学のための情報学特論		この科目では、社会科学の観点から情報やデータサイエンスの応用について学ぶ。講義では、担当する教員がそれぞれの専門分野から最新の研究成果や実践事例を紹介し、学生に新たな知見や考える機会を提供する。この科目を修得することで、社会科学の分野において情報・データサイエンスの知識がどのように活用されているか理解を深め、学生自らのキャリアや研究の可能性について視野を広げることが期待される。 第1回 71 田原 慎二 社会科学と情報・データサイエンス 第2回 11 小野 聡 地域の計画におけるシミュレーションとゲーミング 第3回 16 大矢野 潤 データビジュアライゼーション 第4回 21 久保 誠 プログラミング方法論 第5回 4 久保 裕也 ウェブ情報学・サービス情報学 第6回 39 寺野 隆雄 AIの社会応用 第7回 37 出口 弘 会計と情報 第8回 40 仲野 友樹 企業における情報システムの活用 第9回 44 平原 隆史 ネットワークで見る社会と人間 第10回 47 宮田 大輔 母関数と数え上げプログラミング 第11回 46 箕原 辰夫　計算機システム 第12回 55 渡辺 恭人 地理位置情報システムの利活用 第13回 71 田原 慎二 経済学におけるデータ分析	オムニバス
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンス実践		この科目では、多変量解析、時系列解析、クラスタリング、次元削減、画像処理、自然言語解析などのデータ分析の実践について学ぶ。講義では、Pythonなどのプログラミング言語のデータ分析ライブラリを活用して、データセットの操作、モデリング、評価を行う。また、機械学習アルゴリズムの適用やモデルの評価方法についても学ぶ。これらの学修を通じて、実際のデータに対してデータサイエンスの手法を適用し、問題の発見や解決などデータサイエンスの実践的な力を養うことが期待される。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスのための数学		この科目では、線形代数、微積分、確率、初歩的な集合論などの内容を詳細に説明し、データサイエンスに必要となる数学的なアプローチについて学ぶ。講義では、線形代数、微分積分、確率、集合論、アルゴリズムなどについて学び、数学的なモデルを構築する能力を養う。この科目を修得することで、データの解釈やモデリングにあたり数学的な思考を用いながら行う能力を身につけることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスのためのプログラミングI		この科目では、Pythonなどのプログラミング言語を取り上げて、基本的な文法や構文（変数、条件分岐、ループなど）、関数の定義と呼び出し、データ構造、アルゴリズム、モジュール、入力と出力、エラーハンドリング、オブジェクト指向などのプログラミングの基礎について学ぶ。この科目を修得することで、基本的なプログラミングスキルを習得し、データサイエンスの分野への基礎を築くことが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスのためのプログラミングII		この科目では、初歩的なプログラミング知識を身に付けた学生を対象として、データ処理・分析によく用いられるライブラリの活用法や、データのクレンジング、変換、集計、統合などの実践的なデータ処理技術を習得することを目指す。さらに、データの可視化の手法についても学び、グラフ作成や基本的な統計解析手法を身に付ける。この科目を修得することで、データサイエンスにおける基礎的なデータ処理スキルを身につけることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データ活用の統計学実践		この科目では、統計学の基本的な概念や手法を理解することを目指す。講義では、確率の基礎、確率分布、仮説検定、データの相関、回帰分析、多変量解析、時系列分析、ベイズ統計学など、データサイエンスのために必要となる統計学の基本的なトピックをカバーする。この科目を修得することで、データの分析やモデリングにあたって統計学を活用するための統計学の基礎的な知識を身につけることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスプロジェクトI		「データサイエンスプロジェクトI・II」では、実際のデータサイエンスプロジェクトに取り組む。学生は自身の興味や関心のあるテーマを選び、データの収集、前処理、可視化、モデリング、評価などの一連のプロセスを実践する。「データサイエンスプロジェクトI」では、目的の設定、データの作成／探索、手法の選定の仕方などを学び、実際に自分の研究方針を決定することを行う。講義はゼミナール科目群形式として、教員や他の学生とのディスカッションやフィードバックが行われ、プロジェクトの進捗や結果の報告を行う。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	データサイエンスプロジェクトII		「データサイエンスプロジェクトI・II」では、実際のデータサイエンスプロジェクトに取り組む。学生は自身の興味や関心のあるテーマを選び、データの収集、前処理、可視化、モデリング、評価などの一連のプロセスを実践する。「データサイエンスプロジェクトII」では、成果として研究発表の機会を設けることで、学術的なプレゼンテーションスキル、自身の研究成果を広く発信する力を養う。この科目を通じて、実践的なデータサイエンスのスキルを磨き、プロジェクトの遂行能力やそれ広く発信する力を身に付けることが期待される。	
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	統計システム開発実習I		「統計システム開発実習I・II」では、システム開発を体験するためのPBL（Project Based Learning）に取り組む。このうち「統計システム開発実習I」では、導入としてソフトウェアの受託開発の業務の流れを模擬的に体験できるワークショップを実施する。次に、このワークショップの振り返りを通じて、なぜ、どのように業務が「失敗」するのかを検討し、アジャイルなどのソフトウェア開発作法を用いる際の要点を理解する。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	情報・データサイエンス	統計システム開発実習II		「統計システム開発実習I・II」では、システム開発を体験するためのPBL（Project Based Learning）に取り組む。このうち「統計システム開発実習II」こでは、少人数でのグループワークとして、情報通信系の企業などで実務に関わっている社会人から提示されたテーマをもとに、限定的な規模での受託開発業務に実際に取り組む。納品をし検収を受けた結果をもとに、最終課題として成果発表会を行う。	
アドバンスト科目群	キャリア	CSR経営論		今日の消費者や投資家は、企業が自社の経済的利益を追求するだけでなく、社会的責任（CSR）を果たすことを求めている。当講義では企業のCSR経営の概要や必要とされる背景、課題、CSRの国際規格である「ISO26000」の内容などについて分かりやすく説明する。また、企業のSDGsへの取組みも含め実例紹介をしながら履修者に今後の企業の在り方や姿勢をディスカッションを交え考える。	
アドバンスト科目群	キャリア	イノベーション実践A		企業、自治体、社会で活躍するビジネスパーソンなどが事業創造、商品企画、広告・PR戦略、地方振興などに関する企画提案の課題を出し、それにグループで取り組み、企画提案をするワークショップ形式の科目である。	
アドバンスト科目群	キャリア	イノベーション実践B		企業、自治体、社会で活躍するビジネスパーソンなどが事業創造、商品企画、広告・PR戦略、地方振興などに関する企画提案の課題を出し、それにグループで取り組み、企画提案をするワークショップ形式の科目である。「イノベーション実践A」とは科目の構成は同じだが、異なる組織から課題が出題される。	
アドバンスト科目群	キャリア	キャリア形成論		大学生は目先の問題である就職先について考えることが多いが、それはキャリアの第一歩に過ぎない。そこから出発して、いかに自分のキャリアを育て、経験やスキルを蓄積して、5年後の自分、10年後の自分を確立していく意識を持ち、そしてそのための実践が必要であることを意識する必要がある。本講義では、キャリア形成の理論に対する体系的な学びを提供する。主要なキャリア形成の理論を身に付けつつ、その理論を活かした上で、自身のキャリアプラン、アクションプランを立てることを目標とする。	
アドバンスト科目群	キャリア	仕事の意思決定		われわれはビジネスの世界で生活している際、何らかの意思決定を迫られるときがあり、その決定が大きな岐路をもたらすこともある。ビジネス、危機管理、個人の人生などにおける意思決定の場面について、ケースディスカッションを行い、どのような意思決定をするべきかを考える。その際、それぞれの選択肢を理論的に分析する能力が必要となるので、そのために、意思決定のための理論も同時に提供していく。	
アドバンスト科目群	キャリア	ディーセント・ワーク論		本科目では「まっとうな仕事、働き方」について考察を深める。労働をめぐるヒューマンライツ、ダイバーシティの推進、ワークルール、労働とジェンダーなどについて理解を深める。現代社会の労働と人権をめぐる最新事情を学ぶ。学生時代のアルバイトにおいて、卒業後の社会においてまっとうな働き方ができるように理解を深める。	
アドバンスト科目群	キャリア	ライフヒストリー研究		様々な人物のライフヒストリーについて書籍や映像をもとに確認し、読み解く。ライフヒストリーをもとにディスカッションも行う。キャリア形成に関して理解を深めるとともに、ロールモデルと出会う機会とする。	
アドバンスト科目群	キャリア	業界・企業研究A （IT、金融ビジネス）		本科目では、IT・金融ビジネスを中心に企業活動の最新事情について学ぶ。業界構造、ビジネスモデルを学んだ上で、最新のトピックス、各企業のポジショニングなどを学ぶ。ケーススタディ、実務家による講演なども盛り込む。	
アドバンスト科目群	キャリア	業界・企業研究B （ホスピタリティ領域、 グローバル領域）		本科目では、旅行・ホテル・運輸などを中心としたホスピタリティ領域、商社、メーカーなどを中心としたグローバルビジネスに関して企業活動の最新事情について学ぶ。業界構造、ビジネスモデルを学んだ上で、最新のトピックス、各企業のポジショニングなどを学ぶ。ケーススタディ、実務家による講演なども盛り込む。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
アドバンスト科目群	キャリア	社会実践論		社会で活躍する様々な分野のビジネスパーソンを招き、これまでのキャリア形成や、現在の仕事について講演を聞く。本学の卒業生を招聘することもある。登壇者の業界・企業やプロフィールについて事前に予習する。事前・事後にグループディスカッションにより、内容に関する理解を深める。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養A		数的処理のうち数的推理と資料解釈について詳説する。例題を用いて数的推理と資料解釈の基本的な出題パターンを扱い演習問題を繰り返し解くことで、速く正確に計算する技能を修得することができる。さらに、定期的に演習をおこない実践的な問題を集中して解くことにより数的推理と資料解釈に関する理解が深まる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養B		政治・経済・社会について詳説する。演習問題を繰り返し解くことで、政治・経済・社会に関する履修者の知識を深める。社会人として持ちうるべき、政治・経済・社会に関する知識と思考力を修得することができる。履修者が、日本における政治・経済・社会に関わる問題に関心持ち、内容を把握して、自ら考えることができるようになる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養C		文章理解（現代文）について詳説する。現代文はあらゆる学問の基礎にあり、その強化は理解力やコミュニケーション能力の向上につながると期待できる。また、論作文とその書き方も教える。社会人になると、計画書や報告書などを書く機会があるが、論作文について学ぶことは文章を構成する上で役立つと期待できる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養D		数的処理のうち判断推理と図形について詳説する。例題を用いて判断推理と図形の基本的な出題パターンを扱い演習問題を繰り返し解くことで、速く正確に計算する技能を修得することができる。さらに、定期的に演習をおこない実践的な問題を集中して解くことにより判断推理と図形に関する理解が深まる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養E		日本史、世界史、および地理について詳説する。演習問題を繰り返し解くことで、日本史、世界史、地理に関する履修者の知識を深める。歴史的な見地から日本、そして世界を俯瞰することで、日本のあるべき形や自身のアイデンティティを考える機会を学生に与える。地理を学ぶことで今ある世界、そして未来の形について考えることができるようになる。	
アドバンスト科目群	総合教養	総合教養F		文章理解（英文）と自然科学（生物・地学）について詳説する。演習問題を繰り返し解くことでこれらの分野の知識を深める。履修者の英語力が養われれば、国際性を高めることができる。また、生物、地学に関する教養としての知識を修得することができる。学生が生物、地学に興味を持ち、自分なりに考えることができるようになる。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	学部入門科目	政策情報学概論	○	政策情報学科は、「VUCA」とも呼ばれる予測不可能な現代社会のさまざまな課題に対して、経済学・法学・社会学を軸足としつつ、多様な学問分野の知見を総合させて、多元的な知識とデジタル・メディアを活用するための視点を修得し、社会のさまざまな分野で他者と協調して問題発見・解決にあたる能力の養成を図り、社会に貢献できる人材の養成を目的としている。本科目では、その導入授業として「問題発見の目」と個別の学問分野をつなげて考える力（協調的問題解決力）を育てる授業であり、同時に、大学で学ぶ目的や、今後の学修計画や将来進路を考えるための講義である。政策情報学とはどのような学問で、今後在学中にどのようなことを学ぶことになるかを学修する。 第1回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 総論　政策情報学科での学び 第2回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 先輩達の学びから政策情報学について考える 第3回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 社会科学の理論的展開と政策情報学 第4回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考1 超領域的思考の重要性 第5回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考2 多元主義的思考とは何か 第6回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考3 大衆目線の重視 第7回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考4 「合理性」の限界 第8回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考5 日常的実践への着目 第9回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考6 物語性の重視 第10回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考7 場所性の重視 第11回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考8 重層的非決定とは何か 第12回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 政策情報学的思考9 コンヴィヴィアルな社会の顕現 第13回 3 朽木 量／12 戸川 和成／11 小野 聡 まとめ～今後の政策情報学の行方～	共同
専門科目群	学部入門科目	公共政策入門	○	本科目では、1）日本の様々な政策分野の問題に対し、「公共政策とは何か」を問いかける。そして、2）公共政策を導出する政治を社会にとって望ましい公的決定として定義した上で、公共政策が様々な政策分野に応じて、どのように現実と理想を妥協し、権力と正義を調整しえているのかをケース・スタディを取り挙げながら考える。さらに、3）権力と社会の均衡点を理解するため、アジェンダの枠組みを政策問題の対立軸から着想を得る。 本科目では、様々な政策問題をめぐる公共政策の争点を規範的な価値・理念に置き換えて整理する能力を修得する。そして、対立軸に沿って、政治という舞台で演じる様々な役者（アクター）の役割を概括的に学び、パブリック・マインドを涵養することを目指す。	
専門科目群	学部入門科目	現代社会学入門	○	本科目では、「人と人の関係の秩序形成と変容の仕組み」を明らかにする質的社会学の基礎を学ぶ。人と人の関係に秩序があるとはどういうことだろうか。また、それはどのような条件によって、いかに変容するのだろうか。本科目では、社会学理論の講義に基づいて、社会学が対象とする事例をリサーチし、社会学的に考える素養を身に付ける。具体的には、クラス、ジェンダー、エスニシティ等の観点から、現代日本社会の諸事例にアプローチする。	
専門科目群	学部入門科目	経済入門	○	本科目では、政策情報学科における学びを始めるにあたり必要となる、経済に関する基本的な知識を提供する。具体的には、経済の仕組み、現代経済の主要なトピック、経済学の基本的な内容などについて学ぶ。講義ではまず実生活における経済的な事象や現象を理解するためのフレームワークを提供する。そして、所得分配、経済政策、国際経済、経済成長など、現代の経済における主要な話題についても紹介する。また、経済学への導入として、マクロ経済の動向、企業の意思決定、市場の動きなどについても学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	法学・政治学領域	憲法特論	○	国家の基本法たる憲法は、人権、統治と大きく分かれており、本科目では、人権分野と、憲法の歴史と思想を扱う憲法総論分野を中心に講義を行う。人権分野では、包括的人権、平等原則、思想良心の自由、信教の自由、表現の自由、経済的自由権（職業選択の自由など）、学問の自由、生存権などの社会権、人身の自由について扱う。講義は、理論的な説明だけではなく、判例をモデルにした事例問題を通じたケースメソッドを併用しながら進める。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	公法各論	○	本科目では、公法のうち、特に憲法の統治分野（立法、行政、司法、地方自治、予算など）及び、行政法の行政事件訴訟法、行政組織法、国家賠償法の領域を中心に講義を行う。講義は、憲法の統治分野及び、行政法の行政事件訴訟法の主要判例の内在的理解を目指しながら、古典的な学説から最新の学説を踏まえて進める。講義は、理論的な説明だけではなく、判例をモデルにした事例問題を通じたケースメソッドを併用しながら進める。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	行政法	○	本科目では、行政法のうち、特に、行政法総論分野を中心に扱う。具体的には、行政法の基本原理、行政基準（法規命令、行政規則など）、行政処分、行政裁量、行政手続法、非権力的行政行為形式（行政契約、行政指導など）、行政上の強制執行、即時強制、行政罰、行政調査、行政不服審査を中心に検討する。主要判例の内在的理解を目指しながら、古典的な学説から最新の学説まで踏まえて、講義を進める。講義は、理論的な説明だけではなく、判例をモデルにした事例問題を通じたケースメソッドを併用しながら進める。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	行政学	○	本科目の目的は、「行政」と言われる社会的機能の一部を担う範域の成立と変遷、およびその「行政」を分析する学問としての「行政学」の理論と各論を教授することである。「行政」は元々、「政治」の一領域でありながら、近代以降、相対的に独立し、さらにその機能はより細分化されて今日に至っている。そして近年では、公民協働の名の下で、民間にもその一部の機能を担わせるようになっている。この歴史的経緯と近年のトレンドについても教授する。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	民法I	○	本科目では、民法のうち、特に、民法総則、親族相続を中心に扱う。民法総則では、民法の基本原理、権利能力、制限行為能力、物、意思表示、代理、時効、条件・期限などを中心に学ぶ。親族分野では、親族の意義、婚姻、離婚、親子、養子を中心に検討し、相続分野では、相続の開始、効力、遺留分を中心に検討する。判例の内在的理解を目指しつつ、古典的な学説から最新の理論を検討する。講義は、理論的な説明だけではなく、判例をモデルにした事例問題を通じたケースメソッドを併用しながら進める。	地政、地経
専門科目群	法学・政治学領域	民法II	○	本科目では、民法のうち、特に、物権、担保物権を中心に扱う。物権の分野では、物権の種類、物権的請求権、物権変動、所有権、占有権、用益物権などを中心に検討する。担保物権では、留置権、先取特権、質権、抵当権、譲渡担保を中心に検討する。判例の内在的理解を目指しつつ、古典的な学説から最新の理論を検討する。講義は、理論的な説明だけではなく、判例をモデルにした事例問題を通じたケースメソッドを併用しながら進める。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	民法III	○	本科目では、民法のうち、特に、債権総論、債権各論を中心に扱う。債権総論では、債権の種類、債務不履行、責任財産の保全（債権者代位権、詐害行為取消権）、弁済、債権譲渡、多数当事者の債権関係などを中心に検討する。債権各論では、契約、事務管理、不当利得、不法行為を中心に検討する。判例の内在的理解を目指しつつ、古典的な学説から最新の理論を検討する。講義は、理論的な説明だけではなく、判例をモデルにした事例問題を通じたケースメソッドを併用しながら進める。	地政

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	法学・政治学領域	政治過程論	○	本科目では、現代政治における民主主義システムに関する問題を考えるため、1）「誰が役者（アクター）か」を念頭に置き、政治過程を政治システムの中で要望・要求が出入力され、政策へと変換される過程として理解する。さらに、2）利益（Interest）に基づいて存在し、行動するアクターの存立様式にも触れ、その行動様式を政治参加、投票行動、政治意識とイデオロギーといったテーマを基にして考える。 3）公共政策をめぐる諸アクターには「有権者とマスメディア」、「社会集団」、「議員と政党」、「首相と大統領」、「官僚制と裁判所」を取り挙げ、諸アクターが織りなす権力と社会の政治空間を「ローカル」・「ナショナル」・「グローバル」に分けて理解する。その上で4）現象する政治過程の現実を、現代政治学の理論モデルに当てはめる。5）アクターの存立様式と行動様式に現象する法則性・関係性（原理・原則）と例外を実証分析の知見に基づいて理解する。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	政治学特論	○	本科目の目的は、概論的に政治学を講ずることである。政治とは、プリミティブには、人々の間の利害対立の存在を認めた上で、何らかの権力を行使して、その対立に対処することであると言えるが、その対処の仕方については、人類史的には、さまざまな技術が案出されてきた。警察力・軍事力の行使から始まり、合議による意見集約、選挙などの仕組みなどはその代表格である。本科目では、古代から現代に至るまでの人類史的な政治の変遷および、それを分析してきた政治学の諸学説について、教授する。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	公共政策論	○	私たちの生きる現代社会には個人の努力だけでは解決できない問題（政策問題）に溢れている。公共政策は社会の問題であると認知されて「政策問題」と化した問題の解決手段・解決案を指す。本科目では世界の国々にも通じるよう、日本を中心とするだけでなく制度（Institution）や規範（Norms）を整理した上で、公共政策を導出する政策運営のプロセス（政策過程）を「システム」という発想に基づいて考える。それは社会からの要望・要求が政策として変換されるマクロな政治システムに基づいている。本科目ではその政策過程のシステムを「環境（政策情報）」、「問題化」、「立案」、「決定」、「実施」、「評価」、「改善・終了」という断面に切り分けて理解する。そして、連関するシステムにおいて現象するガバナンス（政府と市民社会の相互作用）に着目し、公共政策の政策プロセスを概括的に説明しうる能力の育成を目指す。	地政、地経、政メ
専門科目群	法学・政治学領域	コミュニティ政策論	○	コミュニティ政策は1）市民が住民自治を実践することでボトムアップな民主的参加を涵養するコミュニティの形成を目指し、2）より良い暮らしの実現を目指す政策体系（国―自治体―地域・コミュニティ）の総称を指す。激変する社会経済と未曾有の大災害を乗り越えるレジリエンスを地方政府が構築するには、行政と草の根の市民社会で活動する近隣住民組織（自治会・町内会等）やNPO/NGO等の市民社会組織の協働が不可欠である。 本科目では、前項に挙げるコミュニティの形成理論をソーシャル・キャピタル論の基本的理解を通じて修得する。さらに、組織間連携に基づく政策形成によって計画される政策手段をローカル・ガバナンス論に照らし合わせて理解し、レジリエンスを高める先進自治体の政策実施/評価の政策プロセスの効果を検討する。以上によって概括的ではあるが、地域社会にとって望ましいコミュニティ政策に関する基本的理解の修得を目指す。	地政

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	法学・政治学領域	政策分析とシステム思考	○	政策課題を定義し、政策や計画、事業の効果・影響を予測評価するにあたっては、社会・経済・環境を一連のシステムとして捉える、「システム分析」の視点が重要である。本講義では第一にシステム分析の基礎を概観した上で、身近な事例を用いた演習を通じてシステム分析を体験する。政策課題をシステムとして理解する視点を獲得することが、この段階における目的である。第二に、社会・経済・環境システムを政策決定に応用する各技術として、システムダイナミクス、マルチエージェントモデリング、およびライフサイクルアセスメント（LCA）などについて講義し、適宜コンピュータを用いた演習を実施する。政策の効果や影響を予測する技術について理解をすることが、この段階における目的である。本講義を通じ、政策立案・計画策定において効果や影響を未然に検証し、意思決定に活用する一連のプロセスについて理解を定着させることが、履修者に求められる到達点である。	地経、政メ
専門科目群	法学・政治学領域	地域分析論	○	地域分析（Regional Analysis）は、1）さまざまな学問の専門性に基づいて導出される理論モデルおよび計量的手法を駆使し、地域の諸特徴を探るとともに、2）地域的パターンやその構造、秩序、法則、そして一般化を追求することである。本科目では、前項に挙げる地域分析の基本的理解の修得を目指す。統計ソフトを利用し、地域を単位とした当該都市の自治体政策を立案するために求められる将来予測や施策・事業の効果を検証するために必要な技法を実践する。そして、履修者自らが自治体政策の水準を評価できるよう、モニタリングに必要なデータリテラシー（Data Literacy、解析・評価能力）を伸ばす。	地政
専門科目群	法学・政治学領域	計画理論入門	○	限られた資源や時間を効果的に活用して問題を解決する上で、「計画」は重要な技術である。計画は科学的側面と政治的側面があるため、そのプロセス設計や技術、倫理は、「計画理論」という研究分野の中で議論されてきた。本講義では、計画理論の基礎となるシステム思考や資源配分問題（最適化問題）について概説した上で、計画の合理性モデル、アドボカシー、シナリオプランニング、影響評価、計画者倫理などの、計画理論の諸テーマについて解説する。さらに理解を深めるため計画の実例や身近なケースを用いた演習を通じて、計画に関する深い理解を目指す。履修者には、計画の重要性を理解し、実際の計画プロセスに関する理解や実践を通じて、プランニングスキルを向上させることが期待される。	地経
専門科目群	法学・政治学領域	実験社会科学		本科目の目的は、「根拠に基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making(EBPM)」のための社会実証実験を、適切な方法で実施できるようになることである。導入として、論文の匿名査読を題材に、バイアスを取り除く方法を体験するワークショップを実施する。さらに、治験における2重盲検法、教育工学における実験計画法・準実験計画法、デザインにおけるABテストなどについての学びを基に、対照実験の結果を材料として統計的検定を行う内容での実習に取り組む。学期中盤以降は、グループワークとして、教員から例示された政策課題もしくは履修者たち自身が考えた政策課題についての実験計画を立て、実験協力者を集め、実験を実施して、政策の効果を検証する。学期末には成果発表会と振り返りを行う。	
専門科目群	法学・政治学領域	政策事情特論		本科目は、国内外で起きている近年の政治、社会の諸問題について学ぶことを目的とする。本科目では、教員からは基礎的な知識を提供した上で、履修者には、調査、発表をしてもらうことを通じて、知識の定着をはかるとともに、諸問題に対する自らの立場を構築してもらうことをねらいとしている。具体的なトピックとしては、国内においては、少子高齢化、農業他各種産業が抱える問題、世界においては、紛争、経済危機、環境問題、AIの進化や生命工学のような科学技術問題などを扱う。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	法学・政治学領域	論文作成技法		本科目は、「言語表現解釈論I・II」で学んだ文章理解力と批判的思考力をもとに、論理的に説得力のある文章の作成技法を修得する。具体的には、1）本講義では、教員より、近年の社会的諸問題を題材として示し、2）履修者には、社会的問題解決に向けた、各種の政策を調査してもらう、3）履修者には、調査した政策的知識も踏まえた上で、小論文を多数執筆してもらう。以上の訓練を通じて、履修者の論理的な文章執筆力を養成する。	
専門科目群	法学・政治学領域	社会科学特論I		本科目の目的は、経済および経済学の基礎的内容を学ぶことである。なお、本科目で学んだことは、発展的なミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶことを希望している履修者の基礎力となる。具体的には、本科目の履修者は、市場メカニズム全般と国民所得に関する各種統計の内容からはじまり、財政、金融のメカニズムを経て、ミクロ経済学の初歩的な内容を理解することを目指してもらう。また経済情勢における最重要なトピックや日本経済史の重要項目についても、本科目で教授する。	
専門科目群	法学・政治学領域	社会科学特論II		本科目の目的は、政治、社会の基礎的な仕組みから、政治学および社会政策学の基礎的な内容を学ぶことである。なお、本科目で学んだことは、発展的な政治学や行政学、公共政策論の分野の各科目を学ぶことを希望している学生の基礎力となる。具体的には、民主主義論のような政治思想分野、選挙制度や国際組織などの政治制度分野、圧力団体論のような政治過程論分野、官僚制論のような行政学分野、社会保障論のような社会政策的分野のうちの、重要事項を教授する。	
専門科目群	法学・政治学領域	言語表現解釈論I		本科目は、日本語ないしは英語で書かれ、かつ多様な形式で表現される文章から得られる情報を適切に理解できる力を身に付けることを目的とする。具体的には、著名な執筆者により著された文章（社会評論、科学評論、小説等々）を使用して、履修者には、それぞれの文章が書かれた社会的背景や執筆者の主張などを踏まえつつ、論理的に考えながら、かつ批判的に読解していくことを求める。そのことにより、文章理解力と批判的思考力の二つの力を履修者には培ってもらう。	
専門科目群	法学・政治学領域	言語表現解釈論II		本科目の目的は、「言語表現解釈論I」で学んだ基礎力を元に、同科目で扱ったものより難易度の高い日本語、英語（哲学、文学論など）で書かれた文章を題材に、さらなる文章理解力と批判的思考力の両者を養成することである。本科目での学びを通じて、履修者には、日本語および英語の運用能力として、読解力だけでなく、批判的思考力も併せて身に付けてもらうことを求める。その文章が書かれた意図について、著者の主張、社会的背景についても受動的に学ぶのではなく、能動的に調査する。	
専門科目群	法学・政治学領域	合意形成論	○	まちづくりや都市・地域計画において、市民参加による合意形成の重要性はより高まっている。日常的にも合意形成に関する問題が発生しており、市民参加は都市・地域政策や計画の研究者・実務家だけでなく一般市民にとってもより重要な課題となっている。本科目では、合意形成の意義や手法、問題、課題、結果などについて具体的な事例を通して学ぶ。また、理論的学習とともに、ロールプレーやワークショップなどのグループ学習を基本として実践的に学ぶ。	地経

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	法学・政治学領域	社会心理学	○	人間は社会を作って暮らす生き物であり、他者との共生によって生かされている。私たちは誰しもひとりきりで生きることは不可能であり、誰もがさまざまな関係性の中に生きている。本科目では、他者あるいは集団からどのような影響を受けているのか、社会的存在としての人間の心のありようについて考えていく。	地経
専門科目群	法学・政治学領域	人間行動論	○	社会課題を解決するための政策形成においては、問題を構造化して捉え、適切なアプローチを模索することが求められる。社会は複数の人間の関係性の中で形成されるものであり、社会の中で生活する市民の行動や認知は、絶えず社会の中で影響を受け続ける。その中では市民の行動が意図しない影響を引き起こし、問題化することもある。社会課題の分析においては、人間の行動に対する理解が求められると言える。本科目では社会心理学や行動経済学などの行動科学の分析技法やモデルを概説する。それを通じて、問題の構造を人間行動の観点から理解し、政策に反映させるための視座を得ることを、本科目における履修者に期待する到達点とする。	地経
専門科目群	法学・政治学領域	非営利組織論	○	非営利組織（NPO)は、都市・地域づくりの主体として重要な役割を果たすことが期待されており、公共セクター、民間セクターと共に現代の市民生活を支えるために不可欠な第３の新たなセクターとして認知されている。本科目では、都市・地域の再生や持続可能性などまちづくりの観点を中心に、理論と実践の両面から非営利組織とその活動について学ぶ。また、非営利組織の現状と課題についてリアリティをもって学ぶために、事例学習とともにディスカッションを重視する。	地経
専門科目群	経済学・AI データサイエンス領域	地方財政論	○	本科目では、地方自治体の財政について理論と制度の観点から教える。理論的には、地方財政の機能、予算の意義と予算原則、地方税の機能と原則、地方交付税・国庫支出金の機能、地方債の発行と世代間の負担の公平、地方歳出の構造と財政の硬直化をテーマとする。制度的には、予算の循環過程、地方税の分類と仕組み、地方交付税・国庫支出金・地方債の仕組み、土木費や教育費などの歳出、財政診断をテーマとする。目的は、地方財政に関する基礎的な知識を身に付けることである。	地政
専門科目群	経済学・AI データサイエンス領域	地域経済論I	○	本科目では、地域経済とは何か、RESASなどのデータなどを活用しながら、具体的な地域を対象として、その特徴や課題、発展の可能性などを考える手法を教える。また、経済安全保障やSDGs、脱炭素などの国家的な政策の流れと関連して、個別の地域がどのように持続性を高めていくのか、具体的な取組などを解説しながら、あるべき地方経済の活性化策について解説する。	地経
専門科目群	経済学・AI データサイエンス領域	地域経済論II	○	本科目では、具体的な地域経済の活性化に向けた政策・事業等の事例を用いて、現実的・実践的な地域経済の活性化方策について教える。ビッグデータや公表資料、Jstat-map、RESAS、地域みらいカルテなどのEBPMのツールを活用し、データによる地域経済の見える化やその現状を踏まえた活性化方策、それらの方策を実現するためのプロセス、条件などについて解説する。	地経
専門科目群	経済学・AI データサイエンス領域	マクロ経済学I	○	本科目では、マクロ経済学に関する入門的な内容を扱い、マクロ経済の分析やマクロ経済に関する問題を理解するために必要な基礎知識を学ぶ。まず、GDPや物価、失業率といった重要な経済指標を扱い、それらの測定方法や意義について学ぶ。次に、需要と供給といったマクロ経済の基本概念について扱う。本科目を履修することで、マクロ経済に関する指標から経済全体の動向を理解し、経済問題に対して批判的な思考を養成することが期待される。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	ミクロ経済学I	○	本科目では、ミクロ経済学に関する入門的な内容を扱い、ミクロ経済の分析やミクロ経済に関する問題を理解するために必要な基礎知識を学ぶ。まず、ミクロ経済の基礎である市場メカニズムの理論を学ぶ。市場経済を構成する消費者と生産者の需要・供給を理解し、そして経済主体の行動や市場経済の働きの分析を通じて、経済理論の基本的な考え方を身に付けることができるようにする。また、入門的な内容からどのように現実の経済問題の分析へ応用できるか、できるだけ身近な経済問題を取り上げ、ミクロ経済学の考え方に基づいて、経済問題に対する思考能力を養成する。	
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	社会経済学	○	本科目の目的は、主流派経済学とは異なる経済学の流派の諸学説を紹介し、その意味するところを履修者に理解してもらうことにある。L.ワルラスらに始まる新古典派経済学は、現在においては経済学の主流を担っているが、一方でそれとは異なる流派も厳然として存在し続けている。具体的には、マルクス、ヴェブレン、M.ヴェーバー、ゾンバルト、K.ポランニーらの学説は、主流派とは異なる前提に立って理論を構成している。	政メ
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	日本経済論	○	本科目では、1985年のプラザ合意以降の「バブル」の形勢と崩壊、その後の「失われた30年」と呼ばれる経済停滞など、日本経済の動きについて学ぶ。バブル崩壊後の金融機関の不良債権処理や、日本の経済システム全般に及んだ構造改革、異次元の金融緩和や財政出動、成長戦略を柱とする「アベノミクス」など、時々の経済政策の光と影に目を向け、巨額の政府債務と中央銀行による巨額の国債保有に至りながら、いまだに低成長から抜けられない日本経済の課題について考える。	地経
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	マーケティング論I	○	マーケティングとは、日々変化する環境へ適応しながら行う「売れ続ける仕組み作り」または「（消費者に）選ばれ続ける仕組み作り」である。それには消費者ニーズ、外部環境、強みや弱みとなる経営資源、競合の戦略など様々な要素を分析しながら、効果的な戦略立案を効率的に行わなければならない。そこで本講義では、最も広く受け容れられている伝統的マーケティングの概要と、それに付随する基礎的な諸概念と理論について学んでいく。	地経、政メ
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	数理的思考法I		本科目の目的は、数学の基礎的な知識を用いて、論理的な思考力と形式知による説明力の基本を修得することである。具体的には、本科目においては、まず数学言語について学修し、次いで、数学パズルの解法を通じて、その論理的思考力を養成する。さらに本科目では、与えられた数値情報の適切な処理のために、場合分け、組み合わせ、方程式の使用等々を学ぶことで、問題解決を示す際における説得的な説明力を培う。	
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	数理的思考法II		本科目の目的は、「数理的思考法I」で修得した論理的思考力の基本スキルに基づいて、さらに発展的な内容について学ぶことである。本科目においては、数学言語についても「数理的思考法I」では扱わなかったものを学修し、次いで、数学パズルについても難易度の高いものを使用し、論理的思考の応用力を養成する。さらに本科目では、与えられた数値情報の適切な処理のために、「数理的思考法I」よりも高度な手法を学ぶことで、問題解決を示す際における普遍的に適応可能な形式的説明力を培う。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	論理とデータ解釈技法I		本科目の目的は、第一に、論理学的な推理の技法を学ぶことを通じて、論理的思考力と形式的な説明力の基本を修得することである。第二に、培った論理的思考力を使用して、与えられたデータを適切に解釈できるようになることである。具体的には、論理学の基礎的な内容を学び、次いで論理パズルの解法を通じて、その論理的思考力を養成する。さらに、そこで培った論的思考力を用いて、数値データを読み取り、データが意味するところを適切に理解できる力を培う。	
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	論理とデータ解釈技法II		本科目の目的は、「論理とデータ解釈技法I」で学んだ基礎的知識に基づき、さらに発展的な内容を学ぶことである。本科目においては、第一に、論理学上の知識についても、「論理とデータ解釈技法I」で学ばなかったものを学修し、さらに、論理パズルについても難易度の高いものを使用して、論理的思考の応用力を養成する。第二に、本科目で学んだ論理的思考力を使用して、「論理とデータ解釈技法I」では扱わなかったより複雑なデータを読み取り、かつそのデータの意味を適切に理解できる力を培う。	
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	デジタルツイン景観表現	○	デジタルツインとは、現実世界の都市・建物と同一縮尺の3Dモデルのことであり、今後の社会において、AIやロボット等を実世界と関連付けながら応用する際に必要となる概念である。本科目では、国土交通省のPLATEAUをはじめとする、一般公開されている都市のデジタルツイン・オープンデータ及び千葉商科大学キャンパスのデジタルツインを題材として用いて、3Dモデリング・アニメーション・ライティングを学び、デジタルツインを用いた都市の景観や建物等に関するメディア表現の手段を理解する。	政メ
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	デジタルツイン実践		デジタルツインとは、現実世界の都市・建物と同一縮尺の3Dモデルのことであり、今後の社会において、AIやロボット等を実世界と関連付けながら応用する際に必要となる概念である。本科目では、「3次元アバター表現」及び「デジタルツイン景観表現」で修得した知識とスキルを、社会の中で実践する力を養うための課題解決型学習を行う。デジタルツインの概要やVR（Virtual Reality）について学んだ後に、自己表現・相互理解・社会問題をテーマとしたデジタルツインやVRに関する企画を立案し、プロジェクト活動を実施する。発表会を通じてプロジェクト活動の成果や教訓を他者へ伝達する技能も身に付ける。 第1回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 デジタルツインとサイバーフィジカル社会・チーム編成 第2回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 3DCG・VR・MR・ARによる社会問題への取り組み・企画の立案 第3回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 課題設定・プロジェクト管理技法・役割分担 第4回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 企画プレゼンテーション 第5回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 課題に関する文献・資料の調査・利用技術の選定 第6回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 課題分析と問題発見・ストーリーボードの作成 第7回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 プロトタイプの開発（基本項目の実現） 第8回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 プロジェクト進捗の発表とチーム間コミュニケーション 第9回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 プロトタイプの検証と改善項目の整理 第10回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 最終版の開発（応用項目の実現） 第11回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 終版の評価（課題の達成度を分析・評価） 第12回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 成果物の紹介動画の撮影・編集 第13回 5 榊沢 順／1 長尾 雄行 成果発表と振り返り	共同

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	3次元アバター表現		アバターとはサイバー空間上に自己を投影する3Dモデルのことである。今後の普及が見込まれる、現実世界とサイバー空間が相互作用するサイバーフィジカル社会においては、アバターはオンラインでのコミュニケーションと相互理解を支援するための自己表現の手段である。本科目では、3Dモデリングの基礎を修得し、現実世界の人体と3Dモデルのスケルトンの関係を学んだ後に、アバターを題材とした自己表現に取り組むことで、サイバー空間上での自己表現の原理と可能性を理解する。	
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	AIと社会	○	AI（Artificial Intelligence）は近年急速に発展し、利用のために特別な技術を必要とせず誰もが社会の中で必要な時に活用できる新しいインフラの一つとなりつつある。本科目では、文章による質問へ自動的に応答したり、文章に基づいて絵やデザインを自動的に生成したりする機能などを体験し、AIで用いられている機械学習等の動作原理を理解した上で、利用者としてAIを社会の中で活用するための知識とスキルを修得する。	地経、政メ
専門科目群	経済学・AI・データサイエンス領域	データ分析プログラミング	○	本科目の目的は、問題の構造を把握したり、政策の効果を分析するための基礎となる、定量的・定性的なデータ処理スキルを身に付けることである。本科目は大きく2つのパートに分かれる。第一に、R言語を用いた公的統計の活用方法を学ぶ。このパートではオープンデータを用いた統計処理手法の演習と合わせて、推測統計の概念を導入しその手法についても演習を行う。第二に、QGISを用いて地理情報システムを活用する演習を行う。このパートではQGISで実施可能な分析に関する演習に加えて、地理情報システムの概要についても解説する。公的データのオープン化が進むにつれて、政府、企業、市民社会などのさまざまな場面で情報にアクセスができるようになってきた。今後広く活用される公的情報・地理情報の処理能力を身に付け、データ分析技能を活かして企業や社会に貢献する人材となる足がかりを築いてもらうことが、履修者に求められる到達点である。	政メ
専門科目群	経済学・AIデータサイエンス領域	データビジュアライゼーション		高度に情報化された社会においては、情報収集能力、課題解決能力、論理的思考力が必要であるとされているが、それらの前提には「問題発見能力」があることの認識は重要である。さらに、発見した問題を「見える化（ビジュアライズ）」することは問題点を明確化・具体化し、異なる立場にある人たちと問題意識を共有することで、解決していくための協同を促す効果的な手段になりうる。 本科目では実際に地域が抱える問題点をヒアリングし、実際のデータを用いた可視化を試みる。具体的には地域から提供されたデータに、プログラミング言語Pythonで利用可能である豊富なビジュアライゼーションツール、データ分析ツールを適応し成果物を得る。得られた成果物を地域にフィードバックすることを通じ、地域やデータ処理・可視化ツールに対する理解を深めていく。 第1回 1 長尾 雄行／11 小野 聡／6 杉本 卓也 ガイダンス 第2回 6 杉本 卓也 データの特徴を読む 第3回 6 杉本 卓也 データの特徴をグラフで表現する 第4回 11 小野 聡 自治体の総合計画から地域の政策課題を理解する 第5回 11 小野 聡 地域データを使用して問題を可視化する 第6回 1 長尾 雄行 単変量解析（基本統計量の記述） 第7回 1 長尾 雄行 多変量解析（関係の可視化） 第8回 6 杉本 卓也 地域の問題点の可視化と現状把握 第9回 11 小野 聡 ロジックモデルについて学ぶ 第10回 11 小野 聡 特定の政策課題からロジックモデルを描く 第11回 1 長尾 雄行 データとロジックモデルを組み合わせる 第12回 1 長尾 雄行／11 小野 聡／6 杉本 卓也 問題解決策の検討 第13回 1 長尾 雄行／11 小野 聡／6 杉本 卓也 総合討論	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	経済学・AIデータサイエンス領域	情報社会	○	日本政府は、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」を「Society 5.0」として、目指すべき社会像として提示している。IoTやAI、クラウド、ドローン、自動走行車・無人ロボットなどの活用を通じて、少子高齢化・地域の格差・貧富の格差・環境問題などに取り組むことが謳われている。本科目では、Society5.0によって解決を図るべき社会的課題がどのようなものか、実際にどのような取り組みが進められているかについて事例研究を行う。講義は、扱う話題ごとに、担当教員による講義を聞いた上で、数名ずつのグループが小規模な研究発表をし、その研究成果をもとにグループ討論をするという流れで実施される。	地経
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	政策デザイン実践	○	世界は急速な少子高齢化とAIなどの技術進歩の影響を受け、これまでの法制度や社会経済システムでは対応できない問題に溢れている。公共性の視点から既存の制度の在り方を見直し、社会をより良い方向に先導する必要があるからこそ、地域公共政策にはデザインアプローチの導入が必要である。 以上の社会的要請を受け、本科目では1）リサーチ・デザインを基にフィールドワークを実施し、五感を通じて地域社会の問題解決と魅力の再発見に必要な体験を修得する。さらに、2）テクノロジーを組み合わせて地域を分析する。グラフ、統計分析、GIS、調査記録に基づく主観地図、2D、3Dモデルを駆使し、多様な人々を紡ぐコミュニティを表現するアイディアを得る。3）ワークショップを実施し、人々の共感を得る営みを通じて共創的社会に必要なコミュニケーション能力を養う。以上の取り組みを反復し、共感の得られる政策をデザインする能力を修得する。 第1回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 デザインアプローチの視点から公共政策の問題を考える 第2回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 フィールド・ワークに出かけ、空間を評価する 第3回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（1）観察・記録データを扱う 第4回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（2）仮説の設計 第5回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（3）暮らしやすさを考える 第6回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（4）ロジック・モデルの構築 第7回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 パブリック・スペースのリサーチ・デザイン（5）共感を得る居場所を考える 第8回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 空間デザインの技法（1）調査記録に基づく主観地図入門 第9回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 空間デザインの技法（2）グラフ・統計分析入門 第10回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 空間デザインの技法（3）2D・3Dモデル入門 第11回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 ソーシャル・デザイン案の構想 第12回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 ソーシャル・デザイン案の分析 第13回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介／1 長尾 雄行 ソーシャル・デザイン案の発表と共有	共同、政メ
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	政策情報学演習		政策情報学科は、激動する現代社会のさまざまな課題に対して、伝統的な個別科学にとらわれない多元的・総合的な知識とデジタル・メディアの活用能力を修得し、社会のさまざまな分野で他者と協調して問題発見・解決にあたる能力の養成を図り、社会に貢献できる人材の養成を目的としている。本科目は、その実践として協調的問題解決力を育てる講義である。少子高齢化や自治体のＤＸ化など現代社会の諸課題を毎回テーマにして授業を進める。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	行動経済学	○	多くの経済理論が依拠してきた消費者や生産者が利己的かつ合理的に行動するという仮定の妥当性を検証するとともに、人間の行動に内在するバイアスのメカニズムを明らかにしようとするのが行動経済学という分野である。本科目では、主に不確実性下の行動に関するプロスペクト理論、時間を通じた行動に関する双曲割引の理論、および他者への感情を考慮した社会的選好の理論について解説する。また、こうした知見を踏まえた上で、社会的厚生を改善しようとする規範的分析にも焦点を当て、本人の自由を損なわない範囲で行動変容を促そうとするナッジや、負担の増加を通じて半強制的に行動変容を促そうとする悪行税（害悪税）についても解説する。	地経、政メ
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	シリアスゲームデザイン		エンターテイメント性を持ちながら、社会的な学習要素のあるゲームを「シリアスゲーム」と言う。本科目では、履修者自身によるシリアスゲームの制作を通じて、社会の問題を抽象化する能力や、グループワーク形式における対話力の向上及び協働スキルの向上を目指す。 本科目では、担当教員が、シリアスゲーム制作の技術的な事項を教授し、履修者は、その技術的事項を理解した上で、社会問題を実際にシリアスゲームのデザインへと落とし込む作業をしてもらう。またグループワークにおいては、履修者による制作過程の中間発表や、それに対する教員からのきめ細かな指導など、双方向的コミュニケーションを重視ながら進めていく。	
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	サービスデザイン		本科目では、サービスデザインとは何か、そしてその方法論がビジネス領域や起業家の挑戦、そして行政やNPOなどの持続性をどのようにサポートできるかを学ぶ。 昨今はビジネスにおけるかつてない挑戦と変化の時代にあり、安定はもはや当たり前ではなくなってしまった。急激な変化と衝撃の時代には、既成概念にとらわれない発想が今まで以上に重要となってきている。 未来を担う履修者たちにとって、きっと役に立つツールセットと世の中を見る視点を手に入れることができる講義を、履修者と「共創」（サービスデザインの根本的な考えの１つでもある）していく。	
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	ソーシャルプロデュース論		本科目では、社会を構想しプロデュースする芸術創造活動の価値について探求する。主に、社会の文化的側面を理解するための舞台芸術や、地域社会の交流や連帯の場としても機能する公共劇場における事業の組み立て、超領域的な協働作業やプロデュースの現在などの具体例に取り上げ、映像メディアなどを交えながら考察する。また、創造性が求められる現代社会において、プロデュースという行為がどのような役割を果たしているのかを探究し、社会システムや価値観が変化する中で、プロデュースがどのように社会に影響を与えるか、自由なアイディアが社会に対してどのような影響力を持つかを考え、問題発見力や思考力、提案力を養う。	
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	メディアプロデュース実践I		本科目では、現代社会において、広く普及している娯楽の一つであり、影響力が大きいビデオゲームを取り上げ、プロデュース活動の基本的な理念や方法論を学び、それらを活用するスキルを身に付けるため、社会や地域をテーマにしたビデオゲーム制作の実践に取り組む。また、チームビルディングの方法論や予算の組み立て、より効果的なアプローチを見つけ出すためのフィードバックの方法についての理解を深める。自分たちのアイディアを具現化し、提案、分析することを通じて、プロデュース活動の基本的なスキルや理念を身に付け、自身の創造性を発揮し、社会的な意義を持つコンテンツの提案を目標とする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	メディアプロデュース実践II		本科目では、プロデュース活動の基本的な理念や方法論を更に深め、より高度なプロデューススキルを身に付けることを目的とする。また、提案力をより向上させるため、地元の祭りや伝統行事といった地域文化や歴史、環境や社会的弱者支援といった社会問題などを題材に取り上げ、それらを解決するためのコンテンツの構想に取り組む。さらに、高度なチームビルディングスキル、競合分析や市場調査をふまえたビジネスプランの作成、プレゼンテーションのスキルなど、ビジネス的な視点もふまえ、より実践的なプレゼンテーション力を身に付ける。	
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	プランニングワークショップI	○	本科目では、企画の提案、構想、ディレクションに加えて、技術面の創意工夫についてを学ぶ。プロジェクトの目的や目標を設定し、独創的なアイディアを発想するためのワークショップを通じて、プロジェクトのコンセプトやストーリーの構想、提案、プレゼンテーションといった総合的なワークに取り組む。企画や提案については、すでに社会に向けて発信されているコンテンツを調査、分析し、地域の特徴や営み、人々の暮らしぶりなどをふまえた企画を提案することができる力を身に付ける。 第1回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 授業の概要と企画立案 第2回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 企画の個別相談 第3回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 初回企画プレゼンテーション 第4回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 企画プレゼンテーションの振り返りと個別相談 第5回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 作業進行のためのスケジュールの決定 第6回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 再度のチェックと企画の先行事例の調査 第7回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 中間プレゼンテーションの準備 第8回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 中間プレゼンテーション 第9回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 中間プレゼンテーションを受けて企画と手法の再度の見直しを個別相談 第10回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 成果物のクオリティチェック 第11回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終段階での個別相談 第12回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終プレゼンテーションの準備 第13回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終プレゼンテーション	共同、政メ

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	学問領域を越える多元的共創活動による学び	プランニングワークショップII		本科目では、企画提案に必要となる基礎的な知識やスキルを活用しながら、より高度な発想力を身に付けることを目的とし、メディアの特性を理解しつつ、自分たちが考えたアイディアを視覚化、具現化することに取り組む。また、実際に地域に出向き、調査や取材を行い、現場の情報を収集し、地域とのつながりを深めながら、より具体的で実現可能なプロジェクトの提案を目指す。本科目では発想力に加えて、現場で必要とされるコミュニケーション力や問題解決能力を修得する。 第1回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 授業の概要と企画立案 第2回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 未定教員A) 企画の個別相談 第3回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 初回企画プレゼンテーション 第4回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 企画プレゼンテーションの振り返りと個別相談 第5回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 作業進行のためのスケジュールの決定 第6回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 再度のチェックと企画の先行事例の調査 第7回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 中間プレゼンテーションの準備 第8回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 中間プレゼンテーション 第9回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 中間プレゼンテーションを受けて企画と手法の再度の見直しを個別相談 第10回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 成果物のクオリティチェック 第11回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終段階での個別相談 第12回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終プレゼンテーションの準備 第13回 5 榊沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終プレゼンテーション	共同
専門科目群	社会学領域	映像エスノグラフィ	○	質的社会調査の分野では、伝統的にエスノグラフィ（民族誌）の手法が用いられてきた。ある社会集団の生活様式を参与観察しながら詳細に記述して、「当該集団に特有の生活全体のあり方」を解明するアプローチである。近年、graphy（記述）の方法として、文字による記述だけでなく、写真や動画といった映像メディアによる記述に注目が集まり、映像エスノグラフィ（Visual Ethnography）の方法論と実践が盛んに採用されるようになってきている。本科目では、この視座から、あるフィールドにおいて、そこに暮らす人びとと密にコミュニケーションをとりながら、彼・彼女らの生活様式やそこでの活動、人間関係の営みを撮影し、映像エスノグラフィとして編む（編集する）ことで、独自の社会学的な知見を得ることを課題とする。	政メ
専門科目群	社会学領域	映像コミュニケーション		われわれが生きる社会はダイアローグ（対話というコミュニケーション）によって成り立っている。対話とは、他者との共感可能性の追求だけでなく、他者に対する理解不可能性を乗り越えようとする社会的な人間たちの不断の努力でもある。そのような営みをどのようにとらえ、具体的に考えるべきだろうか。実は、こうした問題に果敢に挑んできたのが映像制作の分野である。実際の人びとの対話を実写で記録するドキュメンタリー制作はもちろん（これに関しては「映像エスノグラフィ」の授業課題とする）、劇映画やドラマと呼ばれる制作分野で探究され表現されてきたのは、「対話によって変化していく人間たちの関係性の具体的なあり方」なのである。本科目では、人と人の対話（コミュニケーション）が成り立つ社会的シチュエーションや展開を構想し演出するショートムービーの制作を通して、映像制作の視座から社会的コミュニケーションの諸事例にアプローチする。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	ライフストーリーとメディア論		メディアとは、「人間の身体の拡張」（マクルーハン）である。それは「五感の拡張」ともいえる。また、メディアとは、「人間の記憶を外部に記録する媒体」（スティグレール）でもある。文字、絵画、書物、新聞、写真、録音、動画、コンピューター、インターネットはすべて、そのような意味でのメディアである。社会に生きる人びとのライフストーリー（人生の記憶や物語）は今や、マルチメディアによってつくられているのである。そこで本科目では、履修者のライフストーリーをマルチメディア（写真、動画、音声等）を用いて編纂することで、自身のライフストーリーがどのようにして社会的に構築されてきたのかに関する理解を深め、それと同時に、そうした記憶が五感全体の拡張としてのメディアを通していかに表象され、他者に解釈されうるかを実践的に学ぶ。	
専門科目群	社会学領域	情報メディア分析論		本科目では、音と映像の関係性を考えながら、地域社会のニーズや課題を把握するとともに、映像作品を視聴し、使われている音や音楽を分析し、その相乗効果を考察する。それらの分析や考察をふまえ、映像メディアを活用し、効果的に情報を発信するためのサウンドアイディア、サウンドデザインの能力、音楽ソフトウェアの基礎的な技術を修得する。また、地域の文化や歴史、伝統をテーマにした映像や音楽を制作することで、地域のアイデンティティを高めつつ、地域社会とのつながりを模索し、映像制作や音楽制作を通じて、地域が抱える課題に対する解決策を提案する力の向上を目指す。	
専門科目群	社会学領域	ビジュアルメディア論		本科目では、写真による情報伝達が社会に与える影響や、写真が社会的現象をどのように捉えるのかを探究する。カメラの種類やその特徴、使用方法、フレーミングなどの撮影技法、照明の色温度や向き、強さの調整といったライティング技術など、それらのスキルを身に付けることに加えて、社会問題を詳細に、もしくは新たな視点で見ることのできる観察力を養い、ファインダーを通して見た社会の問題や、人々の生活や文化、歴史的な出来事などを、写真による情報伝達の可能性について考える。	
専門科目群	社会学領域	シナリオ・ライティング		誰もが情報を発信できる現代社会の中で、その影響力と説得力においてメディアコンテンツ＝動画の存在ははますます重要視されている。テキスト（文章）だけではわかりにくいマニュアルを動画にしたり、個人や企業団体が有効的にPRするための動画はもはや一般的である。動画は個人で作成することも可能だが、そのほとんどが複数のスタッフとキャストによって作られる。様々なメディアで発信されるすべての動画を作るための設計図、それがシナリオである。情報を発信するということは、まずシナリオを書くことから始まる。シナリオ（脚本）を書く（作る）作業はあらゆる他のコンテンツ制作過程においても共通する部分がある。そこには技術、知識、経験が必要とされる。シナリオの書き方を学修することによって、メディアの現状や情報発信のための手法を修得する。	
専門科目群	社会学領域	音響と文化		現代のメディアにおいて音響は必要不可欠な要素であり、映画、テレビ、ゲーム、広告など様々な分野で、新たな活用方法が模索されている。音響によって、映像に臨場感を与える、感情移入を促す、商品の魅力をアピールするというように、その効果は重要な要素と言える。本科目は、メディアと音響の関係について考察しつつ、音響技術やサウンドエフェクトの基礎を学びながら、実践的に活用できるスキルを身に付けることを目的とする。また、現代のメディアや文化において音響がどのような役割を果たしているか、音響技術の発展とともに変化してきた音響メディアの現状についても学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	都市政策・計画論	○	本科目では、都市の成長と発展そして問題解決に取り組んできた都市政策・計画の概念、歴史、役割、手法、制度、主体等について国内外の具体事例を通して学ぶ。特に、都市環境・空間づくりの思想・技術としての都市デザインの観点から、持続可能性と競争力を持つ都市づくりや都市再構築について幅広く学ぶ。講義では、内外の各種文献やビジュアル教材の使用、またディスカッションによるアクティブな学修を重視し、論理的思考と応用力を養う。	地政
専門科目群	社会学領域	環境政策入門	○	環境問題の基礎的情報を学び、それらを適宜話題になっている身近なものの中に発見し、環境問題としてその身近なものを捉え直す。地球規模の取り組みや地域での取り組みを理解するとともに、履修者個人の生活や消費行動が環境とどのように関わりを持っているのかを理解する。環境問題は簡単には解決できないという複雑さを理解した上で、環境問題とは何か、それに対する自分の意見を言えるようにする。	地政、地経、政メ
専門科目群	社会学領域	環境政策論	○	経済活動や社会活動といった人間の活動の基盤に「環境」がある。環境の領域は多岐に渡り、大気や水などの生活環境、動植物などの自然環境、そして気候変動・温暖化問題を扱う地球環境などさまざまである。本科目では、さまざまなトピックを通じて環境政策の制度を紹介する。個々の施策領域が、地域社会や経済（ビジネス）とどのように関わり、環境面の向上（あるいは低下）に繋がっているのかを理解する。	地政
専門科目群	社会学領域	地域環境マネジメント		環境マネジメントとは、環境配慮を実行すること、その実行を評価し改善することである。本科目では、地域の環境マネジメントにおいて評価の前提として必要となるデータ作成（データの可視化）を行う。具体的には、1）自身の生活におけるエネルギー消費の推計と2）CUCキャンパスにおける樹木の炭素固定量[kg-C02]を推計する。自身の生活におけるエネルギー消費の推計を踏まえ、自らが行うことが出来る省エネ方策を検討し、生活様式の評価を行う。あわせて、自然環境による生態系サービスの価値を再評価する。	
専門科目群	社会学領域	環境アセスメント		環境影響はその性質から不可逆な可能性もあるため、未然防止の考え方に則り、事前に調査を実施した上で、影響を予測、評価を行い、その必要性に応じて効果的な措置を採る必要がある。環境アセスメントとは、上述のことを実施するための制度であり、持続可能な社会づくりのための意思決定を支援するためのツールである。 本科目では、上記の環境アセスメントについて、その制度や事例を解説する。	
専門科目群	社会学領域	都市計画入門	○	「都市」は人類の可能性を育む空間であり、また問題に満ち溢れた空間でもある。私たちの使命は、そのような「都市」をより快適に住み続けることのできる空間として再創造し、維持していくことである。そのためには、良い「都市」とは何か、悪い「都市」とは何かを考え、「都市」がどのようにして創られたのか、誰によって創られたのか、また、「都市」の現状はどのようなものなのか、理解する必要がある。本科目では、さまざまな事例や文献講読を通して、私たちが市民として、あるいはプロフェッショナルとしてより良い都市づくりに参加していくための幅広い知識とセンスを養い、またワークショップ、ディスカッション、プレゼンテーションなどにより問題発見・課題設定・解決策立案の力を養っていく。また、「都市」のリアリティを理解するために必要に応じてフィールドワークを実施する。	地政、地経、政メ

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	地域文化政策論	○	一連の政治改革の成果として、「地方分権」などの政策が進んでいる。こうした政策のもとでは、特色ある地域づくりを行いながら、独自の地域文化を創造していかなければならない。本科目では、国や地方自治体における「文化立国」のための地域文化振興策の概観と、その具体的成果としての地域における文化財行政を中心に講義する。さらに、様々なモノを展示してきた博物館のあり方を中心に文化についての施策を見直し、情報技術を用いた新たな博物館を実際に構築しながら、人間が文化を構築していくことの意味を模索していく。	地政、政メ
専門科目群	社会学領域	現代文化論	○	本科目では、現代文化の歴史的背景と分析概念について学ぶ。理論的視点としては、近現代の資本主義と大衆社会における文化的創造と受容のあり方に注目し、文化産業の発展とそれへの批判的考察を通じて現代文化への理解を深める。具体的には、映画やポップミュージック、小説、アニメ、漫画などの表現メディアや、観光地や自然公園、路上といった空間構成を素材として、現代文化の分析を試みる。	地経、政メ
専門科目群	社会学領域	地域社会と文化	○	本科目では、地域における日常生活を、経済学、社会学などさまざまなアプローチから理解し、どのように働きかけるかを考察する。特に地域での生活をどのように捉え、地域社会の活性化に役立てるかについて講義を行う。 講義では、特に社会学を中心に議論される「文化資本」という概念をもとにさまざまな日常の生活文化を取り扱う。前半部は地域社会と文化との関係を捉えるための仕組みの理解として、さまざまな社会科学の概念について講義し、後半部では具体的な事例を基に地域社会のありようについて論じる。 講義内容は、基本的な社会科学の概念と地域文化への視点を修得することで社会を眺める仕組みを理解し、それを具体的な事例を講義する中で応用しながら考えていく。	政メ
専門科目群	社会学領域	マルチメディア論		本科目は、視覚メディア（フィルム映像、テレビ映像、アニメーション動画、コンピューターグラフィックスなど）を対象に、視覚言語（視点、構図、映像構成要素、色彩、形状、時間、空間など）の理解を深めることを目的とする。また、視覚言語の構成要素や文法的なルール、効果についても学び、マルチメディアの現状と社会的要因を考慮しながら、それらの視覚言語がどのように作られ、どのように伝えられるのかを分析する。さらに、異なる文化や社会背景からの視点を加味し、視覚言語が持つ多様性や表現力についても探究する。	
専門科目群	社会学領域	現代アート論		本科目では、アートの定義、そして現代美術が社会や文化、政治的背景にどのように影響されてきたかについてを学ぶ。また、主要な現代美術家や芸術運動、アート市場、美術館やギャラリーの役割などについても論じる。具体的には、ポストモダン芸術、コンセプチュアルアート、ポップアート、フェミニズムアート、マルチメディアアート、インスタレーションアートなどの現代美術のジャンルやアーティストについて、詳しく学び、美術館やギャラリーでの展示が地域社会のアイデンティティや文化的価値観をどのように形成しているかも探求する。さらに、社会学、美術史、美学、文化人類学、哲学などの学問分野を横断し、幅広い視点の獲得を目指す。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	質的調査法		本科目は、さまざまな質的データの収集や分析方法について解説すると同時に実習として体験する科目である。フィールドワークに限らず、聞き取り調査、参与観察法、映像分析、内容分析、インタビュー、ライフヒストリー分析などを実際に体験してもらいながら身に付けてもらう。毎回、主要な質的調査の方法を一つずつ取り上げて解説し、翌週までに当該の手法を用いた質的調査を実施し、レポートにまとめて提出する実習型の講義である。	
専門科目群	社会学領域	文学表現		文章によるコミュニケーションは多様な背景をもつ人びととの相互理解を深めるための重要な手段であり、デジタル化と情報化が進む現代において、分かりやすい文章で情報を伝達する技能の必要性は高まっている。本科目では、自己理解、他者との関係性、文化等をテーマとして、自分の思考を読み手に分かりやすく伝えるための文章表現を学ぶ。テーマを設定し、文章を論理的に構成し、400～800字程度でまとめる練習をする。作成した文章を履修者が合評するという形式で講義を行う。	
専門科目群	社会学領域	情報編集論		本科目では、情報伝達の基本的な原則やメディアの特性を理解し、情報の編集・整理・構成に関する基本的な知識や技術を学ぶ。また、印刷メディアの歴史を学び、印刷メディアが果たしてきた社会的な役割やその変遷を理解し、今後の可能性について探究する。それらを実践的に活用し、情報の編集と発信を統合的に考える力、可読性や伝達性をふまえた紙面を設計する力、作成の趣意をまとめ発表する力に加えて、他者からの評価を受け取り、改善するためのスキルを修得する。	
専門科目群	社会学領域	批評的思考法		本科目では、アート（文学、美術、写真、映画）やサブカルチャー（マンガ、アニメ、ロック、テレビ番組、ファッション、ゲーム、スポーツ等）が社会や文化に与える影響についての理論的な考察、それらの作品に対する分析および批評方法の修得、制作背景や制作者の思想、社会的な背景についての探究に取り組み、批評的思考に必要な論理的な主張、論述のスキル、批評的リテラシーを身に付ける。それらのスキルを実践的に用いるため、各自のテーマを設定し、そのテーマに基づいた分析や批評についてのプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションでは自分の意見を論理的に整理し、的確に伝える力を身に付け、プレゼンテーションの後のフィードバックを通じて、思考力を向上させることを目指す。	
専門科目群	社会学領域	広報メディアコミュニケーション	○	本科目では、広報活動に必要なコミュニケーション力を身に付け、視覚メディアを活用した効果的な提案に必要な技術・知識（広報戦略の立案、ターゲットの把握、構成、プレゼンテーションなど）を修得することを目的とする。また、ウェブサイト、テレビや映画を含む動画配信サービス、広告媒体のポスターや看板、パンフレット、フライヤー、雑誌や新聞、書籍などの印刷物、パッケージやロゴなど、情報を発信する視覚的なメディアがどのようなトレンドを取り入れているかを理解し、現代社会の変化を考察することで、現代社会を読み解く力、観察力を修得する。	政メ
専門科目群	社会学領域	デジタルリテラシー		本科目では、デジタル社会において必要とされるリテラシーを理解し、メディアを活用した情報発信のための基礎力や提案力を修得する。具体的にはビジュアルコミュニケーションに必要なデジタルツールの基本操作を理解し、デジタルコンテンツ（文章、画像など）の種類と特徴の把握、データの整理、可視化の方法、コンテンツの提案、作業の効率化についてを学ぶ。本科目を受講する目的は、実践的な内容を扱う講義にむけて独自のアイディアやコンテンツがプレゼンテーションできる力を身に付けることである。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	Webデザイン		利用者にとって使いやすいWebページのデザインは、インターネットを活用して人と人とをつなぎ、コミュニケーションを円滑にするために必要不可欠である。本科目では、Web表現の可能性を広げるための技術として、HTMLとCSSを利用したWebデザインの表現手法を学ぶ。前半では、Webページの表現手法を通じて、必要な情報をいかに訴求力のあるものとして閲覧者に提示するかについての技術を修得し、サービス・マーケティング・教育などの分野へ応用していく感覚を養う。後半では、リアクション（レスポンス：応答）のあるWebページの構成方法を学び、JavaScriptを利用したフォーム入力に対する応答の手法、及び、Webのクライアントサイドでのデータ処理の手法を学ぶ。	メディア
専門科目群	社会学領域	Webとソーシャルメディア	○	Web技術は、検索エンジン、ニュース、eコマース、ソーシャルメディアをはじめとする社会のあらゆる場面で活用されている。本科目では、デジタル社会のコミュニケーションを支えるWeb技術を学び、Webメディアにおける人びとの相互作用と、やりとりされる情報のあり方について理解を深める。講義と演習を通じてHTML（Hyper-Text Markup Language）及び周辺技術の基礎を修得し、そのソーシャルメディア等での応用事例を分析する。さらに、デジタル社会におけるAPI（Application Programming Interface）を通じた複数のメディアの連携と分業のあり方を学ぶ。	政メ
専門科目群	社会学領域	アニメーションと社会		本科目では、アニメーションというメディアが社会に与える影響や役割、機能などについて考え、アニメーション文化に関する基本的な知識と理解を深めることを目的とする。社会におけるアニメーションの役割や機能を理解し、情報化社会におけるアニメーションという伝達手法の重要性や可能性についても考える。デジタルソフトを使用したアニメーション制作を学びつつ、技術の修得や、アニメーションと社会の関係を探ることで、アニメーションの現状と課題について考察する。	
専門科目群	社会学領域	メディア音響論		本科目では、メディアを活用する際の音に関する理論と実践を通じて楽典的な基礎知識を学ぶ。さらに、音響への理解を深め、音楽・映像を用いた情報発信に関わる際の提案力を修得する。また、本科目では、音楽が社会や文化に与える影響についても考察し、音楽が人々の生活や思考、行動にどのような影響を与えるか、音響がメディアにおいてどのように利用されているか、音響による情報伝達の効果的な方法についても考え、その役割や意義について考察する。	
専門科目群	社会学領域	表象文化論基礎A		本科目では、人間の認知や感性という視点から、表象に対する自身の認識や解釈を深めるための思考力、表象が社会や人間にどうような影響を与えるかを検証するための分析力を養う。また、それらをふまえ、視覚的なイメージの創出法や思考法の基礎を演習と理論の双方から学ぶ。修得した知識や技術をどのような提言につなげていくかについても実践的に学び、提言に必要な構想力の基礎を身に付ける。課題に取り組む際には、異なるバックグラウンドや視点を持つ他の履修者と積極的な意見交換を行い、より広い視野で表象のあり方や仕組みへの理解を深めつつ、コミュニケーション力の向上も目指す。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	表象文化論基礎B		本科目では、現代社会の文化的な側面における表象を取り上げ、個人の心理や行動という視点から、身体的なイメージの創出法や思考法の基礎を学ぶ。修得した知識や技術をどのような提言につなげていくか、またその提言が社会や人間にどのような影響を与えるかについても実践的に学び、提言に必要な構想力の基礎を身に付ける。課題に取り組む際には役割分担を明確にしたグループを作り、グループ内では異なるバックグラウンドや視点を持つ他の履修者と意見交換をすることで、より広い視野で表象のあり方や仕組みへの理解を深めつつ、協調性の向上を目指し、他のグループに向けての成果発表を通して、プレゼンテーション力を高める。	
専門科目群	社会学領域	視覚メディア論		本科目は、情報伝達における基礎を理解するために、視覚メディアに対する観察、構成を中心に取り上げる。現代社会において、情報伝達のための提案や発信はデジタル環境下で実践されることが一般化されているが、コンピュータはあくまでも数あるツールの一つにすぎないという前提を基に、モノを見る目（観察力）や、アイディアやコンセプトの提案に使われることが多いハンドスケッチのスキルを修得し、創造力や提案力、視覚的な構成力を身に付けることを目的とする。	
専門科目群	社会学領域	MIDIワークショップ		MIDIは、音楽制作において重要な役割を果たしており、コンピューター上で音楽を作成する際に必要不可欠な技術となっている。しかし、MIDIが導入されたことによって、従来の楽器演奏によって生まれる音の表情や感情が損なわれる、演奏技術や音楽理論に関する知識が不要になることから、音楽の機械化が進んだとの指摘がある。本科目では、基本的な音楽理論、デジタル技術を活用した音楽制作に必要な知識と技術の修得と実践を通して、MIDIが音楽文化にどのような影響を与えたか、また、MIDIが音楽制作のみならず、音楽教育や音楽産業に与えた影響について探究する。	
専門科目群	社会学領域	メディアワークショップ		現代社会は視覚情報によるコミュニケーションが過剰なほどに発展し、あふれかえっている。しかし視覚情報を理解し読み解くための訓練はほとんどされていないのが現状である。言葉や知識だけではなく、現実に存在しているモノを観察し、整理し、記録し、理解することは、現状を把握し、社会問題を発見するためにも重要な訓練であり、有効な学修方法である。本科目では、視覚的な文法の基礎を学ぶことで、より正確で的確な視覚伝達の方法を実践的に学び、新しい時代に応え得る提案力を養う。	
専門科目群	社会学領域	メディアスタディーズI		本科目の目的は、政策情報学における問題発見につながる観察力を鍛え、既成概念からの脱却を視覚的・身体的に空間を認知する訓練により行うことにある。身近なモノや空間を視覚・触覚等の感覚を通じて観察するとともに、自己がどのように周囲の世界を理解しているのかについて深く考え、対象を社会の文脈と環境の中で解釈・理解した上で、視覚に翻訳して再現する。その活動を様々な題材について反復的に継続することで、自己と他者のものの見方の違いについての理解を深め、社会のさまざまな場面に現れるモノ・空間・現象を新たな視点から洞察する素養を磨く。	
専門科目群	社会学領域	メディアスタディーズII		本科目の目的は、政策情報学における問題発見につながる観察力を鍛え、既成概念からの脱却を視覚的・身体的に空間を認知する訓練により行うことにある。身近なモノや空間を視覚・触覚等の感覚を通じて観察するとともに、自己がどのように周囲の世界を理解しているのかについて深く考え、対象を社会の文脈と環境の中で解釈・理解した上で、視覚に翻訳して再現する。その活動を様々な題材について反復的に継続することで、自己と他者のものの見方の違いについての理解を深め、社会の様々な場面に現れるモノ・空間・現象を新たな視点から洞察する素養を磨く。	

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目群	社会学領域	音楽と地域文化		本科目では、地域文化と音楽を統合した総合的なアプローチを通じて、地域の伝統音楽や楽器、音楽様式について考察し、地域社会やコミュニティに貢献する音楽文化の可能性を探究する。また、クラシック音楽界でのコンピュータ・ミュージックによる歴史的背景や、メディア・アートの分析についても学び、これらの知識を応用することで、現代のテクノロジーを活用した音楽文化を創造する。技術的なスキルとして和音分析、非和声音の使い方など、曲のアレンジ方法、楽器、ソフトウェアの使い方などを修得する。	
ゼミナール科目群		学部基礎ゼミI （戸川 和成／榎戸 敬介）	○	学部基礎ゼミは、1年次までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミ教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 地域を紡ぐ人々が共感を得る空間とは何か 第2回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 フィールド・ワーク―人々に寄り添い、共感を得る快適な空間を探す 第3回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 快適な都市空間の要素について理解する 第4回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 快適な都市空間の事例について理解する 第5回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 リサーチ・デザインの設計（1）仮説の構築と因果関係 第6回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 リサーチ・デザインの設計（2）ソーシャル・キャピタルとプレイス・メイキングの導入 第7回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 都市空間の観察手法について理解する 第8回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 都市空間の記録手法について理解する 第9回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 フィールド・ワーク―共感を得る空間に生きる人々を観察し、生活史を記録する 第10回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 都市空間の分析手法について理解する 第11回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 調査・研究報告の作成（1）分析結果の考察 第12回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 調査・研究報告の作成（2）分析結果のまとめ 第13回 12 戸川 和成／2 榎戸 敬介 調査・研究報告の発表	共同

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI （吉羽 一之／棚沢 順／後藤 一樹）	○	学部基礎ゼミは、1年次までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「ゼミナール科目群I研究ゼミI～IVへの接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミ教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 オリエンテーション・課題説明 第2回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 各領域の基礎講座（1）―理論 第3回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 各領域の基礎講座（2）―理論 第4回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 各領域の基礎講座（3）―理論 第5回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 各領域の基礎講座（4）―理論 第6回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 企画相談・報告 第7回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 課題進行（1）―中間報告に基づき各自企画を進める 第8回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 課題進行（2）―内容の検証 第9回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 課題進行（3）―制作及び作品再検証 第10回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 課題進行（4）―クオリティチェック 第11回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 課題進行（5）―ブラッシュアップ 第12回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終プレゼンテーション 第13回 5 棚沢 順／10 吉羽 一之／8 後藤 一樹 最終プレゼンテーションをふまえたフィードバック	共同
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI （朽木 量／渕元 哲）	○	学部基礎ゼミは、1年次までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミ教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 9 渕元 哲／3 朽木 量 シリアスゲーム・地図表現の前提についてのガイダンス 第2回 9 渕元 哲／3 朽木 量 シリアスゲームの設計についてのレクチャー 第3回 9 渕元 哲／3 朽木 量 主観地図の設計についてのレクチャー 第4回 9 渕元 哲／3 朽木 量 地域分析についてのレクチャー（RESAS・地域経済循環分析） 第5回 9 渕元 哲／3 朽木 量 地区・地点分析のレクチャー（jSTAT map、都市構造可視化計画、47maps） 第6回 9 渕元 哲／3 朽木 量 地理院地図、ヴェクター地図の編集 第7回 9 渕元 哲／3 朽木 量 フィールドワークと目のつけどころ 第8回 9 渕元 哲／3 朽木 量 チーム編成およびチーム内での企画の検討 第9回 9 渕元 哲／3 朽木 量 フィールドワークの実施 第10回 9 渕元 哲／3 朽木 量 フィールドワークのデータ整理およびそれを踏まえての企画のブラッシュアップ 第11回 9 渕元 哲／3 朽木 量 シリアスゲームおよび主観地図のプロトタイプ作成（1） 第12回 9 渕元 哲／3 朽木 量 シリアスゲームおよび主観地図のプロトタイプ作成（2） 第13回 9 渕元 哲／3 朽木 量 最終発表・講評、振り返り	共同

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI （長尾 雄行／久保 裕也）	○	学部基礎ゼミは、1年次までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミ教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 ガイダンス、AI・IoT・ICT技術の動向、チーム編成 第2回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 AI・IoT・ICT技術に関する調査 第3回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 企画立案と役割分担 第4回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 企画プレゼンテーション 第5回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プロトタイプの設計 第6回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プロトタイプの実装 第7回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プロトタイプの評価 第8回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 中間発表会と振り返り 第9回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 最終版の設計 第10回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 最終版の実装 第11回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 最終版の評価 第12回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プレゼンテーションのための資料・動画の制作 第13回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 成果発表会と振り返り	共同
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミI （杉本 卓也／小野 聡）	○	学部基礎ゼミは、1年次までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミ教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 6 杉本 卓也／11 小野 聡 ガイダンス 第2回 6 杉本 卓也 海洋プラスチック対策（企業の取り組み） 第3回 6 杉本 卓也 海洋プラスチック対策（自治体の取り組み） 第4回 6 杉本 卓也 海洋プラスチック対策（報告&ディスカッション） 第5回 11 小野 聡 地球温暖化対策（企業の取り組み） 第6回 11 小野 聡 地球温暖化対策（自治体の取り組み） 第7回 11 小野 聡 地球温暖化対策（報告&ディスカッション） 第8回 6 杉本 卓也 サーキュラーエコノミー（企業の取り組み） 第9回 6 杉本 卓也 サーキュラーエコノミー（自治体の取り組み） 第10回 6 杉本 卓也 サーキュラーエコノミー（報告&ディスカッション） 第11回 11 小野 聡 防災・減災（企業の取り組み） 第12回 11 小野 聡 防災・減災（自治体の取り組み） 第13回 11 小野 聡 防災・減災（報告&ディスカッション）	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミII （棚沢 順／榎戸 敬介）	○	本科目は、2年次春学期までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミナール科目群教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 デジタル・メディアと地域づくりの諸相 第2回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 地域づくりを推進するデジタル・メディア 第3回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 地域の魅力と課題発見の手法 第4回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 地域の魅力を高めるデジタル・メディアの手法 第5回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 デジタル・メディア×地域づくりプロジェクト企画 第6回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 デジタル・メディアの基礎 第7回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 デジタル・メディアの応用 第8回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 デジタル・メディア表現技法ワークショップ 第9回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 プロジェクト中間発表 第10回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 デジタル・メディア表現技法の高度化 第11回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 プレゼンテーションの技術 第12回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 プロジェクト発表 第13回 2 榎戸 敬介／5 棚沢 順 これからのデジタル・メディア×地域づくりの可能性と課題	共同
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミII （後藤 一樹／戸川 和成）	○	本科目は、2年次春学期までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミナール科目群教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 質的調査表現・研究とは何か 第2回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 現代社会におけるライフ・ヒストリー：豊島区に生きる人びとを事例に 第3回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 リサーチ・デザインと仮説の設計・分析 第4回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 ワークショップとディスカッション 第5回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 豊島区のフィールド・ワークと参与観察 第6回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 調査協力者のインタビュー撮影（I）：予備調査 第7回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 インタビュー素材の言説分析と「語りえないもの」への着目 第8回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 調査協力者のインタビュー撮影（II）：本調査 第9回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 インタビュー素材の編集と分析 第10回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 他者の生をなぞる：ドキュメンタリーから劇映画へ 第11回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 ショートムービーの制作（I）：撮影 第12回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 ショートムービーの制作（II）：編集 第13回 12 戸川 和成／8 後藤 一樹 研究成果と制作した映画の豊島区における発表・上映	共同

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミII （渕元 哲／朽木 量／吉羽 一之）	○	本科目は、2年次春学期までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミナール科目群教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 シリアスゲーム・主観地図についての概要についてのガイダンス 第2回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 シリアスゲームの設計とデザインについてのレクチャー 第3回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 主観地図の設計とデザインについてのレクチャー 第4回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 チーム編成およびチーム内での企画の検討 第5回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 チーム内での企画の再検討 第6回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 フィールドワークの設計 第7回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 フィールドワーク実施 第8回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 フィールドワークのデータ整理およびそれを踏まえての企画のブラッシュアップ（1） 第9回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 フィールドワークのデータ整理およびそれを踏まえての企画のブラッシュアップ（2） 第10回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 シリアスゲームおよび主観地図のプロトタイプ作成（1） 第11回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 シリアスゲームおよび主観地図のプロトタイプ作成（2） 第12回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 最終発表準備 第13回 3 朽木 量／10 吉羽 一之／9 渕元 哲 最終発表・講評、振り返り	共同
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミII （長尾 雄行／久保 裕也）	○	本科目は、2年次春学期までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミナール科目群教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行）ガイダンス、AI・IoT・ICT技術の動向、チーム編成 第2回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 AI・IoT・ICT技術に関する調査 第3回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 企画立案と役割分担 第4回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 企画プレゼンテーション 第5回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プロトタイプの設計 第6回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プロトタイプの実装 第7回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プロトタイプの評価 第8回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 中間発表会と振り返り 第9回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 最終版の設計 第10回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 最終版の実装 第11回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 最終版の評価 第12回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 プレゼンテーションのための資料・動画の制作 第13回 4 久保 裕也／1 長尾 雄行 成果発表会と振り返り	共同

別記様式第２号（その３の１）
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（総合政策学部政策情報学科）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
ゼミナール科目群	学部基礎ゼミII （杉本 卓也／小野 聡）	○	本科目は、2年次春学期までに学修した知識とスキルを更に洗練させ、3年次以降の「研究ゼミI～IV」への接続が円滑となるように、学科の学問領域についての専門性を高めることを目的とする。そこで、近接・関連する学問領域の教員がグループを編成してゼミナール科目群教育を合同で開催して履修者の専門性を高めるとともに、複数の教員の専門分野に関する広い教養と基礎力を身に付けるための調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動等を実施する。 第1回 6 杉本 卓也／11 小野 聡 イントロダクション：環境・リスクとプランニング 第2回 6 杉本 卓也 環境計画・マネジメントの概論 第3回 11 小野 聡 気候変動・リスクマネジメントの概論 第4回 6 杉本 卓也 環境計画調査実習(1)：海洋プラスチック実例調査 第5回 6 杉本 卓也 環境計画調査実習(2)：海洋プラスチック論文サーベイ 第6回 6 杉本 卓也 環境計画調査実習(3)：資源循環実例調査 第7回 6 杉本 卓也 環境計画調査実習(4)：資源循環論文サーベイ 第8回 6 杉本 卓也／11 小野 聡 グループ発表と小括 第9回 11 小野 聡 リスクマネジメント調査実習(1)：気候変動適応実例調査 第10回 11 小野 聡 リスクマネジメント調査実習(2)：気候変動適応論文サーベイ 第11回 11 小野 聡 リスクマネジメント調査実習(3)：防災減災実例調査 第12回 11 小野 聡 リスクマネジメント調査実習(4)：防災減災論文サーベイ 第13回 6 杉本 卓也／11 小野 聡 グループ発表とまとめ	オムニバス
ゼミナール科目群	研究ゼミI	○	各教員が設定する専門分野とテーマについてのゼミナール科目群教育を行う。教員の支援・指導のもとで、履修者が主体的に知識とスキルを修得し、それらを複雑な現実社会の中で独力で展開する実践力を磨くことを目指す。地域政策やメディアをはじめとするのさまざまな研究対象にまつわる諸課題についての調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動を通じて、問題発見と解決についての専門的能力を修得する。また、調査結果等を他者へ分かりやすく伝達するための論述・プレゼンテーション・発表技能等も修得する。	
ゼミナール科目群	研究ゼミII	○	各教員が設定する専門分野とテーマについてのゼミナール科目群教育を行う。教員の支援・指導のもとで、履修者が主体的に知識とスキルを修得し、それらを複雑な現実社会の中で独力で展開する実践力を磨くことを目指す。地域政策やメディアをはじめとするのさまざまな研究対象にまつわる諸課題についての調査・研究・発表・ワークショップ・チーム活動を通じて、問題発見と解決についての専門的能力を修得する。また、調査結果等を他者へ分かりやすく伝達するための論述・プレゼンテーション・発表技能等も修得する。	
ゼミナール科目群	研究ゼミIII	○	各専任教員が設定する専門分野とテーマについてのゼミ教育を行う。「研究ゼミI」及び「研究ゼミII」での学修成果を更に発展させて、より専門性の高い調査・研究等を企画・設定し、地域政策やメディアをはじめとするの様々な研究対象にまつわる諸課題についての調査・研究・発表・ワークショップ等を通じて専門的技能を修得する。「研究ゼミIII」では企画を行い、卒業論文執筆、又は、卒業制作を実施する。	
ゼミナール科目群	研究ゼミIV	○	各専任教員が設定する専門分野とテーマについてのゼミ教育を行う。「研究ゼミI」及び「研究ゼミII」での学修成果を更に発展させて、より専門性の高い調査・研究等を企画・設定し、地域政策やメディアをはじめとするの様々な研究対象にまつわる諸課題についての調査・研究・発表・ワークショップ等を通じて専門的技能を修得する。「研究ゼミIV」では、「研究ゼミIII」に引き続き卒業論文、又は、卒業制作を完成させる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要 （総合政策学部政策情報学科）				
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考

（注）

1　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。

2　専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が４０人を超えることを想定するものについては，その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。

3　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

4　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

学校法人千葉学園　設置認可等に関わる組織の移行表

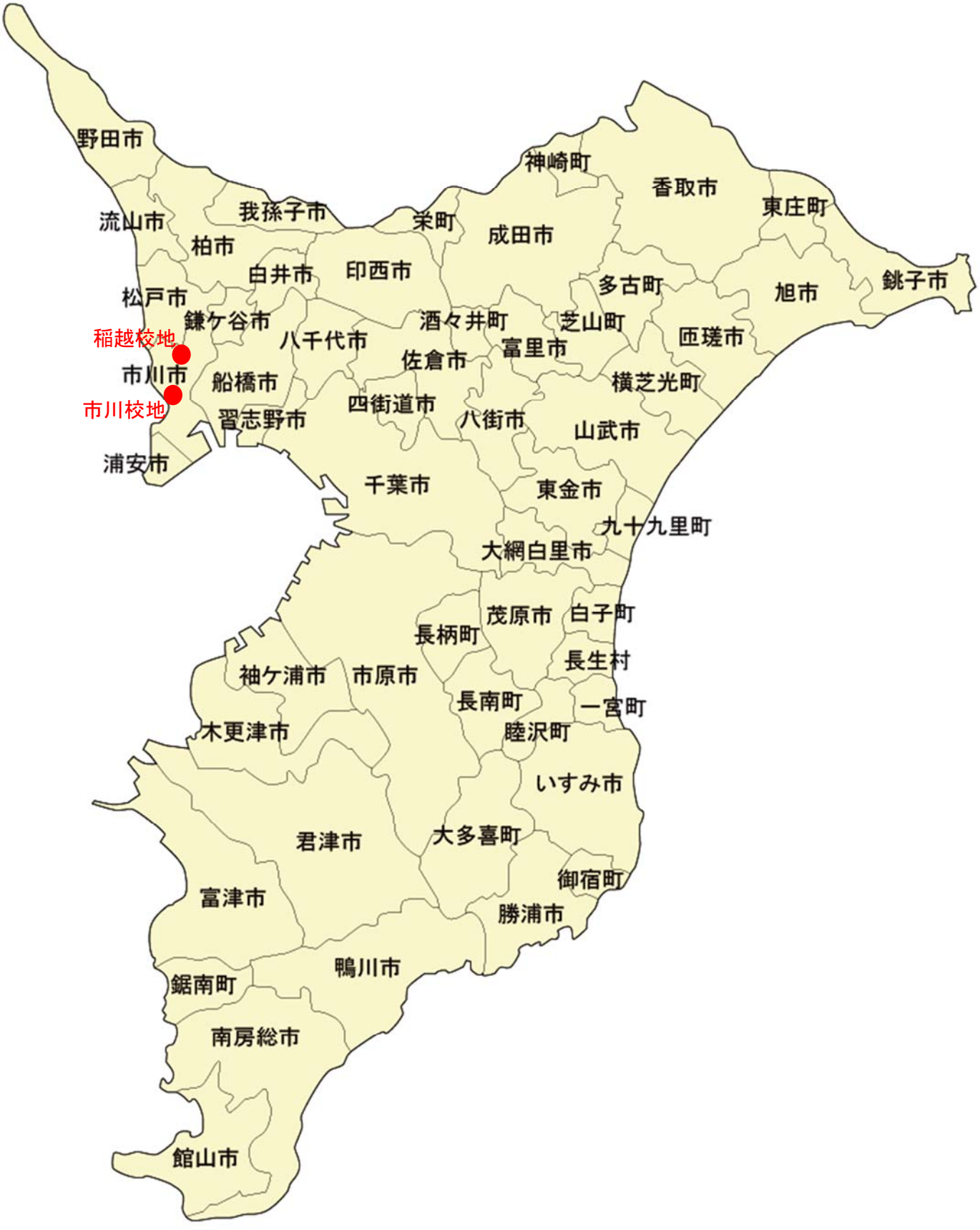
令和6（2024）年度		入学定員	編入学定員	収容定員
千葉商科大学				
商経学部	商学科	430	－	1,720
	経済学科	200	－	800
	経営学科	180	－	720
政策情報学部	政策情報学科	125	－	500
サービス創造学部	サービス創造学科	200	－	800
人間社会学部	人間社会学科	200	－	800
国際教養学部	国際教養学科	75	－	300
計		1,410	－	5,640

令和7（2025）年度		入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
千葉商科大学					
商経学部	商学科	450	－	1,800	定員変更（20）
	経済学科	0	－	0	令和7（2025）年4月学生募集停止
	経営学科	200	－	800	定員変更（20）
政策情報学部	政策情報学科	0	－	0	令和7（2025）年4月学生募集停止
総合政策学部	経済学科	150	－	600	学部の設置（届出）
	政策情報学科	150	－	600	学部の設置（届出）
サービス創造学部	サービス創造学科	230	－	920	定員変更（30）
人間社会学部	人間社会学科	230	－	920	定員変更（30）
国際教養学部	国際教養学科	0	－	0	令和7（2025）年4月学生募集停止
計		1,410	－	5,640	

千葉商科大学大学院				
商学研究科	商学専攻 修士課程	51	－	102
政策研究科	政策専攻 博士課程	6	－	18
会計ファイナンス研究科	会計ファイナンス専攻 専門職学位課程	70	－	140
計		127	－	260

千葉商科大学大学院				
商学研究科	商学専攻 修士課程	51	－	102
政策研究科	政策専攻 博士課程	6	－	18
会計ファイナンス研究科	会計ファイナンス専攻 専門職学位課程	70	－	140
計		127	－	260

千葉商科大学　位置図

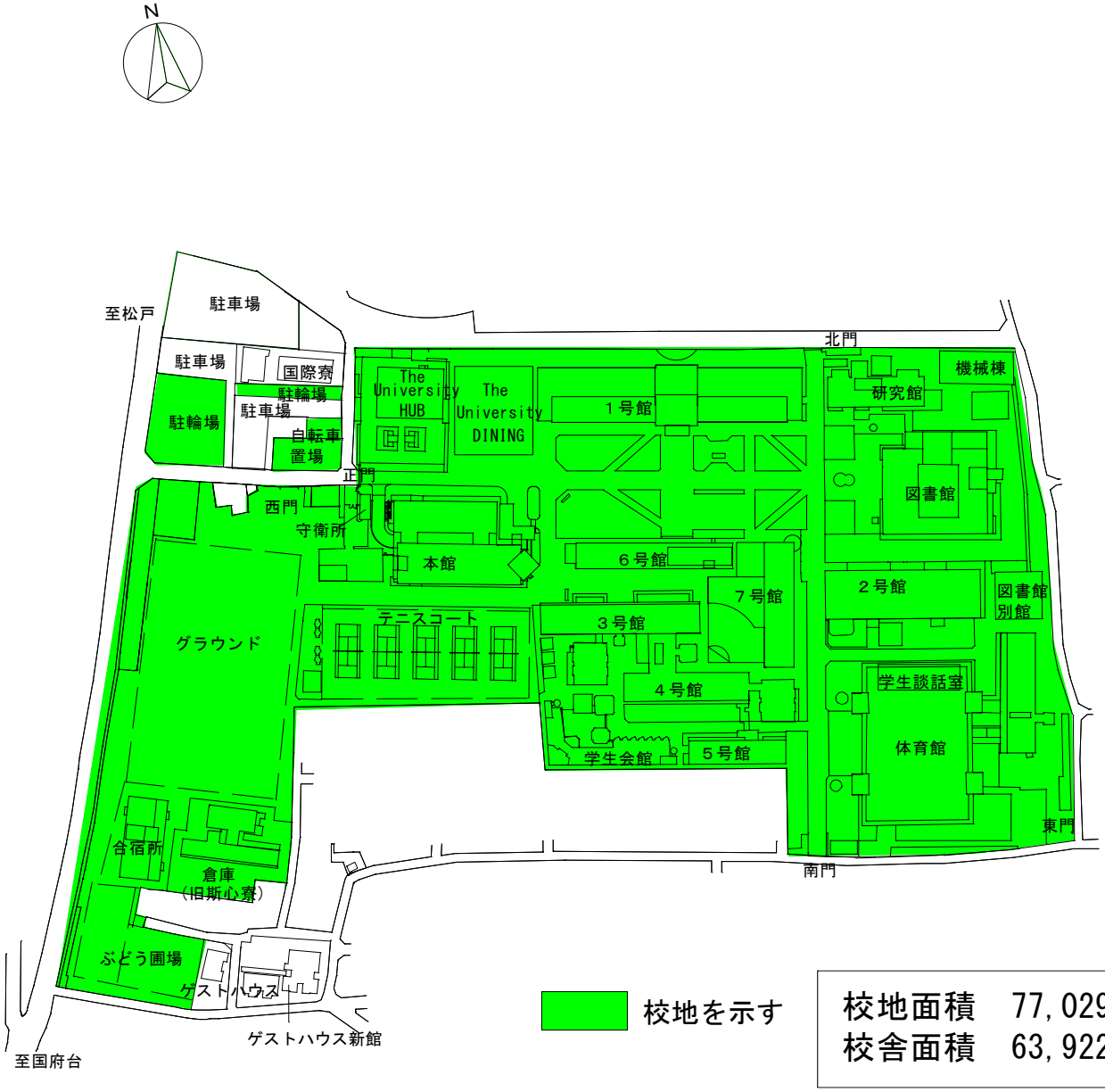

野田市
流山市
我孫子市
柏市
白井市
印西市
松戸市
鎌ケ谷市
稲越校地
八千代市
市川市
船橋市
市川校地
習志野市
浦安市
栄町
神崎町
成田市
香取市
東庄町
多古町
旭市
銚子市
酒々井町
芝山町
匝瑳市
富里市
佐倉市
横芝光町
四街道市
八街市
山武市
千葉市
東金市
九十九里町
大網白里市
茂原市
白子町
長柄町
長生村
袖ケ浦市
市原市
長南町
一宮町
木更津市
睦沢町
いすみ市
君津市
大多喜町
御宿町
富津市
勝浦市
鴨川市
鋸南町
南房総市
館山市

環境図（市川校地）

本部校地　京成電鉄国府台駅より約１km、徒歩10分、バス6分
ＪＲ市川駅より約２km、徒歩24分、バス11分
稲越校地　北総鉄道北国分駅より約１．５km、徒歩17分、バス13分

千葉商科大学　市川校地（市川キャンパス）敷地図

所在地：千葉県市川市国府台一丁目３番１号他



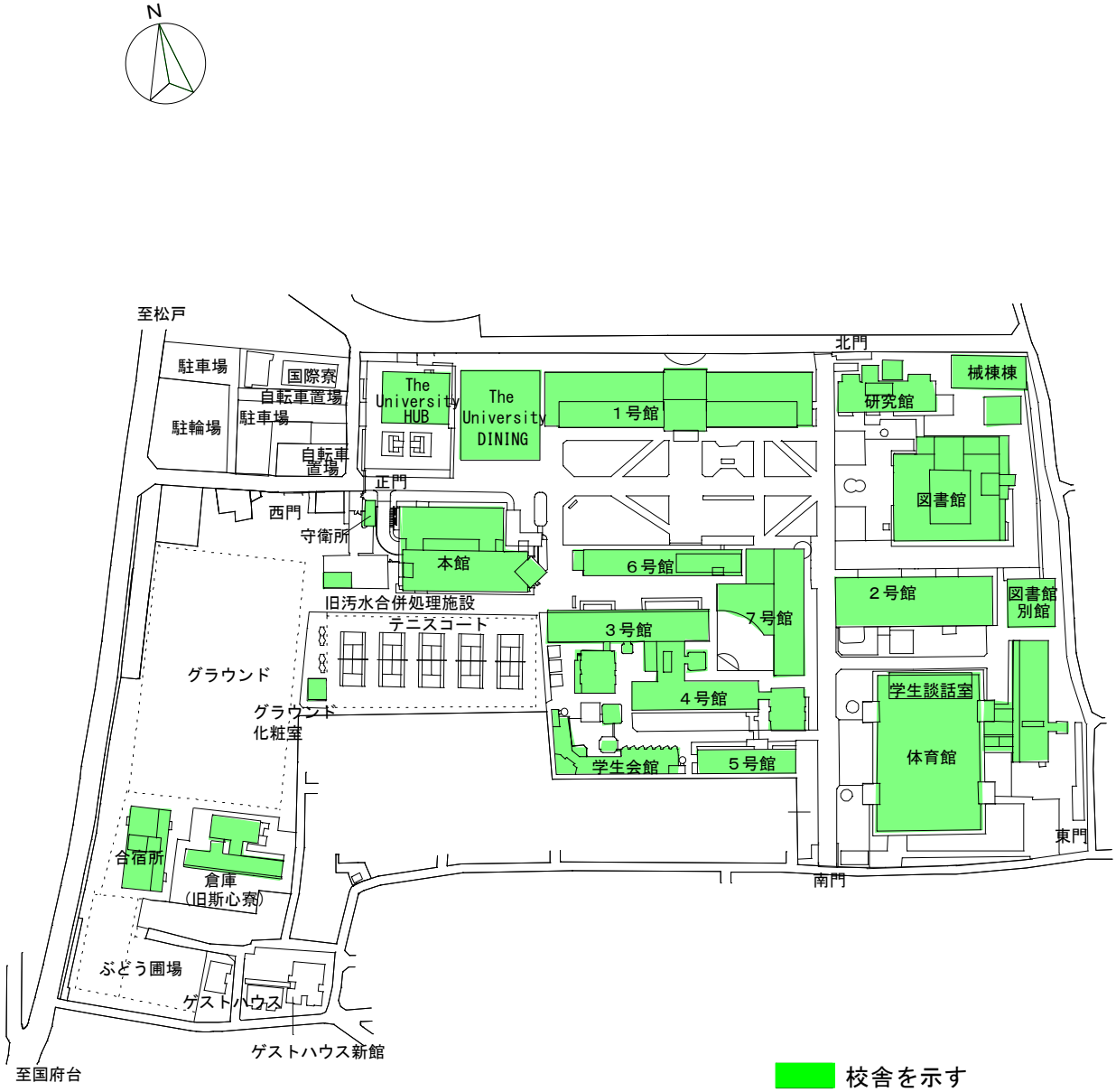
千葉商科大学　稲越校地（稲越キャンパス）　敷地図

所在地：千葉県市川市稲越三丁目５７９番他

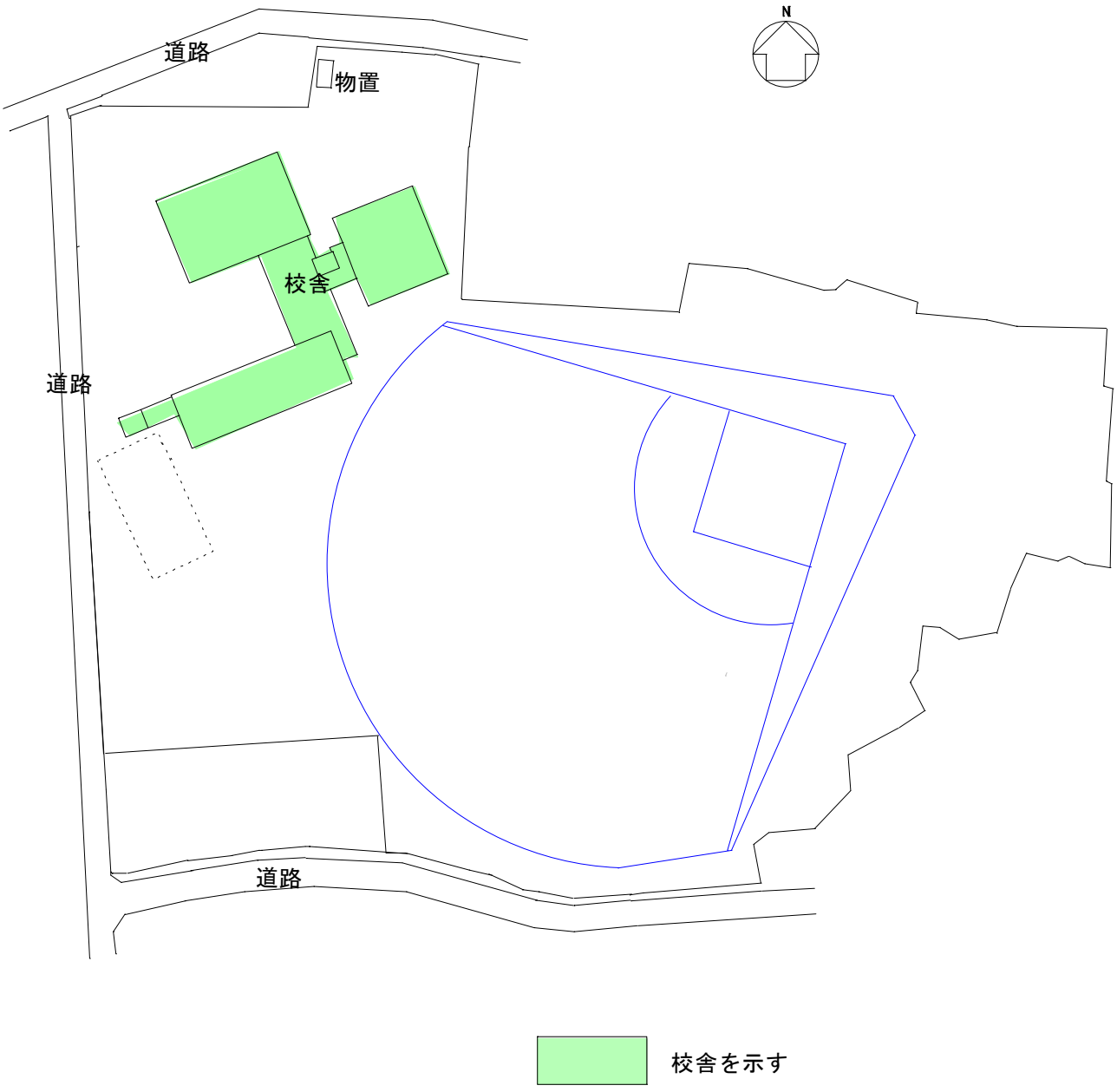
校地を示す

校地面積	26,495.00㎡
校舎面積	2,893.56㎡

千葉商科大学　本部校地（市川キャンパス）建物配置図



千葉商科大学　稲越校地（市川キャンパス）建物配置図



千葉商科大学学則

第１章　総則

（目的）

第１条　本学は広く商業、経済、政策等に関する諸科学の総合的研究及び学理の応用のため専門の学芸を教授するとともに、これらの成果を広く社会に提供し社会の発展に寄与することを目的とし、高き人格識見と教養とを備え、特に経済界を始め、地域社会の発展に資する人材を育成し、もって社会の進運に貢献することを使命とする。

（自己点検・評価）

第１条の２　本学は、教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

２　教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

３　教育研究活動等の状況については、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

４　その他、自己点検及び評価については、別に定める。

（大学名）

第２条　本学は千葉商科大学と称する。

第２章　学部及び学科等の組織

（基盤教育機構・学部及び学科）

第３条　本学に基盤教育機構及び次の学部学科を置く。

基盤教育機構

商経学部　　商学科　経営学科

総合政策学部　　経済学科　政策情報学科

サービス創造学部　サービス創造学科

人間社会学部　　人間社会学科

２　基盤教育機構は、全学部共通カリキュラムを通じて、本学の学生として高き人格識見と教養とを備えた人材を育成することを教育目的とする。

３　商経学部は、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と分析・解決能力に加え、ビジネス・経済・社会に関する幅広い専門知識を身につけ、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材を育成することを教育目的とする。

(1) 商学科は会計、マーケティング、ファイナンスを中心とする商学を基礎としつつ、経営学、経済学、法学、心理学や情報技術などの学際的な知識を備えた人材を育成することを教育目的とする。

(2) 削除

(3) 経営学科は経営学を基礎としつつ、商学、経済学、法学、心理学や情報技術などの学際的な知識を備えた人材を育成することを教育目的とする。

４　総合政策学部は、従来の学問の枠を超えた総合的・多元的な学習により社会の多様な課題の情

報を収集し、考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材を育成することを教育目的とする。

(1) 経済学科は、経済学を中心として社会科学に関する深い理解を持ち、これを用いて社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力を備えた人材を育成することを教育目的とする。

(2) 政策情報学科は、法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に理解し、各分野の専門家たちとも協力しながら、社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力を備えた人材を育成することを教育目的とする。

5　サービス創造学部サービス創造学科は、新たなサービスを創造することを通じて価値や効用を生み出し、個人や組織、社会を豊かにする人材を育成することを教育目的とする。

6　人間社会学部人間社会学科は、複雑化・多様化しサステナビリティが求められる現代社会の構造と動態を理解し、人・社会・自然のウェルビーイングを構想・実現していく能力を持つ人材を育成することを教育目的とする。

7　削除

（大学院）

第３条の２　本学に大学院を置く。

２　大学院の学則は別に定める。

第３章　教育課程及び履修方法

（授業科目）

第４条　本学において教授する授業科目は、別表(1)(3)(4)(5)(6)(8)の通り定める。

２　前項の授業科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目の４種とする。

３　授業は、文部科学大臣の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

（単位）

第５条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業時間をもって１単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業時間をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず、各学部のゼミナール科目群の授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

（卒業の要件）

第６条　学生は、第18条第１項に定める在学期間に、別表(1)(3)(4)(5)(6)に定める単位数のうち、別表(1)のCUC基盤教育科目群から30単位以上、別表(3)(4)(5)(6)の自学部の科目から52単位以上、ゼミナール科目から12単位、その他、CUC基盤教育科目、自学科科目、他学科科目を含めて合計124単位以上を修得しなければならない。

（履修規程）

第６条の２　履修規程は、別に定める。
第７条　削除
（研究科目）
第８条　セミナー科目群又は研究科目群の授業科目を履修する者は、指導教員の承認を受けなければならない。
２　卒業研究の授業科目を履修した者は、卒業研究を提出することができる。
（特別講義）
第９条　学長が教育上有益と認めた場合は、特別講義として授業科目を開設することができる。
２　特別講義として開設した授業科目の修得単位は､第６条に規定する単位に加えることができる。
第９条の２　削除

第４章　試験、卒業及び学位の授与

（試験）
第10条　第４条に定めた授業科目については単位を認定するために試験を行う。
２　削除
３　削除
第11条　前条にかかわらず、第４条に定めた授業科目について、担当教員の判定をもって試験に代えることがある。
第12条　試験は、当該学期に開講した授業科目については担当教員がこれを行う。但し、担当教員に故障のあるときは、学長の承認により他の教員が代ってこれを行う。
（成績評価）
第13条　各授業科目の成績評価基準及び表記法については、別に定める。
２　合格した授業科目については、所定の単位を与える。
（大学以外の教育施設等における学修）
第14条　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学長の承認により、単位を与える。
２　前項により与えることができる単位数は、第15条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）
第15条　本学は、教育上有益と認めるときは、学長の承認により、他の大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなす。
２　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。
（入学前の既修得単位の認定）
第 15 条の２　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなす。

２　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った第 14 条第１項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学長の承認により単位を与える。

３　前２項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 14 条第 1 項及び第 15 条第１項（同条第２項において準用する場合を含む。）により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

（留学）

第16条　第15条第１項に該当しない外国の大学又は短期大学に留学を希望する者は、保証人連署で学長に願い出て許可を得なければならない。

２　学長が教育上有益と認め、留学を許可した者の取り扱いについては、第15条第２項の規定を準用する。

３　前条第１項及び本条第１項により、留学し学修することを認められた者については、休学者とみなさない。

（進級）

第17条　各年次への進級については、各学部で別に定める。

（学位）

第18条　本学に４年（第23条第１項により入学した者については２年。）以上在学し、第６条に定める単位を修得した者は卒業とし、学士の学位を次の通り授与する。

学　部	学　科	学　位
商経学部	商学科	学士（商学）
	経営学科	学士（経営学）
総合政策学部	経済学科	学士（経済学）
	政策情報学科	学士（政策情報学）
サービス創造学部	サービス創造学科	学士（経営学）
人間社会学部	人間社会学科	学士（人間社会学）

２　前項の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、本学に３年以上在学したものが、卒業の要件として定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合は、卒業を認めることができる。

（卒業）

第18条の２　卒業の時期は、学年の終了日とする。但し、第20条第２項により10月に入学した者及び在学期間が４年を超える者については、卒業に必要な授業科目を春学期に履修して単位を修得した場合には、春学期の終了日とすることができる。

（教育職員免許状）

第19条　本学において、教育職員免許状授与の所要資格が得られる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次の通りとする。

学　　部	学　　科	免許状の種類	免許教科
商経学部	商学科	高等学校教諭 一種免許状	商　業 情　報
	経営学科	高等学校教諭 一種免許状	商　業

２　前項の教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第６条に定める単位を修得したほかに、教育職員免許法及び同法施行規則の定めるところに従い、別表(8)の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

第５章　入学、休学、転学、退学、除籍

（入学の時期）

第20条　入学の時期は、学年の始めとする。

２　前項の規定にかかわらず、帰国生徒選抜等による入学者の入学時期は、各学期の始めとする。

（入学資格）

第21条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第 22 条　前条の各号の一に、第 20 条に定める入学の前日までに該当する見込みの者は、当該学校長等の証明を得て入学を願い出ることができる。ただし、該当要件を満たせなかったときは、入学に関する手続きはすべて効力を失う。

（編入学）

第23条　本学３年次に編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 大学を卒業した者
(2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者
(3) 大学に２年以上在学し、62単位以上を修得した者
(4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）
(5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
(6) 高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科および特別支援学校の専攻科（修業年限が２年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たす者に限る。）を修了した者

２　前項の各号の一に、第 20 条に定める入学の前日までに該当する見込みの者は、編入学を願い出ることができる。ただし、該当要件を満たせなかったときは、編入学に関する手続きはすべて効力を失う。

３　本学に在学していた者が再入学を志願する場合は、学長は相当年次に入学を許可することがある。なお、再入学の取扱いについては、別に定める。

第23条の２　削除

（転部・転学科）

第24条　転部・転学科を志望する者については、願い出により、学長はこれを許可することがある。なお、転部・転学科の取扱いについては、別に定める。

（入学志願手続）

第25条　入学志願者は、入学願書に別に定める入学検定料及び書類を添えて願い出なければならない。

２　前項の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

（入学手続）

第26条　前条第２項の選考結果に基づき合格通知を受けた者は、所定の入学手続方法により指定の期日までに保証人連署の本学所定の誓書及び住民票記載事項証明書その他の書類を提出するとともに、入学金及び入学年次の１期分の学費を納付しなければならない。但し、第23条第３項により再入学合格通知を受けた者は、入学金の納付は免除する。

２　学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

第26条の２　合格者に対する入学手続方法については、別に定める。

第27条　保証人は独立の生計を営む成年者で父母、後見人その他の親族であって学生在学中に関する一切の事項につきその責務を履行し得るものでなければならない。

２　前項の保証人を得難いときは、千葉県付近の地に住所を有し、学生の在学中に関する一切の事項につきその責務を履行し得るものと本学が認めた者を保証人とすることができる。

第28条　保証人が死亡若しくは前条の資格を失ったとき又は不適当と認められたときは、新たに保証人を定め、直ちに在学誓書を提出しなければならない。

第29条　保証人が改姓、改名、転籍若しくは転居したときは、直ちにその旨を届け出なければならない。

（授業の欠席）

第30条　疾病その他やむを得ない理由により１週間以上欠席する者は、その理由を付して遅滞なく

届け出なければならない。

なお、理由が疾病である場合は、医師の診断書を添えなければならない。

（休学）

第31条　疾病その他やむを得ない理由により２カ月以上修学することができない者は、保証人連署で休学を願い出て学長の許可を得て休学することができる。

なお、理由が疾病である場合は、医師の診断書を添えなければならない。

２　疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）

第32条　休学期間は、１学期又は１年以内とする。但し、休学の理由が消滅しない場合は、保証人連署で改めて休学を学長に願い出ることができる。

２　休学期間は、継続して２年、通算して４年を超えることはできない。

３　休学期間は、第37条の在学期間には算入しない。

（復学）

第33条　休学期間が満了し、休学の理由が消滅した場合は、保証人連署で復学を願い出て学長の許可を得て復学することができる。

２　復学は、休学した学年とし、時期は学期の始めとする。

（改姓、改名、転籍等）

第34条　学生が改姓、改名、転籍若しくは転居したときは、その旨を直ちに届け出なければならない。但し、改姓、改名、転籍には住民票記載事項証明書を添えなければならない。

（他大学への転学）

第35条　　他の大学に転学しようとする者は、学長に転学を願い出て許可を受けなければならない。

（修業年限）

第36条　学部の修業年限は４年とする。

（在学年限）

第37条　　学生は８年（第23条第１項により入学した者については４年。）を超えて在学することはできない。但し、学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた場合は、この限りではない。

２　削除

（他大学からの転学）

第38条　他の大学の学生が当該学長の承認書を添えて本学に転学を志望したときは、選考のうえこれを許可することがある。

２　前項により転入学した者の在学年数には、元の大学の在学年数の全部又は一部を通算するものとする。

（退学）

第39条 退学しようとする者は、その理由を付して保証人連署のうえ願い出て、学長の許可を受けなければならない。

なお、理由が疾病である場合は医師の診断書を添えるものとする。

（除籍）

第40条　次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

(1) 学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第37条に定める在学年限を超えた者。但し、学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた者は除く。

(3) 第32条第２項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 長期間にわたり行方不明の者

(5) 当該年度の入学許可者のうち、入学意思のない者

（規程の遵守）

第41条　学生は、学則はもちろん本学の定める諸規程を遵守しなければならない。

２　諸規程は別に定める。

（表彰）

第42条　学生であって在学中、学業成績優秀で他の学生の模範となる者に対しては表彰することがある。

（懲戒）

第43条　本学の規則に違反し又は学生の本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

２　懲戒については、別に定める。

第６章　学費

（学費等）

第44条　授業料、学園整備費、教育充実費及び入学金の学費は、別表(9)の定める通りとする。

２　第４年次留年手続者の学費及び学校法人千葉学園が設置する学校から入学する者の入学金は、別に定める。

第44条の２　前条に規定する納付金は、年度の更新に伴い改定することがある。

第45条　前条に定める授業料、学園整備費及び教育充実費は、原則として毎年２期に分けて本学所定の期間内に納付しなければならない。

２　授業料及び学園整備費等の納付について前項の方法によらない者の扱いについては、別に定める。

第46条　納付した入学検定料及び授業料その他の納付金は、原則として返付しない。

（退学の場合の学費）

第47条　学生が退学し又は退学を命ぜられたときは、その納付期の授業料その他の納付金はこれを徴収する。

（休学の場合の学費）

第48条　休学を許可された者については、休学期間中の月割の授業料及び学園整備費等を徴収しない。但し、休学期間中に休学の理由が消滅し復学した者は、当該学期の授業料及び学園整備費等を指定期日内に納付しなければならない。

（授業料の減免）

第49条　授業料等については、学長の認定等により減免する場合がある。

２　前項の授業料の減免等の扱いについては、別に定める。

第50条　削除

第７章　職員組織

（職員組織）

第51条　本学に次の職員を置く。

(1) 学長　１名

(2) 基盤教育機構長　１名

(3) 学部長　各１名

(4) 教授、准教授、専任講師及び助教

(5) 事務職員

２　本学に前項のほか、副学長及び必要な職員を置くことができる。

第52条　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

２　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

３　基盤教育機構長は基盤教育機構に関する校務をつかさどる。

４　学部長は学部に関する校務をつかさどる。

５　教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

６　准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

７　専任講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

８　助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

９　事務職員は上司の命を受け事務に従事する。

第53条　学長は必要ある場合には非常勤講師を委嘱することができる。

第８章　教授会

（教授会）

第54条　本学に教授会を置く。

２　本学における教授会は次の通りとする。

(1) 基盤教育機構教授会

(2) 学部教授会

(3) 全学教授会

３　教授会については、別に定める。

第55条　削除

第56条　削除

第57条　削除

第９章　収容定員

（収容定員等）

第58条　本学の収容定員は、次の通りとする。

学　　部	学　　科	入学定員	収容定員
商経学部	商学科	４５０名	１，８００名
	経営学科	２００名	８００名
	計	６５０名	２，６００名
総合政策学部	経済学科	１５０名	６００名
	政策情報学科	１５０名	６００名
	計	３００名	１，２００名
ｻｰﾋﾞｽ創造学部	ｻｰﾋﾞｽ創造学科	２３０名	９２０名
人間社会学部	人間社会学科	２３０名	９２０名
合　　計		１，４１０名	５，６４０名

第10章　研究生及び特別聴講学生等

（研究生等）

第59条　特定の事項について、本学専任教員の指導の下に研究を志望する者があるときは、学長が研究生として許可することがある。

２　官庁又は公共団体等の委託により本学専任教員の指導の下に特定の事項につき研究を志望する者があるときは、学長が委託生として許可することがある。

（特別聴講学生等）

第60条　本学において教育上有益と認めるときは、国内外の他の大学又は短期大学との協議により、他の大学等の学生を特別聴講学生又は受託留学生として、本学の授業科目の一部について履修を許可することができる。

２　特別聴講学生又は受託留学生として履修した科目について試験を受け合格した場合は、所定の単位を与える。

（科目等履修生）

第61条　本学の特定の授業科目について履修を志願する者があるときは、選考のうえ在学生の学修に妨げのない限り科目等履修生として許可することがある。

２　科目等履修生が履修した授業科目について試験を受け合格したときは、所定の単位を与える。

（聴講生）

第62条　本学の特定の授業科目につき聴講を希望する者があるときは、選考のうえ聴講生として聴講を許可することがある。

２　聴講生に対しては、試験を行わない。但し、本人の志望により聴講した授業科目につき試験を受けることができる。また、本人の志望により選考のうえ聴講証明書を授与する。

（登録料、修学料）

第63条　研究生、委託生、科目等履修生及び聴講生（以下、「研究生等」という。）の履修又は聴講の登録料及び修学料等は、別に定める。

２　研究生等に関する規定は別に定める。

第63条の２　特別聴講学生及び受託留学生の修学料は、別に定める。

第11章　図書館、総合研究センター

（図書館及び総合研究センター）

第64条　本学に教職員並びに学生の研究に資するため図書館及び総合研究センターを置く。

２　削除

３　削除

第65条　図書館及び総合研究センターに関する規程は別に定める。

２　削除

３　削除

第12章　学年、学期及び休業日

（学年及び学期）

第66条　学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

２　学年は春学期と秋学期の２学期に分け、期間については、当該年度の学事暦において定める。

３　前項に定める各学期を前半および後半に分けることができるものとする。

第66条の２　第20条第２項により10月に入学した者の学年は、10月１日に始まり翌年９月30日に終わる。

２　学年は、秋学期と春学期の２学期に分け、期間については、当該年度の学事暦において定める。

３　前項に定める各学期を前半および後半に分けることができるものとする。

（休業日）

第67条　休業日は次の通りとする。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日

(3) 創立記念祝日（５月１日）

(4) 春季休業日

(5) 夏季休業日

(6) 冬季休業日

第68条　学長は前条の休業日について必要と認めたときは変更し、別に休業日を定めることができる。

第13章　厚生保健施設

（健康診断）

第69条　職員及び学生の保健のため毎年１回健康診断を行う。

（校医）

第70条　本学に校医を置くとともに健康サポートセンターを設置し、職員及び学生の衛生保健に関する相談並びに治療に当たることとする。

第14章　公開講座

（公開講座）

第71条　社会人の教養を高め文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第15章　その他

（規程の改廃）

第72条　この学則の改廃は、全学部長会及び全学教授会の議を経て、理事会が行う。

付　則

この学則は、昭和25年４月１日から施行する。

付　則（昭和30年４月１日改正）

この学則は、昭和30年４月１日から施行する。

付　則（昭和37年４月１日改正）

この学則は、昭和37年４月１日から施行する。

付　則（昭和37年11月21日改正）

この学則は、昭和37年11月21日から施行する。

付　則（昭和39年４月１日改正）

この学則は、昭和39年４月１日から施行する。

付　則（昭和40年４月１日改正）

この学則は、昭和40年４月１日から施行する。

付　則（昭和41年４月１日改正）

この学則は、昭和41年４月１日から施行する。

付　則（昭和42年４月１日改正）

この学則は、昭和42年４月１日から施行する。

付　則（昭和43年４月１日改正）

この学則は、昭和43年４月１日から施行する。

付　則（昭和43年10月23日改正）

この学則は、昭和43年10月23日から施行する。

付　則（昭和45年４月１日改正）

この学則は、昭和45年４月１日から施行する。

付　則（昭和46年４月１日改正）

この学則は、昭和46年４月１日から施行する。

付　則（昭和49年１月１日改正）

この学則は、昭和49年１月１日から施行する。

付　則（昭和50年４月１日改正）

この学則は、昭和50年４月１日から施行する。

付　則（昭和50年７月１日改正）

この学則は、昭和50年７月１日から施行する。

付　則（昭和51年４月１日改正）

この学則は、昭和51年４月１日から施行する。

付　則（昭和52年４月１日改正）

この学則は、昭和52年４月１日から施行する。

付　則（昭和53年４月１日改正）

この学則は、昭和53年４月１日から施行する。

付　則（昭和54年４月１日改正）

この学則は、昭和54年４月１日から施行する。

付　則（昭和55年４月１日改正）

１．この学則は、昭和55年４月１日から施行する。

２．昭和55年度から昭和57年度において、商経学部各学科の総定員は、第52条の規定にかかわらず次の通りとする。

年　　度	商 学 科	経済学科	経営学科	計
昭和55年度	1,300名	1,300名	1,300名	3,900名
昭和56年度	1,400名	1,400名	1,400名	4,200名
昭和57年度	1,500名	1,500名	1,500名	4,500名

付　則（昭和56年４月１日改正）

この学則は、昭和56年４月１日から施行する。

付　則（昭和57年４月１日改正）

１．この学則は、昭和57年４月１日から施行する。

２．昭和56年度以前に入学した者については、第４条及び第６条は改正前の学則を適用する。

付　則（昭和58年４月１日改正）

この学則は、昭和58年４月１日から施行する。

付　則（昭和59年４月１日改正）

この学則は、昭和59年４月１日から施行する。

付　則（昭和60年４月１日改正）

この学則は、昭和60年４月１日から施行する。

付　則（昭和61年４月１日改正）

この学則は、昭和61年４月１日から施行する。

付　則（昭和62年４月１日改正）

この学則は、昭和62年４月１日から施行する。

但し、第56条の規定にかかわらず、昭和62年度から昭和70年度までの間の入学定員は、次の通りとする。

学　　部	学　　科	入学定員
商経学部	商 学 科	450名
	経済学科	450名
	経営学科	450名
	計	1,350名

付　則（昭和63年４月１日改正）

この学則は、昭和63年４月１日から施行する。

付　則（平成元年４月１日改正）

この学則は、平成元年４月１日から施行する。

付　則（平成２年４月１日改正）

１．この学則は、平成２年４月１日から施行する。

２．平成元年度以前に入学した者については、別表(1)及び別表(2)は改正前の学則別表(1)及び別表(2)を適用する。

付　則（平成３年４月１日改正）

この学則は、平成３年４月１日から施行する。

付　則（平成３年10月１日改正）

この学則は、平成３年10月１日から施行する。

付　則（平成４年２月１日改正）

この学則は、平成４年２月１日から施行する。

付　則（平成４年４月１日改正）

この学則は、平成４年４月１日から施行する。

付　則（平成５年４月１日改正）

この学則は、平成５年４月１日から施行する。

付　則（平成６年４月１日改正）

この学則は、平成６年４月１日から施行する。

付　則（平成７年４月１日改正）

この学則は、平成７年４月１日から施行する。

付　則（平成８年４月１日改正）

１．この学則は、平成８年４月１日から施行する。

２．第57条の規定にかかわらず、平成８年度から平成11年度までの間の入学定員は、次の通りとする。

学　　部	学　　科	入学定員
商経学部	商 学 科	450名
	経済学科	450名
	経営学科	450名
	計	1,350名

３．平成７年度以前に入学した者については、第６条及び別表(1)は改正前の学則を適用することとし、平成８年度以後に履修する授業科目の扱いについては、この学則を準用する。

付　則（平成９年４月１日改正）

１.この学則は、平成９年４月１日から施行する。

２.平成８年度以前入学者については、第４条、第５条及び第６条に規定する事項は、入学時の学則を適用する。但し、平成７年度以前入学者が履修する授業科目の扱いは、平成８年４月１日改正の学則を準用する。

付　則（平成10年４月１日改正）

１.この学則は、平成10年４月１日から施行する。但し、別表(1)に定める「海外英語研修Ⅰ、Ⅱ」及び３学科共通の専攻科学科目については、平成９年度入学者にも準用する。

２．平成８年度入学者については、第４条に規定する事項は、入学時の学則を適用するが、別表(1)に定める自然言語における自由科目の配当科目については、平成９年度入学者適用の学則を準用する。

付　則（平成11年４月１日改正）

この学則は、平成11年４月１日から施行する。

付　則（平成12年４月１日改正）

１．この学則は、平成12年４月１日から施行する。

２．平成11年度以前に入学した者については、第19条並びに別表(1)及び別表(2)は改正前の学則を適用する。

３．第58条の規定にかかわらず、商経学部各学科における平成12年度から平成15年度までの間の入学定員は、次の通りとする。

学　　科	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
商 学 科	420名	415名	410名	405名
経済学科	420名	415名	410名	405名
経営学科	420名	415名	410名	405名
計	1,260名	1,245名	1,230名	1,215名

付　則（平成13年４月１日改正）

１．この学則は、平成13年４月１日から施行する。

２．政策情報学部政策情報学科平成12年度入学者については、教育職員免許法別表第１の備考５のロにより高等学校「情報」の教育職員免許状授与の所要資格を得るに必要な単位の修得を認めるものとする。

付　則（平成14年４月１日改正）

１．この学則は、平成14年４月１日から施行する。

２．平成13年度以前に入学した者については、入学時の学則を適用する。

付　則（平成15年４月１日改正）

この学則は、平成15年４月１日から施行する。

付　則（平成16年４月１日改正）

この学則は、平成16年４月１日から施行する。

付　則（平成17年４月１日改正）

この学則は、平成17年４月１日から施行する。

付　則（平成18年４月１日改正）

この学則は、平成18年４月１日から施行する。

付　則（平成19年４月１日改正）

１．この学則は、平成19年４月１日から施行する。

２．平成18年度以前に入学した者については、入学時の学則を適用する。

付　則（平成20年４月１日改正）

この学則は、平成20年４月１日から施行する。

付　則（平成21年４月１日改正）

１．この学則は、平成21年４月１日から施行する。

２．平成20年度以前に入学した者については、入学時の学則を適用する。
３．第58条の規定にかかわらず、商経学部各学科における平成21年度から24年度までの間の収容定員は、次の通りとする。

学　　科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
商 学 科	1,620名	1,640名	1,660名	1,680名
経済学科	1,500名	1,400名	1,300名	1,200名
経営学科	1,480名	1,360名	1,240名	1,120名
合　　計	4,600名	4,400名	4,200名	4,000名

付　則（平成22年４月１日改正）

この学則は、平成22年４月１日から施行する。

付　則（平成23年４月１日改正）

この学則は、平成23年４月１日から施行する。

付　則（平成24年４月１日改正）

１．この学則は、平成24年４月１日から施行する。
２．平成23年度以前に入学した者については、入学時の学則を適用する。

付　則（平成 25 年４月１日改正）

１．この学則は、平成 25 年４月１日から施行する。
２．平成 24 年度以前に入学した者については、入学時の学則を適用する。但し、平成 24 年度以前の入学者に対して教授会が必要と判断する場合は、教授会が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。

付　則（平成26年４月１日改正）

１．この学則は、平成26年４月１日から施行する。
２．平成25年度以前に入学した者については、入学時の学則を適用する。但し、平成25年度以前の入学者に対して教授会が必要と判断する場合は、教授会が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。
３．第58条の規定にかかわらず、商経学部各学科における平成26年度から29年度までの間の収容定員は、次の通りとする。

学　　科	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
商 学 科	1,680 名	1,680 名	1,680 名	1,680 名
経済学科	1,100 名	1,000 名	900 名	800 名
経営学科	1,020 名	920 名	820 名	720 名
合　　計	3,800 名	3,600 名	3,400 名	3,200 名

付　則（平成27年４月１日改正）

１．この学則は、平成27年４月１日から施行する。
２．平成26年度以前に入学した者の授業科目の履修及び単位修得については、入学時の学則を適用する。但し、学長が必要と判断する場合は、学長が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。
３．第58条の規定にかかわらず、政策情報学部政策情報学科における平成27年度から平成29年度

までの間の収容定員は、次の通りとする。

学 部・学 科	平成27年度	平成28年度	平成29年度
政策情報学部 政策情報学科	785名	690名	615名

付　則（平成28年４月１日改正）

１．この学則は、平成28年４月１日から施行する。

２．第44条及び別表(7)に規定する留学関連費(国際教養学部のみ)は、平成27年４月１日から適用する。

付　則（平成29年４月１日改正）

この学則は、平成29年４月１日から施行する。

付　則（平成30年４月１日改正）

１．この学則は、平成30年４月１日から施行する。

２．平成29年度以前に入学した者の授業科目の履修及び単位修得については、入学時の学則を適用する。但し、学長が必要と判断する場合は、学長が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。

３．第58条の規定にかかわらず、商経学部各学科における平成30年度から平成33年度までの間の収容定員及び政策情報学部政策情報学科の平成30年度から平成31年度までの収容定員は、次の通りとする。

学　　部	学　　科	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
商経学部	商 学 科	1,690 名	1,700 名	1,710 名	1,720 名
	経済学科	800 名	800 名	800 名	800 名
	経営学科	720 名	720 名	720 名	720 名
	計	3,210 名	3,220 名	3,230 名	3,240 名

学 部・学 科	平成30年度	平成31年度
政策情報学部 政策情報学科	520名	500名

付　則（2019年4月1日改正）

１．この学則は、2019年４月１日から施行する。

２．2018年度以前に入学した者の授業科目の履修及び単位修得については、入学時の学則を適用する。但し、学長が必要と判断する場合は、学長が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。

付　則（2020年4月1日改正）

１．この学則は、2020年４月１日から施行する。

２．2019年度以前に入学した者の授業科目の履修及び単位修得については、入学時の学則を適用する。但し、学長が必要と判断する場合は、学長が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。

３．第44条及び別表(9)に規定する留学・研修費(国際教養学部のみ)は、2020年４月１日から適用する。

付　則（2021年４月１日改正）

１．この学則は、2021年４月１日から施行する。

２．第32条に規定する休学期間の手続は、2020年10月1日に遡って適用する。

付　則（2022年３月23日改正）

１．この学則は、2022年４月１日から施行する。

付　則（2023年３月22日改正）

１．この学則は、2023年４月１日から施行する。

２．第64条及び第65条に規定する総合研究センターは、2023年３月１日に遡って適用する。

付　則（2024年２月21日改正）

この学則は、2024年４月１日から施行する。

付　則（2024年３月21日改正）

１．この学則は、2025年４月１日から施行する。

２．第３条の規定にかかわらず、2024年度以前に入学した者の学部学科及び人材育成の目的について在籍者が卒業するまでは次の通りとする。

基盤教育機構
商経学部　　商学科　経済学科　経営学科
政策情報学部　　政策情報学科
サービス創造学部　サービス創造学科
人間社会学部　　人間社会学科
国際教養学部　　国際教養学科

学部等	人材育成の目的
基盤教育機構	基盤教育機構は、全学部共通カリキュラムを通じて、本学の学生として高き人格識見と教養とを備えた人材を育成することを教育目的とする。
商経学部	商経学部は、三言語（自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計）の修得を基礎に、商学、経済学、経営学を学び、実業界などで活躍する人材を育成する。特定の専門にかたよらず、広い視野をもった基礎的専門知識を有し、豊かな人間性と道徳性、一般教養を備え、社会で有意な活動を行うことのできる人材を養成することを教育目的とする。 (1) 商学科は商品流通、貨幣流通、会計に関する知識を備えた人材を養成することを教育目的とする。 (2) 経済学科は経済の仕組み、市場経済の法則を理解できる人材を養成することを教育目的とする。 (3) 経営学科は企業組織と経営の在り方を学び、資本・人材・技術力の活用と運営ができる人材を養成することを教育目的とする。
政策情報学部	政策情報学部政策情報学科は、従来の学問の枠を超えた総合的・多元的な学習により時代の流れを読み取り、情報技術を活用した問題発見とその解決を目指す実践的な知識と手法を身につけた人材の養成を教育目的とする。
サービス創造学部	サービス創造学部サービス創造学科は、３つの学び（「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」）を教育の柱として、サービスを多面的・複合的

	に教育することを通じ、進展するサービス化社会に対応した多様なサービスを創造する人材を育成することを教育目的とする。
人間社会学部	人間社会学部人間社会学科は、社会学・社会福祉学、経済学・商学に関する学びと実践的な経験を活かして少子化、高齢化、人口の減少、コミュニティの衰退、グローバル化の進展など社会の変化や課題に対応し、人にやさしい社会を、ビジネスを通じてつくりだせる人材を育成することを教育目的とする。
国際教養学部	国際教養学部国際教養学科は、グローバル化が進展する国際社会の現場で、法学や政治学・経済学を基礎とした幅広い教養と、留学などの国際的な経験を統合して、自ら発信できる能力を有する即戦力を培い、真のグローバル人材を育成することを教育目的とする。

３．第４条及び第６条の規定にかかわらず、2024年度以前に入学した者の、授業科目の履修及び単位修得については、入学時の学則を適用する。但し、学長が必要と判断する場合は、学長が定める授業科目の履修及び単位修得を認めることができるものとする。

４．第18条の規定にかかわらず、2024年度以前に入学した者の、商経学部経済学科、政策情報学部政策情報学科、国際教養学部国際教養学科の学位について、在籍者が卒業するまでは次の通りとする。

学部	学科	学位
商経学部	経済学科	学士（経済学）
政策情報学部	政策情報学科	学士（政策情報学）
国際教養学部	国際教養学科	学士（国際教養学）

５．第58条の規定にかかわらず、2025年度から2027年度までの収容定員は、次の通りとする。

学　部	学　　科	2025年度	2026年度	2027年度
商経学部	商 学 科	1,740 名	1,760 名	1,780 名
	経済学科	600 名	400 名	200 名
	経営学科	740 名	760 名	780 名
	計	3,080 名	2,920 名	2,760 名
総合政策学部	経済学科	150 名	300 名	450 名
	政策情報学科	150 名	300 名	450 名
	計	300 名	600 名	900 名
政策情報学部	政策情報学科	375 名	250 名	125 名
サービス創造学部	サービス創造学科	830 名	860 名	890 名
人間社会学部	人間社会学科	830 名	860 名	890 名
国際教養学部	国際教養学科	225 名	150 名	75 名

別表（1）　＜基盤教育機構　学則別表＞

学部等	科目区分		授業科目の名称	単位数				配当年次				備考
				必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	
		CUC ベーシック	自分未来ゼミ	2				2	2	2	2	6単位を修得するものとする。
			実学入門I	2				2	2	2	2	
			実学入門II	2				2	2	2	2	
		共通教養科目 人文科学	哲学入門		2			2	2	2	2	2単位以上を修得するものとする。
			倫理学入門		2			2	2	2	2	
			社会史入門		2			2	2	2	2	
			経済思想史入門		2			2	2	2	2	
			心理学入門		2			2	2	2	2	
			応用心理学入門		2			2	2	2	2	
			歴史学入門		2			2	2	2	2	
			人文地理学入門		2			2	2	2	2	
			文学研究入門		2			2	2	2	2	
			芸術理論研究入門		2			2	2	2	2	
			比較文化論		2			2	2	2	2	
			表象文化論		2			2	2	2	2	
			演劇・身体表現論		2			2	2	2	2	
			社会ネットワーク論		2			2	2	2	2	
		共通教養科目 社会科学	法学入門（公法）		2			2	2	2	2	2単位以上を修得するものとする。
			法学入門（私法）		2			2	2	2	2	
			日本国憲法		2			2	2	2	2	
			政治学入門		2			2	2	2	2	
			国際政治学入門		2			2	2	2	2	
			途上国貧困研究入門		2			2	2	2	2	
			社会思想史入門		2			2	2	2	2	
			現代思想入門		2			2	2	2	2	
			経済成長と社会問題		2			2	2	2	2	
			ジャーナリズム論		2			2	2	2	2	
			教育学入門		2			2	2	2	2	
			民俗学入門		2			2	2	2	2	
			社会学入門		2			2	2	2	2	
			経済学入門		2			2	2	2	2	
		共通教養科目 自然科学	生物学入門		2			2	2	2	2	2単位以上を修得するものとする。
			地学入門		2			2	2	2	2	
			自然地理学入門		2			2	2	2	2	
			宇宙科学入門		2			2	2	2	2	
			化学と社会		2			2	2	2	2	
			物理学と社会		2			2	2	2	2	
			情報化社会のための数学入門		2			2	2	2	2	
			データサイエンス入門		2			2	2	2	2	
			データ活用の統計学		2			2	2	2	2	
			テクノロジー論		2			2	2	2	2	
			認知心理学入門		2			2	2	2	2	
		共通教養科目 倫理・SDGs	情報倫理		2			2	2	2	2	2単位以上を修得するものとする。
			生命倫理		2			2	2	2	2	
			ビジネス倫理		2			2	2	2	2	
			環境倫理		2			2	2	2	2	
			SDGs論		2			2	2	2	2	
			USRとレジリレンス		2			2	2	2	2	
			地域共創デザイン論		2			2	2	2	2	
			地球環境論		2			2	2	2	2	
			文化創造論		2			2	2	2	2	
			エネルギー論		2			2	2	2	2	
			サステナブルな地域づくり実践		2			2	2	2	2	
			地域に役立つ再生可能エネルギービジネス		2			2	2	2	2	

学部等	科目区分			授業科目の名称	単位数				配当年次				備考
					必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	
基盤教育機構	CUC基盤教育科目群	三言語科目	自然言語	英語とその世界	2				2	2	2	2	2単位を修得するものとする。
				中国語とその世界	2				2	2	2	2	
				日本語とその世界	2				2	2	2	2	
				英語コミュニケーション基礎A			2		2	2	2	2	
				英語コミュニケーション基礎B			2		2	2	2	2	
				国際語としての英語			2		2	2	2	2	
				異文化コミュニケーション(英語)			2		2	2	2	2	
				中国語コミュニケーション入門			2		2	2	2	2	
				中国語コミュニケーション基礎			2		2	2	2	2	
				国際語としての中国語			2		2	2	2	2	
				異文化コミュニケーション(中国語)			2		2	2	2	2	
				韓国語コミュニケーション入門			2		2	2	2	2	
				韓国語コミュニケーション基礎			2		2	2	2	2	
				異文化コミュニケーション(韓国語)			2		2	2	2	2	
			情報言語	情報入門	2				2	2	2	2	2単位を修得するものとする。
				情報実践			2		2	2	2	2	
				情報処理			2		2	2	2	2	
				プログラミング入門			2		2	2	2	2	
				情報科学概論			2		2	2	2	2	
			会計言語	会計リテラシー	2				2	2	2	2	2単位を修得するものとする。
				経理実務入門I			2		2	2	2	2	
				経理実務入門II			2		2	2	2	2	
				税理実務入門I			2		2	2	2	2	
				税理実務入門II			2		2	2	2	2	
				簿記特講			4		2	2	2	2	
		生涯ケア科目	キャリア	生活と金融リテラシーI	2				2	2	2	2	2単位を修得するものとする。
				キャリア入門		2			2	2	2	2	2単位以上を修得するものとする。
				生活と金融リテラシーII		2			2	2	2	2	
				生活と金融リテラシーIII		2			2	2	2	2	
				インターンシップ概論		2				2	2	2	
				就業力実践		2					2	2	
			健康管理	健康科学		2			2	2	2	2	
				健康・スポーツ演習		2			2	2	2	2	
				コーチング論		2			2	2	2	2	

学部等	科目区分			授業科目の名称	単位数				配当年次				備考
					必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	
		アドバンスト科目	グローバル分野	Grammar in Use			2		2	2	2	2	
				多文化ワークショップ			2		2	2	2	2	
				Global Studies			2		2	2	2	2	
				海外短期文化研修I			2		2	2	2	2	
				海外短期文化研修II			2		2	2	2	2	
				海外長期文化研修I			2		2	2	2	2	
				Global Communication			2			2	2	2	
				Digital Communication			2			2	2	2	
				Language & Culture			2			2	2	2	
				Extensive Reading & Listening			2			2	2	2	
				Academic English			2			2	2	2	
				地域研究A			2			2	2	2	
				地域研究B			2			2	2	2	
				多文化フィールドワークA			2			2	2	2	
				多文化フィールドワークB			2			2	2	2	
				ビジネス中国語			2			2	2	2	
				実用中国語			2			2	2	2	
			情報・データサイエンス分野	社会科学のための情報学特論			2		2	2	2	2	
				データサイエンスのための数学			2		2	2	2	2	
				データサイエンスのためのプログラミングI			2		2	2	2	2	
				AI概論			2			2	2	2	
				データサイエンス実践			2			2	2	2	
				データサイエンスのためのプログラミングII			2			2	2	2	
				データ活用の統計学実践			2			2	2	2	
				データサイエンスプロジェクトI			2				2	2	
				データサイエンスプロジェクトII			2				2	2	
				統計システム開発実習I			2				2	2	
				統計システム開発実習II			2				2	2	
			キャリア分野	CSR経営論			2			2	2	2	
				イノベーション実践A			2			2	2	2	
				イノベーション実践B			2			2	2	2	
				キャリア形成論			2			2	2	2	
				仕事の意思決定			2			2	2	2	
				ディーセント・ワーク論			2			2	2	2	
				ライフヒストリー研究			2			2	2	2	
				業界・企業研究A（IT、金融ビジネス）			2			2	2	2	
				業界・企業研究B（ホスピタリティ領域、グローバル領域）			2			2	2	2	
				社会実践論			2			2	2	2	
			総合教養	総合教養A			2		2	2	2	2	
				総合教養B			2		2	2	2	2	
				総合教養C			2		2	2	2	2	
				総合教養D			2		2	2	2	2	
				総合教養E			2		2	2	2	2	
				総合教養F			2		2	2	2	2	

注１．複数年次に配当の授業科目については、そのいずれかの年次で履修するものとする。
注２．学則第９条に基づき、学長が特別講義として開設した授業科目を卒業単位に加えることができる。
注３．卒業には基盤教育機構と学部で定められた科目において合計124単位以上修得する必要がある。

別表(2)　削除

別表(3)　＜商経学部　学則別表＞

学部	学科	系別		授業科目	単位数				配当年次				備考	
					必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次		
商	商	自	学部入門	商学入門	2				2	2	2	2	8単位を修得するものとする。	
				経営学入門	2				2	2	2	2		
				初級簿記I	2				2	2	2	2		
				初級簿記II	2				2	2	2	2		
				マーケティング論I		2			2	2	2	2	44単位以上修得するものとする。	マーケティングコースは24単位以上修得するものとする。
				マーケティング論II		2				2	2	2		
				ブランド論		2				2	2	2		
				マーケティング・コミュニケーション		2				2	2	2		
				商品開発論		2				2	2	2		
				消費者行動論		2				2	2	2		
				サービスマーケティング論		2				2	2	2		
				マーケティング・リサーチ論I		2				2	2	2		
				マーケティング・リサーチ論II		2				2	2	2		
				流通経済論I		2				2	2	2		
				流通経済論II		2				2	2	2		
				電子商取引論		2				2	2	2		
				ソーシャル・マーケティング論		2				2	2	2		
				グローバル･マーケティング論I		2				2	2	2		
				ロジスティクス論		2				2	2	2		
				ケースで学ぶマーケティング戦略		2				2	2	2		
				プロダクト・マネジメント		2				2	2	2		
				市場戦略論		2				2	2	2		
				ファイナンス入門		2			2	2	2	2		ファイナンスコースは24単位以上修得するものとする。
				金融論I		2				2	2	2		
				金融論II		2				2	2	2		
				証券市場論I		2				2	2	2		
				証券市場論II		2				2	2	2		
				ファイナンシャル・プランニング論		2				2	2	2		
				金融機関論		2				2	2	2		

				企業金融論I		2				2	2	2		
				企業金融論II		2				2	2	2		
				企業価値評価I		2				2	2	2		
				企業価値評価II		2				2	2	2		
				保険論I		2				2	2	2		
				保険論II		2				2	2	2		
				消費者金融論		2				2	2	2		
				金融商品取引法I		2				2	2	2		
				金融商品取引法II		2				2	2	2		
				商法I		2				2	2	2		
				商法II		2				2	2	2		
				会計学総論I		2			2	2	2	2	アカウンティングコースは24単位以上修得するものとする。	
				会計学総論II		2			2	2	2	2		
				中級簿記I		2				2	2	2		
		部		中級簿記II		2				2	2	2		
				工業簿記I		2				2	2	2		
				工業簿記II		2				2	2	2		
				財務会計論I		2				2	2	2		
				財務会計論II		2				2	2	2		
				管理会計論I		2				2	2	2		
				管理会計論II		2				2	2	2		
				原価計算論I		2				2	2	2		
				原価計算論II		2				2	2	2		
				財務報告論		2				2	2	2		
				国際会計論		2				2	2	2		
			学部応用	経営分析I		2				2	2	2		
				経営分析II		2				2	2	2		
	学			税務会計入門		2				2	2	2		
				税効果会計論		2				2	2	2		
				会計学総論I		2			2	2	2	2	会計プロフェッションコースは24単位以上修得するものとする。	
				会計学総論II		2			2	2	2	2		
				中級簿記演習		2				2	2	2		
				工業簿記演習		2				2	2	2		
		科		上級簿記I		2				2	2	2		

経		目	上級工業簿記I		2				2	2	2		
			連結会計論I		2				2	2	2		
			連結会計論II		2				2	2	2		
			会計制度論		2				2	2	2		
			経営会計論		2				2	2	2		
			IFRS I		2				2	2	2		
			IFRS II		2				2	2	2		
			会計監査論I		2				2	2	2		
			会計監査論II		2				2	2	2		
			内部監査論I		2				2	2	2		
			内部監査論II		2				2	2	2		
			税務会計論I		2				2	2	2		
			税務会計論II		2				2	2	2		
			インターネット社会論		2				2	2	2	ICTコースは24単位以上修得するものとする。	
			情報メディア論		2				2	2	2		
			応用情報処理		2				2	2	2		
			情報数学		2				2	2	2		
			プログラミングI		2				2	2	2		
			プログラミングII		2				2	2	2		
			情報システム論I		2				2	2	2		
			情報システム論II		2				2	2	2		
			コンピュータシステム		2				2	2	2		
			情報技術論		2				2	2	2		
			ウェブ情報デザイン		2				2	2	2		
			音楽情報処理		2				2	2	2		
			ネットワーク管理I		2				2	2	2		
			ネットワーク管理II		2				2	2	2		
			デジタル画像処理		2				2	2	2		
			情報ビジネス論I		2				2	2	2		
			情報ビジネス論II		2				2	2	2		
			自然知能のためのアカデミックリテラシー		2				2	2	2		
			中級簿記特講			4		2	2	2	2		
			デジタル・マーケティング論			2			2	2	2		
			グローバル･マーケティング論II			2			2	2	2		

		群		電子商取引実践			2			2	2	2		
				ICTと会計I			2			2	2	2		
				ICTと会計II			2			2	2	2		
				上級簿記II			2			2	2	2		
				上級工業簿記II			2			2	2	2		
				会計プロフェッション論			2			2	2	2		
				租税法I			2			2	2	2		
				租税法II			2			2	2	2		
				職業指導			2			2	2	2		
	科	ゼミナール科目群	ゼミナール科目	学部基礎ゼミI	2					2	2	2	12単位を修得するものとする。	
				学部基礎ゼミII	2					2	2	2		
				研究ゼミI	2						2	2		
				研究ゼミII	2						2	2		
				研究ゼミIII	2							2		
				研究ゼミIV	2							2		
	経	自	学部入門	商学入門	2				2	2	2	2	8単位を修得するものとする。	
				経営学入門	2				2	2	2	2		
				初級簿記I	2				2	2	2	2		
				初級簿記II	2				2	2	2	2		
			学	経営管理論		2			2	2	2	2	44単位以上修得するものとする。	戦略マネジメントコースは24単位以上修得するものとする。
				企業と社会		2			2	2	2	2		
				経営戦略論		2				2	2	2		
				経営組織論		2				2	2	2		
				組織行動論		2				2	2	2		
				経営戦略の実践		2				2	2	2		
				技術イノベーション		2				2	2	2		
				国際経営		2				2	2	2		
				コーポレートガバナンス		2				2	2	2		
				ビジネスモデル		2				2	2	2		
				ビジネスエコノミクス		2				2	2	2		
				経営学のための統計学・データ分析		2				2	2	2		
				マーケティング・リサーチ論I		2				2	2	2		
				企業金融論I		2				2	2	2		
				プログラミングI		2				2	2	2		

				経営分析I		2				2	2	2		
				経営分析II		2				2	2	2		
				応用情報処理		2				2	2	2		
				経営管理論		2			2	2	2	2	組織マネジメントコースは24単位以上修得するものとする。	
				企業と社会		2			2	2	2	2		
				経営戦略論		2				2	2	2		
				経営組織論		2				2	2	2		
				組織行動論		2				2	2	2		
				組織イノベーション		2				2	2	2		
	営			人的資源管理論		2				2	2	2		
			部	雇用関係論		2				2	2	2		
		部		ダイバーシティ・マネジメント		2				2	2	2		
				リーダーシップ論		2				2	2	2		
				キャリア・マネジメント		2				2	2	2		
				人材育成・能力開発		2				2	2	2		
				ビジネス・コミュニケーション論		2				2	2	2		
				ファイナンシャル・プランニング論		2				2	2	2		
				中級簿記I		2				2	2	2		
				中級簿記II		2				2	2	2		
				プログラミングI		2				2	2	2		
				ウェブ情報デザイン		2				2	2	2		
				経営管理論		2			2	2	2	2	中小企業診断・起業コースは24単位以上修得するものとする。	
				企業と社会		2			2	2	2	2		
				中小企業論入門		2			2	2	2	2		
		科		経営戦略論		2				2	2	2		
				経営組織論		2				2	2	2		
				組織行動論		2				2	2	2		
				中小企業のイノベーション		2				2	2	2		
				中小企業診断I		2				2	2	2		
			応	中小企業診断II		2				2	2	2		
				生産管理		2				2	2	2		
				地域流通診断の理論と実践		2				2	2	2		
	学			起業の理論		2				2	2	2		
				起業の実践		2				2	2	2		

		目		企業家史		2				2	2	2		
				マーケティング論I		2				2	2	2		
				経営分析I		2				2	2	2		
				経営分析II		2				2	2	2		
				情報システム論I		2				2	2	2		
				経営史			2		2	2	2	2		
				中小企業論診断特論A			2		2	2	2	2		
				中小企業論診断特論B			2		2	2	2	2		
				中小企業論診断特論C			2		2	2	2	2		
				中小企業論診断特論D			2		2	2	2	2		
				経営学ケースディスカッション			2			2	2	2		
				経営診断学I			2			2	2	2		
				経営診断学II			2			2	2	2		
				起業基礎実践			2			2	2	2		
				会社法I			2			2	2	2		
		群	用	会社法II			2			2	2	2		
				労働法I			2			2	2	2		
				労働法II			2			2	2	2		
				経済法I			2			2	2	2		
				経済法II			2			2	2	2		
部	科	ゼミナール科目群	ゼミナール科目	学部基礎ゼミI	2					2	2	2	12単位を修得するものとする。	
				学部基礎ゼミII	2					2	2	2		
				研究ゼミI	2						2	2		
				研究ゼミII	2						2	2		
				研究ゼミIII	2							2		
				研究ゼミIV	2							2		

注１．複数年次に配当の授業科目については、そのいずれかの年次で履修するものとする。

注２．学則第９条に基づき、学長が特別講義として開設した授業科目を卒業単位に加えることができる。

注３．卒業には、別表(1)のCUC基盤教育科目群から30単位以上、自学部の科目から52単位以上、ゼミナール科目から12単位、その他、CUC基盤教育科目、自学科科目、他学科科目を含めて合計124単位以上を修得しなければならない。

別表(4)　＜総合政策学部　学則別表＞

学部	学科	系別		授業科目	単位数				配当年次				備考	
					必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次		
総	経	自	学部入門	経済入門	2				2	2	2	2	8単位を修得するものとする。	
				ミクロ経済学I	2				2	2	2	2		
				マクロ経済学I	2				2	2	2	2		
				データ分析入門	2				2	2	2	2		
				ミクロ経済学II		2				2	2	2	44単位以上修得するものとする。	経済政策コースは24単位以上修得するものとする。
				マクロ経済学III		2				2	2	2		
				地方財政論		2				2	2	2		
				財政学I		2				2	2	2		
				財政学II		2				2	2	2		
				金融論I		2				2	2	2		
				金融論II		2				2	2	2		
				国際経済学I		2				2	2	2		
				国際経済学II		2				2	2	2		
				公共経済学I		2				2	2	2		
				公共経済学II		2				2	2	2		
				労働経済学I		2				2	2	2		
				労働経済学II		2				2	2	2		
		学		国際金融論I		2				2	2	2		
				国際金融論II		2				2	2	2		
				経済政策論I		2				2	2	2		
				経済政策論II		2				2	2	2		
				環境経済学		2				2	2	2		
				ミクロ経済学II		2				2	2	2		経済データ分析コースは24単位以上修得するものとする。
				マクロ経済学III		2				2	2	2		
				公共経済学I		2				2	2	2		
				公共経済学II		2				2	2	2		
				行動経済学		2				2	2	2		
				計量経済学I		2				2	2	2		
	済			計量経済学II		2				2	2	2		
				計量経済学演習		2				2	2	2		
		部		経済統計学I		2				2	2	2		

		部		経済統計学II		2				2	2	2	
				交通経済学I		2				2	2	2	
				交通経済学II		2				2	2	2	
				GIS入門		2				2	2	2	
				実験社会科学		2				2	2	2	
				データビジュアライゼーション		2				2	2	2	
				データ分析プログラミング		2				2	2	2	
			学部応用	人間行動論		2				2	2	2	
				政策デザイン実践		2				2	2	2	
				ミクロ経済学II		2				2	2	2	ビジネス経済コースは24単位以上修得するものとする。
				マクロ経済学II		2				2	2	2	
合				企業経済学		2				2	2	2	
				金融論I		2				2	2	2	
		科		金融論II		2				2	2	2	
				ビジネスエコノミクス		2				2	2	2	
				産業政策論I		2				2	2	2	
				産業政策論II		2				2	2	2	
				地域経済論I		2				2	2	2	
				地域経済論II		2				2	2	2	
				都市経済学		2				2	2	2	
				行動経済学		2				2	2	2	
	学			交通経済学I		2				2	2	2	
				交通経済学II		2				2	2	2	
				産業組織論I		2				2	2	2	
				産業組織論II		2				2	2	2	
				企業金融論I		2				2	2	2	
		目		企業金融論II		2				2	2	2	
				経済史I			2		2	2	2	2	
				経済史II			2		2	2	2	2	
				経済数学			2		2	2	2	2	
				アメリカ経済論			2			2	2	2	
				ヨーロッパ経済論			2			2	2	2	
				日本経済論			2			2	2	2	
				アジア経済論			2			2	2	2	

				ゲーム理論			2			2	2	2		
				経済シミュレーション			2			2	2	2		
				ミクロ経済学I			2			2	2	2		
				マクロ経済学III			2			2	2	2		
				公共選択論			2			2	2	2		
		群		開発経済論I			2			2	2	2		
				開発経済論II			2			2	2	2		
				医療経済学			2			2	2	2		
				西洋経済史			2			2	2	2		
				政治的公正と経済			2			2	2	2		
		ゼミナール科目群	ゼミナール科目	学部基礎ゼミI	2					2	2	2	12単位を修得するものとする。	
				学部基礎ゼミII	2					2	2	2		
				研究ゼミI	2						2	2		
	科			研究ゼミII	2						2	2		
				研究ゼミIII	2							2		
政				研究ゼミIV	2							2		
		自	学部入門	現代社会学入門	2				2	2	2	2	8単位を修得するものとする。	
				公共政策入門	2				2	2	2	2		
				政策情報学概論	2				2	2	2	2		
				経済入門	2				2	2	2	2		
	政		学	憲法特論		2			2	2	2	2	44単位以上修得するものとする。	地域政策ースは24単位以上修得するものとする。
				民法I		2			2	2	2	2		
				公共政策論		2				2	2	2		
				都市計画入門		2				2	2	2		
				地域文化政策論		2				2	2	2		
				民法II		2				2	2	2		
				民法III		2				2	2	2		
				環境政策論		2				2	2	2		
				公法各論		2				2	2	2		
				環境政策入門		2				2	2	2		
				行政学		2				2	2	2		
				行政法		2				2	2	2		
				政治過程論		2				2	2	2		
				政治学特論		2				2	2	2		

				コミュニティ政策論		2				2	2	2		
				地域分析論		2				2	2	2		
				地方財政論		2				2	2	2		
				都市政策・計画論		2				2	2	2		
				民法I		2			2	2	2	2	地域経営コースは24単位以上修得するものとする。	
				計画理論入門		2			2	2	2	2		
				公共政策論		2				2	2	2		
		学		環境政策入門		2				2	2	2		
	策			都市計画入門		2				2	2	2		
				マーケティング論I		2				2	2	2		
				行動経済学		2				2	2	2		
				現代文化論		2				2	2	2		
				AIと社会		2				2	2	2		
				政策分析とシステム思考		2				2	2	2		
				地域経済論I		2				2	2	2		
				地域経済論II		2				2	2	2		
				社会心理学		2				2	2	2		
				合意形成論		2				2	2	2		
				日本経済論		2				2	2	2		
策				非営利組織論		2				2	2	2		
				情報社会		2				2	2	2		
				人間行動論		2				2	2	2		
				社会経済学		2			2	2	2	2	政策メディアコースは24単位以上修得するものとする。	
			部	公共政策論		2				2	2	2		
				環境政策入門		2				2	2	2		
				都市計画入門		2				2	2	2		
				マーケティング論I		2				2	2	2		
		部		行動経済学		2				2	2	2		
				現代文化論		2				2	2	2		
	情			AIと社会		2				2	2	2		
				政策分析とシステム思考		2				2	2	2		
				地域文化政策論		2				2	2	2		
				デジタルツイン景観表現		2				2	2	2		
				映像エスノグラフィ		2				2	2	2		

				プランニングワークショップI		2				2	2	2			
				政策デザイン実践		2				2	2	2			
				広報メディアコミュニケーション		2				2	2	2			
				地域社会と文化		2				2	2	2			
				Webとソーシャルメディア		2				2	2	2			
				データ分析プログラミング		2				2	2	2			
				憲法特論			2		2	2	2	2			
				民法I			2		2	2	2	2			
				社会経済学			2		2	2	2	2			
				計画理論入門			2		2	2	2	2			
				映像コミュニケーション			2		2	2	2	2			
				デジタルリテラシー			2		2	2	2	2			
				メディア音響論			2		2	2	2	2			
				視覚メディア論			2		2	2	2	2			
				3次元アバター表現			2			2	2	2			
				MIDIワークショップ			2			2	2	2			
				デジタルツイン実践			2			2	2	2			
				Webデザイン			2			2	2	2			
				アニメーションと社会			2			2	2	2			
				情報編集論			2			2	2	2			
				質的調査法			2			2	2	2			
				メディアワークショップ			2			2	2	2			
				メディアスタディーズI			2			2	2	2			
				メディアスタディーズII			2			2	2	2			
				ソーシャルプロデュース論			2			2	2	2			
				ライフストーリーとメディア論			2			2	2	2			
				ビジュアルメディア論			2			2	2	2			
				情報メディア分析論			2			2	2	2			
				シナリオ・ライティング			2			2	2	2			
				マルチメディア論			2			2	2	2			
				環境アセスメント			2			2	2	2			
				プランニングワークショップII			2			2	2	2			
				現代アート論			2			2	2	2			
				ミクロ経済学I			2			2	2	2			

学　報　科　応

		目		マクロ経済学I			2			2	2	2		
				音楽と地域文化			2			2	2	2		
				論文作成技法			2			2	2	2		
				表象文化論基礎A			2			2	2	2		
				表象文化論基礎B			2			2	2	2		
	学			政策事情特論			2			2	2	2		
				政策情報学演習			2			2	2	2		
				地域環境マネジメント			2			2	2	2		
				サービスデザイン			2			2	2	2		
				シリアスゲームデザイン			2			2	2	2		
				データビジュアライゼーション			2			2	2	2		
				文学表現			2			2	2	2		
				実験社会科学			2			2	2	2		
				音響と文化			2			2	2	2		
				メディアプロデュース実践I			2			2	2	2		
				メディアプロデュース実践II			2			2	2	2		
				批評的思考法			2			2	2	2		
				社会科学特論I			2			2	2			
				社会科学特論II			2			2	2			
				言語表現解釈論I			2			2	2			
		群	用	言語表現解釈論II			2			2	2			
				数理的思考法I			2			2	2			
				数理的思考法II			2			2	2			
				論理とデータ解釈技法I			2			2	2			
				論理とデータ解釈技法II			2			2	2			
		ゼミナール科目群	ゼミナール科目	学部基礎ゼミI	2					2	2	2	12単位を修得するものとする。	
部	科			学部基礎ゼミII	2					2	2	2		
				研究ゼミI	2						2	2		
				研究ゼミII	2						2	2		
				研究ゼミIII	2							2		
				研究ゼミIV	2							2		

注１．複数年次に配当の授業科目については、そのいずれかの年次で履修するものとする。

注２．学則第９条に基づき、学長が特別講義として開設した授業科目を卒業単位に加えることができる。

注３．卒業には、別表(1)のCUC基盤教育科目群から30単位以上、自学部の科目から52単位以上、ゼミナール科目から12単位、その他、CUC基盤教育科目、自学科科目、他学科科目を含めて合計124単位以上を修得しなければならない。

別表(5)　＜サービス創造学部　学則別表＞

学部	学科	系別		授業科目	単位数				配当年次				備考	
					必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次		
サービス	サービス	自学	学部入門	サービス創造入門	2				2	2	2	2	8単位を修得するものとする。	
				サービス産業論	2				2	2	2	2		
				マーケティング入門	2				2	2	2	2		
				経営学入門	2				2	2	2	2		
			学	フィットネスサービス論		2			2	2	2	2	44単位以上修得するものとする。	サービス経営・産業コースは24単位以上修得するものとする。
				企業論		2			2	2	2	2		
				マーケティング戦略論1		2			2	2	2	2		
				ビジネスデータ処理		2			2	2	2	2		
				観光サービス論I		2				2	2	2		
				ブライダルサービス論		2				2	2	2		
				経営管理論		2				2	2	2		
				業界セミナー1		2				2	2	2		
				経営組織論		2				2	2	2		
				経営情報論		2				2	2	2		
				小売・流通サービス論		2				2	2	2		
				物流サービス論		2				2	2	2		
				経営戦略論		2				2	2	2		
				経営革新論		2				2	2	2		
				消費者行動論		2				2	2	2		
				サービスと情報通信技術		2				2	2	2		
				サービスとデータ分析		2				2	2	2		
				サービス企業セミナー		2				2	2	2		
				企業論		2			2	2	2	2		サービス開発コースは24単位以上修得するものとする
				マーケティング戦略論1		2			2	2	2	2		
				ビジネスデータ処理		2			2	2	2	2		
				マーケティング コミュニケーション論		2				2	2	2		
				マーケティングリサーチ		2				2	2	2		
				マーケティングケースディスカッション1		2				2	2	2		
				マーケティングケースディスカッション2		2				2	2	2		
				マーケティング戦略論2		2				2	2	2		

				マーケティング戦略論3		2				2	2	2						
				サービスマーケティング論		2				2	2	2						
			部	広告論		2				2	2	2						
				流通論		2				2	2	2						
				ロジスティクス論		2				2	2	2						
		部		経営革新論		2				2	2	2						
				消費者行動論		2				2	2	2						
				サービスと情報通信技術		2				2	2	2						
				サービスとデータ分析		2				2	2	2						
ス	ス			サービス企業セミナー		2				2	2	2						
				ファイナンス入門			2			2	2	2						
				会計学総論I			2			2	2	2						
				会計学総論II			2			2	2	2						
				ミクロ経済学			2			2	2	2						
				業界セミナー2			2			2	2	2						
				業界セミナー3			2			2	2	2						
				プロジェクトマネジメント			2			2	2	2						
				サービス創造実践2			2			2	2	2						
				現代サービス論1			2			2	2	2						
				現代サービス論2			2			2	2	2						
		科		現代サービス論3			2			2	2	2						
創	創			現代サービス論4			2			2	2	2						
				プロデュース論			2			2	2	2						
				経営学ケースディスカッション			2			2	2	2						
				経営学理論の応用			2			2	2	2						
				経営哲学			2			2	2	2						
			応	起業学			2			2	2	2						
				ベンチャービジネス論			2			2	2	2						
				サービス人的資源管理論			2			2	2	2						
				表現メディア論			2			2	2	2						
				色彩学			2			2	2	2						
				サービスとデータマイニング			2			2	2	2						
				情報サービス論			2			2	2	2						
造	造			情報システム			2			2	2	2						

		目		デジタルイノベーション			2			2	2	2		
				ビジュアルコミュニケーションデザイン論			2			2	2	2		
				Positive Self Presence in Service			2			2	2	2		
				Emotional Intelligence in Service			2			2	2	2		
				健康サービス論			2			2	2	2		
				調査法			2			2	2	2		
				観光サービス論II			2			2	2	2		
				プロジェクト実践2A			2			2	2	2		
				プロジェクト実践2B			2			2	2	2		
				プロジェクト実践2C			2			2	2	2		
				プロジェクト実践2D			2			2	2	2		
				プロジェクト実践3A			2			2	2	2		
				プロジェクト実践3B			2			2	2	2		
				フィットネスサービス論			2		2	2	2	2		
				企業論			2		2	2	2	2		
				マーケティング戦略論1			2		2	2	2	2		
		群	用	ビジネスデータ処理			2		2	2	2	2		
				サービス創造実践1			2		2	2	2	2		
				ビジネスパーソンシップ論			2		2	2	2	2		
				メディアコミュニケーションズ			2		2	2	2	2		
				サービス体験デザイン論			2		2	2	2	2		
		ゼミナール科目群	ゼミナール科目	学部基礎ゼミI	2					2	2	2	12単位を修得するものとする。	
				学部基礎ゼミII	2					2	2	2		
				研究ゼミI	2						2	2		
				研究ゼミII	2						2	2		
				研究ゼミIII	2							2		
				研究ゼミIV	2							2		
学	学													
部	科													

注１．複数年次に配当の授業科目については、そのいずれかの年次で履修するものとする。

注２．学則第９条に基づき、学長が特別講義として開設した授業科目を卒業単位に加えることができる。

注３．卒業には、別表(1)のCUC基盤教育科目群から30単位以上、自学部の科目から52単位以上、ゼミナール科目から12単位、その他、CUC基盤教育科目、自学科科目、他学科科目を含めて合計124単位以上を修得しなければならない。

別表(6)　＜人間社会学部　学則別表＞

学部	学科	系別		授業科目	単位数				配当年次				備考	
					必修	選択必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次		
人間	人間	自学	学部入門	社会学の世界	2				2	2	2	2	8単位を取得するものとする。	
				ウェルビーイング概論	2				2	2	2	2		
				人間社会入門I	2				2	2	2	2		
				人間社会入門II	2				2	2	2	2		
			学	サステナブル経済学		2			2	2	2	2	44単位以上取得するものとする。	環境とサステナビリティコースは24単位以上取得するものとする。
				ソーシャルデザイン論		2				2	2	2		
				グローバル社会論		2				2	2	2		
				サステナブル地域論		2				2	2	2		
				協同組合論		2				2	2	2		
				環境社会学		2				2	2	2		
				環境経済学		2				2	2	2		
				ウェルビーイング特論（環境問題史）		2				2	2	2		
				環境と倫理		2				2	2	2		
				地域とエネルギー		2				2	2	2		
				サステナビリティと環境		2				2	2	2		
				ソーシャル・ビジネス論（基礎）		2				2	2	2		
				ソーシャル・ビジネス論（応用）		2				2	2	2		
				ソーシャル・アントレプレナーシップ論		2				2	2	2		
				ボランティア論		2				2	2	2		
				DXとSX		2				2	2	2		
				サステナブル・ツーリズム論		2				2	2	2		
				ソーシャル・マーケティング論		2				2	2	2		
				観光学		2			2	2	2	2		文化とコミュニケーションコースは24単位以上取得するものとする。
				都市社会論		2				2	2	2		
				日本の文化と地誌		2				2	2	2		
				ソーシャル・ネットワーク論		2				2	2	2		
				仕事の社会学		2				2	2	2		
				現代社会と宗教		2				2	2	2		
				コミュニティと文化		2				2	2	2		
				多文化共生論		2				2	2	2		
				現代文化論		2				2	2	2		

社	社	部	部	消費社会論		2				2	2	2		
				メディア社会学		2				2	2	2		
				コミュニケーションの社会学		2				2	2	2		
				観光社会学		2				2	2	2		
				国際観光論		2				2	2	2		
				農と食の社会学		2				2	2	2		
				移動の社会学		2				2	2	2		
				ウェルビーイング特論（排除・包摂）		2				2	2	2		
				家族社会学		2				2	2	2		
				観光学		2			2	2	2	2	地域づくりと共生コースは24単位以上取得するものとする。	
				人間社会と心理学		2			2	2	2	2		
				ジェンダー論（A）		2			2	2	2	2		
				地域社会論		2				2	2	2		
				農山村社会論		2				2	2	2		
				地方自治論		2				2	2	2		
				地域計画論		2				2	2	2		
				地域経済論		2				2	2	2		
				ソーシャルデザイン論		2				2	2	2		
				まちづくり論		2				2	2	2		
				地域と福祉		2				2	2	2		
				観光社会学		2				2	2	2		
			科	社会心理学		2				2	2	2		
				共生社会論（A）		2				2	2	2		
				共生社会論（B）		2				2	2	2		
				ウェルビーイング特論（医療福祉）		2				2	2	2		
会	会			ユニバーサルデザイン論		2				2	2	2		
				ジェンダー論（B）		2				2	2	2		
				サステナブル経済学			2		2	2	2	2		
			応	観光学			2		2	2	2	2		
				人間社会と心理学			2		2	2	2	2		
				ジェンダー論（A）			2		2	2	2	2		
				社会調査法			2		2	2	2	2		
				社会問題の社会学			2		2	2	2	2		
				プロジェクト実習			2			2	2	2		
				社会調査実習			2			2	2	2		

学	学	目		統計学			2			2	2	2		
				データ分析法			2			2	2	2		
				質的研究の方法			2			2	2	2		
				ビジュアル・デザイン			2			2	2	2		
				社会学史			2			2	2	2		
				現代の社会学理論			2			2	2	2		
				児童・家族の心理学			2			2	2	2		
				グローバル経済と日本			2			2	2	2		
				サステナビリティ時代のライフシフト論			2			2	2	2		
				社会政策			2			2	2	2		
				VR・アニメーション技法			2			2	2	2		
				メディアリテラシー			2			2	2	2		
				映像社会論			2			2	2	2		
				スポーツ社会学			2			2	2	2		
				コミュニケーションとメンタルヘルス			2			2	2	2		
				不平等社会論			2			2	2	2		
				ソーシャルワークと復興支援			2			2	2	2		
				高齢者福祉論			2			2	2	2		
		群	用	障害者福祉論			2			2	2	2		
				社会保障論			2			2	2	2		
				セクシュアリティの社会学			2			2	2	2		
				ライフコースの社会学			2			2	2	2		
				データ分析法			2			2	2	2		
		ゼミナール科目群	ゼミナール科目	学部基礎ゼミI	2					2	2	2	12単位を取得するものとする。	
部	科			学部基礎ゼミII	2					2	2	2		
				研究ゼミI	2						2	2		
				研究ゼミII	2						2	2		
				研究ゼミIII	2							2		
				研究ゼミIV	2							2		

注１．複数年次に配当の授業科目については、そのいずれかの年次で履修するものとする。

注２．学則第９条に基づき、学長が特別講義として開設した授業科目を卒業単位に加えることができる。

注３．卒業には、別表(1)のCUC基盤教育科目群から30単位以上、自学部の科目から52単位以上、ゼミナール科目から12単位、その他、CUC基盤教育科目、自学科科目、他学科科目を含めて合計124単位以上を修得しなければならない。

別表(7)　削除

別表(8)　＜教職課程　学則別表＞

学部	学科	授業科目	配当年次、学期、単位数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
商経学部	商・経営学科	教職概論	2								教育実習は、原則として教育実習（2）を履修科目とするが、卒業後に中学校教諭一種免許状取得を目指す者は、教育実習（1）を履修科目とする。
		教育原理		2							
		教育史			2						
		教育心理			2						
		教育法規				2					
		教育経営論					2				
		教育課程論			2						
		道徳教育の理解と指導			2						
		教育方法技術論			2						
		ICT活用技術論					2				
		特別支援教育概論					2				
		生徒指導と進路指導		2							
		特別活動と総合的な学習の時間				2					
		教育相談論				2					
		総合演習						2			
		教育実習(1)							5		
		教育実習(2)							3		
		教職実践演習								2	
		商業科教育法(1)					2				
		商業科教育法(2)						2			
		商業科教育実践						2			
	商学科	情報科教育法(1)					2				
		情報科教育法(2)						2			
		情報科教育実践						2			

別表（９）

＜2025年度以降入学者学費＞　　（単位：円）

費　　目	商 経 学 部 総合政策学部 ｻｰﾋﾞｽ創造学部 人間社会学部	備　　考
授　業　料	880,000	年　　額 （ただし、３年次編入学生は除く）
教育充実費	40,000	
学園整備費	200,000	
入　学　金	140,000	入学時のみ

＜2024年度入学者学費＞　　（単位：円）

費　　目	商 経 学 部 政策情報学部 ｻｰﾋﾞｽ創造学部 人間社会学部	国際教養学部	備　　考
授　業　料	880,000	880,000	年　　額
教育充実費	40,000	40,000	年　　額
学園整備費	200,000	200,000	年　　額
入　学　金	140,000	140,000	入学時のみ
留学・研修費	―	150,000	年　　額 （ただし、３年次編入学生は除く）

＜2020～2023年度入学者学費＞　　（単位：円）

費　　目	商 経 学 部 政策情報学部 ｻｰﾋﾞｽ創造学部 人間社会学部	国際教養学部	備　　考
授　業　料	820,000	820,000	年　　額
教育充実費	40,000	40,000	年　　額
学園整備費	200,000	200,000	年　　額
入　学　金	185,000	185,000	入学時のみ
留学・研修費	―	150,000	年　　額 （ただし、３年次編入学生は除く）

＜2019年度以前入学者学費＞　　（単位：円）

費　　目	商 経 学 部 政策情報学部 ｻｰﾋﾞｽ創造学部 人間社会学部	国際教養学部	備　　考
授　業　料	700,000	700,000	年　　額
教育充実費	40,000	40,000	年　　額
学園整備費	200,000	200,000	年　　額
入　学　金	185,000	185,000	入学時のみ
留学関連費	―	200,000	１、２年次のみ 年　　額

千葉商科大学の教授会に関する規程

（目　的）

第１条　この規程は、千葉商科大学（以下、「本学」という。）学則第54条第３項に基づき、教授会について定めるものとする。

（定　義）

第２条　本学における教授会は次の通りとする。

(1) 基盤教育機構教授会

(2) 学部教授会

(3) 全学教授会

（基盤教育機構教授会の構成）

第３条　基盤教育機構教授会は、基盤教育機構に所属する教授、准教授、専任講師及び助教をその構成員とする。

（基盤教育機構教授会の役割）

第４条　基盤教育機構教授会は、学長、基盤教育機構長等がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議する。

(1) 基盤教育機構の教育及び研究の方針に関する事項

(2) 教育課程、試験及び単位認定に関する事項

(3) 基盤教育機構教員の採用及び昇任に関する事項

(4) 基盤教育機構の教育及び研究に必要な予算の請求に関する事項

(5) 基盤教育機構教授会内の各種委員会設置に関する事項

(6) 基盤教育機構教授会の運営に関する事項

(7) その他教学に関し基盤教育機構教授会が必要と認めた事項

２　前項に規定する事項の審議結果について、教育課程に関連すること、採用及び昇任に関すること及び予算に関することは学長に文書にて上申するものとする。

３　第１項に規定する事項のうち、前項に定めるもの以外の事項については、基盤教育機構教授会は、学長の求めに応じ、意見を述べることができるものとする。なお、意見は基盤教育機構教授会としての結論を文書に取り纏めて学長に提出するものとする。

４　学長は、第２項から第３項に基づき基盤教育機構教授会から述べられた意見及び上申に対し、決定内容等を基盤教育機構教授会に文書で通知する。

（基盤教育機構教授会の開会）

第５条　基盤教育機構教授会は、原則として毎月１回開く。また、基盤教育機構長は必要に応じて基盤教育機構教授会を招集することができる。ただし、構成員の３分の１以上の請求があったときは招集しなければならない。

（基盤教育機構教授会の議長）

第６条　基盤教育機構教授会の議長は、基盤教育機構長がこれに当たる。

２　基盤教育機構長に事故あるときは、互選により基盤教育機構教授会の教授または准教授がこれに当たる。

（基盤教育機構教授会の成立要件）

第７条　基盤教育機構教授会は、構成員の２分の１以上の出席（以下、「出席構成員」という。）が

なければ開会することができない。ただし、書面をもって他の構成員に委任した者は、出席とみなす。

２　前項の規定にかかわらず、採用及び昇任に関する事項については、構成員の３分の２以上の出席がなければ、開会することができない。

（基盤教育機構教授会の議題）

第８条　基盤教育機構教授会の議題は、基盤教育機構長が事前に決定し、構成員に通知するものとする。なお、教授会の構成員は、書面をもって基盤教育機構長に議題を提案することができる。

（基盤教育機構運営委員会）

第９条　基盤教育機構教授会は、教学上の事項に関して必要な協議及び調整を行う機関として基盤教育機構運営委員会を設置する。

２　基盤教育機構運営委員会に関することは、別に定める。

（学部教授会の構成）

第 10 条　学部教授会は、当該学部に所属する教授、准教授、専任講師及び助教をその構成員とする。

（学部教授会の役割）

第 11 条　学部教授会は、学長、学部長等がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議する。

(1) 学部の教育及び研究の方針に関する事項
(2) 教育課程、試験及び単位認定に関する事項
(3) 学生の入学、卒業及び学位の授与に関する事項
(4) 学生の賞罰に関する事項
(5) 学生の福利厚生に関する事項
(6) 学部教員の人事に関する事項
(7) 学部長の選出に関する事項
(8) 学部の教育及び研究に必要な予算の請求に関する事項
(9) 学部教授会内の各種委員会設置に関する事項
(10) 学部教授会の運営に関する事項
(11) その他教学に関し学部教授会が必要と認めた事項

２　学部教授会は、前項第３号及び第７号に掲げる事項について学長が決定を行うに当たり遅滞なく審議し意見を述べるものとする。なお、意見は学部教授会としての結論を文書に取り纏めて学長に提出するものとする。

３　第１項に規定する事項の審議結果について、教育課程に関連すること、人事に関すること及び予算に関することは学長に文書にて上申するものとする。また、第１項第４号に規定する事項のうち、学生の懲戒に関することは千葉商科大学学生懲戒規程に基づき、学長に文書にて上申するものとする。

４　第１項に規定する事項のうち、第２項及び第３項に定めるもの以外の事項については、学部教授会は、学長の求めに応じ、意見を述べることができるものとする。なお、意見は学部教授会としての結論を文書に取り纏めて学長に提出するものとする。

５　学長は、第２項から第４項に基づき学部教授会から述べられた意見及び上申に対し、決定内容等を学部教授会に文書で通知する。

（学部教授会の開会）

第 12 条　学部教授会は、原則として毎月１回開く。また、学部長は必要に応じて学部教授会を招集することができる。ただし、構成員の３分の１以上の請求があったときは招集しなければならな

い。

（学部教授会の議長）

第 13 条　学部教授会の議長は、学部長がこれに当たる。

２　学部長に事故あるときは、互選により他の教授がこれに当たる。

（学部教授会の成立要件）

第 14 条　学部教授会は、構成員の２分の１以上の出席（以下、「出席構成員」という。）がなければ開会することができない。ただし、書面をもって他の構成員に委任した者は、出席とみなす。

２　前項の規定にかかわらず、人事に関する事項については、構成員の３分の２以上の出席がなければ、開会することができない。

（学部教授会の議題）

第 15 条　学部教授会の議題は、学部長が事前に決定し、構成員に通知するものとする。なお、教授会の構成員は、書面をもって学部長に議題を提案することができる。

（学部運営委員会）

第 16 条　学部教授会は､教学上の事項に関して必要な協議及び調整を行う機関として学部運営委員会（以下、「運営委員会」という。）を設置する。

２　運営委員会に関することは、別に定める。

（全学教授会の構成）

第 17 条　全学教授会は、基盤教育機構及び学部に所属する教授、准教授、専任講師及び助教をその構成員とする。

（全学教授会の役割）

第 18 条　全学教授会は、学長の求めに応じ、学長がつかさどる教育研究に関する次の事項について審議する。

(1) 全学的な教学運営に関する事項

(2) 全学的な教学上の予算に関する事項

(3) 図書館運営に関する事項

(4) 前三号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、全学教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

２　全学教授会は、前項に掲げる事項について学長が決定を行うに当たり遅滞なく審議し意見を述べるものとする。なお、意見は全学教授会としての結論を文書に取り纏めて学長に提出するものとする。

３　学長は、前項に基づき全学教授会から述べられた意見に対し、決定内容等を全学教授会に文書で通知する。

（全学教授会の招集）

第 19 条　全学教授会は、必要に応じて学長が招集する。ただし、構成員の３分の１以上の請求があったときは招集しなければならない。

（全学教授会の議長）

第 20 条　全学教授会の議長は、学長がこれに当たる。

（全学教授会の成立要件）

第 21 条　全学教授会は、構成員の２分の１以上の出席（以下、「出席構成員」という。）がなければ開会することができない。ただし、書面をもって他の構成員に委任した者は、出席とみなす。

（議事録）

第 22 条　教授会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)　教授会の日時及び場所

(2)　構成員の現在数

(3)　教授会に出席した構成員の氏名

(4)　審議結果

(5)　議事の経過・要領及び発言者の発言要旨

(6)　議事録署名人の選任に関する事項

２　議事録には、出席構成員の中からその教授会において選出された議事録署名人２名以上が署名しなければならない。

（情報公開）

第 23 条　教授会の議事次第及び議事概要は、個人情報等の取扱に十分留意した上で、本学ウェブサイトで公表するものとする。

（書　記）

第 24 条　教授会に書記を置く。

２　書記は、学部教授会においては学部事務課職員が、基盤教育機構教授会及び全学教授会においては教務課職員が行う。

３　書記は、教授会の庶務をつかさどり、議事録を作成し、これを保管する。

（構成員以外の者の扱い）

第 25 条　理事長、学長、副学長、法人事務局長及び大学本部長は、教授会に出席し、意見を述べることができる。

２　各教授会における議長が必要と認めたときは、構成員以外の者を当該教授会に出席させることができる。

（事　務）

第 26 条　学部教授会に関する事務は学部事務課が、基盤教育機構教授会及び全学教授会に関する事務は教務課が行う。

（改　廃）

第 27 条　この規程の改廃に関することは、全学部長会及び全学教授会の議を経て、学長が決定する。

付　則

１．この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

２．この規程の施行により、千葉商科大学商経学部教授会に関する細則、同政策情報学部教授会に関する細則、同サービス創造学部教授会に関する細則、同人間社会学部教授会に関する細則及び同全学教授会に関する細則は廃止する。

付　則（2019 年 4 月 1 日改正）

この規程は、2019 年 4 月 1 日から施行する。

付　則（2024年3月13日改正）

この規程は、2024年4月1日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

目次

1. 設置の趣旨及び必要性 ･･･p. 2
2. 学部・学科等の特色 ･･･p. 14
3. 学部・学科等の名称及び学位の名称 ･･･p. 15
4. 教育課程の編成の考え方及び特色 ･･･p. 15
5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ･･･p. 29
6. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画 ･･･p. 34
7. 編入学定員を設定する場合の具体的計画 ･･･p. 35
8. 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画･･･p. 36
9. 入学者選抜の概要 ･･･p. 40
10. 教育研究実施組織等の編制の考え方及び特色 ･･･p. 45
11. 研究の実施についての考え方、体制、取組 ･･･p. 47
12. 施設、設備等の整備計画 ･･･p. 49
13. 管理運営 ･･･p. 52
14. 自己点検・評価 ･･･p. 53
15. 情報の公表 ･･･p. 56
16. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等 ･･･p. 68
17. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 ･･･p. 69

1．設置の趣旨及び必要性

(1)設置の背景及び必要性

①建学の精神は治道家の育成

千葉商科大学において、2025 年から全学的な教育改革の推進と共に、新学部、総合政策学部の設置に至った背景を、本学の建学の精神とこれまでの教育研究の歴史を踏まえ、略述する。

本学の前身は、1928 年 2 月に遠藤隆吉文学博士によって創設された巣鴨高等商業学校である。遠藤隆吉博士は、「今日商業道徳の頽廃は頗る寒心すべきものあり。外国貿易の不振も畢竟此処より来る。故に実業家となるべき者に商業道徳を吹き込み殊に武士的精神を注入するは最も急務なりと謂わざるべからず」と述べ、巣鴨高等商業学校を設立した。その設立趣意書には「実業は利益のみをめざすものではなく、社会に奉仕することを目的とする立派な事業である」と記している。

このような実業家は、高い倫理観を持つリーダーでなければならず、本学ではこれを「治道家」と称し、その育成を目指す教育を行い、人材を輩出してきた。「治道家」とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」である。

創立以来、社会環境の変動とそれに伴う実業界のニーズの変化は激しく、本学はそれに応じて巣鴨高等商業学校から巣鴨経済専門学校、そして学制改革により 1950 年に千葉商科大学へと教育体制を発展させた。建学の精神を踏まえ「治道家」を育成するため、時代の変化に対応する教育改革を継続的に行ってきたことで、日本のビジネス界をはじめ、官民の各界を支える優位な人材の育成に大きな成果を挙げてきている。

本学は戦後の学制改革時には、商学部商学科のみの単科大学として発足したが、1955 年に経済学科を設置し「商経学部」と改称、1964 年に経営学科を増設した。20 世紀末のバブル崩壊による公的分野の役割の再確認や情報化の急速な進展に呼応して、2000 年には「政策情報学部」を新設し、複数学部を有する大学となった。その後も社会変化を先取りし、2009 年には「サービス創造学部」、2014 年には「人間社会学部」、2015 年には「国際教養学部」を設置し、社会のニーズと学術的要請に応えてきた。

現在、学部は、商経学部（商学科、経済学科、経営学科）、政策情報学部（政策情報学科）、サービス創造学部（サービス創造学科）、人間社会学部（人間社会学科）、国際教養学部（国際教養学科）の 5 学部 7 学科からなる。また、大学院は商学研究科修士課程、会計ファイナンス研究科専門職学位課程、政策研究科博士課程の 3 研究科体制となり、学部から大学院博士課程に至る総合的研究教育

体制を確立している。

②基盤教育の推進で治道家の基礎を育む

昨今の社会の大きな変化を考慮すると、本学の伝統である商学・経済学・経営学・政策情報学といった、これまでの実学教育を活かしつつも、新たな学びの領域、新たな教育内容・教育体制の確立が重要であると考える。とりわけ、頻出する企業不祥事や行政不祥事、金権政治、あるいは社会にまん延する拝金主義などは目に余るものがある。経済活動の歪みを正し、健全な社会とするためには、真っ当な経済活動が継続できる社会経済システムの構築と共に、官民における各組織の意思決定者が、本学がめざす人材像「治道家」となることが求められる。本学では、この「治道家」の育成に向けて新たな教育方針を定めた。

本学は現在、複数学部からなる社会科学系の総合大学となったが、各学部は初年次から専門教育の一部を行うため、全学共通の基盤となる教育が十分には行えなくなる点が問題となって来た。治道家の育成は全学共通の教育目標である。そこで、初年次における基盤教育をさらに発展させ、治道家の基礎を育み、2 年次以降の学部専門教育で、さらにこれを進化させる教育体系とする改革を行う。学部の専門科目は原則、2 年次から学ぶ。すなわち、基盤教育から学部専門教育へという段階構成である。

情報化が進みフェイク情報もたくさん流れる今日、何が正しい情報かを判断する力は入学時から求められている。その基礎は幅広い教養である。初年次教育において治道家の基礎を育むには、まず、高い倫理観のもとで、的確な判断力がつくように幅広い教養が必要である。幅広い教養とは現代社会に応じた新しい概念で、従来型の一般教養の枠を超え国民教養や、モラルの源泉としての武士道など日本古来の倫理観も含む広い意味であり、これは、全ての学生が身につけるべき共通の教養である。

初年次の基盤教育では、学部を超えて幅広い教養科目を学ぶ。全学共通カリキュラムである「基盤教育科目群」には、まず「建学の精神と理念」、そして人文科学、社会科学、自然科学と倫理・SDGs を学ぶ「共通教養」、自然言語・人工言語（デジタル情報）・会計言語の「三言語」、さらに人生 100 年時代を生きるためのキャリア形成と体育・健康管理、金融リテラシーを学ぶ「生涯ケア」の 4 つの領域を用意する。

基盤教育では、各学部の学生が混じりあう少人数クラスでのゼミ形式での教育も行う。これにより学生は、学部により学生の気質や志向には差があることを実感し、多様性を知り、学部を超えたネットワークも生まれる。大学入学早々にできた交友関係は生涯を通じ続くことも多く、彼らの人生を豊かにしてくれる。

③総合政策学部の新設

本学は商科大学として伝統的に民間部門を主な対象に教育研究を行ってきたが、2000 年に政策情報学部を新設後は公共部門にも力を入れている。これをさらに強化するため、公共面に強い分野として商経学部・経済学科と政策情報学部・政策情報学科を基礎に、本学独自の「総合政策学部」を新設する（図 1)。

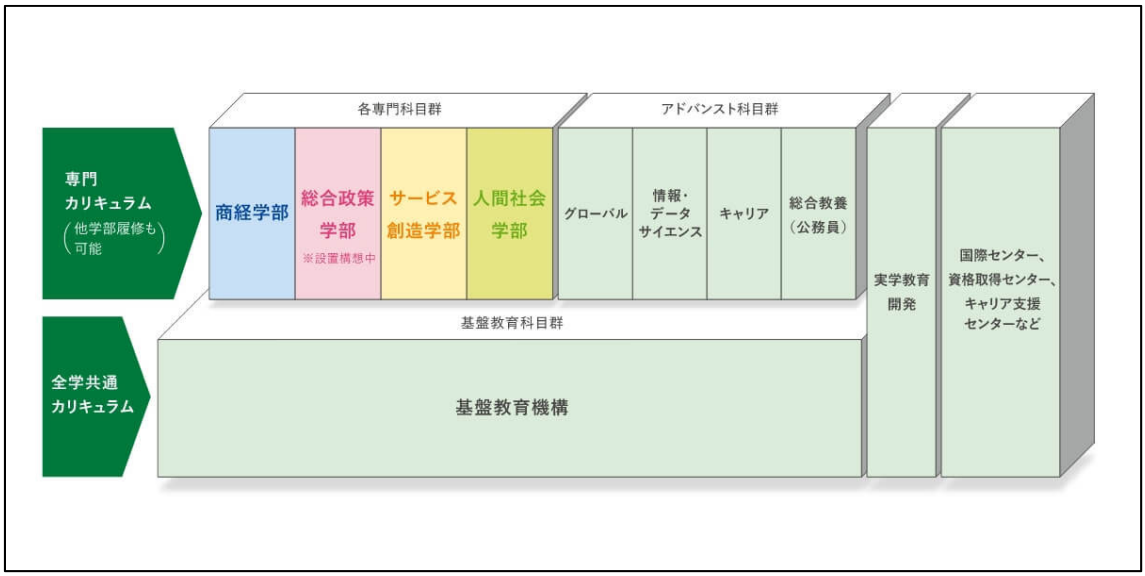


図1 2025年度以降の教育体系

現代社会は民間経済と公共の政策・計画で動いており、両者を調和させる施策が必要である。この視点から、本学部では経済と政策を半々に学べる構成としている。この点は、経済学を多様な分野のなかのひとつとして扱っている他大学の総合政策学部とは異なる。

官民を問わず政策・計画の意思決定には、証拠に基づく経済・社会・環境の 3 面での評価が必要で、この科学的、総合的なアプローチに新学部の特色がある。意思決定のプロセスは順に、課題発見、複数解決案の立案、評価枠組みの設定と個別評価、そして個別評価を総体として評価する総合評価による最適案選択と続く。選択案の実行においては、地域住民や企業など多様なステークホルダーとの十分なコミュニケーションのもと、合意形成を図ることが必要となる、これらの能力もつけさせる点に本学部の特徴がある。

本学は単なる机上の学問ではなく実社会で有用な学問、実学教育の伝統がある。狭い専門にとらわれず、幅広い教養を身につけたうえで専門教育を行うため、アクティブラーニングを早くから行っている。総合政策学部においても、これをさらに強化する。

以上より、総合政策学部ディプロマ・ポリシーでは、「社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。」と記している。

高い倫理観と幅広い教養は前述のごとき内容だが、専門的な知識・技能は、経済学科では「経済学を起点として社会科学に関する深い理解を持ち、これを用いて社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力。」とし、政策情報学科では「法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に理解し、各分野の専門家たちとも協力しながら、社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力。」としている。

前述の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により、学修成果を評価する。詳細については、後述する。

④グローバル教育の強化と学部を超えた全学的な学び

また、全学的な国際化の推進も行うが、教職員と共に進めてきた教育改革の中で、特にアジアの人材育成が重要との結論を得ている。そこでグローバル教育を全学に展開するため、国際教養学部における 10 年近くの教育実績と人材を活かすべく、全学生向けにグローバル教育プログラムを新設する。併せて同学部は 2024 年度で学生募集を停止する。

その結果、2025 年度からは、図 1 に示す基盤教育機構と 4 学部 6 学科からなる教育体系とする。さらに、個々の学部の専門分野を超えて、社会の変化や新しい研究テーマに応じて先進的な教育を行うプログラムをアドバンスト科目として全学的に展開する。これにより、学生の学びは学部を超えて行うことができるようになる。

総合政策学部の新設に合わせ他の学部の教育改革も行う。総合政策学部以外の商経学部、サービス創造学部、人間社会学部の 3 学部は中身を尖らせ、類似分野の教員はある学部に集中させて、学部ごとに特色あるカリキュラムを新たに作る。そのため、学部と基盤教育機構との間で人事異動を行い、全教員の 43%が異動するという大きな改変をした。

ある分野の教員を特定の学部に集中させた結果、カリキュラム編成上、学部を超えた学びが必要となる。そこで、学生は、図 2 のように全学のどこでも学べるようにした。学部を超えて、全学的な学びができることは、学生の自主的な学びを後押しする。各学部では、すべての学生がコースを選択し学ぶが、さらに意欲のある学生は所属学部はもちろん、他学部や基盤教育機構から学ぶことができるようにする。この学部を超えた全学的な学びも新しい試みであり、学生の自立性を育むこととなる。

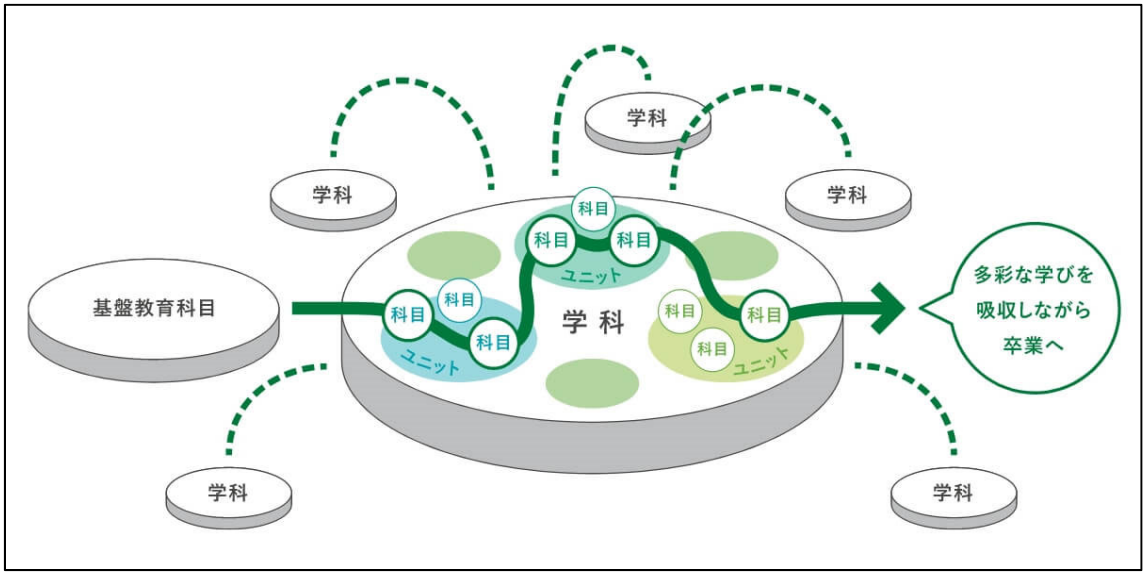


図 2　学部を問わず学べる環境

類似分野の教員を特定の学部に集中させることによって、研究力が高まる。すなわち、研究推進のためには類似分野の教員が各学部にバラバラに所属するのではなく、同一学部に所属し日常的に研究の情報や知識、アイディアの交換ができるようにしておくことが大切であり、これにより研究力が強化される。

（単位：名）

令和7（2025）年度		入学定員	編入学定員	収容定員
商経学部	商学科	450	－	1,800
	経営学科	200	－	800
総合政策学部	経済学科	150	－	600
	政策情報学科	150	－	600
サービス創造学部	サービス創造学科	230	－	920
人間社会学部	人間社会学科	230	－	920
計		1,410	－	5,640

図 3　「実学教育」を未来志向に発展させるため、4 学部 6 学科に

こうした改革を検討した結果、本学は将来を見据え、この新体制で今後も社会から必要とされる大学となるため、4 学部 6 学科体制とする。その構成を図 3 に示す。

この新体制を推進するための新しい標語は「100 年いきる良識を。」とした。本学の建学の精神を踏まえた育成すべき人物像である「治道家」とは、100 年い

きる良識を備えた人材である。

(2) 育成する人材像と 3 つのポリシー

千葉商科大学､総合政策学部の育成する人材像と 3 つのポリシーを記載する。

①卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

ア．千葉商科大学

＜建学の趣旨＞

能力を外にして長幼の序を認め、為にする所なくして人格の光を仰ぎ、天道の自ら至るを恐れ人倫の當に依るべきに従う。人類を一視して其の幸栄を増進し、有用の学術を修め質実の気風を養い、適く所として其の天職を完うせんとす。

＜建学の精神＞

今日商業道徳の頽廃は頗る寒心すべきものあり。外国貿易の不振も畢竟此処より来る。故に実業家となるべき者に商業道徳を吹き込み殊に武士的精神を注入するは最も急務なりと謂わざるべからず。

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし､以下の力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

【高い倫理観】

実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的・能動的に取り組む使命感とモラル

【幅広い教養】

実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

【専門的な知識・技能】

実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力

本学では、ディプロマ・ポリシーを教育の質保証を図るための起点とし、建学の精神及び社会の要請に基づく教育の不断の改革・改善に努める。

イ．総合政策学部

総合政策学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。その目的の実現に向けて、以下のようにポリシーを設定する。

総合政策学部では、建学の精神に基づき、実学教育を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とする。

総合政策学部経済学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とし、以下の力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学士（経済学）を授与する。

・高い倫理観：実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的・能動的に取り組む使命感と倫理観（以下、「DP1」と記す）
・幅広い教養：実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション能力（以下、「DP2」と記す）
・専門的な知識・技能：経済学を起点として社会科学に関する深い理解を持ち、これを用いて社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力（以下、「DP3a」と記す）

総合政策学部政策情報学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とし、以下の力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学士（政策情報学）を授与する。

・高い倫理観：実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的・能動的に取り組む使命感と倫理観（以下、「DP1」と記す）
・幅広い教養：実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション能力（以下、「DP2」と記す）
・専門的な知識・技能：法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に理解し、各分野の専門家たちとも協力しながら、社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力（以下、「DP3b」と記す）

②教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ア．千葉商科大学

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。本学のカリキュラムでは、実学を重んじ、実社会との連携とアクティブラーニングにより実践力を養成する。

ディプロマ・ポリシーに示す如く、高い倫理観と幅広い教養は全学の学生に等しく備えさせるものであり、そのうち、共通の素養として修得させるものは、大学生活を始める初年次に基盤教育として行う。そして、2 年次以降は、本格的な専門知識・技能の教育を中心に行うとともに倫理観を醸成する。

加えて、分野を超えて先端的な領域を学ぶアドバンストプログラムを実施する。

このような枠組みのもと、全学では以下のカリキュラム・ポリシーを定める。

＜基盤教育＞

初年次を中心に、全学部の学生が共通してディプロマ・ポリシーに定める幅広い教養と高い倫理観を身につけられる基盤教育を以下の分野に分けて実施する。

【CUC ベーシック】

初年次ゼミナール教育（演習）を CUC ベーシックとして位置付け、本学学生の基礎となる建学の趣旨・精神を理解するとともに倫理観を育み、コミュニケーション力、実践力を高め、大学での学びの基礎力を身につける分野

【共通教養】

人文科学、社会科学、自然科学に加え、倫理観や SDGs、情報化対応を含めた幅広い教養を身につける分野

【三言語*（自然言語、情報言語、会計言語）】

多様性を理解し、現代社会におけるコミュニケーション力を高めるための分野

*本学でいう三言語とは、自然言語は外国語及び日本語、情報言語は IT スキル、会計言語は簿記・会計を指す。

【生涯ケア（健康管理、キャリア)】

生涯にわたる健康管理、キャリア形成、金融リテラシーなど人生を豊かにするための基礎知識を修得する分野

【アドバンストプログラム】

個々の学部の専門分野を超えて、社会の変化や新しい研究テーマに応じて先進的な教育を行うプログラムを開発し実施する。具体的には、グローバル教育、データサイエンス教育などの学際的、先端的な領域のプログラムを全学的に展開する。

【専門教育】

実社会における諸課題を発見し、解決するために求められる専門的な知識・技能を体系的、段階的に身につけるために、各学科に入門科目を設け、2 年次以降にはコースを設置する。

学生は所属する学科内のコースを 1 つ選択し、修得する。さらに学びを深めたい学生は、アドバンストプログラムや、自学部及び他学部の科目も修得でき、一定の条件を満たした学生には副コースとして認定する。

【ゼミナール教育】

初年次では、基盤教育科目の CUC ベーシックにゼミナール形式（演習）の科目を設置し、学修の基礎を身につけ、専門研究に移行するため学部横断のクラス編成による教育を実施する。これにより、学生が本学で主体的に学ぶ姿勢を身につける。

2 年次においては、講義とともに学部基礎ゼミ（演習）を行うことで各学部の専門基礎を中心に修得させ、3 年次以降の研究ゼミにつなげる。

3 年次より本学の全教員が個々の専門分野に関する研究ゼミを実施し、学生に発展的な専門知識・技能をより深く修得させる。研究ゼミでは、チーム活動、グループ討論及びプレゼンテーションなどを積み重ねることで、問題発見、調査分析、解決策探索、実行の力を養い、卒業に向けて大学での学びの集大成を行う。

さらに、本学では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目

間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。
学生の能動的な学修の充実に向け、履修科目の登録上限の設定による 1 科目あたりの学修時間の増加を図り、単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。本学では、ディプロマ・ポリシーの達成のため、カリキュラム・ポリシーを教育課程の編成・実施における重要な位置づけとし、カリキュラム・ポリシーに沿った大学教育の不断の改革・改善に努める。

イ．総合政策学部
総合政策学部では、ディプロマ・ポリシー達成のため、経済学科と政策情報学科で連携しながら以下のカリキュラムを編成し、実施する。

・経済学科の専門教育：経済学科では、経済学を理解するための基礎として初年次に全員必修の経済入門、ミクロ経済学 I、マクロ経済学 I、データ分析入門を配当する。さらに、2 年次以降に選択可能なコースとして経済政策コース、ビジネス経済コース、経済データ分析コースを設置し、各コースにはそのコースの学問領域における選択必修科目を配当する。（以下、「CP1a」と記す）（DP1、DP2、DP3a と相関）

・政策情報学科の専門教育：政策情報学科では、法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に理解するための基礎として初年次に全員必修の政策情報学概論、公共政策入門、経済入門、現代社会学入門を配当する。さらに、2 年次以降に選択可能なコースとして地域政策コース、地域経営コース、政策メディアコースを設置し、各コースにはそのコースの学問領域における選択必修科目を配当する。（以下、「CP1b」と記す）（DP1、DP2、DP3b と相関）

・ゼミナール教育：2 年次には学部基礎ゼミ I、学部基礎ゼミ II を設置し、3 年次以降の専門ゼミへの導入を図る。3 年次には研究ゼミ I、研究ゼミ II を設置し、個々の専門分野に関する専門的な知識・技能をより深く修得するとともに、調査、チーム活動、プレゼンテーションなどの積み重ねによって研究能力を養う。4 年次には研究ゼミ III、研究ゼミ IV を設置し、個々の学生が 4 年間の集大成として卒業研究をまとめられるよう指導を行う。（以下、「CP2」と記す）（DP1、DP2、DP3a、DP3b と相関）。

また、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載

された評価方法・基準により学修成果を評価する。さらに GPA を導入することで学生の学修状況を把握し、指導に役立てる。そして、区分ごとに決められた単位数を修得するとともに、合計 124 単位以上を修得することによってディプロマ・ポリシーで定める学位を授与する。

③入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

ア．千葉商科大学

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

＜本学の求める学生像＞

【基礎的な学力】高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生

【高い倫理観】実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生

【幅広い教養】実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生

【専門的な知識・技能】実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

一般選抜では、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能（理解力、数理能力、表現力、語学力）を、主に学力試験によって測り選抜する。レベルとしては高等学校の授業に準拠した内容を問うものとする。幅広い範囲からの出題とし、高等学校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び特別選抜では、本学の求める学生像を体現する意欲や適性を、面接試験や書類審査などで測り選抜する。

全選抜方式で、高等学校における学習状況や特別活動の記録などを調査書等で確認し合否の判断材料の一つとする。全体の学習成績の状況等は出願要件に含まれることもある。

イ．総合政策学部

本学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

求める学生像として、以下の資質を備えた学生を積極的に受け入れる。

（以下、アドミッション・ポリシーを「AP1～6」で記す）

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生

AP2. 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生

AP3. 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生

AP4. 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

AP5. 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学などの諸分野を学ぶ意欲を持つ学生

AP6. 入学後に学ぶ理論や技能を実社会の現象や課題と結びつけて深く理解し修得した専門的能力を総合的に応用して、実社会の課題解決に取り組む意欲を持つ学生

また各学科では、前述の学部アドミッション・ポリシー内容をふまえつつ、より専門性を示した学科アドミッション・ポリシーを定めている。

①経済学科

（以下、アドミッション・ポリシーを「AP1～7」で記す）

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生

AP2. 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生

AP3. 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生

AP4. 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

AP5. 経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生

AP6. 経済学の理論や実証分析の方法を学んだ上で、経済・社会における諸課題の解決に向けた政策立案や原因探究に取り組む意欲を持つ学生
AP7. 企業行動や地域産業の動向など、実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得しようとする意欲を持つ学生

②政策情報学科
(以下、アドミッション・ポリシーを「AP1～7」で記す)
AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
AP2. 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
AP3. 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
AP4. 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
AP5. 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生
AP6. 公共政策とまちづくりを学んだ上で、地域社会の活動へ主体的に参加し社会を構成する多様な人々と共創的に活動する意欲を持つ学生
AP7. デジタルメディア技術を駆使して課題解決する意欲を持つとともに、人々の共感を呼ぶメディア表現技法を修得して、公共政策、まちづくり、ビジネスで活用しようとする意欲を持つ学生

2. 学部・学科等の特色

本学部の特色は、経済学を中心的な学問分野として扱う経済学科と、経済学を多様な学問分野のひとつとして扱う政策情報学科とで構成される点である。経済学は、市場経済において実現する資源配分の特徴を明らかにする一方で、よりよい資源配分の実現に資する公共政策のあり方を研究する学問であり、解決すべき課題の設定と解決策の提示に関して有益な示唆を与えることができる。

そのような観点から、2つの学科に共通する必修科目として経済入門を配当するとともに、経済学科では経済学の基礎から応用までを体系的に理解するカリキュラムを、政策情報学科では法学、行政学、公共政策、経済学、社会学を横断的に理解するカリキュラムをそれぞれ構築する。そのうえで、各学科の学生が自身の所属しない学科の科目をも履修できるようにすることにより、前述の目的

をより深いレベルで達成することを目指す。

3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

本学部の名称は、既設の商経学部・経済学科と政策情報学部・政策情報学科を基礎に「総合政策学部」とする。

現代社会は、民間経済と公共政策・計画で動いており、両者を調和させる視点から経済と政策を等しく学べる学部とする。官民を問わず政策・計画の意思決定には、証拠に基づく経済・社会・環境の 3 面での評価が必要で、この科学的、総合的なアプローチに新学部の特色がある。

学部・学科及び学位名称の英語表記は、下表の通りとする。なお、前述の理念を示すため、学科名称及び学位名称は基礎となる既設学科から変更を行わないこととした。

＜総合政策学部英語表記＞

総合政策学部	学部名称	Faculty of Policy Planning and Management
経済学科	学科名称	Department of Economics
学士（経済学）	学位名称	Bachelor of Economics
政策情報学科	学科名称	Department of Policy Informatics
学士(政策情報学)	学位名称	Bachelor of Policy Informatics

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

カリキュラム・ポリシーは「1. 設置の趣旨及び必要性」 に示した通りであるが、基本方針は以下の通りである。

以下、各科目群について、編成の考え方及び特色を述べていくが、ディプロマ・ポリシーと必修科目、選択必修科目の関係は表 1・表 2 に示す。

教育課程の編成の体系性については、表 3～表 8 で示す。

(1)CUC 基盤教育科目

本学では、創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」(大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者)としての基盤を形成するため、全学部の学生が共通に学ぶ CUC 基盤教育科目群を設ける。

CUC 基盤教育科目群では、主として、ディプロマ・ポリシーに定める幅広い

教養及び高い倫理観を身につけるため、カリキュラムを編成し実施する。

本学の建学の趣旨・精神を学び、本学の学生としての基礎を修得し自立心と自立力を育てるCUCベーシック科目、倫理観やSDGs、情報化対応を含めた幅広い教養を身につける共通教養科目、多様性を理解しコミュニケーション力を養う三言語科目、生涯にわたる健康管理や金融リテラシーなどの人生100年時代を豊かにするための基礎的知識を養う生涯ケア科目（健康管理、キャリア）を設置する。

また、学部の垣根を超えた全学的な教育を実施するため、学部横断のクラスを編成し、多様な学生間の交流ができるようにする。大学で学ぶことの意義や学生自らがキャリアを考え、学修への動機づけを図り、大学生としての学び方を修得する初年次ゼミを設置する。

【CUCベーシック科目】

CUCベーシック科目は実学入門I、実学入門II及び自分未来ゼミを必修として開講する。

実学入門I、実学入門IIでは、高い倫理観を備えた「治道家」を目指すという建学の精神を修得させ、さらに自立的に研究を進め、その成果を大学生レベルのレポート・論文執筆、プレゼンテーションなどの形で表現するための基礎を段階的に身につけさせる。自立的な研究については、文献やデータの入手のために図書館やインターネットの活用を通じ、入手した文献やデータを解釈するための思考の型の基礎を学ばせる。その上で、論文の構造と作法を学ばせ、実際に特定の研究目的に基づいた論文の作成を体験させる。以上を通じて、大学4年間の学びの基礎的なアカデミックスキルを修得させる。

また、自分未来ゼミでは自分自身の目的・目標に基づき学びを自分で組み立てていく姿勢を身につけさせるため、大学4年間の学びを具体的に自分で組み立てさせる。さらにその先の自分の未来における目標から現状の把握と振り返りをし、大学卒業後も自立的に自分の学びを組み立てて、成長し続けることができるように、主体的な意識と動機づけを体験的な学びから学修させる。その際、一人ではなく、チームで知的アウトプットをする力を身につけさせる。体験的な学びにより現実の社会に触れさせ、自分自身の未来の目標やキャリアそのものについても明確化するきっかけを与える。

【共通教養科目】（人文科学／社会科学／自然科学／倫理・SDGs）

社会から必要とされる知識・技能が目まぐるしく変化し、今後の方向

性を予測するのも難しい時代にあって求められている新しい教養を身につけることを目指す。学部学科の専門教育の素地となる科目を学ぶと同時に、専門以外の多様な学問の入門的な内容にもなるべく多く触れ学ぶようにする。多様な学問に触れることで、大学卒業後のキャリアの中で、自分が必ずしも専門としてこなかった学問の知識・技能が必要となった際に、どのように学べばよいかを理解し、自ら新たに学びを開始することができるようになっていることを目指す。

以上の趣旨の下、人文科学、社会科学、自然科学の 3 領域からなるカリキュラムを編成する。さらに、建学の精神に基づき、社会の諸課題に対して自分事として捉え解決しようとする倫理観と、それを実現する能力を身につけるために、文理横断的な学修を提供する倫理・SDGs の科目群も同時に設置する。

【三言語科目】（自然言語／情報言語／会計言語）

世界的規模でのヒト・モノ・カネ・情報の移動が活発化しているグローバル化した世界において、ヒトとヒトの間のコミュニケーションのツールとしての外国語の運用能力（自然言語）に加え、情報を受け取り発信する媒体に対する理解と運用能力（情報言語）、モノ・カネの移動・交換に対する理解と運用能力（会計言語）が重要になってきており、これら三言語の科目群を設置する。

自然言語では、実社会で多様な言語文化を背景とする人々と協働する上で、外国語及び母語による異文化間コミュニケーション力が重要になる。その基盤となる外国語運用の普遍的な知識・技能を身につけ、コミュニケーション力の土台を作るための英語とその世界、中国語とその世界及び日本語とその世界を開講し、かつ国際理解や異文化対応も含めた実社会で使えるコミュニケーション力を培うための選択科目を開講する。

情報言語では、大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信・データ処理・デジタル技術に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、情報社会において必要となる情報やデータを正しく扱う行動規範（情報倫理）及び情報セキュリティの素養を身につけるため情報入門を必修科目として開講する。そして課題や目的に応じた情報スキルを適切に選んで活用し必要な情報を主体的に収集、判断、処理、伝達ができる能力と問題発見・問題解決の能力を身につけるための選択科目

を開講する。

会計言語では、会計リテラシーを学修し、その役割さらにはアカウンタビリティの重要性を理解することで倫理観を養うとともに、事例から会計情報を入手し活用する能力を身につけ、ビジネス社会において活用するための実践的な学びへと誘う会計リテラシーを必修科目として設置する。そして簿記や経理実務、税務実務の基礎を身につけるための選択科目を開講する。

【生涯ケア科目】（キャリア・健康管理）

豊かな人生を歩むために、健康、キャリア形成、マネープランについて知識を身につける科目群キャリア・健康管理を設置する。

キャリアでは、変化の激しい現代社会において、ライフスペース、ライフステージの変化に合わせて自分の価値観、強みを活かしキャリアを形成するための知識と能力を身につけるために段階的かつ多様なカリキュラムを編成し実践する。

豊かな人生を築くためにはライフプランが求められる。その実現のために、早い段階で基本的なマネープランに関する基礎知識の修得と倫理的理解が必要となる。これらを実践し人生に生かしていく能力を身につけるための生活と金融リテラシーⅠを必修科目として開講する。

自分の適性を知った上で、働く際に必要とされる知識・スキル・姿勢を身につける機会を設けるとともに、大学生活、その後の人生における成長のためのプランづくりを行う選択科目を開講する。

健康管理では、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり自身の健康を管理するための基礎的な知識や技能を身につけるため健康・スポーツ演習を開講する。演習の種目はバドミントン、バレーボール、フットサル＆サッカーなど複数に分けて実施する。スポーツ活動に内在する 4 つの経験（自己開示、他者協力、挑戦達成、楽しさ実感）を通じ、「治道家」に求められる諸能力の獲得を目指す授業を展開する。

【アドバンスト科目群】

分野を超えて学ぶことでより価値を生み出す先端的な領域に対し、体系立てて学ぶことのできるアドバンストプログラムグローバル分野、情

報・データサイエンス分野、キャリア分野、総合教養分野を選択科目として設置する。

グローバル分野では、グローバル化が進み、多様な言語・文化的背景を持つ人々と理解し合い、自他の違いを尊重しながら協働できる多文化共生力がますます重要になる。各学部で学ぶ専門知識・技能を幅広い場で活かせる多文化共生力を身につけるために、国際語としての英語を用いたコミュニケーション力の養成に力点をおく Global Communication、Grammar in Use や、歴史・政治・文化・宗教的背景についての知識・理解力・考える力の養成に力点をおく地域研究 A、多文化フィールドワーク A などを開講し、学生個人のニーズに合わせて学びを深められるカリキュラムを編成する。

情報・データサイエンス分野では、情報・データサイエンスの知見を用いて人文・社会科学分野における研究・分析を行うにあたり、必要な知識を身につけるため統計システム開発実習Ⅰ、データサイエンスのためのプログラミングⅠ、データサイエンスのための数学、AI 概論など、統計学、数学、情報処理、プログラミング、AI、データサイエンスに関する科目を開講する。人文・社会科学が取り扱う様々な領域においてデータに基づく分析ができるように、コンピューターを用いた演習または講義形式にて開講する。

キャリア分野では、100 年に一度の変化が毎年起こる時代、ロールモデル像が更新され続ける時代を生き抜くためのキャリア観、スキルとマインドを育てることを目的として科目を設置する。業界・企業を知る・社会を知る・自分を知る・ロールモデルと出会う・圧倒的な成長を実現するため、キャリア形成論、ディーセント・ワーク論、社会実践論及び業界・企業研究 A などの科目を開講する。良質な体験を提供し、本学卒業後の進路の多様化の実現を目指し開講する。

総合教養分野では、政治・経済・社会に関する知識の修得、数学的・算術的な思考力・推理力や文章読解力の向上をはかる科目を開講する。変化の激しい社会の中、複数の知識の掛け合わせにより多元的な視点で問題を捉え解決できるようになることを目指し、パブリックセクターにおいて活躍する実践力のある学生を育成する。

(2)経済学科

①教育課程編成の基本方針

経済と経済学

人々の暮らしと経済は、生産、労働、分配、消費などの様々な側面で接点を持っている。経済のあり方は、国や地域によって異なり、また産業や業界ごとにも異なっている。こうした経済のあり方について学ぶことは、我々が社会生活を営んでいくにあたって必要なことの１つである。本学科では、こうした観点に基づき、現実の経済動向や経済の歴史、様々な国や地域の経済などについて学ぶ。

一方、現実の経済活動・経済事象を分析する学問が経済学である。経済学では、市場における取引を通じた資源配分や、経済成長の実現、不況や貧困などに対する政策的対応などを分析の対象として発展してきた。経済学を通じて経済を見ることによって、そのメカニズムを理解することができ、資源配分の歪みや外部経済、不況や貧困などの問題に対する政策的対応について考察することができる。

こうした見地から本学科では、経済の動向とそれを分析する経済学について中心的に学ぶ。

学生は経済学を起点として社会科学を学ぶ

本学科では、ミクロ経済学、マクロ経済学などの経済理論の入門科目を出発点として、より高度な理論や応用科目へと学びを進めていく。こうした学修を通じて、学生は現代経済の基本的な枠組みとそこにある様々な問題や課題について理解する。そして、家計や企業がこうした問題・課題に対してどのように行動していくべきか、政府はどのような政策的対応を取るべきであるかについて学ぶ。

また、現代の経済学ではデータに依拠して分析を行うことが一般的になっており、統計学の基本的な知識や、それを用いた経済データの整理や分析の手法についても学ぶ。

以上の観点から、初年次の必修科目として経済入門、ミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ及びデータ分析入門の 4 科目を設置する。初年次必修科目以外の専門科目には、経済学の主要な分野をバランスよく配置することで、学生が自らの関心に応じた分野を選択して履修することを可能にする。

学科のコースとして、経済政策、経済データ分析、ビジネス経済の 3 コースを設定し、そこには経済に関する科目だけではなく、社会、政策、ビジネスなどの周辺領域に関連する科目を設ける。こうしたコース科目の修得に加えて、

他学部・他学科の科目も履修することが可能であり、経済学を起点として社会科学について学ぶことによって、学士（経済学）を授与するに値する人物を養成する。

多種多様な専門科目群をユニットに分け、ユニット群にまとめて履修計画を支援

多種多様な専門科目群が提供される中で、学生が計画的に科目を履修できるように、提供する知識・スキルセットに共通性・関連性が高い選択科目をグループ化し、ユニットと呼ぶ。本学科では、ユニットを 2 段階のユニット群に分けて、合計 10 ユニットを提供する。（表 5）

ア．**基礎理論ユニット群（合計 2 ユニット）**では、経済学の理論的側面とデータを用いた分析手法について学ぶ。これらのユニット群に属する科目は、経済における様々な分野を分析するにあたっての基礎的な理論と分析方法を提供する。

イ．**専門ユニット群（合計 8 ユニット）**では、経済理論・経済政策、地域・国際経済、経済とビジネス・産業、経済と歴史・思想、経済とデータ分析という 5 つの領域を設け、そこに内容に応じた 8 つのユニットを配置する。これらのユニットは学生の関心に応じた分野の科目を体系的に学修していくための助けとなる。

②専門教育科目の教育課程及び科目区分の構成

学科の基礎的素養を身につけるための学部入門科目

本学科では、学部入門科目として経済入門、ミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ及びデータ分析入門を設置し、本学科の学生が必ず修得するべき、経済学の基本的な枠組みとデータに基づく分析に関する基礎知識を教授する。

経済理論・経済政策領域の専門科目群

経済理論・経済政策領域の専門科目群では、経済の仕組みを明らかにして、それにどのように働きかけることで不況や貧困や環境問題などの社会的課題を解決することができるかについて学ぶ科目群を設置する。

経済学の基本的な科目としてミクロ経済学とマクロ経済学があるが、それぞれについて二段階の科目を設定し、ミクロ経済学Ⅱ、ミクロ経済学Ⅲ、マクロ経済学Ⅱ及びマクロ経済学Ⅲを設置する。これらの科目は学部入門科目にあるミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰから接続されるため計三段階となり、基礎的

な内容から出発して発展的な内容までを学修することが可能となる。
　また、ミクロ経済学とマクロ経済学を補完する科目として、経済数学、ゲーム理論、行動経済学及び経済シミュレーションの各科目を設置する。
　応用科目としては以下の科目を設置する。公共経済に関する内容を扱う科目として公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ、公共選択論及び環境経済学を設置する。経済政策に関する内容を扱う科目として経済政策論Ⅰ、経済政策論Ⅱ、財政学Ⅰ、財政学Ⅱ及び地方財政論を設置する。

地域・国際・産業経済領域の専門科目群

　地域・国際・産業経済領域の専門科目群では、現実の経済の動向を様々な側面から知り、それらを分析していくための理論や方法について学ぶ科目を設置する。
　地域経済に関する科目としては、交通経済学Ⅰ、交通経済学Ⅱ、地域経済論Ⅰ、地域経済論Ⅱ、都市経済学及びGIS入門を設置する。
　国際経済に関する科目としては、国際経済学Ⅰ、国際経済学Ⅱ、国際金融論Ⅰ、国際金融論Ⅱ、開発経済論Ⅰ、開発経済論Ⅱ、日本経済論、アジア経済論、アメリカ経済論及びヨーロッパ経済論を設置する。
　産業・企業と経済に関する科目としては、産業組織論Ⅰ、産業組織論Ⅱ、産業政策論Ⅰ、産業政策論Ⅱ、労働経済学Ⅰ、労働経済学Ⅱ、医療経済学、企業経済学及びビジネスエコノミクスを設置する。
　金融と経済に関する科目としては、金融論Ⅰ、金融論Ⅱ、企業金融論Ⅰ及び企業金融論Ⅱを設置する。

経済と歴史・思想領域の専門科目群

　経済と歴史・思想領域の専門科目群では、経済学の背景にある思想や経済の歴史について学ぶために経済史Ⅰ、経済史Ⅱ、西洋経済史及び政治的公正と経済を設置する。

経済とデータ分析領域

　経済とデータ分析領域では、統計やデータを用いて経済・社会を分析する手法を学ぶための科目を設置する。
　データ分析の手法と関連する知識を学ぶための科目として、データビジュアライゼーション、データ分析プログラミング、人間行動論、実験社会科学及び政策デザイン実践を設置する。
　経済に関する統計やその分析手法や応用を学ぶ科目として、経済統計学Ⅰ、経済統計学Ⅱ、計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ及び計量経済学演習を設置する。

ゼミナール科目群

本学科の専門カリキュラムおけるゼミナールは、2 年次以降の学生が履修する必修科目である。ゼミナール科目群は 2 年次の学部基礎ゼミと 3 年次以降の研究ゼミで構成する。

＜学部基礎ゼミ＞

2 年次においては、専門性の高い 3 年次以降の研究ゼミへの導入として、学修の方向づけを行うために、複数の教員で学部基礎ゼミを開講する形式とする。2 年次前期の学部基礎ゼミⅠでは複数の担当教員が自身の専門分野に関する解説を行い、2 年次後期の学部基礎ゼミⅡではゼミナールにおける学修の基礎となる資料の収集・作成や発表・報告の方法について学ぶ。

＜研究ゼミ＞

3 年次以降の学生を対象とする研究ゼミにおいては、個々の教員が個別に研究ゼミを開講し、担当教員の専門分野に関する専門教育をゼミナール形式で実施する。3 年次前期には研究ゼミⅠを、3 年次後期には研究ゼミⅡを配当し、専門分野のスキルと知識を洗練させる。4 年次においては、前期に研究ゼミⅢ及び後期に研究ゼミⅣを配当し、ゼミナールにおける教育や研究の集大成として卒業研究を実施させる。

(3)政策情報学科

①教育課程編成の基本方針

政策情報の考え方

本学科では、「政策」を政府や行政組織の政策のみならず、より一般化して人間の行動と意思決定まで含む概念として捉える。そして、政府・行政組織・個人などの行動主体が、物事や現象などに関する「情報」を収集・整理・分析・評価・統合して、現状分析や問題発見へつなげ、次のあるべき行動、あるいは、問題解決につながる意思決定や計画策定、政策立案へと結び付けるという立場を取る。行動主体が実社会で実行する政策や行動は、国民・住民・コミュニティ・社会・人々・企業・団体などの多様なステークホルダーとの関与や相互作用を生み出すため、ステークホルダーとの反復的な対話にもとづいて行動・政策の評価・修正・調整を行いつつ、目標の実現や社会のニーズに応じた政策形成へとつなげる。

このような、広い意味の「政策」及びそれを支える「情報」の活用、さらに、ステークホルダーとの対話において、デジタルメディア及び情報技術は必要不可欠なスキルであり、インターネット、スマートフォン及び AI（Artificial

Intelligence）をはじめとするデジタル技術の普及が進む 21 世紀に活躍する人物にとって必須の素養と位置づける。

学生は個別の学問分野を越えて超領域的に学ぶ

多様な背景と考え方を有する学生が、前述の政策情報の考え方にもとづいて、政策と情報、及び、デジタルメディアを有機的に関連付け、多様性・複雑系・超領域性の特性を持つ実社会において、問題発見・問題解決に取り組み、新しい価値を創出するために必要なカリキュラムを本学科では編成する。

実社会の多様な場面において、様々な主体の視点から政策及び人間の行動を複眼的かつ総合的に理解する必要があるため、個別の学問分野を越え、多種多様な学問分野を社会の要請や学生各々の思い描く自己の将来像にあわせて、選択的に履修可能とする。具体的には、法学・行政学・公共政策・経済学・社会学及びその周辺分野に関する専門科目群から学生が主体的に選択して履修することを可能にする。

また、個々の学問分野の枠組みを越えて、知識やスキルを統合して活用する実践力も養成する。そのため、初年次の必修科目の公共政策入門、経済入門、現代社会学入門において、公共政策・経済学・社会学の考え方を身につける科目を設置する。

さらに、初年次必修科目の政策情報学概論において、個別の学問分野の枠組みを越えた超領域的活動についての知識とスキルを修得し、他者とつながることによる協調的問題解決及びデジタルメディアの活用による創造的問題解決に関する基本的な枠組みを修得させる。

これらの必修科目において、政策情報の考え方の基盤を身につけさせた上で、他の専門科目群を履修させることで学士（政策情報学）を授与するに値する人物を育成する。

多種多様な専門科目群をユニットに分け、ユニット群にまとめて履修計画を支援

多種多様な専門科目群が提供される中で、学生が計画的に科目を履修できるように、提供する知識・スキルセットに共通性・関連性が高い選択科目をグループ化し、ユニットと呼ぶ。（表 6）

本学科では、ユニットを三種のユニット群に分けて、合計 15 ユニットを提供する。

ア．**基幹ユニット群（合計 5 ユニット）**では、法学・行政学・公共政策・経済学・社会学及びその周辺分野にわたる、多様な分野の伝統的手法

と普遍的学問を総合的に学び、いつの時代でも通用する揺るぎない基礎力を獲得することを目的とする。

イ．**実践ユニット群（合計 5 ユニット）**では、地域と社会に貢献するための専門知識とスキルを獲得し、コミュニケーション・企画プロデュース・課題解決の実践力を修得することを目的とする。

ウ．**創造ユニット群（合計 5 ユニット）**では、新しい時代へ適応しつつ、世代を超えて共感できる政策形成とまちづくりを体系的に学び、これからの社会を豊かにする計画力・実行力を身につけることを目的とする。

②専門教育科目の教育課程及び科目区分の構成

学科の基礎的素養を身につけるための学部入門科目

本学科では、学部入門科目として政策情報学概論、公共政策入門、現代社会学入門及び経済入門を設置し、本学科の学生が必ず修得するべき、法学、行政学、公共政策、経済学及び社会学に関する基礎知識を教授する。

法学・政治学領域の専門科目群

法学・政治学領域の専門科目群においては、様々な背景をもつ人間と多種多様な集団で構成される、複雑な現実社会を政治学の立場からとらえ、社会に内包される様々な主体の対立構図を理解するとともに、公共政策を通じて社会秩序を確立し、持続可能で豊かな社会を実現するための理論と考え方を身につけるための科目群を設置する。公共政策の基礎となる、法学的なリテラシーを修得する機会を提供するために、憲法特論、公法各論、行政法、行政学、民法Ⅰ、民法Ⅱ及び民法Ⅲを設置する。CUC 基盤教育科目群の日本国憲法、法学入門（公法）及び法学入門（私法）も併せて履修することで法学の素養を深めることができる。

また、政治学に関する専門的な知識とスキルを修得し、政治過程、政策形成及び政治システムへの理解を深めるための科目として、政治過程論、政治学特論、公共政策論、コミュニティ政策論及び地域分析論を設置する。そして、より広い視座から政策形成や公共計画のプロセスについて理解を深めるための科目として、実験社会科学、政策分析とシステム思考及び計画理論入門を設置する。

さらに、政治学周辺の教養を身につけるための科目として、政策事情特論、論文作成技法、社会科学特論Ⅰ、社会科学特論Ⅱ、言語表現解釈論Ⅰ及び言語表現解釈論Ⅱを設置する。加えて、現実社会の多様な人々や組織との実践

的な関わりと対話に関する素養を身につけるための科目である、合意形成論、社会心理学、人間行動論及び非営利組織論を設置する。

経済学・AI データサイエンス領域の専門科目群

本学科では、まちづくりやビジネスの現場で活躍する人物には、世界における日本の経済的位置づけを理解し、政府や行政組織の取り組みや、企業をはじめとする様々な主体の活動を、経済学の視点から分析し、意思決定や政策形成へ結びつける素養が必要であると位置づける。

そして、経済学・AI データサイエンス領域の科目群において、経済学に関するリテラシーを修得するための科目として、地方財政論、地域経済論Ⅰ、地域経済論Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学 I、社会経済学、日本経済論及びマーケティング論Ⅰを設置する。

さらに、データにもとづいて判断する思考方法を修得するための科目として、数理的思考法Ⅰ、数理的思考法Ⅱ、論理とデータ解釈技法Ⅰ及び論理とデータ解釈技法Ⅱを設置する。加えて、AI が日常生活から企業の業務にまで浸透するこれからの社会に適応するための知識とスキルを修得する科目として、デジタルツイン実践、デジタルツイン景観表現、3 次元アバター表現、AI と社会、データ分析プログラミング、データビジュアライゼーション及び情報社会を設置する。

社会学領域の専門科目群

実社会における多様なステークホルダーとのコミュニケーションを円滑に実施する能力を身につけるのみならず、社会、個人などの置かれた環境や社会的文脈を社会学の視点から理解し、豊かな社会のあるべき姿を探求する能力を身につけさせるために、社会学領域及び周辺領域の科目群を設置する。

本学科では、必修科目の現代社会学入門において、社会学の考え方を修得させたのちに、地域社会、メディア、情報、コミュニケーションをはじめとする社会学及び周辺領域の諸科目を履修させる。デジタルメディアを活用した調査、表現、発信にかかわる考え方とスキルを修得させる科目として、映像エスノグラフィ、映像コミュニケーション、ライフストーリーとメディア論、情報メディア分析論、ビジュアルメディア論、シナリオ・ライティング及び音響と文化を設置する。

さらに、持続可能なまちづくりと都市計画のあり方について専門的かつ総合的に学ぶことを可能にするために、都市政策・計画論、環境政策入門、環境政策論、地域環境マネジメント、環境アセスメント、都市計画入門を設置する。加えて、地域固有の歴史と文化を専門的に調査分析し、政策立案・意

思決定へ結び付けるとともに、多様なメディアの活用を通じて地域の固有性を他者・他地域へ伝達するための専門知識とスキルを修得させる科目として、地域文化政策論、現代文化論、地域社会と文化、マルチメディア論、現代アート論及び質的調査法を設置する。

また、広報メディアなどを通じて、コミュニケーションの対象者の特性に合わせてわかりやすい表現で情報を整理、伝達する専門技能を修得させるための科目として、文学表現、情報編集論、批評的思考法、広報メディアコミュニケーション及びデジタルリテラシーを設置する。

さらに、今後も有用性が高まると見込まれるWebやソーシャルメディアの社会における意義と課題を理解し、行政・ビジネスをはじめとする様々な社会の場面で有意義に活用する技能を修得させるための科目として、Web デザイン、Web とソーシャルメディア、アニメーションと社会及びメディア音響論を設置する。

今後の社会では、地域の取り組みやビジネスをはじめとする幅広い活動において、新しい発想でデジタルメディアを活用して、社会に有益なサービスを創造する必要がある。そこで、感性を磨いて創造的思考法を学び、マルチメディアを実社会で応用する技能を修得させる科目として、表象文化論基礎A、表象文化論基礎B、視覚メディア論、MIDI ワークショップ、メディアワークショップ、メディアスタディーズⅠ、メディアスタディーズⅡ及び音楽と地域文化を設置する。

学問領域を越える多元的共創活動による学びの場となる専門科目群

多様で複雑な現実社会の中で効果を発揮する政策形成や意思決定には、個別の専門分野を越えた実践力が必要となる。多元的な視点にもとづいて学問領域を越えて他者と対話し、デジタルメディアを用いて地域の人々と参与的・共感的にかかわりつつ、新しい発想でまちづくりやビジネスを実践し、豊かな地域をプロデュースする技能を修得させることが本学科の目標の一つである。このような多元的な共創活動の実践力を修得する場を提供するために、まちづくり及びメディアを主な題材として、多様な専門分野において体験的かつ実践的な学修を行う科目群を設置する。

具体的には、政策デザイン実践、政策情報学演習、行動経済学、シリアスゲームデザイン、サービスデザイン、ソーシャルプロデュース論、メディアプロデュース実践Ⅰ、メディアプロデュース実践Ⅱ、プランニングワークショップⅠ及びプランニングワークショップⅡを設置する。これらの諸科目を通じて、実社会を構成する多様なステークホルダーの視点を結びつけて新たな価値を創出する能力を修得し、他者と共に新たな社会を対話的かつ創造的

に構築する実践力を身につけることができる。

ゼミナール科目群

本学科の専門カリキュラムにおけるゼミナールは、2 年次以降の学生が履修する必修科目である。ゼミナール科目群は 2 年次の学部基礎ゼミと 3 年次以降の研究ゼミで構成する。

＜学部基礎ゼミ＞

2 年次においては、専門性の高い 3 年次以降の研究ゼミへの導入として、学修の方向づけを行うために、複数の教員が合同で 1 つの学部基礎ゼミを開講する形式とする。2 年次前期には、学部基礎ゼミⅠを配当し、2 年次後期には、学部基礎ゼミⅡを配当する。

学部基礎ゼミにおいては、複数の担当教員の専門分野及び周辺分野に関する専門知識とスキルを教授することで、実社会におけるまちづくりとビジネスに関する実践的な力を修得させる。

＜研究ゼミ＞

3 年次以降の学生を対象とする研究ゼミにおいては、個々の教員が個別に研究ゼミを開講し、担当教員の専門分野に関する専門教育をゼミナール形式で実施する。

3 年次前期には研究ゼミⅠを、3 年次後期には研究ゼミⅡを配当し、専門分野のスキルと知識を洗練させる。4 年次においては、前期に研究ゼミⅢ及び後期に研究ゼミⅣを配当し、ゼミナール教育の集大成として、学生に卒業研究（卒業論文の執筆もしくは卒業制作）を実施させる。

(4)主要授業科目

本学部では、コース科目を中心とした専門科目を教育上主要と認める授業科目と位置付けている。当該科目については、本学部が養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを達成するうえで中心となる主要科目である。

(5)単位時間数

各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して、次の基準により計算するものとする。

①講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの授業時間をもって

1 単位とする。

②実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの授業時間をもって 1 単位とする。

(6)1 年間の授業期間

本学部は、春学期（4 月 1 日～9 月 30 日）と秋学期（10 月 1 日～3 月 31 日）の 2 学期制（セメスター制）としている。授業は、原則として週 1 回（一部、1 日 2 回または週 2 回の科目もあり）開講され、各学期 13 週にわたって開講する。

また、1 学期に修得することが望ましい推奨修得単位数が設定されている。当推奨修得単位数にしたがって単位を修得することによって、4 年間で無理なく卒業ができるようになっている。

学年	セメスター	推奨修得単位数	修得可能単位数
1	1	18	22
	2	36	44
2	3	54	66
	4	72	88
3	5	90	110
	6	108	132
4	7	120	154
	8（卒業）	124	176

5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1)教育方法

①経済学科

本学科では、1 年次必修科目において、現代の経済・社会を理解するにあたり必要となる、経済及び経済学に関する基本的な知識の修得を行う。1 年次前期の経済入門において経済の仕組み、現代経済の主要なトピック、経済学の基本的な内容などについて学ぶ。1 年次前期のミクロ経済学Ⅰでは、市場役割や家計や企業の行動などミクロ経済学の基本的な内容について学ぶ。1 年次後期のマクロ経済学Ⅰでは、国民経済の基本的な枠組みや GDP、失業率、物価などの概念とそれらがどのようにして決まるかについて基本的な内容を学ぶ。1 年次後期のデータ分析入門では、経済・社会を分析するために必要となる、統計学や経済統計に関する基本的な知識の修得を行う。これらを通して、2 年次以降の専門科目やゼミナールにおける学修の基礎固めや、コース選択や将来の進路選択にあたっての

関心や問題意識の醸成を図る。

2 年次には 3 つのコース（経済政策コース、経済データ分析コース、ビジネス経済コース）のいずれかを選択させ、現代の経済・社会における諸問題を理解し解決していくための知識や技能の学修を行っていく。また、2 年次からは学部基礎ゼミにおいて、学科所属教員によるそれぞれの専門分野や研究動向の紹介や、アカデミックスキルの修得を行い、3 年次以降のゼミナールにおける学修に向けた準備を行う。3・4 年次には、3 つのコースに沿った学修に加えて、ゼミナールに所属してそれぞれの分野における学修や研究を行う。そして、自主的に選んだテーマに沿って行った学修や研究の成果を卒業研究としてまとめ、4 年間の集大成とする。

また、他学部・他学科科目の履修制度や、基盤教育機構におけるキャリア、国際、教養、情報・データサイエンスなどに関するプログラムを用意することで、学生が自身の関心に応じた学修を深められるような体制を用意する。

履修モデルは、3 つのコースに対応したモデルであり、想定される学生の関心に合わせて科目や履修年次を記載したものである。学生が自身の関心や希望する将来のキャリアに応じて履修科目を選択していくことで、卒業後の実社会における活躍とキャリア形成を実現することを目指す。

②政策情報学科

本学科では、1 年次必修科目において、政治学、経済学、社会学に関する基礎知識と基本的な思考力を修得させるとともに、個別分野にとらわれず、専門分野を越えて他者とつながり、新たな価値創出につなげる政策情報的思考力を養う。1 年次前期の政策情報学概論において実社会の現場で専門分野を越えて他者と対話的に共創する政策情報の考え方を修得させる。また、1 年次前期の経済入門においては、行政及びビジネスをはじめとする様々な実社会の場面で経済学の考え方にもとづいて思考する力を養う。そして、1 年次後期の公共政策入門においては、政治学の基本的な考え方を修得させるとともに、政策問題を公共政策の枠組みでとらえる思考力を養う。さらに、1 年次後期の現代社会学入門においては、人間と社会を社会学の視点でとらえ、社会現象や個人のエピソードを社会学的に分析・理解する思考力を養う。これらの必修の入門科目を通じて、2 年次以降のより専門的な科目に関する動機付けと方向付けを行う。

2 年次には、学生を 3 つのコース（地域政策コース、地域経営コース、政策メディアコース）のいずれかを選択させ、各コースに設定された教育の方向性に沿って、政治学、経済学、社会学及び周辺分野の専門的な教育を実施する。また、2 年次以降においては、ゼミナール科目を配置し、教員グループまたは個別教員によるゼミナール形式の教育を実施するとともに、4 年間の教育の集大成として、

卒業研究（卒業論文の執筆もしくは卒業制作）を行う。
また、他学部・他学科科目の履修制度や、基盤教育機構におけるキャリア、国際、教養、情報・データサイエンスなどに関するプログラムを用意することで、学生が自身の関心に応じた学修を深められるような体制を用意する。
履修モデルは、3つのコースに対応したモデルであり、想定される学生の関心に合わせて科目や履修年次を記載したものである。学生が自身の関心や希望する将来のキャリアに応じて履修科目を選択していくことで、卒業後の実社会における活躍とキャリア形成を実現することを目指す。

(2)履修指導方法
1年次には、入学後に新入生オリエンテーションを実施し、教育課程を含む4年間の学修の流れを説明し、履修指導を徹底する。2年次・3年次には、履修ガイダンスを実施し、卒業までの学修の流れを確認する。

(3)卒業要件
本学部の教育目標を達成するため、以下の卒業要件を定める。

CUC基盤教育科目群、専門科目群、ゼミナール科目群の各卒業要件単位数を満たした上で、合計124単位以上修得すること。（アドバンスト科目群も卒業要件単位数に含めることができる。）

①CUC基盤教育科目群　30単位以上
○CUCベーシック　6単位（必修）
○人文科学　2単位以上（選択）
○社会科学　2単位以上（選択）
○自然科学　2単位以上（選択）
○倫理・SDGs　2単位以上（選択）
○自然言語　2単位以上（選択必修2単位含む）
英語とその世界、中国語とその世界より選択
○情報言語　2単位以上　（必修2単位含む）
○会計言語　2単位以上（必修2単位含む）
○キャリア・健康管理　4単位以上（必修2単位含む）
②専門科目群　52単位以上
○学部入門科目　8単位（必修）
○コース科目　24単位以上（選択必修）

③ゼミナール科目群　12 単位（必修）

（履修科目の登録上限：44 単位（年間））

卒業に必要な修得単位数は 124 単位である。全学共通カリキュラムから 30 単位以上を修得することとし、このうち実学入門 I・実学入門 II 及び自分未来ゼミで構成される CUC ベーシック科目の 6 単位を必修とする。共通教養科目では人文科学、社会科学、自然科学、倫理・SDGs の各区分から 2 単位以上を選択必修とする。三言語科目では自然言語、情報言語、会計言語の各区分に必修科目があり、自然言語では英語とその世界、中国語とその世界及び日本語とその世界のいずれかを選択する。ただし、日本語とその世界は留学生のみが選択できるものとする。情報言語では情報入門を、会計言語では会計リテラシーをそれぞれ必修科目とする。生涯ケア科目では生活と金融リテラシーI を必修科目とし、その他に 2 単位以上を選択必修とする。以上の CUC 基盤教育科目群とは別に、グローバル、情報・データサイエンス、キャリア、総合教養の 4 分野で構成されるアドバンスト科目群からも任意で履修可能とし、そこで修得した単位は全学共通カリキュラムの修了要件に含める。

専門科目群からは 52 単位以上を修得することとし、学科ごとに 4 つの科目で構成される学科入門科目の 8 単位を必修とする。コース科目からは 24 単位以上を選択必修とする。さらにコース外の専門科目からも履修し、そこで修得した単位は専門科目群の修了要件に含める。ゼミナール科目群は学部基礎ゼミ I・学部基礎ゼミ II、研究ゼミ I、研究ゼミ II、研究ゼミ III、研究ゼミ IV で構成され、その 12 単位を必修とする。

その他に他学部を含む他学科の科目群からも履修可能とし、そこで修得した単位は 32 単位を上限として卒業要件に含める。

(4) 履修登録単位数の制限

学期における履修登録単位数は 22　単位を上限としている。ただし通年科目においては、春学期及び秋学期の按分によって、それぞれの学期の履修登録単位数に算入する。

なお、学長が承認した科目については、履修単位数の上限外で履修することができる。

また、前学期の GPA が 3.0 以上である者は、24 単位を上限に履修登録することができる。

(5) GPA（Grade Point Average）制度の導入

本学部では、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA（Grade Point Average：成績平均点数制）による成績・単位修得状況評価を行う。

成績の数値平均（以下「GPA」という。）を算出して学修指導に活用する。

①選考、選抜

成績優秀者の選考、給費生の継続給費基準、早期卒業基準、卒業代表者選考、派遣交換留学生の選抜等に使用される場合がある。

②学生個人の学修指導

総修得単位数及びGPAが一定基準を下回った学生に対しては学修への取組みに対する注意喚起や指導を行う。

また、GPAを成績通知書及び成績証明書に記載する。

GPAは、各評価に設定されたグレードポイント（以下「GP」という。）を設定し、次のとおり算出する。ただし、成績評価が「T」（認定）及び卒業要件外の科目は、GPAの算出に含めないものとする。

成績評価		グレードポイント（ＧＰ）
合格	S	４．０
	A	３．０
	B	２．０
	C	１．０
不合格	F	０．０
認定	T	―

$$ＧＰＡ＝\frac{(取得単位×ＧＰ)の総和}{総履修単位数}$$

(6)単位認定制度

本学部では、以下の内容について、教育上有益と認めるときは、学長の承認により、単位認定を行う。

・他の大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位
・本学に入学する前に大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目
・本学に入学する前に行った学修
・その他、学長が教育上有益と認める学修

6. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学部では千葉商科大学学則第 4 条第 3 項に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して授業を教室以外の場所で履修させることができるとしている。文部科学省のメディア授業告示第 1 号によるところの同時双方向型を「リアルタイム型の遠隔授業」、第 2 号によるところのオンデマンド型を「オンデマンド型の遠隔授業」と呼称している。

(1)実施場所

①リアルタイム型の遠隔授業

全学生にグループウェア（Microsoft Teams）のアカウントを付与し、Microsoft Teams のビデオ会議機能を用いて授業を実施している。受講場所は学生自身で選択できることとしているが、面接授業の合間に大学内で受講する場合においても双方向性が確保できるよう受講者専用の教室を用意している。ノートパソコンを学生全員が所持しており、大学内でネットワークに常時接続できる環境整備を行っている。なお、授業に用いる Microsoft Teams、CUC PORTAL はログイン時にパスワード認証が求められ、履修している学生のみが情報にアクセスできる仕様になっている。

②オンデマンド型の遠隔授業

主に Web 学修システムである CUC PORTAL 内にある LMS 機能（クラスプロファイル機能）を用いて授業を実施している。学生は指定場所にアップロードされた授業資料、課題の指示に基づき学修を行う。前述の通り、多様なメディアを利用した授業を行うための環境整備を行っている。

(2)実施方法

多様なメディアを高度に利用した授業科目の選定にあたっては、全学の会議体にて科目選定方針を定めること、授業実施要領を定めることにより、面接授業と同等の教育効果を有することを担保している。

リアルタイム型の遠隔授業は面接授業同様に実施曜日、時限を定めて同時かつ双方向性を有するよう、ビデオ会議機能を用いて実施する。Microsoft Teams のテキストチャット機能、CUC PORTAL 内にある LMS 機能等から教員が選択し、受講者から教員へ質疑が行える環境を整えている。

オンデマンド型の遠隔授業は教員から講義動画を提供され、学生は動画内の指示に基づき指定の課題に取り組む授業形式となる。全 13 回の授業は週に 1 回

の頻度で講義動画の提供と課題の指示が行われる。毎回の講義後には、CUC PORTAL 内にある LMS 機能で課題に対する添削・指導、質疑に対する応答が行われる。また、学生間、学生教員間で意見交換ができるよう CUC PORTAL 内に履修者が利用できる掲示板を設けてある。

このように、リアルタイム型の遠隔授業、オンデマンド型の遠隔授業の実施方法は文部科学省のメディア告示の要件を満たすものである。

(3)学則における記載事項

千葉商科大学学則第 4 条第 3 項に「授業は、文部科学大臣の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。」としている。

7. 編入学定員を設定する場合の具体的計画

本学のアドミッション・ポリシーに基づき、3 年次編入学試験を実施する。編入学することができるものについては学則第 23 条に該当する者とする。

(1)既修得単位の認定方法

編入学が決定した場合は、 編入学者の前在籍校の教育課程概要やシラバスを審査し、既修得科目の中から、本学科で開設する全学部共通カリキュラム、専門カリキュラム、ゼミナール科目に相当すると判断した科目の単位を本学科で認める単位とする。個別科目認定を原則とするが、一部必修科目を除いて一括認定することができるものとする。本学科の卒業に必要な単位として 最大 62 単位まで認定する。

認定の詳細については以下の通りとする。

①全学部共通カリキュラム【最大 30 単位】

ア．CUC ベーシック科目

必修科目である自分未来ゼミ、実学入門 I、実学入門 II について、計 6 単位を一括認定とする。

イ．共通教養科目

人文科学、社会科学、自然科学、SDGｓ・倫理の各分野 2 単位ずつ、計 8 単位を一括認定する。

ウ．三言語科目

自然言語は必修科目である英語とその世界について一括認定する。

情報言語は必修科目である情報入門について一括認定する。
会計言語は必修科目である会計リテラシーについて一括認定する。

エ．生涯ケア科目
必修科目である生活と金融リテラシーⅠについて一括認定する。
また、キャリア・健康管理は2単位を一括認定とする。

オ．前述ア～エ以外で類似科目がある場合は、単位認定することができる。

②専門カリキュラム【最大28単位】

ア．学科入門科目については振替科目がない場合は本学で学ぶものとする。

イ．前述の①以外で類似科目がある場合は、単位認定することができる。

ウ．専門科目群は28単位以内で一括認定する。

③ゼミナール【4単位】

ア．学部基礎ゼミⅠ、学部基礎ゼミⅡは一括認定する。

(2)履修指導方法

既修得単位の認定結果については、4月の履修ガイダンスにおいて本人に通知し、履修ガイダンスの全体説明終了後に、教務課にて個別相談を行い、履修指導を行う。

(3)教育上の配慮等

3年次編入のため、2年間で卒業ができるよう個別の履修指導を行う。また、既修得単位編入学生には、履修モデルを提示するだけでなく、編入時のオリエンテーションで説明を行う。

8．企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

本学では中期経営計画に国際化戦略を掲げ、全学的な教育体制、教育環境の整備・強化を行っている。全学生にグローバルな視点を持たせるため基盤教育機構に海外語学研修と事前、事後学修を組み合わせた科目を設けている。渡航期間が3週間程度の海外語学研修を伴うものを海外短期文化研修Ⅰ、海外短期文化研修II、4～6ヶ月程度（1学期）の海外研修を伴うものを海外長期文化研修Ⅰとして基盤教育機構に設置している。これらの科目では言語力も含めた異文化コミュニケーション力を実践の中で養うこと、自文化を客観的に見る視点を獲得する

ことを科目の到達目標としている。事前学修では渡航先に関する文化理解、事後学修では研修内容を総括、内省するレポート作成、口頭発表を行う。

(1)研修先との連携体制

大学間で国際交流等に関する協定を結んでいる大学のなかから、前述の科目の目的に合う派遣先を選定している（図 4)。海外語学研修プログラム全般についてオンライン、相互訪問などを通じて想定された内容が行われているか確認している。学生からは週に 1 度学修状況の報告を受け、学生が円滑に学修に取り組めるか確認している。派遣先授業の出席状況や課題、試験内容を踏まえた成績評価を提供してもらうこととし、学修状況を把握することとしている。

また、安全管理上、学生に対しては渡航前の危機管理に関する説明会に参加することを義務付けている。協定先大学、学生と緊密に連携を取るとともに、不測の事態に備え、旅行会社が提供する 24 時間対応の学生サポートサービスにも加入している。大学内においても海外緊急時対応に関する対応フローを策定し、関係する部署内でシミュレーションを実施するなど緊急時に速やかに対応ができるよう体制を整えている。

(2)成績評価体制及び単位認定方法

海外短期文化研修 I、海外短期文化研修 II については研修先プログラムの成績、事後レポート及び口頭発表をもとに成績評価を行う。海外長期文化研修 I については事後レポート及び口頭発表をもとに成績評価を行う。研修先で受講し単位修得した科目については本学の教育課程に応じたものであることを確認したうえで、学長の承認に基づき 60 単位を超えない範囲で単位認定を行う。

図 4　研修先一覧

区分	研修先（所在地）	言語	受入人数	研修先受講プログラム
海外短期文化研修 I 海外短期文化研修 II	ウォッシュバン大学 （アメリカ・トピカ）	英語	15 名	週 15 時間の語学学習プログラム 学生寮滞在、文化体験、授業体験
	ハイランド＆アイランド大学パース校 （イギリス・パース）	英語	15 名	週 15 時間の語学学習プログラム ホームステイ、文化体験

	サザンクロス大学 （オーストラリア・リズモア）	英語	15 名	週 15 時間の語学学習プログラム ホームステイ、文化体験、学生交流
	漢陽大学校 （韓国・ソウル）	韓国語	15 名	韓国語授業時間 40 時間＋特別授業 6 時間 学生寮またはホテル滞在、文化体験、学生交流
	ワイカト大学 （ニュージーランド・ハミルトン）	英語	10 名	週 20 時間の語学学習プログラム ホームステイ、文化体験、学生交流
海外長期文化研修Ⅰ	漢陽大学校 ソウルキャンパスまたはERICA キャンパス （韓国・ソウル/安山市）	英語 韓国語	2 名	1 学期間(4 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。
	全南国立大学校 （韓国・光州市）	英語 韓国語	4 名	1 学期間(4 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。
	上海立信会計金融学院 （中国・上海）	英語 中国語	2 名	1 学期間(5 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目

				を 3 科目以上履修する。
	ローゼンハイム応用科学工科大学 （ドイツ・ローゼンハイム）	英語	2 名	1 学期間(5 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。
	国立台北商業大学 （台湾・台北）	英語 中国語	3 名	1 学期間(5 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。
	東呉大学 （台湾・台北）	英語 中国語	2 名	1 学期間(5 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。
	国立中正大学 （台湾・嘉義）	英語 中国語	2 名	1 学期間(5 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。

	FPT 大学 （ベトナム・ホーチミン）	英語	2 名	1 学期間(4 ヶ月間)の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。
	パンヤビワット経営大学 （タイ・バンコク）	英語	2 名	1 学期間(5 ヶ月間）の滞在中に、「交換留学生」が取得できる正規科目より、専門科目及び語学科目を 3 科目以上履修する。

9. 入学者選抜の概要

(1)アドミッション・ポリシー

本学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

求める学生像として、以下の資質を備えた学生を積極的に受け入れる。

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生

AP2. 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生

AP3. 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生

AP4. 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

AP5. 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学などの諸分野を学ぶ意欲を持つ学生

AP6. 入学後に学ぶ理論や技能を実社会の現象や課題と結びつけて深く理解し修得した専門的能力を総合的に応用して、実社会の課題解決に取り組む意欲を持つ学生

また各学科では、前述の学部アドミッション・ポリシー内容をふまえつつ、より専門性を示した学科アドミッション・ポリシーを定めている。

①経済学科

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
AP2. 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
AP3. 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
AP4. 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
AP5. 経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
AP6. 経済学の理論や実証分析の方法を学んだ上で、経済・社会における諸課題の解決に向けた政策立案や原因探究に取り組む意欲を持つ学生
AP7. 企業行動や地域産業の動向など、実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得しようとする意欲を持つ学生

②政策情報学科

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
AP2. 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
AP3. 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
AP4. 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
AP5. 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生
AP6. 公共政策とまちづくりを学んだ上で、地域社会の活動へ主体的に参加

し、社会を構成する多様な人々と共創的に活動する意欲を持つ学生

AP7．デジタルメディア技術を駆使して課題解決する意欲を持つとともに、人々の共感を呼ぶメディア表現技法を修得して、公共政策、まちづくり、ビジネスで活用しようとする意欲を持つ学生

(2)入学者選抜の選考方式

入学者選抜は、アドミッション・ポリシーに基づき、複数の選抜方式で多面的・総合的に判定し、公正かつ適切な方法で入学者を選抜する。

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識を高等学校の授業に準拠した内容によって問う。なお、一般選抜個別試験型及び一般選抜共通テスト型の学力試験では、以下を試験科目として課す。

一般選抜個別試験型・・・国語、外国語（英語)、数学、地理歴史・公民

一般選抜共通テスト型・・・国語、外国語、地理歴史・公民、数学、情報、理科

①学校推薦型選抜（指定制学校推薦型選抜、公募制学校推薦型選抜）

面接、学校長の推薦書及び調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。高等学校もしくは中等教育学校における評価として学業成績（学習成績の状況)、推薦書等の提出書類を重視する。

主な出願資格は、本学及び志望学部学科のアドミッション・ポリシーを理解し、本学部学科を第１志望としている者かつ出身学校長の推薦を受けた者を条件とし、この他に全体の学習成績の状況、検定資格の取得状況などを課している。

②総合型選抜（給費生総合型選抜、一般総合型選抜、併願総合型選抜、文化・スポーツ実績総合型選抜、付属高等学校生対象総合型選抜）

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。面接における本学部への進学意欲を重視するほか、志願者の能力や適性を小論文、高等学校等での活動、検定資格等にてはかる。

主な出願資格は、本学及び志望学部学科のアドミッション・ポリシーを理解している者を条件とし、この他に全体の学習成績の状況、検定資格の取得状況

などを課している。また、一般総合型選抜では、国際バカロレア取得者及び取得見込者、帰国生徒、社会人の他、個別入学資格者の出願も認めており、多様な背景を持つ者への出願を許可している。

③一般選抜（一般選抜個別試験型、一般選抜共通テスト型）

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に合否を判定する。本学で実施する学力試験（一般選抜個別試験）または大学入学共通テストの成績を重視する。また、調査書等の高等学校もしくは中等教育学校における学びの成果として課外活動、資格検定試験の結果などを加味する。

主な出願資格は、高等学校等の通常の教育課程による 12 年の学校教育を修了した者及び修了見込の者としている。この他、国際バカロレア取得者及び取得見込者、個別入学資格審査による出願も認めている。

④特別選抜（外国人留学生特別選抜、全国商業高等学校長推薦特別選抜、付属高等学校特進選抜クラス対象特別選抜）

面接、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。志願者の能力や適性を小論文、高等学校等での活動、検定資格等にてはかる。

主な出願資格は、本学及び志望学部学科のアドミッション・ポリシーを理解し、本学部学科を第 1 志望としている者を条件とし、この他に全体の学習成績の状況、検定資格の取得状況などを課している。

外国人留学生特別選抜においては、留学生の日本語能力等の資格要件として「日本留学試験の日本語」「日本語能力試験の N1 または N2」「実用日本語検定の A - C レベル」いずれかの検定試験結果を必須提出とし、ポイント化して判定時に加味している。経費支弁能力は、入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の交付申請を行う際と在留資格の更新を行う際の確認に基づくこととする。在籍管理については、授業期間中は国際課窓口設置のカードリーダーによる出席確認を行い、出席不良の学生には、面談を行っている。また、各学期の履修登録内容及び成績の確認、成績不良者への面談を実施するなどの方法で管理を行っている。

なお、経済学科ならびに政策情報学科の募集定員は以下のとおりである。

＜総合政策学部　募集定員＞

入試区分	経済学科	政策情報学科
学校推薦型選抜	35 名	40 名
総合型選抜	35 名	40 名
一般選抜	68 名	63 名
特別選抜	12 名	7 名

合　計	150 名	150 名

(3)アドミッション・ポリシーの各項目と入学者選抜方法の整合性

アドミッション・ポリシーの各項目と入学者選抜方法の整合性は、図 5 の通りとなる。表中に記載のある◎は特に重点を置いて評価する項目、○は重点を置いて評価する項目を意味している。

図 5

	主な選抜方式	AP1	AP2	AP3	AP4	AP5	AP6	AP7
学校推薦型選抜	面接		◎	◎	○	○	◎	○
	調査書、推薦書	◎	○	◎	○	○	○	○
	修学計画書				◎	◎	○	◎
	小論文	○		○	◎	◎		◎
	活動実績		◎				◎	
	検定資格	○		○	○	○		○
総合型選抜	面接（プレゼン、口頭試問含む）		◎	◎	○	○	◎	○
	調査書	◎	○	○	○	○		○
	修学計画書				◎	◎	○	◎
	小論文	○		○	◎	◎		◎
	活動実績		◎				◎	
	検定資格（基礎学力試験等含む）	○		○	○	○		○
一般選抜	学力検査	◎		○	◎	◎	○	◎
	調査書（自己申告書含む）	○	○	○	○	○		○
	活動実績		○				○	
	検定資格	○		○	○	○		○
特別選抜	面接		◎	◎	○	○	◎	○
	調査書	◎	○	○	○	○		○
	修学計画書				◎	◎	○	◎
	小論文	○		○	◎	◎		◎
	活動実績		◎				◎	
	検定資格	○		○	○	○		○

AP	学力の 3 要素等の表現
AP1	主に知識・技能を重視している。
AP2	主に主体性・多様性・協働性を重視している。
AP3	知識・技能と思考・判断・表現力を重視している。
AP4	主に知識・技能を重視している。
AP5	主に知識・技能を重視している。
AP6	主に主体性・多様性・協働性を重視している。
AP7	主に知識・技能を重視している。

10. 教育研究実施組織等の編制の考え方及び特色

各学科の教員組織の編成においては、「大学は、その教育研究上の目的を達成するため、その規模並びに授与する学位の種類及び分野に応じ、必要な教員及び事務職員等からなる教育研究実施組織を編制するものとする。」（大学設置基準第 7 条第 1 項）に準じて教員を配置している。学生規模や学問分野に対応する教育研究実施組織等の編制の考え方及び特色を以下に述べる。

「大学は、教育研究実施組織を編制するに当たっては、当該大学の教育研究活動等の運営が組織的かつ効果的に行われるよう、教員及び事務職員等相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制を確保しつつ、教育研究に係る責任の所在を明確にするものとする。」（大学設置基準第 7 条第 2 項）に準じて、各学科に学科長を置くことで、教育研究に係る責任の所在を明確にしている。また、学部内及び学科内に各種委員会等を整備し、全学及び学部と連携を図りながら教育研究を運営する。

本学では、職員の所掌業務の範囲と責任を明らかにし、教育及び研究を能率的に遂行するために必要な体制を整えることを目的に「千葉商科大学職制に関する規程」を策定している。

本規程の第3条（職員の機能）で、教員（教授、准教授、講師、助教）は「専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する」と規定している。

(1)教員配置の考え方

総合政策学部経済学科では、経済学分野の博士・修士等の学位を有し、教育研

究上の優れた知識、技能を有する教授 6 名、准教授 9 名を、既設学部・機構の基盤教育機構、商経学部、政策情報学部、サービス創造学部、人間社会学部、国際教養学部から学内異動により配置している。完成年度における基幹教員組織の年齢構成は、「学校法人千葉学園就業規則」に基づき、適正に配置しており、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成としている。

一方、政策情報学科は、政策情報学士（法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係）を授与する学科であるため、多様な学問背景を有する教員を既設学部の政策情報学部から 10 名、商経学部、国際教養学部からそれぞれ 1 名を学内異動により配置している。完成年度における年齢構成は、経済学科同様に適正に配置しており、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成としている。

なお、1 名の教員が完成年度を迎える前、2027 年度末で定年退職となるが、退職後も非常勤講師として授業を担当するため、学生への教育水準は問題ない。また、大学設置基準上の教授数は、2026 年 4 月に学内からの昇任により満たすことができる。

併せて、公共経済、公共政策分野のカリキュラムに責任をもつ教員として、1 名の教員を複数機関で基幹教員として扱う。移籍先大学から 2023 年 10 月 18 日開催の教授会決裁で了承を頂いている。本学の授業担当数も移籍先大学に伝えており、大学間におけるエフォートは明確になっていることから、当該教員に対して教育研究上の支障が生じないようにしている。

本学部では、コース科目を中心とした専門科目を教育上主要と認める授業科目と位置付けている。当該科目については、本学部が養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを達成するうえで中心となる主要科目であることから、原則として基幹教員を配置している。基幹教員は、主要科目をバランス良く担当できるように、経済学科は教授 6 名、准教授 9 名、政策情報学科は教授 5 名、准教授 4 名、講師 2 名を任用する計画である。（2029 年 3 月 31 日時点）経済学科は、カリキュラム上で基盤となる「学部入門科目、経済理論・経済政策領域、地域・国際・産業経済領域、経済と歴史・思想領域、経済とデータ分析領域、ゼミナール科目群」の主要授業科目の大半に基幹教員を配置している。政策情報学科は、カリキュラム上で基盤となる「学部入門科目、法学・政治学領域、経済学・AI データサイエンス領域、学問領域を越える多元的共創活動による学び、社会学領域、ゼミナール科目群」の主要授業科目の大半に基幹教員を配置している。

なお、専門科目群の一部の主要授業科目には基幹教員以外の教員を配置しているが、一部の科目を担当するのは、本学部のディプロマ・ポリシー、カリキュ

ラム・ポリシーを十分理解している本学他学部の基幹教員が中心となるため、カリキュラムの編成・実施やその不断の見直し等において問題はない。

本学では、基幹教員が行う授業の標準担当コマ数等の取扱いについて、「基盤教育機構及び学部に所属する専任教員の担当コマ数等の取扱いに関する規程」で定めており、教員の標準担当コマ数について管理している。なお、学長が大学運営上必要な理由があると認めた場合に限り、標準担当コマ数を超過する可能性がある。但し、教員の担当コマについては大学・学部で管理しており、教員の担当科目数が多い場合には、学部運営に係る業務（学内委員会、授業以外の校務）において負荷を軽減したり、オンライン会議を取り入れるなど学部運営の効率化を図ることで、教員の教育・研究の時間を確保している。

本学部においても、前述の大学の定めに沿った運用を計画している。

(2)中心となる研究分野

本学部は、経済学を中心的な研究分野とする経済学科と、個別の学問分野を超えて新しい価値の創出を目指す政策情報学を中心的な研究分野とする政策情報学科とで構成されるため、一方では経済学を応用した研究を、他方では法学、行政学、社会学等の既存の学問分野の知見を活かしつつもその枠にとらわれない研究を展開していくこととなるが、いずれのアプローチにおいても社会課題の解決に資する研究を行うという目的は共通している。そこで、以下に述べるような本学の研究支援体制を活用し、学部に所属する複数の教員で行う共同研究を推奨する。

11．研究の実施についての考え方、体制、取組

(1)研究の実施についての考え方

大学学則第１条「本学は広く商業、経済、政策等に関する諸科学の総合的研究及び学理の応用のため専門の学芸を教授するとともに、これらの成果を広く社会に提供し社会の発展に寄与することを目的とし、高き人格識見と教養とを備え、特に経済界を始め、地域社会の発展に資する人材を育成し、もって社会の進運に貢献すること」の使命の下、従前より設置している経済研究所と会計教育研究所に加え、本学建学者の遠藤隆吉の実績、著作、遺蹟の研究並びに顕彰を目的とした遠藤隆吉研究所、社会全体の問題の解決や学内外のネットワーク形成、研究成果の効果的発信を総合的に行うことを目的としたサステナビリティ研究所を 2023 年 3 月に設置した。また、2024 年 4 月からは経済研究所の下部組織であ

る「中小企業研究・支援機構」の後継組織として、広く中小企業に関する諸課題の研究推進を目的とする中小企業経営研究所を設置した。更なる学術研究水準の向上や研究力・発信力強化を目指し、全ての研究所を束ねる組織「総合研究センター」を開設。学内外の研究者のマッチングや情報発信を積極的に実施している。

第 2 期中期経営計画では研究領域において、「活動成果の情報発信力の強化と社会への還元」「持続可能な社会づくりに貢献できる研究の創出」「社会的・国際的に高い評価を受ける研究の創出」「時代にあった研究体制と研究支援体制の確立」の 4 つの目標を立て、これらの下に 10 の重点戦略・17 のアクションプランを作成し、達成に向け取り組んでいる。

具体的には、1.SDGs 関連研究に対する学内助成制度の創設と実施、2.科学研究費助成事業応募者に対する支援体制の整備による採択件数の増加、3.受託共同研究、奨学研究寄付といった外部資金の受入体制の整備、等に取り組んでいる。

(2)研究実施についての体制

本学では研究活動促進委員会を設置し、学長を委員長とし、研究担当副学長、総合研究センター長、学部長等や事務局を構成員とすることで、本学の研究活動全般に係る事項を全学体制で審議・決定している。

基幹教員には、専攻する学問分野に関する調査・研究を遂行するために必要な経費の支弁を目的に、年間 39 万円を限度とする個人研究費を配分するほか、学会出張に係る旅費を支弁する学会出張旅費制度も設けている。

また、学内の助成制度の一つである学術研究助成金は、基幹教員を対象にした公募型研究費であり、個人または複数名といった研究組織単位で応募する。研究活動促進委員会での審査により年間で個人 30 万円から共同 100 万円の研究費が付与される。

このほか、2023 年 3 月の改組により総合研究センターの下に、経済研究所、会計教育研究所、遠藤隆吉研究所、サステナビリティ研究所が設置され、各研究所が主導する定常的プロジェクトと、学内公募し総合研究センター運営委員会で選定する競争的プロジェクトを実施している。基幹教員であれば所属部局や職位に関わらずプロジェクトに参画できる体制となっており、学外の研究者も客員研究員として研究所の活動に参画できる。競争的プロジェクトでは、1 プロジェクトにつき年間 30 万円～120 万円の範囲で研究費を支援する。

(3)研究実施についての取組

本学では、研究成果の公開を目的とした学術図書の出版に対する助成金制度や研究者が所属する学術団体による学会開催に対する支援も実施している。ま

た、国際間の学術交流を図りながら調査研究を行い教員の研究能力を向上させることを目的とした在外研究員制度では、最大 1 年間、本学教員が海外機関で研究を行うための費用を助成している。

外部資金獲得に関する支援では、専門コンサルタントによる相談や応募書類の作成支援を行い、研究者向けの説明会を実施しているほか、科学研究費助成事業の応募者・採択者に対してインセンティブを付与する制度を設けている。

このほか、研究者の公正な研究活動の実施のため、2007 年に「研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」を施行し、研究不正の定義、研究機関としての責任体制の明確化、不正防止計画の策定及び不正行為に関する通報受付から調査・報告までの手続きを定めた。2022 年には「千葉商科大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」に改め、文部科学省の定めるガイドラインを反映した学内体制を構築している。2015 年には「千葉商科大学における公的研究費の運営・管理に関する行動規範」及び「千葉商科大学研究倫理規程」を制定し、本学の研究者が、学術研究の信頼性と公正性を確保し、高い倫理観の下に円滑な研究活動を推進することを目的に、共通の規範を定め、公開している。人を対象とする調査研究を行う際には申請により研究倫理委員会で審査を行い、研究倫理・コンプライアンスを遵守した研究を行うよう整備している。

12. 施設、設備等の整備計画

(1)校地、運動場の整備計画

本学は、千葉県市川市国府台の文教地区に位置しており、緑豊かな敷地に校地面積 103,524.56 ㎡、校舎面積 66,816.13 ㎡を有し、校地・校舎面積とも大学設置基準を上回る面積を有している。

運動場用地は、市川校地（市川キャンパス）にグラウンド（7,229.23 ㎡）とテニスコート（5 面）があり、合宿所を併設している。体育館にはアリーナ（約 2,271.37 ㎡）の他、柔道室、練習場（卓球場）、第 1～第 3 トレーニング室及び測定室などがある。

また、市川キャンパスに近接（約 3.5km）する稲越校地（市川キャンパス）には、人工芝の野球場と屋内運動場（約 390 ㎡）がある。

これらの運動施設は、授業での使用だけではなく、アメリカンフットボール、ラグビー、サッカー、フットサル、卓球、硬式野球などの課外活動等に積極的に活用されている。

学生が休憩や交流の場として自由に利用できる施設としては、学生食堂である The University DINING や国際交流施設を備える The University HUB などを

整備している。The University DINING は、大学直営の学食として 2015 年に開設して以来、単に食事や休憩をする場所に留まらず、学生が教職員や地域・企業などの団体と共に様々なイベントを企画・実施しており、多様な交流を生み出すための施設として活用されている。また、The University HUB の 1 階には、英語を公用語とした施設 CUC International Square を設けており、英語を話す常駐職員のもとで、学生同士が日常的に英語や異文化に触れることができる国際交流施設として活用されている。

これらの施設は、何れもキャンパス内のメインストリートに面しており、学生の日常動線の結節点となるよう意識して整備している。

(2)校舎等施設の整備計画

校舎は、1 号館から 7 号館が主に授業で使用する教室棟である。教室は、全 127 室を備えており、内訳は、講義室 61 室、演習室 59 室、実験実習室 3 室、情報処理学施設 4 室である。

本学部の設置に伴う校舎等施設は、市川キャンパスの既存施設を使用する。本学部の授業で使用する教室は他学部とも兼用しながら市川キャンパスの 1～7 号館の教室を配当しているため、設備購入費を計上しない。

また、具体的な教室の配当は授業時間割や履修者数により教務課が行っている。なお、一部の授業では特殊なコンピューターソフトを使用するため、専用ソフトがインストールされたコンピューター教室を配当している。

本学は、2020 年度より、教育ツール及び教育手法としての ICT の活用促進を目的として、PC 必携化を進めており、教室形態の最適化を図るなかで、アクティブラーニング室等の拡充を進めており、多様で柔軟な実学教育プログラムが実施できる演習室の割合を高めている（10 年間で 10 室増加）。一方で、デスクトップパソコンを備える情報処理学施設は減少しているが、パソコンは高性能な機器に更新しており、高度な情報や画像を処理することが可能である。これらの施設は本学部の教育を行う上で大変適している。

なお、専任教員の研究室は、研究館、3 号館、7 号館、図書館内に 180 室を確保できており、教員が教育研究を行える環境が整っている。個室を設けることで情報管理等の機密性を確保するとともに、学生はプライバシーが確保された環境において、オフィスアワー等で教員へ相談に訪れることができる。

これらの施設・設備の整備計画は、中期経営計画におけるキャンパス整備計画に基づき、施設環境課、経営企画室、会計課などが連携して学修環境の整備ならびに改修等の策定・実施を行っている。本学は、2028 年度に創立 100 周年を迎え、重点戦略のひとつにキャンパスグランドデザイン計画の策定があり、将来を見据えたマスタープランの策定を進めている。一方で、老朽化した施設の維持

・管理についても計画的に進めており、体育館の大規模改修工事を 2022 年に完了し、また、2022 年度には、建物屋上太陽光発電設備と連系した蓄電池設備を導入するなど、防災・減災の機能強化を図っている。

今後も、実学教育を推進する大学として、未来志向の人材を育むキャンパスづくりを目指し、社会環境に即応した多様な学びを提供できる環境を整備していく。

(3)図書等の資料及び図書館の整備計画

①図書等の資料について

図書館は、図書約 620,000 冊、雑誌約 2,700 種類、視聴覚資料約 5,000 点などを所蔵している。また、電子リソースについては、電子ジャーナル約 25,000 種を含む国内・国外のオンラインデータベース 21 種、電子書籍約 900 点を提供しており、幅広い教育研究ニーズに対応している。本学部の学生はこれらを共用する。これらの電子リソースの多くは、リモートアクセスサービス（RemoteXs）により、学外（自宅等）からも利用することができる。

＜主要データベース＞

日経テレコン、日経 BP 記事検索サービス、東洋経済 デジタルコンテンツ・ライブラリー、eol、TKC ローライブラリー、ProQuest、EBSCO Business Source Complete、JSTOR

本学部のカリキュラムに関連した経済学、法学、行政学、社会学、公共政策等に関する図書は既存の学部において十分整備しているが、完成年度までに必要に応じて購入・整備を行い、教育環境の更なる充実に努める予定である。

②図書館の整備について

現在の図書館は 1985 年に開館し、地上 5 階、地下 2 階建て、延べ面積 8,732 平方メートルで、地下 2 階から地上 2 階までが図書館、3、4 階は教員の研究個室、5 階は国際会議場となっている。別棟の図書館別館を加え図書館部分としての延べ面積は 7,519 平方メートルで、学生用の閲覧席は 567 席である。

図書館の開館時間は、平日と土曜日は 9 時から 21 時 30 分、大学院の授業のある日曜日は、特別開館日として 10 時から 19 時まで開館している。

2018 年には、1 階及び 2 階フロアのリニューアルを行い、新しい知的空間を提供している。1 階には多様な学びの機会とコミュニケーションの場の創出をテーマとしたマルチスペースを、2 階には授業及び授業外学修拠点としての機能強化をテーマとした、ホワイトボード、大型ディスプレイ、可動式の机や椅

子を配備した多目的スペース、個別学修のための静粛スペース、ディスカッションやプレゼンテーションの練習ができるグループ学習室、学生の文章作成サポートを行うライティングサポートセンターを開設（2019 年度）し、ラーニングコモンズとしての機能を充実させた。これらの施設は本学部の学生も自由に利用ができる。

また、図書館内には、OPAC（オンライン蔵書検索システム）として PC7 台を閲覧室及び書庫に設置し、蔵書及び電子リソースの検索を効率的に行える。その他、館内メディアラボに、学内の利用者が自由にログインして使用できるオープン PC を 24 台設置している。

③他大学図書館等との連携について

国立情報学研究所の図書館間相互貸借システム NACSIS-ILL に参加し、他大学の図書館と図書の相互貸借、文献複写サービスを実施している。さらに、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）に加盟しており、電子ジャーナルなどの学術情報の安定的・継続的確保につとめている。

その他、和洋女子大学図書館及び千葉県市川市立図書館と相互利用提携に関する協定を結んでいる。

13. 管理運営

(1)教授会

「千葉商科大学の教授会に関する規程」に基づき、本学部の適正な運営のために教授会を置き、当該学部に所属する教授、准教授、専任講師及び助教をその構成員とする。議長は学部長が務め、構成員の 2 分の 1 以上の出席により成立し、原則として毎月 1 回開く。

また、次の事項につき、審議決定を行い、学長に具申するものとする。

①学部の教育及び研究の方針に関する事項
②教育課程、試験及び単位認定に関する事項
③学生の入学、卒業及び学位の授与に関する事項
④学生の賞罰に関する事項
⑤学生の福利厚生に関する事項
⑥学部教員の人事に関する事項
⑦学部長の選出に関する事項
⑧学部の教育及び研究に必要な予算の請求に関する事項

⑨学部教授会内の各種委員会設置に関する事項
⑩学部教授会の運営に関する事項
⑪その他教学に関し学部教授会が必要と認めた事項

(2)学部内委員会

本学部の機能を最大限発揮し、研究・教育の発展に寄与するために、教授会のもとに次の委員会を設置する。各委員会は適切な権限委譲を前提に事務局と連携して運用する体制を確立する。教授会での審議報告はこれらの委員会を基盤とする。

①学部運営委員会（学部運営全般、学長、全学部長会及び理事会への提案意見のとりまとめ等）
②カリキュラム関連委員会（カリキュラムの運営、教育内容の点検改善等）
③入試関連委員会（入学者募集、学外広報、地域連携広報等）
④公務員委員会（学部プロジェクト及び面接対策含む各種公務員養成支援等）
⑤FD委員会(FDの企画及び実施､FD活動に関する報告書等の作成及び公表等)

14. 自己点検・評価

(1)自己点検・評価の実施体制

本学は自己点検・評価について、大学学則第1条の2にて「本学は、教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と規定している。

自己点検評価の体制に関しては、「学校法人千葉学園自己点検・評価に関する規程」を制定し、その目的を本学園の理念・目的及び社会的使命を達成すると定めている。同時に、自己点検・評価を行うための統括組織として、学校法人千葉学園自己点検・評価委員会（以下、自己点検・評価委員会という）を設置している。構成員は、理事長が委員長となり、職制として、常務理事、学長、副学長、基盤教育機構長及び学部長、大学院研究科委員長及び研究科長、法人事務局長、法人本部長、大学本部長、法人副本部長、大学副本部長、職員部長の他、理事長が指名する教職員が構成員となり、法人、教学一体となった組織の下、学園全体で自己点検・評価に取組む体制を整えている。

(2)自己点検・評価の実施方法・項目

本学は、「学校法人千葉学園自己点検・評価に関する規程」に規定されているとおり、自己点検・評価委員会のもと、自己点検及び評価を7年ごとに行い、その結果を自己点検評価報告書としてまとめることとし、本学独自の自己点検・評価報告書を作成している。直近では2021年度に実施している。自己点検・評価報告書は本学Webサイトに掲載し、広く社会に公表している。

①自己点検・評価の具体的な進め方

自己点検・評価委員会のもと、基準別責任者を中心に自己点検・評価を行っている。具体的には、基準ごとに責任者、副責任者のほか担当部長を設定し、大学内の各担当部局が協力して点検・評価及び評価報告書の作成を担っている。また、評価報告書の内容は自己点検・評価委員会において確認を行い、機関決定している。

なお、2021年度の自己点検・評価並びに報告書作成にあたっては、自己点検・評価委員会として、自己点検・評価の目的や自己点検において重視する点等の共通認識を設定し、この共通認識のもとで自己点検・評価を行った。

点検・評価により確認された課題等については、基準別責任者のもと各担当部局が対応し、自己点検・評価委員会にも共有を行っている。

②点検項目

2021年度の自己点検・評価並びに報告書作成にあたっては、翌年度に受審する大学機関別認証評価を視野に入れ、日本高等教育評価機構の定める「評価基準」、「評価の視点」、「評価の視点に関わる自己判定の留意点」に基づき、点検項目を設定している。

なお、基準1～6は日本高等教育評価機構が定めるもの、基準Aは大学独自の基準である。

基準1.使命・目的等
基準2.学生
基準3.教育課程
基準4.教員・職員
基準5.経営・管理と財務
基準6.内部質保証
基準A.地域連携・社会貢献

(3)大学機関別認証評価の受審

本学は、日本高等教育評価機構により、過去 3 度の大学機関別認証評価を受審し、いずれも認定をされている。また、評価の結果や自己点検・評価報告書は本学 Web サイトに掲載し、広く社会に公表している。

本学における学部、研究科等の設置・改編やカリキュラム改革、組織・制度をはじめとする大学改革の一連の動きは、自己点検・評価を契機として進められている。直近では、2014 年度の自己点検・評価並びに 2015 年度の大学機関別認証評価結果等を踏まえ、大学共通の基盤教育について検討し、2019 年 4 月に基盤教育機構を設置した。2022 年度の大学機関別認証評価の結果においては、自己点検・評価委員会のもと、本学の優れた点、参考意見を含めて評価結果並びに課題点への本学の対応状況について学内教職員に共有した。具体的には、評価結果を受けて全学 FD・SD 委員会を設置すると共に、本学の FD・SD を再定義し、体系的な研修実施の体制を整備する等、評価結果を踏まえ、さらなる教育研究の充実・発展に取組んでいる。

(4)中期経営計画に基づく点検・評価

報告書という形で自己点検・評価を行うのは 7 年ごとではあるが、毎年度、教育・研究・社会連携領域をはじめとする中期経営計画についてその進捗状況や点検・評価を行っており、当該中期経営計画と連携・連動する形で自己点検・評価を進めている。

(5)アセスメント・ポリシーに基づく点検・評価

大学全体としての内部質保証の実施は、理事会の下に設置された千葉商科大学教育改革本部（以下、教育改革本部という）が中心となって担当する。教育改革本部は、学長を本部長とし、本部長たる学長が理事及び自己点検・評価委員を兼ねることで、理事会並びに自己点検・評価委員会との情報共有・連携を図っている。

教育改革本部は、大学の教育及び学生支援等に関する方針の策定、点検・評価、課題解決に向けた検討、その他、大学の教育及び学生支援等に関連する事項について取扱う組織である。教育改革本部において、アセスメント・ポリシーを策定し、毎年度アセスメント・ポリシーに基づく点検・評価を行い、教育活動の継続的な改善を行っている。また、包括協定を締結している千葉県市川市に、毎年度、三つのポリシーに基づく本学の取組みに対する評価を依頼し、学外の評価・意見を取り入れた点検・評価を行っている。

本学のアセスメント・ポリシーでは、「教育の質の保証を目的として、三つの

ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に基づく取組みとその教育成果について、全学部共通指標と部局別指標を設け、定期的に点検・評価を行い、教育活動の継続的な改善を行う」こととしており、学生の卒業時、在学中、入学時の各段階における質の保証のため、各段階において、点検・評価の項目、達成すべき水準及び点検・評価の具体的な方法を定めている。全学部共通指標では、以下の項目、達成すべき水準等を定めている。

①入学時
修得単位数(初年次春学期)
累積 GPA(初年次春学期)
②在学中
＜授業科目レベル＞
授業評価アンケート結果(授業満足度)
授業評価アンケート結果(到達目標達成度)
＜教育課程レベル＞
カリキュラム編成
修得単位数
累積 GPA
③卒業時
就職率(就職希望者分母)
成長実感
標準修業年限卒業率

この全学部共通指標と、基盤教育機構及び学部ごとに定める部局別指標に基づき、それぞれが点検・評価を行い、その結果を点検・評価・アクションプラン報告書に取りまとめ、教育改革本部に報告することとしている。さらに、学長及び副学長（教学担当）は、基盤教育機構及び各学部が作成した点検・評価・アクションプラン報告書に対してフィードバックを行うこととしており、これにより点検・評価・改善のサイクルを構築している。

15. 情報の公表

(1)情報公表の方針・考え方
本学では、学校教育法第 113 条及び学校教育法施行規則第 172 条の 2 に対応

して、建学の精神・大学の基本理念及び使命・目的を明確にし、教育機関として社会的責務を果たすために、情報の公表に取り組んでいる。

(2)情報公表の方法

学校教育法施行規則第 172 条の 2 に定める教育研究活動等の状況に関する情報については、大学ホームページの情報公開ページ及び基本情報ページ、並びに志願者向けホームページを中心に、すべて公表している。公表している情報は以下に示す通りである。

なお、公式ホームページは経営企画室広報グループにて、志願者向けホームページは入試広報課にてそれぞれ随時情報を更新している。

【公式ホームページ】
https://www.cuc.ac.jp/

■情報公開ページ
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/index.html
■基本情報ページ
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/outline/index.html

【志願者向けホームページ(CUC-NAVI)】
https://www.cuc.ac.jp/prospective/index.html

(3)情報公表の項目

①大学の教育研究上の目的及び 3 つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に関すること

情報公開ページにおいて、大学の教育研究上の目的、及び学部・学科・課程等の 3 つのポリシーに関する内容を公表している。

■教育研究上の目的
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/e_disclosure/mstsps000002061f-att/mokuteki2020.pdf
ホーム > 大学概要 > 情報公開 > 学校教育法に基づく情報公開(PDF リンク)

■3 つのポリシー
・建学の趣旨、建学の精神、3 つのポリシー
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/policy/index

.html

・3つのポリシー（商経学部）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/policy/index.html

・3つのポリシー（商学科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/policy/commerce.html

・3つのポリシー（経済学科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/policy/economics.html

・3つのポリシー（経営学科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/policy/business.html

・3つのポリシー（政策情報学部）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/seisaku/policy/index.html

・3つのポリシー（サービス創造学部）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/service/policy/index.html

・3つのポリシー（人間社会学部）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/ningenshakai/policy/index.html

・3つのポリシー（国際教養学部）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/fgs/policy/index.html

・3つのポリシー（博士課程　政策研究科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/policyinformatics/policy/index.html#diploma

・3つのポリシー（修士課程　商学研究科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/policy/index.html#diploma

・3つのポリシー（専門職学位課程　会計ファイナンス研究科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/accounting/policy/index.html#diploma

②教育研究上の基本組織に関すること
情報公開ページにおいて、大学事務局及び学部・課程等の組織構成を公表している。

■組織図(学校構成)
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/outline/organization/index.html

③教育研究実施組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
基本情報ページ及び情報公開ページ、ならびに研究者データベース上にて、教学関連役職者及び教員数、ならびに教員一覧（各教員が有する学位及び業績を含む）について公表している。

■役職一覧
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/outline/board/index.html

■教員数
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/outline/data/index.html#i-02

■各教員が有する学位及び業績（教員一覧）
https://portal.cuc.ac.jp/kg/japanese/index.html

④入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

情報公開ページ及び受験生向けホームページにおいて入学者に関する受入方針（アドミッションポリシー）を、受験生向けホームページにおいて直近5年分の入学者の数を公表している。
その他、情報公開ページにおいて、収容定員、在学する学生の数、卒業者数、進学者数、就職者数をそれぞれの項目に分けて公表している。
就職実績については、情報公開ページ及び受験生向けホームページにて、学部別・業種別の就職状況を公表している。

■入学者に関する受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

・学部

https://www.cuc.ac.jp/prospective/admission/ap/index.html

・大学院

https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/prospective/policy/index.html

■入学者の数

・学部

https://www.cuc.ac.jp/prospective/admission/data/index.html

・大学院

https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/prospective/pastdata/index.html

■収容定員、在学生数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数

https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/outline/data/index.html#ii-05

■その他進学及び就職等の状況に関すること

・就職実績

https://www.cuc.ac.jp/career/jobdata/index.html

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

情報公開ページにおいて、教育課程に関する情報を学部・学科・課程毎に公表している他、授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関して、公表している。

■授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

・シラバス・時間割

https://www.cuc.ac.jp/campus/syllabus/index.html

■教育課程に関する情報

・商経学部

https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/sys/index.html

・商学科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/sec/commerce/index.html
・経済学科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/sec/economics/index.html

・経営学科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/sec/business/index.html

・政策情報学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/seisaku/sys/index.html

・サービス創造学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/service/sys/index.html

・人間社会学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/ningenshakai/sys/index.html

・国際教養学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/fgs/sys/index.html
・博士課程　政策研究科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/policyinformatics/curriculum/index.html

・修士課程　商学研究科　商学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/commerce/curriculum/index.html

・修士課程　商学研究科　経済学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/economics/curriculum/index.html

・修士課程　商学研究科　政策情報学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/seisaku/curriculum/index.html

・専門職学位課程　会計ファイナンス研究科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/accounting/sys/index.html

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

情報公開ページにおいて、学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準を学部・課程毎に設けて公表している。また、ディプロマ・ポリシーについては前述の通り、情報公開ページにて学部・学科・課程毎に公表している。

■卒業又は修了の認定に当たっての基準
・商経学部（商学科・経済学科・経営学科）
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/sys/degree/index.html

・政策情報学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/seisaku/sys/degree/index.html

・サービス創造学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/service/sys/degree/index.html

・人間社会学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/ningenshakai/sys/degree/index.html
・国際教養学部
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/fgs/sys/degree/index.html

・博士課程　政策研究科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/policyinformatics/granting/index.html

・修士課程　商学研究科　商学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/commerce/degree/index.html

・修士課程　商学研究科　経済学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/economics/degree/index.html

・修士課程　商学研究科　政策情報学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/seisaku/degree/index.html

・専門職学位課程　会計ファイナンス研究科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/accounting/sys/gakui/index.html

⑦校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

情報公開ページにおいて、キャンパス概要に関する情報項目を設け、所在地及びアクセス、キャンパスマップ、校地及び校舎面積、情報基盤に分類し、公表している。なお、付属図書館に関連する項目（施設・設備・蔵書数）については別途ホームページを設け、公表している。また、学生の教育研究環境に関連する事項として、海外協定校についても一覧化し、公表している。

■校地・校舎等の施設
・キャンパスマップ（市川キャンパス）
https://www.cuc.ac.jp/access/maps/index.html

・キャンパス・アクセス
https://www.cuc.ac.jp/access/index.html

■学生の教育研究環境
・校地及び校舎面積
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/e_disclosure/mstsps00000206lf-att/kouchi2023.pdf

・耐震化率
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/e_disclosure/mstsps000002061

f-att/cuc_seismic_2023.pdf

・インフラ・設備
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/facilities/index.html

・付属図書館
https://www.lib.cuc.ac.jp/guide/shisetsu/gaiyo

・協定校一覧
https://www.cuc.ac.jp/global_edu/partner_sch/index.html

⑧授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

情報公開ページにおいて、学費（入学金・授業料等）の項目を設けるとともに、学部については受験生向けホームページにおいて、大学院については大学ホームページにおいて、入学金、授業料、受託徴収金を公表している。

■入学金・授業料
・学部
https://www.cuc.ac.jp/prospective/expenses/fee_dpt/index.html
・大学院
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/expenses/fee_grad/index.html

⑨大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

情報公開ページにおいて、学生サポートに関する情報の項目を設け、学習について、生活について、資格・就職・進学について、学費・支援制度、施設利用、課外活動、留学生サポートに分類し、それぞれ情報を公開している。

■学習について
https://www.cuc.ac.jp/campus/learning/index.html

■生活について（健康サポートを含む）
https://www.cuc.ac.jp/campus/life/index.html

■資格・就職・進学について
・資格取得

https://www.cuc.ac.jp/career/licence/index.html

・就職サポート

https://www.cuc.ac.jp/career/support/index.html

■学費・支援制度

・学部

https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/index.html

・大学院

https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/expenses/index.html

■施設利用

https://www.cuc.ac.jp/campus/affairs/facilities/index.html

■課外活動

・学生団体・部活動

https://www.cuc.ac.jp/campus/activity/club/index.html

・学生ボランティア

https://www.cuc.ac.jp/social_contribution/volunteer/index.html

■留学生サポート

https://www.cuc.ac.jp/global_edu/foreignstudents/index.html

⑩その他

情報公開等のページにて、以下の通り情報の公表を行っている。

■寄附行為

https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/s_disclosure/mstsps00000206ye-att/cuc_kifukoi.pdf

■学則

・千葉商科大学学則

https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/e_disclosure/mstsps000002061f-att/gakusoku_daigaku_20230401.pdf

・千葉商科大学大学院学則
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/e_disclosure/mstsps00000206lf-att/gakusoku_daigakuin_20230401.pdf

・千葉商科大学専門職大学院学則
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/e_disclosure/mstsps00000206lf-att/gakusoku_senmonsyokudaigakuin_20230401.pdf

■事業計画、事業報告、財務情報等
・統合報告書
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/activity/integratedreport/index.html

・中期経営計画、事業計画、事業報告、財務情報
https://www.cuc.ac.jp/chibagakuen/data/index.html

■評価
・大学機関別認証評価（2008 年度、2015 年度、2022 年度の受審における、自己点検評価書・自己評価報告書・機関別認証評価結果）
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/evaluation/jihee/index.html

・分野別認証評価(専門職大学院) 評価報告書
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/evaluation/aopas/index.html

・千葉商科大学自己点検・評価報告書
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/evaluation/selfcheckevaluation/index.html
・アセスメント・ポリシー
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/activity/assessment_policy/index.html

■コンプライアンス等に関する情報
https://www.cuc.ac.jp/chibagakuen/compliance/index.html

■ガバナンス・コード
・ガバナンス・コード

https://www.cuc.ac.jp/chibagakuen/data/tirrdn00000003bl-att/governance_code001.pdf

・ガバナンス・コードにかかる順守状況等に関する報告書（2021年度、2022年度）
https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/data/s_disclosure/mstsps00000206ye-att/governance_report_r3.pdf
https://www.cuc.ac.jp/chibagakuen/data/tirrdn00000003bl-att/governance_report_r2.pdf

■専門職大学院における関係者との協力の状況
・専門職学位課程　会計ファイナンス研究科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/accounting/tokushoku/index.html
（ページ下部「教育課程連携協議会」の項目を参照）

■学位論文に係る評価に当たっての基準
・博士課程　政策研究科
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/policyinformatics/evaluation/index.html

・修士課程　商学研究科　商学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/commerce/evaluation/index.html

・修士課程　商学研究科　経済学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/economics/evaluation/index.html

・修士課程　商学研究科　政策情報学コース
https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/graduate_sch/master_prog/course/seisaku/evaluation/index.html

16. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

(1)研修を実施する体制について

本学では、大学設置基準に基づき、FD（Faculty Development）及び SD（Staff Development）を以下の通り定義している。

①FD の定義

学生に対する教育の充実、並びに教員の教育力の向上を目的とした、授業の内容及び方法を改善するための組織的な研修及び研究。（対象者：教員）

②SD の定義

教育活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修。ただし、FD に該当する研修及び事務職員研修規程に定める研修は除く。(対象者：教員及び事務職員)

2020 年度には、「専任教員の能力向上の目標・方針」及び「専任教員に求める資質・能力」を定め、これらに基づく体系的な FD や SD を実施していくこととしている。

FD、SD の実施にあたっては、学長を委員長とし、副学長、基盤教育機構長、学部長、研究科長、大学本部長及び大学副本部長を構成員とする全学 FD・SD 委員会を組織し、「全学 FD・SD 委員会規程」に則り、毎年度 FD・SD の企画、実施、点検評価を行っている。

(2)研修実施計画について

授業全体の質向上のために、毎年度本学専任教員を対象として、効果的な授業手法を共有する FD を実施する。（非常勤教員は任意参加とする。）FD の講師は、本学教員のうち、授業評価アンケートにおいて高満足度であった授業や、「他の授業でも取り入れてほしいと感じたことがあったか」という設問において高評価であった授業の担当教員に依頼する。

直近の例として、2023 年度は「ICT ツールを活用した、学生の主体性向上を促す双方向授業に関する事例共有 FD」をテーマに、効果的なオンデマンド動画の作成手法や、面接授業におけるクリッカー機能の活用例など、学生の主体性を向上させるような授業設計の工夫を共有し、授業全体の質向上を図った。

(3)その他の取り組み

授業の内容及び方法を改善するための組織的な取り組みとして、研修以外には以下の通り行うこととする。

①授業評価アンケートに基づく対応について

教育方法の改善・工夫・開発のための組織的な取組みとして、毎学期終了時に

実施している学生向けの授業評価アンケート結果の活用を行う。具体的には、授業評価アンケートの満足度の項目において、一定の基準以下の授業の担当教員には、教育改革センター委員を通じて各学部等の教員によるヒアリングや注意指導、あるいは教育改革センター長による通知により改善を促す。また、学生の自由記述内容の確認を行い、不適切な言動等について指摘のあった授業の担当教員には、教育改革センター委員を通じてヒアリングや注意指導を行い、改善を促す。

②第三者によるシラバス点検について

授業のシラバスについて、シラバスの手引きを作成し、シラバスの役割や各項目における留意事項等を共通認識とし、授業の質の担保を図っている。また、各授業担当教員がシラバスを作成した後、各学部のカリキュラム関連委員などの第三者による点検を行っている。点検項目としては、学生に分かりやすい内容となっているか、事前事後学修の内容と時間が明記されているか、複数の異なる教員により行われる科目において「科目の到達目標」が共通の内容となっているか、などが挙げられる。

また、授業実施後は授業評価アンケートにて授業がシラバスに沿って、計画通りに授業が行われているかどうかを確認する。

17．社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

本学では、学生の社会的・職業的な自立を図るための能力育成について、教育課程内では主に基盤教育機構の自分未来ゼミ、生涯ケア科目群、アドバンスト科目群のキャリア分野のカリキュラムによってキャリア形成を行うこととしている。また、教育課程外では、キャリア支援センターが中心となり、就職活動全般の支援を行っている。

(1)教育課程内の取組について

①自分未来ゼミ

初年次でのキャリア観育成を目的とした必修科目の自分未来ゼミでは、卒業後の進路を見据え、大学 4 年間の学びを具体的に自分で組み立て、目標設定を行う。また、卒業後も自立的に成長し続ける力を身につけさせるために、主体的な意識と動機づけを体験的な学びから学修させる。そのために授業では、社会で活躍する企業人をゲストスピーカーとして話を聞く機会を作り、企業や社会を知るとともに、インタビューやグループディスカッション、プレゼンテー

ションの基本的な手法を学ぶ。

②生涯ケア科目群

生涯にわたる健康管理や金融リテラシーなどの、人生 100 年時代を豊かにするための基礎的知識を養うため、生涯ケア科目群を設置している。さらにキャリア科目、健康管理という分野を設定し、それぞれ以下のようなカリキュラムを設計している。

ア．キャリア科目

変化の激しい現代社会において、ライフスペース、ライフステージの変化に合わせて自分の価値観、強みを活かしキャリアを形成するための知識と能力を身につけるために段階的かつ多様なカリキュラムを編成し実践する。必修科目として設置する生活と金融リテラシーI では、豊かな人生を築くためのライフプランを設計できるような、基本的なマネープランに関する基礎知識の修得と倫理的理解を目的としている。

また、選択科目として、キャリア入門、就業力実践等の科目を開講し、自分の適性を知った上で、働く際に必要とされる知識・スキル・姿勢を身につける機会を設けるとともに、大学生活、その後の人生における成長のためのプランづくりを行う。

イ．健康管理

健康科学、健康・スポーツ演習などの選択科目を開講し、人生 100 年時代を豊かにするために欠かせない自立的な健康管理についての基礎知識を身につけさせる。

ウ．アドバンスト科目群 キャリア分野

アドバンスト科目群では、100 年に一度の変化が毎年起こる時代、ロールモデル像が更新され続ける時代を生き抜くためのキャリア観、スキルとマインドを育てることを目的とし、選択科目を設置する。前述した必修科目の自分未来ゼミやキャリア科目に加え、さらに意欲の高い学生を対象としたカリキュラムとして展開する。

具体的には、「業界・企業を知る」「社会を知る」「自分を知る」「ロールモデルと出会う」「圧倒的な成長を実現する」などの領域に分け、キャリア形成論、ディーセント・ワーク論、社会実践論、業界・企業研究 A などの科目を設置する。

(2)教育課程外の取り組みについて

本学がこれまでに築いてきた企業、地域との連携は、学生のキャリア教育においても貴重な資源である。特に学生が職業に興味をもち、働くことの意味を理解できるような環境を整備するため、学生の社会的・職業的な自立を図るための支援組織である事務部署キャリア支援センターが中心となって、具体的に次のような取り組みを展開している。

①2 つの産学連携ネットワーク

1 つは、本学の人材育成に関心のある企業を「CUC アライアンス企業」と位置づけ、1000 社を超えた連携を行っている（2024 年 4 月現在)。もう 1 つは、事業優位性や働きやすさ、SDGs の取り組みに強みのある企業を「CUC ミライアンス企業」と位置付け、100 社を超えた連携を行っている（2024 年 4 月現在)。

本学卒業生の活躍や、大学と連携を結んでいる企業群であること等から、学生の企業研究に役立っているほか、イベント等での企業から学生へのフィードバックなど教育的支援も得られ、キャリア支援の重要な取り組みとなっている。また、例年約 3 割の学生が連携企業に就職している。

本学と CUC アライアンス企業・CUC ミライアンス企業との密接な交流の仕組みづくりについては、講師派遣などの教育支援、インターンシップ等の受け入れ、本学開催の模擬面接会や会社説明会及び学内選考会、連携企業限定のイベント運営（CUC アライアンス企業フォーラム、CUC ミライアンス企業シンポジウム)、本学独自開発の就職マッチング支援サイト「me R AI（みらい)」などを通じて、今後さらに発展させていく。

②新入生ガイダンス

入学直後のオリエンテーション期間に、新入生向けにキャリアガイダンスを実施している。内容は、学生が自分の進路を考える上で 4 年間の大学生活をどのように組み立て過ごすことが重要であるかの説明や、キャリア支援センター等学内施設の利用方法案内、Web ツールを用いた興味・適職診断を実施し、個々の就業意識の芽生えと意識醸成を図っている。

③キャリア支援、就職支援に関するガイダンスやイベントの実施

主に 3 年次から就職活動の準備となる、就職活動全体の流れ、自己分析、企業研究、書類対策、面接対策等のガイダンスを実施している。内定者インタビュー動画投影や、一部のガイダンスには企業登壇もいただき、より具体的な話を聞ける機会を設けている。また、インターンシップ等を実施する企業を学内に招き、プログラム説明や適職発見に向けた業界説明等も実施している。

3 年次 3 月からは、学内企業説明会及び学内選考会を実施している。前述の連携企業を含む幅広い業界の企業による出展のほか、UI ターン就職支援として、全国 14 の自治体（2024 年 4 月現在）と協定を結び、各自治体から学生に対し

て企業情報等の提供や就職活動への支援をいただいている。
その他、全学年対象の支援として、各種キャリアガイダンスや、主に書類添削・面接練習など進路に係る個別相談を実施している。
④本学独自開発ツールの運用
本学独自開発のツール 3 点を運用し、学生のキャリア支援を実施している。
一つ目は、就職マッチング支援サイト「me R AI（みらい)」で、学生の自己分析や企業研究、オファー機能を活用したマッチング支援を実施している。二つ目はキャリアスキルシート「AKINAI」で、本学が定める能力要素がどの程度身についたか可視化することにより、自己分析や企業へのアピール材料として活用できるようにしている。三つ目は「就活手帳」で、就職活動全体の流れや、各項目で注意する点などが全てまとまっており、学生はハンドブックとして活用している。

(3)適切な体制の整備について
①キャリア支援センター
学生の社会的・職業的な自立を図るための支援組織として、センター長、課長、主任、一般職員で構成されている。その他、個別相談を担当するキャリアアドバイザーを業務委託にて配置している。
前述の（2）①～④の取り組みの他、センター内資料コーナーには求人票、企業パンフレット、参考図書、先輩の就職活動報告書等、各種キャリア支援に関する資料を設置している。あわせて、オンライン選考等に利用できる個室や、学生が自由に使えるフリースペースとプリンターを備えており、多目的に学生が利用できるようにしている。
②キャリアインナー会議
学生の就職支援等に寄与することを目的として、キャリアインナー会議を設置している。
キャリアインナー会議は、キャリア支援センター長、基盤教育機構及び各学部からの代表委員、その他センター長が指名した者で構成され、審議結果は全学部長会に報告等をしている。
③学内事務組織との連携
前述の体制の他、障がい学生支援検討委員会、資格取得支援センター、キャンパスライフセンター、健康サポートセンター等の学内事務組織とキャリア支援センターが連携し、学生の心身の相談を含めた丁寧な支援をできるよう、一体となって体制を整備している。

設置の趣旨等を記載した書類

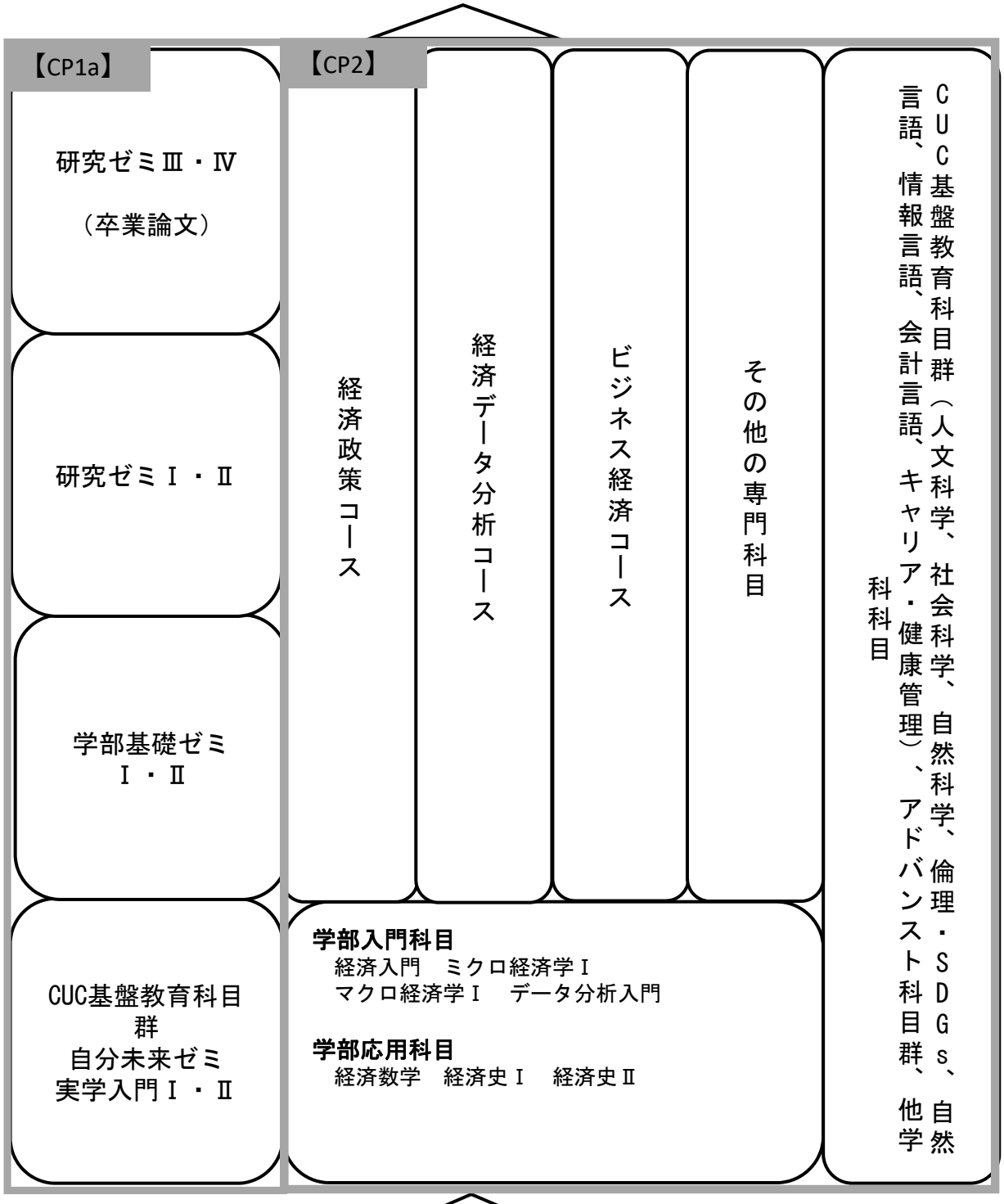
目次

1. カリキュラムマップ（経済学科） ･･･p. 2
2. カリキュラムマップ（政策情報学科） ･･･p. 3
3. コース一覧（経済学科） ･･･p. 4
4. コース一覧（政策情報学科） ･･･p. 5
5. 教育モデル（経済学科） ･･･p. 6
6. 教育モデル（政策情報学科） ･･･p. 7
7. 履修モデル①（経済学科） ･･･p. 8
8. 履修モデル②（経済学科）･･･p. 9
9. 履修モデル③（経済学科） ･･･p. 10
10. 履修モデル①（政策情報学科） ･･･p. 11
11. 履修モデル②（政策情報学科） ･･･p. 12
12. 履修モデル③（政策情報学科） ･･･p. 13

カリキュラムマップ（経済学科）　表1

【DP】社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成

【DP】高い倫理観 、幅広い教養 、経済学を中心とした社会科学の諸分野についての専門的な知識・技能を修得



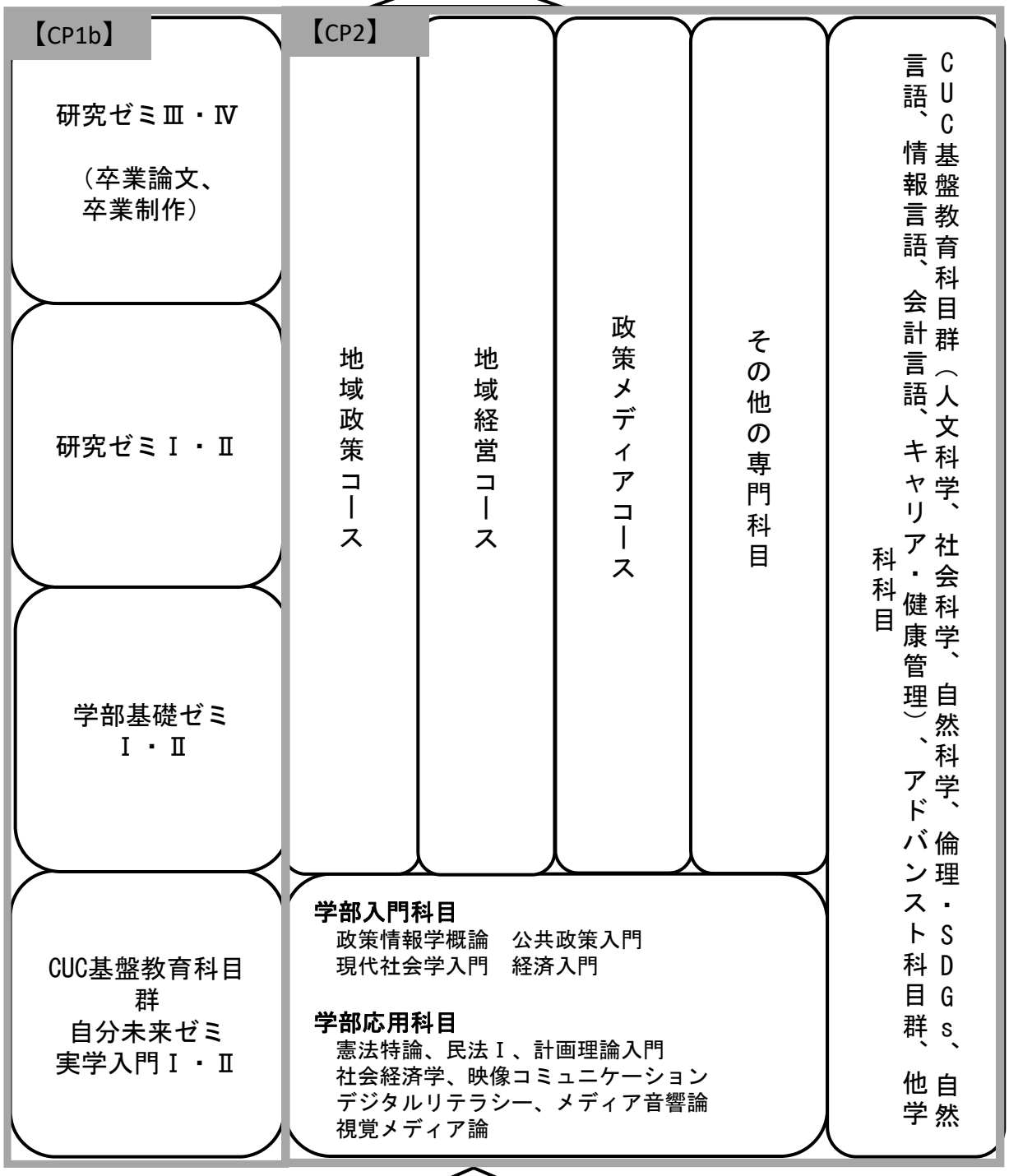
経済学科へ入学

【AP】実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持ち、経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生

カリキュラムマップ（政策情報学科）　表2

【DP】社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成

【DP】高い倫理観 、幅広い教養 、法学・行政学・公共政策・経済学・社会学についての専門的な知識・技能を修得



政策情報学科へ入学

【AP】実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持ち、法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生

【表3】コース一覧（経済学科）

	コース名称	コース概要	想定する就職先等	コース配当科目
経済学科	経済政策コース	経済学の基本的な知識を基礎として、地域、環境、公共、労働、国際など経済・社会の様々な側面において、どのような政策やどのような問題解決方法が考えられるか学ぶ。 一般的な経済学部で開講される科目のうち、政策に関係する科目を集めた、学科の基本となるコースである。 経済政策コースに配当される科目群を履修することによって、政治・行政・環境など周辺領域との関連をふまえつつ、経済・社会の問題を把握し解決する能力を身に付けることが期待される。	一般企業（全般）、公務員（地方自治体、特別区、国家）、非営利団体（社会福祉法人、学校法人、生協等）	経済政策論Ⅰ／経済政策論Ⅱ／公共経済学Ⅰ／公共経済学Ⅱ／財政学Ⅰ／財政学Ⅱ／地方財政論／金融論Ⅰ／金融論Ⅱ／環境経済学／労働経済学Ⅰ／労働経済学Ⅱ／国際経済学Ⅰ／国際経済学Ⅱ／国際金融論Ⅰ／国際金融論Ⅱ／ミクロ経済学Ⅱ／マクロ経済学Ⅱ
	経済データ分析コース	ミクロ経済学、マクロ経済学等の経済学の基本的な知識を基礎として、データを活用した問題把握や計量・数量的な分析、問題の解決について学ぶ。 学生の中でも、数理・統計・情報分野に関心・適性のある者の受け皿となることを想定しており、データサイエンス、EBPMに関する内容を主に扱うコースである。 経済データ分析コースに配当される科目群を履修することによって、経済・社会の問題をデータに基づいて把握し、問題解決を図る能力を身に付けることが期待される。	一般企業（広告、小売、商社、金融、情報通信等のサービス・情報系産業）、公務員（特別区、国家）	経済統計学Ⅰ／経済統計学Ⅱ／計量経済学Ⅰ／計量経済学Ⅱ／計量経済学演習／GIS入門／交通経済学Ⅰ／交通経済学Ⅱ／公共経済学Ⅰ／公共経済学Ⅱ／データビジュアライゼーション／データ分析プログラミング／政策デザイン実践／人間行動論／実験社会科学／行動経済学／ミクロ経済学Ⅱ／マクロ経済学Ⅱ
	ビジネス経済コース	ミクロ経済学、マクロ経済学等の経済学の基本的な知識を基礎として、企業、産業、地域を対象とした経済的な分析、問題解決について学ぶ。 近年、経済学の考え方や分析手法をビジネスに援用する、経済学のビジネス活用が進んでおり、そうした潮流に対応したコースである。学生の中でも、民間志向が強く、商学・経営学にも関心がある学生を想定している。 ビジネス経済コースに配当される科目群を履修することによって、企業、産業、地域を経済的な観点から理解し、問題の把握・解決能力を身に付けることが期待される。	一般企業（製造業、小売、商社、金融等）、自営業、家業の承継等	産業組織論Ⅰ／産業組織論Ⅱ／産業政策論Ⅰ／産業政策論Ⅱ／企業経済学／ビジネスエコノミクス／交通経済学Ⅰ／交通経済学Ⅱ／都市経済学／地域経済論Ⅰ／地域経済論Ⅱ／金融論Ⅰ／金融論Ⅱ／企業金融論Ⅰ／企業金融論Ⅱ／行動経済学／ミクロ経済学Ⅱ／マクロ経済学Ⅱ

【表4】コース一覧（政策情報学科）

	コース名称	コース概要	想定する就職先等	コース配当科目
政策情報学科	地域政策コース	現実社会の多様なステークホルダーと柔軟に対話しつつ、パブリックを先導して改革する実践者となるための専門知識とスキルを修得する。行政関連の法的リテラシーを修得し、公共政策・文化政策・都市政策・環境政策に関する理論と応用を学ぶとともに、フィールドワークや計量分析を通じて政策の影響を把握し、問題発見に結びつける能力を磨く。さらに、地域社会へ参加して、多様なアクターと協力しながら共創的活動を行うことにより、社会を豊かにするパブリック・マインドを培う。	一般企業（全般）、公務員（事務系、公安系）、非営利団体（公益法人等）、環境ビジネス・再生可能エネルギー関係の企業・団体、まちづくりコンサルタント	憲法特論 / 公法各論 / 行政法 / 行政学 / 民法Ⅰ / 民法Ⅱ / 民法Ⅲ / 政治過程論 / 政治学特論 / 公共政策論 / コミュニティ政策論 / 地域分析論 / 地方財政論 / 環境政策論 / 都市政策・計画論 / 環境政策入門 / 都市計画入門 / 地域文化政策論
	地域経営コース	公共政策とまちづくりを体系的に学び、社会全体の利益にもとづいて行動する素養を身につける。ビジネスで必要とされるデジタルリテラシーと社会科学の諸分野を総合的に学ぶことで、経済動向に基づいた意思決定や調査に基づく分析的思考を身につけるとともに、常に変化する社会や地域を俯瞰的に把握して適応する能力を養い、これからの社会で必要となるビジネス洞察力を身につける。	一般企業（製造、卸売、販売、情報通信、サービス業）、公務員（公安系）、非営利団体（公益法人、農協等）	民法Ⅰ / 公共政策論 / 政策分析とシステム思考 / 計画理論入門 / 合意形成論 / 社会心理学 / 人間行動論 / 非営利組織論 / 地域経済論Ⅰ / 地域経済論Ⅱ / 日本経済論 / マーケティング論Ⅰ / AIと社会 / 情報社会 / 行動経済学 / 環境政策入門 / 都市計画入門 / 現代文化論
	政策メディアコース	持続可能なまちづくりのあるべき姿を体系的に学び。フィールドワークを通じて市民・社会の現実を共感的に捉える能力を獲得する。調査とデータにもとづいて現実社会の問題を発見し、AIやデジタル技術を活用した解決策を創造的に提案する能力を養う。マルチメディアを複合的に活用して発信・対話する能力を高めることで、世代や立場の異なる多様な人々と共創しながら地域をプロデュースする技能を修得する。	一般企業（広告・メディア、販売、建設、情報通信、サービス業）、環境ビジネス・再生可能エネルギー関係の企業・団体、まちづくりコンサルタント	公共政策論 / 政策分析とシステム思考 / 社会経済学 / マーケティング論Ⅰ / デジタルツイン景観表現 / AIと社会 / データ分析プログラミング / 政策デザイン実践 / 行動経済学 / プランニングワークショップⅠ / 映像エスノグラフィ / 環境政策入門 / 都市計画入門 / 地域文化政策論 / 現代文化論 / 地域社会と文化 / 広報メディアコミュニケーション / Webとソーシャルメディア

【表5】教育モデル（経済学科）

	経済理論・経済政策		地域・国際経済		経済とビジネス・産業		経済と 歴史・思想	経済とデータ分析
ゼミ科目	学部基礎ゼミⅠ / 学部基礎ゼミⅡ / 研究ゼミⅠ / 研究ゼミⅡ / 研究ゼミⅢ / 研究ゼミⅣ							
専門ユニット群 基礎的な理論・手法に基づき、実際の経済を分析する科目や、応用的な内容、発展的な内容について取り扱う科目群	公共経済 ユニット 公共経済学Ⅰ 公共経済学Ⅱ 公共選択論 環境経済学	経済政策 ユニット 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 地方財政論*	地域経済 ユニット 交通経済学Ⅰ 交通経済学Ⅱ 地域経済論Ⅰ* 地域経済論Ⅱ* 都市経済学 GIS入門	国際経済 ユニット 国際経済学Ⅰ 国際経済学Ⅱ 国際金融論Ⅰ 国際金融論Ⅱ 開発経済論Ⅰ 開発経済論Ⅱ 日本経済論* アジア経済論 アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論	産業経済 ユニット 産業組織論Ⅰ 産業組織論Ⅱ 産業政策論Ⅰ 産業政策論Ⅱ 労働経済学Ⅰ 労働経済学Ⅱ 医療経済学 企業経済学 ビジネスエコノミクス	金融経済 ユニット 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 企業金融論Ⅰ 企業金融論Ⅱ	経済史・思想 ユニット 経済史Ⅰ 経済史Ⅱ 西洋経済史 政治的公正と経済	経済実証 ユニット 経済統計学Ⅰ 経済統計学Ⅱ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 計量経済学演習
基礎理論ユニット群 分析、研究にあたり必要となる基本的な知識、技能を修得するための科目群	経済基礎理論 ユニット ミクロ経済学Ⅱ　マクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅲ　マクロ経済学Ⅲ 経済数学　ゲーム理論　行動経済学 経済シミュレーション							分析手法 ユニット データビジュアライゼーション* データ分析プログラミング* 人間行動論* 実験社会科学* 政策デザイン実践*
学部入門科目（必修）	経済入門* ミクロ経済学Ⅰ*　マクロ経済学Ⅰ*							データ分析入門
科目区分	経済理論・経済政策領域		地域・国際・産業経済領域				経済と歴史 ・思想領域	経済とデータ分析領域

※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表6】教育モデル（政策情報学科）

	行政	経済とAI	地域との共創	まちづくり	メディアコミュニケーション
ゼミ科目	学部基礎ゼミⅠ / 学部基礎ゼミⅡ / 研究ゼミⅠ / 研究ゼミⅡ / 研究ゼミⅢ / 研究ゼミⅣ				
豊かな地域をデザインする力を修得する **創造ユニット群** **新しい時代へ適応するとともに、世代を超えて共感できる政策形成とまちづくりを体系的に学び、これからの社会を豊かにする実行力を身につける。**	公共政策のあるべき姿を構築する **公共政策 ユニット** 政治過程論 政治学特論 公共政策論 コミュニティ政策論 政策分析とシステム思考 地域分析論 計画理論入門 実験社会科学*	AI時代の分析力をつける **AI社会 ユニット** デジタルツイン景観表現 デジタルツイン実践 3次元アバター表現 AIと社会 データ分析プログラミング* データビジュアライゼーション* 情報社会	社会を豊かにする課題解決力をつける **政策情報学 ユニット** 政策デザイン実践* 政策情報学演習 行動経済学 シリアスゲームデザイン サービスデザイン	持続可能で豊かな地域を創造する **地域創造 ユニット** 環境政策論 都市政策・計画論 環境政策入門 地域環境マネジメント 環境アセスメント 都市計画入門	映像を使って共感的に調査・発信する **映像社会学 ユニット** 映像エスノグラフィ 映像コミュニケーション ライフストーリーとメディア論 情報メディア分析論 ビジュアルメディア論 シナリオ・ライティング 音響と文化
まちづくりとビジネスの実践力を修得する **実践ユニット群** **地域と社会に貢献するための専門知識とスキルを獲得し、コミュニケーション・企画プロデュース・課題解決の実践力を修得する。**	行政実務の実践力を身につける **行政実務 ユニット** 政策事情特論 論文作成技法 社会科学特論Ⅰ 社会科学特論Ⅱ 言語表現解釈論Ⅰ 言語表現解釈論Ⅱ	経済とビジネスの洞察力を高める **経済・経営 ユニット** 地方財政論* 地域経済論Ⅰ* 地域経済論Ⅱ* マクロ経済学Ⅰ* ミクロ経済学Ⅰ* 社会経済学 日本経済論* マーケティング論Ⅰ	文化とアートで社会を知る **文化・アート ユニット** 地域文化政策論 現代文化論 地域社会と文化 マルチメディア論 現代アート論 質的調査法	企画を構想しプロデュースする **企画プロデュース ユニット** ソーシャルプロデュース論 メディアプロデュース実践Ⅰ メディアプロデュース実践Ⅱ プランニングワークショップⅠ プランニングワークショップⅡ	情報をわかりやすく伝える **情報デザイン ユニット** 文学表現 情報編集論 批評的思考法 広報メディアコミュニケーション デジタルリテラシー
社会貢献のための基礎力を修得する **基幹ユニット群** **多様な分野の伝統的手法と普遍的学問を総合的に学び、いつの時代でも通用する揺るぎない基礎力を獲得する。**	リーガルマインドを鍛え上げる **法学 ユニット** 憲法特論 公法各論 行政法 行政学 民法Ⅰ 民法Ⅱ 民法Ⅲ	数理と論理を強化する **数的リテラシー ユニット** 数理的思考法Ⅰ 数理的思考法Ⅱ 論理とデータ解釈技法Ⅰ 論理とデータ解釈技法Ⅱ	感性を磨きマルチメディアで人を動かす **感性マルチメディア ユニット** 表象文化論基礎A 表象文化論基礎B 視覚メディア論 MIDIワークショップ メディアワークショップ メディアスタディーズⅠ メディアスタディーズⅡ 音楽と地域文化	社会全体の価値観を把握する **パブリックマインド ユニット** 合意形成論 社会心理学 人間行動論* 非営利組織論 **法学・政治学領域**	Webでコミュニケートする **Webコミュニケーション ユニット** Webデザイン Webとソーシャルメディア アニメーションと社会 メディア音響論
学部入門科目（必修）	公共政策入門	経済入門*	政策情報学概論		現代社会学入門
科目区分	**法学・政治学領域**	**経済学・AI データサイエンス領域**	**社会学領域、および、学問領域を越える多元的共創活動による学びの場**		

※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表7】履修モデル①（経済学科）

コース：経済政策コース

[対象とする学生]
マクロ経済や公共経済に興味を持ち、経済政策を学んで官公庁や一般企業への就職を目指す学生

[卒業後の進路]
官公庁、一般企業、非営利団体

[履修の特徴]
教養に関する科目を基盤教育科目群から幅広く履修
経済政策に関連する科目を専門科目群から履修

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ（必修）	2														
		実学入門Ⅰ（必修）	2	実学入門Ⅱ（必修）	2												
	人文科学	歴史学入門	2	倫理学入門	2							哲学入門	2				
	社会科学			政治学入門	2	国際政治学入門	2			社会学入門	2						
	自然科学			地学入門	2			生物学入門	2								
	倫理・SDGs	環境倫理	2														
	自然言語	英語とその世界（必修）	2	異文化コミュニケーション（英語）	2												
	情報言語	情報入門（必修）	2														
	会計言語	会計リテラシー（必修）	2														
	キャリア・健康管理			生活と金融リテラシーⅠ（必修）	2												
アドバンスト科目群	グローバル																
	情報・データサイエンス																
	キャリア																
	総合教養																
専門科目群	学部入門科目	経済入門（必修）*	2	マクロ経済学Ⅰ（必修）*	2												
		ミクロ経済学Ⅰ（必修）*	2	データ分析入門（必修）	2												
	経済理論・経済政策領域			経済数学	2	**ミクロ経済学Ⅱ**	2	**マクロ経済学Ⅱ**	2	**経済政策論Ⅰ**	2	**経済政策論Ⅱ**	2	**地方財政論***	2	公共選択論	2
						公共経済学Ⅰ	2	**公共経済学Ⅱ**	2	**財政学Ⅰ**	2	**財政学Ⅱ**	2	**環境経済学**	2	経済シミュレーション	2
						ゲーム理論	2			マクロ経済学Ⅲ	2	ミクロ経済学Ⅲ	2				
	地域・国際・産業経済領域					**国際経済学Ⅰ**	2	**国際経済学Ⅱ**	2	**労働経済学Ⅰ**	2	**労働経済学Ⅱ**	2	医療経済学	2		
						金融論Ⅰ	2	**金融論Ⅱ**	2	**国際金融論Ⅰ**	2	**国際金融論Ⅱ**	2				
								日本経済論*	2					アメリカ経済論	2		
	経済と歴史・思想領域					経済史Ⅰ	2	経済史Ⅱ	2	西洋経済史	2	政治的公正と経済	2				
	経済とデータ分析領域					経済統計学Ⅰ	2	経済統計学Ⅱ	2	計量経済学Ⅰ	2	計量経済学Ⅱ	2				
ゼミナール科目群						学部基礎ゼミⅠ（必修）	2	学部基礎ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅠ（必修）	2	研究ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅢ（必修）	2	研究ゼミⅣ（必修）	2
学年合計単位数		36				36				36				16			
履修上限単位数		44				44				44				44			
合計単位数		124															

※太字はコース科目を示す。
※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表7】履修モデル②（経済学科）

コース：経済データ分析コース

[対象とする学生]
経済をデータの観点から分析することに興味を持ち、データに基づく分析手法を学んで官公庁、一般企業への就職を目指す学生

[卒業後の進路]
官公庁、一般企業

[履修の特徴]
情報系科目を基盤教育科目群から履修
情報、データサイエンスに関連する科目をアドバンスト科目群から履修

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ（必修）	2														
		実学入門Ⅰ（必修）	2	実学入門Ⅱ（必修）	2												
	人文科学	社会ネットワーク論	2			哲学入門	2	社会学入門	2								
	社会科学			政治学入門	2												
	自然科学	情報化社会のための数学入門	2			データサイエンス入門	2										
	倫理・SDGs			情報倫理	2												
	自然言語	英語とその世界（必修）	2														
	情報言語	情報入門（必修）	2	情報処理	2	情報科学概論	2	情報実践	2								
	会計言語	会計リテラシー（必修）	2														
	キャリア・健康管理			生活と金融リテラシーⅠ（必修）	2												
アドバンスト科目群	グローバル																
	情報・データサイエンス			データサイエンスのためのプログラミングⅠ	2	データサイエンスのためのプログラミングⅡ	2	社会科学のための情報学特論	2	データサイエンスプロジェクトⅠ	2	データサイエンスプロジェクトⅡ	2				
	キャリア																
	総合教養																
専門科目群	学部入門科目	経済入門（必修）*	2	マクロ経済学Ⅰ（必修）*	2												
		ミクロ経済学Ⅰ（必修）*	2	データ分析入門（必修）	2												
	経済理論・経済政策領域			経済数学	2	**ミクロ経済学Ⅱ**	2	**マクロ経済学Ⅱ**	2	**公共経済学Ⅰ**	2	**公共経済学Ⅱ**	2	マクロ経済学Ⅲ	2	ミクロ経済学Ⅲ	2
						経済政策論Ⅰ	2	経済政策論Ⅱ	2	ゲーム理論	2	**行動経済学***	2			経済シミュレーション	2
	地域・国際・産業経済領域									**交通経済学Ⅰ**	2	**交通経済学Ⅱ**	2				
										産業組織論Ⅰ	2	産業組織論Ⅱ	2				
										日本経済論*	2						
										GIS入門	2						
	経済と歴史・思想領域					経済史Ⅰ	2	経済史Ⅱ	2								
	経済とデータ分析領域					**経済統計学Ⅰ**	2	**経済統計学Ⅱ**	2	**計量経済学Ⅰ**	2	**計量経済学Ⅱ**	2	**計量経済学演習**	2	**人間行動論***	2
						データビジュアライゼーション*	2	**データ分析プログラミング***	2			**政策デザイン実践***	2	**実験社会科学***	2		
ゼミナール科目群						学部基礎ゼミⅠ（必修）	2	学部基礎ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅠ（必修）	2	研究ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅢ（必修）	2	研究ゼミⅣ（必修）	2
学年合計単位数		36				38				34				16			
履修上限単位数		44				44				44				44			
合計単位数		124															

※太字はコース科目を示す。
※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表7】履修モデル③（経済学科）

コース：ビジネス経済コース

[対象とする学生]
産業や地域の経済に興味を持ち、経済とビジネスを学んで一般企業への就職を目指す学生

[卒業後の進路]
一般企業

[履修の特徴]
ビジネス、語学、異文化コミュニケーションに関する科目を基盤教育科目群から履修
企業、産業、地域経済に関連する科目を専門科目群から履修

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ（必修）	2														
		実学入門Ⅰ（必修）	2	実学入門Ⅱ（必修）	2												
	人文科学	歴史学入門	2			哲学入門	2										
	社会科学			政治学入門	2												
	自然科学	地学入門	2														
	倫理・SDGs			ビジネス倫理	2												
	自然言語	中国語とその世界（必修）	2	異文化コミュニケーション（中国語）	2	中国語コミュニケーション入門	2	中国語コミュニケーション基礎	2								
	情報言語	情報入門（必修）	2														
	会計言語	会計リテラシー（必修）	2	簿記特講	2	経理実務入門Ⅰ	2	経理実務入門Ⅱ	2	税務実務入門Ⅰ	2	税務実務入門Ⅱ	2				
	キャリア・健康管理			生活と金融リテラシーI（必修）	2	生活と金融リテラシーII	2			インターンシップ概論	2	就業力実践	2				
アドバンスト科目群	グローバル																
	情報・データサイエンス																
	キャリア																
	総合教養																
専門科目群	学部入門科目	経済入門（必修）*	2	マクロ経済学Ⅰ（必修）*	2												
		ミクロ経済学Ⅰ（必修）*	2	データ分析入門（必修）	2												
	経済理論・経済政策領域			経済数学	2	**ミクロ経済学Ⅱ**	2	**マクロ経済学Ⅱ**	2					**行動経済学**	2		
	地域・国際・産業経済領域					**産業政策論Ⅰ**	2	**産業政策論Ⅱ**	2	**産業組織論Ⅰ**	2	**産業組織論Ⅱ**	2	**都市経済学**	2	アジア経済論	2
								企業経済学	2	**交通経済学Ⅰ**	2	**交通経済学Ⅱ**	2	医療経済学	2	**ビジネスエコノミクス**	2
								日本経済論	2	**企業金融論Ⅰ**	2	**企業金融論Ⅱ**	2	アメリカ経済論	2		
						地域経済論Ⅰ	2	**地域経済論Ⅱ**	2	**金融論Ⅰ**	2	**金融論Ⅱ**	2				
										国際経済学Ⅰ	2	国際経済学Ⅱ	2				
	経済と歴史・思想領域					経済史Ⅰ	2	経済史Ⅱ	2								
	経済とデータ分析領域									経済統計学Ⅰ	2	経済統計学Ⅱ	2				
ゼミナール科目群						学部基礎ゼミⅠ（必修）	2	学部基礎ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅠ（必修）	2	研究ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅢ（必修）	2	研究ゼミⅣ（必修）	2
学年合計単位数		36				36				36				16			
履修上限単位数		44				44				44				44			
合計単位数		124															

※太字はコース科目を示す。
※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表8】履修モデル①（政策情報学科）

コース：地域政策コース

[対象とする学生]
政治と経済に興味を持ち、公共政策を学んで行政や一般企業への就職を目指す学生

[卒業後の進路]
地方公務員、まちづくり関連企業

[履修の特徴]
法学リテラシーを修得した上で、行政と公共政策について幅広く学ぶ

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ（必修）	2	実学入門Ⅱ（必修）	2												
		実学入門Ⅰ（必修）	2														
	人文科学							社会史入門	2					歴史学入門	2	人文地理学入門	2
	社会科学	政治学入門	2	経済学入門	2												
	自然科学					認知心理学入門	2										
	倫理・SDGs									多文化共生社会論	2						
	自然言語	英語とその世界（必修）	2														
	情報言語	情報入門（必修）	2														
	会計言語	会計リテラシー（必修）	2														
	キャリア・健康管理			生活と金融リテラシーⅠ（必修）	2												
アドバンスト科目群	グローバル															多文化ワークショップ	2
	情報・データサイエンス																
	キャリア																
	総合教養																
専門科目群	学部入門科目	政策情報学概論（必修）	2	公共政策入門（必修）	2												
		経済入門*（必修）	2	現代社会学入門（必修）	2												
	法学・政治学領域	民法Ⅰ	2	憲法特論	2	民法Ⅱ	2	行政法	2	地域分析論	2	行政学	2			計画理論入門	2
						民法Ⅲ	2	公法各論	2	論文作成技法	2	政策事情特論	2				
						社会科学特論Ⅰ	2	社会科学特論Ⅱ	2	政治学特論	2	コミュニティ政策論	2				
						言語表現解釈論Ⅰ	2	言語表現解釈論Ⅱ	2	公共政策論	2	政治過程論	2				
	経済学・AIデータサイエンス領域			社会経済学	2	ミクロ経済学Ⅰ*	2	マクロ経済学Ⅰ*	2	地方財政論*	2	地域経済論Ⅱ*	2				
						数理的思考法Ⅰ	2	日本経済論*	2	地域経済論Ⅰ*	2	論理とデータ解釈技法Ⅱ	2				
								数理的思考法Ⅱ	2	論理とデータ解釈技法Ⅰ	2						
	学問領域を越える多元的共創活動による学び					シリアスゲームデザイン	2	政策情報学演習	2								
	社会学領域					地域文化政策論	2	地域社会と文化	2	環境政策入門	2	環境政策論	2				
										都市計画入門	2						
ゼミナール科目群						学部基礎ゼミⅠ（必修）	2	学部基礎ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅠ（必修）	2	研究ゼミⅡ（必修）	2	研究ゼミⅢ（必修）	2	研究ゼミⅣ（必修）	2
学年合計単位数		32				42				38				12			
履修上限単位数		44				44				44				44			
合計単位数		124															

※太字はコース科目を示す。
※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表8】履修モデル②（政策情報学科）

コース：地域経営コース

[対象とする学生]
経済に興味を持ち、データサイエンスを学んで一般企業への就職を目指す学生

[卒業後の進路]
一般企業（製造、卸売、販売、情報通信、サービス業）

[履修の特徴]
経済学関連科目を基盤教育科目群と専門科目群から履修
アドバンスト科目群を用いてデータサイエンスを集中的に学ぶ

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ（必修）	2	実学入門II（必修）	2												
		実学入門 I （必修）	2														
	人文科学					経済思想史入門	2	心理学入門	2	応用心理学入門	2						
	社会科学	経済学入門	2	経済成長と社会問題	2												
	自然科学			データサイエンス入門	2												
	倫理・SDGs							ビジネス倫理	2			情報倫理	2				
	自然言語	中国語とその世界（必修）	2														
	情報言語	情報入門（必修）	2														
	会計言語	会計リテラシー（必修）	2														
	キャリア・健康管理			生活と金融リテラシーI（必修）	2												
アドバンスト科目群	グローバル																
	情報・データサイエンス			データサイエンスのためのプログラミングI	2	データサイエンスのためのプログラミングII	2			データサイエンスプロジェクトI	2	データサイエンスプロジェクトII	2				
	キャリア																
	総合教養																
専門科目群	学部入門科目	政策情報学概論（必修）	2	公共政策入門（必修）	2												
		経済入門*（必修）	2	現代社会学入門（必修）	2												
	法学・政治学領域	民法I	2	計画理論入門	2	地域分析論	2	コミュニティ政策論	2	公共政策論	2	社会心理学	2			政策分析とシステム思考	2
										合意形成論	2	**人間行動論***	2			非営利組織論	2
	経済学・AIデータサイエンス領域					マーケティング論I	2	AIと社会	2			**日本経済論***	2	データビジュアライゼーション*	2		
								情報社会	2	**地域経済論I***	2	**地域経済論II***	2				
								データ分析プログラミング*	2								
						ミクロ経済学I*	2	マクロ経済学I*	2					地方財政論*	2		
	学問領域を越える多元的共創活動による学び									サービスデザイン	2			**行動経済学***	2		
														ソーシャルプロデュース論	2		
	社会学領域					環境政策入門	2	環境政策論	2	都市計画入門	2	地域環境マネジメント	2			都市政策・計画論	2
						地域文化政策論	2			Webとソーシャルメディア	2	環境アセスメント	2			現代文化論	2
ゼミナール科目群						学部基礎ゼミI（必修）	2	学部基礎ゼミII（必修）	2	研究ゼミI（必修）	2	研究ゼミII（必修）	2	研究ゼミIII（必修）	2	研究ゼミIV（必修）	2
学年合計単位数		34				34				36				20			
履修上限単位数		44				44				44				44			
合計単位数		124															

※太字はコース科目を示す。
※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

【表8】履修モデル③（政策情報学科）

コース：政策メディアコース

[対象とする学生]
広報とまちづくりに興味を持ち、一般企業への就職を目指す学生

[卒業後の進路]
広報・メディア関係企業、まちづくり関連企業

[履修の特徴]
わかりやすく伝えるメディア表現技能をコース外の科目で履修
まちづくりの実践力を身につけるための社会学領域のスキルと知識を修得

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
CUC基盤教育科目群	CUCベーシック	自分未来ゼミ（必修）	2	実学入門II（必修）	2												
		実学入門I（必修）	2														
	人文科学	演劇・身体表現論	2			社会ネットワーク論	2	表象文化論	2								
	社会科学					経済成長と社会問題	2	ジャーナリズム論	2								
	自然科学									テクノロジー論	2						
	倫理・SDGs													文化創造論	2		
	自然言語			英語とその世界（必修）	2												
	情報言語	情報入門（必修）	2														
		プログラミング入門	2														
	会計言語			会計リテラシー（必修）	2												
	キャリア・健康管理			生活と金融リテラシーI（必修）	2												
アドバンスト科目群	グローバル																
	情報・データサイエンス					AI概論	2										
	キャリア													イノベーション実践A	2		
	総合教養																
専門科目群	学部入門科目	政策情報学概論（必修）	2	公共政策入門（必修）	2												
		経済入門*（必修）	2	現代社会学入門（必修）	2												
	法学・政治学領域			社会経済学	2					公共政策論	2	コミュニティ政策論	2			政策分析とシステム思考	2
	経済学・AIデータサイエンス領域					ミクロ経済学I*	2	AIと社会	2	マーケティング論I	2					**データ分析プログラミング***	2
								マクロ経済学I*	2	3次元アバター表現	2	デジタルツイン景観表現	2				
	学問領域を越える多元的共創活動による学び					シリアスゲームデザイン	2			メディアプロデュース実践I	2	**政策デザイン実践***	2				
										プランニングワークショップI	2						
	社会学領域	映像コミュニケーション	2	デジタルリテラシー	2	ライフストーリーとメディア論	2	映像エスノグラフィ	2	都市計画入門	2	広報メディアコミュニケーション	2	Webとソーシャルメディア	2	Webデザイン	2
		視覚メディア論	2			メディアワークショップ	2	現代文化論	2	音響と文化	2	ビジュアルメディア論	2	地域文化政策論	2	地域社会と文化	2
						環境政策入門	2	質的調査法	2			情報編集論	2			シナリオ・ライティング	2
						マルチメディア論	2										
ゼミナール科目群						学部基礎ゼミI	2	学部基礎ゼミII	2	研究ゼミI	2	研究ゼミII	2	研究ゼミIII	2	研究ゼミIV	2
学年合計単位数		34				36				32				22			
履修上限単位数		44				44				44				44			
合計単位数		124															

※太字はコース科目を示す。
※*は経済学科と政策情報学科の共通科目を示す。

千葉商科大学　総合政策学部　経済学科・政策情報学科

学生の確保の見通し等を記載した書類

目　　次

（１）新設組織の概要

①新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地、既設組織との関連性）・・p.2

②新設組織の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.2

（２）人材需要の社会的動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析・・・・・・・p.5

②中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析・・・・・p.7

③新設組織の主な学生募集地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.8

④既設組織の定員充足の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.10

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果・・・・・・・・・・・・・p.10

ア．既設組織における取組とその目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.10

イ．新設組織における取組とその目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.13

ウ．当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数・・p.14

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）・・p.15

ア．競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性・・・・・・・・・・p.15

イ．競合校の入学志願動向等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.19

ウ．新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）・・p.19

エ．学生納付金等の金額設定の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.19

③先行事例分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.20

④学生確保に関するアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.20

⑤人材需要に関するアンケート調査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.24

（４）新設組織の定員設定の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.26

（１）新設組織の概要

①-1 新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地、既設組織との関連性）

新設組織名称	入学定員	収容定員	所在地	既設組織との関連性
千葉商科大学 総合政策学部 経済学科	150 人	600 人	千葉県市川市 国府台一丁目 3 番 1 号	商経学部経済学科（入学定員 200 人）を廃止し、総合政策学部経済学科として改組
千葉商科大学 総合政策学部 政策情報学科	150 人	600 人		政策情報学部政策情報学科（入学定員 125 人）を廃止し、総合政策学部政策情報学科として改組

※編入学定員はなし

①-2 収容定員を変更する組織の概要

（名称、入学定員、収容定員、所在地、既設組織との関連性）

新設組織名称	入学定員	収容定員	所在地	既設組織との関連性
千葉商科大学 商経学部商学科	450 人	1,800 人	千葉県市川市 国府台一丁目 3 番 1 号	商経学部商学科（入学定員 430 人）の入学定員変更
千葉商科大学 商経学部経営学科	200 人	800 人		商経学部経営学科（入学定員 180 人）の入学定員変更
千葉商科大学 サービス創造学部 サービス創造学科	230 人	920 人		サービス創造学部サービス創造学科（入学定員 200 人）の入学定員変更
千葉商科大学 人間社会学部 人間社会学科	230 人	920 人		人間社会学部人間社会学科（入学定員 200 人）の入学定員変更

※編入学定員はなし

※既設組織である千葉商科大学国際教養学部国際教養学科（入学定員 75 人、収容定員 300 人）は学生募集を停止する。

②新設組織の特色

新設組織名称	養成する人材像	特色
千葉商科大学 総合政策学部	社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。	千葉商科大学総合政策学部の特色は、現代社会は民間経済と公共の政策・計画で動いており、両者を調和させる施策が必要であるという視点から、本学部では経済と政策を半々に学べる構成としている点である。この点は、経済学を多様な分野のなかのひとつとして扱っている他大学の総合政策学部とは異なる。

		経済学を中心的な学問分野として扱う経済学科と、経済学を多様な学問分野のひとつとして扱う政策情報学科とで構成するが、経済学は、市場経済において実現する資源配分の特徴を明らかにする一方で、よりよい資源配分の実現に資する公共政策のあり方を研究する学問であり、解決すべき課題の設定と解決策の提示に関して有益な示唆を与えることができる。 そのような観点から、二つの学科に共通する必修科目として「経済入門」を配当するとともに、経済学科では経済学の基礎から応用までを体系的に理解するカリキュラムを、政策情報学科では法学、行政学、公共政策、経済学、社会学を横断的に理解するカリキュラムをそれぞれ構築する。そのうえで、各学科の学生が自身の所属しない学科の科目をも履修できるようにすることにより、上記の目的をより深いレベルで達成することを目指す。
千葉商科大学 総合政策学部 経済学科	ミクロ経済学、マクロ経済学などの経済理論の入門科目を出発点として、より高度な理論や応用科目へと学びを進めていきながら、社会科学に関する深い理解を持ち、これを用いて社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力を身に付ける。	経済学を中心として社会科学に関する深い理解を持ち、これを用いて社会の多様な課題について発見・考察し、多角的な視点で経済社会の課題を解決する力を身に付ける。1年次に経済学を理解するための基礎必修科目を配当し、2年次より下記3つのコース選択を可能とするカリキュラムを編成・実施する。各コースにはそのコースの学問領域における選択必修科目を配当する。 （詳細は「設置の趣旨等を記載した書類」参照） **１．経済政策コース** 経済学の基本的な知識を基礎として、地域、環境、公共、労働、国際など経済・社会の様々な側面において、どのような政策やどのような問題解決方法が考えられるか学ぶ。 経済政策コースに配当される科目群を履修することによって、政治・行政・環境など周辺領域との関連をふまえつつ、経済・社会の問題を把握し解決する能力を身に付けることが期待される。

		２．経済データ分析コース ミクロ経済学、マクロ経済学等の経済学の基本的な知識を基礎として、データを活用した問題把握や計量・数量的な分析、問題の解決について学ぶ。経済データ分析コースに配当される科目群を履修することによって、経済・社会の問題をデータに基づいて把握し、問題解決を図る能力を身に付けることが期待される。 **３．ビジネス経済コース** ミクロ経済学、マクロ経済学等の経済学の基本的な知識を基礎として、企業、産業、地域を対象とした経済的な分析、問題解決について学ぶ。ビジネス経済コースに配当される科目群を履修することによって、企業、産業、地域を経済的な観点から理解し、問題の把握・解決能力を身に付けることが期待される。
千葉商科大学 総合政策学部 政策情報学科	法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に理解するとともに、政策と情報及びデジタルメディアを有機的に関連付け、多様性・複雑系・超領域性の特性を持つ実社会において、問題発見・問題解決に取り組み、新しい価値を創出できる人材を育成する。	法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に理解するために、1 年次に基礎科目を必修科目として配当し、2 年次以降に選択可能なコースとして、下記の三つのコースを中心にカリキュラムを組成し、実行する。これらのカリキュラムを通じて、各分野の専門家たちとも協力しながら、社会の多様な課題について発見・考察し、具体的な解決策を導く力を育成する。 （詳細は「設置の趣旨等を記載した書類」参照） **１．地域政策コース** 現実社会の多様なステークホルダーと柔軟に対話しつつ、パブリックを先導して改革する実践者となるための専門知識とスキルを修得する。行政関連の法的リテラシーを修得し、公共政策・文化政策・都市政策・環境政策に関する理論と応用を学ぶとともに、フィールドワークや計量分析を通じて政策の影響を把握し、問題発見に結びつける能力を磨く。さらに、地域社会へ参加して、多様なアクターと協力しながら共創的活動を行うことにより、社会を豊かにするパブリック・マインドを培う。

		２．地域経営コース 公共政策とまちづくりを体系的に学び、社会全体の利益にもとづいて行動する素養を身につける。ビジネスで必要とされるデジタルリテラシーと社会科学の諸分野を総合的に学ぶことで、経済動向に基づいた意思決定や調査に基づく分析的思考を身につけるとともに、常に変化する社会や地域を俯瞰的に把握して適応する能力を養い、これからの社会で必要となるビジネス洞察力を身につける。 **３．政策メディアコース** 持続可能なまちづくりのあるべき姿を体系的に学び。フィールドワークを通じて市民・社会の現実を共感的に捉える能力を獲得する。調査とデータにもとづいて現実社会の問題を発見し､AI やデジタル技術を活用した解決策を創造的に提案する能力を養う。マルチメディアを複合的に活用して発信・対話する能力を高めることで、世代や立場の異なる多様な人々と共創しながら地域をプロデュースする技能を修得する。

（２）人材需要の社会的動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

＜概要＞

2021～2023 年度における新設組織に関連する学問分野での全国･地域別志願者動向および当該組織が育成しようとする能力に対する一般社団法人日本経済団体連合会が期待している能力要素との合致という点を鑑みて、人材需要は十分満たされているものと考えられる。

＜詳述＞

千葉商科大学（以下、本学）が学部設置申請を行う総合政策学部（以下、総合政策学部）および収容定員増加を行う商経学部商学科・経営学科、サービス創造学部サービス創造学科、人間社会学部人間社会学科（以下、既設学部・学科）に関連した学問系統において、全国および首都圏の大学の 2021 年度～2023 年度入学試験志願者状況【資料 1】から志願者動向に関する分析を行った。

当該分野への志願者動向は年度により若干の上下があるものの、全体的なトレンドとしては当該学問分野への志願動向は堅調であり、今後も志願意欲が継続することが見込まれる。

【2023 年度一般選抜志願者における 2021 年度入試との対比】

※（　）内は 2023 年度志願者数における 2021 年度との比較割合を示す。

◆経済学系統（総合政策学部経済学科との関連がある系統）

募集人員→全国、首都圏ともに、微減（98%）。

志願者数→全国、首都圏ともに変わらない（100%）。

実質倍率→全国、首都圏ともに微減

◆総合科学系統（総合政策学部政策情報学科との関連がある系統）

募集人員→微減。全国（98%）、首都圏（95%）

志願者数→減少。全国（96%）、首都圏（93%）

実質倍率→全国は横ばい、首都圏は微増

首都圏は募集人員が減少したことを踏まえると志願者の減少幅は比較的小さい。

◆総合情報学系統（総合政策学部政策情報学科との関連がある系統）

募集人員→全国は微増。首都圏は減少。全国（101%）、首都圏（91%）

志願者数→増加。全国（105%）、首都圏（102%）

実質倍率→全国、首都圏ともに微減。

首都圏は募集人員が減少した中で志願者数は増加しており、総合情報学系統における志望度の高さが継続している。

◆法学系統（総合政策学部政策情報学科との関連がある系統）

募集人員→全国は横ばい。首都圏は微減。全国（100%）、首都圏（99%）

志願者数→減少。全国（97%）、首都圏（92%）

実質倍率→全国、首都圏ともに微減。

◆社会学系統

（総合政策学部政策情報学科および人間社会学部人間社会学科との関連がある系統）

募集人員→全国、首都圏は微減。全国（99%）、首都圏（98%）

志願者数→減少。全国（95%）、首都圏（94%）

実質倍率→全国、首都圏ともに微減。

◆マスコミ系統（総合政策学部政策情報学科との関連がある系統）

募集人員→全国、首都圏ともに増加。全国（109%）、首都圏（106%）

志願者数→減少。全国（92%）、首都圏（92%）

実質倍率→全国、首都圏ともに微減。

◆経営学・商学系統

（商経学部商学科、経営学科およびサービス創造学部サービス創造学科との関連がある系統）

募集人員→全国は横ばい、首都圏は微増（101%）

志願者数→全国は減少（92%）、首都圏は微減（99%）

実質倍率→全国、首都圏ともに微減。

一般社団法人日本経済団体連合会「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（2022 年 1 月 18 日）【資料 2-1】によると、特に期待する能力として、「課題設定・解決能力」が 80.1%、「情報活用能力・データ分析力」13.8%となっている。総合政策学部では、（1）②で記述した通り、経済学・公共政策学・社会学などを通じて社会の多様な課題を考察し、その解決策を導く能力、特に経済学科においては、データ分析手法を通じて課題の考察や解決策を導く力を育成する学部であり、十分社会の期待に応じることができるものである。

また、同アンケートでの「今後、優先的に取り組む教育改革」【資料 2-2】においては、「課題解決型の教育プログラム（PBL）の充実」67.9%、「企業と行政等が連携した実践的な教育プログラムの推進」64.2%が挙げられている。総合政策学部政策情報学科では、近隣の地方自治体をはじめとして、地域住民や官公庁と連携した実践的・主体的な活動を重ねることで、地域社会の豊かさを追求するパブリックマインドを醸成することとしており、社会の要請に十分対応した学びとなっている。

また、本学の学びのスタイルとして「やってみるという学び方」を標榜しており、PBL 型アクティブラーニングや企業・団体との連携によるプロジェクト・ゼミナール活動などを推進している。このような学びを通じ、企業が求める主体的な能力や課題設定・解決能力の涵養を図っており、今後もこのような教育に対する社会的な需要は満たせるものと考えている。

＜資料＞

【資料 1】ベネッセコーポレーション調べ　2021 年度～2023 年度入学試験志願者状況

【資料 2-1】一般社団法人日本経済団体連合会「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（2022 年 1 月 18 日）

【資料 2-2】一般社団法人日本経済団体連合会「今後、優先的に取り組むべき教育改革」（2022 年 1 月 18 日）

②中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

＜概要＞

18 歳人口および進学率の推移データ【資料 3-1～3-8】について分析を行ったところ、募集地域において 18 歳人口減少傾向はあるものの、近隣地域から千葉県内への進学者の流入や大学進学者数全体の増加見込があることを鑑み、今後の本学の入学対象者は十分に存在するものと見込まれる。

・主な募集地域である首都圏の 18 歳人口は全国値を上回る見込である。

・大学進学者の増加傾向があることから、18 歳人口減少フェーズでも大学進学者の減少幅は緩やかであると考えられる。

・首都圏の他県に比較して、千葉県在住者での同一県内進学者が多く、東京都への流出が少ない。また、千葉県については茨城県からの進学者流入が多く、本学の入学者の地域動向とも合致している。

＜詳述＞

・【資料 3-1、3-2、3-3、3-4】において、18 歳人口は 、全国・各エリアで減少。2034 年度予測における千葉県の減少見込幅は 92%（2022 年度との比較）と全国の 89%（同左）をやや上回る。

また、主な募集地域である首都圏においても 96%（同左）と全国での予測より上回っている。特に東京は 102%（同左）と今後も人口滞留が起こる予測のため、志願者獲得の母数は確保できる見通しである。

・千葉県の大学進学率（57.7%）、全国の大学進学率（64.4%）は経年で上昇【資料 3-5、3-6】。また、地元私立大学進学率が 2013 年度から 2022 年度までほぼ横ばい【資料 3-6】である。さらに 18 歳人口は全国で 10,417 人減少（97%）である一方、大学進学者数は全国 12,816 人増（107%）となっている【資料 3-5】。これらの状況を鑑みると、大学進学者の母数は今後も一定数確保できると思われる。

※ （ ）は 2022 年度における 18 歳人口に対する進学者数の割合を示す

・千葉県の大学における県内からの進学者は平均 38.9%（2020 年度から 2022 年度入試受験者全体の占有率）で推移し、東京都以外の首都圏においては、同一県内進学者が多い。東京都への流出者も接している他の県に比べても平均 45.3%（同左）と少ない。

また、茨城県からの千葉県流入が他県に比べて平均 7.7%（同左）と多く、本学への入学者が多い出身地域（別紙 1 参照）とも合致しているところである。【資料 3-7、3-8】

＜資料＞

【別紙 1】　新設組織が置かれる都道府県への入学状況
【資料 3-1】 18 歳人口と大学進学者の推移（全国）
【資料 3-2】 18 歳人口と大学進学者の推移（首都圏）
【資料 3-3】 18 歳人口の指数推移（全国）
【資料 3-4】 18 歳人口の指数推移（首都圏）
【資料 3-5】 18 歳人口・大学進学者数等の 10 ヵ年推移（全国）
【資料 3-6】 18 歳人口・大学進学者数等の 10 ヵ年推移（千葉県）
【資料 3-7】 大学進学者の流出状況
【資料 3-8】 大学進学者の流入状況
※【別紙 1】 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より（出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）は「大学基本調査」より）
※【資料 3-1】～【資料 3-8】文部科学省「大学基本調査」より

③新設組織の主な学生募集地域

＜概要＞

・本学の現状の入学者出身地域と当該地域における人口・進学率予測や近隣都県からの志願者流出入状況、これまでの当該地域からの入学者実績を踏まえると、既設学部も含めて募集地域としては

妥当である。

・本学既設学部・学科である商経学部経済学科、政策情報学部政策情報学科における上記募集地域からの 2022 年度入学者実績を当てはめると、総合政策学部経済学科が 122 人、政策情報学科 129 人が当該地域からの進学者として見込まれる。

＜詳述＞

総合政策学部経済学科および政策情報学科は、既設学部・学科の商経学部経済学科および政策情報学部政策情報学科からの改組であるが、その既設の両学科の過年度入学者数推移によると、首都圏が多くを占め、その他に東北地方を含む各地域から入学者を集めている状況である。【資料 4-1、4-2】

そのような実績から、本学の志願者募集は千葉県をはじめとする首都圏を主な地域とする一方、北海道・東北・甲信越地域も射程に入れており、広報活動もその地域も含めて積極的に展開している。

首都圏においては、今後の 18 歳人口減少幅も小さく【資料 3-3、3-4】、また千葉県内大学への地元大学進学者もここ数年間でも 40%弱を維持していること、千葉県以外の首都圏からの進学者も多少上下はあれども大きな変動が見られないことから【資料 3-5、3-6】、今後もこれらの地域での志願者ニーズは有しているものと考えられる。

また、総合政策学部の開設予定である 2025 年度の首都圏における 18 歳人口は、2022 年度比で 99.0%とさほど変動がないことから【資料 3-1、3-2】、進学率が上昇傾向であることを踏まえると【資料 3-5、3-6】、首都圏からの進学者においては、2022 年度入学者数と同等もしくはそれを上回る志願者を安定的に確保することが十分可能となっている。

本学既設学部・学科である商経学部経済学科は 81.8%、政策情報学部政策情報学科は 86.6%が 2022 年度における全体入学者に占める首都圏（神奈川県除く）からの入学者となっている【資料 4-1、4-2】。

上記の理由から、総合政策学部両学科（いずれも入学定員 150 人）においても、これまでと同じ割合にて志願者が当該地域から集まるものと仮定すると、総合政策学部経済学科が 122 人（81.8%）、総合政策学部政策情報学科が 129 人（86.6%）の入学者を当該地域から集め、入学定員までの残数については、これまでの入学実績に基づき、北海道・東北・甲信越地域からの進学者を見込むことになる。

収容定員増加を行う総合政策学部以外の各学部においても、下記④「既設組織の定員充足の状況」にて述べるように、直近五年間で志願者数・合格者数とも十分有しており【別紙 2】、今後も選抜の機能が低下することなく入学定員を充足できることが見込まれる。また、主たる募集地域においても、進学率や人口動態を鑑みても、志願者を集めるのに十分の母数を有しているので、募集地域設定としては妥当であるという結論に至っている。

＜資料＞

【資料 4-1】千葉商科大学商経学部経済学科入学者の上位 5 都道府県

【資料 4-2】千葉商科大学政策情報学部政策情報学科入学者の上位 5 都道府県

※いずれも千葉商科大学調べ

④既設組織の定員充足の状況

＜概要・詳述＞

【別紙 2】にて示すように、国際教養学部を除く既設学部・学科については、いずれも 2019 年度～2023 年度入試において入学定員を充足している。

上述の通り、これらの学科についてはいずれも 2025 年度より入学定員増加を予定しているが、直近五年間の総合型選抜・一般選抜での志願者実数に占める合格者実数（倍率）において、いずれの学科も総合型選抜は 1.8 倍以上、一般選抜は 2.4 倍以上となっている【別紙 2】ことから、入学定員増加した後も選抜機能が保持されたまま入学定員充足ができるものと考えられる。

また、国際教養学部国際教養学科（2024 年度にて募集停止）においては、2022 年度～2023 年度入試において、入学定員（75 人）が 0.7 倍を下回っているが、新型コロナウイルス禍による国際系学部の不人気が大きな要因として挙げられる。

一方、総合政策学部を始め、本学全ての既設学部・学科においてグローバルの素養を持つ人材育成に必要な要素と捉えており、そのために国際教養学部で培われたメソッドを取り入れたグローバルプログラムを全学にて展開することから、グローバル志向の高校生ニーズも取り込めるものと想定している。

＜資料＞

【別紙 2】既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）　千葉商科大学調べ

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

＜概要＞

・オープンキャンパス、資料請求、Web アクセスによる接点を取り組みの中心として据えている。

・資料請求者の減少、スマートフォン等でのデジタルチャネルによる情報収集が受験生のトレンドであるが、オープンキャンパスへの参加ニーズは不変となっている。

・上記背景のもとで、オンラインを活用したオープンキャンパスや受験生向けの本学 Web サイトをモバイルファーストに仕様変更するなど、新しい受験生のジャーニーマップに対応し得る施策を行った。

＜詳述＞

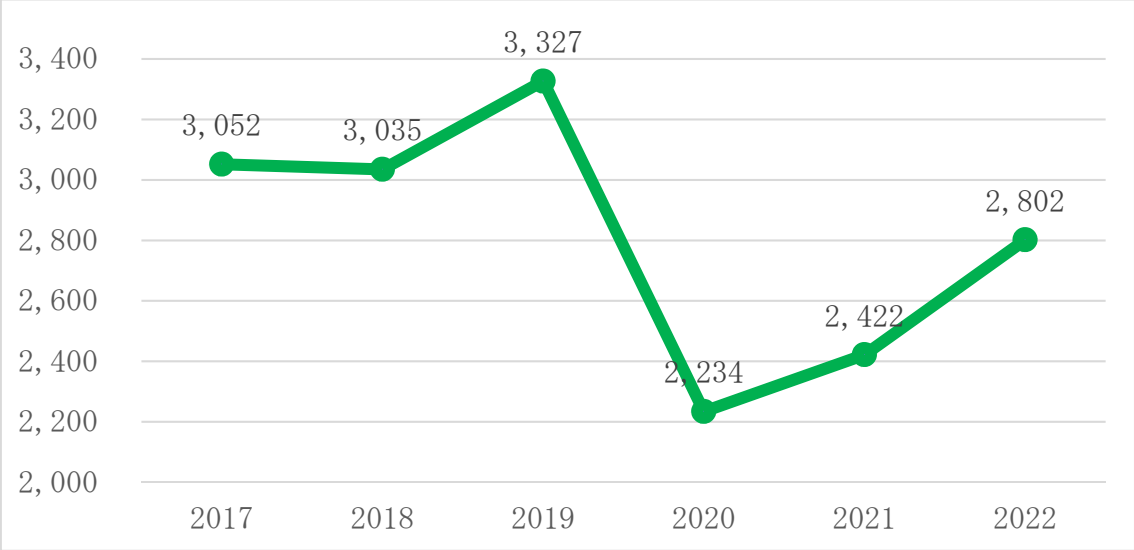
本学に関心を寄せる受験生との接点として、①オープンキャンパス②資料請求③Web アクセスがある。近年においては様々な市場環境の変化があったが、学生確保に向けた具体的な取組として、引き続きこの 3 点が軸となる。

近年のトレンドとしてはアナログ離れ、デジタル志向、リアル回帰が挙げられる。従来のように個人情報を入力して資料を自宅に取り寄せる資料請求は減少しており（表（3）-2）、代わりに主にスマートフォンを介してホームページやデジタルパンフレットで大学の情報を得る傾向が加速している（表（3）-3）。

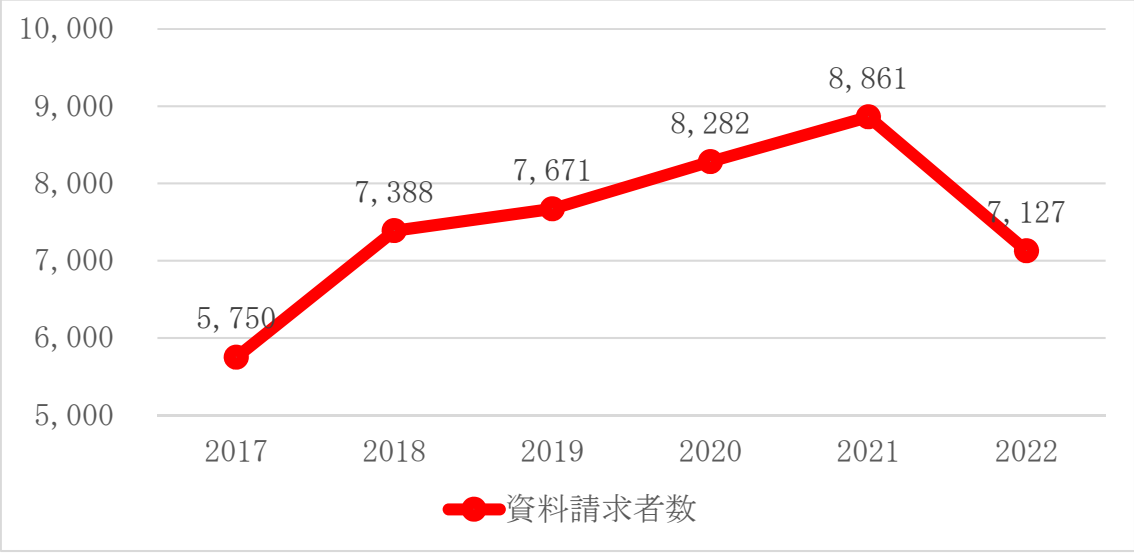
その一方で、最終的な進学先の絞り込みに際しては、実際に大学へ足を運び理解を深める

オープンキャンパスの人気が不変である（表（3）-1）。新型コロナウイルスの感染拡大の収束も追い風となり、その参加者数は増加傾向にある。なお、新型コロナウイルス感染拡大時には、いち早くオンラインオープンキャンパスを導入し、チャット機能を用いて気軽に質問を送れる「なんでも相談コーナー」等、双方向のコミュニケーションを維持していた。

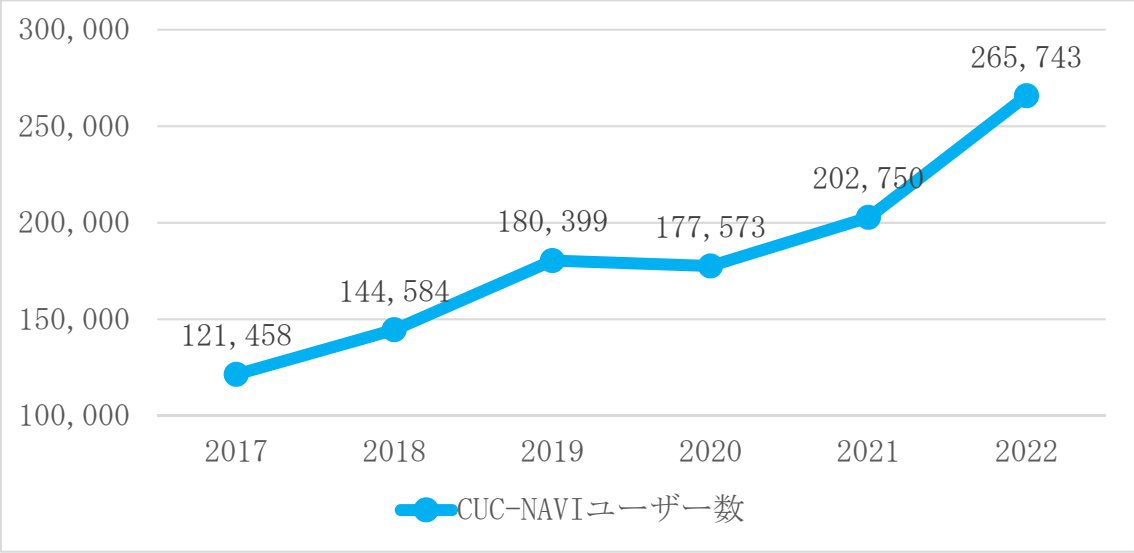
【オープンキャンパス参加者数推移】 表（3）-1　単位：人



【資料請求者数推移】表（3）-2　　単位：件



【CUC-NAVI ユーザー数推移】表（3）-3　　単位：人



直近における具体的な取組の実績は【別紙 3】の通りである。なお、受験生との接触機会において志望学部学科についての情報は集計を行っていないため、全体における集計結果となる。

■オープンキャンパス

オープンキャンパスは、数ある取組の中でも最重要施策としている。

オープンキャンパス参加者数は、【別紙 3】①の通りである。2022 年度は参加者等総数 4,210 人のうち、受験対象者 2,702 人、翌年度受験対象者 1,002 人であった。受験対象者の参加者のうち受験率は 46.0%、入学率は 40.6%である。本学のオープンキャンパスは参加者の満足度が非常に高く、その結果として高水準の出願率および入学率を維持している。オープンキャンパスは、学生団体オープンキャンパススタッフと入学センターの連携により運営しており、受験生が学生との接点を通してその進学意欲を高める唯一無二の場として機能していることが要因と言える。

2023 年度も 2022 年度を上回る参加者数を集めており、うち受験対象者の受験率は一般選抜を除く 2023 年 12 月時点で 2022 年度に並ぶ 46.0%である。うち翌年度受験対象者においても、参加者数は 1,002 人→1,285 人と 128.2%増加（2023 年度／2022 年度）しており、2025 年度入試に向けて低学年のうちから十分な数の受験生と接点をもつことができていると言える。

また、2024 年 3 月に行われたオープンキャンパスについては、2025 年度入学対象となる新高校 3 年生の参加数が昨年度同時期の 127.0%であり、来場者全体としても同時期過去最多となったことから、2025 年度学生募集において非常に期待が持てるスタートとなった。

総合政策学部の前身となる商経学部経済学科と政策情報学部政策情報学科の入学（見込み）者におけるオープンキャンパス参加率は【別紙 3】参考 1 および参考 2 の通りである。両学部学科ともに高水準であり、なおかつ 2023 年度においては一般選抜を除く 12 月時点にも関わらず 2022 年度を上回る実績である。2025 年度入試における総合政策学部の志願者は現・商経学部経済学科と現・政策情報学部政策情報学科をフックとする受験生が多いと

見込まれることからも、2023 年度の実績は 2025 年度入試に向けて好材料であると捉えている。

■資料請求

資料請求者数は、【別紙 3】②の通りである。前述のアナログ離れ、デジタル志向の影響により、資料請求は減少傾向にある（表（3）-2)。デジタル志向を踏まえればこの傾向はさらに加速すると見込んでおり、数ある施策の中でも優先順位を下げ、紙媒体の削減等によるコストカットに取組んでいる。

その状況下において、2023 年度の翌年度受験対象者の資料請求者数は 12 月時点で 2022 年度に迫っており、学部学科再編後の本学への関心と期待の現れであると捉えている。

■Web アクセス

受験生のデジタル志向は拡大の一途をたどっており、高校生のスマートフォン所有率は 98.7%（令和 3 年度青少年のインターネット利用環境実態調査／内閣府)、保護者のスマートフォン所有率は 40 代 89.0%、50 代 86.7%（通信利用動向調査／総務省）にのぼる。大学に限らず情報収集は Web を介して行うのがスタンダードとなっており、大学の学生確保に向けてもデジタル志向への対応は急務である。

本学では受験生向けの Web 発信の中核として、受験生向けサイト「CUC-NAVI」を運営している。資料請求、イベント事前申込、インターネット出願の機能も揃える「CUC-NAVI」の影響力は年々拡大しており（表（3）-3)、そのユーザー数は 6 年で 219%増加（2022 年度／2017 年度）している。

デジタル志向への対応、中でもモバイルファースト（スマートフォンファースト）への対応を目的とし、「CUC-NAVI」は 2023 年 7 月に全面リニューアルを実施した。リニューアルサイトでは「自分にあった入試を探す」「自分に合った学部を知る」機能等を新たに備え、そのユーザビリティも飛躍的に向上したことでユーザー数はさらなる増加傾向にある。

以上のように、認知関心段階にデジタルを介して接触し、人によってはアナログを介さず、行動段階にリアルで大学を確かめるという、受験生の新しいジャーニーマップが確立された。学部学科再編においても、常に市場のニーズを見極めながら、受験生に求められる施策を通して募集広報活動を行っていく。

＜資料＞

【別紙 3】既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

イ．新設組織における取組とその目標

＜概要・詳述＞

上述（３）①アの通り、受験生との接触としては、これまで同様にオープンキャンパス、資料請求、Web アクセスという三点を中心に取り組みを進めていく。

オープンキャンパスについては、進路意識の高い受験生は早めに動くことから、7 月まで

のオープンキャンパスイベントの開催日を 2023 年度より増やし、本学へのライトな関心層の囲い込みを図る。オープンキャンパス全体での目標としては、受験対象の新規接触者を 2,800 人としている。オープンキャンパスでは、2025 年度からの学部学科再編の背景・目的を明確に伝えた上で、体験授業や個別相談等を通じて、受験生が入学後の教育を具体的にイメージできるようなプログラムを提供する。

また、受験生のデジタル志向を踏まえ、インターネット広告や YouTube 等を利用しながら本学の特色紹介の動画を積極的に外部に展開することにより、受験生がアプローチするための間口を多岐に拡げ、「CUC-NAVI」への流入や資料請求者の獲得ができるようにする。

総合型選抜・学校推薦型選抜といった面接重視型の入試に重点を置きつつ、一般選抜志願者へのアプローチなど当該年度の入試を取り巻く状況に応じた臨機応変な対応を通じて入学定員をしっかり充足できるように各施策を進めていく。

ウ．当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

＜概要＞

・オープンキャンパス、資料請求における出願、接触履歴がない入学者の 2022 年度・2023 年度実績を元に見込数を想定したところ、総合政策学部経済学科、政策情報学科ともに 164 人の入学者が見込まれる。

＜詳述＞

■オープンキャンパス

2022 年度および 2023 年度でのオープンキャンパス集客状況を鑑みると、2024 年度においても同等の 2,700 人を越える受験対象者をイベントの参加につなげることができるものと考えている。オープンキャンパス参加者の入学率が 2023 年度実績での 40.6%とした場合は、オープンキャンパス参加者 2,700 人のうち、入学者が 1,096 人と大学全体における入学定員（1,410 人）の 77.7%を満たす状況となることが見込まれる。両学科の定員に上記の推定割合を当てはめると、オープンキャンパスでの取り組みを通じた入学者見込数は、いずれも 116 人（a）となる。

■資料請求による出願促進

オープンキャンパス参加者を除いた上で、資料請求を通じた入学率は 2022 年度で 7.6%となっている。資料請求者は受験生のデジタル志向により減少傾向であることから、2023 年度資料請求数を 10%減少して 14,996 人とした場合、資料請求経由での入学者見込数は 113 人、全学部入学定員における総合政策学部経済学科・政策情報学科の入学定員に占める割合 10.6%を当てはめると 1 学科あたり 12 人（b）となる。

■接触履歴がない入学者について

本学 Web サイトを直接閲覧し、そのまま出願するなど、オープンキャンパスや資料請求等、本学との接触がない状況で出願・入学する受験者が一定数いる。2022 年度では全学部で 369 人（全入学者の 24.8%）、2023 年度では 247 人（2023 年 12 月現在・その時点での

全入学者の 19.0%)。この傾向は資料請求数の減少とともに少しずつ増加しているように感じている。インターネット広告を強化するのもその背景の元であり、認知関心を高めることに注力することにより、そのまま出願につなげる効果も期待しているところである。

2022 年度での本学との接触履歴がない入学者の割合（24.8%）を元に全学部の入学定員当てはめた場合、349 人がこのような入学者となり、全学部入学定員における総合政策学部経済学科・政策情報学科の入学定員に占める割合 10.6%を当てはめると両学科それぞれ 36 名（c）がそれに該当することになる。

上記（a）（b）（c）を合わせると 164 人となり、総合政策学部経済学科もしくは政策情報学科の定員 150 人は充足できる見通しである。

②競合校の状況分析

ア．競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

＜概要＞

・競合校としては、総合政策学部経済学科は流通経済大学経済学部経済学科、総合政策学部政策情報学科については、学問の系統分類、所在地域、受験生の学力層、学部規模の類似性、および受験生へのアンケートにて併願先大学として挙がることがあることから、江戸川大学メディアコミュニケーション学部マスコミュニケーション学科を設定した。

・競合校との優位性については、次の点で本学の総合政策学部でのアドバンテージを有するものと考えられる。

■教育内容

・両学科とも競合校が提供する専門理論の教授を行っている傍ら、社会課題の解決に必要な複数の視点を持つことの重要性から、学科を越えて幅広く専門分野の科目を選択できる。

・「公共」の視点は公的機関のみならず一般企業にも求められている中で、これまで関係構築を行ってきた自治体との連携を通じ、アウトプットの機会を含めて実践的に学ぶことができる。

■入試

入学試験および入学手続き日程、入試制度とも本学の募集に大きな影響は及ぼさないものと考えられる。

■学費

いずれの競合校とも本学の学費の方が安価であり、経済的負担面での優位性を有している。

■就職

本学は企業の人事関係者による「就職支援に熱心に取り組んでいる大学」ランキングにて全国 17 位（私立大学では 11 位）に入るなど、外部評価につながっている就職指導体制を有しており、各企業との連携による手厚い就職指導にも自信を持っている。このような状況を鑑みて、競合校と比較して優位性を有していると判断できる。

＜詳述＞

競合校

総合政策学部経済学科における競合校：

流通経済大学経済学部経済学科（千葉県松戸市／茨城県竜ケ崎市）

総合政策学部政策情報学科における競合校：
江戸川大学メディアコミュケーション学部マスコミュニケーション学科（千葉県流山市）

競合校の選定理由

この度の競合校選定においては、本学新設組織における学校基本調査上での系統分類（経済学科「C2 商学・経済学関係」、政策情報学科「その他」-「政策情報学」）に近しい分野を保有する大学・学部を本学所在地や定員規模をもとに選定した。また入試時の受験生アンケートにて度々併願大学先として挙がることから受験者の学力層が近いことも理由である。

競合校との比較分析・優位性

Ⅰ．教育内容

流通経済大学では経済学の基礎から応用までの教育を行う傍ら「将来の姿を想定した学び」として実践力を養成することとしている。総合政策学部経済学科においても、経済社会の課題を解決できるよう経済学の知識を十分に涵養する一方で、学科を越えた科目履修を推進することにより、多角的な視点を持って問題解決できる人材を輩出することをねらいとしている。将来の姿を視野に入れるにあたり、社会の趨勢を現実的に捉えることができる点では本学の学びはより実践的なものであり、競争優位性は十分有しているものと思われる。

また、政策情報学科における競合校である江戸川大学においては、メディア・ジャーナリズムの在り方やビジネスとして展開するためのコミュニケーション手法を学ぶためのカリキュラムを展開している。

総合政策学部政策情報学科においては、「公共」の視点を養い、社会に暮らす人々全体の幸せな暮らしの実現に向けて必要な政策を考え実行できる人材を目指しており、その中の政策メディアコースでは地域社会の魅力を発見し世の中に広く発信することを学ぶ内容となっている。メディアの在り方のみならず、地域社会の発展やそこに暮らす人々のために、情報技術をどのように活用し、公共政策を実行するべきか、法学や公共政策学、デジタルメディア技術等を幅広く用いた学びを行う。

さらに近隣の自治体と連携し、実践的なアウトプットの機会を設けていることも特色であり、地域創生に興味を持つ高校生や社会課題に関心を持ち、メディアコミュニケーションおよびジャーナリズムという点から社会課題解決に向けたアプローチを行っていきたい高校生に対して十分な訴求力を有しているものと自負している。

Ⅱ．入試　※2023 年度入試における状況より分析（本学は全学部同一制度）

■受験時期について

【流通経済大学】

総合型選抜については、本学が 10 月と 12 月の 2 期であるところ、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月の 5 期実施しており、実施日程が本学より多く設定されている。しかしながら本学では、第一志望度合いが高く、十分準備した高校生が多く集まる 10 月期を総合型選抜で

の主な選抜時期として捉えていることから、実施日程数の違いについては、募集活動に影響は及ぼさないものと考えている。

また、一般選抜については、本学での前期・中期・後期日程と試験日がずれており、重複することによる受験生の流出は起きていない。日程重複がないため、両大学での併願が可能であり、双方にとって志願者数を増やすことができる日程である。

出願可能期間について、流通経済大学はどの日程においても 12 月 1 日以降となっており、本学の方が短い出願期間ではあるが、受験生は併願校を直前まで選んでいる傾向もあり、出願期間が長いことによって志願者確保に不利な状況は発生しにくいものと捉えている。

【江戸川大学】

江戸川大学の総合型選抜については、9 月末～10 月下旬、11 月下旬～12 月初旬、2 月下旬～3 月初旬の 3 期に分け、それぞれ期中の毎土曜日に試験を実施しており、本学より多くの入試日程を設定している。流通経済大学同様、実施日数の違いについては、募集活動に影響はないものと思われる。

一方、1 期の一部日程が 10 月中旬に行う本学の試験日と重複している。総合型選抜はその大学を第一志望とする専願による受験であることから、基本的には日程重複でも影響は及ぼさないものではあるが、合格した場合に入学手続き辞退をすることを前提として併願受験する場合も散見されることから、日程重複による受験者への影響が全くないとは言い切れない。江戸川大学より本学を受験してもらうよう広報活動に力を入れる必要がある。

江戸川大学の総合型選抜 12 月期については、本学より二週間ほど早い試験日であるが、江戸川大学の合格発表日が本学の受験日の 3 日前であることから、江戸川大学と本学双方で併願を考えている受験生にとっては取組みやすい状況と言える。

一般選抜については、前期・中期・後期とも本学の日程とはずれており、併願が十分可能である。試験日程重複による志願者減少にはつながらないものと考えられる。

■入試科目・制度との関係

【流通経済大学】

総合型選抜においては、「課題チャレンジ型」の中に「SDGs チャレンジタイプ」を定めている。本学において、SDGs に関心を持つ学力が高めの高校生をターゲットに広報活動を行っているところもあり、この入試制度についてはベンチマークをしておく必要性を感じている。その他の制度については、本学の型と類似しており、特に留意を行うことはないものと判断している。

また、一般選抜においても、入試科目は本学と大差はない。本学については、国公立大学を併願にて考えている受験生向けに共通テストで 4 科目にて受験できる型を適用しており、その点では流通経済大学より受験生のニーズを広く集められているものと思われる。

【江戸川大学】

総合型選抜に関して、江戸川大学の制度は本学よりもシンプルとなっており、受験生にとって受験上の選択肢は少ないことから、本学の競合校優位性は有しているものと考えられ

る。

一般選抜の受験科目においては、江戸川大学は英語と国語の 2 科目のみとなっている。本学でも 2 科目受験ができる日程があり、受験科目による優位性に差はないものと思われる。

■入学手続き時期との関係

【流通経済大学】

10 月・11 月期に行う総合型選抜については、第 1 次納入期限を合格後 1 週間ほど、また第 2 次納入期限を年明けでの日付にて設定されている。本学で同時期に実施される総合型選抜での第 2 次納入期日は 2 月上旬とやや長めの期間設定しているところは優位性を示せるところである。

加えて、他大学の総合型選抜と併願できる「併願型総合型選抜」においては、第 1 次納入期限を年明けに設定している。また、一般選抜（個別試験型・共通テスト型）合格者のうち、国公立大学を併願受験予定者については、申請により入学手続き締切を延納できる制度が本学にあり、これらの点も受験者に対するアピールポイントにつながると思われる。

【江戸川大学】

流通経済大学同様、第 1 次納入期限は合格後 1 週間ほどでの設定となっている。上記の本学におけるアドバンテージは江戸川大学に対しても適用されるものといえる。

Ⅲ．学費

初年度の学生納付金について、本学では 1,260,000 円（2024 年度入学者：受託徴収金含まず）であるのに対し、流通経済大学経済学部は 1,316,000 円、江戸川大学コミュニケーション学部は 1,420,000 円と費用面での競争優位性を有している。

Ⅳ．就職支援

流通経済大学・江戸川大学ともに就職支援部署による就職行事やエントリーシートへの指導などの体制は本学と同様に有しているが、本学においては、下記の取り組みを行っており、企業の人事関係者による「就職支援に熱心に取り組んでいる大学」ランキング（※）で全国 17 位（私立大学では 11 位）に入るなど、外部からの評価も高い。

※日本経済新聞社と日経 HR との共同調査（2021 年 2 月 15 日～3 月 22 日）

■取組事例 1：【CUC アライアンス企業】

本学学生の採用やキャリア教育に積極的な「CUC アライアンス企業」（※）と連携し、魅力ある人材育成に取り組んでいる。

※「企業と大学が連携して、社会に貢献できる人材を送り出すという趣旨に賛同いただき、本学学生の採用や育成に積極的な企業」のこと。2023 年 12 月時点で 1022 社と連携している。インターンシップや各種キャリアイベントに協力いただくことで、学生の気づきの機会となり、その後の学生生活や就職活動に大きな効果をもたらしている。

さらに、このアライアンスをより発展させた「CUC ミライアンス企業」（※）というカテゴリを設けて学生に提示することにより、学生のニーズを満たした企業とのマッチングを図っている。

※本学が考える、この先 100 年のリーディングカンパニーとしての可能性のある企業のこと。 それは「事業優位性」「働きやすさ」「SDGs への取り組み」を持つ企業であると考え、その 3 要素に各 8 項目（計 24 項目）の要件を設定し、一定以上の要件を満たした企業を「ミライアンス企業」として選定し、本学学生に紹介している。

■取組事例 2：【me R AI（みらい）】

「me R AI」は就活生と求人企業の輝く未来を応援するマッチングサイトである。
学生個人と各企業がサイト上に情報を登録し、企業側から採用したい学生に対しオファーすることが可能。また、学生から企業へオファーすることも可能で、学生と企業の相互オファーはすべて「me R AI」のサイト上で行う。

イ．競合校の入学志願動向等

＜概要・詳述＞

総合政策学部の競合校である流通経済大学経済学部および江戸川大学メディアコミュニケーション学部の入学志願動向【資料 5】においては、いずれの学部も入学定員を充足している一方、一般選抜においては倍率が 2～5.5 倍と選抜機能が働いており、これらの競合校の類似の学部である本学総合政策学部においても、本学のアピールをしっかりと行うことにより、競合校と同様に当該分野に興味を持つ高校生を集めることができるものと考えられる。

なお、総合型選抜・学校推薦型選抜における志願者数については、競合校となる両大学とも非公表のため把握ができなかった。

＜資料＞

【資料 5】競合校における一般選抜志願者数

ウ．新設組織において定員を充足できる根拠等

競合校定員充足状況のため、手引きに従い記述割愛

エ．学生納付金等の金額設定の理由

＜概要・詳述＞

本学の国際教養学部以外の各学部における学生納付金（2024 年度入学生より適用）については、次の通りとなっている。※金額は校友会費等の受託徴収金を除く

■千葉商科大学学生納付金（2024 年度入学生以降適用）

・初年度納付金 1,260,000 円
（入学金 140,000 円、授業料 880,000 円、施設整備費等 240,000 円）
・4 年間合計での納付金　4,620,000 円

この金額については、他大学（首都圏・同系統学科・偏差値 40 以上）における 2023 年度入学者に対する状況を鑑み、他大学における入学時納入金および 4 年間合計費用より本学の金額が低くなるように設定したものである。

■他大学（首都圏・同系統学科・偏差値 40 以上）での学生納付金設定状況
・初年度納入金・・・平均値は約 1,306,000 円、中央値は約 1,299,000 円
・4 年間合計での納付金・・・平均値は約 4,570,000 円、中央値は 4,520,000 円
※金額は校友会費等の受託徴収金を除く

上述した競合校に対する教育・就職サポートとの比較や学問系統における受験生ニーズに加え、学費面からも競合校への優位性は有しているものと考えられる。

③先行事例分析

＜概要＞

本学と同様に既設学部・学科からの改組を行った神奈川工科大学においては、その後の入学定員充足をしており、学生募集において順調に推移している。

＜詳述＞

本学の総合政策学部のように他学部からの学科分離・統合という事例でいくと、学問系統は異なるものの、神奈川工科大学が 2020 年度に行った学部改編が挙げられる。

神奈川工科大学においては、従来の工学部臨床工学科（入学定員 40 人）・応用バイオ科学部栄養生命学科（同 80 人）・看護学部看護学科（同 80 人）を、2020 年度より健康医療科学部看護学科（入学定員 80 人）・管理栄養学科（同 40 人）・臨床工学科（同 40 人）に再編したものである。

神奈川工科大学 Web ページにおける情報公開情報によると、2023 年度の健康医療科学部における入学定員（160 人）に対し、入学者は 163 人と充足している。当大学の改組前の状況（平成 24 年度～28 年度）での入学定員充足状況は 1.1～1.2 倍であることを鑑みると改組による学生募集上の影響は少ないものと推察される。

なお、当大学臨床工学科での学生納付金については、改編前が 5,910,000 円であるのに対し、改編後の 2023 年度入学生は 6,301,000 円と 391,000 円増加している。

本学では学生納付金について、2024 年度入学生より学生納付金が 4 年間合計で 2023 年度入学者に対して 195,000 円増額となるが、上記の例によると学生募集上では影響を及ぼさないものと捉えている。

④学生確保に関するアンケート調査

＜概要＞

・本学の募集地域かつ関係構築ができている高校を中心に、21,327 件のアンケートを回収。
・総合政策学部経済学科については、「私立大学進学×関連分野（経済学）興味あり」（以下、ターゲット層）とした回答者のうち「当学科を第一志望とし、入学する」と回答した人数が 178 人おり、入学定員(150 人)を超えている状態であった。
「第二・三志望とし、入学する」と回答した人数は 73 人おり、「志望順位が上位の他の志望校が不合格

の場合に入学する」も含め、何らかの形にて総合政策学部経済学科への入学意向を示している人数は990 人いる。
・総合政策学部政策情報学科については、「第一志望にて受験し、入学する」との回答者が全体で 31 人おり、「第二・三志望にて受験し、入学する」および「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」回答者を合わせ、何らかの形で入学意向を示す者は 350 人となる。高校２年生の学問分野決定時期や既設組織である政策情報学部政策情報学科での過年度合格者実績を鑑みて、十分入学定員充足は満たせる見通しを持っている。

＜詳述＞

2023 年 8 月～12 月にかけ、本学のオープンキャンパス参加者（標本数 183 件）および高校 2 年生（標本数 21,327 件）を対象として総合政策学部に対する入学意向調査を実施した。実施概要は次の通りである。

■高校生向け入学意向調査実施詳細
・実施時期：2023 年 8 月～12 月
・実施方法：オープンキャンパスにて本学事務局より直接調査実施および調査委託会社による高校留め置き調査（※）
※調査依頼に応諾した高校に調査委託会社より調査資材を郵送し、高校側で調査実施。
調査後、高校より調査委託会社へ調査票を返送する方式
・調査依頼数：33,537 件（オープンキャンパス 897 件、留め置き調査 32,640 件/130 校）
・有効回収数：21,327 件（オープンキャンパス 183 件、留め置き調査 21,144 件/110 校）63.6%
・調査時期：オープンキャンパス　2023 年 8 月 20 日、8 月 27 日、12 月 10 日
留め置き調査　2023 年 9 月 13 日～11 月 1 日
・対象者：2023 年度高校 2 学年在籍者　留め置き調査実施高校一覧は、【資料 6-1】参照
※重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「同じアンケートに回答したことがある」と回答した人は集計から除外している。各調査回答者の重複はない。
・調査用資材：調査票【資料 6-2】、総合政策学部紹介リーフレット【資料 6-3】
・調査実施機関：株式会社進研アド（調査票送付・回収・データ集計）
・調査項目：下記の通り

高校生対象調査
・性別 ・学年 ・高校種別 ・高校所在地 ・在籍学科 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度 ・千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」への受験意向 ・千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」への入学意向

■アンケート対象校の選定について

主な募集地域（地方部を含む）を中心として 2020 年度～2023 年度に本学への入学者が恒常的に発生しているような本学の教育に対する理解が深く、関係構築ができている高校を選定している。

また、本学の所在する千葉県市川地域の教育コンソーシアムを組成している高校（国府台高校・和洋女子国府台高校）も選定している。

■入学意向調査分析　※調査分析集計結果詳細については、【資料 6-4】を参照

総合政策学部経済学科への入学意向調査については、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を本学総合政策学部経済学科のターゲット層と定義し、集計を行った。

① Q1 で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2 で「私立」への進学を希望。
③ Q3 で、「総合政策学部経済学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（商学・経済学（経営学含む）に興味あり）

【入学意向回答　集計結果（総合政策学部経済学科)】表（3）-4

上段:% 下段:件数(名)		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
受験意向	第一志望	0.8 178	0.1 15	0.0 4
	第二志望	0.2 53	1.0 214	0.0 6
	第三志望以降	0.1 20	2.4 510	0.2 34
	受験意向あり･合計	1.1 251	3.5 739	0.2 44
受験しない		9.2 1,969		

※%の母数は、回答者全体(21,327名)

また、「総合政策学部経済学科の特色に対する魅力度」に係る設問の回答について分析を行った。

【設問】

Q４．千葉商科大学総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

特色Ⅰ．総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。

特色Ⅱ．経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています。

選択肢のうち、「とても魅力を感じる」または「魅力を感じる」との回答者を合計した結果、表（3）-5 の通りとなった。

【学部特色への魅力度回答　集計結果（総合政策学部経済学科）】表（3）- 5

上段:% 下段:件数(名)	標本数	特色Ⅰ	特色Ⅱ
ターゲット層	3,421	74.2 2,540	81.9 2,801
第一志望者	178	89.9 160	97.8 174

※ターゲット層の定義は上述の通り。

※「第一志望者」は、ターゲット層該当者のうち、千葉商科大学「総合政策学部経済学科」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人を示す。

表（3）-4 で示した通り、「第一志望にて受験し、入学する」と回答したのが全体で 178 人おり、総合政策学部経済学科の入学定員 150 人を上回るニーズが寄せられている。

第二・三志望にて受験し、入学する」は 73 人、および「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した 739 人を加えると、何らかの形で入学意向を示している者は 990 人となる。このことから、他大学および本学他学部との併願を鑑みても、総合政策学部経済学科に対しては十分な入学者が見込める状況である。

また、表（3）-5 にあるように、ターゲット層および入学意向を示している第一志望者において、学部特色に対する魅力を十分有している結果となり、その点からも入学ニーズは満たしているものと考えている。

次に総合政策学部政策情報学科の入学意向調査において、総合政策学部経済学科と同じ条件にて集計を行った。

【入学意向回答　集計結果（総合政策学部政策情報学科）】表（3）-6

上段:% 下段:件数(名)		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
受験意向	第一志望	0.1 31	0.0 5	0.0 1
	第二志望	0.0 7	0.4 81	0.0 2
	第三志望以降	0.0 8	1.0 218	0.1 16
	受験意向あり・合計	0.1 46	1.4 304	0.1 19
受験しない		6.8 1,446		

※%の母数は、回答者全体(21,327名)

また、「総合政策学部政策情報学科での特色」に対する魅力度についても、総合政策学部経済学科と同様の設問・回答について集計を行った。

【学部特色への魅力度回答　集計結果（総合政策学部政策情報学科）】表（3）-7

上段:% 下段:件数(名)	標本数	特色Ⅰ	特色Ⅲ
ターゲット層	2,075	75.3 1,562	73.5 1,525
第一志望者	31	90.3 28	93.5 29

表（3）-6 にあるように、本学のターゲット層（定義は上述）での回答者においては、「第一志望にて受験し、入学する」とした者が 31 人となっている。「第二・三志望にて受験し、入学する」は 15 人、および「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した 304 人を加えると、何らかの形で入学意向を示している者は 350 人となる。

総合政策学部経済学科よりも入学意向数は全体として少ないが、本学既設学部であり、総合政策学部での学問分野が同じである政策情報学部政策情報学科において、過年度の合格者数が総合政策学部政策情報学科の各年度入学定員を上回っていること（【別紙２】）を鑑みると、総合政策学部政策情報学科での入学定員は十分満たせるものと考えている。

また、【資料 6-5】にあるように、学びたい学問分野が未決定（※）の高校 2 年生は 2023 年 9 月の段階で全体の 43.4%であり、表（3）-7 に示した通り、ターゲット層における総合政策学部政策情報学科の特色への魅力があると回答した人数は 1,500 人を越えていることから、今後しっかりと学問内容も含めて広報活動を行っていくことにより、入学定員を充足できる見通しを持っている。

※「検討しているが決定できていない」「まだ検討していないが検討するつもり」「わからない」との回答者合計

＜資料＞

【資料 6-1】総合政策学部留め置き調査実施高校一覧

【資料 6-2】総合政策学部留め置き調査　調査票

【資料 6-3】総合政策学部紹介リーフレット

【資料 6-4】入学意向調査集計表

【資料 6-5】学びたい分野の検討時期

⑤人材需要に関するアンケート調査等

＜概要＞

・企業が求める能力要素への総合政策学部での学びとの親和性、および WEB 調査による企業における総合政策学部経済学科・政策情報学科卒業生への採用意向結果を踏まえ、社会的な人材需要は有するものと判断できる。

＜詳述＞

（2）①にて上述した通り、一般社団法人日本経済団体連合会「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」で求められる「課題設定・解決能力」「情報活用能力・データ分析力」については、総合政策学部にて涵養を行うことを踏まえたカリキュラムとしている。求人等で本学とこれまでに接点を有する企業に対し、下記実施詳細の通り採用意向調査を実施した。（報告書【資料 6-6】）

調査の結果、回答企業が採用したい学問分野としては、総合政策学部の学びと関連する「商学・経済学（経営学含む）」が 78.8%となっている。

また、総合政策学部経済学科・政策情報学科それぞれの特色、社会的必要性いずれも 90%を超える企業が「魅力を感じる」と回答している。

採用意向についても、経済学科に対しては 528 社中 97.7%（516 社）、また政策情報学科に対しては 96.4%（509 社）が「採用したい」と思うとしており、いずれの学科も定員を大幅に超える 950 人を越える採用意向数を各企業が示していることから、安定した人材需要があるものといえる。

■企業向け採用意向調査実施詳細

・調査対象：企業の採用担当者

・調査対象数：4,388 社

・調査回収数：528 社（12.0%）

・調査時期：2023 年 9 月～10 月

・調査方式：WEB による調査（※）

※これまで本学との接点がある企業に対し、本学キャリア支援課よりメールにて回答依頼。各企業の回答にあたっては、指定 URL にある回答フォーム（総合政策学部紹介リーフレット PDF データ【資料 6-3】を閲覧できる形）にて実施し、その回答結果を調査委託会社が集計した。

・調査項目：【資料 6-6】参照

・調査委託会社：株式会社進研アド（回答用フォーム作成、調査回答集計）

総合政策学部では「公共」の視点を養い、社会に暮らす人々全体の暮らしや実現に向けて、問題発見と解決のための政策や計画を立案・選択し、政策を実行できる人材育成を目指している。

その一方、総務省の地方制度調査会「2040 年頃から逆算し顕在化する地方行政の諸課題とその対応方策についての中間報告」（2019 年 7 月 31 日）においては、次の通り提言されている。

> 2040 年頃にかけて、社会を支える人材に求められる資質・能力は大きく変化する。先端技術を活用しながら、個人に最適化された学びを実現し、未知の状況に対応できる思考力、表現力、情報活用能力等を獲得できる教育を受けられるようにすることが求められる。また、地域の様々な活動を次世代に継承していくため、地域課題に向き合う教育により地域への理解・愛着を高め、 ふるさとや 他の地域に関わることに価値を見出す人材や、地域の魅力を引き出して発信できる人材など、地域経済・地域文化の担い手を育成していく必要がある。

総合政策学部の経済学科では経済学の考え方やデータ分析、政策情報学科では、公共政策学・コミュニケーション技術を活用した教育を予定しており、まさしく上記提言が示しているものである。実践的な教育を推進することで能力を涵養し、学部のディプロマポリシーを満たす学生を輩出することは、将来的にも地方行政をはじめとした社会から需要のある人材につなげることができるものと考えている。

＜資料＞

【資料 6-6】採用意向調査　調査報告書（調査項目含む）

（４）新設組織の定員設定の理由

＜概要＞

・この度、既設学部の改組により新設学部を設けるに至った背景を述べるとともに、その教育を実現することに無理がなく、アクティブラーニングを取り入れた実践的な学びにおいて最大限の効用を享受できる形での入学定員設定数としている。

・高校生への入学意向調査においても、定員充足に向けた充分な意向が確認できており、今後の PR 活動により、定員確保への見通しをより強固にしていくものである。

＜詳述＞

本学では 2028 年に創立 100 周年を迎えるが、さらにその先も社会のニーズに応え選ばれる大学となるためには、今以上に教育力を高めることが重要であり、教職員一人ひとりが自分たちの問題として危機感を共有しながら、未来志向で全学的な教育改革を実行する必要性がある。また、不確実性の時代の将来を見据えると今から未来志向で教学と財務の持続的調和を図るための構造改革に着手する必要があることから、今回の学部学科改編に至った。

「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」（2018 年 11 月 26 日中央教育審議会）では、予測不可能な時代を生きる人材像として、高い公共性・倫理性や論理的思考力を有し、新しい価値を創造しながら社会を改善していく人材の必要性が提唱されており、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者の育成」を建学の精神として標榜する本学の教育理念と合致する部分も多い。

そのような背景のもと、建学の精神に基づき、実学教育を通じて社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的に総合政策学部という新設学部を立ち上げることとした。

上述の通り、総合政策学部では、商経学部経済学科（入学定員 200 人）と政策情報学部政策情報学科（同 125 人）を統合し、総合政策学部経済学科（同 150 人）および政策情報学科（同 150 人）として改編することとしている。

これらの学部・学科の入学定員設定においては、既設学部・学科である商経学部経済学科・

政策情報学部政策情報学科での入学定員充足状況および志願状況（上述（2）④）を鑑みつつ、また募集地域における学問系統での高校生ニーズ（上述（2）③）を踏まえて、確実に入学定員を充足できる人数での設定としている。また、競合校の状況からもこのような入学定員設定において無理が生じることはないものと考えられる。

加えて、本学では、実学教育を実現するため、広くアクティブラーニングを取り入れた実践的な学びを促進している。これは既設学部である商経学部経済学科・政策情報学部政策情報学科でも行っていたものであり、総合政策学部においても、引き続きそのような手法での教育展開を予定している。これまでの既設学部での教育上の効果を鑑みると同規模での入学定員が相応しいものでもあり、その観点からも今回の入学定員設定としている。

以上の学生募集および教育上の効用という面を鑑み、総合政策学部における入学定員設定を行った次第である。

＜資料＞

なし

以上

千葉商科大学　総合政策学部　経済学科・政策情報学科
学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

別紙 1　新設組織が置かれる都道府県への入学状況・・・・・・・・・・・・・ p.2
別紙 2　既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）・・・・・・・・・・ p.3
別紙 3　既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績・・・・・・・・ p.10

資料 1　学問系統別志願状況（2021 年度～2023 年度／一般選抜）・・・・・・ p.11
資料 2-1 「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」・・・・・・・・・ p.13
資料 2-2 「今後、優先的に取り組むべき教育改革」・・・・・・・・・・・・・・ p.14
資料 3-1　18 歳人口と大学進学者の推移（全国）・・・・・・・・・・・・・・・ p.15
資料 3-2　18 歳人口と大学進学者の推移（首都圏）・・・・・・・・・・・・・・ p.15
資料 3-3　18 歳人口の指数推移（全国）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.16
資料 3-4　18 歳人口の指数推移（首都圏）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.16
資料 3-5　18 歳人口・大学進学者数等の 10 ヵ年推移（全国）・・・・・・・・・ p.17
資料 3-6　18 歳人口・大学進学者数等の 10 ヵ年推移（千葉県）・・・・・・・・ p.17
資料 3-7　大学進学者の流出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.18
資料 3-8　大学進学者の流入状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.18
資料 4-1　千葉商科大学商経学部経済学科入学者の上位 5 都道府県・・・・・・ p.19
資料 4-2　千葉商科大学政策情報学部政策情報学科入学者の上位 5 都道府県・・ p.19
資料 5　競合校における一般選抜志願者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.20
資料 6-1　総合政策学部留め置き調査実施高校一覧・・・・・・・・・・・・・・ p.21
資料 6-2　総合政策学部留め置き調査　調査票・・・・・・・・・・・・・・・・ p.24
資料 6-3　総合政策学部紹介リーフレット・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.26
資料 6-4　入学意向調査集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.28
資料 6-5　学びたい分野の検討時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.69
資料 6-6　採用意向調査　調査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.70

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙１

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	千葉県	10,566人	38.88%
2	東京都	4,517人	16.62%
3	茨城県	2,168人	7.98%
4	埼玉県	1,974人	7.26%
5	神奈川県	900人	3.31%
	全　　体	27,174人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	千葉	101.09%	98.90%	97.41%

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	社会科学系学部（大学）	101.56%	102.73%	102.70%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－１

大学学部学科等名：千葉商科大学商経学部商学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		134人	126人	120人	120人	120人	124人
	延べ人数	志願者数	381人	265人	184人	255人	269人	271人
		受験者数	374人	249人	180人	250人	262人	263人
		合格者数	158人	134人	117人	156人	173人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	381人	265人	184人	255人	269人	271人
		受験者数	374人	249人	180人	250人	262人	263人
		合格者数	158人	134人	117人	156人	173人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		158人	134人	116人	153人	168人	146人
学校推薦型選抜	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	298人	346人	329人	287人	301人	312人
		受験者数	298人	346人	310人	287人	301人	308人
		合格者数	265人	296人	283人	274人	277人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	実人数	志願者数	298人	346人	329人	287人	301人	312人
		受験者数	298人	346人	310人	287人	301人	308人
		合格者数	265人	296人	283人	274人	277人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	入学者数		265人	294人	282人	273人	275人	278人
一般選抜	募集人数		130人	138人	180人	180人	180人	162人
	延べ人数	志願者数	1,119人	1,542人	1,449人	1,271人	1,030人	1,282人
		受験者数	1,078人	1,468人	1,399人	1,235人	992人	1,234人
		合格者数	214人	216人	411人	328人	186人	271人
		うち追加合格者数	0人	13人	13人	0人	0人	5人
		辞退者数	8人	8人	10人	7人	0人	7人
	実人数	志願者数	976人	1164人	1260人	1083人	815人	1060人
		受験者数	938人	1123人	1217人	1054人	787人	1024人
		合格者数	193人	187人	385人	311人	163人	248人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	8人	10人	7人	0人	7人
	入学者数		52人	35人	59人	32人	31人	42人
共通テスト利用入試	募集人数		36人	36人				36人
	延べ人数	志願者数	673人	548人				611人
		受験者数	669人	548人				609人
		合格者数	87人	92人				90人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	1人	2人				2人
	実人数	志願者数	652人	534人				593人
		受験者数	648人	534人				591人
		合格者数	85人	90人				88人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	1人	2人				2人
	入学者数		4人	8人				6人
その他の特別選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	12人	23人	15人	10人	19人	16人
		受験者数	12人	21人	15人	10人	17人	15人
		合格者数	2人	12人	10人	10人	13人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	12人	23人	15人	10人	19人	16人
		受験者数	12人	21人	15人	10人	17人	15人
		合格者数	2人	12人	10人	10人	13人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	11人	10人	10人	12人	9人
合計	募集人数		430人	430人	430人	430人	430人	430人
	延べ人数	志願者数	2,483人	2,724人	1,977人	1,823人	1,619人	2,125人
		受験者数	2,431人	2,632人	1,904人	1,782人	1,572人	2,064人
		合格者数	726人	750人	821人	768人	649人	743人
		うち追加合格者数	0人	13人	13人	0人	0人	5人
		辞退者数	9人	10人	10人	8人	1人	8人
	実人数	志願者数	2,319人	2,332人	1,788人	1,635人	1,404人	1,896人
		受験者数	2,270人	2,273人	1,722人	1,601人	1,367人	1,847人
		合格者数	703人	719人	795人	751人	626人	719人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	10人	10人	8人	1人	8人
	入学者数		481人	482人	467人	468人	486人	477人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員	430人	430人	430人	430人	430人	430
入学定員充足率	1.12	1.12	1.09	1.09	1.13	1.11
歩留率	0.66	0.64	0.57	0.61	0.75	0.65

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－２

大学学部学科等名：千葉商科大学商経学部経済学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		43人	38人	38人	38人	38人	39人
	延べ人数	志願者数	103人	85人	62人	76人	78人	81人
		受験者数	101人	79人	59人	75人	78人	78人
		合格者数	44人	46人	42人	60人	47人	48人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	103人	85人	62人	76人	78人	81人
		受験者数	101人	79人	59人	75人	78人	78人
		合格者数	44人	46人	42人	60人	47人	48人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		44人	46人	42人	58人	46人	47人
学校推薦型選抜	募集人数		34人	34人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	志願者数	125人	160人	98人	100人	104人	117人
		受験者数	125人	159人	94人	100人	104人	116人
		合格者数	110人	140人	89人	95人	101人	107人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	125人	160人	98人	100人	104人	117人
		受験者数	125人	159人	94人	100人	104人	116人
		合格者数	110人	140人	89人	95人	101人	107人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		110人	140人	89人	95人	101人	107人
一般選抜	募集人数		95人	100人	125人	125人	125人	114人
	延べ人数	志願者数	1,079人	1,373人	1,292人	1,122人	943人	1,162人
		受験者数	1,023人	1,296人	1,241人	1,090人	914人	1,113人
		合格者数	203人	175人	430人	448人	348人	321人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	9人	1人	3人
		辞退者数	1人	9人	10人	7人	4人	6人
	実人数	志願者数	959人	1,103人	1,176人	1,025人	778人	1,008人
		受験者数	910人	1,054人	1,135人	999人	756人	971人
		合格者数	190人	153人	410人	424人	310人	297人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	9人	1人	3人
		辞退者数	1人	9人	10人	7人	4人	6人
	入学者数		60人	27人	73人	70人	71人	60人
共通テスト利用入試	募集人数		26人	26人				26人
	延べ人数	志願者数	703人	581人				642人
		受験者数	698人	580人				639人
		合格者数	117人	94人				106人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	2人	0人				1人
	実人数	志願者数	680人	569人				625人
		受験者数	675人	568人				622人
		合格者数	114人	94人				104人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	2人	0人				1人
	入学者数		9人	4人				7人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	6人	12人	11人	6人	4人	8人
		受験者数	6人	11人	9人	4人	4人	7人
		合格者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	6人	12人	11人	6人	4人	8人
		受験者数	6人	11人	9人	4人	4人	7人
		合格者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		3人	3人	4人	3人	3人	3人
合計	募集人数		200人	200人	200人	200人	200人	200人
	延べ人数	志願者数	2,016人	2,211人	1,463人	1,304人	1,129人	1,625人
		受験者数	1,953人	2,125人	1,403人	1,269人	1,100人	1,570人
		合格者数	477人	458人	565人	606人	499人	521人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	9人	1人	3人
		辞退者数	3人	9人	10人	7人	4人	7人
	実人数	志願者数	1,873人	1,929人	1,347人	1,207人	964人	1,464人
		受験者数	1,817人	1,871人	1,297人	1,178人	942人	1,421人
		合格者数	461人	436人	545人	582人	461人	497人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	9人	1人	3人
		辞退者数	3人	9人	10人	7人	4人	7人
	入学者数		226人	220人	208人	226人	221人	220人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入学定員充足率	1.13	1.10	1.04	1.13	1.11	1.10
歩留率	0.47	0.48	0.37	0.37	0.44	0.43

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－３

大学学部学科等名：千葉商科大学商経学部経営学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		41人	32人	31人	31人	31人	33人
	延べ人数	志願者数	105人	83人	72人	77人	100人	87人
		受験者数	102人	77人	68人	77人	96人	84人
		合格者数	51人	33人	38人	59人	63人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	105人	83人	72人	77人	100人	87人
		受験者数	102人	77人	68人	77人	96人	84人
		合格者数	51人	33人	38人	59人	63人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		51人	32人	38人	59人	61人	48人
学校推薦型選抜	募集人数		34人	30人	30人	30人	30人	31人
	延べ人数	志願者数	93人	136人	108人	103人	123人	113人
		受験者数	93人	135人	104人	103人	123人	112人
		合格者数	85人	109人	94人	100人	115人	101人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	93人	136人	108人	103人	123人	113人
		受験者数	93人	135人	104人	103人	123人	112人
		合格者数	85人	109人	94人	100人	115人	101人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		85人	108人	94人	100人	115人	100人
一般選抜	募集人数		75人	88人	115人	115人	115人	102人
	延べ人数	志願者数	1,042人	1,603人	1,465人	1,133人	1,051人	1,259人
		受験者数	1,002人	1,541人	1,407人	1,094人	1,015人	1,212人
		合格者数	213人	287人	473人	405人	188人	313人
		うち追加合格者数	0人	20人	0人	0人	1人	4人
		辞退者数	6人	13人	18人	7人	1人	9人
	実　人　数	志願者数	952人	1,206人	1,256人	993人	844人	1,050人
		受験者数	915人	1,166人	1,212人	964人	816人	1,015人
		合格者数	201人	228人	424人	381人	162人	279人
		うち追加合格者数	0人	20人	0人	0人	1人	4人
		辞退者数	6人	13人	18人	7人	1人	9人
	入学者数		48人	37人	52人	56人	11人	41人
共通テスト利用入試	募集人数		26人	26人				26人
	延べ人数	志願者数	683人	560人				622人
		受験者数	679人	560人				620人
		合格者数	120人	100人				110人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	0人	4人				2人
	実　人　数	志願者数	669人	560人				615人
		受験者数	665人	560人				613人
		合格者数	117人	42人				80人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	0人	4人				2人
	入学者数		11人	3人				7人
その他の特別選抜	募集人数		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	29人	24人	28人	17人	9人	21人
		受験者数	29人	20人	25人	15人	7人	19人
		合格者数	3人	6人	8人	8人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	29人	24人	28人	17人	9人	21人
		受験者数	29人	20人	25人	15人	7人	19人
		合格者数	3人	6人	8人	8人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		3人	4人	7人	7人	4人	5人
合計	募集人数		180人	180人	180人	180人	180人	180人
	延べ人数	志願者数	1,952人	2,406人	1,673人	1,330人	1,283人	1,729人
		受験者数	1,905人	2,333人	1,604人	1,289人	1,241人	1,674人
		合格者数	472人	535人	613人	572人	371人	513人
		うち追加合格者数	0人	20人	0人	0人	1人	4人
		辞退者数	6人	17人	18人	8人	1人	10人
	実　人　数	志願者数	1,848人	2,009人	1,464人	1,190人	1,076人	1,517人
		受験者数	1,804人	1,958人	1,409人	1,159人	1,042人	1,474人
		合格者数	457人	418人	564人	548人	345人	466人
		うち追加合格者数	0人	20人	0人	0人	1人	4人
		辞退者数	6人	17人	18人	8人	1人	10人
	入学者数		198人	184人	191人	222人	191人	197人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員	180人	180人	180人	180人	180人	180
入学定員充足率	1.10	1.02	1.06	1.23	1.06	1.10
歩留率	0.42	0.34	0.31	0.39	0.51	0.40

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－４

大学学部学科等名：千葉商科大学政策情報学部政策情報学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		45人	35人	35人	35人	35人	37人
	延べ人数	志願者数	154人	127人	59人	65人	45人	90人
		受験者数	151人	126人	57人	62人	44人	88人
		合格者数	51人	42人	28人	25人	37人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	154人	127人	59人	65人	45人	90人
		受験者数	151人	126人	57人	62人	44人	88人
		合格者数	51人	42人	28人	25人	37人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		51人	42人	28人	25人	36人	36人
学校推薦型選抜	募集人数		30人	30人	35人	35人	35人	33人
	延べ人数	志願者数	112人	105人	125人	97人	76人	103人
		受験者数	112人	105人	125人	97人	76人	103人
		合格者数	82人	92人	109人	91人	76人	90人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	112人	105人	125人	97人	76人	103人
		受験者数	112人	105人	125人	97人	76人	103人
		合格者数	82人	92人	109人	91人	76人	90人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		82人	92人	109人	91人	76人	90人
一般選抜	募集人数		39人	49人	55人	55人	55人	51人
	延べ人数	志願者数	747人	924人	855人	651人	565人	748人
		受験者数	711人	879人	822人	630人	544人	717人
		合格者数	30人	39人	41人	146人	91人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	2人	1人	1人
	実　人　数	志願者数	698人	798人	783人	610人	462人	670人
		受験者数	665人	763人	755人	594人	446人	645人
		合格者数	30人	33人	39人	138人	81人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	2人	1人	1人
	入学者数		11人	5人	3人	19人	22人	12人
共通テスト利用入試	募集人数		11人	11人				11人
	延べ人数	志願者数	531人	390人				461人
		受験者数	530人	390人				460人
		合格者数	19人	28人				24人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	1人	0人				1人
	実　人　数	志願者数	522人	386人				454人
		受験者数	521人	386人				454人
		合格者数	19人	28人				24人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	1人	0人				1人
	入学者数		0人	1人				1人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人	1人	2人	1人
		受験者数	0人	1人	0人	1人	2人	1人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	0人	1人	0人	1人	2人	1人
		受験者数	0人	1人	0人	1人	2人	1人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	0人	1人	0人
合計	募集人数		125人	125人	125人	125人	125人	125人
	延べ人数	志願者数	1,544人	1,547人	1,039人	814人	688人	1,126人
		受験者数	1,504人	1,501人	1,004人	790人	666人	1,093人
		合格者数	182人	202人	178人	262人	205人	206人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	2人	1人	1人
	実　人　数	志願者数	1,486人	1,417人	967人	773人	585人	1,046人
		受験者数	1,449人	1,381人	937人	754人	568人	1,018人
		合格者数	182人	196人	176人	254人	195人	201人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	2人	1人	1人
	入学者数		144人	141人	140人	135人	135人	139人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125
入学定員充足率	1.15	1.13	1.12	1.08	1.08	1.11
歩留率	0.79	0.70	0.79	0.52	0.66	0.69

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－５

大学学部学科等名：千葉商科大学サービス創造学部サービス創造学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		100人	90人	90人	90人	90人	92人
	延べ人数	志願者数	238人	189人	86人	105人	116人	147人
		受験者数	236人	181人	83人	103人	112人	143人
		合格者数	90人	85人	69人	76人	84人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	238人	189人	86人	105人	116人	147人
		受験者数	236人	181人	83人	103人	112人	143人
		合格者数	90人	85人	69人	76人	84人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		89人	85人	67人	76人	84人	80人
学校推薦型選抜	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	150人	107人	132人	122人	127人	128人
		受験者数	150人	106人	128人	122人	127人	127人
		合格者数	128人	103人	117人	120人	121人	118人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	150人	107人	132人	122人	127人	128人
		受験者数	150人	106人	128人	122人	127人	127人
		合格者数	128人	103人	117人	120人	121人	118人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		126人	103人	116人	120人	121人	117人
一般選抜	募集人数		40人	50人	70人	70人	70人	60人
	延べ人数	志願者数	638人	798人	821人	724人	572人	711人
		受験者数	607人	762人	785人	705人	554人	683人
		合格者数	38人	125人	213人	170人	61人	121人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	3人	0人	2人
		辞退者数	1人	2人	4人	2人	0人	2人
	実　人　数	志願者数	600人	714人	724人	628人	440人	621人
		受験者数	571人	683人	695人	612人	428人	598人
		合格者数	34人	103人	191人	152人	55人	107人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	3人	0人	2人
		辞退者数	1人	2人	4人	2人	0人	2人
	入学者数		9人	27人	31人	18人	5人	18人
共通テスト利用入試	募集人数		20人	20人				20人
	延べ人数	志願者数	465人	353人				409人
		受験者数	464人	353人				409人
		合格者数	10人	50人				30人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	0人	1人				1人
	実　人　数	志願者数	459人	352人				406人
		受験者数	458人	352人				405人
		合格者数	10人	50人				30人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	0人	1人				1人
	入学者数		1人	1人				1人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	3人	2人	0人	0人	2人
		受験者数	5人	3人	2人	0人	0人	2人
		合格者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	5人	3人	2人	0人	0人	2人
		受験者数	5人	3人	2人	0人	0人	2人
		合格者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		200人	200人	200人	200人	200人	200人
	延べ人数	志願者数	1,496人	1,450人	1,041人	951人	815人	1,151人
		受験者数	1,462人	1,405人	998人	930人	793人	1,118人
		合格者数	267人	364人	399人	366人	266人	332人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	3人	0人	2人
		辞退者数	2人	3人	4人	2人	0人	2人
	実　人　数	志願者数	1,452人	1,365人	944人	855人	683人	1,060人
		受験者数	1,420人	1,325人	908人	837人	667人	1,031人
		合格者数	263人	342人	377人	348人	260人	318人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	3人	0人	2人
		辞退者数	2人	3人	4人	2人	0人	2人
	入学者数		226人	217人	214人	214人	210人	216人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入　学　定　員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入学定員充足率	1.13	1.09	1.07	1.07	1.05	1.08
歩　留　率	0.85	0.60	0.54	0.58	0.79	0.67

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－６

大学学部学科等名：千葉商科大学人間社会学部人間社会学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		86人	76人	80人	75人	75人	78人
	延べ人数	志願者数	138人	103人	33人	47人	68人	78人
		受験者数	137人	99人	32人	45人	66人	76人
		合格者数	95人	64人	27人	41人	57人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	138人	103人	33人	47人	68人	78人
		受験者数	137人	99人	32人	45人	66人	76人
		合格者数	95人	64人	27人	41人	57人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		93人	63人	27人	39人	56人	56人
学校推薦型選抜	募集人数		45人	40人	35人	35人	35人	38人
	延べ人数	志願者数	73人	129人	125人	95人	102人	105人
		受験者数	73人	128人	123人	95人	102人	104人
		合格者数	73人	119人	122人	93人	102人	102人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	73人	129人	125人	95人	102人	105人
		受験者数	73人	128人	123人	95人	102人	104人
		合格者数	73人	119人	122人	93人	102人	102人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		73人	119人	122人	93人	102人	102人
一般選抜	募集人数		50人	65人	85人	85人	85人	74人
	延べ人数	志願者数	753人	938人	951人	752人	705人	820人
		受験者数	713人	897人	911人	728人	680人	786人
		合格者数	165人	206人	444人	514人	342人	334人
		うち追加合格者数	0人	7人	6人	3人	0人	3人
		辞退者数	3人	5人	8人	3人	1人	4人
	実　人　数	志願者数	685人	786人	827人	658人	540人	699人
		受験者数	648人	752人	795人	638人	520人	671人
		合格者数	153人	171人	398人	454人	283人	292人
		うち追加合格者数	0人	7人	6人	3人	0人	3人
		辞退者数	3人	5人	8人	3人	1人	4人
	入学者数		44人	27人	74人	79人	45人	54人
共通テスト利用入試	募集人数		19人	19人				19人
	延べ人数	志願者数	532人	399人				466人
		受験者数	532人	399人				466人
		合格者数	105人	68人				87人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	3人	1人				2人
	実　人　数	志願者数	517人	391人				454人
		受験者数	517人	391人				454人
		合格者数	103人	66人				85人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	3人	1人				2人
	入学者数		1人	1人				1人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	5人	5人	2人
	延べ人数	志願者数	4人	1人	1人	1人	4人	2人
		受験者数	2人	1人	1人	0人	4人	2人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	3人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	4人	1人	1人	1人	4人	2人
		受験者数	2人	1人	1人	0人	4人	2人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	3人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	3人	1人
合計	募集人数		200人	200人	200人	200人	200人	200人
	延べ人数	志願者数	1,500人	1,570人	1,110人	895人	879人	1,191人
		受験者数	1,457人	1,524人	1,067人	868人	852人	1,154人
		合格者数	438人	457人	594人	648人	504人	528人
		うち追加合格者数	0人	7人	6人	3人	0人	3人
		辞退者数	7人	6人	8人	3人	1人	5人
	実　人　数	志願者数	1,417人	1,410人	986人	801人	714人	1,066人
		受験者数	1,377人	1,371人	951人	778人	692人	1,034人
		合格者数	424人	420人	548人	588人	445人	485人
		うち追加合格者数	0人	7人	6人	3人	0人	3人
		辞退者数	7人	6人	8人	3人	1人	5人
	入学者数		211人	210人	223人	211人	206人	212人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入学定員充足率	1.06	1.05	1.12	1.06	1.03	1.06
歩留率	0.48	0.46	0.38	0.33	0.41	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－７

大学学部学科等名：千葉商科大学国際教養学部国際教養学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		20人	15人	13人	13人	13人	15人
	延べ人数	志願者数	64人	38人	23人	12人	15人	30人
		受験者数	63人	37人	21人	11人	15人	29人
		合格者数	33人	24人	13人	11人	15人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	64人	38人	23人	12人	15人	30人
		受験者数	63人	37人	21人	11人	15人	29人
		合格者数	33人	24人	13人	11人	15人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		33人	24人	13人	11人	13人	19人
学校推薦型選抜	募集人数		15人	15人	12人	12人	12人	13人
	延べ人数	志願者数	33人	44人	33人	23人	13人	29人
		受験者数	33人	44人	32人	23人	13人	29人
		合格者数	30人	42人	32人	23人	13人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	33人	44人	33人	23人	13人	29人
		受験者数	33人	44人	32人	23人	13人	29人
		合格者数	30人	42人	32人	23人	13人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		30人	42人	32人	23人	13人	28人
一般選抜	募集人数		26人	31人	50人	50人	50人	41人
	延べ人数	志願者数	646人	748人	744人	549人	464人	630人
		受験者数	612人	707人	711人	529人	448人	601人
		合格者数	63人	141人	239人	216人	171人	166人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	8人	5人	2人	1人	3人
	実人数	志願者数	607人	644人	701人	528人	408人	578人
		受験者数	578人	611人	673人	509人	394人	553人
		合格者数	57人	104人	219人	206人	157人	149人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	8人	5人	2人	1人	3人
	入学者数		9人	20人	9人	10人	8人	11人
共通テスト利用入試	募集人数		14人	14人				14人
	延べ人数	志願者数	475人	310人				393人
		受験者数	475人	310人				393人
		合格者数	39人	28人				34人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	0人	0人				0人
	実人数	志願者数	467人	308人				388人
		受験者数	467人	308人				388人
		合格者数	39人	28人				34人
		うち追加合格者数	0人	0人				0人
		辞退者数	0人	0人				0人
	入学者数		2人	0人				1人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	3人	6人	3人	1人	0人	3人
		受験者数	3人	6人	2人	1人	0人	2人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	3人	6人	3人	1人	0人	3人
		受験者数	3人	6人	2人	1人	0人	2人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	1人	1人	0人	0人	1人
合計	募集人数		75人	75人	75人	75人	75人	75人
	延べ人数	志願者数	1,221人	1,146人	803人	585人	492人	849人
		受験者数	1,186人	1,104人	766人	564人	476人	819人
		合格者数	165人	235人	284人	250人	199人	227人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	8人	5人	2人	1人	3人
	実人数	志願者数	1,174人	1,040人	760人	564人	436人	795人
		受験者数	1,144人	1,006人	728人	544人	422人	769人
		合格者数	159人	198人	264人	240人	185人	209人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	8人	5人	2人	1人	3人
	入学者数		75人	87人	55人	44人	34人	59人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75
入学定員充足率	1.00	1.16	0.73	0.59	0.45	0.79
歩留率	0.45	0.37	0.19	0.18	0.17	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙３

①　募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパス（全学部全学科）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4,210人	4,340人	①取組概要 オープンキャンパス ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 過年度実績から、2024年度では2,700人超の受験対象者がオープンキャンパスに参加することを見込んでいる。参加者の入学率が2022年度実績の40.6%とした場合は、オープンキャンパス参加者2700名のうち、入学者が1,096人と大学全体における入学定員(1,410人)の77.7%を満たす状況となることが見込まれる。新設組織の２つの学科の定員(150人）に上記の推定割合を当てはめると、オープンキャンパスでの取り組みを通じた入学者見込数は、いずれも116人となる。
うち受験対象者数(b)	2,702(1,002)人	2,568(1,285)人	
うち受験者数(c)	1,244(224)人	1,180(－)人	
うち入学者数(d)	1,096人	－	
（受験率 c/b）	46.0%(22.4%)	46.0%	
（入学率 d/b）	40.6%	－	

※2023年12月時点　　※（　）は翌年度受験対象者を示す

参考1　入学（見込み）者におけるオープンキャンパス参加率（商経学部経済学科）

	R4年度入試	R5年度入試※
入学（見込み）者数(a)	221人	157人
うちOC参加者数(b)	136人	125人
(OC参加率 b/a)	61.5%	71.6%

※2023年12月時点

参考2　入学（見込み）者におけるオープンキャンパス参加率（政策情報学部政策情報学科）

	R4年度入試	R5年度入試※
入学（見込み）者数(a)	135人	142人
うちOC参加者数(b)	95人	113人
(OC参加率 b/a)	70.4%	79.6%

※2023年12月時点

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者を通じた出願促進（全学部全学科）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	19,569人	16,663人	①取組概要 資料請求者を通じた出願促進 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 資料請求を通じた入学率は2022年度で7.6%となっている。資料請求者は受験生のデジタル志向により減少傾向であることから、2023年度資料請求数を10%減少して14,996人とした場合、資料請求経由での入学者見込数は113人、全学部入学定員における総合政策学部経済学科・政策情報学科の入学定員に占める割合10.6%を当てはめると1学科あたり12人(b)となる。
うち受験対象者数(b)	6,625人	5,418人	
うち受験者数(c)	671人	410人	
うち入学者数(d)	501人	－	
（受験率 c/b）	10.1%	7.6%	
（入学率 d/b）	7.6%	－	

資料１　学問系統別志願状況（2021 年度～2023 年度／一般選抜）

単位：人（募集人員・志願者）※実質倍率の単位は倍

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
経済・経営・商学（全体）	全国	47,917	47,570	47,749	100	612,959	603,567	604,475	99	3.0	2.7	2.7
	首都圏	24,138	24,069	24,130	100	335,914	330,883	336,709	100	3.3	2.8	2.7

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
経済学	全国	19,304	19,095	18,861	98	258,476	254,875	259,197	100	2.9	2.5	2.6
	首都圏	9,349	9,260	9,134	98	130,373	126,301	130,396	100	3.1	2.6	2.6

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
経営学・商学	全国	27,319	27,191	27,375	100	340,122	334,864	330,786	97	3.2	2.8	2.8
	首都圏	14,368	14,353	14,487	101	199,019	196,789	197,904	99	3.4	2.9	2.8

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
経営情報学	全国	1,294	1,284	1,513	117	14,361	13,828	14,492	101	3.1	2.5	2.1
	首都圏	421	456	509	121	6,522	7,793	8,409	129	3.9	2.9	2.3

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
総合科学	全国	3,885	3,934	3,812	98	52,888	54,475	50,840	96	3.2	2.7	3.2
	首都圏	2,627	2,628	2,506	95	36,803	37,226	34,094	93	3.6	2.8	3.8

私立大		募集人員				志願者				志願者		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
総合情報学	全国	3,545	3,443	3,584	101	42,042	44,155	44,335	105	3.4	3.1	2.9
	首都圏	2,274	2,123	2,075	91	27,516	30,160	28,119	102	3.2	3.1	3.0

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
法学(全体)	全国	19,706	19,627	19,688	100	234,667	250,332	228,194	97	2.6	2.6	2.5
	首都圏	11,228	11,183	11,149	99	138,173	143,695	127,428	92	2.9	2.8	2.4

各入試年度　ベネッセコーポレーション調べ

私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
社会学	全国	6,804	6,647	6,719	99	101,558	98,024	96,260	95	3.1	2.8	2.8
	首都圏	3,537	3,484	3,479	98	58,877	55,490	55,618	94	3.5	3.0	2.9

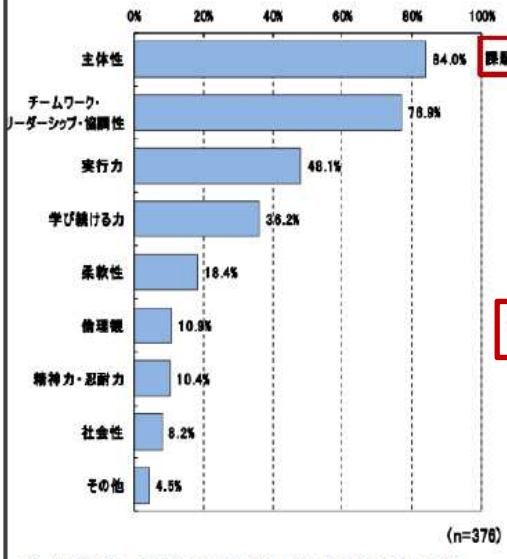
私立大		募集人員				志願者				実質倍率		
学問系統	エリア	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度	対'21年指数('23/'21)	2021年度	2022年度	2023年度
マスコミ	全国	1,150	1,222	1,256	109	19,645	19,817	18,074	92	3.4	3.2	2.8
	首都圏	864	929	913	106	14,255	14,838	13,184	92	3.6	3.2	2.6

各入試年度　ベネッセコーポレーション調べ

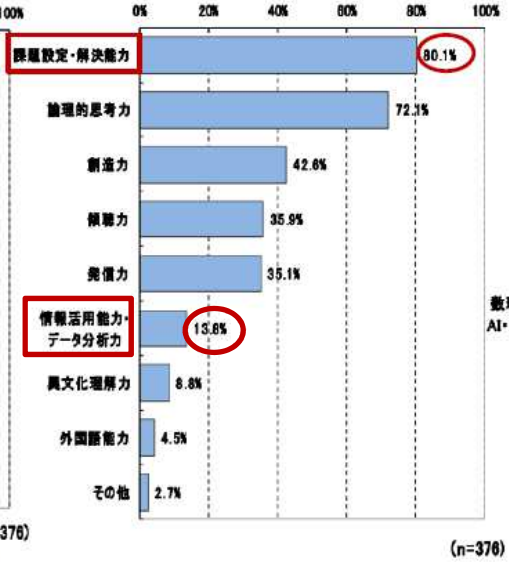
１．採用の観点から、大卒者に特に期待する資質・能力・知識

- 特に期待する資質として、回答企業の約８割が「主体性」、「チームワーク・リーダーシップ・協調性」を挙げた。変化の激しい人生100年時代を迎え、「学び続ける力」と回答した企業が４割近い。
- 特に期待する能力として、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「創造力」が上位。いずれもSociety 5.0において求められる能力として、産学協議会で産学間で認識が一致したもの。
- 特に期待する知識として、「文系・理系の枠を超えた知識・教養」が最も多く、リベラルアーツ教育や文理融合教育を重視した教育の実践が重要。専門教育の重要性も認識。

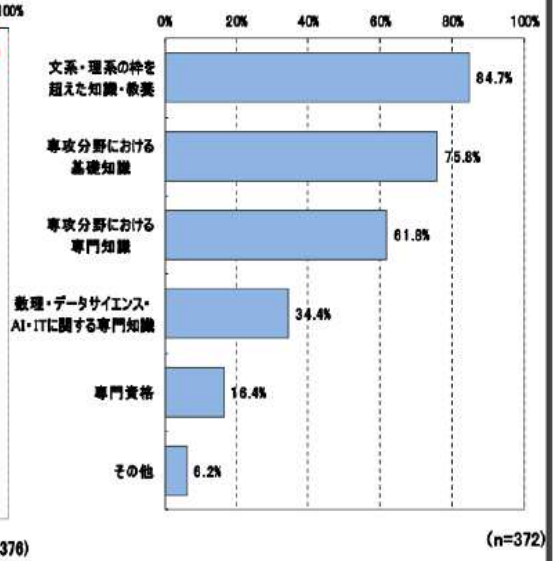
<特に期待する資質>



<特に期待する能力>



<特に期待する知識>



注：資質・能力・知識についてそれぞれ3つまで選択可能

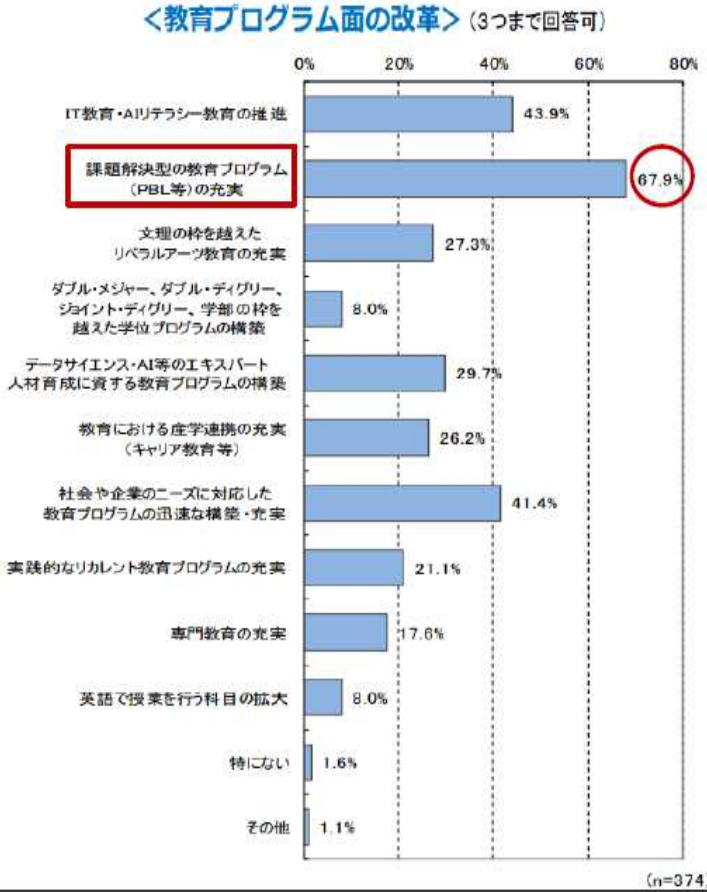
※一般社団法人 日本経済団体連合会 「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（2022年1月18日）より抜粋

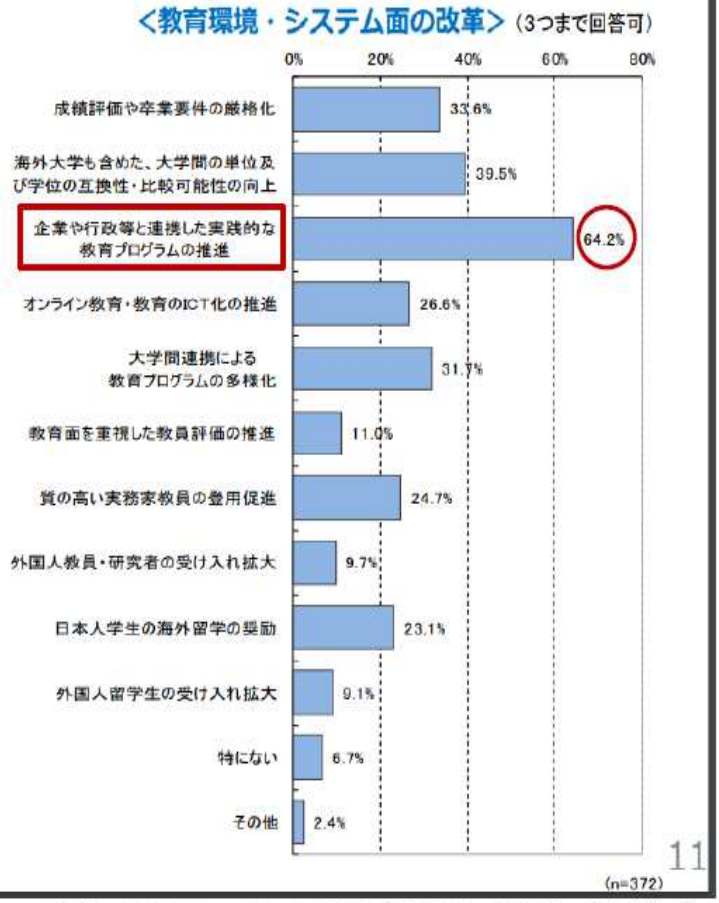
資料２－２「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（2022 年 1 月 18 日）抜粋

1．教育面　（1）今後、優先的に取り組むべき教育改革

■ 今後、優先的に取り組むべき教育改革について、「課題解決型の教育プログラム（PBL等）の充実」（68%）、「IT教育・AIリテラシー教育の推進」(44%)、「社会や企業のニーズに対応した教育プログラムの迅速な構築・充実」(41%) が多い。

■ 優先的に取り組むべき教育環境・システム面の改革については、「企業や行政等と連携した実践的な教育プログラムの推進」(64%)、「海外大学も含めた、大学間の単位及び学位の互換性・比較可能性の向上」(40%)、「成績評価や卒業要件の厳格化」(34%) が多い。

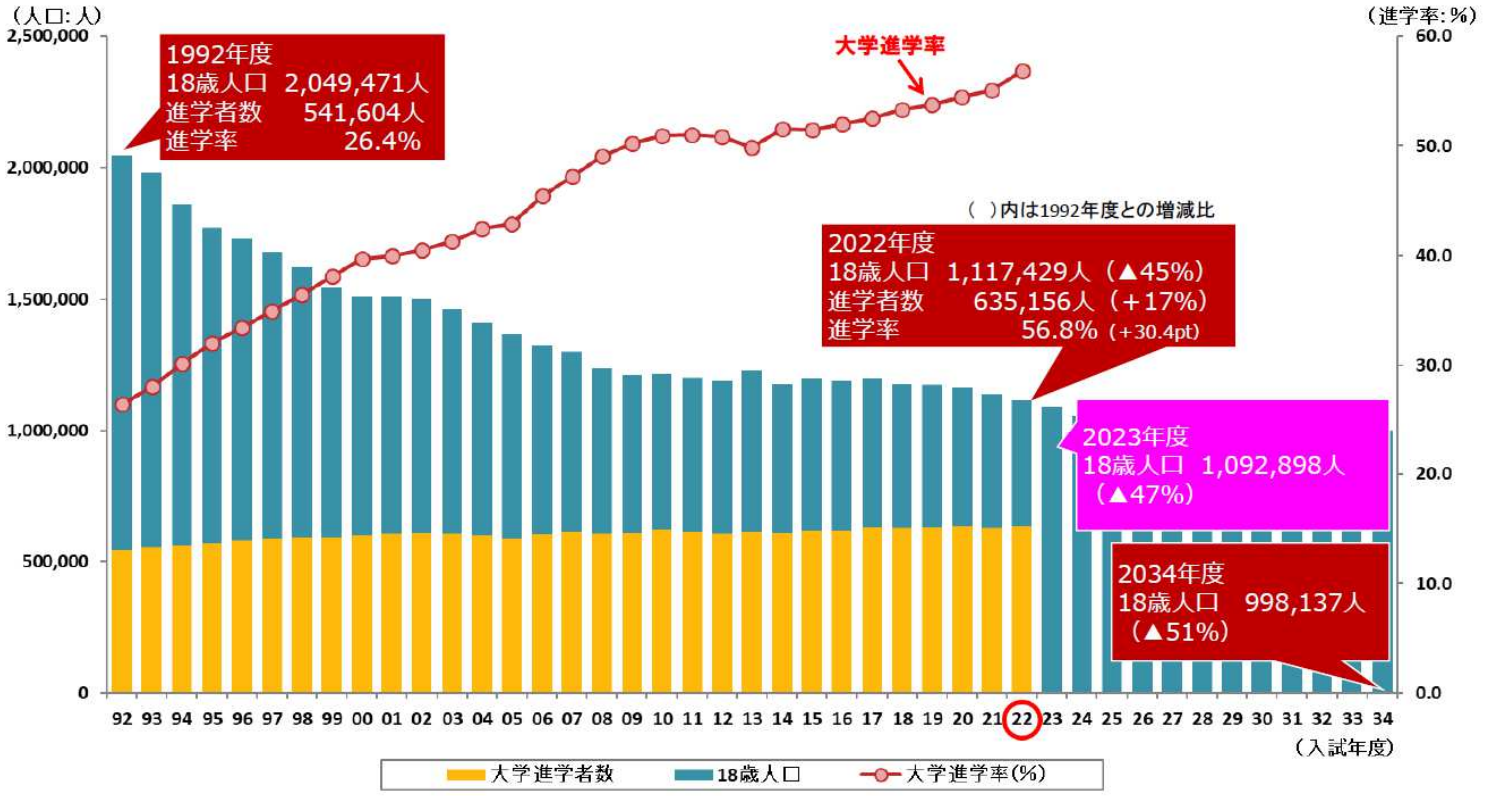




11

※一般社団法人 日本経済団体連合会「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」(2022年1月18日)より抜粋

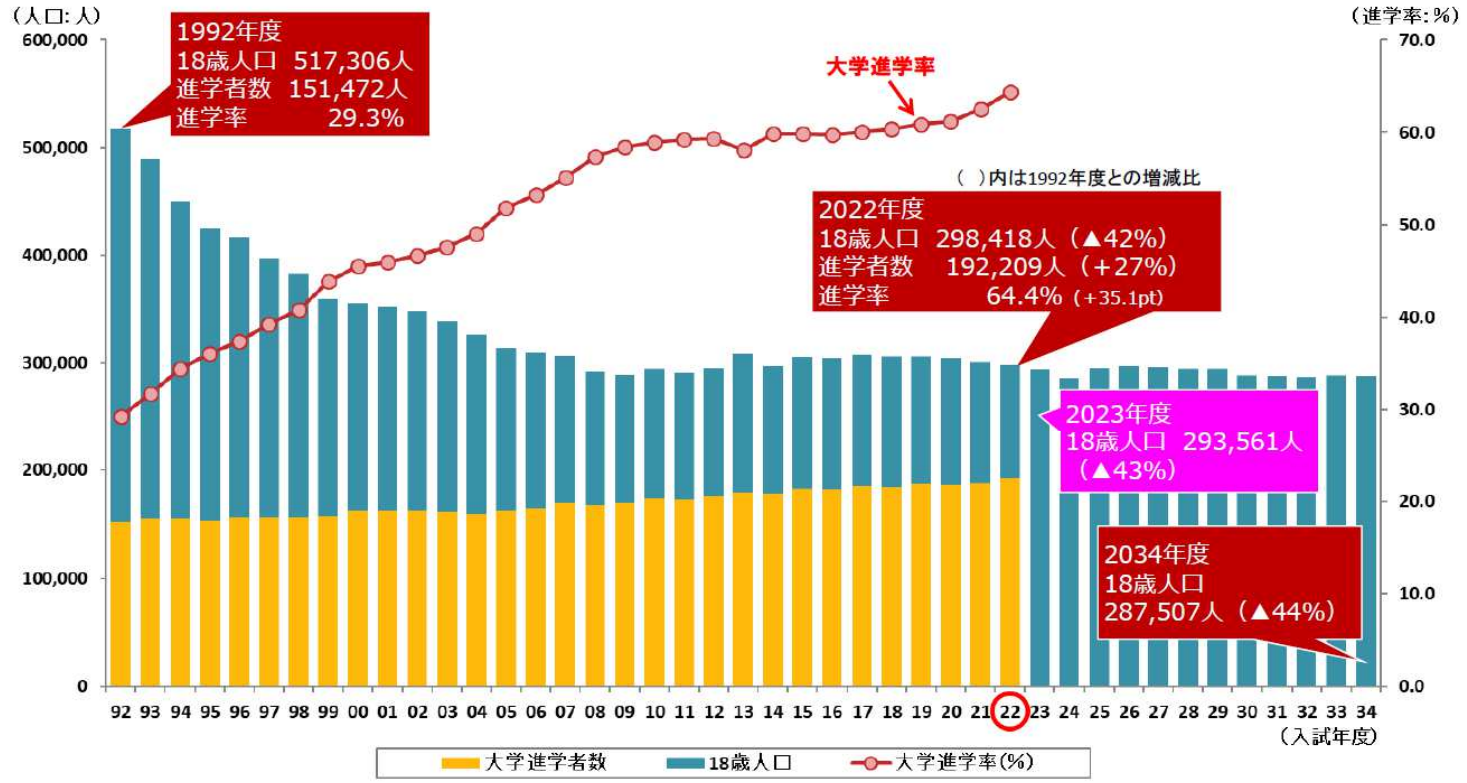
資料 3-1　18 歳人口と大学進学者の推移（全国）



18歳人口：3年前の中学校卒業者数＋3年前の中等教育学校前期課程の修了者数
進学率　：当該年度の大学進学者（過年度卒業者も含む）÷18歳人口

文部科学省「学校基本調査（確定値）」より

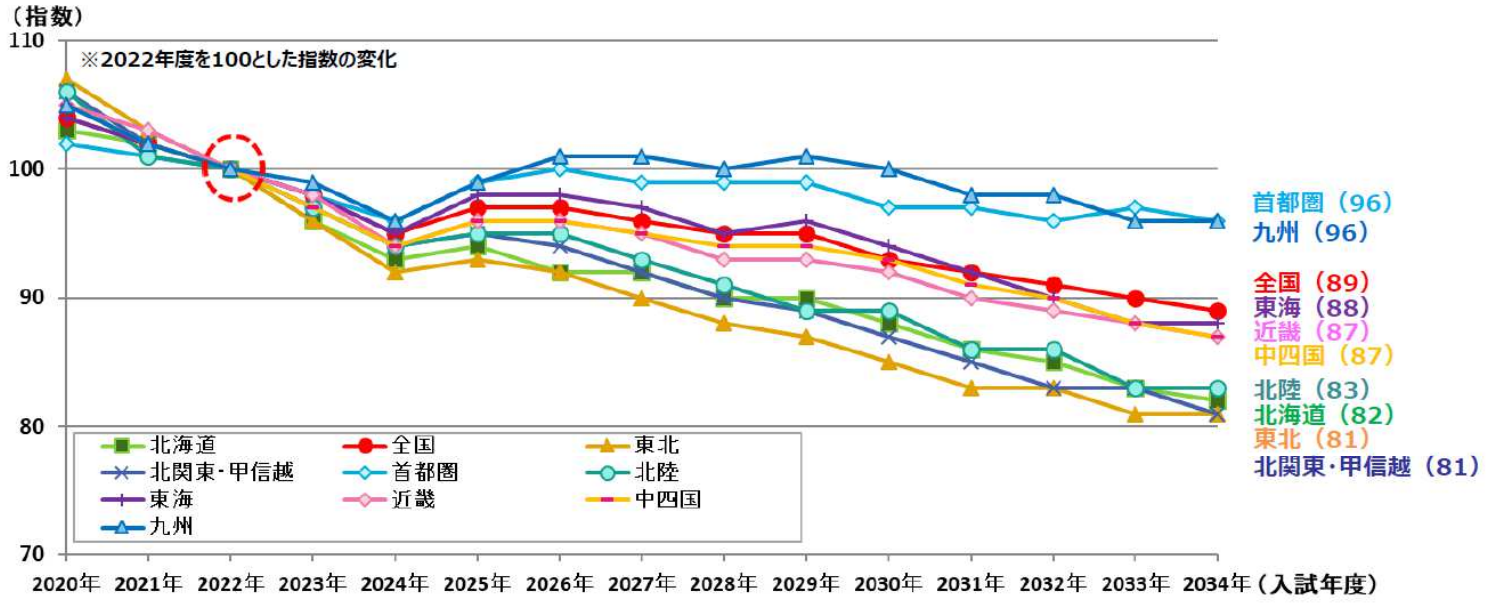
資料 3-2　18 歳人口と大学進学者の推移（首都圏）



18歳人口：3年前の中学校卒業者数＋3年前の中等教育学校前期課程の修了者数
進学率　：当該年度の大学進学者（過年度卒業者も含む）÷18歳人口

文部科学省「学校基本調査（確定値）」より

資料 3-3　18 歳人口の指数推移（全国）



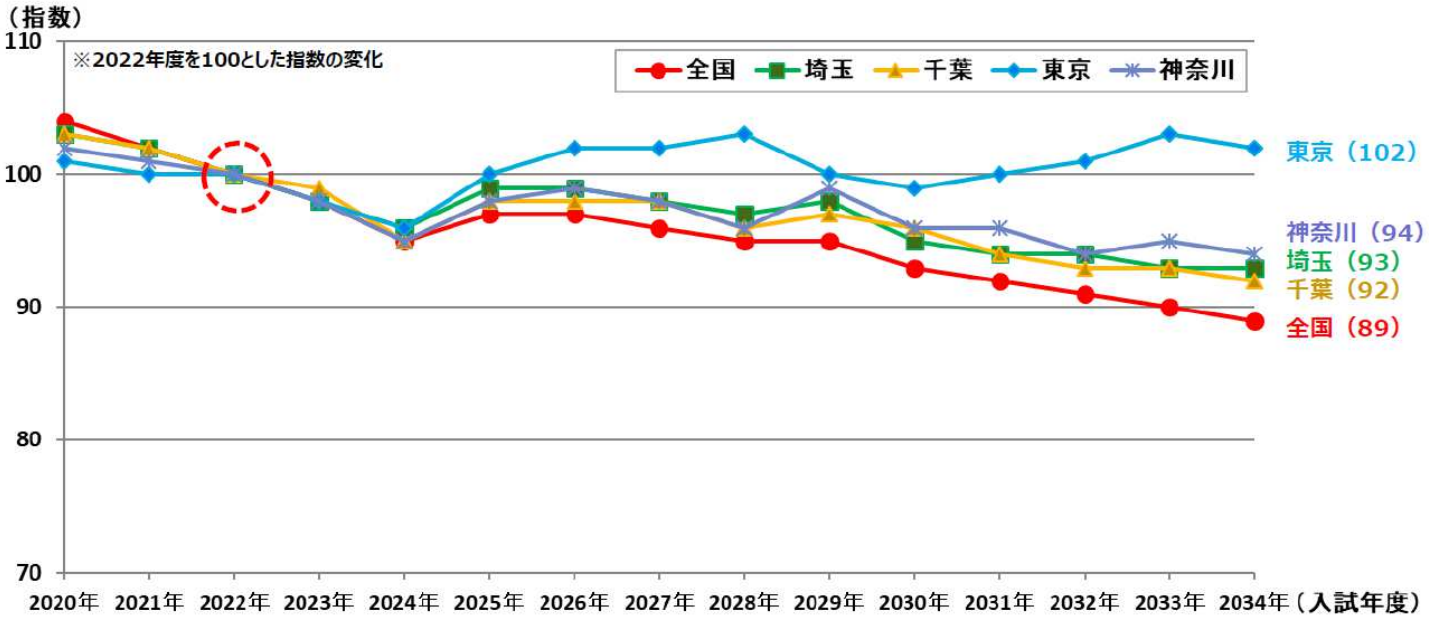
【18歳人口の予測推移】

（単位：人）

入試年度	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全国	1,165,874	1,138,531	1,117,429	1,092,898	1,057,927	1,083,906	1,085,196	1,076,806	1,060,977	1,061,457	1,042,647	1,027,079	1,015,980	1,006,005	998,137
北海道	45,643	44,983	44,233	42,414	40,923	41,638	40,798	40,708	39,793	39,732	38,942	37,978	37,700	36,701	36,319
東北	83,382	80,134	77,929	75,160	71,575	72,493	71,524	70,265	68,375	67,973	66,113	64,783	64,971	63,303	62,782
北関東･甲信越	116,088	112,170	109,848	106,594	102,872	104,216	102,822	101,435	99,069	97,896	95,295	93,409	91,599	90,994	89,140
首都圏	304,574	301,011	298,418	293,561	286,035	295,469	297,856	296,361	294,639	294,574	288,644	288,145	286,800	288,789	287,507
北陸	28,986	27,682	27,412	26,567	25,817	26,020	26,078	25,564	24,940	24,288	24,364	23,609	23,444	22,835	22,706
東海	145,478	143,580	140,430	138,232	133,262	136,998	137,302	135,822	133,788	134,249	132,100	129,493	126,732	123,981	123,854
近畿	194,862	189,948	184,767	180,317	174,112	177,817	177,456	176,165	172,598	172,644	170,233	166,952	163,685	162,281	160,653
中四国	105,724	102,350	100,370	97,708	94,257	96,397	96,149	95,037	94,129	94,438	93,155	91,195	89,984	88,252	86,942
九州	141,137	136,673	134,022	132,345	129,074	132,858	135,211	135,449	133,646	135,663	133,801	131,515	131,065	128,869	128,234

文部科学省「学校基本調査（確定値）」より

資料 3-4　18 歳人口の指数推移（首都圏）



【18歳人口の予測推移】

（単位：人）

入試年度	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全国	1,165,874	1,138,531	1,117,429	1,092,898	1,057,927	1,083,906	1,085,196	1,076,806	1,060,977	1,061,457	1,042,647	1,027,079	1,015,980	1,006,005	998,137
埼玉	65,634	64,508	63,542	62,523	61,178	62,918	62,946	62,154	61,818	62,000	60,169	59,890	59,673	59,183	59,074
千葉	55,188	54,798	53,790	53,336	51,297	52,736	52,830	52,732	51,834	52,265	51,373	50,413	49,757	49,938	49,661
東京	104,457	103,453	103,355	101,664	99,429	103,617	105,284	105,613	106,031	103,375	102,137	102,931	104,172	106,023	105,788
神奈川	79,295	78,252	77,731	76,038	74,131	76,198	76,796	75,862	74,956	76,934	74,965	74,911	73,198	73,645	72,984

文部科学省「学校基本調査（確定値）」より

資料 3-5　18 歳人口・大学進学者数等の 10 ヵ年推移（全国）　単位：人（進学率は%）

項目＼年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	13年と22年の比較	
											2022-2013	2022/2013
18歳人口	308,835	297,512	305,067	304,670	307,864	305,851	306,595	304,574	301,011	298,418	▲ 10,417	97
大学進学者数	179,393	178,122	182,434	182,168	185,020	184,664	186,723	186,423	188,096	192,209	12,816	107
大学進学率	58.1	59.9	59.8	59.8	60.1	60.4	60.9	61.2	62.5	64.4	6.3	—
地元大学進学者数	86,011	84,885	87,212	87,333	88,833	88,532	89,463	89,544	90,644	93,267	7,256	108
地元大学進学率	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9	48.0	48.2	48.5	0.6	—
地元私立大学進学者数	79,694	78,686	80,754	80,872	82,400	81,971	82,958	83,202	84,102	86,559	6,865	109
地元私立大学進学率	44.4	44.2	44.3	44.4	44.5	44.4	44.4	44.6	44.7	45.0	0.6	—
短期大学進学者数	11,971	11,402	11,231	10,642	10,113	9,751	9,253	8,948	8,150	7,423	▲ 4,548	62
短期大学進学率	3.9	3.8	3.7	3.5	3.3	3.2	3.0	2.9	2.7	2.5	▲ 1.4	—
高卒者の専修学校(専門課程)進学者数	42,899	41,606	41,623	41,375	40,884	39,933	42,291	43,781	43,820	40,329	▲ 2,570	94
高卒者の専修学校(専門課程)進学率	15.6	15.7	15.2	15.1	14.8	14.5	15.3	16.1	16.3	15.2	▲ 0.4	—

各年度　文部科学省「学校基本調査」に基づく

資料 3-6　18 歳人口・大学進学者数等の 10 ヵ年推移（千葉県）　単位：人（進学率は%）

項目＼年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	13年と22年の比較	
											2022-2013	2022/2013
18歳人口	56,030	53,963	55,569	54,860	55,647	55,334	55,425	55,188	54,798	53,790	▲ 2,240	96
大学進学者数	28,370	28,249	29,206	29,188	29,574	29,744	29,680	29,698	30,362	31,029	2,659	109
大学進学率	50.6	52.3	52.6	53.2	53.1	53.8	53.5	53.8	55.4	57.7	7.1	—
地元大学進学者数	9,608	9,052	9,417	9,482	9,787	9,941	10,219	10,039	10,225	10,553	945	110
地元大学進学率	33.9	32.0	32.2	32.5	33.1	33.4	34.4	33.8	33.7	34.0	0.1	—
地元私立大学進学者数	8,802	8,302	8,612	8,651	8,974	9,168	9,430	9,228	9,392	9,656	854	110
地元私立大学進学率	31.0	29.4	29.5	29.6	30.3	30.8	31.8	31.1	30.9	31.1	0.1	—
短期大学進学者数	2,288	2,134	2,184	2,122	1,963	1,914	1,812	1,822	1,683	1,474	▲ 814	64
短期大学進学率	4.1	4.0	3.9	3.9	3.5	3.5	3.3	3.3	3.1	2.7	▲ 1.4	—
高卒者の専修学校(専門課程)進学者数	9,082	9,038	9,064	8,734	8,766	8,828	9,352	9,412	9,670	8,980	▲ 102	99
高卒者の専修学校(専門課程)進学率	18.5	19.0	18.5	17.8	17.8	18.0	19.1	19.5	20.1	19.2	0.7	—

各年度　文部科学省「学校基本調査」に基づく

資料 3-7 大学進学者の流出状況

単位：人（占有率は%）

【2020年度入試】

順	埼玉 合計	35,148	占有率	順	千葉 合計	29,698	占有率	順	東京 合計	77,773	占有率	順	神奈川 合計	43,804	占有率
1	東京	17,332	49.3	1	東京	13,295	44.8	1	東京	51,659	66.4	1	東京	22,437	51.2
2	埼玉	10,811	30.8	2	千葉	10,039	33.8	2	神奈川	10,133	13.0	2	神奈川	17,035	38.9
3	千葉	2,047	5.8	3	神奈川	2,101	7.1	3	埼玉	6,164	7.9	3	千葉	912	2.1
4	神奈川	1,939	5.5	4	埼玉	1,840	6.2	4	千葉	4,828	6.2	4	埼玉	909	2.1
5	群馬	631	1.8	5	茨城	695	2.3	5	茨城	575	0.7	5	北海道	269	0.6
6	茨城	432	1.2	6	北海道	209	0.7	6	北海道	519	0.7	6	山梨	266	0.6
7	栃木	284	0.8	7	京都	158	0.5	7	京都	497	0.6	7	静岡	224	0.5
8	北海道	241	0.7	8	群馬	142	0.5	8	山梨	475	0.6	8	京都	224	0.5
9	宮城	235	0.7	9	宮城	120	0.4	9	群馬	293	0.4	9	宮城	156	0.4
10	京都	134	0.4	10	静岡	117	0.4	10	大阪	273	0.4	10	群馬	154	0.4

大学進学者総数： 186,423人
エリア外進学者数： 12,942人

他エリアへの進学者割合 6.9%

【2021年度入試】

順	埼玉 合計	35,056	占有率	順	千葉 合計	30,362	占有率	順	東京 合計	78,180	占有率	順	神奈川 合計	44,498	占有率
1	東京	17,761	50.7	1	東京	13,804	45.5	1	東京	52,881	67.6	1	東京	23,058	51.8
2	埼玉	10,303	29.4	2	千葉	10,225	33.7	2	神奈川	9,968	12.8	2	神奈川	17,235	38.7
3	千葉	2,043	5.8	3	神奈川	2,201	7.2	3	埼玉	5,883	7.5	3	千葉	947	2.1
4	神奈川	1,991	5.7	4	埼玉	1,772	5.8	4	千葉	4,548	5.8	4	埼玉	928	2.1
5	群馬	665	1.9	5	茨城	708	2.3	5	北海道	557	0.7	5	北海道	267	0.6
6	茨城	404	1.2	6	北海道	197	0.6	6	茨城	536	0.7	6	山梨	253	0.6
7	栃木	250	0.7	7	京都	142	0.5	7	京都	530	0.7	7	京都	232	0.5
8	北海道	194	0.6	8	宮城	115	0.4	8	山梨	453	0.6	8	静岡	214	0.5
9	宮城	192	0.5	9	静岡	115	0.4	9	群馬	284	0.4	9	茨城	165	0.4
10	京都	153	0.4	10	群馬	105	0.3	10	宮城	272	0.3	10	宮城	138	0.3

大学進学者総数： 188,096人
エリア外進学者数： 12,548人

他エリアへの進学者割合 6.7%

【2022年度入試】

順	埼玉 合計	35,441	占有率	順	千葉 合計	31,029	占有率	順	東京 合計	79,905	占有率	順	神奈川 合計	45,834	占有率
1	東京	18,027	50.9	1	東京	14,177	45.7	1	東京	54,294	67.9	1	東京	23,617	51.5
2	埼玉	10,427	29.4	2	千葉	10,553	34.0	2	神奈川	10,283	12.9	2	神奈川	17,993	39.3
3	千葉	2,109	6.0	3	神奈川	2,263	7.3	3	埼玉	5,720	7.2	3	千葉	944	2.1
4	神奈川	2,058	5.8	4	埼玉	1,877	6.0	4	千葉	4,770	6.0	4	埼玉	860	1.9
5	群馬	684	1.9	5	茨城	486	1.6	5	京都	540	0.7	5	北海道	266	0.6
6	茨城	296	0.8	6	北海道	177	0.6	6	北海道	491	0.6	6	山梨	263	0.6
7	栃木	268	0.8	7	京都	166	0.5	7	茨城	481	0.6	7	静岡	221	0.5
8	宮城	189	0.5	8	群馬	142	0.5	8	山梨	471	0.6	8	京都	212	0.5
9	北海道	187	0.5	9	宮城	115	0.4	9	群馬	267	0.3	9	茨城	172	0.4
10	京都	149	0.4	10	静岡	103	0.3	10	宮城	266	0.3	10	群馬	123	0.3

大学進学者総数： 192,209人
エリア外進学者数： 12,237人

他エリアへの進学者割合 6.4%

※流出＝当該エリア内の各県の高校出身者が他エリアにある大学へ進学。BEST10以内で該当エリアに属する都道府県には網掛け。

文部科学省「学校基本調査（確定値）」より

資料 3-8 大学進学者の流入状況

単位：人（占有率は%）

【2020年度入試】

順	埼玉 合計	29,199	占有率	順	千葉 合計	26,560	占有率	順	東京 合計	145,955	占有率	順	神奈川 合計	45,289	占有率
1	埼玉	10,811	37.0	1	千葉	10,039	37.8	1	東京	51,659	35.4	1	神奈川	17,035	37.6
2	東京	6,164	21.1	2	東京	4,828	18.2	2	神奈川	22,437	15.4	2	東京	10,133	22.4
3	千葉	1,840	6.3	3	埼玉	2,047	7.7	3	埼玉	17,332	11.9	3	静岡	2,104	4.6
4	群馬	1,392	4.8	4	茨城	2,018	7.6	4	千葉	13,295	9.1	4	千葉	2,101	4.6
5	茨城	1,240	4.2	5	神奈川	912	3.4	5	茨城	4,837	3.3	5	埼玉	1,939	4.3
6	栃木	1,218	4.2	6	静岡	682	2.6	6	静岡	3,348	2.3	6	茨城	1,018	2.2
7	神奈川	909	3.1	7	栃木	590	2.2	7	栃木	2,405	1.6	7	長野	939	2.1
8	長野	681	2.3	8	新潟	502	1.9	8	群馬	2,325	1.6	8	新潟	799	1.8
9	新潟	668	2.3	9	長野	476	1.8	9	北海道	2,258	1.5	9	栃木	714	1.6
10	福島	492	1.7	10	福島	470	1.8	10	長野	2,197	1.5	10	群馬	680	1.5

他エリアからの進学者数： 73,502人

他エリアからの進学者割合 29.8%

【2021年度入試】

順	埼玉 合計	27,793	占有率	順	千葉 合計	25,978	占有率	順	東京 合計	147,466	占有率	順	神奈川 合計	44,252	占有率
1	埼玉	10,303	37.1	1	千葉	10,225	39.4	1	東京	52,881	35.9	1	神奈川	17,235	38.9
2	東京	5,883	21.2	2	東京	4,548	17.5	2	神奈川	23,058	15.6	2	東京	9,968	22.5
3	千葉	1,772	6.4	3	埼玉	2,043	7.9	3	埼玉	17,761	12.0	3	千葉	2,201	5.0
4	群馬	1,299	4.7	4	茨城	2,007	7.7	4	千葉	13,804	9.4	4	静岡	2,045	4.6
5	茨城	1,256	4.5	5	神奈川	947	3.6	5	茨城	4,749	3.2	5	埼玉	1,991	4.5
6	栃木	1,126	4.1	6	静岡	612	2.4	6	静岡	3,200	2.2	6	茨城	1,010	2.3
7	神奈川	928	3.3	7	栃木	554	2.1	7	栃木	2,504	1.7	7	長野	820	1.9
8	長野	591	2.1	8	長野	426	1.6	8	北海道	2,184	1.5	8	栃木	672	1.5
9	新潟	532	1.9	9	福島	420	1.6	9	群馬	2,173	1.5	9	新潟	633	1.4
10	福島	479	1.7	10	新潟	416	1.6	10	長野	2,088	1.4	10	群馬	626	1.4

他エリアからの進学者数： 69,941人

他エリアからの進学者割合 28.5%

【2022年度入試】

順	埼玉 合計	27,918	占有率	順	千葉 合計	26,685	占有率	順	東京 合計	151,445	占有率	順	神奈川 合計	46,125	占有率
1	埼玉	10,427	37.3	1	千葉	10,553	39.5	1	東京	54,294	35.9	1	神奈川	17,993	39.0
2	東京	5,720	20.5	2	東京	4,770	17.9	2	神奈川	23,617	15.6	2	東京	10,283	22.3
3	千葉	1,877	6.7	3	茨城	2,132	8.0	3	埼玉	18,027	11.9	3	千葉	2,263	4.9
4	群馬	1,325	4.7	4	埼玉	2,109	7.9	4	千葉	14,177	9.4	4	埼玉	2,058	4.5
5	茨城	1,294	4.6	5	神奈川	944	3.5	5	茨城	5,030	3.3	5	静岡	1,975	4.3
6	栃木	1,109	4.0	6	静岡	608	2.3	6	静岡	3,284	2.2	6	茨城	1,077	2.3
7	神奈川	860	3.1	7	栃木	518	1.9	7	栃木	2,497	1.6	7	長野	902	2.0
8	長野	602	2.2	8	福島	464	1.7	8	群馬	2,251	1.5	8	新潟	722	1.6
9	新潟	531	1.9	9	長野	419	1.6	9	北海道	2,159	1.4	9	栃木	716	1.6
10	福島	500	1.8	10	新潟	382	1.4	10	長野	2,101	1.4	10	北海道	684	1.5

他エリアからの進学者数： 72,261人

他エリアからの進学者割合 28.7%

※流入＝他エリアの高校出身者が当該エリア内にある各県の大学へ進学。BEST10以内で該当エリアに属する都道府県には網掛け。

文部科学省「学校基本調査（確定値）」より

資料 4-1 千葉商科大学商経学部経済学科入学者の上位５都道府県

2020年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	105人	47.73%
2	東京	34人	15.45%
3	茨城	17人	7.73%
4	埼玉	15人	6.82%
5	福島	6人	2.73%
5	長野	6人	2.73%
	全　体	220人	100.00%

2021年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	113人	54.33%
2	東京	25人	12.02%
3	茨城	19人	9.13%
4	埼玉	9人	4.33%
5	福島	4人	1.92%
5	秋田	4人	1.92%
5	静岡	4人	1.92%
5	新潟	4人	1.92%
5	栃木	4人	1.92%
	全　体	208人	100.00%

2022年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	122人	53.98%
2	東京	34人	15.04%
3	茨城	15人	6.64%
4	埼玉	14人	6.19%
5	福島	6人	2.65%
	全　体	226人	100.00%

2023年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	120人	54.30%
2	東京	31人	14.03%
3	茨城	13人	5.88%
4	埼玉	11人	4.98%
5	福島	9人	4.07%
	全　体	221人	100.00%

千葉商科大学調べ

資料 4-2 千葉商科大学政策情報学部政策情報学科入学者の上位５都道府県

2020年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	84人	59.57%
2	東京	16人	11.35%
3	茨城	14人	9.93%
4	福島	6人	4.26%
5	埼玉	3人	2.13%
5	山形	3人	2.13%
	全　体	141人	100.00%

2021年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	82人	58.57%
2	東京	18人	12.86%
3	茨城	9人	6.43%
4	埼玉	6人	4.29%
5	宮城	4人	2.86%
	全　体	140人	100.00%

2022年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	77人	57.04%
2	東京	20人	14.81%
3	茨城	13人	9.63%
4	埼玉	7人	5.19%
5	福島	4人	2.96%
	全　体	135人	100.00%

2023年度

	都道府県名	人　数	構成比
1	千葉	65人	48.15%
2	東京	15人	11.11%
3	茨城	15人	11.11%
4	埼玉	6人	4.44%
5	栃木	6人	4.44%
	全　体	135人	100.00%

千葉商科大学調べ

資料 5

【志願状況】

単位：人（実質倍率は倍）

大学名	学部名	学科名	一般選抜　志願者数					一般選抜　受験者数					一般選抜　合格者数					一般選抜　実質倍率				
			2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
流通経済大	経済	経済	1,383	1,557	1,120	668	579	非公表	1,227	非公表	非公表	非公表	188	224	226	349	167	—	5.5	—	—	—
江戸川大	メディアコミュニケーション	マス・コミュニケーション	316	340	329	275	164	304	325	312	266	154	82	110	95	83	66	3.7	3.0	3.3	3.2	2.3
		情報文化	234	286	240	203	136	224	273	227	186	123	38	61	78	68	60	5.9	4.5	2.9	2.7	2.1

各入試年度　ベネッセコーポレーション調べ

【入学定員充足状況】

単位：人（実質倍率は倍）

大学名	学部名	学科名	入学定員					入学者数					定員充足率（%）				
			2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
流通経済大	経済	経済	220	220	220	220	220	250	254	228	228	247	113.6	115.5	103.6	103.6	112.3
江戸川大	メディアコミュニケーション		240	240	240	240	230	291	293	263	277	268	121.3	122.1	109.6	115.4	116.5
		マス・コミュニケーション	100	100	100	100	100	非公表	非公表	非公表	非公表	118	—	—	—	—	118.0
		情報文化	80	80	80	80	80	非公表	非公表	非公表	非公表	96	—	—	—	—	120.0
		こどもコミュニケーション	60	60	60	60	50	非公表	非公表	非公表	非公表	54	—	—	—	—	108.0

各年度　進研アド調べ

資料6-1

総合政策学部留め置き調査実施高校一覧

No.	正式名称	対象人数（送付必要数）単位：人	フリガナ	都道府県	住所	設置区分	共学区分	全定通区分	その他情報	学科区分	資料請求数（単位：件）	20-23 入学実績（単位：人）	2024指定校枠
1	北海道帯広南商業高等学校	300	オビヒロミナミショウギョウ	北海道	帯広市西２１条南５丁目３６－１	市立	共学	全日制	全:商(15)男105・女479	商業・ビジネス・ＩＴ	11	7	商経×1政策×1人社×1国際×1
2	北海道函館商業高等学校	180	ハコダテショウギョウ	北海道	函館市昭和１丁目１７－１	道立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:情処(3)国際経済(3)流ビ(3)会計ビジネス(3)男150・女313 定:事務情報(4)(夜)男28・女28	商業・ビジネス・ＩＴ／語学・国際	6	5	商経×1政策×1人社×1国際×1
3	青森県立三沢商業高等学校	150	ミサワショウギョウ	青森県	三沢市春日台二丁目１５４	県立	共学	全日制	全:1学年 くくり募集(3)男53・女67 2・3学年 商(4)情処(2)男72・女146合計男125・女213	商業・ビジネス・ＩＴ	7	10	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
4	青森県立弘前実業高等学校	250	ヒロサキジツギョウ	青森県	弘前市中野３丁目６－１０	県立	共学	全日制	全:商(6)農経(1)情処(3)家科(3)服飾(3)スポ(3)男267・女483	スポーツ／美容・ファッション・エステ／家庭・家政・生活／商業・ビジネス・ＩＴ	61	10	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
5	青森県立青森商業高等学校	170	アオモリショウギョウ	青森県	青森市戸山字安原７－１	県立	共学	全日制	全:1学年 商・情処(5) 2学年 商(4)情処(1) 3学年 商(4)情処(1)男240・女298	商業・ビジネス・ＩＴ	15	8	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
6	青森県立八戸商業高等学校	110	ハチノヘショウギョウ	青森県	八戸市大字十日市字塚ノ下３－１	県立	共学	全日制	全:商(6)情処(3)男71・女252	商業・ビジネス・ＩＴ	2	4	商経×1政策×1人社×1国際×1
7	仙台市立仙台商業高等学校	320	センダイショウギョウ	宮城県	仙台市泉区七北田字古内７５	市立	共学	全日制	全:商(24)男390・女565	商業・ビジネス・ＩＴ	64	15	商経×2人社×1国際×1
8	仙台育英学園高等学校	140	センダイイクエイガクエン	宮城県	仙台市宮城野区宮城野二丁目４－１	私立	共学	全日制/通信制	"全:普(96)男1,786・女1,501 通:普ILC宮城男115・女88ILC青森男119・女169ILC沖縄男70・女83"	普通【文理・英数・総合・他】／語学・国際／商業・ビジネス・ＩＴ／機械・電気／芸術【他】	46	7	商経×1サー×1
9	宮城県石巻商業高等学校	131	イシノマキショウギョウ	宮城県	石巻市南境字大樋２０	県立	共学	全日制	全:総ビ(12)男211・女152	商業・ビジネス・ＩＴ	14	8	商経×1政策×1サー×1
10	秋田市立秋田商業高等学校	240	アキタショウギョウ	秋田県	秋田市新屋勝平台１－１	市立	共学	全日制	全:商(18)男330・女374	商業・ビジネス・ＩＴ	37	15	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
11	秋田県立角館高等学校	170	カクノダテ	秋田県	仙北市角館町細越町３７	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:普(18)男228・女359 定:普(3)男15・女20	普通	2	5	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
12	惺山高等学校	363	セイザン	山形県	山形市城西町三丁目１３－７	私立	共学	全日制	全:普(16)商(9)衣(3)男367・女496	商業・ビジネス・ＩＴ／普通／普通【文理・英数・総合・他】／美容・ファッション・エステ	51	6	商経×1政策×1サー×1人社×1
13	福島県立平商業高等学校	160	タイラショウギョウ	福島県	いわき市平中塩字一水口３７－１	県立	共学	全日制	全:流ビ(6)情シ(4)オフィス会計(3)男85・女367	商業・ビジネス・ＩＴ／語学・国際	29	12	商経×2政策×1サー×1
14	福島県立若松商業高等学校	170	ワカマツショウギョウ	福島県	会津若松市米代一丁目３－３１	県立	共学	全日制	全:会ビ(6)情ビ(6)男222・女255	商業・ビジネス・ＩＴ	41	13	商経×2人社×1国際×1
15	福島県立郡山商業高等学校	250	コオリヤマショウギョウ	福島県	郡山市菜根五丁目６－７	県立	共学	全日制	全:流経(8)会(6)情処(6)男296・女490	商業・ビジネス・ＩＴ	66	23	商経×3人社×1国際×1
16	福島県立修明高等学校	130	シユウメイ	福島県	東白川郡棚倉町大字棚倉字東中居６３番地	県立	共学	全日制	全:文理(3)生産流通(3)食科(3)情ビ(3)男165・女169	食物・調理・製菓／普通【文理・英数・総合・他】／農林水産系【他】／商業・ビジネス・ＩＴ／農業・園芸・林業・畜産	8	5	商経×2サー×1
17	福島県立いわき光洋高等学校	200	イワキコウヨウ	福島県	いわき市中央台高久４丁目１番地	県立	共学	全日制	全:文理(15)男243・女352	普通【文理・英数・総合・他】	8	10	商経×1政策×1人社×1国際×1
18	茨城県立日立商業高等学校	200	ヒタチショウギョウ	茨城県	日立市久慈町六丁目２０－１	県立	共学	全日制	全:商(12)情処(3)男220・女368	商業・ビジネス・ＩＴ	68	23	商経×1政策×1サー×1人社×1
19	茨城県立土浦第三高等学校	240	ツチウラダイサン	茨城県	土浦市大岩田町１５９９	県立	共学	全日制	全:普(9)商(2)会ビ(2)情(2)商業に関する学科(3)男341・女371	普通／商業・ビジネス・ＩＴ	78	41	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
20	茨城県立取手第一高等学校	240	トリデダイイチ	茨城県	取手市台宿二丁目４－１	県立	共学	全日制	全:総(18)男339・女373	普通【文理・英数・総合・他】	78	43	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
21	茨城県立藤代紫水高等学校	238	フジシロシスイ	茨城県	取手市紫水１丁目６６０	県立	共学	全日制	全:普(18)男432・女250	普通	104	24	商経×2サー×1人社×1
22	茨城県立取手松陽高等学校	160	トリデショウヨウ	茨城県	取手市小文間４７７０	県立	共学	全日制	全:普(12)美(3)音(3)男243・女352	音楽／美術【デザイン・マンガ含む】／普通	86	11	商経×1政策×1人社×1
23	茨城県立水海道第二高等学校	250	ミツカイドウダイニ	茨城県	常総市水海道橋本町３５４９－４	県立	共学	全日制	全:普(9)商(6)家(3)男195・女486	家庭・家政・生活／普通／商業・ビジネス・ＩＴ	97	11	商経×1政策×1人社×1国際×1
24	茨城県立古河第一高等学校	260	コガダイイチ	茨城県	古河市旭町二丁目４－５	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:普(6)商(15)男422・女357 定:普(4)(夜)男32・女23	普通／商業・ビジネス・ＩＴ	41	19	商経×2サー×1人社×1
25	茨城県立牛久高等学校	50	ウシク	茨城県	牛久市岡見町２０８１－１	県立	共学	全日制	全:普(18)男383・女336	普通	77	10	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
26	茨城県立土浦湖北高等学校	240	ツチウラコホク	茨城県	土浦市菅谷町１５２５－１	県立	共学	全日制	全:普(18)男317・女358	普通	93	7	商経×1政策×1人社×1国際×1
27	茨城県立佐和高等学校	240	サワ	茨城県	ひたちなか市稲田６３６－１	県立	共学	全日制	全:普(18)男303・女414	普通	54	9	商経×1サー×1人社×1国際×1
28	茨城県立伊奈高等学校	240	イナ	茨城県	つくばみらい市福田７１１	県立	共学	全日制	全:普(18)男413・女300	普通	121	17	商経×1政策×1サー×1人社×1
29	茨城県立鉾田第二高等学校	200	ホコタダイニ	茨城県	鉾田市鉾田１１５８	県立	共学	全日制	全:総(15)男227・女299 農(3)男35・女10 食品技術(3)男42・女60	普通【文理・英数・総合・他】／食物・調理・製菓／農業・園芸・林業・畜産	31	4	商経×1
30	茨城県立水戸商業高等学校	280	ミトショウギョウ	茨城県	水戸市新荘三丁目７－２	県立	共学	全日制	全:商(9)情ビ(6)国ビ(6)男399・女436	商業・ビジネス・ＩＴ／語学・国際	281	54	商経×3政策×1サー×1人社×1国際×1
31	栃木県立宇都宮商業高等学校	280	ウツノミヤショウギョウ	栃木県	宇都宮市大曽三丁目１－４６	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:商(15)情(6)男367・女465 定:普(6)商(5)男34・女35	商業・ビジネス・ＩＴ	149	30	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
32	栃木県立栃木商業高等学校	158	トチギショウギョウ	栃木県	栃木市片柳町五丁目１－３０	県立	共学	全日制	全:商(9)情処(3)男168・女306	商業・ビジネス・ＩＴ	57	13	商経×3政策×1人社×1国際×1
33	群馬県立館林商工高等学校	160	タテバヤシショウコウ	群馬県	邑楽郡明和町南大島６６０	県立	共学	全日制	全:生産システム(3)建(3) 総ビ(4)情ビ(3)男853・女199	土木・建築／商業・ビジネス・ＩＴ	28	6	商経×2サー×1人社×1
34	埼玉県立杉戸高等学校	160	スギト	埼玉県	北葛飾郡杉戸町清地一丁目１－３６	県立	共学	全日制	全:普(21)男487・女333	普通	14	4	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
35	埼玉県立深谷商業高等学校	275	フカヤショウギョウ	埼玉県	深谷市原郷８０	県立	共学	全日制	全:商(12)情処(6)会計(3)男346・女479	商業・ビジネス・ＩＴ	22	7	商経×1政策×1人社×1
36	埼玉県立岩槻商業高等学校	135	イワツキショウギョウ	埼玉県	さいたま市岩槻区太田一丁目４－１	県立	共学	全日制	全:商(6)情処(6)男246・女203	商業・ビジネス・ＩＴ	7	8	商経×2政策×1サー×1人社×1
37	埼玉県立大宮商業高等学校	200	オオミヤショウギョウ	埼玉県	さいたま市見沼区大和田町一丁目３５６	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:商(16)男98・女484 定:普(4)商(4)(夜)男24・女23	商業・ビジネス・ＩＴ	7	11	商経×1政策×1サー×1人社×1
38	埼玉県立草加東高等学校	311	ソウカヒガシ	埼玉県	草加市柿木町１１１０－１	県立	共学	全日制	全:普(24)男396・女549	普通	346	22	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
39	埼玉県立三郷北高等学校	240	ミサトキタ	埼玉県	三郷市大広戸８０８	県立	共学	全日制	全:普(20)男406・女331	普通	16	10	商経×1政策×1人社×1
40	浦和実業学園高等学校	232	ウラワジツギョウガクエン	埼玉県	さいたま市南区文蔵三丁目９－１	私立	共学	全日制	"全:普・商(63)男1,380・女797"	普通【文理・英数・総合・他】／商業・ビジネス・ＩＴ	100	20	商経×2人社×1国際×1
41	埼玉県立鳩ケ谷高等学校	271	ハトガヤ	埼玉県	川口市里２２５－１	県立	共学	全日制	全:普(14)情処(6)園芸デザイン(3)男312・女510	普通／商業・ビジネス・ＩＴ／農業・園芸・林業・畜産	19	11	商経×1政策×1サー×1人社×1
42	千葉県立茂原高等学校	120	モバラ	千葉県	茂原市高師１３００	県立	共学	全日制	全:普(13)男232・女282	普通	29	32	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
43	千葉県立袖ケ浦高等学校	280	ソデガウラ	千葉県	袖ヶ浦市神納５３０	県立	共学	全日制	全:普(18)男359・女355 全:情報コミュニケーション(3)男89・女29	普通／商業・ビジネス・ＩＴ	63	23	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
44	千葉県立一宮商業高等学校	130	イチノミヤショウギョウ	千葉県	長生郡一宮町一宮３２８７	県立	共学	全日制	全:商(9)情処(3)男221・女228	商業・ビジネス・ＩＴ	31	26	商経×4政策×1サー×1人社×1
45	千葉県立姉崎高等学校	170	アネサキ	千葉県	市原市姉崎２６３２	県立	共学	全日制	全:普(12)男236・女214	普通	17	13	商経×2
46	市原中央高等学校	270	イチハラチユウオウ	千葉県	市原市土宇１４８１－１	私立	共学	全日制	全:普(21)男383・女287	普通【文理・英数・総合・他】／語学・国際	99	12	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
47	翔凜高等学校	180	ショウリン	千葉県	君津市三直１３４８－１	私立	共学	全日制	全:国際(14)男272・女241	普通【文理・英数・総合・他】／語学・国際	81	18	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1
48	千葉県立千葉商業高等学校	310	チバショウギョウ	千葉県	千葉市中央区松波２－２２－４８	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:商(18)情処(6)男483・女464 定:商(8)(夜)男61・女36	商業・ビジネス・ＩＴ	258	97	商経×5サー×1人社×1国際×1
49	千葉県立磯辺高等学校	320	イソベ	千葉県	千葉市美浜区磯辺２－７－１	県立	共学	全日制	全:普(23)男461・女450	普通	95	35	商経×2政策×1サー×1人社×1国際×1
50	千葉経済大学附属高等学校	600	チバケイザイダイガクフゾク	千葉県	千葉市稲毛区轟町四丁目３－３０	私立	共学	全日制	全:普(28)商(10)情(16)男800・女54	普通／商業・ビジネス・ＩＴ／普通【文理・英数・総合・他】	109	71	商経×5政策×1サー×1人社×1国際×1
51	千葉明徳高等学校	200	チバメイトク	千葉県	千葉市中央区南生実町１４１２	私立	共学	全日制	全:普(30)男570・女428	普通【文理・英数・総合・他】／スポーツ	53	20	商経×1人社×1国際×1

52	千葉県立市原八幡高等学校	230	イチハラヤワタ	千葉県	市原市八幡１８７７－１	県立	共学	全日制	全:普(17)男315･女356	普通	115	40	商経×1政策×1サ−×1人社×2国際×1
53	千葉県立千葉女子高等学校	280	チバジョシ	千葉県	千葉市稲毛区小仲台５－１０－１	県立	女子	全日制	全:普(19)家(3)女858	家庭･家政･生活／普通	59	15	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
54	千葉県立千葉南高等学校	350	チバミナミ	千葉県	千葉市中央区花輪町４５－３	県立	共学	全日制	全:普(24)男537･女421	普通	125	26	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
55	千葉県立千葉北高等学校	320	チバキタ	千葉県	千葉市稲毛区長沼町１５３	県立	共学	全日制	全:普(23)男532･女376	普通	150	29	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
56	千葉県立国府台高等学校	350	コウノダイ	千葉県	市川市国府台二丁目４－１	県立	共学	全日制	全:普(24)男481･女466	普通	116	4	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
57	千葉県立国分高等学校	350	コクブン	千葉県	市川市稲越２丁目２番１号	県立	共学	全日制	全:普(24)男374･女581	普通	228	6	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
58	千葉県立松戸高等学校	250	マツド（ケンリツ）	千葉県	松戸市中和倉５９０－１	県立	共学	全日制	全:普(16)男190･女446芸(3)男16･女101	芸術【他】／普通	94	15	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
59	千葉県立松戸南高等学校	242	マツドミナミ	千葉県	松戸市紙敷１１９９	県立	共学	定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	定:(三部制)普(32)男436･女405		29	11	政策×1人社×1
60	千葉県立流山おおたかの森高等学校	355	ナガレヤマオオタカノモリ	千葉県	流山市大畔２７５－５	県立	共学	全日制	全:普(24)男402･女551国際コミュニケーション(3)男26･女91	語学･国際／普通	59	34	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
61	千葉県立佐倉東高等学校	170	サクラヒガシ	千葉県	佐倉市城内町２７８	県立	共学	全日制	全:普(13)調理国際(3)服飾デザイン(3)男206･女499	食物･調理･製菓／美容･ファッション･エステ／普通	62	15	商経×1サ−×1人社×1
62	千葉県立佐原白楊高等学校	190	サワラハクヨウ	千葉県	香取市佐原イ８６１	県立	共学	全日制	全:普(15)男231･女320	普通	23	18	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
63	千葉県立銚子商業高等学校	180	チヨウシショウギョウ	千葉県	銚子市台町１７８１	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:商(12)情処(3)海洋(4)男336･女301 定:商(4)(夜)男15･女9	商業･ビジネス･ＩＴ／水産･海洋	61	18	商経×3政策×1サ−×1人社×1
64	千葉県立松尾高等学校	120	マツオ	千葉県	山武市松尾町大堤５４６	県立	共学	全日制	全:普(9)男119･女233	普通	33	21	商経×2政策×1サ−×1人社×1
65	千葉県立東金高等学校	200	トウガネ	千葉県	東金市東金１４１０	県立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:普(12)男228･女250 国際教養(3)男37･女68 定:普(4)(夜)男27･女14	語学･国際／普通	81	15	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
66	千葉県立東金商業高等学校	120	トウガネショウギョウ	千葉県	東金市松之郷字久我台１６４１－１	県立	共学	全日制	全:情処(3)商(7)男174･女200	商業･ビジネス･ＩＴ	30	35	商経×5サ−×1人社×1
67	船橋市立船橋高等学校	400	フナバシ（イチリツ）	千葉県	船橋市市場四丁目５－１	市立	共学	全日制	全:普(18)商(6)体(6)男643･女548	普通／スポーツ／商業･ビジネス･ＩＴ	142	52	商経×3政策×1サ−×1人社×1国際×1
68	松戸市立松戸高等学校	320	マツド（イチリツ）	千葉県	松戸市紙敷２－７－５	市立	共学	全日制	全:普(21)男430･女407国際人文(3)男29･女90	語学･国際／普通	102	48	商経×3政策×1サ−×1人社×1国際×1
69	柏市立柏高等学校	320	カシワ（イチリツ）	千葉県	柏市船戸山高野３２５－１	市立	共学	全日制	全:普(26)スポーツ科学(3)男550･女340	スポーツ／普通	30	25	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
70	千葉県立佐倉西高等学校	172	サクラニシ	千葉県	佐倉市下志津２６３	県立	共学	全日制	全:普(14)男257･女255	普通	31	21	商経×1政策×1サ−×1人社×1
71	千葉県立千城台高等学校	315	チシロダイ	千葉県	千葉市若葉区千城台西二丁目１－１	県立	共学	全日制	全:普(24)男418･女506	普通	218	44	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
72	千葉県立野田中央高等学校	320	ノダチユウオウ	千葉県	野田市谷津７１３	県立	共学	全日制	全:普(24)男351･女580	普通	57	20	商経×1政策×1サ−×1人社×1
73	千葉県立船橋芝山高等学校	320	フナバシシバヤマ	千葉県	船橋市芝山七丁目３９－１	県立	共学	全日制	全:普(24)男635･女313	普通	114	32	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
74	千葉県立八千代東高等学校	282	ヤチヨヒガシ	千葉県	八千代市村上８８１－１	県立	共学	全日制	全:普(23)男401･女449	普通	137	38	商経×1サ−×1人社×1
75	千葉県立船橋二和高等学校	290	フナバシフタワ	千葉県	船橋市二和西一丁目３－１	県立	共学	全日制	全:普(23)男469･女393	普通	63	33	商経×1サ−×1人社×1
76	千葉県立松戸馬橋高等学校	300	マツドマバシ	千葉県	松戸市旭町一丁目７－１	県立	共学	全日制	全:普(24)男419･女514	普通	35	36	商経×3サ−×1人社×1
77	千葉県立柏井高等学校	220	カシワイ	千葉県	千葉市花見川区柏井町１４５２	県立	共学	全日制	全:普(19)男407･女313	普通	123	36	商経×1サ−×1人社×1国際×1
78	千葉県立市川南高等学校	320	イチカワミナミ	千葉県	市川市高谷１５０９	県立	共学	全日制	全:普(24)男417･女513	普通	44	49	商経×5サ−×1人社×1
79	千葉県立実籾高等学校	330	ミモミ	千葉県	習志野市実籾本郷２２－１	県立	共学	全日制	全:普(24)男429･女512	普通	266	58	商経×3サ−×1人社×1国際×1
80	千葉県立白井高等学校	230	シロイ	千葉県	白井市池の上１－８－１	県立	共学	全日制	全:普(18)男368･女322	普通	58	23	商経×3人社×1
81	千葉県立佐倉南高等学校	30	サクラミナミ	千葉県	佐倉市太田１９５６	県立	共学	定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:普(8)男119･女134 定:普(8)男121･女101		13	9	商経×1政策×1サ−×1
82	千葉県立四街道北高等学校	280	ヨツカイドウキタ	千葉県	四街道市栗山１０５５－４	県立	共学	全日制	全:普(19)男245･女502	普通	22	17	商経×1サ−×1
83	千葉県立富里高等学校	200	トミサト	千葉県	富里市七栄１８１－１	県立	共学	全日制	全:普(16)男314･女305	普通	26	36	商経×3政策×1人社×1
84	昭和学院高等学校	50	ショウワガクイン	千葉県	市川市東菅野二丁目１７－１	私立	共学	全日制	全:普(34)男461･女663	普通【文理･英数･総合･他】／理数系／語学･国際	303	18	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
85	千葉敬愛高等学校	130	チバケイアイ	千葉県	四街道市四街道１５２２	私立	共学	全日制	全:普(38)男597･女912	普通【文理･英数･総合･他】	272	44	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
86	和洋国府台女子高等学校	220	ワヨウコウノダイジョシ	千葉県	市川市国府台二丁目３－１	私立	女子	全日制	全:普(21)女584	普通【文理･英数･総合･他】	54	0	商経×1人社×1国際×1
87	千葉英和高等学校	500	チバエイワ	千葉県	八千代市村上７０９－１	私立	共学	全日制	全:普(29)英(4)男594･女673	普通【文理･英数･総合･他】／語学･国際	231	6	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
88	日出学園高等学校	170	ヒノデガクエン	千葉県	市川市菅野三丁目２３－１	私立	共学	全日制	全:普(14)男269･女243	普通【文理･英数･総合･他】	85	3	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
89	千葉商科大学付属高等学校	477	チバショウカダイガクフゾク	千葉県	市川市中国分二丁目１０－１	私立	共学	全日制	全:普(26)商(9)男731･女427	普通【文理･英数･総合･他】／商業･ビジネス･ＩＴ	690	295	
90	敬愛学園高等学校	450	ケイアイガクエン	千葉県	千葉市稲毛区穴川一丁目５－２１	私立	共学	全日制	全:普(35)男654･女518	普通【文理･英数･総合･他】	142	25	商経×3サ−×1人社×1
91	日本体育大学柏高等学校	250	ニホンタイイクダイガクカシワ	千葉県	柏市戸張９４４	私立	共学	全日制	全:普(30)男592･女427	普通【文理･英数･総合･他】／スポーツ	172	28	商経×2政策×1サ−×1人社×1
92	八千代松陰高等学校	100	ヤチヨショウイン	千葉県	八千代市村上７２７	私立	共学	全日制	"全:普(51)男1,168･女862"	普通【文理･英数･総合･他】	137	21	商経×1政策×1サ−×1人社×1国際×1
93	東京学館高等学校	390	トウキョウガッカン	千葉県	印旛郡酒々井町伊篠２１	私立	共学	全日制	全:普(31)男740･女405	普通【文理･英数･総合･他】／スポーツ	49	33	商経×4政策×1サ−×1
94	東京学館浦安高等学校	500	トウキョウガッカンウラヤス	千葉県	浦安市高洲１丁目２３番１号	私立	共学	全日制	全:普(40)男862･女576	普通【文理･英数･総合･他】／スポーツ	116	37	商経×1政策×1人社×1
95	東京都立葛飾商業高等学校	210	カツシカショウギョウ	東京都	葛飾区新宿三丁目１４－１	都立	共学	全日制/定時制（昼間定時制・二部制・三部制含む）	全:ビ(18)男274･女279 定:普(4)商(4)(夜)男20･女16	商業･ビジネス･ＩＴ	60	23	商経×3サ−×1人社×1
96	東京都立葛飾野高等学校	320	カツシカノ	東京都	葛飾区亀有一丁目７－１	都立	共学	全日制	全:普(23)男499･女388	普通	28	25	商経×2政策×1人社×1
97	東京都立江東商業高等学校	140	コウトウショウギョウ	東京都	江東区亀戸四丁目５０－１	都立	共学	全日制	全:ビ(15)男183･女261	商業･ビジネス･ＩＴ	15	18	商経×2政策×1人社×1
98	東京都立本所高等学校	245	ホンジョ	東京都	墨田区向島三丁目３７－２５	都立	共学	全日制	全:普(18)男348･女366	普通	48	9	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
99	東京都立篠崎高等学校	290	シノザキ	東京都	江戸川区東篠崎一丁目１０－１	都立	共学	全日制	全:普(21)825男443･女382	普通	94	30	商経×3サ−×1人社×1
100	東京都立大田桜台高等学校	120	オオタサクラダイ	東京都	大田区中馬込３－１１－１０	都立	共学	全日制	全:ビジネスコミュニケーション(15)419男216･女203	商業･ビジネス･ＩＴ	20	16	商経×1政策×1サ−×1人社×1
101	東京都立王子総合高等学校		オウジソウゴウ	東京都	北区滝野川３－５４－７	都立	共学	全日制	全:総(18)男241･女464	普通【文理･英数･総合･他】	19	9	サ−×1人社×1国際×1
102	新潟県立新潟商業高等学校	240	ニイガタショウギョウ	新潟県	新潟市中央区白山浦二丁目６８－２	県立	共学	全日制	全:情処(6)国際教養(6)総ビ(12)男426･女537	語学･国際／商業･ビジネス･ＩＴ	15	15	商経×2政策×1サ−×1人社×1国際×1
103	北越高等学校	180	ホクエツ	新潟県	新潟市中央区米山五丁目１２－１	私立	共学	全日制	全:普(34)男694･女655	普通【文理･英数･総合･他】	29	9	商経×1政策×1サ−×1
104	新潟県立長岡商業高等学校	160	ナガオカショウギョウ	新潟県	長岡市西片貝町字大木１７２６	県立	共学	全日制	全:総ビ(12)情ビ(1)男212･女298	商業･ビジネス･ＩＴ	36	21	商経×2サ−×1人社×1国際×1
105	新潟県立三条商業高等学校	130	サンジョウショウギョウ	新潟県	三条市田島２－２４－８	県立	共学	全日制	全:総ビ(12)男204･女224	商業･ビジネス･ＩＴ	4	4	商経×2政策×1
106	新潟県立小千谷高等学校	100	オヂヤ	新潟県	小千谷市旭町７－１	県立	共学	全日制	全:普(15)男259･女320	普通	14	4	商経×1人社×1国際×1
107	甲府市立甲府商業高等学校	180	コウフショウギョウ	山梨県	甲府市上今井町３００	市立	共学	全日制	全:商(15)情処(9)男287･女478	商業･ビジネス･ＩＴ	38	7	商経×1政策×1サ−×1人社×1
108	城南静岡高等学校	200	ジョウナンシズオカ	静岡県	静岡市駿河区南八幡町１－１	私立	共学	全日制	全:ICT(16)男357･女188普(3)男17･女16	普通【文理･英数･総合･他】／普通	36	11	商経×2

109	静岡県立沼津商業高等学校	175	ヌマヅショウギョウ	静岡県	駿東郡清水町徳倉１２０５	県立	共学	全日制	全:情ビ(6)男105･女119総ビ(9)男77･女204	商業･ビジネス･ＩＴ／語学･国際	52	5	サー×1人社×1
110	静岡県立静岡商業高等学校	230	シズオカショウギョウ	静岡県	静岡市葵区田町七丁目９０	県立	共学	全日制	全:商(13)情処(6)男303･女404	商業･ビジネス・ＩＴ	19	11	商経×2政策×1人社×1国際×1
111	静岡県立磐田西高等学校	250	イワタニシ	静岡県	磐田市中泉２６８０－１	県立	共学	全日制	全:普(12)総ビ(6)男315･女402	商業･ビジネス・ＩＴ／普通	16	2	商経×1政策×1サー×1人社×1国際×1

千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」(仮称、設置構想中)に関するアンケート

千葉商科大学では2025年(令和7年)4月より、「総合政策学部」(仮称)を開設することを構想しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、千葉商科大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
また、回答いただいた内容が、高校生のみなさんの入学に影響を及ぼすことは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「総合政策学部」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、**あてはまる番号 に「○」印**をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
   特に、**「○」印は、番号丸枠からはみ出さないように**つけてください。

ここに○印をつけてください → ① 商学・経済学

ID 70
この欄には記入しないでください

良い記入例	悪い記入例			
① 商学・経済学 ② 政策情報学	① 商学・経済学 ② 政策情報学	① 商学・経済学 ② 政策情報学	① 商学・経済学 ② 政策情報学	① 商学・経済学 ② 政策情報学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	① 男性　② 女性　③ 回答しない
学年 (1つに○)	① 1年生　② 2年生　③ 3年生
在籍している高校名	高校所在地［　　］都・道・府・県 ① 国立　② 公立　③ 私立　(←1つに○)［　　］高等学校
在籍学科 (1つに○)	① 普通科　② 商業科　③ 総合学科　④ その他
所属クラス (1つに○)	① 文系クラス（文系コース）　③ コース選択はない ② 理系クラス（理系コース）　④ その他

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路すべてに○をつけてください。(複数選択可)

① 大学　② 短期大学　③ 専門職大学　④ 専門職短期大学　⑤ 専門学校　⑥ 就職　⑦ その他

Q2 Q1で①～④を選択した方に質問です。(※Q1で①～④を選択しなかった方は、Q3に進んでください。)
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している(希望している)設置者すべてに○をつけてください。(複数選択可)

① 私立　② 国立　③ 公立

Q3 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。(複数選択可)
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

① 商学・経済学(経営学含む)
② 政策情報学
③ 法学・政治学
④ 社会学
⑤ 人文科学(文学、史学、哲学など)
⑥ 理学・工学(数学、化学、機械工学など)
⑦ 農学(農学、林学、水産学など)
⑧ 保健(医学、歯学、薬学、看護学など)
⑨ 教育(教育学、体育学など)
⑩ その他
⑪ わからない

◆千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」(仮称、設置構想中)についてお聞きします。

千葉商科大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2025年(令和7年)4月に、新しく 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q4 千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例　○○である	→	①	●	③	④
Ⅰ. **総合政策学部**では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。	→	①	②	③	④
Ⅱ. **経済学科**では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています。	→	①	②	③	④
Ⅲ. **政策情報学科**では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。	→	①	②	③	④

Q5 千葉商科大学「A 総合政策学部 経済学科」「B 総合政策学部 政策情報学科」(仮称、設置構想中)が開設された場合、受験を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次よりそれぞれ一つ選択してください。

Q6 また、受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次よりそれぞれ一つ選択してください。

A 総合政策学部 経済学科

Q5-A 【受験を希望しますか】(①～④の1つに○)

① 第一志望として受験する
② 第二志望として受験する
③ 第三志望以降として受験する
④ 受験しない　→Q5-Bへ

合格した場合…

Q6-A 【入学を希望しますか】(①～③の1つに○)

① 入学する
② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
③ 入学しない

B 総合政策学部 政策情報学科

Q5-B 【受験を希望しますか】(①～④の1つに○)

① 第一志望として受験する
② 第二志望として受験する
③ 第三志望以降として受験する
④ 受験しない　→Q7へ

合格した場合…

Q6-B 【入学を希望しますか】(①～③の1つに○)

① 入学する
② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
③ 入学しない

※両学科で選択する志望順位(第一志望、第二志望について)が重ならないようご回答ください。

Q7は全員の方がお答えください。

Q7 あなたは過去に千葉商科大学のオープンキャンパスやイベントに参加し、本アンケートと同じ内容のアンケートに回答したことがありますか。(1つに○)

① 同じアンケートに回答したことはない
② 同じアンケートに回答したことがある

＊＊＊ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。＊＊＊

入学定員

2024年度（全1,410名）	2025年度（全1,410名）※予定
商経学部（810名）	商経学部（650名）
●商学科（430名）	●商学科（450名）+20名
●経済学科（200名）	●経営学科（200名）+20名
●経営学科（180名）	
政策情報学部（125名）	総合政策学部※（300名）
●政策情報学科（125名）	●経済学科※（150名）−50名
	●政策情報学科※（150名）+25名
人間社会学部（200名）	
●人間社会学科（200名）	サービス創造学部（230名）
サービス創造学部（200名）	●サービス創造学科（230名）+30名
●サービス創造学科（200名）	
国際教養学部（75名）	人間社会学部（230名）
●国際教養学科（75名）	●人間社会学科（230名）+30名

※2025年4月開設予定（仮称・設置構想中）　※学部学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

学費（予定）

総合政策学部※　学納金	
入学金	140,000円
学費	1,120,000円
受託徴収金	24,860円
合計（入学初年度納入金額）	1,284,860円

類似する学部学科

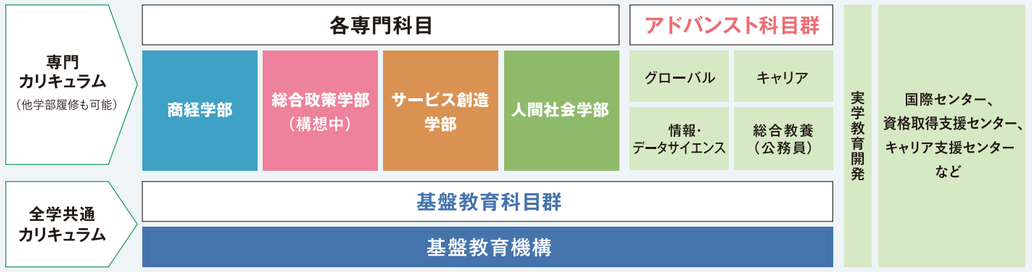
総合政策学部　**経済学科**
流通経済大学　経済学部

総合政策学部　**政策情報学科**
江戸川大学　メディアコミュニケーション学部

CUCは、2025年度から新しい学びの体制へ。

これまでの体制から4学部6学科体制となり、さらに学部を問わず興味のある分野や、
先進的な領域を学べる全学共通プログラムで、一人ひとりの未来をサポートします。

学びの全体像



今回の学部学科再編にかかる計画は設置構想中です。※設置計画は予定であり、内容に変更があり得ます。

全学共通カリキュラム

基盤教育科目群

本学の教育理念でもある「高い倫理観」と「幅広い教養」を身につけ、その先の学びにつなげる科目群。
学部横断型のクラス編成で人間関係の輪も広がります。

基盤教育の4分野
- 建学の趣旨・精神を学ぶ基礎分野
- 倫理観やSDGsを含む幅広い教養分野
- 多様性の理解につながる三言語分野
- 人生100年時代を豊かにする基礎知識

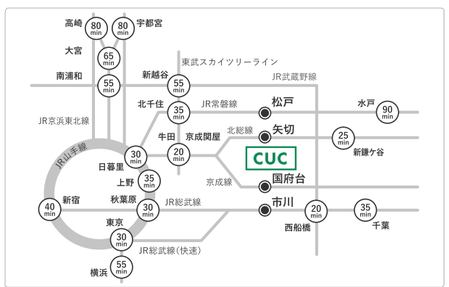
学部横断型の初年次ゼミ

実学入門Ⅰ・Ⅱ	大学で学ぶために必要なアカデミックスキルを身につける
自分未来ゼミ	大学4年間の学びとその先の未来における目標を明確にする

アドバンスト科目群

全学生が選択できる科目として、語学やITなどに関する専門的・先進的なプログラムを用意。公務員をめざす学生に向けた講座も充実しています。

アドバンスト科目
- グローバル分野
- 情報・データサイエンス分野
- キャリア分野
- 総合教養（公務員）分野



数字は本学までのおおよその所要時間（分）※乗り換えなどの時間は含みません。
◉最寄り駅

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

〈お問合せ　入学センター〉
TEL：047-373-9701　E-mail：info@cuc.ac.jp
〒272-8512　千葉県市川市国府台1-3-1　URL：www.cuc.ac.jp

ACCESS
- JR総武線　市川駅　バス10分。
  北口京成バス1番乗り場から松戸方面行き、「和洋女子大前」下車。または徒歩20分。
- JR常磐線　松戸駅　バス20分。西口京成バス1番乗場から市川駅行き、「和洋女子大前」下車。
- 京成線　国府台駅　徒歩10分。
- 北総線　矢切駅　バス10分。京成バス市川駅行き、「和洋女子大前」下車。

2025年4月、総合政策学部※が誕生します。

（仮称・設置構想中）

自ら試行錯誤し実践した先にこそ、
不確実な時代をたくましく生きる力を培う、
真の成長がある千葉商科大学の
学びがさらに加速します。

公務員をめざせるコースを設置
メディアを学べるコースがある
統計学やデータ分析を学べるコースを開設
他学部の科目も履修できる

総合政策学部※

経済学科※　入学定員　150名
政策情報学科※　入学定員　150名

※仮称・設置構想中
※学部学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

2025年4月開設（予定）

総合政策学部（仮称・設置構想中）

経済学や法学、公共政策学などの学習を通じて、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、
問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。

アドミッションポリシー

総合政策学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、
具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

求める学生像

・実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
・実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
・実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
・法学、行政学、公共政策、経済学、社会学などの諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
・入学後に学ぶ理論や技能を実社会の現象や課題と結びつけて深く理解し、修得した専門的能力を総合的に応用して、実社会の課題解決に取り組む意欲を持つ学生

総合政策学部 経済学科

経済政策やデータ分析を重視し、
社会課題の発見と解決をめざします。

アドミッションポリシー

経済学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

＜求める学生像＞
・実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
・実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
・実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
・経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
・経済学の理論や実証分析の方法を学んだ上で、経済・社会における諸課題の解決に向けた政策立案や原因探究に取り組む意欲を持つ学生
・企業行動や地域産業の動向など、実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得しようとする意欲を持つ学生

経済政策コース　経済学と政策を中心とした視点から社会課題の解決方法を考察

経済学の基本的な知識をもとに、地域、環境、公共、労働、国際など経済・社会のさまざまな側面において、どのような問題があり、どのような解決方法が考えられるかを学びます。一般的な経済学部で開講される科目の中で政策に関係する科目を集めた、学科の基本となるコースです。

想定する就職先等

一般企業（全般）、公務員、非営利団体（社会福祉法人、学校法人、生協など）

コース配当科目

- 経済政策論Ⅰ
- 経済政策論Ⅱ
- 公共経済学Ⅰ
- 公共経済学Ⅱ
- 財政学Ⅰ
- 財政学Ⅱ
- 地方財政論
- 金融論Ⅰ
- 金融論Ⅱ
- 環境経済学
- 労働経済学Ⅰ
- 労働経済学Ⅱ
- 国際経済学Ⅰ
- 国際経済学Ⅱ
- 国際金融論Ⅰ
- 国際金融論Ⅱ
- ミクロ経済学Ⅱ
- マクロ経済学Ⅱ

経済データ分析コース　経済学や統計・情報分野の知識を生かしたデータ分析の手法を学習

経済学や統計学の知識をもとに、データを活用した問題把握や計量・数量的な分析、問題の解決について学びます。特に数理・統計・情報分野に関心を持つ学生を対象とした、データサイエンスやEBPM（エビデンスに基づく政策立案）を重視したコースです。

想定する就職先等

一般企業（広告、小売、商社、金融、情報通信などのサービス・情報系産業）、公務員

コース配当科目

- 経済統計学Ⅰ
- 経済統計学Ⅱ
- 計量経済学Ⅰ
- 計量経済学Ⅱ
- 計量経済学演習
- GIS入門
- 交通経済学Ⅰ
- 交通経済学Ⅱ
- 公共経済学Ⅰ
- 公共経済学Ⅱ
- データビジュアライゼーション
- データ分析プログラミング
- 政策デザイン実践
- 人間行動論
- 実験社会科学
- 行動経済学
- ミクロ経済学Ⅱ
- マクロ経済学Ⅱ

ビジネス経済コース　経済学の分析手法をビジネスで活用する実践力を養成

ミクロ経済学、マクロ経済学などの知識をもとに、企業、産業、地域を対象とした経済的な分析、問題解決について学びます。近年進んでいる、経済学の分析手法のビジネスへの活用に対応したコースで、特に民間志向が強く、商学・経営学にも関心が高い学生を対象としています。

想定する就職先等

一般企業（製造業、小売、商社、金融など）、自営業、家業の継承など

コース配当科目

- 産業組織論Ⅰ
- 産業組織論Ⅱ
- 産業政策論Ⅰ
- 産業政策論Ⅱ
- 企業経済学
- ビジネスエコノミクス
- 交通経済学Ⅰ
- 交通経済学Ⅱ
- 都市経済学
- 地域経済論Ⅰ
- 地域経済論Ⅱ
- 金融論Ⅰ
- 金融論Ⅱ
- 企業金融論Ⅰ
- 企業金融論Ⅱ
- 行動経済学
- ミクロ経済学Ⅱ
- マクロ経済学Ⅱ

総合政策学部 政策情報学科

地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、
より良い社会のあり方を追究します。

アドミッションポリシー

政策情報学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

＜求める学生像＞
・実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
・実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
・実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
・法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生
・公共政策とまちづくりを学んだ上で、地域社会の活動へ主体的に参加し、社会を構成する多様な人々と共創的に活動する意欲を持つ学生
・デジタルメディア技術を駆使して課題解決する意欲を持つとともに、人々の共感を呼ぶメディア表現技法を修得して、公共政策、まちづくり、ビジネスで活用しようとする意欲を持つ学生

地域政策コース　地域共創による問題解決に取り組むリーダーを育成

先導して問題を発見し政策立案・実践する人材となるための専門知識とスキルを修得します。行政関連の法的リテラシーや、公共政策・文化政策・都市政策・環境政策に関する理論と応用を学ぶとともに、フィールドワークや計量分析を通じて、政策の影響を理解し、問題を見出す眼を養います。

想定する就職先等

公務員（事務系、公安系）、非営利団体（公益法人など）

コース配当科目

- 憲法特論
- 公法各論
- 行政法
- 行政学
- 民法Ⅰ
- 民法Ⅱ
- 民法Ⅲ
- 政治過程論
- 政治学特論
- 公共政策論
- コミュニティ政策論
- 地域分析論
- 地方財政論
- 環境政策論
- 都市政策・計画論
- 環境政策入門
- 都市計画入門
- 地域文化政策論

地域経営コース　社会科学の幅広い知識と分析能力を生かして社会を洞察する力を育成

公共政策とまちづくりを体系的に学び、社会全体の利益に基づいて行動する素養を身につけます。デジタルリテラシーと社会科学の諸分野を総合的に学ぶことで、経済動向に基づいた意思決定や分析的思考ができる能力を修得するとともに、社会を俯瞰的に把握して対応する、ビジネス洞察力を養います。

想定する就職先等

一般企業（卸売小売業、情報通信業など）、公務員（公安系）、非営利団体（公益法人、農協など）

コース配当科目

- 民法Ⅰ
- 公共政策論
- 政策分析とシステム思考
- 計画理論入門
- 合意形成論
- 社会心理学
- 人間行動論
- 非営利組織論
- 地域経済論Ⅰ
- 地域経済論Ⅱ
- 日本経済論
- マーケティング論Ⅰ
- AIと社会
- 情報社会
- 行動経済学
- 環境政策入門
- 都市計画入門
- 現代文化論

政策メディアコース　調査能力とデジタルリテラシーを生かし、地域に貢献する人材を育成

持続可能なまちづくりのあるべき姿を体系的に学習。フィールドワークを通じて市民・社会の現実を共感的に捉える能力を獲得します。調査とデータに基づいて問題を発見し、AIなどのデジタル技術を活用して、解決策を提案できる能力を養います。人々と共創しながらメディアを駆使し、地域をプロデュースできる人材を育成します。

想定する就職先等

広告マーケティング・メディア系企業、サービス業、販売業、建設業、情報通信業、まちづくり関連企業

コース配当科目

- 公共政策論
- 政策分析とシステム思考
- 社会経済学
- マーケティング論Ⅰ
- デジタルツイン景観表現
- AIと社会
- データ分析プログラミング
- 政策デザイン実践
- 行動経済学
- プランニングワークショップⅠ
- 映像エスノグラフィ
- 環境政策入門
- 都市計画入門
- 地域文化政策論
- 現代文化論
- 地域社会と文化
- 広報メディアコミュニケーション
- Webとソーシャルメディア

千葉商科大学　総合政策学部
「経済学科」「政策情報学科」（仮称）
設置に関するニーズ調査

クロス集計表

（高校生対象　高校留め置き調査＆OC参加者調査）

1．高校卒業後の希望進路(Q1)

		標本数	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
上段:% 下段:件数										
全体		21,327	62.2 13,275	6.6 1,408	5.5 1,182	1.1 244	31.0 6,604	17.9 3,821	2.1 442	0.3 54
対象別調査	留め置き調査	21,144	61.9 13,094	6.6 1,395	5.5 1,169	1.1 241	31.1 6,569	18.0 3,814	2.1 441	0.3 54
	OC参加者	183	98.9 181	7.1 13	7.1 13	1.6 3	19.1 35	3.8 7	0.5 1	0.0 0
性別	男性	9,706	72.5 7,040	3.8 364	5.7 558	1.0 100	22.0 2,133	17.3 1,680	2.4 232	0.3 27
	女性	11,123	53.6 5,957	9.1 1,012	5.3 586	1.2 134	38.8 4,315	18.4 2,047	1.7 184	0.1 10
	回答しない	381	60.1 229	6.3 24	8.7 33	1.6 6	31.2 119	18.4 70	5.8 22	0.3 1
高校所在地別	北海道	313	25.9 81	8.9 28	5.4 17	1.0 3	37.7 118	43.8 137	2.6 8	0.0 0
	青森県	292	39.4 115	10.3 30	5.5 16	2.4 7	32.9 96	39.4 115	1.0 3	0.0 0
	宮城県	528	49.1 259	8.7 46	4.5 24	1.1 6	32.0 169	34.1 180	2.1 11	0.4 2
	秋田県	341	52.8 180	8.2 28	5.3 18	0.9 3	32.8 112	22.9 78	1.8 6	0.3 1
	山形県	333	38.7 129	10.5 35	5.7 19	1.8 6	47.7 159	34.2 114	2.1 7	0.0 0
	福島県	782	36.1 282	7.7 60	4.3 34	1.5 12	29.9 234	38.5 301	1.2 9	0.3 2
	茨城県	2,420	57.0 1,380	7.1 173	6.4 156	1.1 26	35.1 850	23.4 567	2.2 54	0.1 2
	栃木県	404	42.8 173	7.2 29	4.5 18	2.0 8	32.2 130	41.8 169	1.2 5	0.2 1
	群馬県	154	31.8 49	3.9 6	3.2 5	0.6 1	42.2 65	36.4 56	3.2 5	1.9 3
	埼玉県	1,466	54.2 795	6.5 96	5.2 76	1.1 16	38.8 569	19.8 290	2.1 31	0.3 4
	千葉県	11,377	71.7 8,160	6.0 681	5.8 665	1.1 126	27.7 3,154	10.1 1,151	2.2 252	0.3 30
	東京都	1,322	63.8 844	7.0 92	5.1 68	1.3 17	32.2 426	15.0 198	2.4 32	0.3 4
	新潟県	706	61.0 431	8.6 61	3.7 26	0.8 6	32.3 228	23.1 163	1.0 7	0.4 3
	山梨県	124	49.2 61	13.7 17	7.3 9	1.6 2	54.0 67	8.1 10	0.8 1	0.0 0
	静岡県	753	43.0 324	3.5 26	4.0 30	0.5 4	29.7 224	38.6 291	1.5 11	0.3 2
	その他	4	100.0 4	0.0 0	0.0 0	25.0 1	50.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0
高校種別	公立	16,679	57.3 9,563	6.6 1,108	5.6 926	1.2 201	33.5 5,590	21.1 3,514	2.1 356	0.2 41
	私立	4,638	79.8 3,702	6.5 300	5.5 255	0.9 43	21.8 1,013	6.6 306	1.9 86	0.3 13
在籍学科別	普通科	13,022	72.3 9,410	6.4 839	5.8 749	1.0 135	28.6 3,725	9.0 1,174	2.0 257	0.1 13
	商業科	5,470	39.8 2,177	6.9 377	4.9 269	1.2 67	35.9 1,962	39.1 2,139	1.8 98	0.2 10
	総合学科	631	61.8 390	8.9 56	6.8 43	1.6 10	37.9 239	13.0 82	2.5 16	0.2 1
	その他	1,770	58.6 1,037	5.9 104	5.5 98	1.4 24	31.5 557	20.2 357	3.2 57	0.3 6
所属クラス別	文系クラス(文系コース)	7,480	70.4 5,269	7.1 528	5.9 440	1.1 84	30.4 2,273	9.0 675	2.2 161	0.1 6
	理系クラス(理系コース)	2,867	83.3 2,389	4.2 119	5.4 154	0.8 23	21.2 607	4.2 119	1.3 37	0.1 2
	コース選択はない	7,281	53.0 3,857	7.0 508	5.1 374	1.3 92	33.4 2,431	26.4 1,924	1.9 139	0.2 15
	その他	3,277	46.6 1,527	6.6 217	5.6 185	1.2 40	35.1 1,149	31.3 1,026	2.8 93	0.2 7
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	100.0 13,275	6.5 864	5.4 720	0.8 112	14.6 1,942	5.0 658	0.6 78	0.0 0
	短期大学	1,408	61.4 864	100.0 1,408	13.0 183	7.3 103	34.5 486	10.4 146	1.3 18	0.0 0
	専門職大学	1,182	60.9 720	15.5 183	100.0 1,182	12.4 147	42.0 497	9.2 109	1.8 21	0.0 0
	専門職短期大学	244	45.9 112	42.2 103	60.2 147	100.0 244	55.7 136	17.6 43	4.1 10	0.0 0
	専門学校	6,604	29.4 1,942	7.4 486	7.5 497	2.1 136	100.0 6,604	14.1 928	1.1 71	0.0 0
	就職	3,821	17.2 658	3.8 146	2.9 109	1.1 43	24.3 928	100.0 3,821	1.6 63	0.0 0
	その他	442	17.6 78	4.1 18	4.8 21	2.3 10	16.1 71	14.3 63	100.0 442	0.0 0
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	100.0 10,766	6.3 675	5.2 561	0.8 84	13.5 1,452	4.1 438	0.6 60	0.0 0
	私立大学のみ志望あり	7,725	100.0 7,725	4.6 352	3.6 276	0.3 27	10.8 831	2.9 222	0.3 27	0.0 0
	国立大学志望あり	3,053	100.0 3,053	8.2 249	7.7 235	1.9 58	15.6 477	6.7 205	0.9 27	0.0 0
	国立大学のみ志望あり	717	100.0 717	2.1 15	2.5 18	0.1 1	7.0 50	3.5 25	0.3 2	0.0 0
	公立大学志望あり	4,054	100.0 4,054	11.1 451	9.6 389	1.9 78	23.6 956	9.0 366	1.1 44	0.0 0
	公立大学のみ志望あり	1,057	100.0 1,057	8.6 91	6.5 69	0.9 10	24.3 257	10.9 115	0.9 9	0.0 0
興味のある学問分野別	商学・経済学(経営学含む)	5,252	77.8 4,085	5.8 307	4.8 252	1.1 60	17.2 904	20.7 1,085	0.9 48	0.1 5
	政策情報学	711	78.9 561	11.0 78	9.1 65	2.7 19	21.4 152	18.1 129	2.1 15	0.0 0
	法学・政治学	1,478	84.4 1,248	5.3 78	4.9 72	1.1 16	14.1 209	15.3 226	1.6 24	0.1 1
	社会学	1,437	84.4 1,213	6.8 98	4.8 69	1.3 19	14.3 205	15.5 223	0.8 12	0.0 0
	人文科学(文学、史学、哲学など)	2,456	85.1 2,090	8.7 214	4.8 119	1.0 25	16.0 393	12.3 303	1.2 29	0.1 3
	理学・工学(数学、化学、機械工学など)	2,203	83.5 1,839	5.1 112	6.1 134	1.1 25	19.0 419	10.5 232	1.2 27	0.0 0
	農学(農学、林学、水産学など)	579	67.2 389	7.4 43	7.6 44	1.9 11	29.5 171	20.2 117	1.4 8	0.2 1
	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	3,460	60.8 2,102	7.0 241	8.8 303	1.8 62	43.9 1,520	12.0 414	0.9 30	0.1 4
	教育(教育学、体育学など)	2,982	73.5 2,191	14.2 424	6.0 179	1.4 43	24.3 724	13.0 387	1.1 32	0.1 4
	その他	6,007	44.6 2,681	6.9 417	7.3 440	1.4 86	53.7 3,223	15.9 956	2.7 162	0.1 7
	わからない	2,803	49.3 1,381	5.7 160	4.7 131	1.2 33	25.3 708	35.8 1,004	6.6 186	0.2 5
	商学・経済学(経営学含む)	5,252	77.8 4,085	5.8 307	4.8 252	1.1 60	17.2 904	20.7 1,085	0.9 48	0.1 5
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	82.5 2,402	6.4 186	5.4 158	1.1 33	15.9 462	15.9 463	1.2 35	0.0 1

1．高校卒業後の希望進路(Q1)

		標本数	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
上段:% 下段:件数										
全体		21,327	62.2 13,275	6.6 1,408	5.5 1,182	1.1 244	31.0 6,604	17.9 3,821	2.1 442	0.3 54
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	3,421	100.0 3,421	5.5 188	4.7 162	1.0 34	11.0 377	5.7 195	0.4 14	0.0 0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	664	100.0 664	8.3 55	5.9 39	1.2 8	16.9 112	13.3 88	0.9 6	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(経済学科)	7,345	100.0 7,345	6.6 487	5.4 399	0.7 50	14.6 1,075	3.3 243	0.6 46	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	2,075	100.0 2,075	6.2 128	5.0 104	0.9 18	10.5 218	4.7 97	0.6 13	0.0 0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	327	100.0 327	7.6 25	8.3 27	3.1 10	13.5 44	11.6 38	0.6 2	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(政策情報学科)	8,691	100.0 8,691	6.3 547	5.3 457	0.8 66	14.2 1,234	3.9 341	0.5 47	0.0 0
「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	13,013	64.7 8,418	7.0 916	5.5 720	1.1 141	28.8 3,746	18.4 2,389	1.7 223	0.2 20
	特色Ⅱ 魅力あり	13,098	65.4 8,566	6.8 894	5.6 727	1.1 143	28.2 3,692	18.2 2,383	1.6 210	0.2 24
	特色Ⅲ 魅力あり	13,044	63.7 8,313	7.1 928	5.5 723	1.1 149	29.6 3,860	18.5 2,416	1.7 218	0.2 21
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	83.6 310	7.5 28	6.7 25	1.9 7	15.1 56	15.1 56	3.8 14	0.3 1
	第二志望として受験する	571	81.8 467	9.1 52	6.8 39	1.4 8	20.8 119	15.8 90	1.4 8	0.4 2
	第三志望以降として受験する	1,301	89.2 1,160	7.5 98	7.6 99	1.5 20	20.6 268	10.0 130	0.8 11	0.2 2
	受験しない	16,558	59.9 9,910	6.5 1,074	5.1 846	1.0 173	32.4 5,358	18.4 3,053	2.0 325	0.2 27
入学意向別【経済学科】	入学する	494	84.0 415	7.9 39	6.5 32	1.8 9	16.6 82	14.2 70	2.4 12	0.4 2
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	86.1 1,552	7.9 142	7.5 136	1.5 27	20.7 373	11.9 215	1.1 20	0.2 4
	入学しない	2,336	55.6 1,299	6.5 153	6.4 150	1.2 29	33.6 784	20.2 472	3.4 79	0.2 5
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	85.1 268	7.9 25	6.3 20	1.9 6	14.6 46	13.0 41	2.9 9	0.3 1
	第二志望として受験し、入学する	89	83.1 74	10.1 9	4.5 4	1.1 1	19.1 17	15.7 14	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	40	82.5 33	5.0 2	5.0 2	2.5 1	27.5 11	17.5 7	2.5 1	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	71.4 5	0.0 0	42.9 3	0.0 0	28.6 2	14.3 1	14.3 1	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	74.3 26	5.7 2	5.7 2	0.0 0	22.9 8	28.6 10	8.6 3	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	81.9 353	8.6 37	5.8 25	1.4 6	21.8 94	15.5 67	1.6 7	0.2 1
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	90.8 971	7.5 80	7.5 80	1.5 16	19.5 208	9.4 101	0.7 7	0.2 2
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	79.1 34	4.7 2	9.3 4	2.3 1	27.9 12	14.0 6	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	71.4 10	7.1 1	14.3 2	7.1 1	7.1 1	35.7 5	14.3 2	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	78.6 11	35.7 5	21.4 3	7.1 1	14.3 2	21.4 3	7.1 1	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	77.2 88	8.8 10	7.0 8	0.9 1	28.1 32	10.5 12	2.6 3	0.0 0
	受験せず、入学しない	849	57.8 491	6.2 53	5.9 50	1.4 12	32.6 277	22.9 194	2.7 23	0.1 1
	無回答	18,307	59.6 10,911	6.5 1,182	5.3 979	1.1 198	32.2 5,894	18.4 3,360	2.1 385	0.3 49
	【1】第一志望相当	315	85.1 268	7.9 25	6.3 20	1.9 6	14.6 46	13.0 41	2.9 9	0.3 1
	【2】第二志望相当	555	81.6 453	8.6 48	5.6 31	1.3 7	21.4 119	16.4 91	1.8 10	0.2 1
	【3】第三志望以降相当	1,109	90.5 1,004	7.4 82	7.4 82	1.5 17	19.7 219	9.7 108	0.7 8	0.2 2
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	82.9 721	8.4 73	5.9 51	1.5 13	19.0 165	15.2 132	2.2 19	0.2 2
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	87.2 1,725	7.8 155	6.7 133	1.5 30	19.4 384	12.1 240	1.4 27	0.2 4
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	100.0 178	9.0 16	5.1 9	1.7 3	8.4 15	5.1 9	1.1 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	100.0 53	7.5 4	5.7 3	1.9 1	13.2 7	5.7 3	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	100.0 20	5.0 1	5.0 1	0.0 0	5.0 1	5.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	0.0 0	50.0 1	0.0 0	0.0 0	50.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	100.0 15	6.7 1	6.7 1	0.0 0	13.3 2	13.3 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	100.0 214	7.0 15	6.1 13	1.4 3	13.6 29	6.1 13	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	100.0 510	6.3 32	6.1 31	0.8 4	12.2 62	6.3 32	0.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	100.0 13	7.7 1	7.7 1	7.7 1	15.4 2	7.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	100.0 4	25.0 1	25.0 1	25.0 1	25.0 1	50.0 2	25.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	100.0 6	33.3 2	16.7 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	100.0 34	2.9 1	0.0 0	0.0 0	14.7 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	100.0 99	5.1 5	4.0 4	0.0 0	11.1 11	10.1 10	1.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	100.0 2,273	4.8 109	4.2 96	0.9 21	10.6 242	5.3 121	0.4 9	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	100.0 178	9.0 16	5.1 9	1.7 3	8.4 15	5.1 9	1.1 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	100.0 282	7.1 20	6.0 17	1.4 4	13.5 38	6.4 18	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	100.0 530	6.2 33	6.0 32	0.8 4	11.9 63	6.2 33	0.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	100.0 460	7.8 36	5.7 26	1.5 7	11.5 53	5.9 27	0.4 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	100.0 990	7.0 69	5.9 58	1.1 11	11.7 116	6.1 60	0.3 3	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	100.0 1,969	4.6 91	4.1 80	1.0 19	10.8 212	5.6 110	0.5 9	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	100.0 257	4.7 12	3.9 10	0.4 1	9.7 25	6.6 17	0.8 2	0.0 0

1．高校卒業後の希望進路(Q1)

		標本数	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
上段:% 下段:件数										
全体		21,327	62.2 13,275	6.6 1,408	5.5 1,182	1.1 244	31.0 6,604	17.9 3,821	2.1 442	0.3 54
受験政策情報別【学科】	第一志望として受験する	165	70.9 117	7.9 13	10.9 18	3.6 6	21.2 35	21.2 35	3.6 6	0.0 0
	第二志望として受験する	390	79.2 309	9.0 35	7.7 30	2.6 10	21.8 85	19.0 74	1.3 5	0.3 1
	第三志望以降として受験する	1,044	86.3 901	8.4 88	7.7 80	1.1 12	22.0 230	10.2 106	1.0 10	0.3 3
	受験しない	17,036	61.0 10,386	6.5 1,110	5.1 862	1.1 180	31.7 5,404	18.2 3,099	1.9 332	0.2 28
入学政策情報別【学科】	入学する	221	70.1 155	8.6 19	8.6 19	3.2 7	22.2 49	22.6 50	1.8 4	0.0 0
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	83.8 1,165	8.4 117	8.6 119	1.5 21	23.5 326	12.0 167	1.2 16	0.1 1
	入学しない	2,279	56.4 1,286	6.6 150	6.2 141	1.1 25	32.6 744	20.0 455	3.6 82	0.3 6
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	66.9 85	8.7 11	10.2 13	3.9 5	22.0 28	25.2 32	3.1 4	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	31	71.0 22	9.7 3	3.2 1	3.2 1	32.3 10	25.8 8	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	90.0 27	10.0 3	10.0 3	3.3 1	20.0 6	10.0 3	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	75.0 12	6.3 1	12.5 2	6.3 1	25.0 4	12.5 2	12.5 2	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	79.4 228	9.1 26	8.0 23	2.4 7	21.6 62	18.8 54	1.4 4	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	88.1 730	8.6 71	8.0 66	1.3 11	22.2 184	9.5 79	0.8 7	0.1 1
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	75.0 24	6.3 2	3.1 1	0.0 0	43.8 14	6.3 2	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	90.0 9	10.0 1	10.0 1	0.0 0	0.0 0	10.0 1	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	80.0 8	10.0 1	10.0 1	10.0 1	30.0 3	20.0 2	10.0 1	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	72.6 77	10.4 11	4.7 5	0.0 0	26.4 28	13.2 14	2.8 3	0.9 1
	受験せず、入学しない	802	59.9 480	6.5 52	5.9 47	1.2 10	30.9 248	22.9 184	3.2 26	0.1 1
	無回答	19,046	60.8 11,572	6.4 1,226	5.4 1,019	1.1 207	31.6 6,017	18.1 3,440	2.1 395	0.3 51
	【1】第一志望相当	127	66.9 85	8.7 11	10.2 13	3.9 5	22.0 28	25.2 32	3.1 4	0.0 0
	【2】第二志望相当	334	78.4 262	9.0 30	7.8 26	2.7 9	22.8 76	19.2 64	1.8 6	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	859	88.1 757	8.6 74	8.0 69	1.4 12	22.1 190	9.5 82	0.8 7	0.1 1
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	75.3 347	8.9 41	8.5 39	3.0 14	22.6 104	20.8 96	2.2 10	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	83.6 1,104	8.7 115	8.2 108	2.0 26	22.3 294	13.5 178	1.3 17	0.1 1
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	100.0 31	0.0 0	3.2 1	0.0 0	16.1 5	6.5 2	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	100.0 7	14.3 1	0.0 0	0.0 0	28.6 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	100.0 8	0.0 0	12.5 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	100.0 5	20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	100.0 81	11.1 9	13.6 11	2.5 2	14.8 12	4.9 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	100.0 218	7.8 17	7.8 17	0.5 1	12.4 27	3.7 8	0.5 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	100.0 4	25.0 1	0.0 0	0.0 0	75.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	100.0 2	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	100.0 16	6.3 1	12.5 2	0.0 0	6.3 1	6.3 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	100.0 66	4.5 3	6.1 4	0.0 0	6.1 4	7.6 5	3.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	100.0 1,636	5.7 94	4.0 66	0.8 13	9.9 162	4.6 76	0.5 8	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	100.0 31	0.0 0	3.2 1	0.0 0	16.1 5	6.5 2	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	100.0 93	11.8 11	12.9 12	3.2 3	16.1 15	4.3 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	100.0 226	7.5 17	8.0 18	0.4 1	11.9 27	3.5 8	0.4 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	100.0 124	8.9 11	10.5 13	2.4 3	16.1 20	4.8 6	0.8 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	100.0 350	8.0 28	8.9 31	1.1 4	13.4 47	4.0 14	0.6 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	100.0 1,446	5.1 74	3.9 57	0.6 8	10.1 146	4.7 68	0.6 8	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	100.0 157	6.4 10	5.7 9	0.6 1	6.4 10	5.7 9	2.5 4	0.0 0

2. 志望する設置者【大学進学希望者ベース】(Q2)

上段:% 下段:件数		標本数	私立	国立	公立	無回答
全体		13,275	81.1 10,766	23.0 3,053	30.5 4,054	0.7 94
調査対象別	留め置き調査	13,094	81.0 10,605	23.1 3,026	30.5 3,991	0.7 93
	OC参加者	181	89.0 161	14.9 27	34.8 63	0.6 1
性別	男性	7,040	78.7 5,538	25.5 1,796	32.3 2,274	0.8 57
	女性	5,957	84.0 5,004	19.7 1,174	28.2 1,682	0.6 37
	回答しない	229	79.5 182	30.1 69	38.9 89	0.0 0
高校所在地別	北海道	81	60.5 49	30.9 25	60.5 49	0.0 0
	青森県	115	58.3 67	36.5 42	60.0 69	0.0 0
	宮城県	259	82.6 214	19.7 51	30.1 78	0.0 0
	秋田県	180	52.2 94	45.0 81	42.8 77	0.6 1
	山形県	129	85.3 110	26.4 34	50.4 65	0.0 0
	福島県	282	68.4 193	36.9 104	35.8 101	0.4 1
	茨城県	1,380	77.5 1,069	32.5 449	35.4 489	0.4 6
	栃木県	173	84.4 146	26.6 46	24.3 42	0.0 0
	群馬県	49	81.6 40	12.2 6	51.0 25	4.1 2
	埼玉県	795	80.1 637	14.1 112	30.4 242	0.3 2
	千葉県	8,160	84.3 6,882	20.9 1,704	27.0 2,207	0.8 63
	東京都	844	78.9 666	16.9 143	34.1 288	1.3 11
	新潟県	431	71.2 307	33.4 144	43.4 187	0.9 4
	山梨県	61	88.5 54	21.3 13	39.3 24	0.0 0
	静岡県	324	70.1 227	30.6 99	33.6 109	1.2 4
	その他	4	100.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0
高校種別	公立	9,563	78.7 7,528	23.4 2,242	33.0 3,154	0.7 71
	私立	3,702	87.2 3,229	21.9 811	24.3 898	0.6 23
在籍学科別	普通科	9,410	82.5 7,760	22.9 2,151	27.3 2,567	0.6 61
	商業科	2,177	74.8 1,629	23.3 508	42.5 926	0.7 15
	総合学科	390	84.1 328	20.0 78	32.6 127	0.8 3
	その他	1,037	81.7 847	25.7 266	33.6 348	0.7 7
所属クラス別	文系クラス(文系コース)	5,269	84.6 4,455	18.6 981	26.4 1,393	0.9 45
	理系クラス(理系コース)	2,389	74.6 1,781	34.3 820	30.3 724	0.5 13
	コース選択はない	3,857	81.2 3,131	22.5 866	33.1 1,277	0.5 19
	その他	1,527	80.1 1,223	21.7 332	38.2 584	1.0 15
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	81.1 10,766	23.0 3,053	30.5 4,054	0.7 94
	短期大学	864	78.1 675	28.8 249	52.2 451	0.8 7
	専門職大学	720	77.9 561	32.6 235	54.0 389	0.7 5
	専門職短期大学	112	75.0 84	51.8 58	69.6 78	0.0 0
	専門学校	1,942	74.8 1,452	24.6 477	49.2 956	1.5 30
	就職	658	66.6 438	31.2 205	55.6 366	1.8 12
	その他	78	76.9 60	34.6 27	56.4 44	2.6 2
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	100.0 10,766	15.7 1,695	21.9 2,356	0.0 0
	私立大学のみ志望あり	7,725	100.0 7,725	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	国立大学志望あり	3,053	55.5 1,695	100.0 3,053	54.1 1,651	0.0 0
	国立大学のみ志望あり	717	0.0 0	100.0 717	0.0 0	0.0 0
	公立大学志望あり	4,054	58.1 2,356	40.7 1,651	100.0 4,054	0.0 0
	公立大学のみ志望あり	1,057	0.0 0	0.0 0	100.0 1,057	0.0 0

2. 志望する設置者【大学進学希望者ベース】(Q2)

		標本数	私立	国立	公立	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		13,275	81.1 10,766	23.0 3,053	30.5 4,054	0.7 94
興味のある学問分野別	商学・経済学(経営学含む)	4,085	83.7 3,421	20.7 845	30.7 1,254	0.5 22
	政策情報学	561	84.7 475	23.4 131	35.1 197	0.5 3
	法学・政治学	1,248	85.8 1,071	27.2 340	23.6 294	0.2 3
	社会学	1,213	87.7 1,064	22.0 267	28.3 343	0.3 4
	人文科学(文学、史学、哲学など)	2,090	85.6 1,790	23.9 499	27.0 565	0.5 11
	理学・工学(数学、化学、機械工学など)	1,839	73.4 1,350	38.4 706	34.4 632	0.5 10
	農学(農学、林学、水産学など)	389	74.0 288	41.6 162	39.1 152	0.8 3
	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	2,102	78.3 1,645	26.7 561	37.1 780	0.3 7
	教育(教育学、体育学など)	2,191	84.0 1,841	24.4 535	30.5 669	0.2 4
	その他	2,681	82.8 2,219	21.8 584	32.4 868	0.8 21
	わからない	1,381	74.5 1,029	23.5 325	45.2 624	1.9 26
	商学・経済学(経営学含む)	4,085	83.7 3,421	20.7 845	30.7 1,254	0.5 22
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,402	86.4 2,075	23.4 561	26.9 645	0.4 9
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	3,421	100.0 3,421	14.3 488	22.6 772	0.0 0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	664	0.0 0	53.8 357	72.6 482	3.3 22
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(経済学科)	7,345	100.0 7,345	16.4 1,207	21.6 1,584	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	2,075	100.0 2,075	16.8 349	20.7 430	0.0 0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	327	0.0 0	64.8 212	65.7 215	2.8 9
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(政策情報学科)	8,691	100.0 8,691	15.5 1,346	22.2 1,926	0.0 0
経済学科ー政策情報学科ーの特色に対する魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	8,418	81.6 6,869	23.0 1,932	30.7 2,584	0.6 54
	特色Ⅱ 魅力あり	8,566	81.8 7,004	22.8 1,956	30.8 2,637	0.6 53
	特色Ⅲ 魅力あり	8,313	81.9 6,810	22.3 1,853	30.5 2,537	0.5 45
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	310	81.3 252	15.2 47	34.5 107	0.0 0
	第二志望として受験する	467	80.3 375	19.7 92	37.3 174	1.3 6
	第三志望以降として受験する	1,160	82.1 952	26.7 310	36.8 427	0.3 4
	受験しない	9,910	81.2 8,051	23.2 2,300	29.4 2,912	0.7 66
入学意向別【経済学科】	入学する	415	82.4 342	16.4 68	33.3 138	0.7 3
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,552	80.7 1,253	25.7 399	38.8 602	0.5 8
	入学しない	1,299	79.6 1,034	21.0 273	28.8 374	1.0 13
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	268	82.5 221	14.9 40	31.7 85	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	74	81.1 60	17.6 13	33.8 25	2.7 2
	第三志望以降として受験し、入学する	33	87.9 29	21.2 7	45.5 15	0.0 0
	受験しないが、入学する	5	80.0 4	20.0 1	40.0 2	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	26	69.2 18	15.4 4	57.7 15	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	353	80.2 283	21.0 74	38.8 137	1.1 4
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	971	81.5 791	27.7 269	37.7 366	0.3 3
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	34	76.5 26	47.1 16	47.1 16	2.9 1
	第一志望として受験するが、入学しない	10	80.0 8	30.0 3	50.0 5	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	11	81.8 9	0.0 0	27.3 3	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	88	81.8 72	25.0 22	25.0 22	1.1 1
	受験せず、入学しない	491	79.4 390	21.0 103	30.3 149	0.8 4
	無回答	10,911	81.2 8,855	22.9 2,501	29.5 3,214	0.7 79
	【1】第一志望相当	268	82.5 221	14.9 40	31.7 85	0.0 0
	【2】第二志望相当	453	79.7 361	20.1 91	39.1 177	1.3 6
	【3】第三志望以降相当	1,004	81.7 820	27.5 276	37.9 381	0.3 3
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	721	80.7 582	18.2 131	36.3 262	0.8 6
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,725	81.3 1,402	23.6 407	37.3 643	0.5 9

2. 志望する設置者【大学進学希望者ベース】(Q2)

		標本数	私立	国立	公立	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		13,275	81.1 10,766	23.0 3,053	30.5 4,054	0.7 94
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	100.0 178	10.7 19	19.7 35	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	100.0 53	9.4 5	20.8 11	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	100.0 20	10.0 2	40.0 8	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	0.0 0	50.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	100.0 15	13.3 2	40.0 6	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	100.0 214	15.0 32	29.4 63	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	100.0 510	19.0 97	27.8 142	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	100.0 13	46.2 6	46.2 6	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	100.0 4	50.0 2	50.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	100.0 6	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	100.0 34	11.8 4	14.7 5	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	100.0 99	13.1 13	20.2 20	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	100.0 2,273	13.5 306	20.8 473	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	100.0 178	10.7 19	19.7 35	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	100.0 282	13.8 39	28.4 80	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	100.0 530	18.7 99	28.3 150	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	100.0 460	12.6 58	25.0 115	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	100.0 990	15.9 157	26.8 265	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	100.0 1,969	13.3 261	20.2 398	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	100.0 257	13.2 34	17.5 45	0.0 0
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	117	74.4 87	17.9 21	39.3 46	0.0 0
	第二志望として受験する	309	84.8 262	19.1 59	37.5 116	0.0 0
	第三志望以降として受験する	901	82.6 744	24.1 217	35.2 317	0.6 5
	受験しない	10,386	81.3 8,445	23.2 2,406	29.7 3,086	0.7 68
入学意向別【政策情報学科】	入学する	155	80.0 124	13.5 21	38.7 60	0.0 0
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,165	81.5 949	25.1 292	37.7 439	0.5 6
	入学しない	1,286	80.2 1,032	21.0 270	29.5 380	1.0 13
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	85	77.6 66	12.9 11	40.0 34	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	22	86.4 19	31.8 7	63.6 14	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	27	92.6 25	0.0 0	22.2 6	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	12	58.3 7	50.0 6	50.0 6	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	228	84.2 192	18.9 43	36.4 83	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	730	81.6 596	25.8 188	36.3 265	0.5 4
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	24	79.2 19	33.3 8	33.3 8	4.2 1
	第一志望として受験するが、入学しない	9	77.8 7	22.2 2	22.2 2	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	8	100.0 8	37.5 3	50.0 4	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	77	79.2 61	24.7 19	33.8 26	1.3 1
	受験せず、入学しない	480	82.7 397	20.8 100	29.4 141	0.6 3
	無回答	11,572	81.0 9,368	23.0 2,666	29.9 3,464	0.7 85
	【1】第一志望相当	85	77.6 66	12.9 11	40.0 34	0.0 0
	【2】第二志望相当	262	83.2 218	21.4 56	39.3 103	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	757	82.0 621	24.8 188	35.8 271	0.5 4
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	347	81.8 284	19.3 67	39.5 137	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,104	82.0 905	23.1 255	37.0 408	0.4 4

2. 志望する設置者【大学進学希望者ベース】(Q2)

		標本数	私立	国立	公立	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		13,275	81.1 10,766	23.0 3,053	30.5 4,054	0.7 94
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	100.0 31	9.7 3	19.4 6	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	100.0 7	28.6 2	42.9 3	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	100.0 8	0.0 0	25.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	100.0 5	20.0 1	40.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	100.0 81	17.3 14	25.9 21	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	100.0 218	22.0 48	24.8 54	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	100.0 4	50.0 2	50.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	100.0 2	100.0 2	50.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	100.0 16	31.3 5	37.5 6	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	100.0 66	9.1 6	16.7 11	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	100.0 1,636	16.3 266	19.7 322	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	100.0 31	9.7 3	19.4 6	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	100.0 93	18.3 17	28.0 26	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	100.0 226	21.2 48	24.8 56	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	100.0 124	16.1 20	25.8 32	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	100.0 350	19.4 68	25.1 88	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	100.0 1,446	16.0 232	19.4 281	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	100.0 157	15.9 25	19.1 30	0.0 0

3-1. 興味のある学問分野【全体ベース】(Q3)

上段：%
下段：件数

区分	項目	標本数	商学・経済学（経営学含む）	政策情報学	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、史学、哲学など）	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	農学（農学、林学、水産学など）	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	教育（教育学、体育学など）	その他	わからない	無回答
全体		21,327	24.6	3.3	6.9	6.7	11.5	10.3	2.7	16.2	14.0	28.2	13.1	1.2
			5,252	711	1,478	1,437	2,456	2,203	579	3,460	2,982	6,007	2,803	251
調査対象別	留め置き調査	21,144	24.3	3.2	6.9	6.7	11.5	10.4	2.7	16.3	14.1	28.3	13.2	1.2
			5,132	676	1,461	1,409	2,433	2,191	576	3,448	2,975	5,989	2,784	251
	OC参加者	183	65.6	19.1	9.3	15.3	12.6	6.6	1.6	6.6	3.8	9.8	10.4	0.0
			120	35	17	28	23	12	3	12	7	18	19	0
性別	男性	9,706	31.8	4.8	9.1	7.8	9.8	17.5	3.2	10.3	13.1	19.7	15.5	1.3
			3,088	467	887	761	947	1,696	306	996	1,272	1,916	1,505	124
	女性	11,123	18.6	2.0	5.0	5.8	13.0	3.9	2.3	21.6	14.8	35.5	11.0	1.0
			2,072	226	551	645	1,446	438	255	2,398	1,650	3,945	1,219	111
	回答しない	381	19.2	4.2	7.6	6.0	15.2	17.1	3.7	13.4	11.5	29.7	14.4	1.6
			73	16	29	23	58	65	14	51	44	113	55	6
高校所在地別	北海道	313	31.9	2.9	5.8	3.5	7.0	4.5	1.9	29.1	11.8	27.2	12.5	1.0
			100	9	18	11	22	14	6	91	37	85	39	3
	青森県	292	43.2	5.1	6.8	6.5	8.6	10.3	4.8	21.6	10.3	24.7	8.2	1.4
			126	15	20	19	25	30	14	63	30	72	24	4
	宮城県	528	36.0	3.8	6.3	8.7	8.7	8.1	1.7	17.0	14.2	27.1	11.7	0.9
			190	20	33	46	46	43	9	90	75	143	62	5
	秋田県	341	24.3	3.5	5.6	10.0	9.4	10.0	1.8	29.3	15.0	24.6	7.0	2.1
			83	12	19	34	32	34	6	100	51	84	24	7
	山形県	333	19.2	2.1	3.3	3.0	8.1	8.7	3.0	14.4	9.6	40.2	15.9	2.4
			64	7	11	10	27	29	10	48	32	134	53	8
	福島県	782	25.1	2.7	4.2	5.4	6.8	6.9	2.0	20.1	10.5	25.3	16.4	3.3
			196	21	33	42	53	54	16	157	82	198	128	26
	茨城県	2,420	24.3	3.6	5.8	5.3	11.7	8.9	3.1	17.6	16.0	27.1	14.3	1.2
			587	88	140	129	284	216	75	427	388	657	346	30
	栃木県	404	50.5	7.2	4.7	5.2	7.7	5.2	2.2	16.8	10.4	23.0	11.4	1.7
			204	29	19	21	31	21	9	68	42	93	46	7
	群馬県	154	20.1	1.9	1.9	2.6	3.2	16.2	3.9	11.7	6.5	31.2	18.2	3.2
			31	3	3	4	5	25	6	18	10	48	28	5
	埼玉県	1,466	30.0	2.9	7.2	5.9	11.2	7.5	2.3	13.9	12.9	29.6	12.0	1.5
			440	42	105	87	164	110	34	204	189	434	176	22
	千葉県	11,377	20.6	3.4	8.0	7.5	12.9	12.4	2.9	15.9	14.9	28.3	12.8	0.9
			2,341	389	913	852	1,469	1,412	330	1,812	1,691	3,216	1,452	108
	東京都	1,322	24.1	2.2	6.4	6.9	13.0	10.4	2.3	9.2	12.7	32.1	14.6	0.5
			318	29	84	91	172	137	30	121	168	424	193	7
	新潟県	706	38.7	2.8	5.2	8.6	9.6	3.4	2.0	18.0	11.9	21.8	16.3	0.8
			273	20	37	61	68	24	14	127	84	154	115	6
	山梨県	124	38.7	4.8	4.8	4.8	2.4	6.5	0.8	20.2	17.7	32.3	4.8	0.8
			48	6	6	6	3	8	1	25	22	40	6	1
	静岡県	753	32.1	2.5	4.9	3.2	7.0	6.1	2.5	14.5	10.8	29.6	14.5	1.6
			242	19	37	24	53	46	19	109	81	223	109	12
	その他	4	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
			3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
高校種別	公立	16,679	24.9	3.3	6.5	6.4	11.2	10.1	2.7	16.4	13.6	28.6	13.3	1.2
			4,146	545	1,090	1,069	1,860	1,683	449	2,733	2,268	4,762	2,224	207
	私立	4,638	23.7	3.5	8.4	7.9	12.8	11.2	2.8	15.7	15.4	26.8	12.4	0.9
			1,099	164	388	367	595	520	130	727	714	1,244	577	44
在籍学科別	普通科	13,022	19.9	2.8	8.2	7.8	14.0	12.5	3.0	17.0	15.5	26.8	12.1	0.6
			2,588	370	1,062	1,022	1,828	1,633	393	2,212	2,019	3,490	1,577	83
	商業科	5,470	38.3	4.5	4.7	5.1	6.4	5.1	1.8	15.7	10.8	27.5	15.0	2.0
			2,093	246	257	278	348	280	101	857	593	1,506	822	112
	総合学科	631	16.2	2.2	5.7	3.6	13.0	11.6	3.8	15.1	14.4	29.6	15.1	0.3
			102	14	36	23	82	73	24	95	91	187	95	2
	その他	1,770	21.8	3.8	5.9	4.7	8.8	10.2	2.9	13.3	12.0	39.0	13.7	1.7
			385	68	104	83	155	180	51	235	212	691	242	30
所属クラス別	文系クラス（文系コース）	7,480	23.7	2.9	10.2	10.0	18.4	2.1	1.8	12.1	17.7	30.3	13.4	0.8
			1,774	216	761	745	1,374	159	135	908	1,324	2,268	1,001	59
	理系クラス（理系コース）	2,867	12.6	2.6	3.8	2.9	4.3	37.9	6.7	28.7	10.4	17.9	7.5	0.4
			361	74	110	82	124	1,088	191	824	299	512	215	12
	コース選択はない	7,281	27.6	3.5	5.9	6.0	9.6	9.6	2.3	16.9	13.1	27.6	14.1	1.1
			2,007	252	427	438	698	700	169	1,227	952	2,012	1,024	82
	その他	3,277	30.8	4.6	4.9	4.6	7.0	6.7	2.3	13.2	10.7	33.2	15.4	2.3
			1,008	152	162	151	230	218	77	434	352	1,087	504	74
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	30.8	4.2	9.4	9.1	15.7	13.9	2.9	15.8	16.5	20.2	10.4	0.3
			4,085	561	1,248	1,213	2,090	1,839	389	2,102	2,191	2,681	1,381	40
	短期大学	1,408	21.8	5.5	5.5	7.0	15.2	8.0	3.1	17.1	30.1	29.6	11.4	0.4
			307	78	78	98	214	112	43	241	424	417	160	6
	専門職大学	1,182	21.3	5.5	6.1	5.8	10.1	11.3	3.7	25.6	15.1	37.2	11.1	0.3
			252	65	72	69	119	134	44	303	179	440	131	4
	専門職短期大学	244	24.6	7.8	6.6	7.8	10.2	10.2	4.5	25.4	17.6	35.2	13.5	0.4
			60	19	16	19	25	25	11	62	43	86	33	1
	専門学校	6,604	13.7	2.3	3.2	3.1	6.0	6.3	2.6	23.0	11.0	48.8	10.7	0.7
			904	152	209	205	393	419	171	1,520	724	3,223	708	46
	就職	3,821	28.4	3.4	5.9	5.8	7.9	6.1	3.1	10.8	10.1	25.0	26.3	3.8
			1,085	129	226	223	303	232	117	414	387	956	1,004	145
	その他	442	10.9	3.4	5.4	2.7	6.6	6.1	1.8	6.8	7.2	36.7	42.1	2.5
			48	15	24	12	29	27	8	30	32	162	186	11
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	31.8	4.4	9.9	9.9	16.6	12.5	2.7	15.3	17.1	20.6	9.6	0.3
			3,421	475	1,071	1,064	1,790	1,350	288	1,645	1,841	2,219	1,029	29
	私立大学のみ志望あり	7,725	31.9	4.1	10.0	9.9	16.7	11.0	2.1	13.9	16.4	20.1	8.5	0.2
			2,468	313	775	768	1,288	846	161	1,070	1,269	1,554	653	15
	国立大学志望あり	3,053	27.7	4.3	11.1	8.7	16.3	23.1	5.3	18.4	17.5	19.1	10.6	0.4
			845	131	340	267	499	706	162	561	535	584	325	13
	国立大学のみ志望あり	717	22.3	3.2	10.5	4.7	12.0	28.3	5.2	16.7	15.6	14.1	6.1	0.3
			160	23	75	34	86	203	37	120	112	101	44	2
	公立大学志望あり	4,054	30.9	4.9	7.3	8.5	13.9	15.6	3.7	19.2	16.5	21.4	15.4	0.4
			1,254	197	294	343	565	632	152	780	669	868	624	16
	公立大学のみ志望あり	1,057	27.0	3.3	4.4	5.0	9.9	11.2	2.1	19.4	11.5	19.9	20.3	0.3
			285	35	46	53	105	118	22	205	122	210	215	3
興味のある学問分野別	商学・経済学（経営学含む）	5,252	100.0	8.3	14.0	12.6	12.3	6.7	2.3	7.2	10.2	11.5	0.0	0.0
			5,252	436	733	660	647	354	119	379	535	604	0	0
	政策情報学	711	61.3	100.0	29.0	29.0	16.3	17.2	3.9	7.9	10.0	12.9	0.0	0.0
			436	711	206	206	116	122	28	56	71	92	0	0
	法学・政治学	1,478	49.6	13.9	100.0	28.5	24.4	6.1	2.6	8.6	12.2	9.9	0.0	0.0
			733	206	1,478	421	361	90	38	127	181	146	0	0
	社会学	1,437	45.9	14.3	29.3	100.0	33.1	4.3	3.7	6.8	16.3	12.9	0.0	0.0
			660	206	421	1,437	476	62	53	97	234	185	0	0
	人文科学（文学、史学、哲学など）	2,456	26.3	4.7	14.7	19.4	100.0	4.6	3.1	7.1	16.0	17.3	0.0	0.0
			647	116	361	476	2,456	113	75	174	394	425	0	0
	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	2,203	16.1	5.5	4.1	2.8	5.1	100.0	6.5	11.9	7.7	10.1	0.0	0.0
			354	122	90	62	113	2,203	143	262	169	223	0	0
	農学（農学、林学、水産学など）	579	20.6	4.8	6.6	9.2	13.0	24.7	100.0	24.5	17.1	14.5	0.0	0.0
			119	28	38	53	75	143	579	142	99	84	0	0
	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	3,460	11.0	1.6	3.7	2.8	5.0	7.6	4.1	100.0	17.2	10.4	0.0	0.0
			379	56	127	97	174	262	142	3,460	596	361	0	0
	教育（教育学、体育学など）	2,982	17.9	2.4	6.1	7.8	13.2	5.7	3.3	20.0	100.0	15.0	0.0	0.0
			535	71	181	234	394	169	99	596	2,982	448	0	0
	その他	6,007	10.1	1.5	2.4	3.1	7.1	3.7	1.4	6.0	7.5	100.0	0.0	0.0
			604	92	146	185	425	223	84	361	448	6,007	0	0
	わからない	2,803	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,803	0
	商学・経済学（経営学含む）	5,252	100.0	8.3	14.0	12.6	12.3	6.7	2.3	7.2	10.2	11.5	0.0	0.0
			5,252	436	733	660	647	354	119	379	535	604	0	0
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	47.6	24.4	50.8	49.3	25.1	7.7	2.5	7.3	13.0	11.6	0.0	0.0
			1,386	711	1,478	1,437	730	223	74	213	380	338	0	0
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	3,421	100.0	9.0	16.0	14.1	14.0	6.2	1.8	6.0	11.3	10.7	0.0	0.0
			3,421	307	548	481	478	211	63	205	385	365	0	0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	664	100.0	7.8	14.5	10.8	11.4	11.4	3.0	9.0	10.4	10.2	0.0	0.0
			664	52	96	72	76	76	20	60	69	68	0	0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（経済学科）	7,345	0.0	2.3	7.1	7.9	17.9	15.5	3.1	19.6	19.8	25.2	14.0	0.4
			0	168	523	583	1,312	1,139	225	1,440	1,456	1,854	1,029	29
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	2,075	48.1	22.9	51.6	51.3	27.0	6.4	2.0	6.5	13.6	11.3	0.0	0.0
			999	475	1,071	1,064	560	132	42	135	283	234	0	0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	327	51.1	26.3	54.1	45.6	28.1	11.6	4.3	8.3	13.8	9.2	0.0	0.0
			167	86	177	149	92	38	14	27	45	30	0	0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（政策情報学科）	8,691	27.9	0.0	0.0	0.0	14.2	14.0	2.8	17.4	17.9	22.8	11.8	0.3
			2,422	0	0	0	1,230	1,218	246	1,510	1,558	1,985	1,029	29
「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度別	特色Ⅰ　魅力あり	13,013	30.0	4.5	8.4	8.5	13.2	9.8	2.7	15.9	13.8	25.5	11.9	0.8
			3,904	583	1,090	1,110	1,723	1,273	349	2,066	1,792	3,322	1,550	109
	特色Ⅱ　魅力あり	13,098	32.4	4.4	8.3	8.2	12.2	10.3	2.6	15.8	13.5	24.5	11.9	0.8
			4,244	579	1,088	1,078	1,602	1,344	336	2,074	1,771	3,205	1,553	105
	特色Ⅲ　魅力あり	13,044	29.1	4.5	7.9	8.5	12.7	9.3	2.7	16.5	14.0	26.0	12.0	0.8
			3,790	592	1,028	1,108	1,661	1,212	352	2,153	1,825	3,388	1,567	110
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	72.0	10.8	12.1	10.2	5.9	6.7	0.8	6.7	11.1	10.2	11.3	0.0
			267	40	45	38	22	25	3	25	41	38	42	0
	第二志望として受験する	571	69.4	9.6	13.7	11.6	12.1	6.3	2.8	8.4	10.9	11.9	9.6	0.9
			396	55	78	66	69	36	16	48	62	68	55	5
	第三志望以降として受験する	1,301	60.0	7.8	13.8	13.2	14.1	11.1	3.2	10.4	12.2	17.3	9.3	0.3
			780	102	179	172	183	145	41	135	159	225	121	4
	受験しない	16,558	19.7	2.6	6.2	6.1	11.8	10.8	2.8	17.6	14.5	30.0	12.6	0.9
			3,267	431	1,031	1,018	1,960	1,781	464	2,910	2,403	4,975	2,094	149
入学意向別【経済学科】	入学する	494	72.1	9.9	11.9	9.9	7.3	6.1	0.8	7.3	9.7	11.3	10.7	0.2
			356	49	59	49	36	30	4	36	48	56	53	1
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	60.9	8.5	13.7	12.9	13.2	9.8	3.4	9.3	12.3	15.5	10.5	0.4
			1,097	154	247	233	238	176	62	168	222	279	190	7
	入学しない	2,336	17.6	2.0	5.7	5.2	8.5	8.5	2.1	16.2	13.6	30.4	19.7	1.4
			411	47	133	122	199	198	48	378	318	709	461	33

3-1. 興味のある学問分野【全体ベース】(Q3)

		標本数	商学・経営学含む）（経済学	政策情報学	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、哲学など）（文学、史学	理学・工学（数学、機械工学など）（化学	農学（農学、林学、水産	保健・医療（医学、歯学、薬学など）（薬	教育（教育学、体育学など）	その他	わからない	無回答
上段:% 下段:件数														
全体		21,327	24.6 5,252	3.3 711	6.9 1,478	6.7 1,437	11.5 2,456	10.3 2,203	2.7 579	16.2 3,460	14.0 2,982	28.2 6,007	13.1 2,803	1.2 251
受験意向×入学意向別　【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	73.3 231	11.1 35	13.3 42	10.8 34	6.0 19	6.7 21	0.3 1	6.7 21	10.5 33	10.2 32	9.8 31	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	89	77.5 69	9.0 8	11.2 10	10.1 9	11.2 10	2.2 2	1.1 1	7.9 7	3.4 3	12.4 11	12.4 11	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	40	67.5 27	7.5 3	7.5 3	12.5 5	10.0 4	2.5 1	2.5 1	10.0 4	15.0 6	15.0 6	12.5 5	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	28.6 2	14.3 1	14.3 1	0.0 0	0.0 0	42.9 3	14.3 1	14.3 1	42.9 3	28.6 2	0.0 0	14.3 1
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	74.3 26	5.7 2	2.9 1	5.7 2	2.9 1	5.7 2	2.9 1	5.7 2	11.4 4	11.4 4	11.4 4	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	69.1 298	9.5 41	14.6 63	11.8 51	12.5 54	6.5 28	3.0 13	8.8 38	13.0 56	11.8 51	9.0 39	0.7 3
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	61.2 654	8.0 86	14.1 151	13.8 148	14.5 155	11.2 120	3.6 38	9.4 101	11.9 127	16.6 177	9.4 101	0.3 3
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	41.9 18	2.3 1	14.0 6	11.6 5	23.3 10	11.6 5	2.3 1	7.0 3	9.3 4	20.9 9	14.0 6	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	42.9 6	21.4 3	14.3 2	14.3 2	14.3 2	14.3 2	7.1 1	14.3 2	28.6 4	14.3 2	28.6 4	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	57.1 8	0.0 0	7.1 1	7.1 1	7.1 1	7.1 1	0.0 0	7.1 1	14.3 2	21.4 3	14.3 2	7.1 1
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	41.2 47	2.6 3	12.3 14	6.1 7	14.9 17	10.5 12	0.9 1	15.8 18	14.0 16	30.7 35	7.9 9	0.0 0
	受験せず、入学しない	849	17.9 152	2.5 21	6.7 57	6.6 56	9.5 81	9.7 82	2.2 19	17.7 150	15.0 127	28.6 243	17.7 150	1.3 11
	無回答	18,307	20.3 3,714	2.8 507	6.2 1,127	6.1 1,117	11.5 2,102	10.5 1,924	2.7 501	17.0 3,112	14.2 2,597	29.7 5,432	13.3 2,441	1.3 232
受験意向×入学意向別　【経済学科／ターゲット層のみ】	【1】第一志望相当	315	73.3 231	11.1 35	13.3 42	10.8 34	6.0 19	6.7 21	0.3 1	6.7 21	10.5 33	10.2 32	9.8 31	0.0 0
	【2】第二志望相当	555	70.8 393	9.2 51	13.3 74	11.2 62	11.7 65	5.8 32	2.7 15	8.5 47	11.4 63	11.9 66	9.7 54	0.5 3
	【3】第三志望以降相当	1,109	61.4 681	8.0 89	13.9 154	13.8 153	14.3 159	10.9 121	3.5 39	9.5 105	12.0 133	16.5 183	9.6 106	0.3 3
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	71.7 624	9.9 86	13.3 116	11.0 96	9.7 84	6.1 53	1.8 16	7.8 68	11.0 96	11.3 98	9.8 85	0.3 3
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	65.9 1,305	8.8 175	13.6 270	12.6 249	12.3 243	8.8 174	2.8 55	8.7 173	11.6 229	14.2 281	9.7 191	0.3 6
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	100.0 178	15.2 27	15.2 27	12.4 22	7.3 13	6.2 11	0.6 1	2.8 5	10.1 18	6.2 11	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	100.0 53	11.3 6	13.2 7	9.4 5	7.5 4	1.9 1	0.0 0	9.4 5	5.7 3	11.3 6	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	100.0 20	5.0 1	5.0 1	10.0 2	5.0 1	5.0 1	0.0 0	15.0 3	15.0 3	15.0 3	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	50.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 2	50.0 1	0.0 0	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	100.0 15	6.7 1	6.7 1	0.0 0	6.7 1	6.7 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	6.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	100.0 214	10.7 23	16.8 36	15.9 34	13.6 29	4.7 10	3.3 7	6.1 13	15.0 32	10.3 22	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	100.0 510	10.0 51	17.8 91	16.9 86	13.5 69	7.5 38	2.7 14	5.7 29	9.6 49	12.0 61	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	100.0 13	7.7 1	0.0 0	7.7 1	23.1 3	7.7 1	0.0 0	0.0 0	15.4 2	15.4 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	100.0 4	75.0 3	25.0 1	50.0 2	50.0 2	25.0 1	25.0 1	25.0 1	25.0 1	25.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	100.0 6	0.0 0	16.7 1	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	100.0 34	2.9 1	17.6 6	11.8 4	14.7 5	0.0 0	0.0 0	2.9 1	11.8 4	20.6 7	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	100.0 99	8.1 8	13.1 13	17.2 17	16.2 16	3.0 3	2.0 2	7.1 7	19.2 19	12.1 12	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	100.0 2,273	8.1 184	16.0 364	13.5 307	14.7 334	6.2 142	1.6 37	6.2 141	11.1 252	10.4 237	0.0 0	0.0 0
受験意向×入学意向別　【政策情報学科】	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	100.0 178	15.2 27	15.2 27	12.4 22	7.3 13	6.2 11	0.6 1	2.8 5	10.1 18	6.2 11	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	100.0 282	10.6 30	15.6 44	13.8 39	12.1 34	4.3 12	2.5 7	6.4 18	12.4 35	10.3 29	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	100.0 530	9.8 52	17.4 92	16.6 88	13.2 70	7.4 39	2.6 14	6.0 32	9.8 52	12.1 64	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	100.0 460	12.4 57	15.4 71	13.3 61	10.2 47	5.0 23	1.7 8	5.0 23	11.5 53	8.7 40	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	100.0 990	11.0 109	16.5 163	15.1 149	11.8 117	6.3 62	2.2 22	5.6 55	10.6 105	10.5 104	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	100.0 1,969	7.3 144	15.8 311	13.6 268	15.2 299	6.0 119	1.4 28	6.0 119	11.5 227	10.7 211	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	100.0 257	7.0 18	14.0 36	14.8 38	14.4 37	3.1 8	1.9 5	7.4 19	14.4 37	12.8 33	0.0 0	0.0 0
受験意向×入学意向別　【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	45.5 75	27.3 45	9.7 16	9.1 15	6.1 10	7.9 13	3.6 6	17.0 28	11.5 19	15.2 25	10.3 17	0.6 1
	第二志望として受験する	390	57.7 225	19.0 74	14.1 55	14.1 55	12.1 47	8.2 32	1.0 4	10.0 39	8.5 33	16.4 64	11.0 43	0.5 2
	第三志望以降として受験する	1,044	51.1 534	10.4 109	14.6 152	17.0 178	17.0 178	11.6 121	3.0 31	11.0 115	13.1 137	19.7 206	9.1 95	0.6 6
	受験しない	17,036	22.4 3,809	2.3 393	6.4 1,090	6.1 1,040	11.7 1,990	10.6 1,798	2.8 475	17.1 2,918	14.4 2,451	29.4 5,001	12.5 2,123	0.9 150
入学意向別　【政策情報学科】	入学する	221	46.2 102	21.7 48	9.0 20	12.2 27	7.2 16	6.3 14	2.3 5	16.3 36	10.4 23	14.5 32	14.0 31	0.9 2
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	48.9 680	12.7 176	14.4 200	15.8 220	15.9 221	11.2 156	2.8 39	11.3 157	12.2 170	18.9 263	11.1 154	0.2 3
	入学しない	2,279	20.7 471	2.3 52	5.3 121	5.3 121	7.9 179	7.8 178	2.2 50	15.1 344	13.8 315	29.1 663	19.3 439	1.5 34
受験意向×入学意向別　【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	46.5 59	28.3 36	8.7 11	10.2 13	7.1 9	6.3 8	2.4 3	18.9 24	10.2 13	13.4 17	11.8 15	0.8 1
	第二志望として受験し、入学する	31	48.4 15	25.8 8	6.5 2	19.4 6	3.2 1	3.2 1	3.2 1	25.8 8	9.7 3	16.1 5	12.9 4	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	60.0 18	10.0 3	13.3 4	13.3 4	10.0 3	6.7 2	0.0 0	3.3 1	3.3 1	13.3 4	13.3 4	3.3 1
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	43.8 7	31.3 5	12.5 2	6.3 1	6.3 1	12.5 2	6.3 1	6.3 1	0.0 0	31.3 5	12.5 2	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	56.1 161	18.8 54	16.0 46	13.9 40	13.6 39	8.4 24	0.7 2	10.1 29	8.4 24	17.8 51	10.5 30	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	50.4 418	11.1 92	14.8 123	17.6 146	18.0 149	12.3 102	3.4 28	10.9 90	13.5 112	19.8 164	8.8 73	0.4 3
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	28.1 9	3.1 1	9.4 3	21.9 7	25.0 8	12.5 4	3.1 1	12.5 4	12.5 4	28.1 9	15.6 5	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	40.0 4	0.0 0	10.0 1	10.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	10.0 1	30.0 3	30.0 3	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	60.0 6	20.0 2	20.0 2	20.0 2	30.0 3	20.0 2	10.0 1	10.0 1	10.0 1	30.0 3	10.0 1	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	42.5 45	6.6 7	12.3 13	10.4 11	13.2 14	7.5 8	1.9 2	14.2 15	15.1 16	25.5 27	10.4 11	0.0 0
	受験せず、入学しない	802	24.7 198	2.9 23	6.0 48	6.7 54	8.9 71	8.0 64	2.2 18	15.5 124	15.2 122	26.6 213	16.7 134	1.7 14
	無回答	19,046	22.6 4,311	2.5 480	6.4 1,223	6.0 1,152	11.3 2,158	10.4 1,986	2.7 522	16.6 3,162	14.1 2,683	28.9 5,506	13.3 2,524	1.2 232
受験意向×入学意向別　【政策情報学科】	【1】第一志望相当	127	46.5 59	28.3 36	8.7 11	10.2 13	7.1 9	6.3 8	2.4 3	18.9 24	10.2 13	13.4 17	11.8 15	0.8 1
	【2】第二志望相当	334	54.8 183	20.1 67	15.0 50	14.1 47	12.3 41	8.1 27	1.2 4	11.4 38	8.1 27	18.3 61	10.8 36	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	859	50.8 436	11.1 95	14.8 127	17.5 150	17.7 152	12.1 104	3.3 28	10.6 91	13.2 113	19.6 168	9.0 77	0.5 4
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	52.5 242	22.3 103	13.2 61	13.0 60	10.8 50	7.6 35	1.5 7	13.4 62	8.7 40	16.9 78	11.1 51	0.2 1
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	51.4 678	15.0 198	14.2 188	15.9 210	15.3 202	10.5 139	2.7 35	11.6 153	11.6 153	18.6 246	9.7 128	0.4 5
受験意向×入学意向別　【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	51.6 16	83.9 26	19.4 6	22.6 7	6.5 2	3.2 1	6.5 2	6.5 2	6.5 2	12.9 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	71.4 5	71.4 5	28.6 2	57.1 4	14.3 1	0.0 0	14.3 1	28.6 2	14.3 1	14.3 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	87.5 7	37.5 3	50.0 4	50.0 4	25.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	12.5 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	60.0 3	60.0 3	40.0 2	20.0 1	0.0 0	20.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	40.0 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	64.2 52	53.1 43	48.1 39	34.6 28	19.8 16	4.9 4	0.0 0	8.6 7	4.9 4	8.6 7	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	56.9 124	33.9 74	48.2 105	56.0 122	26.1 57	10.6 23	3.2 7	6.0 13	10.6 23	11.9 26	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	25.0 1	25.0 1	25.0 1	100.0 4	50.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	100.0 2	100.0 2	50.0 1	100.0 2	100.0 2	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	75.0 12	31.3 5	56.3 9	43.8 7	25.0 4	6.3 1	0.0 0	6.3 1	18.8 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	42.4 28	21.2 14	50.0 33	57.6 38	27.3 18	4.5 3	0.0 0	4.5 3	10.6 7	6.1 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	45.7 748	18.3 299	53.1 868	51.8 847	27.9 456	6.0 98	1.9 31	6.5 106	14.8 242	11.5 188	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	51.6 16	83.9 26	19.4 6	22.6 7	6.5 2	3.2 1	6.5 2	6.5 2	6.5 2	12.9 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	64.5 60	54.8 51	46.2 43	35.5 33	18.3 17	5.4 5	1.1 1	9.7 9	5.4 5	10.8 10	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	58.0 131	34.1 77	48.2 109	55.8 126	26.1 59	10.2 23	3.1 7	5.8 13	10.2 23	11.9 27	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	61.3 76	62.1 77	39.5 49	32.3 40	15.3 19	4.8 6	2.4 3	8.9 11	5.6 7	11.3 14	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	59.1 207	44.0 154	45.1 158	47.4 166	22.3 78	8.3 29	2.9 10	6.9 24	8.6 30	11.7 41	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	43.8 633	16.4 237	53.1 768	52.5 759	28.8 416	5.5 80	1.7 24	6.4 92	14.8 214	10.7 155	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	45.9 72	21.7 34	51.0 80	53.5 84	24.2 38	6.4 10	1.3 2	6.4 10	12.1 19	14.6 23	0.0 0	0.0 0

3-2. 興味のある学問分野【私立大学進学希望者ベース】(Q3)

		標本数	商学・経済学（経営学含む）	政策情報学	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、史学、哲学など）	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	農学（農学、林学、水産学など）	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	教育（教育学、体育学など）	その他	わからない	無回答
上段:% 下段:件数														
全体		10,766	31.8 3,421	4.4 475	9.9 1,071	9.9 1,064	16.6 1,790	12.5 1,350	2.7 288	15.3 1,645	17.1 1,841	20.6 2,219	9.6 1,029	0.3 29
調査対象別	留め置き調査	10,605	31.2 3,313	4.2 444	9.9 1,055	9.8 1,037	16.7 1,768	12.7 1,344	2.7 287	15.4 1,635	17.3 1,836	20.8 2,204	9.6 1,013	0.3 29
	OC参加者	161	67.1 108	19.3 31	9.9 16	16.8 27	13.7 22	3.7 6	0.6 1	6.2 10	3.1 5	9.3 15	9.9 16	0.0 0
性別	男性	5,538	39.9 2,209	5.7 318	11.8 652	10.0 553	12.6 697	18.4 1,020	3.0 164	10.3 570	16.1 889	14.3 794	11.5 636	0.2 12
	女性	5,004	23.1 1,156	2.9 147	7.8 388	9.8 492	21.0 1,050	5.7 287	2.3 114	20.8 1,039	18.3 917	27.7 1,387	7.4 368	0.3 16
	回答しない	182	24.2 44	4.4 8	12.6 23	7.1 13	22.0 40	22.5 41	4.9 9	15.9 29	12.6 23	18.1 33	10.4 19	0.5 1
高校所在地別	北海道	49	49.0 24	6.1 3	10.2 5	8.2 4	12.2 6	8.2 4	0.0 0	20.4 10	22.4 11	14.3 7	10.2 5	0.0 0
	青森県	67	56.7 38	10.4 7	9.0 6	3.0 2	7.5 5	9.0 6	3.0 2	22.4 15	16.4 11	19.4 13	6.0 4	0.0 0
	宮城県	214	45.3 97	4.7 10	7.0 15	9.3 20	10.7 23	9.3 20	1.4 3	19.6 42	20.6 44	19.2 41	7.0 15	0.5 1
	秋田県	94	33.0 31	3.2 3	8.5 8	12.8 12	16.0 15	7.4 7	2.1 2	30.9 29	22.3 21	17.0 16	4.3 4	1.1 1
	山形県	110	30.9 34	4.5 5	2.7 3	5.5 6	16.4 18	13.6 15	2.7 3	20.9 23	16.4 18	29.1 32	13.6 15	0.0 0
	福島県	193	32.6 63	2.1 4	7.8 15	8.8 17	10.4 20	11.4 22	1.0 2	22.3 43	12.4 24	22.8 44	7.8 15	0.0 0
	茨城県	1,069	32.6 348	4.9 52	8.5 91	8.4 90	18.1 193	8.8 94	3.0 32	17.4 186	20.6 220	18.7 200	11.8 126	0.3 3
	栃木県	146	74.0 108	11.0 16	8.2 12	7.5 11	7.5 11	2.7 4	2.1 3	8.9 13	11.6 17	11.0 16	7.5 11	0.0 0
	群馬県	40	40.0 16	2.5 1	0.0 0	0.0 0	2.5 1	20.0 8	5.0 2	5.0 2	7.5 3	25.0 10	10.0 4	2.5 1
	埼玉県	637	43.0 274	4.1 26	11.1 71	9.7 62	17.1 109	9.3 59	1.7 11	9.3 59	16.2 103	18.8 120	8.0 51	0.0 0
	千葉県	6,882	27.2 1,872	4.5 307	10.8 744	10.4 717	17.3 1,191	14.4 993	3.0 205	15.3 1,052	16.8 1,159	21.6 1,487	9.7 670	0.3 20
	東京都	666	32.4 216	2.9 19	9.0 60	10.2 68	18.8 125	13.8 92	2.0 13	9.6 64	16.1 107	20.1 134	9.5 63	0.2 1
	新潟県	307	49.2 151	3.3 10	6.5 20	12.7 39	12.4 38	3.6 11	1.6 5	18.2 56	15.3 47	15.6 48	10.1 31	0.3 1
	山梨県	54	55.6 30	7.4 4	7.4 4	7.4 4	3.7 2	5.6 3	1.9 1	14.8 8	25.9 14	20.4 11	3.7 2	0.0 0
	静岡県	227	48.5 110	2.6 6	7.5 17	5.3 12	13.7 31	5.3 12	1.8 4	18.9 43	18.5 42	16.7 38	5.3 12	0.4 1
	その他	4	75.0 3	25.0 1	0.0 0	0.0 0	25.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	25.0 1	0.0 0	0.0 0
高校種別	公立	7,528	33.0 2,486	4.4 330	9.8 741	9.8 740	17.0 1,277	12.9 972	2.7 202	15.4 1,158	17.0 1,282	19.9 1,499	9.0 675	0.2 18
	私立	3,229	28.7 928	4.4 143	10.2 330	10.0 323	15.9 512	11.7 378	2.7 86	15.1 487	17.3 559	22.3 719	10.9 353	0.3 11
在籍学科別	普通科	7,760	26.7 2,072	3.6 283	10.9 847	10.9 844	18.6 1,444	14.2 1,103	2.9 224	15.7 1,216	17.6 1,362	20.1 1,560	9.5 737	0.3 22
	商業科	1,629	59.4 967	8.0 131	7.3 119	7.5 122	8.8 144	5.1 83	1.2 20	13.8 224	15.1 246	16.2 264	9.3 151	0.3 5
	総合学科	328	22.0 72	3.0 10	8.8 29	4.6 15	20.1 66	13.7 45	4.9 16	16.5 54	17.7 58	21.0 69	9.8 32	0.0 0
	その他	847	30.5 258	5.0 42	7.4 63	6.8 58	12.5 106	11.2 95	2.6 22	13.5 114	15.5 131	32.9 279	10.0 85	0.1 1
所属クラス別	文系クラス（文系コース）	4,455	31.5 1,402	3.6 161	13.6 605	13.7 611	24.2 1,079	1.8 78	1.4 61	10.2 453	20.4 907	23.8 1,059	10.7 476	0.3 14
	理系クラス（理系コース）	1,781	16.1 286	3.1 56	4.4 79	3.8 67	5.8 103	41.5 740	6.6 118	28.1 500	11.3 202	14.2 253	6.9 123	0.3 5
	コース選択はない	3,131	35.0 1,096	4.7 146	8.9 280	8.8 276	14.8 463	13.6 425	2.5 78	16.3 510	17.1 536	19.2 602	8.9 280	0.2 5
	その他	1,223	46.9 574	8.2 100	7.6 93	7.9 97	10.3 126	7.1 87	2.4 29	12.6 154	13.9 170	21.8 267	10.6 130	0.4 5
高校卒業後の希望進路別	大学	10,766	31.8 3,421	4.4 475	9.9 1,071	9.9 1,064	16.6 1,790	12.5 1,350	2.7 288	15.3 1,645	17.1 1,841	20.6 2,219	9.6 1,029	0.3 29
	短期大学	675	27.9 188	8.4 57	8.4 57	10.4 70	20.4 138	11.4 77	3.6 24	17.5 118	24.6 166	28.0 189	10.8 73	0.7 5
	専門職大学	561	28.9 162	7.1 40	8.9 50	8.9 50	15.3 86	12.7 71	3.9 22	23.5 132	19.3 108	32.6 183	12.1 68	0.0 0
	専門職短期大学	84	40.5 34	11.9 10	11.9 10	14.3 12	17.9 15	11.9 10	6.0 5	23.8 20	23.8 20	29.8 25	11.9 10	0.0 0
	専門学校	1,452	26.0 377	4.7 68	7.2 105	7.4 108	12.7 185	10.3 150	3.1 45	26.7 388	17.6 256	35.8 520	11.4 165	0.2 3
	就職	438	44.5 195	8.7 38	12.3 54	10.5 46	14.4 63	10.5 46	2.7 12	13.5 59	18.9 83	21.2 93	18.9 83	0.5 2
	その他	60	23.3 14	8.3 5	18.3 11	13.3 8	23.3 14	15.0 9	8.3 5	10.0 6	28.3 17	41.7 25	21.7 13	1.7 1
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	31.8 3,421	4.4 475	9.9 1,071	9.9 1,064	16.6 1,790	12.5 1,350	2.7 288	15.3 1,645	17.1 1,841	20.6 2,219	9.6 1,029	0.3 29
	私立大学のみ志望あり	7,725	31.9 2,468	4.1 313	10.0 775	9.9 768	16.7 1,288	11.0 846	2.1 161	13.9 1,070	16.4 1,269	20.1 1,554	8.5 653	0.2 15
	国立大学志望あり	1,695	28.8 488	4.9 83	12.5 212	10.3 175	18.6 315	20.4 345	5.1 86	18.6 316	18.3 311	20.8 353	12.6 214	0.5 9
	国立大学のみ志望あり	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	公立大学志望あり	2,356	32.8 772	5.8 137	8.3 195	9.8 232	15.4 362	15.1 356	3.9 91	19.1 450	18.5 435	22.4 528	14.5 342	0.5 11
	公立大学のみ志望あり	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
興味のある学問分野別	商学・経済学（経営学含む）	3,421	100.0 3,421	9.0 307	16.0 548	14.1 481	14.0 478	6.2 211	1.8 63	6.0 205	11.3 385	10.7 365	0.0 0	0.0 0
	政策情報学	475	64.6 307	100.0 475	32.8 156	32.2 153	18.5 88	15.4 73	3.4 16	7.8 37	10.5 50	12.2 58	0.0 0	0.0 0
	法学・政治学	1,071	51.2 548	14.6 156	100.0 1,071	29.7 318	25.6 274	5.1 55	2.1 22	7.2 77	12.0 128	9.0 96	0.0 0	0.0 0
	社会学	1,064	45.2 481	14.4 153	29.9 318	100.0 1,064	35.0 372	2.9 31	2.8 30	6.0 64	17.1 182	12.8 136	0.0 0	0.0 0
	人文科学（文学、史学、哲学など）	1,790	26.7 478	4.9 88	15.3 274	20.8 372	100.0 1,790	3.7 67	2.7 49	6.0 107	17.0 304	16.8 300	0.0 0	0.0 0
	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	1,350	15.6 211	5.4 73	4.1 55	2.3 31	5.0 67	100.0 1,350	6.7 90	12.4 168	7.9 107	8.4 114	0.0 0	0.0 0
	農学（農学、林学、水産学など）	288	21.9 63	5.6 16	7.6 22	10.4 30	17.0 49	31.3 90	100.0 288	26.0 75	19.1 55	11.1 32	0.0 0	0.0 0
	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	1,645	12.5 205	2.2 37	4.7 77	3.9 64	6.5 107	10.2 168	4.6 75	100.0 1,645	20.4 336	9.2 151	0.0 0	0.0 0
	教育（教育学、体育学など）	1,841	20.9 385	2.7 50	7.0 128	9.9 182	16.5 304	5.8 107	3.0 55	18.3 336	100.0 1,841	14.2 261	0.0 0	0.0 0
	その他	2,219	16.4 365	2.6 58	4.3 96	6.1 136	13.5 300	5.1 114	1.4 32	6.8 151	11.8 261	100.0 2,219	0.0 0	0.0 0
	わからない	1,029	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1,029	0.0 0
希望進路×設置者×興味分野別	商学・経済学（経営学含む）	3,421	100.0 3,421	9.0 307	16.0 548	14.1 481	14.0 478	6.2 211	1.8 63	6.0 205	11.3 385	10.7 365	0.0 0	0.0 0
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,075	48.1 999	22.9 475	51.6 1,071	51.3 1,064	27.0 560	6.4 132	2.0 42	6.5 135	13.6 283	11.3 234	0.0 0	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	3,421	100.0 3,421	9.0 307	16.0 548	14.1 481	14.0 478	6.2 211	1.8 63	6.0 205	11.3 385	10.7 365	0.0 0	0.0 0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（経済学科）	7,345	0.0 0	2.3 168	7.1 523	7.9 583	17.9 1,312	15.5 1,139	3.1 225	19.6 1,440	19.8 1,456	25.2 1,854	14.0 1,029	0.4 29
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	2,075	48.1 999	22.9 475	51.6 1,071	51.3 1,064	27.0 560	6.4 132	2.0 42	6.5 135	13.6 283	11.3 234	0.0 0	0.0 0
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（政策情報学科）	8,691	27.9 2,422	0.0 0	0.0 0	0.0 0	14.2 1,230	14.0 1,218	2.8 246	17.4 1,510	17.9 1,558	22.8 1,985	11.8 1,029	0.3 29
「経済学科」「政策情報学科」に対する特色・魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	6,869	37.0 2,540	5.8 396	11.4 783	12.0 822	18.1 1,240	11.0 759	2.3 157	14.0 960	16.2 1,114	19.1 1,314	9.1 626	0.2 16
	特色Ⅱ 魅力あり	7,004	40.0 2,801	5.6 391	11.2 784	11.2 784	16.6 1,163	11.6 812	2.4 168	14.2 994	15.8 1,105	18.1 1,268	8.9 626	0.2 17
	特色Ⅲ 魅力あり	6,810	35.8 2,438	5.9 402	10.9 741	11.9 812	17.5 1,189	10.7 727	2.4 165	14.6 995	16.6 1,128	19.5 1,327	9.3 634	0.2 16

3-2. 興味のある学問分野【私立大学進学希望者ベース】(Q3)

上段:% 下段:件数		標本数	商学・経済学（経営学含む）	政策情報学	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、史学、哲学など）	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	農学（農学、林学、水産学など）	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	教育（教育学、体育学など）	その他	わからない	無回答
全体		10,766	31.8 3,421	4.4 475	9.9 1,071	9.9 1,064	16.6 1,790	12.5 1,350	2.7 288	15.3 1,645	17.1 1,841	20.6 2,219	9.6 1,029	0.3 29
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	252	79.4 200	13.5 34	14.3 36	11.1 28	6.7 17	6.7 17	0.8 2	4.8 12	11.9 30	7.1 18	9.5 24	0.0 0
	第二志望として受験する	375	76.5 287	11.5 43	15.2 57	12.3 46	11.5 43	4.5 17	2.4 9	7.5 28	13.3 50	11.5 43	8.3 31	0.5 2
	第三志望以降として受験する	952	63.6 605	7.9 75	15.2 145	15.2 145	14.7 140	10.2 97	2.8 27	9.0 86	11.9 113	15.5 148	8.4 80	0.2 2
	受験しない	8,051	24.5 1,969	3.3 267	9.1 731	9.2 740	17.7 1,425	13.5 1,086	2.7 221	17.1 1,376	18.1 1,459	22.0 1,775	9.0 727	0.2 18
入学意向別【経済学科】	入学する	342	80.4 275	12.0 41	13.2 45	10.8 37	7.6 26	6.1 21	0.6 2	5.3 18	10.8 37	8.8 30	7.9 27	0.0 0
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,253	66.1 828	9.6 120	15.7 197	15.1 189	13.8 173	9.1 114	3.2 40	8.2 103	12.7 159	14.0 176	9.4 118	0.2 2
	入学しない	1,034	24.9 257	2.8 29	8.7 90	8.5 88	14.5 150	10.6 110	2.1 22	15.5 160	17.2 178	22.8 236	14.9 154	0.4 4
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	221	80.5 178	13.6 30	15.4 34	11.8 26	6.3 14	6.3 14	0.5 1	4.1 9	11.3 25	7.2 16	9.0 20	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	60	88.3 53	11.7 7	11.7 7	8.3 5	8.3 5	1.7 1	0.0 0	8.3 5	5.0 3	13.3 8	6.7 4	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	29	69.0 20	6.9 2	6.9 2	17.2 5	13.8 4	3.4 1	0.0 0	10.3 3	17.2 5	13.8 4	6.9 2	0.0 0
	受験しないが、入学する	4	50.0 2	25.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	75.0 3	25.0 1	0.0 0	50.0 2	25.0 1	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	18	83.3 15	5.6 1	5.6 1	0.0 0	5.6 1	5.6 1	0.0 0	5.6 1	11.1 2	5.6 1	5.6 1	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	283	75.6 214	11.7 33	16.3 46	13.1 37	12.0 34	5.7 16	2.8 8	7.8 22	15.5 44	11.7 33	8.1 23	0.4 1
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	791	64.5 510	8.2 65	15.9 126	15.9 126	15.0 119	10.4 82	3.3 26	8.5 67	11.3 89	14.9 118	8.6 68	0.1 1
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	26	50.0 13	3.8 1	7.7 2	7.7 2	23.1 6	11.5 3	0.0 0	0.0 0	11.5 3	19.2 5	15.4 4	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	8	50.0 4	37.5 3	12.5 1	25.0 2	25.0 2	25.0 2	12.5 1	25.0 2	37.5 3	12.5 1	12.5 1	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	9	66.7 6	0.0 0	11.1 1	11.1 1	11.1 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	22.2 2	11.1 1	11.1 1	11.1 1
	第三志望以降として受験するが、入学しない	72	47.2 34	2.8 2	12.5 9	6.9 5	15.3 11	6.9 5	0.0 0	11.1 8	15.3 11	29.2 21	6.9 5	0.0 0
	受験せず、入学しない	390	25.4 99	3.3 13	10.8 42	10.8 42	14.9 58	11.5 45	1.5 6	17.2 67	17.7 69	19.7 77	14.1 55	0.0 0
	無回答	8,855	25.7 2,273	3.6 317	9.0 800	9.2 813	17.3 1,535	13.3 1,177	2.8 245	16.5 1,461	17.9 1,583	21.8 1,933	9.5 845	0.3 26
	【1】第一志望相当	221	80.5 178	13.6 30	15.4 34	11.8 26	6.3 14	6.3 14	0.5 1	4.1 9	11.3 25	7.2 16	9.0 20	0.0 0
	【2】第二志望相当	361	78.1 282	11.4 41	15.0 54	11.6 42	11.1 40	5.0 18	2.2 8	7.8 28	13.6 49	11.6 42	7.8 28	0.3 1
	【3】第三志望以降相当	820	64.6 530	8.2 67	15.6 128	16.0 131	15.0 123	10.1 83	3.2 26	8.5 70	11.5 94	14.9 122	8.5 70	0.1 1
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	582	79.0 460	12.2 71	15.1 88	11.7 68	9.3 54	5.5 32	1.5 9	6.4 37	12.7 74	10.0 58	8.2 48	0.2 1
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,402	70.6 990	9.8 138	15.4 216	14.2 199	12.6 177	8.2 115	2.5 35	7.6 107	12.0 168	12.8 180	8.4 118	0.1 2
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	100.0 178	15.2 27	15.2 27	12.4 22	7.3 13	6.2 11	0.6 1	2.8 5	10.1 18	6.2 11	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	100.0 53	11.3 6	13.2 7	9.4 5	7.5 4	1.9 1	0.0 0	9.4 5	5.7 3	11.3 6	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	100.0 20	5.0 1	5.0 1	10.0 2	5.0 1	5.0 1	0.0 0	15.0 3	15.0 3	15.0 3	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	50.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 2	50.0 1	0.0 0	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	100.0 15	6.7 1	6.7 1	0.0 0	6.7 1	6.7 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	6.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	100.0 214	10.7 23	16.8 36	15.9 34	13.6 29	4.7 10	3.3 7	6.1 13	15.0 32	10.3 22	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	100.0 510	10.0 51	17.8 91	16.9 86	13.5 69	7.5 38	2.7 14	5.7 29	9.6 49	12.0 61	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	100.0 13	7.7 1	0.0 0	7.7 1	23.1 3	7.7 1	0.0 0	0.0 0	15.4 2	15.4 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	100.0 4	75.0 3	25.0 1	50.0 2	50.0 2	25.0 1	25.0 1	25.0 1	25.0 1	25.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	100.0 6	0.0 0	16.7 1	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	100.0 34	2.9 1	17.6 6	11.8 4	14.7 5	0.0 0	0.0 0	2.9 1	11.8 4	20.6 7	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	100.0 99	8.1 8	13.1 13	17.2 17	16.2 16	3.0 3	2.0 2	7.1 7	19.2 19	12.1 12	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	100.0 2,273	8.1 184	16.0 364	13.5 307	14.7 334	6.2 142	1.6 37	6.2 141	11.1 252	10.4 237	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	100.0 178	15.2 27	15.2 27	12.4 22	7.3 13	6.2 11	0.6 1	2.8 5	10.1 18	6.2 11	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	100.0 282	10.6 30	15.6 44	13.8 39	12.1 34	4.3 12	2.5 7	6.4 18	12.4 35	10.3 29	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	100.0 530	9.8 52	17.4 92	16.6 88	13.2 70	7.4 39	2.6 14	6.0 32	9.8 52	12.1 64	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	100.0 460	12.4 57	15.4 71	13.3 61	10.2 47	5.0 23	1.7 8	5.0 23	11.5 53	8.7 40	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	100.0 990	11.0 109	16.5 163	15.1 149	11.8 117	6.3 62	2.2 22	5.6 55	10.6 105	10.5 104	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	100.0 1,969	7.3 144	15.8 311	13.6 268	15.2 299	6.0 119	1.4 28	6.0 119	11.5 227	10.7 211	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	100.0 257	7.0 18	14.0 36	14.8 38	14.4 37	3.1 8	1.9 5	7.4 19	14.4 37	12.8 33	0.0 0	0.0 0
受験意向別【観光政策情報学科】	第一志望として受験する	87	47.1 41	36.8 32	11.5 10	9.2 8	4.6 4	4.6 4	4.6 4	14.9 13	16.1 14	14.9 13	9.2 8	0.0 0
	第二志望として受験する	262	64.1 168	22.1 58	17.9 47	15.3 40	13.0 34	9.5 25	0.8 2	7.6 20	9.9 26	12.2 32	10.3 27	0.4 1
	第三志望以降として受験する	744	55.5 413	11.7 87	17.3 129	19.8 147	19.4 144	11.3 84	2.7 20	9.3 69	13.6 101	16.9 126	7.7 57	0.4 3
	受験しない	8,445	28.3 2,394	2.8 237	9.1 768	9.0 759	17.1 1,441	13.0 1,095	2.7 230	16.4 1,386	17.8 1,501	21.5 1,813	8.9 749	0.2 19
入学意向別【観光政策情報学科】	入学する	124	51.6 64	27.4 34	10.5 13	14.5 18	7.3 9	4.0 5	4.0 5	11.3 14	13.7 17	13.7 17	13.7 17	0.8 1
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	949	54.9 521	14.6 139	17.5 166	18.3 174	17.6 167	11.1 105	2.2 21	9.6 91	13.2 125	15.5 147	9.7 92	0.1 1
	入学しない	1,032	29.3 302	3.3 34	7.8 80	8.1 84	13.4 138	10.5 108	2.4 25	14.2 147	17.4 180	21.6 223	14.1 145	0.5 5

3-2. 興味のある学問分野【私立大学進学希望者ベース】(Q3)

		標本数	商学・経済学（経営学含む）	政策情報学	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、史学、哲学など）	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	農学（農学、林学、水産学など）	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	教育（教育学、体育学など）	その他	わからない	無回答
上段:% 下段:件数														
全体		10,766	31.8 3,421	4.4 475	9.9 1,071	9.9 1,064	16.6 1,790	12.5 1,350	2.7 288	15.3 1,645	17.1 1,841	20.6 2,219	9.6 1,029	0.3 29
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	66	48.5 32	39.4 26	9.1 6	10.6 7	6.1 4	3.0 2	4.5 3	16.7 11	15.2 10	12.1 8	12.1 8	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	19	52.6 10	26.3 5	10.5 2	21.1 4	5.3 1	5.3 1	5.3 1	15.8 3	15.8 3	26.3 5	10.5 2	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	25	64.0 16	12.0 3	16.0 4	16.0 4	8.0 2	4.0 1	0.0 0	0.0 0	4.0 1	12.0 3	16.0 4	4.0 1
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	7	42.9 3	42.9 3	28.6 2	14.3 1	0.0 0	14.3 1	0.0 0	14.3 1	0.0 0	42.9 3	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	192	62.0 119	22.4 43	20.3 39	14.6 28	14.6 28	9.9 19	0.0 0	7.8 15	9.4 18	12.0 23	9.9 19	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	596	55.0 328	12.4 74	17.6 105	20.5 122	20.1 120	11.9 71	3.0 18	9.4 56	13.8 82	16.8 100	7.6 45	0.2 1
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	19	36.8 7	5.3 1	5.3 1	21.1 4	26.3 5	10.5 2	0.0 0	0.0 0	10.5 2	21.1 4	15.8 3	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	7	57.1 4	0.0 0	14.3 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	28.6 2	28.6 2	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	8	62.5 5	25.0 2	12.5 1	25.0 2	37.5 3	25.0 2	12.5 1	12.5 1	12.5 1	25.0 2	12.5 1	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	61	45.9 28	8.2 5	14.8 9	11.5 7	19.7 12	8.2 5	1.6 1	11.5 7	16.4 10	24.6 15	4.9 3	0.0 0
	受験せず、入学しない	397	34.5 137	3.5 14	8.3 33	9.6 38	12.8 51	10.8 43	1.8 7	14.4 57	18.1 72	17.6 70	13.4 53	0.5 2
	無回答	9,368	29.2 2,731	3.2 299	9.3 868	9.0 847	16.7 1,564	12.8 1,203	2.7 257	15.9 1,494	17.5 1,640	21.2 1,984	9.5 891	0.3 25
	【1】第一志望相当	66	48.5 32	39.4 26	9.1 6	10.6 7	6.1 4	3.0 2	4.5 3	16.7 11	15.2 10	12.1 8	12.1 8	0.0 0
	【2】第二志望相当	218	60.6 132	23.4 51	19.7 43	15.1 33	13.3 29	9.6 21	0.5 1	8.7 19	9.6 21	14.2 31	9.6 21	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	621	55.4 344	12.4 77	17.6 109	20.3 126	19.6 122	11.6 72	2.9 18	9.0 56	13.4 83	16.6 103	7.9 49	0.3 2
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	284	57.7 164	27.1 77	17.3 49	14.1 40	11.6 33	8.1 23	1.4 4	10.6 30	10.9 31	13.7 39	10.2 29	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	905	56.1 508	17.0 154	17.5 158	18.3 166	17.1 155	10.5 95	2.4 22	9.5 86	12.6 114	15.7 142	8.6 78	0.2 2
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	51.6 16	83.9 26	19.4 6	22.6 7	6.5 2	3.2 1	6.5 2	6.5 2	6.5 2	12.9 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	71.4 5	71.4 5	28.6 2	57.1 4	14.3 1	0.0 0	14.3 1	28.6 2	14.3 1	14.3 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	87.5 7	37.5 3	50.0 4	50.0 4	25.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	12.5 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	60.0 3	60.0 3	40.0 2	20.0 1	0.0 0	20.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	40.0 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	64.2 52	53.1 43	48.1 39	34.6 28	19.8 16	4.9 4	0.0 0	8.6 7	4.9 4	8.6 7	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	56.9 124	33.9 74	48.2 105	56.0 122	26.1 57	10.6 23	3.2 7	6.0 13	10.6 23	11.9 26	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	25.0 1	25.0 1	25.0 1	100.0 4	50.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	100.0 2	100.0 2	50.0 1	100.0 2	100.0 2	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	75.0 12	31.3 5	56.3 9	43.8 7	25.0 4	6.3 1	0.0 0	6.3 1	18.8 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	42.4 28	21.2 14	50.0 33	57.6 38	27.3 18	4.5 3	0.0 0	4.5 3	10.6 7	6.1 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	45.7 748	18.3 299	53.1 868	51.8 847	27.9 456	6.0 98	1.9 31	6.5 106	14.8 242	11.5 188	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	51.6 16	83.9 26	19.4 6	22.6 7	6.5 2	3.2 1	6.5 2	6.5 2	6.5 2	12.9 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	64.5 60	54.8 51	46.2 43	35.5 33	18.3 17	5.4 5	1.1 1	9.7 9	5.4 5	10.8 10	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	58.0 131	34.1 77	48.2 109	55.8 126	26.1 59	10.2 23	3.1 7	5.8 13	10.2 23	11.9 27	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	61.3 76	62.1 77	39.5 49	32.3 40	15.3 19	4.8 6	2.4 3	8.9 11	5.6 7	11.3 14	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	59.1 207	44.0 154	45.1 158	47.4 166	22.3 78	8.3 29	2.9 10	6.9 24	8.6 30	11.7 41	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	43.8 633	16.4 237	53.1 768	52.5 759	28.8 416	5.5 80	1.7 24	6.4 92	14.8 214	10.7 155	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	45.9 72	21.7 34	51.0 80	53.5 84	24.2 38	6.4 10	1.3 2	6.4 10	12.1 19	14.6 23	0.0 0	0.0 0

4-1.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

1）Ⅰ．総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。

上段:% 下段:件数		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
全体		21,327	61.0 13,013	10.0 2,123	51.1 10,890	35.3 7,532	26.7 5,688	8.6 1,844	3.7 782
対象別調査	留め置き調査	21,144	60.8 12,848	9.8 2,080	50.9 10,768	35.5 7,516	26.8 5,673	8.7 1,843	3.7 780
	OC参加者	183	90.2 165	23.5 43	66.7 122	8.7 16	8.2 15	0.5 1	1.1 2
性別	男性	9,706	59.8 5,809	10.2 989	49.7 4,820	35.8 3,477	26.5 2,571	9.3 906	4.3 420
	女性	11,123	62.3 6,930	9.7 1,078	52.6 5,852	34.6 3,846	26.9 2,987	7.7 859	3.1 347
	回答しない	381	52.8 201	12.1 46	40.7 155	44.4 169	25.2 96	19.2 73	2.9 11
高校所在地別	北海道	313	70.0 219	18.2 57	51.8 162	28.1 88	23.0 72	5.1 16	1.9 6
	青森県	292	71.6 209	14.4 42	57.2 167	27.1 79	22.6 66	4.5 13	1.4 4
	宮城県	528	59.3 313	10.8 57	48.5 256	38.1 201	26.9 142	11.2 59	2.7 14
	秋田県	341	74.8 255	13.5 46	61.3 209	21.1 72	17.0 58	4.1 14	4.1 14
	山形県	333	62.2 207	12.3 41	49.8 166	33.9 113	24.6 82	9.3 31	3.9 13
	福島県	782	62.4 488	10.5 82	51.9 406	31.8 249	23.5 184	8.3 65	5.8 45
	茨城県	2,420	61.1 1,478	10.2 248	50.8 1,230	35.3 855	27.0 653	8.3 202	3.6 87
	栃木県	404	72.0 291	14.9 60	57.2 231	22.8 92	19.3 78	3.5 14	5.2 21
	群馬県	154	57.1 88	7.8 12	49.4 76	37.7 58	23.4 36	14.3 22	5.2 8
	埼玉県	1,466	63.0 924	8.8 129	54.2 795	33.8 496	25.1 368	8.7 128	3.1 46
	千葉県	11,377	58.7 6,677	9.1 1,033	49.6 5,644	37.7 4,288	28.3 3,221	9.4 1,067	3.6 412
	東京都	1,322	59.1 781	10.1 133	49.0 648	34.6 458	25.0 331	9.6 127	6.3 83
	新潟県	706	70.0 494	15.9 112	54.1 382	28.0 198	23.5 166	4.5 32	2.0 14
	山梨県	124	58.9 73	8.9 11	50.0 62	39.5 49	30.6 38	8.9 11	1.6 2
	静岡県	753	67.1 505	7.7 58	59.4 447	31.2 235	25.5 192	5.7 43	1.7 13
	その他	4	100.0 4	0.0 0	100.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
高校種別	公立	16,679	61.1 10,186	10.1 1,681	51.0 8,505	35.1 5,862	26.7 4,445	8.5 1,417	3.8 631
	私立	4,638	60.8 2,818	9.5 439	51.3 2,379	36.0 1,669	26.8 1,242	9.2 427	3.3 151
在籍学科別	普通科	13,022	59.9 7,803	8.9 1,165	51.0 6,638	36.5 4,755	27.7 3,612	8.8 1,143	3.6 464
	商業科	5,470	66.5 3,637	13.1 716	53.4 2,921	29.8 1,629	23.5 1,283	6.3 346	3.7 204
	総合学科	631	53.7 339	7.8 49	46.0 290	42.3 267	29.8 188	12.5 79	4.0 25
	その他	1,770	55.3 978	8.5 150	46.8 828	40.9 724	28.2 499	12.7 225	3.8 68
所属クラス別	文系クラス（文系コース）	7,480	61.1 4,567	9.1 677	52.0 3,890	35.2 2,633	26.9 2,013	8.3 620	3.7 280
	理系クラス（理系コース）	2,867	56.2 1,611	8.2 235	48.0 1,376	40.6 1,165	29.7 852	10.9 313	3.2 91
	コース選択はない	7,281	62.3 4,537	10.8 785	51.5 3,752	34.2 2,492	26.3 1,914	7.9 578	3.5 252
	その他	3,277	61.9 2,028	11.6 381	50.3 1,647	33.8 1,109	24.7 810	9.1 299	4.3 140
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	63.4 8,418	10.2 1,356	53.2 7,062	33.3 4,416	26.2 3,483	7.0 933	3.3 441
	短期大学	1,408	65.1 916	9.5 134	55.5 782	32.4 456	26.1 368	6.3 88	2.6 36
	専門職大学	1,182	60.9 720	10.2 120	50.8 600	35.4 419	27.8 329	7.6 90	3.6 43
	専門職短期大学	244	57.8 141	11.1 27	46.7 114	37.3 91	27.5 67	9.8 24	4.9 12
	専門学校	6,604	56.7 3,746	8.6 567	48.1 3,179	39.6 2,618	29.5 1,945	10.2 673	3.6 240
	就職	3,821	62.5 2,389	11.6 444	50.9 1,945	33.1 1,265	24.0 917	9.1 348	4.4 167
	その他	442	50.5 223	7.0 31	43.4 192	44.3 196	27.6 122	16.7 74	5.2 23
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	63.8 6,869	10.0 1,075	53.8 5,794	32.9 3,540	26.2 2,818	6.7 722	3.3 357
	私立大学のみ志望あり	7,725	63.6 4,911	9.7 752	53.8 4,159	33.1 2,556	26.0 2,009	7.1 547	3.3 258
	国立大学志望あり	3,053	63.3 1,932	11.3 344	52.0 1,588	33.4 1,020	26.0 793	7.4 227	3.3 101
	国立大学のみ志望あり	717	61.6 442	13.0 93	48.7 349	36.3 260	25.5 183	10.7 77	2.1 15
	公立大学志望あり	4,054	63.7 2,584	10.5 425	53.3 2,159	33.0 1,336	26.5 1,073	6.5 263	3.3 134
	公立大学のみ志望あり	1,057	60.3 637	11.2 118	49.1 519	36.0 380	27.7 293	8.2 87	3.8 40

4-1.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

1）Ⅰ．総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。

		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
上段:% 下段:件数									
全体		21,327	61.0 13,013	10.0 2,123	51.1 10,890	35.3 7,532	26.7 5,688	8.6 1,844	3.7 782
興味のある学問分野別	商学・経済学（経営学含む）	5,252	74.3 3,904	15.0 787	59.3 3,117	22.5 1,181	18.8 985	3.7 196	3.2 167
	政策情報学	711	82.0 583	22.8 162	59.2 421	15.0 107	12.1 86	3.0 21	3.0 21
	法学・政治学	1,478	73.7 1,090	15.9 235	57.8 855	23.1 341	18.0 266	5.1 75	3.2 47
	社会学	1,437	77.2 1,110	15.9 228	61.4 882	19.4 279	15.8 227	3.6 52	3.3 48
	人文科学（文学、史学、哲学など）	2,456	70.2 1,723	11.8 289	58.4 1,434	25.8 633	20.8 511	5.0 122	4.1 100
	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	2,203	57.8 1,273	8.4 184	49.4 1,089	38.9 858	29.6 651	9.4 207	3.3 72
	農学（農学、林学、水産学など）	579	60.3 349	7.6 44	52.7 305	36.8 213	29.7 172	7.1 41	2.9 17
	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	3,460	59.7 2,066	9.0 312	50.7 1,754	37.7 1,303	29.3 1,014	8.4 289	2.6 91
	教育（教育学、体育学など）	2,982	60.1 1,792	9.9 295	50.2 1,497	36.6 1,090	28.6 854	7.9 236	3.4 100
	その他	6,007	55.3 3,322	7.9 472	47.4 2,850	41.1 2,468	29.9 1,795	11.2 673	3.6 217
	わからない	2,803	55.3 1,550	8.0 225	47.3 1,325	40.8 1,145	29.6 830	11.2 315	3.9 108
	商学・経済学（経営学含む）	5,252	74.3 3,904	15.0 787	59.3 3,117	22.5 1,181	18.8 985	3.7 196	3.2 167
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	75.5 2,199	16.0 466	59.5 1,733	21.1 615	17.1 499	4.0 116	3.4 98
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	3,421	74.2 2,540	14.3 490	59.9 2,050	22.5 771	18.8 644	3.7 127	3.2 110
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	664	71.8 477	16.9 112	55.0 365	24.5 163	21.1 140	3.5 23	3.6 24
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（経済学科）	7,345	58.9 4,329	8.0 585	51.0 3,744	37.7 2,769	29.6 2,174	8.1 595	3.4 247
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	2,075	75.3 1,562	15.5 321	59.8 1,241	21.1 438	17.2 356	4.0 82	3.6 75
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	327	77.7 254	18.3 60	59.3 194	18.3 60	15.0 49	3.4 11	4.0 13
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（政策情報学科）	8,691	61.1 5,307	8.7 754	52.4 4,553	35.7 3,102	28.3 2,462	7.4 640	3.2 282
「経済学科」「政策情報学科」に対する特色の魅力度別	特色Ⅰ　魅力あり	13,013	100.0 13,013	16.3 2,123	83.7 10,890	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	特色Ⅱ　魅力あり	13,098	89.0 11,656	15.5 2,036	73.4 9,620	10.7 1,400	10.0 1,313	0.7 87	0.3 42
	特色Ⅲ　魅力あり	13,044	89.7 11,699	15.6 2,035	74.1 9,664	10.0 1,305	9.5 1,239	0.5 66	0.3 40
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	86.5 321	28.6 106	58.0 215	11.6 43	10.0 37	1.6 6	1.9 7
	第二志望として受験する	571	84.9 485	21.4 122	63.6 363	14.0 80	13.0 74	1.1 6	1.1 6
	第三志望以降として受験する	1,301	78.6 1,022	15.2 198	63.3 824	20.6 268	18.9 246	1.7 22	0.8 11
	受験しない	16,558	61.0 10,095	8.8 1,462	52.1 8,633	38.3 6,347	28.9 4,790	9.4 1,557	0.7 116
入学意向別【経済学科】	入学する	494	84.8 419	25.5 126	59.3 293	13.6 67	12.8 63	0.8 4	1.6 8
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	81.0 1,460	17.4 314	63.6 1,146	18.1 326	16.8 303	1.3 23	0.9 16
	入学しない	2,336	52.1 1,218	9.8 228	42.4 990	46.6 1,088	30.4 709	16.2 379	1.3 30
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	88.3 278	27.6 87	60.6 191	10.5 33	9.8 31	0.6 2	1.3 4
	第二志望として受験し、入学する	89	80.9 72	21.3 19	59.6 53	15.7 14	14.6 13	1.1 1	3.4 3
	第三志望以降として受験し、入学する	40	77.5 31	10.0 4	67.5 27	22.5 9	20.0 8	2.5 1	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	100.0 7	57.1 4	42.9 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	80.0 28	34.3 12	45.7 16	14.3 5	14.3 5	0.0 0	5.7 2
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	86.5 373	20.6 89	65.9 284	12.8 55	12.1 52	0.7 3	0.7 3
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	79.8 853	15.7 168	64.1 685	19.4 207	18.0 192	1.4 15	0.8 9
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	69.8 30	23.3 10	46.5 20	30.2 13	25.6 11	4.7 2	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	71.4 10	35.7 5	35.7 5	28.6 4	0.0 0	28.6 4	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	71.4 10	7.1 1	64.3 9	28.6 4	28.6 4	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	65.8 75	14.0 16	51.8 59	32.5 37	28.9 33	3.5 4	1.8 2
	受験せず、入学しない	849	53.8 457	9.1 77	44.8 380	45.0 382	27.7 235	17.3 147	1.2 10
	無回答	18,307	58.9 10,789	8.9 1,631	50.0 9,158	37.0 6,769	27.9 5,104	9.1 1,665	4.1 749
	【1】第一志望相当	315	88.3 278	27.6 87	60.6 191	10.5 33	9.8 31	0.6 2	1.3 4
	【2】第二志望相当	555	85.2 473	21.6 120	63.6 353	13.3 74	12.6 70	0.7 4	1.4 8
	【3】第三志望以降相当	1,109	79.7 884	15.5 172	64.2 712	19.5 216	18.0 200	1.4 16	0.8 9
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	86.3 751	23.8 207	62.5 544	12.3 107	11.6 101	0.7 6	1.4 12
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	82.6 1,635	19.2 379	63.5 1,256	16.3 323	15.2 301	1.1 22	1.1 21

4-1.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

1）Ⅰ．総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。

上段:% 下段:件数		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
全体		21,327	61.0 13,013	10.0 2,123	51.1 10,890	35.3 7,532	26.7 5,688	8.6 1,844	3.7 782
受験意向×入学意向別（経済学科／ターゲット層のみ）	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	89.9 160	27.0 48	62.9 112	8.4 15	7.9 14	0.6 1	1.7 3
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	83.0 44	28.3 15	54.7 29	17.0 9	15.1 8	1.9 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	80.0 16	5.0 1	75.0 15	20.0 4	20.0 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	86.7 13	40.0 6	46.7 7	13.3 2	13.3 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	86.4 185	24.3 52	62.1 133	12.1 26	11.2 24	0.9 2	1.4 3
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	80.6 411	16.5 84	64.1 327	18.4 94	16.9 86	1.6 8	1.0 5
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	76.9 10	38.5 5	38.5 5	23.1 3	15.4 2	7.7 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	75.0 3	50.0 2	25.0 1	25.0 1	0.0 0	25.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	100.0 6	16.7 1	83.3 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	67.6 23	14.7 5	52.9 18	29.4 10	29.4 10	0.0 0	2.9 1
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	66.7 66	14.1 14	52.5 52	32.3 32	19.2 19	13.1 13	1.0 1
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	70.4 1,601	11.3 256	59.2 1,345	25.3 575	20.9 475	4.4 100	4.3 97
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	89.9 160	27.0 48	62.9 112	8.4 15	7.9 14	0.6 1	1.7 3
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	85.8 242	25.9 73	59.9 169	13.1 37	12.1 34	1.1 3	1.1 3
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	80.6 427	16.0 85	64.5 342	18.5 98	17.0 90	1.5 8	0.9 5
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	87.4 402	26.3 121	61.1 281	11.3 52	10.4 48	0.9 4	1.3 6
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	83.7 829	20.8 206	62.9 623	15.2 150	13.9 138	1.2 12	1.1 11
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	71.9 1,415	10.7 211	61.1 1,204	27.6 544	22.5 443	5.1 101	0.5 10
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	68.1 175	16.0 41	52.1 134	30.7 79	21.8 56	8.9 23	1.2 3
受験意向別（政策情報学科）	第一志望として受験する	165	89.7 148	40.6 67	49.1 81	9.7 16	6.7 11	3.0 5	0.6 1
	第二志望として受験する	390	87.2 340	23.8 93	63.3 247	12.1 47	10.8 42	1.3 5	0.8 3
	第三志望以降として受験する	1,044	81.7 853	19.8 207	61.9 646	17.6 184	15.9 166	1.7 18	0.7 7
	受験しない	17,036	61.4 10,463	8.8 1,503	52.6 8,960	37.8 6,444	28.7 4,890	9.1 1,554	0.8 129
入学意向別（政策情報学科）	入学する	221	88.2 195	37.1 82	51.1 113	10.4 23	8.6 19	1.8 4	1.4 3
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	83.7 1,164	19.7 274	64.0 890	15.5 216	14.4 200	1.2 16	0.7 10
	入学しない	2,279	53.4 1,216	10.4 238	42.9 978	45.5 1,037	30.0 684	15.5 353	1.1 26
受験意向×入学意向別（政策情報学科）	第一志望として受験し、入学する	127	90.6 115	46.5 59	44.1 56	8.7 11	5.5 7	3.1 4	0.8 1
	第二志望として受験し、入学する	31	77.4 24	19.4 6	58.1 18	22.6 7	22.6 7	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	90.0 27	20.0 6	70.0 21	10.0 3	10.0 3	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	100.0 16	6.3 1	93.8 15	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	87.8 252	22.6 65	65.2 187	11.5 33	10.8 31	0.7 2	0.7 2
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	82.6 685	20.9 173	61.8 512	16.6 138	15.2 126	1.4 12	0.7 6
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	71.9 23	9.4 3	62.5 20	28.1 9	28.1 9	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	70.0 7	30.0 3	40.0 4	30.0 3	30.0 3	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	70.0 7	30.0 3	40.0 4	30.0 3	10.0 1	20.0 2	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	71.7 76	12.3 13	59.4 63	27.4 29	22.6 24	4.7 5	0.9 1
	受験せず、入学しない	802	57.2 459	11.7 94	45.5 365	41.8 335	27.2 218	14.6 117	1.0 8
	無回答	19,046	59.4 11,321	8.9 1,697	50.5 9,624	36.5 6,961	27.6 5,259	8.9 1,702	4.0 764
	【1】第一志望相当	127	90.6 115	46.5 59	44.1 56	8.7 11	5.5 7	3.1 4	0.8 1
	【2】第二志望相当	334	87.4 292	21.6 72	65.9 220	12.0 40	11.4 38	0.6 2	0.6 2
	【3】第三志望以降相当	859	82.9 712	20.8 179	62.0 533	16.4 141	15.0 129	1.4 12	0.7 6
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	88.3 407	28.4 131	59.9 276	11.1 51	9.8 45	1.3 6	0.7 3
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	84.8 1,119	23.5 310	61.3 809	14.5 192	13.2 174	1.4 18	0.7 9

4-1.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

1）Ⅰ. 総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます.

上段:% 下段:件数		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
全体		21,327	61.0 13,013	10.0 2,123	51.1 10,890	35.3 7,532	26.7 5,688	8.6 1,844	3.7 782
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	90.3 28	48.4 15	41.9 13	9.7 3	6.5 2	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	85.7 6	42.9 3	42.9 3	14.3 1	14.3 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	100.0 8	50.0 4	50.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	100.0 5	0.0 0	100.0 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	95.1 77	28.4 23	66.7 54	4.9 4	4.9 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	85.8 187	26.1 57	59.6 130	13.3 29	12.4 27	0.9 2	0.9 2
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	100.0 4	0.0 0	100.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	87.5 14	12.5 2	75.0 12	12.5 2	12.5 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	68.2 45	19.7 13	48.5 32	31.8 21	21.2 14	10.6 7	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	72.5 1,186	12.4 203	60.1 983	23.0 377	18.7 306	4.3 71	4.5 73
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	90.3 28	48.4 15	41.9 13	9.7 3	6.5 2	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	94.6 88	28.0 26	66.7 62	5.4 5	5.4 5	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	86.3 195	27.0 61	59.3 134	12.8 29	11.9 27	0.9 2	0.9 2
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	93.5 116	33.1 41	60.5 75	6.5 8	5.6 7	0.8 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	88.9 311	29.1 102	59.7 209	10.6 37	9.7 34	0.9 3	0.6 2
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	73.7 1,065	11.4 165	62.2 900	25.2 364	20.3 294	4.8 70	1.2 17
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	73.2 115	15.9 25	57.3 90	26.1 41	17.2 27	8.9 14	0.6 1

4-2.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

2）Ⅱ．経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています

		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
上段:% 下段:件数									
全体		21,327	61.4 13,098	12.7 2,703	48.7 10,395	35.2 7,498	26.4 5,625	8.8 1,873	3.4 731
調査対象別	留め置き調査	21,144	61.2 12,934	12.5 2,646	48.7 10,288	35.4 7,481	26.5 5,609	8.9 1,872	3.4 729
	OC参加者	183	89.6 164	31.1 57	58.5 107	9.3 17	8.7 16	0.5 1	1.1 2
性別	男性	9,706	62.1 6,028	14.0 1,355	48.1 4,673	33.8 3,279	24.7 2,401	9.0 878	4.1 399
	女性	11,123	61.2 6,808	11.6 1,294	49.6 5,514	35.9 3,994	27.7 3,082	8.2 912	2.9 321
	回答しない	381	49.6 189	11.0 42	38.6 147	48.0 183	28.9 110	19.2 73	2.4 9
高校所在地別	北海道	313	68.1 213	21.7 68	46.3 145	30.0 94	25.6 80	4.5 14	1.9 6
	青森県	292	71.2 208	21.2 62	50.0 146	27.7 81	22.9 67	4.8 14	1.0 3
	宮城県	528	62.3 329	17.4 92	44.9 237	35.0 185	24.4 129	10.6 56	2.7 14
	秋田県	341	72.1 246	18.8 64	53.4 182	24.6 84	20.2 69	4.4 15	3.2 11
	山形県	333	60.1 200	14.1 47	45.9 153	36.3 121	26.7 89	9.6 32	3.6 12
	福島県	782	64.5 504	12.4 97	52.0 407	29.9 234	21.5 168	8.4 66	5.6 44
	茨城県	2,420	60.7 1,470	13.1 316	47.7 1,154	35.7 865	27.4 663	8.3 202	3.5 85
	栃木県	404	73.0 295	22.5 91	50.5 204	22.0 89	18.6 75	3.5 14	5.0 20
	群馬県	154	59.1 91	9.7 15	49.4 76	35.7 55	21.4 33	14.3 22	5.2 8
	埼玉県	1,466	65.5 960	12.5 183	53.0 777	31.7 464	23.1 338	8.6 126	2.9 42
	千葉県	11,377	58.7 6,675	10.9 1,236	47.8 5,439	38.0 4,320	28.2 3,214	9.7 1,106	3.4 382
	東京都	1,322	59.1 781	13.2 174	45.9 607	34.8 460	25.4 336	9.4 124	6.1 81
	新潟県	706	73.4 518	20.7 146	52.7 372	25.2 178	20.8 147	4.4 31	1.4 10
	山梨県	124	66.1 82	12.1 15	54.0 67	33.9 42	24.2 30	9.7 12	0.0 0
	静岡県	753	68.3 514	12.5 94	55.8 420	30.0 226	24.8 187	5.2 39	1.7 13
	その他	4	100.0 4	25.0 1	75.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
高校種別	公立	16,679	61.5 10,254	13.0 2,168	48.5 8,086	35.0 5,835	26.4 4,398	8.6 1,437	3.5 590
	私立	4,638	61.1 2,834	11.5 532	49.6 2,302	35.9 1,663	26.5 1,227	9.4 436	3.0 141
在籍学科別	普通科	13,022	60.1 7,822	10.9 1,418	49.2 6,404	36.6 4,765	27.6 3,596	9.0 1,169	3.3 435
	商業科	5,470	67.9 3,716	17.6 965	50.3 2,751	28.6 1,563	22.4 1,226	6.2 337	3.5 191
	総合学科	631	50.7 320	10.5 66	40.3 254	45.0 284	32.6 206	12.4 78	4.3 27
	その他	1,770	55.8 988	11.0 195	44.8 793	40.8 722	27.4 485	13.4 237	3.4 60
所属クラス別	文系クラス（文系コース）	7,480	60.4 4,518	11.1 827	49.3 3,691	36.2 2,705	27.7 2,070	8.5 635	3.4 257
	理系クラス（理系コース）	2,867	58.6 1,680	10.3 295	48.3 1,385	38.4 1,100	27.7 793	10.7 307	3.0 87
	コース選択はない	7,281	63.1 4,594	14.1 1,030	48.9 3,564	33.6 2,450	25.4 1,850	8.2 600	3.3 237
	その他	3,277	61.9 2,029	15.1 496	46.8 1,533	34.1 1,117	25.0 818	9.1 299	4.0 131
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	64.5 8,566	13.6 1,802	51.0 6,764	32.4 4,297	25.3 3,353	7.1 944	3.1 412
	短期大学	1,408	63.5 894	12.9 182	50.6 712	34.4 484	27.5 387	6.9 97	2.1 30
	専門職大学	1,182	61.5 727	12.6 149	48.9 578	35.2 416	26.6 315	8.5 101	3.3 39
	専門職短期大学	244	58.6 143	12.3 30	46.3 113	37.3 91	27.9 68	9.4 23	4.1 10
	専門学校	6,604	55.9 3,692	10.1 665	45.8 3,027	40.8 2,694	30.3 1,998	10.5 696	3.3 218
	就職	3,821	62.4 2,383	14.4 550	48.0 1,833	33.5 1,279	24.4 932	9.1 347	4.2 159
	その他	442	47.5 210	7.0 31	40.5 179	47.5 210	29.6 131	17.9 79	5.0 22
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	65.1 7,004	13.4 1,447	51.6 5,557	31.8 3,424	25.0 2,694	6.8 730	3.1 338
	私立大学のみ志望あり	7,725	64.8 5,003	13.2 1,019	51.6 3,984	32.1 2,478	25.0 1,935	7.0 543	3.2 244
	国立大学志望あり	3,053	64.1 1,956	14.0 427	50.1 1,529	32.9 1,004	25.3 771	7.6 233	3.0 93
	国立大学のみ志望あり	717	62.1 445	16.2 116	45.9 329	36.0 258	25.5 183	10.5 75	2.0 14
	公立大学志望あり	4,054	65.0 2,637	13.9 565	51.1 2,072	31.9 1,295	25.2 1,021	6.8 274	3.0 122
	公立大学のみ志望あり	1,057	60.8 643	14.7 155	46.2 488	36.0 381	27.7 293	8.3 88	3.1 33

4-2.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

2）Ⅱ．経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています

上段:% 下段:件数		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
全体		21,327	61.4 13,098	12.7 2,703	48.7 10,395	35.2 7,498	26.4 5,625	8.8 1,873	3.4 731
興味のある学問分野別	商学・経済学（経営学含む）	5,252	80.8 4,244	24.4 1,284	56.4 2,960	16.3 855	13.5 709	2.8 146	2.9 153
	政策情報学	711	81.4 579	28.0 199	53.4 380	15.6 111	12.8 91	2.8 20	3.0 21
	法学・政治学	1,478	73.6 1,088	19.4 287	54.2 801	23.4 346	18.0 266	5.4 80	3.0 44
	社会学	1,437	75.0 1,078	16.9 243	58.1 835	21.9 315	17.8 256	4.1 59	3.1 44
	人文科学（文学、史学、哲学など）	2,456	65.2 1,602	11.8 290	53.4 1,312	31.1 763	25.6 629	5.5 134	3.7 91
	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	2,203	61.0 1,344	11.8 260	49.2 1,084	36.0 793	27.1 597	8.9 196	3.0 66
	農学（農学、林学、水産学など）	579	58.0 336	11.6 67	46.5 269	39.0 226	31.4 182	7.6 44	2.9 17
	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	3,460	59.9 2,074	11.0 380	49.0 1,694	37.4 1,295	29.0 1,002	8.5 293	2.6 91
	教育（教育学、体育学など）	2,982	59.4 1,771	11.6 347	47.8 1,424	37.3 1,113	29.2 870	8.1 243	3.3 98
	その他	6,007	53.4 3,205	8.7 525	44.6 2,680	43.3 2,602	31.4 1,884	12.0 718	3.3 200
	わからない	2,803	55.4 1,553	9.3 260	46.1 1,293	40.8 1,145	29.3 822	11.5 323	3.7 105
希望進路×設置者×興味分野別	商学・経済学（経営学含む）	5,252	80.8 4,244	24.4 1,284	56.4 2,960	16.3 855	13.5 709	2.8 146	2.9 153
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	74.5 2,168	18.8 547	55.7 1,621	22.4 653	18.1 528	4.3 125	3.1 91
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	3,421	81.9 2,801	24.5 838	57.4 1,963	15.1 518	12.5 429	2.6 89	3.0 102
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	664	80.9 537	26.7 177	54.2 360	16.3 108	13.9 92	2.4 16	2.9 19
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（経済学科）	7,345	57.2 4,203	8.3 609	48.9 3,594	39.6 2,906	30.8 2,265	8.7 641	3.2 236
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	2,075	73.7 1,529	18.3 380	55.4 1,149	23.0 477	18.5 383	4.5 94	3.3 69
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	327	77.1 252	19.3 63	57.8 189	19.0 62	16.5 54	2.4 8	4.0 13
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（政策情報学科）	8,691	63.0 5,475	12.3 1,067	50.7 4,408	33.9 2,947	26.6 2,311	7.3 636	3.1 269
「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度別	特色Ⅰ　魅力あり	13,013	89.6 11,656	19.7 2,564	69.9 9,092	10.3 1,343	9.8 1,270	0.6 73	0.1 14
	特色Ⅱ　魅力あり	13,098	100.0 13,098	20.6 2,703	79.4 10,395	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	特色Ⅲ　魅力あり	13,044	88.4 11,526	19.0 2,484	69.3 9,042	11.6 1,511	10.9 1,422	0.7 89	0.1 7
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	93.5 347	44.2 164	49.3 183	5.4 20	4.3 16	1.1 4	1.1 4
	第二志望として受験する	571	89.8 513	34.0 194	55.9 319	9.3 53	9.1 52	0.2 1	0.9 5
	第三志望以降として受験する	1,301	84.1 1,094	24.4 318	59.6 776	15.6 203	14.1 184	1.5 19	0.3 4
	受験しない	16,558	60.6 10,042	10.5 1,746	50.1 8,296	38.9 6,436	29.2 4,835	9.7 1,601	0.5 80
入学意向別【経済学科】	入学する	494	91.1 450	43.1 213	48.0 237	7.7 38	7.3 36	0.4 2	1.2 6
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	85.7 1,544	26.5 478	59.2 1,066	13.8 249	13.0 234	0.8 15	0.5 9
	入学しない	2,336	52.6 1,229	11.0 257	41.6 972	46.7 1,090	30.3 708	16.4 382	0.7 17
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	94.9 299	44.1 139	50.8 160	4.4 14	4.4 14	0.0 0	0.6 2
	第二志望として受験し、入学する	89	89.9 80	41.6 37	48.3 43	6.7 6	6.7 6	0.0 0	3.4 3
	第三志望以降として受験し、入学する	40	77.5 31	35.0 14	42.5 17	22.5 9	17.5 7	5.0 2	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	100.0 7	42.9 3	57.1 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	88.6 31	45.7 16	42.9 15	5.7 2	5.7 2	0.0 0	5.7 2
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	91.2 393	32.7 141	58.5 252	8.4 36	8.4 36	0.0 0	0.5 2
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	85.6 915	24.9 266	60.7 649	14.0 150	12.9 138	1.1 12	0.4 4
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	60.5 26	18.6 8	41.9 18	39.5 17	34.9 15	4.7 2	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	71.4 10	35.7 5	35.7 5	28.6 4	0.0 0	28.6 4	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	64.3 9	21.4 3	42.9 6	35.7 5	35.7 5	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	70.2 80	16.7 19	53.5 61	29.8 34	26.3 30	3.5 4	0.0 0
	受験せず、入学しない	849	53.8 457	10.6 90	43.2 367	45.6 387	28.2 239	17.4 148	0.6 5
	無回答	18,307	58.8 10,760	10.7 1,962	48.1 8,798	37.3 6,834	28.0 5,133	9.3 1,701	3.9 713
	【1】第一志望相当	315	94.9 299	44.1 139	50.8 160	4.4 14	4.4 14	0.0 0	0.6 2
	【2】第二志望相当	555	90.8 504	35.0 194	55.9 310	7.9 44	7.9 44	0.0 0	1.3 7
	【3】第三志望以降相当	1,109	85.3 946	25.2 280	60.1 666	14.3 159	13.1 145	1.3 14	0.4 4
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	92.3 803	38.3 333	54.0 470	6.7 58	6.7 58	0.0 0	1.0 9
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	88.4 1,749	31.0 613	57.4 1,136	11.0 217	10.3 203	0.7 14	0.7 13

4-2.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

2）Ⅱ．経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています

		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
上段:% 下段:件数									
全体		21,327	61.4 13,098	12.7 2,703	48.7 10,395	35.2 7,498	26.4 5,625	8.8 1,873	3.4 731
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	97.8 174	48.3 86	49.4 88	1.1 2	1.1 2	0.0 0	1.1 2
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	100.0 53	50.9 27	49.1 26	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	95.0 19	40.0 8	55.0 11	5.0 1	5.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	93.3 14	46.7 7	46.7 7	6.7 1	6.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	96.3 206	37.9 81	58.4 125	2.8 6	2.8 6	0.0 0	0.9 2
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	90.8 463	31.4 160	59.4 303	8.6 44	7.8 40	0.8 4	0.6 3
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	69.2 9	38.5 5	30.8 4	30.8 4	23.1 3	7.7 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	75.0 3	50.0 2	25.0 1	25.0 1	0.0 0	25.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	83.3 5	50.0 3	33.3 2	16.7 1	16.7 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	79.4 27	23.5 8	55.9 19	20.6 7	17.6 6	2.9 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	70.7 70	23.2 23	47.5 47	28.3 28	16.2 16	12.1 12	1.0 1
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	77.3 1,756	18.8 427	58.5 1,329	18.6 423	15.5 353	3.1 70	4.1 94
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	97.8 174	48.3 86	49.4 88	1.1 2	1.1 2	0.0 0	1.1 2
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	96.8 273	40.8 115	56.0 158	2.5 7	2.5 7	0.0 0	0.7 2
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	90.9 482	31.7 168	59.2 314	8.5 45	7.7 41	0.8 4	0.6 3
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	97.2 447	43.7 201	53.5 246	2.0 9	2.0 9	0.0 0	0.9 4
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	93.8 929	37.3 369	56.6 560	5.5 54	5.1 50	0.4 4	0.7 7
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	79.1 1,558	18.1 357	61.0 1,201	20.5 403	16.7 328	3.8 75	0.4 8
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	71.2 183	22.2 57	49.0 126	28.0 72	19.5 50	8.6 22	0.8 2
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	84.2 139	41.2 68	43.0 71	15.2 25	12.7 21	2.4 4	0.6 1
	第二志望として受験する	390	87.7 342	31.0 121	56.7 221	12.1 47	10.8 42	1.3 5	0.3 1
	第三志望以降として受験する	1,044	78.7 822	20.8 217	58.0 605	20.7 216	18.8 196	1.9 20	0.6 6
	受験しない	17,036	62.0 10,569	11.6 1,984	50.4 8,585	37.5 6,383	28.2 4,796	9.3 1,587	0.5 84
入学意向別【政策情報学科】	入学する	221	85.5 189	39.8 88	45.7 101	13.1 29	11.3 25	1.8 4	1.4 3
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	80.7 1,122	21.9 305	58.8 817	18.8 261	17.6 244	1.2 17	0.5 7
	入学しない	2,279	55.2 1,257	12.9 294	42.3 963	44.1 1,004	28.6 652	15.4 352	0.8 18
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	86.6 110	45.7 58	40.9 52	12.6 16	10.2 13	2.4 3	0.8 1
	第二志望として受験し、入学する	31	87.1 27	32.3 10	54.8 17	12.9 4	12.9 4	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	80.0 24	26.7 8	53.3 16	20.0 6	16.7 5	3.3 1	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	75.0 12	18.8 3	56.3 9	25.0 4	25.0 4	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	87.8 252	29.3 84	58.5 168	11.8 34	10.8 31	1.0 3	0.3 1
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	79.4 658	20.1 167	59.2 491	20.0 166	18.5 153	1.6 13	0.6 5
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	65.6 21	18.8 6	46.9 15	34.4 11	34.4 11	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	60.0 6	20.0 2	40.0 4	40.0 4	40.0 4	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	80.0 8	40.0 4	40.0 4	20.0 2	0.0 0	20.0 2	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	73.6 78	23.6 25	50.0 53	25.5 27	21.7 23	3.8 4	0.9 1
	受験せず、入学しない	802	60.0 481	13.8 111	46.1 370	39.4 316	24.7 198	14.7 118	0.6 5
	無回答	19,046	60.0 11,420	11.7 2,225	48.3 9,195	36.3 6,908	27.2 5,179	9.1 1,729	3.8 718
	【1】第一志望相当	127	86.6 110	45.7 58	40.9 52	12.6 16	10.2 13	2.4 3	0.8 1
	【2】第二志望相当	334	87.1 291	29.0 97	58.1 194	12.6 42	11.7 39	0.9 3	0.3 1
	【3】第三志望以降相当	859	79.4 682	20.4 175	59.0 507	20.0 172	18.4 158	1.6 14	0.6 5
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	87.0 401	33.6 155	53.4 246	12.6 58	11.3 52	1.3 6	0.4 2
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	82.0 1,083	25.0 330	57.0 753	17.4 230	15.9 210	1.5 20	0.5 7

4-2.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

2）Ⅱ．経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています

		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
上段:% 下段:件数									
全体		21,327	61.4 13,098	12.7 2,703	48.7 10,395	35.2 7,498	26.4 5,625	8.8 1,873	3.4 731
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	83.9 26	32.3 10	51.6 16	16.1 5	12.9 4	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	85.7 6	28.6 2	57.1 4	14.3 1	14.3 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	75.0 6	37.5 3	37.5 3	25.0 2	12.5 1	12.5 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	80.0 4	20.0 1	60.0 3	20.0 1	20.0 1	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	86.4 70	24.7 20	61.7 50	13.6 11	12.3 10	1.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	80.7 176	22.0 48	58.7 128	18.3 40	15.6 34	2.8 6	0.9 2
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	100.0 4	75.0 3	25.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	87.5 14	37.5 6	50.0 8	12.5 2	12.5 2	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	72.7 48	19.7 13	53.0 35	27.3 18	16.7 11	10.6 7	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	71.7 1,173	16.7 273	55.0 900	24.2 396	19.5 319	4.7 77	4.1 67
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	83.9 26	32.3 10	51.6 16	16.1 5	12.9 4	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	86.0 80	24.7 23	61.3 57	14.0 13	12.9 12	1.1 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	80.5 182	22.6 51	58.0 131	18.6 42	15.5 35	3.1 7	0.9 2
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	85.5 106	26.6 33	58.9 73	14.5 18	12.9 16	1.6 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	82.3 288	24.0 84	58.3 204	17.1 60	14.6 51	2.6 9	0.6 2
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	73.4 1,061	16.0 231	57.4 830	25.9 374	20.7 299	5.2 75	0.8 11
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	71.3 112	21.7 34	49.7 78	28.0 44	19.1 30	8.9 14	0.6 1

4-3.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

（3）Ⅲ. 政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。

上段:% 下段:件数		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
全体		21,327	61.2 13,044	12.3 2,631	48.8 10,413	35.4 7,544	26.5 5,651	8.9 1,893	3.5 739
調査対象別	留め置き調査	21,144	60.9 12,881	12.2 2,577	48.7 10,304	35.6 7,527	26.7 5,635	8.9 1,892	3.5 736
	OC参加者	183	89.1 163	29.5 54	59.6 109	9.3 17	8.7 16	0.5 1	1.6 3
性別	男性	9,706	57.9 5,616	11.3 1,096	46.6 4,520	37.9 3,682	27.9 2,712	10.0 970	4.2 408
	女性	11,123	64.3 7,155	13.2 1,472	51.1 5,683	32.8 3,648	25.3 2,810	7.5 838	2.9 320
	回答しない	381	52.8 201	13.1 50	39.6 151	44.9 171	24.4 93	20.5 78	2.4 9
高校所在地別	北海道	313	72.5 227	21.4 67	51.1 160	25.6 80	20.1 63	5.4 17	1.9 6
	青森県	292	71.6 209	21.6 63	50.0 146	27.4 80	23.6 69	3.8 11	1.0 3
	宮城県	528	60.2 318	15.3 81	44.9 237	37.1 196	26.3 139	10.8 57	2.7 14
	秋田県	341	73.3 250	18.8 64	54.5 186	23.2 79	19.4 66	3.8 13	3.5 12
	山形県	333	64.6 215	14.7 49	49.8 166	31.8 106	21.6 72	10.2 34	3.6 12
	福島県	782	63.3 495	13.9 109	49.4 386	31.1 243	22.5 176	8.6 67	5.6 44
	茨城県	2,420	60.9 1,473	12.3 297	48.6 1,176	35.5 860	27.0 653	8.6 207	3.6 87
	栃木県	404	71.3 288	21.0 85	50.2 203	23.8 96	19.6 79	4.2 17	5.0 20
	群馬県	154	55.8 86	10.4 16	45.5 70	39.0 60	25.3 39	13.6 21	5.2 8
	埼玉県	1,466	65.1 954	12.2 179	52.9 775	32.0 469	23.1 338	8.9 131	2.9 43
	千葉県	11,377	58.5 6,659	10.8 1,228	47.7 5,431	38.1 4,330	28.4 3,229	9.7 1,101	3.4 388
	東京都	1,322	57.4 759	11.3 149	46.1 610	36.7 485	26.6 351	10.1 134	5.9 78
	新潟県	706	72.5 512	20.1 142	52.4 370	26.1 184	21.1 149	5.0 35	1.4 10
	山梨県	124	60.5 75	8.9 11	51.6 64	39.5 49	29.8 37	9.7 12	0.0 0
	静岡県	753	68.1 513	11.6 87	56.6 426	30.0 226	25.2 190	4.8 36	1.9 14
	その他	4	100.0 4	50.0 2	50.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
高校種別	公立	16,679	61.5 10,252	12.7 2,126	48.7 8,126	35.0 5,831	26.2 4,378	8.7 1,453	3.6 596
	私立	4,638	60.0 2,783	10.8 502	49.2 2,281	36.9 1,712	27.4 1,272	9.5 440	3.1 143
在籍学科別	普通科	13,022	60.2 7,833	10.9 1,416	49.3 6,417	36.5 4,751	27.5 3,579	9.0 1,172	3.4 438
	商業科	5,470	67.2 3,674	17.0 929	50.2 2,745	29.3 1,603	22.9 1,253	6.4 350	3.5 193
	総合学科	631	51.5 325	9.0 57	42.5 268	44.2 279	31.2 197	13.0 82	4.3 27
	その他	1,770	54.4 963	10.0 177	44.4 786	42.0 743	28.6 507	13.3 236	3.6 64
所属クラス別	文系クラス（文系コース）	7,480	61.1 4,572	11.4 851	49.7 3,721	35.4 2,649	27.1 2,027	8.3 622	3.5 259
	理系クラス（理系コース）	2,867	56.2 1,611	8.8 253	47.4 1,358	40.7 1,168	28.9 829	11.8 339	3.1 88
	コース選択はない	7,281	62.6 4,561	13.4 973	49.3 3,588	34.1 2,484	25.8 1,879	8.3 605	3.2 236
	その他	3,277	62.0 2,032	15.1 494	46.9 1,538	33.8 1,108	24.9 815	8.9 293	4.2 137
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	62.6 8,313	12.5 1,655	50.2 6,658	34.2 4,544	26.8 3,562	7.4 982	3.1 418
	短期大学	1,408	65.9 928	13.5 190	52.4 738	31.9 449	25.1 353	6.8 96	2.2 31
	専門職大学	1,182	61.2 723	12.7 150	48.5 573	35.4 419	27.7 327	7.8 92	3.4 40
	専門職短期大学	244	61.1 149	12.3 30	48.8 119	34.4 84	25.0 61	9.4 23	4.5 11
	専門学校	6,604	58.4 3,860	11.1 734	47.3 3,126	38.2 2,522	28.0 1,850	10.2 672	3.4 222
	就職	3,821	63.2 2,416	14.9 568	48.4 1,848	32.6 1,245	23.1 882	9.5 363	4.2 160
	その他	442	49.3 218	7.5 33	41.9 185	45.7 202	28.3 125	17.4 77	5.0 22
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	63.3 6,810	12.5 1,348	50.7 5,462	33.6 3,613	26.5 2,855	7.0 758	3.2 343
	私立大学のみ志望あり	7,725	63.4 4,896	12.5 965	50.9 3,931	33.4 2,582	26.1 2,018	7.3 564	3.2 247
	国立大学志望あり	3,053	60.7 1,853	12.4 378	48.3 1,475	36.2 1,106	27.7 845	8.5 261	3.1 94
	国立大学のみ志望あり	717	59.4 426	14.4 103	45.0 323	38.5 276	27.2 195	11.3 81	2.1 15
	公立大学志望あり	4,054	62.6 2,537	12.0 488	50.5 2,049	34.4 1,393	27.3 1,108	7.0 285	3.1 124
	公立大学のみ志望あり	1,057	59.9 633	12.0 127	47.9 506	37.0 391	28.9 305	8.1 86	3.1 33

4-3.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

（3）Ⅲ. 政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。

		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
上段:% 下段:件数									
全体		21,327	61.2 13,044	12.3 2,631	48.8 10,413	35.4 7,544	26.5 5,651	8.9 1,893	3.5 739
興味のある学問分野別	商学・経済学（経営学含む）	5,252	72.2 3,790	17.8 936	54.3 2,854	24.8 1,303	20.8 1,092	4.0 211	3.0 159
	政策情報学	711	83.3 592	28.8 205	54.4 387	13.9 99	11.3 80	2.7 19	2.8 20
	法学・政治学	1,478	69.6 1,028	17.6 260	52.0 768	27.4 405	21.2 314	6.2 91	3.0 45
	社会学	1,437	77.1 1,108	20.3 291	56.9 817	19.6 282	15.4 221	4.2 61	3.3 47
	人文科学（文学、史学、哲学など）	2,456	67.6 1,661	14.7 361	52.9 1,300	28.6 702	22.6 554	6.0 148	3.8 93
	理学・工学（数学、化学、機械工学など）	2,203	55.0 1,212	9.5 210	45.5 1,002	42.0 925	31.3 689	10.7 236	3.0 66
	農学（農学、林学、水産学など）	579	60.8 352	11.4 66	49.4 286	36.3 210	29.4 170	6.9 40	2.9 17
	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	3,460	62.2 2,153	11.9 412	50.3 1,741	35.1 1,215	27.3 944	7.8 271	2.7 92
	教育（教育学、体育学など）	2,982	61.2 1,825	12.4 370	48.8 1,455	35.5 1,058	27.6 824	7.8 234	3.3 99
	その他	6,007	56.4 3,388	10.2 612	46.2 2,776	40.3 2,421	28.9 1,737	11.4 684	3.3 198
	わからない	2,803	55.9 1,567	9.8 275	46.1 1,292	40.3 1,130	28.6 803	11.7 327	3.8 106
	商学・経済学（経営学含む）	5,252	72.2 3,790	17.8 936	54.3 2,854	24.8 1,303	20.8 1,092	4.0 211	3.0 159
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	74.0 2,156	20.0 583	54.0 1,573	22.7 662	17.9 522	4.8 140	3.2 94
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	3,421	71.3 2,438	17.3 591	54.0 1,847	25.6 877	21.7 744	3.9 133	3.1 106
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（経済学科）	664	71.1 472	16.6 110	54.5 362	25.9 172	21.5 143	4.4 29	3.0 20
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（経済学科）	7,345	59.5 4,372	10.3 757	49.2 3,615	37.2 2,736	28.7 2,111	8.5 625	3.2 237
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	2,075	73.5 1,525	19.4 402	54.1 1,123	23.0 477	18.2 378	4.8 99	3.5 73
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり（政策情報学科）	327	72.8 238	19.3 63	53.5 175	23.5 77	18.7 61	4.9 16	3.7 12
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし（政策情報学科）	8,691	60.8 5,285	10.9 946	49.9 4,339	36.1 3,136	28.5 2,477	7.6 659	3.1 270
「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度別	特色Ⅰ　魅力あり	13,013	89.9 11,699	19.5 2,532	70.4 9,167	10.0 1,295	9.1 1,184	0.9 111	0.1 19
	特色Ⅱ　魅力あり	13,098	88.0 11,526	18.9 2,475	69.1 9,051	11.9 1,556	11.0 1,441	0.9 115	0.1 16
	特色Ⅲ　魅力あり	13,044	100.0 13,044	20.2 2,631	79.8 10,413	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	84.6 314	29.1 108	55.5 206	14.0 52	12.4 46	1.6 6	1.3 5
	第二志望として受験する	571	83.5 477	24.5 140	59.0 337	15.2 87	13.7 78	1.6 9	1.2 7
	第三志望以降として受験する	1,301	74.0 963	17.4 226	56.6 737	25.5 332	22.6 294	2.9 38	0.5 6
	受験しない	16,558	61.5 10,189	11.4 1,886	50.1 8,303	38.0 6,286	28.4 4,708	9.5 1,578	0.5 83
入学意向別【経済学科】	入学する	494	82.4 407	27.1 134	55.3 273	16.4 81	15.6 77	0.8 4	1.2 6
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	77.1 1,389	19.6 353	57.5 1,036	22.1 399	20.0 361	2.1 38	0.8 14
	入学しない	2,336	52.6 1,229	11.4 266	41.2 963	46.5 1,087	29.3 685	17.2 402	0.9 20
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	86.0 271	28.3 89	57.8 182	13.3 42	12.7 40	0.6 2	0.6 2
	第二志望として受験し、入学する	89	83.1 74	25.8 23	57.3 51	13.5 12	13.5 12	0.0 0	3.4 3
	第三志望以降として受験し、入学する	40	70.0 28	17.5 7	52.5 21	30.0 12	27.5 11	2.5 1	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	100.0 7	57.1 4	42.9 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	80.0 28	34.3 12	45.7 16	14.3 5	14.3 5	0.0 0	5.7 2
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	84.0 362	23.7 102	60.3 260	15.1 65	13.7 59	1.4 6	0.9 4
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	74.5 796	17.7 189	56.8 607	25.0 267	22.5 240	2.5 27	0.6 6
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	67.4 29	25.6 11	41.9 18	32.6 14	25.6 11	7.0 3	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	71.4 10	35.7 5	35.7 5	28.6 4	0.0 0	28.6 4	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	71.4 10	21.4 3	50.0 7	28.6 4	14.3 2	14.3 2	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	67.5 77	14.9 17	52.6 60	32.5 37	25.4 29	7.0 8	0.0 0
	受験せず、入学しない	849	53.4 453	10.5 89	42.9 364	46.1 391	27.9 237	18.1 154	0.6 5
	無回答	18,307	59.5 10,899	11.4 2,080	48.2 8,819	36.5 6,691	27.3 5,005	9.2 1,686	3.9 717
	【1】第一志望相当	315	86.0 271	28.3 89	57.8 182	13.3 42	12.7 40	0.6 2	0.6 2
	【2】第二志望相当	555	83.6 464	24.7 137	58.9 327	14.8 82	13.7 76	1.1 6	1.6 9
	【3】第三志望以降相当	1,109	74.3 824	17.7 196	56.6 628	25.2 279	22.6 251	2.5 28	0.5 6
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	84.5 735	26.0 226	58.5 509	14.3 124	13.3 116	0.9 8	1.3 11
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	78.8 1,559	21.3 422	57.5 1,137	20.4 403	18.5 367	1.8 36	0.9 17

4-3.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

（3）Ⅲ. 政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。

		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
上段:% 下段:件数									
全体		21,327	61.2 13,044	12.3 2,631	48.8 10,413	35.4 7,544	26.5 5,651	8.9 1,893	3.5 739
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	85.4 152	29.8 53	55.6 99	13.5 24	12.9 23	0.6 1	1.1 2
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	86.8 46	32.1 17	54.7 29	13.2 7	13.2 7	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	75.0 15	5.0 1	70.0 14	25.0 5	25.0 5	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	80.0 12	40.0 6	40.0 6	20.0 3	20.0 3	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	83.6 179	22.9 49	60.7 130	15.0 32	14.0 30	0.9 2	1.4 3
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	75.1 383	18.2 93	56.9 290	24.1 123	21.8 111	2.4 12	0.8 4
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	76.9 10	46.2 6	30.8 4	23.1 3	7.7 1	15.4 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	75.0 3	50.0 2	25.0 1	25.0 1	0.0 0	25.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	83.3 5	16.7 1	66.7 4	16.7 1	0.0 0	16.7 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	64.7 22	14.7 5	50.0 17	35.3 12	29.4 10	5.9 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	57.6 57	14.1 14	43.4 43	40.4 40	26.3 26	14.1 14	2.0 2
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	68.3 1,552	15.1 343	53.2 1,209	27.5 626	23.2 528	4.3 98	4.2 95
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	85.4 152	29.8 53	55.6 99	13.5 24	12.9 23	0.6 1	1.1 2
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	84.0 237	25.5 72	58.5 165	14.9 42	14.2 40	0.7 2	1.1 3
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	75.1 398	17.7 94	57.4 304	24.2 128	21.9 116	2.3 12	0.8 4
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	84.6 389	27.2 125	57.4 264	14.3 66	13.7 63	0.7 3	1.1 5
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	79.5 787	22.1 219	57.4 568	19.6 194	18.1 179	1.5 15	0.9 9
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	68.9 1,356	14.9 294	53.9 1,062	30.7 604	25.5 503	5.1 101	0.5 9
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	65.4 168	16.7 43	48.6 125	33.5 86	22.6 58	10.9 28	1.2 3
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	90.9 150	54.5 90	36.4 60	8.5 14	6.1 10	2.4 4	0.6 1
	第二志望として受験する	390	89.0 347	34.6 135	54.4 212	10.8 42	9.7 38	1.0 4	0.3 1
	第三志望以降として受験する	1,044	84.7 884	25.5 266	59.2 618	14.8 154	12.9 135	1.8 19	0.6 6
	受験しない	17,036	61.4 10,461	10.9 1,854	50.5 8,607	38.1 6,483	28.7 4,890	9.4 1,593	0.5 92
入学意向別【政策情報学科】	入学する	221	91.0 201	52.5 116	38.5 85	8.1 18	6.3 14	1.8 4	0.9 2
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	85.3 1,185	25.5 355	59.7 830	14.2 198	13.2 184	1.0 14	0.5 7
	入学しない	2,279	53.8 1,227	12.3 280	41.6 947	45.2 1,030	29.0 662	16.1 368	1.0 22
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	91.3 116	59.8 76	31.5 40	7.9 10	5.5 7	2.4 3	0.8 1
	第二志望として受験し、入学する	31	87.1 27	45.2 14	41.9 13	12.9 4	12.9 4	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	90.0 27	33.3 10	56.7 17	10.0 3	6.7 2	3.3 1	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	93.8 15	25.0 4	68.8 11	6.3 1	6.3 1	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	90.6 260	34.1 98	56.4 162	9.1 26	8.7 25	0.3 1	0.3 1
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	85.9 712	26.1 216	59.8 496	13.5 112	12.3 102	1.2 10	0.6 5
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	59.4 19	12.5 4	46.9 15	40.6 13	40.6 13	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	80.0 8	40.0 4	40.0 4	20.0 2	20.0 2	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	70.0 7	30.0 3	40.0 4	30.0 3	20.0 2	10.0 1	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	71.7 76	20.8 22	50.9 54	27.4 29	20.8 22	6.6 7	0.9 1
	受験せず、入学しない	802	57.7 463	12.6 101	45.1 362	41.6 334	26.3 211	15.3 123	0.6 5
	無回答	19,046	59.4 11,313	10.9 2,079	48.5 9,234	36.8 7,007	27.6 5,260	9.2 1,747	3.8 726
	【1】第一志望相当	127	91.3 116	59.8 76	31.5 40	7.9 10	5.5 7	2.4 3	0.8 1
	【2】第二志望相当	334	90.4 302	34.7 116	55.7 186	9.3 31	9.0 30	0.3 1	0.3 1
	【3】第三志望以降相当	859	86.0 739	26.3 226	59.7 513	13.4 115	12.1 104	1.3 11	0.6 5
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	90.7 418	41.6 192	49.0 226	8.9 41	8.0 37	0.9 4	0.4 2
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	87.7 1,157	31.7 418	56.0 739	11.8 156	10.7 141	1.1 15	0.5 7

4-3.「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度（Q4）

（3）Ⅲ. 政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。

上段:% 下段:件数		標本数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答
全体		21,327	61.2 13,044	12.3 2,631	48.8 10,413	35.4 7,544	26.5 5,651	8.9 1,893	3.5 739
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	93.5 29	67.7 21	25.8 8	6.5 2	3.2 1	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	100.0 7	57.1 4	42.9 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	87.5 7	62.5 5	25.0 2	12.5 1	0.0 0	12.5 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	100.0 5	40.0 2	60.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	96.3 78	37.0 30	59.3 48	3.7 3	3.7 3	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	89.0 194	34.4 75	54.6 119	10.1 22	9.2 20	0.9 2	0.9 2
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	100.0 4	50.0 2	50.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0	50.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	87.5 14	43.8 7	43.8 7	12.5 2	6.3 1	6.3 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	69.7 46	19.7 13	50.0 33	28.8 19	18.2 12	10.6 7	1.5 1
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	69.6 1,139	14.8 242	54.8 897	26.1 427	20.8 341	5.3 86	4.3 70
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	93.5 29	67.7 21	25.8 8	6.5 2	3.2 1	3.2 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	96.8 90	38.7 36	58.1 54	3.2 3	3.2 3	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	88.9 201	35.4 80	53.5 121	10.2 23	8.8 20	1.3 3	0.9 2
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	96.0 119	46.0 57	50.0 62	4.0 5	3.2 4	0.8 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	91.4 320	39.1 137	52.3 183	8.0 28	6.9 24	1.1 4	0.6 2
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	71.0 1,026	14.0 202	57.0 824	28.0 405	22.3 322	5.7 83	1.0 15
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	69.4 109	20.4 32	49.0 77	29.3 46	19.1 30	10.2 16	1.3 2

5-1.「経済学科」「政策情報学科」への受験意向(Q5)

(1)総合政策学部 経済学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	1.7 371	2.7 571	6.1 1,301	77.6 16,558	11.8 2,526
調査対象別	留め置き調査	21,144	1.6 341	2.5 536	6.0 1,272	78.0 16,490	11.8 2,505
	OC参加者	183	16.4 30	19.1 35	15.8 29	37.2 68	11.5 21
性別	男性	9,706	2.5 244	3.6 354	8.5 828	71.2 6,915	14.1 1,365
	女性	11,123	1.0 113	1.8 204	4.0 443	83.4 9,276	9.8 1,087
	回答しない	381	3.7 14	1.8 7	5.2 20	75.6 288	13.6 52
高校所在地別	北海道	313	1.6 5	3.5 11	3.5 11	83.7 262	7.7 24
	青森県	292	1.7 5	3.4 10	5.8 17	82.2 240	6.8 20
	宮城県	528	2.7 14	4.2 22	7.4 39	74.2 392	11.6 61
	秋田県	341	3.2 11	3.5 12	5.0 17	78.3 267	10.0 34
	山形県	333	0.9 3	4.2 14	4.5 15	76.6 255	13.8 46
	福島県	782	1.3 10	1.4 11	4.0 31	83.6 654	9.7 76
	茨城県	2,420	1.3 31	2.6 62	6.6 160	78.3 1,894	11.3 273
	栃木県	404	1.7 7	4.0 16	7.9 32	77.5 313	8.9 36
	群馬県	154	0.0 0	0.6 1	6.5 10	82.5 127	10.4 16
	埼玉県	1,466	1.3 19	2.7 39	7.4 108	79.1 1,159	9.6 141
	千葉県	11,377	1.8 203	2.6 296	6.1 694	76.9 8,744	12.7 1,440
	東京都	1,322	3.6 47	3.3 43	6.1 81	70.6 933	16.5 218
	新潟県	706	1.1 8	3.3 23	6.1 43	83.0 586	6.5 46
	山梨県	124	2.4 3	3.2 4	8.9 11	75.8 94	9.7 12
	静岡県	753	0.5 4	0.9 7	3.7 28	84.5 636	10.4 78
	その他	4	0.0 0	0.0 0	25.0 1	25.0 1	50.0 2
高校種別	公立	16,679	1.7 286	2.6 434	6.0 1,008	78.4 13,077	11.2 1,874
	私立	4,638	1.8 84	2.9 136	6.3 290	75.0 3,479	14.0 649
在籍学科別	普通科	13,022	1.5 199	2.4 308	5.9 771	78.5 10,227	11.6 1,517
	商業科	5,470	2.3 128	3.6 199	6.9 378	75.6 4,133	11.6 632
	総合学科	631	1.7 11	0.6 4	5.5 35	75.3 475	16.8 106
	その他	1,770	1.4 25	2.4 42	5.0 89	80.0 1,416	11.2 198
所属クラス別	文系クラス(文系コース)	7,480	1.6 121	2.8 213	6.4 479	76.5 5,724	12.6 943
	理系クラス(理系コース)	2,867	1.2 34	1.2 34	5.1 147	82.5 2,365	10.0 287
	コース選択はない	7,281	1.7 125	2.6 186	6.2 455	79.2 5,767	10.3 748
	その他	3,277	2.5 83	3.6 118	6.1 201	72.9 2,390	14.8 485
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	2.3 310	3.5 467	8.7 1,160	74.7 9,910	10.8 1,428
	短期大学	1,408	2.0 28	3.7 52	7.0 98	76.3 1,074	11.1 156
	専門職大学	1,182	2.1 25	3.3 39	8.4 99	71.6 846	14.6 173
	専門職短期大学	244	2.9 7	3.3 8	8.2 20	70.9 173	14.8 36
	専門学校	6,604	0.8 56	1.8 119	4.1 268	81.1 5,358	12.2 803
	就職	3,821	1.5 56	2.4 90	3.4 130	79.9 3,053	12.9 492
	その他	442	3.2 14	1.8 8	2.5 11	73.5 325	19.0 84
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	2.3 252	3.5 375	8.8 952	74.8 8,051	10.6 1,136
	私立大学のみ志望あり	7,725	2.4 185	3.3 256	7.9 613	75.6 5,837	10.8 834
	国立大学志望あり	3,053	1.5 47	3.0 92	10.2 310	75.3 2,300	10.0 304
	国立大学のみ志望あり	717	1.3 9	2.0 14	7.1 51	78.7 564	11.0 79
	公立大学志望あり	4,054	2.6 107	4.3 174	10.5 427	71.8 2,912	10.7 434
	公立大学のみ志望あり	1,057	4.0 42	4.4 47	7.3 77	70.6 746	13.7 145

5-1.「経済学科」「政策情報学科」への受験意向(Q5)

(1)総合政策学部 経済学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	1.7 371	2.7 571	6.1 1,301	77.6 16,558	11.8 2,526
興味のある学問分野別	商学・経済学(経営学含む)	5,252	5.1 267	7.5 396	14.9 780	62.2 3,267	10.3 542
	政策情報学	711	5.6 40	7.7 55	14.3 102	60.6 431	11.7 83
	法学・政治学	1,478	3.0 45	5.3 78	12.1 179	69.8 1,031	9.8 145
	社会学	1,437	2.6 38	4.6 66	12.0 172	70.8 1,018	10.0 143
	人文科学(文学、史学、哲学など)	2,456	0.9 22	2.8 69	7.5 183	79.8 1,960	9.0 222
	理学・工学(数学、化学、機械工学など)	2,203	1.1 25	1.6 36	6.6 145	80.8 1,781	9.8 216
	農学(農学、林学、水産学など)	579	0.5 3	2.8 16	7.1 41	80.1 464	9.5 55
	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	3,460	0.7 25	1.4 48	3.9 135	84.1 2,910	9.9 342
	教育(教育学、体育学など)	2,982	1.4 41	2.1 62	5.3 159	80.6 2,403	10.6 317
	その他	6,007	0.6 38	1.1 68	3.7 225	82.8 4,975	11.7 701
	わからない	2,803	1.5 42	2.0 55	4.3 121	74.7 2,094	17.5 491
	商学・経済学(経営学含む)	5,252	5.1 267	7.5 396	14.9 780	62.2 3,267	10.3 542
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	3.0 86	5.2 152	11.8 344	69.8 2,032	10.2 298
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	3,421	5.8 200	8.4 287	17.7 605	57.6 1,969	10.5 360
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	664	6.3 42	8.4 56	17.2 114	57.8 384	10.2 68
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(経済学科)	7,345	0.7 52	1.2 88	4.7 347	82.8 6,082	10.6 776
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	2,075	3.1 65	5.3 110	13.3 276	68.2 1,415	10.1 209
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	327	3.7 12	6.7 22	13.1 43	64.2 210	12.2 40
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(政策情報学科)	8,691	2.2 187	3.0 265	7.8 676	76.4 6,636	10.7 927
「経済学科」「政策情報学科」に対する特色別魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	13,013	2.5 321	3.7 485	7.9 1,022	77.6 10,095	8.4 1,090
	特色Ⅱ 魅力あり	13,098	2.6 347	3.9 513	8.4 1,094	76.7 10,042	8.4 1,102
	特色Ⅲ 魅力あり	13,044	2.4 314	3.7 477	7.4 963	78.1 10,189	8.4 1,101
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	100.0 371	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験する	571	0.0 0	100.0 571	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験する	1,301	0.0 0	0.0 0	100.0 1,301	0.0 0	0.0 0
	受験しない	16,558	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 16,558	0.0 0
入学意向別【経済学科】	入学する	494	63.8 315	18.0 89	8.1 40	1.4 7	8.7 43
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	1.9 35	23.9 431	59.3 1,069	2.4 43	12.4 224
	入学しない	2,336	0.6 14	0.6 14	4.9 114	36.3 849	57.6 1,345
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	100.0 315	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	89	0.0 0	100.0 89	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	40	0.0 0	0.0 0	100.0 40	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 7	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	100.0 35	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	0.0 0	100.0 431	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	0.0 0	0.0 0	100.0 1,069	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 43	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	100.0 14	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	0.0 0	100.0 14	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	0.0 0	0.0 0	100.0 114	0.0 0	0.0 0
	受験せず、入学しない	849	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 849	0.0 0
	無回答	18,307	0.0 7	0.2 37	0.4 78	85.5 15,659	13.8 2,526
	【1】第一志望相当	315	100.0 315	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【2】第二志望相当	555	6.3 35	93.7 520	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	1,109	0.0 0	0.0 0	100.0 1,109	0.0 0	0.0 0
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	40.2 350	59.8 520	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	17.7 350	26.3 520	56.0 1,109	0.0 0	0.0 0

5-1.「経済学科」「政策情報学科」への受験意向(Q5)

(1)総合政策学部 経済学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	1.7 371	2.7 571	6.1 1,301	77.6 16,558	11.8 2,526
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	100.0 178	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	0.0 0	100.0 53	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	0.0 0	0.0 0	100.0 20	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	100.0 15	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	0.0 0	100.0 214	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	0.0 0	0.0 0	100.0 510	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 13	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	100.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	0.0 0	100.0 6	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	0.0 0	0.0 0	100.0 34	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 99	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	0.1 3	0.6 14	1.8 41	81.6 1,855	15.8 360
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	100.0 178	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	5.3 15	94.7 267	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	0.0 0	0.0 0	100.0 530	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	42.0 193	58.0 267	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	19.5 193	27.0 267	53.5 530	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1,969	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	1.6 4	2.3 6	13.2 34	38.5 99	44.4 114
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	0.0 0	38.8 64	4.8 8	17.0 28	39.4 65
	第二志望として受験する	390	39.5 154	0.0 0	18.5 72	17.7 69	24.4 95
	第三志望以降として受験する	1,044	3.6 38	17.0 178	52.9 552	25.7 268	0.8 8
	受験しない	17,036	0.5 87	1.2 202	3.5 601	94.5 16,098	0.3 48
入学意向別【政策情報学科】	入学する	221	0.0 0	22.6 50	12.7 28	18.6 41	46.2 102
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	9.7 135	16.0 222	35.3 490	22.8 317	16.3 226
	入学しない	2,279	1.5 34	1.8 40	5.7 129	32.5 741	58.6 1,335
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	0.0 0	39.4 50	4.7 6	13.4 17	42.5 54
	第二志望として受験し、入学する	31	0.0 0	0.0 0	19.4 6	32.3 10	48.4 15
	第三志望以降として受験し、入学する	30	0.0 0	0.0 0	53.3 16	43.3 13	3.3 1
	受験しないが、入学する	1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	0.0 0	37.5 6	6.3 1	43.8 7	12.5 2
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	35.9 103	0.0 0	20.9 60	18.5 53	24.7 71
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	3.1 26	16.9 140	51.0 423	28.1 233	0.8 7
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	3.1 1	6.3 2	18.8 6	71.9 23	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	0.0 0	30.0 3	10.0 1	20.0 2	40.0 4
	第二志望として受験するが、入学しない	10	40.0 4	0.0 0	20.0 2	20.0 2	20.0 2
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	5.7 6	17.0 18	66.0 70	11.3 12	0.0 0
	受験せず、入学しない	802	1.6 13	2.0 16	6.6 53	89.0 714	0.7 6
	無回答	19,046	1.1 218	1.8 336	3.4 657	81.2 15,471	12.4 2,364
	【1】第一志望相当	127	0.0 0	39.4 50	4.7 6	13.4 17	42.5 54
	【2】第二志望相当	334	30.8 103	1.8 6	20.1 67	21.0 70	26.3 88
	【3】第三志望以降相当	859	3.0 26	16.3 140	51.1 439	28.6 246	0.9 8
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	22.3 103	12.1 56	15.8 73	18.9 87	30.8 142
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	9.8 129	14.8 196	38.8 512	25.2 333	11.4 150

5-1.「経済学科」「政策情報学科」への受験意向(Q5)

(1)総合政策学部 経済学科

上段:% 下段:件数		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
全体		21,327	1.7 371	2.7 571	6.1 1,301	77.6 16,558	11.8 2,526
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	0.0 0	35.5 11	16.1 5	25.8 8	22.6 7
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	0.0 0	0.0 0	14.3 1	42.9 3	42.9 3
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	0.0 0	0.0 0	37.5 3	62.5 5	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	0.0 0	40.0 2	0.0 0	20.0 1	40.0 2
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	23.5 19	0.0 0	14.8 12	33.3 27	28.4 23
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	4.6 10	13.3 29	48.6 106	33.0 72	0.5 1
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	0.0 0	25.0 1	25.0 1	50.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	100.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	0.0 0	12.5 2	75.0 12	12.5 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	1.5 1	4.5 3	7.6 5	86.4 57	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	2.0 33	3.7 61	8.0 131	75.7 1,238	10.6 173
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	0.0 0	35.5 11	16.1 5	25.8 8	22.6 7
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	20.4 19	2.2 2	14.0 13	33.3 31	30.1 28
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	4.4 10	12.8 29	48.2 109	34.1 77	0.4 1
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	15.3 19	10.5 13	14.5 18	31.5 39	28.2 35
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	8.3 29	12.0 42	36.3 127	33.1 116	10.3 36
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	0.7 10	2.1 31	8.0 116	88.9 1,285	0.3 4
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	2.5 4	4.5 7	10.8 17	38.2 60	43.9 69

5-2.「経済学科」「政策情報学科」への受験意向(Q5)

(2)総合政策学部 政策情報学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	0.8 165	1.8 390	4.9 1,044	79.9 17,036	12.6 2,692
調査対象別	留め置き調査	21,144	0.7 151	1.7 360	4.8 1,008	80.2 16,959	12.6 2,666
	OC参加者	183	7.7 14	16.4 30	19.7 36	42.1 77	14.2 26
性別	男性	9,706	1.0 96	2.2 218	6.3 615	75.2 7,298	15.2 1,479
	女性	11,123	0.6 62	1.5 163	3.6 401	84.2 9,361	10.2 1,136
	回答しない	381	1.3 5	1.8 7	4.5 17	77.4 295	15.0 57
高校所在地別	北海道	313	2.2 7	1.3 4	4.2 13	84.0 263	8.3 26
	青森県	292	0.3 1	2.4 7	4.1 12	84.9 248	8.2 24
	宮城県	528	1.9 10	3.2 17	5.9 31	78.6 415	10.4 55
	秋田県	341	1.8 6	2.6 9	6.7 23	77.7 265	11.1 38
	山形県	333	0.9 3	1.5 5	3.6 12	79.6 265	14.4 48
	福島県	782	0.3 2	2.2 17	4.0 31	82.9 648	10.7 84
	茨城県	2,420	0.6 14	1.4 35	4.8 117	80.7 1,954	12.4 300
	栃木県	404	1.0 4	3.0 12	5.9 24	79.7 322	10.4 42
	群馬県	154	0.0 0	1.9 3	3.9 6	84.4 130	9.7 15
	埼玉県	1,466	0.5 8	1.2 17	5.5 80	82.4 1,208	10.4 153
	千葉県	11,377	0.8 91	1.7 199	5.0 567	79.0 8,992	13.4 1,528
	東京都	1,322	0.9 12	3.6 47	5.1 68	73.6 973	16.8 222
	新潟県	706	0.7 5	1.1 8	4.2 30	85.4 603	8.5 60
	山梨県	124	0.0 0	0.8 1	5.6 7	81.5 101	12.1 15
	静岡県	753	0.1 1	0.9 7	2.9 22	85.5 644	10.5 79
	その他	4	0.0 0	25.0 1	0.0 0	50.0 2	25.0 1
高校種別	公立	16,679	0.8 127	1.8 294	4.8 803	80.6 13,445	12.1 2,010
	私立	4,638	0.8 36	2.0 95	5.2 239	77.4 3,588	14.7 680
在籍学科別	普通科	13,022	0.6 78	1.4 187	4.7 614	80.8 10,521	12.5 1,622
	商業科	5,470	1.3 69	2.8 151	5.5 303	78.2 4,280	12.2 667
	総合学科	631	0.2 1	2.7 17	3.2 20	76.9 485	17.1 108
	その他	1,770	0.8 14	1.3 23	4.6 81	81.2 1,437	12.1 215
所属クラス別	文系クラス(文系コース)	7,480	0.6 44	1.6 118	5.3 393	79.2 5,922	13.4 1,003
	理系クラス(理系コース)	2,867	0.3 8	1.2 33	3.9 111	83.9 2,405	10.8 310
	コース選択はない	7,281	0.8 60	2.0 144	4.8 347	81.4 5,929	11.0 801
	その他	3,277	1.4 45	2.7 90	5.5 179	74.9 2,454	15.5 509
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	0.9 117	2.3 309	6.8 901	78.2 10,386	11.8 1,562
	短期大学	1,408	0.9 13	2.5 35	6.3 88	78.8 1,110	11.5 162
	専門職大学	1,182	1.5 18	2.5 30	6.8 80	72.9 862	16.2 192
	専門職短期大学	244	2.5 6	4.1 10	4.9 12	73.8 180	14.8 36
	専門学校	6,604	0.5 35	1.3 85	3.5 230	81.8 5,404	12.9 850
	就職	3,821	0.9 35	1.9 74	2.8 106	81.1 3,099	13.3 507
	その他	442	1.4 6	1.1 5	2.3 10	75.1 332	20.1 89
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	0.8 87	2.4 262	6.9 744	78.4 8,445	11.4 1,228
	私立大学のみ志望あり	7,725	0.8 64	2.2 172	6.3 489	79.1 6,107	11.6 893
	国立大学志望あり	3,053	0.7 21	1.9 59	7.1 217	78.8 2,406	11.5 350
	国立大学のみ志望あり	717	0.7 5	0.7 5	5.2 37	80.6 578	12.8 92
	公立大学志望あり	4,054	1.1 46	2.9 116	7.8 317	76.1 3,086	12.1 489
	公立大学のみ志望あり	1,057	1.7 18	2.8 30	6.3 67	74.4 786	14.8 156

(2)総合政策学部 政策情報学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	0.8 165	1.8 390	4.9 1,044	79.9 17,036	12.6 2,692
興味のある学問分野別	商学・経済学(経営学含む)	5,252	1.4 75	4.3 225	10.2 534	72.5 3,809	11.6 609
	政策情報学	711	6.3 45	10.4 74	15.3 109	55.3 393	12.7 90
	法学・政治学	1,478	1.1 16	3.7 55	10.3 152	73.7 1,090	11.2 165
	社会学	1,437	1.0 15	3.8 55	12.4 178	72.4 1,040	10.4 149
	人文科学(文学、史学、哲学など)	2,456	0.4 10	1.9 47	7.2 178	81.0 1,990	9.4 231
	理学・工学(数学、化学、機械工学など)	2,203	0.6 13	1.5 32	5.5 121	81.6 1,798	10.8 239
	農学(農学、林学、水産学など)	579	1.0 6	0.7 4	5.4 31	82.0 475	10.9 63
	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	3,460	0.8 28	1.1 39	3.3 115	84.3 2,918	10.4 360
	教育(教育学、体育学など)	2,982	0.6 19	1.1 33	4.6 137	82.2 2,451	11.5 342
	その他	6,007	0.4 25	1.1 64	3.4 206	83.3 5,001	11.8 711
	わからない	2,803	0.6 17	1.5 43	3.4 95	75.7 2,123	18.7 525
	商学・経済学(経営学含む)	5,252	1.4 75	4.3 225	10.2 534	72.5 3,809	11.6 609
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	2.2 63	4.5 130	11.2 326	71.3 2,077	10.9 316
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	3,421	1.2 41	4.9 168	12.1 413	70.0 2,394	11.8 405
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	664	2.3 15	4.7 31	10.2 68	70.2 466	12.7 84
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(経済学科)	7,345	0.6 46	1.3 94	4.5 331	82.4 6,051	11.2 823
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	2,075	2.0 41	4.9 101	12.8 265	69.7 1,446	10.7 222
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	327	3.7 12	4.0 13	11.0 36	68.2 223	13.1 43
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(政策情報学科)	8,691	0.5 46	1.9 161	5.5 479	80.5 6,999	11.6 1,006
経済学科」「政策情報学科」に対する特色の魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	13,013	1.1 148	2.6 340	6.6 853	80.4 10,463	9.3 1,209
	特色Ⅱ 魅力あり	13,098	1.1 139	2.6 342	6.3 822	80.7 10,569	9.4 1,226
	特色Ⅲ 魅力あり	13,044	1.1 150	2.7 347	6.8 884	80.2 10,461	9.2 1,202
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	0.0 0	41.5 154	10.2 38	23.5 87	24.8 92
	第二志望として受験する	571	11.2 64	0.0 0	31.2 178	35.4 202	22.2 127
	第三志望以降として受験する	1,301	0.6 8	5.5 72	42.4 552	46.2 601	5.2 68
	受験しない	16,558	0.2 28	0.4 69	1.6 268	97.2 16,098	0.6 95
入学意向別【経済学科】	入学する	494	0.2 1	27.3 135	16.6 82	28.7 142	27.1 134
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	2.9 53	8.0 144	32.1 578	39.5 711	17.5 316
	入学しない	2,336	0.5 12	0.8 18	3.4 79	37.6 879	57.7 1,348
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	0.0 0	42.5 134	11.1 35	22.9 72	23.5 74
	第二志望として受験し、入学する	89	1.1 1	0.0 0	39.3 35	41.6 37	18.0 16
	第三志望以降として受験し、入学する	40	0.0 0	2.5 1	30.0 12	65.0 26	2.5 1
	受験しないが、入学する	7	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 7	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	0.0 0	37.1 13	5.7 2	40.0 14	17.1 6
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	10.0 43	0.0 0	31.3 135	34.1 147	24.6 106
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	0.7 7	5.5 59	40.7 435	47.6 509	5.5 59
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	0.0 0	0.0 0	14.0 6	86.0 37	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	0.0 0	28.6 4	7.1 1	0.0 0	64.3 9
	第二志望として受験するが、入学しない	14	35.7 5	0.0 0	14.3 2	35.7 5	14.3 2
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	0.9 1	6.1 7	52.6 60	37.7 43	2.6 3
	受験せず、入学しない	849	0.1 1	0.6 5	1.9 16	96.5 819	0.9 8
	無回答	18,307	0.6 107	0.9 167	1.7 305	83.7 15,320	13.2 2,408
	【1】第一志望相当	315	0.0 0	42.5 134	11.1 35	22.9 72	23.5 74
	【2】第二志望相当	555	7.9 44	2.3 13	31.0 172	35.7 198	23.1 128
	【3】第三志望以降相当	1,109	0.6 7	5.4 60	40.3 447	48.2 535	5.4 60
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	5.1 44	16.9 147	23.8 207	31.0 270	23.2 202
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	2.6 51	10.5 207	33.0 654	40.7 805	13.2 262

（2）総合政策学部　政策情報学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	0.8 165	1.8 390	4.9 1,044	79.9 17,036	12.6 2,692
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	0.0 0	40.4 72	13.5 24	27.5 49	18.5 33
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	1.9 1	0.0 0	39.6 21	45.3 24	13.2 7
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	0.0 0	5.0 1	30.0 6	65.0 13	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	0.0 0	33.3 5	6.7 1	53.3 8	6.7 1
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	4.2 9	0.0 0	36.4 78	40.7 87	18.7 40
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	0.6 3	3.3 17	35.5 181	56.5 288	4.1 21
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	0.0 0	0.0 0	23.1 3	76.9 10	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	0.0 0	75.0 3	0.0 0	0.0 0	25.0 1
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	33.3 2	0.0 0	16.7 1	50.0 3	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	0.0 0	5.9 2	47.1 16	44.1 15	2.9 1
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	0.0 0	1.0 1	3.0 3	93.9 93	2.0 2
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	1.1 26	2.9 67	3.5 79	79.3 1,802	13.2 299
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	0.0 0	40.4 72	13.5 24	27.5 49	18.5 33
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	3.5 10	1.8 5	35.5 100	42.2 119	17.0 48
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	0.6 3	3.4 18	35.3 187	56.8 301	4.0 21
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	2.2 10	16.7 77	27.0 124	36.5 168	17.6 81
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	1.3 13	9.6 95	31.4 311	47.4 469	10.3 102
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	0.2 3	0.9 18	2.8 56	95.5 1,881	0.6 11
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	1.6 4	2.3 6	7.8 20	43.2 111	45.1 116
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	100.0 165	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験する	390	0.0 0	100.0 390	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験する	1,044	0.0 0	0.0 0	100.0 1,044	0.0 0	0.0 0
	受験しない	17,036	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 17,036	0.0 0
入学意向別【政策情報学科】	入学する	221	57.5 127	14.0 31	13.6 30	0.5 1	14.5 32
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	1.2 16	20.6 287	59.6 829	2.3 32	16.3 226
	入学しない	2,279	0.4 10	0.4 10	4.7 106	35.2 802	59.3 1,351
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	100.0 127	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	31	0.0 0	100.0 31	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	0.0 0	0.0 0	100.0 30	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	100.0 16	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	0.0 0	100.0 287	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	0.0 0	0.0 0	100.0 829	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 32	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	100.0 10	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	0.0 0	100.0 10	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	0.0 0	0.0 0	100.0 106	0.0 0	0.0 0
	受験せず、入学しない	802	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 802	0.0 0
	無回答	19,046	0.1 12	0.3 62	0.4 79	85.1 16,201	14.1 2,692
	【1】第一志望相当	127	100.0 127	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【2】第二志望相当	334	4.8 16	95.2 318	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	859	0.0 0	0.0 0	100.0 859	0.0 0	0.0 0
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	31.0 143	69.0 318	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	10.8 143	24.1 318	65.1 859	0.0 0	0.0 0

5-2.「経済学科」「政策情報学科」への受験意向(Q5)

(2)総合政策学部 政策情報学科

		標本数	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答
上段:% 下段:件数							
全体		21,327	0.8 165	1.8 390	4.9 1,044	79.9 17,036	12.6 2,692
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	100.0 31	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	0.0 0	100.0 7	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	0.0 0	0.0 0	100.0 8	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	100.0 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	0.0 0	100.0 81	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	0.0 0	0.0 0	100.0 218	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 4	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	0.0 0	100.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	0.0 0	0.0 0	100.0 16	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 66	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	0.2 4	0.7 11	1.4 23	84.1 1,376	13.6 222
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	100.0 31	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	5.4 5	94.6 88	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	0.0 0	0.0 0	100.0 226	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	29.0 36	71.0 88	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	10.3 36	25.1 88	64.6 226	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1,446	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	0.6 1	1.3 2	10.2 16	42.0 66	45.9 72

6-1.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向(Q6)

(1)総合政策学部 経済学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		21,327	2.3 494	8.4 1,802	11.0 2,336	78.3 16,695
調査対象別	留め置き調査	21,144	2.2 455	8.2 1,740	11.0 2,333	78.6 16,616
	OC参加者	183	21.3 39	33.9 62	1.6 3	43.2 79
性別	男性	9,706	3.5 336	11.8 1,144	12.3 1,191	72.5 7,035
	女性	11,123	1.3 146	5.6 618	9.5 1,062	83.6 9,297
	回答しない	381	2.9 11	6.6 25	15.2 58	75.3 287
高校所在地別	北海道	313	1.6 5	6.7 21	7.3 23	84.3 264
	青森県	292	3.1 9	7.2 21	5.8 17	83.9 245
	宮城県	528	4.0 21	10.6 56	11.0 58	74.4 393
	秋田県	341	3.5 12	8.5 29	10.0 34	78.0 266
	山形県	333	1.2 4	8.7 29	15.6 52	74.5 248
	福島県	782	1.8 14	4.9 38	9.2 72	84.1 658
	茨城県	2,420	1.9 45	8.7 211	10.5 254	78.9 1,910
	栃木県	404	3.5 14	10.1 41	6.7 27	79.7 322
	群馬県	154	0.6 1	5.8 9	5.8 9	87.7 135
	埼玉県	1,466	1.8 26	9.6 141	9.9 145	78.7 1,154
	千葉県	11,377	2.4 270	8.5 963	11.8 1,340	77.4 8,804
	東京都	1,322	4.0 53	9.7 128	11.9 157	74.4 984
	新潟県	706	1.6 11	8.1 57	7.8 55	82.6 583
	山梨県	124	2.4 3	12.9 16	9.7 12	75.0 93
	静岡県	753	0.7 5	4.9 37	10.6 80	83.8 631
	その他	4	0.0 0	50.0 2	0.0 0	50.0 2
高校種別	公立	16,679	2.2 375	8.3 1,391	10.2 1,700	79.2 13,213
	私立	4,638	2.5 117	8.8 408	13.7 635	75.0 3,478
在籍学科別	普通科	13,022	2.0 258	8.1 1,053	11.0 1,426	79.0 10,285
	商業科	5,470	3.3 182	9.9 540	10.2 557	76.6 4,191
	総合学科	631	1.9 12	6.2 39	14.6 92	77.3 488
	その他	1,770	1.6 29	7.2 128	11.6 206	79.5 1,407
所属クラス別	文系クラス(文系コース)	7,480	2.2 166	8.9 666	11.8 879	77.1 5,769
	理系クラス(理系コース)	2,867	1.5 42	6.3 181	9.9 285	82.3 2,359
	コース選択はない	7,281	2.3 164	8.3 603	9.7 708	79.7 5,806
	その他	3,277	3.4 111	9.6 314	12.6 414	74.4 2,438
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	3.1 415	11.7 1,552	9.8 1,299	75.4 10,009
	短期大学	1,408	2.8 39	10.1 142	10.9 153	76.3 1,074
	専門職大学	1,182	2.7 32	11.5 136	12.7 150	73.1 864
	専門職短期大学	244	3.7 9	11.1 27	11.9 29	73.4 179
	専門学校	6,604	1.2 82	5.6 373	11.9 784	81.2 5,365
	就職	3,821	1.8 70	5.6 215	12.4 472	80.2 3,064
	その他	442	2.7 12	4.5 20	17.9 79	74.9 331
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	3.2 342	11.6 1,253	9.6 1,034	75.6 8,137
	私立大学のみ志望あり	7,725	3.2 250	10.3 798	10.1 778	76.4 5,899
	国立大学志望あり	3,053	2.2 68	13.1 399	8.9 273	75.8 2,313
	国立大学のみ志望あり	717	1.7 12	9.3 67	11.3 81	77.7 557
	公立大学志望あり	4,054	3.4 138	14.8 602	9.2 374	72.5 2,940
	公立大学のみ志望あり	1,057	4.2 44	11.9 126	11.9 126	72.0 761

6-1.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向(Q6)

(1)総合政策学部 経済学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		21,327	2.3 494	8.4 1,802	11.0 2,336	78.3 16,695
興味のある学問分野別	商学・経済学(経営学含む)	5,252	6.8 356	20.9 1,097	7.8 411	64.5 3,388
	政策情報学	711	6.9 49	21.7 154	6.6 47	64.8 461
	法学・政治学	1,478	4.0 59	16.7 247	9.0 133	70.3 1,039
	社会学	1,437	3.4 49	16.2 233	8.5 122	71.9 1,033
	人文科学(文学、史学、哲学など)	2,456	1.5 36	9.7 238	8.1 199	80.7 1,983
	理学・工学(数学、化学、機械工学など)	2,203	1.4 30	8.0 176	9.0 198	81.7 1,799
	農学(農学、林学、水産学など)	579	0.7 4	10.7 62	8.3 48	80.3 465
	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	3,460	1.0 36	4.9 168	10.9 378	83.2 2,878
	教育(教育学、体育学など)	2,982	1.6 48	7.4 222	10.7 318	80.3 2,394
	その他	6,007	0.9 56	4.6 279	11.8 709	82.6 4,963
	わからない	2,803	1.9 53	6.8 190	16.4 461	74.9 2,099
	商学・経済学(経営学含む)	5,252	6.8 356	20.9 1,097	7.8 411	64.5 3,388
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	4.0 116	16.4 477	8.4 244	71.3 2,075
希望進路×設置者×興味分野別	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	3,421	8.0 275	24.2 828	7.5 257	60.2 2,061
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	664	7.4 49	24.1 160	7.1 47	61.4 408
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(経済学科)	7,345	0.9 67	5.8 425	10.6 777	82.7 6,076
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	2,075	4.2 87	18.0 374	7.8 161	70.0 1,453
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	327	5.2 17	17.4 57	8.6 28	68.8 225
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(政策情報学科)	8,691	2.9 255	10.1 879	10.0 873	76.9 6,684
「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	13,013	3.2 419	11.2 1,460	9.4 1,218	76.2 9,916
	特色Ⅱ 魅力あり	13,098	3.4 450	11.8 1,544	9.4 1,229	75.4 9,875
	特色Ⅲ 魅力あり	13,044	3.1 407	10.6 1,389	9.4 1,229	76.8 10,019
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	84.9 315	9.4 35	3.8 14	1.9 7
	第二志望として受験する	571	15.6 89	75.5 431	2.5 14	6.5 37
	第三志望以降として受験する	1,301	3.1 40	82.2 1,069	8.8 114	6.0 78
	受験しない	16,558	0.0 7	0.3 43	5.1 849	94.6 15,659
入学意向別【経済学科】	入学する	494	100.0 494	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	0.0 0	100.0 1,802	0.0 0	0.0 0
	入学しない	2,336	0.0 0	0.0 0	100.0 2,336	0.0 0

6-1.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向(Q6)

(1)総合政策学部 経済学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		21,327	2.3 494	8.4 1,802	11.0 2,336	78.3 16,695
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	100.0 315	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	89	100.0 89	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	40	100.0 40	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、入学する	7	100.0 7	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	0.0 0	100.0 35	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	0.0 0	100.0 431	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	0.0 0	100.0 1,069	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	0.0 0	100.0 43	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	14	0.0 0	0.0 0	100.0 14	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	14	0.0 0	0.0 0	100.0 14	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	0.0 0	0.0 0	100.0 114	0.0 0
	受験せず、入学しない	849	0.0 0	0.0 0	100.0 849	0.0 0
	無回答	18,307	0.2 43	1.2 224	7.3 1,345	91.2 16,695
	【1】第一志望相当	315	100.0 315	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【2】第二志望相当	555	16.0 89	84.0 466	0.0 0	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	1,109	3.6 40	96.4 1,069	0.0 0	0.0 0
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	46.4 404	53.6 466	0.0 0	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	22.4 444	77.6 1,535	0.0 0	0.0 0
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	100.0 178	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	100.0 53	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	100.0 20	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	100.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	0.0 0	100.0 15	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	0.0 0	100.0 214	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	0.0 0	100.0 510	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	0.0 0	100.0 13	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	0.0 0	0.0 0	100.0 4	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	0.0 0	0.0 0	100.0 6	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	0.0 0	0.0 0	100.0 34	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	0.0 0	0.0 0	100.0 99	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	1.0 22	3.3 76	5.0 114	90.7 2,061
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	100.0 178	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	18.8 53	81.2 229	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	3.8 20	96.2 510	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	50.2 231	49.8 229	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	25.4 251	74.6 739	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	0.1 2	0.7 13	5.0 99	94.2 1,855
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	0.0 0	0.0 0	100.0 257	0.0 0
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	0.6 1	32.1 53	7.3 12	60.0 99
	第二志望として受験する	390	34.6 135	36.9 144	4.6 18	23.8 93
	第三志望以降として受験する	1,044	7.9 82	55.4 578	7.6 79	29.2 305
	受験しない	17,036	0.8 142	4.2 711	5.2 879	89.8 15,304
入学意向別【政策情報学科】	入学する	221	0.0 0	25.3 56	4.1 9	70.6 156
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	11.4 158	64.6 898	3.3 46	20.7 288
	入学しない	2,279	1.5 35	5.3 121	90.2 2,055	3.0 68

6-1.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向（Q6）

（1）総合政策学部　経済学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段：% 下段：件数						
全体		21,327	2.3 494	8.4 1,802	11.0 2,336	78.3 16,695
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	0.0 0	34.6 44	2.4 3	63.0 80
	第二志望として受験し、入学する	31	0.0 0	22.6 7	6.5 2	71.0 22
	第三志望以降として受験し、入学する	30	0.0 0	6.7 2	0.0 0	93.3 28
	受験しないが、入学する	1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	0.0 0	50.0 8	6.3 1	43.8 7
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	31.7 91	47.0 135	2.4 7	18.8 54
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	5.1 42	65.7 545	2.4 20	26.8 222
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	6.3 2	78.1 25	6.3 2	9.4 3
	第一志望として受験するが、入学しない	10	0.0 0	0.0 0	80.0 8	20.0 2
	第二志望として受験するが、入学しない	10	0.0 0	10.0 1	80.0 8	10.0 1
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	8.5 9	28.3 30	54.7 58	8.5 9
	受験せず、入学しない	802	2.2 18	7.2 58	85.3 684	5.2 42
	無回答	19,046	1.7 332	5.0 947	8.1 1,543	85.2 16,224
	【1】第一志望相当	127	0.0 0	34.6 44	2.4 3	63.0 80
	【2】第二志望相当	334	27.2 91	44.9 150	3.0 10	24.9 83
	【3】第三志望以降相当	859	4.9 42	63.7 547	2.3 20	29.1 250
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	19.7 91	42.1 194	2.8 13	35.4 163
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	10.1 133	56.1 741	2.5 33	31.3 413
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	0.0 0	38.7 12	0.0 0	61.3 19
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	0.0 0	14.3 1	0.0 0	85.7 6
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 8
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	0.0 0	80.0 4	0.0 0	20.0 1
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	21.0 17	44.4 36	1.2 1	33.3 27
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	5.0 11	61.5 134	2.8 6	30.7 67
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	25.0 1	50.0 2	0.0 0	25.0 1
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	0.0 0	0.0 0	100.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	0.0 0	50.0 8	37.5 6	12.5 2
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	3.0 2	9.1 6	83.3 55	4.5 3
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	3.4 56	10.5 171	5.5 90	80.6 1,319
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	0.0 0	38.7 12	0.0 0	61.3 19
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	18.3 17	44.1 41	1.1 1	36.6 34
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	4.9 11	59.3 134	2.7 6	33.2 75
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	13.7 17	42.7 53	0.8 1	42.7 53
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	8.0 28	53.4 187	2.0 7	36.6 128
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	1.5 21	8.9 129	5.0 73	84.6 1,223
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	1.3 2	12.1 19	82.2 129	4.5 7

6-2.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向(Q6)

(2)総合政策学部 政策情報学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		21,327	1.0 221	6.5 1,390	10.7 2,279	81.8 17,437
調査対象別	留め置き調査	21,144	1.0 205	6.3 1,331	10.7 2,268	82.0 17,340
	OC参加者	183	8.7 16	32.2 59	6.0 11	53.0 97
性別	男性	9,706	1.3 131	8.4 815	12.3 1,191	78.0 7,569
	女性	11,123	0.7 83	4.9 546	9.1 1,011	85.3 9,483
	回答しない	381	1.3 5	5.2 20	13.6 52	79.8 304
高校所在地別	北海道	313	1.9 6	4.8 15	7.7 24	85.6 268
	青森県	292	1.4 4	5.5 16	6.2 18	87.0 254
	宮城県	528	2.1 11	8.0 42	9.8 52	80.1 423
	秋田県	341	0.9 3	9.4 32	9.4 32	80.4 274
	山形県	333	1.5 5	6.3 21	15.0 50	77.2 257
	福島県	782	0.4 3	5.1 40	9.6 75	84.9 664
	茨城県	2,420	0.7 18	6.1 147	10.8 262	82.4 1,993
	栃木県	404	1.5 6	8.4 34	7.2 29	82.9 335
	群馬県	154	1.3 2	3.9 6	5.8 9	89.0 137
	埼玉県	1,466	0.6 9	6.5 96	10.1 148	82.7 1,213
	千葉県	11,377	1.1 122	6.7 761	11.3 1,283	81.0 9,211
	東京都	1,322	1.4 19	8.0 106	12.0 158	78.6 1,039
	新潟県	706	1.0 7	4.8 34	7.4 52	86.8 613
	山梨県	124	0.0 0	8.1 10	8.9 11	83.1 103
	静岡県	753	0.7 5	3.9 29	9.8 74	85.7 645
	その他	4	0.0 0	25.0 1	0.0 0	75.0 3
高校種別	公立	16,679	1.0 164	6.4 1,073	10.0 1,663	82.6 13,779
	私立	4,638	1.2 55	6.8 317	13.2 613	78.8 3,653
在籍学科別	普通科	13,022	0.8 108	6.2 803	10.5 1,371	82.5 10,740
	商業科	5,470	1.5 84	7.8 429	10.4 567	80.3 4,390
	総合学科	631	1.0 6	4.9 31	13.9 88	80.2 506
	その他	1,770	1.0 18	5.3 93	11.2 199	82.5 1,460
所属クラス別	文系クラス(文系コース)	7,480	0.9 66	6.6 493	11.3 848	81.2 6,073
	理系クラス(理系コース)	2,867	0.3 10	5.1 147	8.9 256	85.6 2,454
	コース選択はない	7,281	1.2 84	6.3 459	9.8 715	82.7 6,023
	その他	3,277	1.7 56	8.1 267	12.5 409	77.7 2,545
高校卒業後の希望進路別	大学	13,275	1.2 155	8.8 1,165	9.7 1,286	80.4 10,669
	短期大学	1,408	1.3 19	8.3 117	10.7 150	79.7 1,122
	専門職大学	1,182	1.6 19	10.1 119	11.9 141	76.4 903
	専門職短期大学	244	2.9 7	8.6 21	10.2 25	78.3 191
	専門学校	6,604	0.7 49	4.9 326	11.3 744	83.1 5,485
	就職	3,821	1.3 50	4.4 167	11.9 455	82.4 3,149
	その他	442	0.9 4	3.6 16	18.6 82	76.9 340
設置者×希望進路別	私立大学志望あり	10,766	1.2 124	8.8 949	9.6 1,032	80.4 8,661
	私立大学のみ志望あり	7,725	1.2 89	7.9 610	9.9 761	81.1 6,265
	国立大学志望あり	3,053	0.7 21	9.6 292	8.8 270	80.9 2,470
	国立大学のみ志望あり	717	0.4 3	6.8 49	10.9 78	81.9 587
	公立大学志望あり	4,054	1.5 60	10.8 439	9.4 380	78.3 3,175
	公立大学のみ志望あり	1,057	2.2 23	9.0 95	11.3 119	77.6 820

6-2.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向(Q6)

(2)総合政策学部 政策情報学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		21,327	1.0 221	6.5 1,390	10.7 2,279	81.8 17,437
興味のある学問分野別	商学・経済学(経営学含む)	5,252	1.9 102	12.9 680	9.0 471	76.1 3,999
	政策情報学	711	6.8 48	24.8 176	7.3 52	61.2 435
	法学・政治学	1,478	1.4 20	13.5 200	8.2 121	76.9 1,137
	社会学	1,437	1.9 27	15.3 220	8.4 121	74.4 1,069
	人文科学(文学、史学、哲学など)	2,456	0.7 16	9.0 221	7.3 179	83.1 2,040
	理学・工学(数学、化学、機械工学など)	2,203	0.6 14	7.1 156	8.1 178	84.2 1,855
	農学(農学、林学、水産学など)	579	0.9 5	6.7 39	8.6 50	83.8 485
	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	3,460	1.0 36	4.5 157	9.9 344	84.5 2,923
	教育(教育学、体育学など)	2,982	0.8 23	5.7 170	10.6 315	83.0 2,474
	その他	6,007	0.5 32	4.4 263	11.0 663	84.1 5,049
	わからない	2,803	1.1 31	5.5 154	15.7 439	77.7 2,179
希望進路×設置者×興味分野別	商学・経済学(経営学含む)	5,252	1.9 102	12.9 680	9.0 471	76.1 3,999
	政策情報学or法学・政治学or社会学	2,912	2.6 76	14.9 434	8.2 239	74.3 2,163
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	3,421	1.9 64	15.2 521	8.8 302	74.1 2,534
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(経済学科)	664	2.0 13	14.5 96	8.1 54	75.5 501
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(経済学科)	7,345	0.8 60	5.8 428	9.9 730	83.4 6,127
	私立大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	2,075	2.4 50	16.4 341	7.6 157	73.6 1,527
	私立以外の大学志望あり×関連学問分野興味あり(政策情報学科)	327	3.1 10	15.6 51	8.0 26	73.4 240
	私立大学志望あり×関連学問分野興味なし(政策情報学科)	8,691	0.9 74	7.0 608	10.1 875	82.1 7,134
「経済学科」「政策情報学科」の特色に対する魅力度別	特色Ⅰ 魅力あり	13,013	1.5 195	8.9 1,164	9.3 1,216	80.2 10,438
	特色Ⅱ 魅力あり	13,098	1.4 189	8.6 1,122	9.6 1,257	80.4 10,530
	特色Ⅲ 魅力あり	13,044	1.5 201	9.1 1,185	9.4 1,227	80.0 10,431
受験意向別【経済学科】	第一志望として受験する	371	0.0 0	36.4 135	9.2 34	54.4 202
	第二志望として受験する	571	8.8 50	38.9 222	7.0 40	45.4 259
	第三志望以降として受験する	1,301	2.2 28	37.7 490	9.9 129	50.3 654
	受験しない	16,558	0.2 41	1.9 317	4.5 741	93.4 15,459
入学意向別【経済学科】	入学する	494	0.0 0	32.0 158	7.1 35	60.9 301
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,802	3.1 56	49.8 898	6.7 121	40.3 727
	入学しない	2,336	0.4 9	2.0 46	88.0 2,055	9.7 226

6-2.「経済学科」「政策情報学科」への入学意向(Q6)

(2)総合政策学部 政策情報学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段:% 下段:件数						
全体		21,327	1.0 221	6.5 1,390	10.7 2,279	81.8 17,437
受験意向×入学意向別【経済学科】	第一志望として受験し、入学する	315	0.0 0	37.1 117	5.7 18	57.1 180
	第二志望として受験し、入学する	89	0.0 0	21.3 19	6.7 6	71.9 64
	第三志望以降として受験し、入学する	40	0.0 0	7.5 3	7.5 3	85.0 34
	受験しないが、入学する	7	0.0 0	0.0 0	14.3 1	85.7 6
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	35	0.0 0	51.4 18	5.7 2	42.9 15
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	431	8.6 37	46.9 202	5.3 23	39.2 169
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	1,069	1.1 12	44.3 474	5.7 61	48.8 522
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	43	2.3 1	53.5 23	11.6 5	32.6 14
	第一志望として受験するが、入学しない	14	0.0 0	0.0 0	92.9 13	7.1 1
	第二志望として受験するが、入学しない	14	7.1 1	7.1 1	71.4 10	14.3 2
	第三志望以降として受験するが、入学しない	114	0.0 0	10.5 12	56.1 64	33.3 38
	受験せず、入学しない	849	0.4 3	1.9 16	79.3 673	18.5 157
	無回答	18,307	0.9 167	2.8 505	7.6 1,400	88.7 16,235
	【1】第一志望相当	315	0.0 0	37.1 117	5.7 18	57.1 180
	【2】第二志望相当	555	6.7 37	43.1 239	5.6 31	44.7 248
	【3】第三志望以降相当	1,109	1.1 12	43.0 477	5.8 64	50.1 556
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	870	4.3 37	40.9 356	5.6 49	49.2 428
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,979	2.5 49	42.1 833	5.7 113	49.7 984
受験意向×入学意向別【経済学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	178	0.0 0	36.0 64	6.2 11	57.9 103
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	53	0.0 0	18.9 10	5.7 3	75.5 40
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	20	0.0 0	5.0 1	10.0 2	85.0 17
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	2	0.0 0	0.0 0	50.0 1	50.0 1
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	15	0.0 0	40.0 6	6.7 1	53.3 8
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	214	3.7 8	46.7 100	4.7 10	44.9 96
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	510	0.8 4	37.8 193	7.3 37	54.1 276
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	13	7.7 1	23.1 3	23.1 3	46.2 6
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	4	0.0 0	0.0 0	100.0 4	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	6	0.0 0	0.0 0	66.7 4	33.3 2
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	34	0.0 0	14.7 5	44.1 15	41.2 14
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	99	0.0 0	3.0 3	77.8 77	19.2 19
	【ターゲット層のみ】無回答	2,273	2.2 51	6.0 136	5.9 134	85.9 1,952
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	178	0.0 0	36.0 64	6.2 11	57.9 103
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	282	2.8 8	41.1 116	5.0 14	51.1 144
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	530	0.8 4	36.6 194	7.4 39	55.3 293
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	460	1.7 8	39.1 180	5.4 25	53.7 247
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	990	1.2 12	37.8 374	6.5 64	54.5 540
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,969	0.7 13	3.2 63	4.5 88	91.7 1,805
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	257	0.0 0	3.9 10	81.3 209	14.8 38
受験意向別【政策情報学科】	第一志望として受験する	165	77.0 127	9.7 16	6.1 10	7.3 12
	第二志望として受験する	390	7.9 31	73.6 287	2.6 10	15.9 62
	第三志望以降として受験する	1,044	2.9 30	79.4 829	10.2 106	7.6 79
	受験しない	17,036	0.0 1	0.2 32	4.7 802	95.1 16,201
入学意向別【政策情報学科】	入学する	221	100.0 221	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,390	0.0 0	100.0 1,390	0.0 0	0.0 0
	入学しない	2,279	0.0 0	0.0 0	100.0 2,279	0.0 0

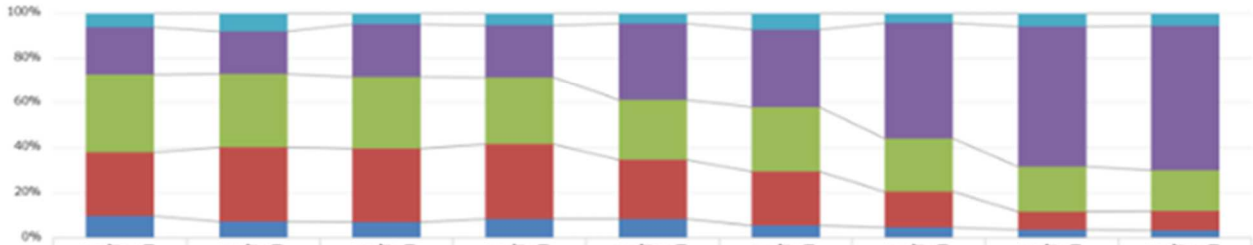
（2）総合政策学部　政策情報学科

		標本数	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答
上段：% 下段：件数						
全体		21,327	1.0 221	6.5 1,390	10.7 2,279	81.8 17,437
受験意向×入学意向別【政策情報学科】	第一志望として受験し、入学する	127	100.0 127	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、入学する	31	100.0 31	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、入学する	30	100.0 30	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、入学する	1	100.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	16	0.0 0	100.0 16	0.0 0	0.0 0
	第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	287	0.0 0	100.0 287	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	829	0.0 0	100.0 829	0.0 0	0.0 0
	受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	32	0.0 0	100.0 32	0.0 0	0.0 0
	第一志望として受験するが、入学しない	10	0.0 0	0.0 0	100.0 10	0.0 0
	第二志望として受験するが、入学しない	10	0.0 0	0.0 0	100.0 10	0.0 0
	第三志望以降として受験するが、入学しない	106	0.0 0	0.0 0	100.0 106	0.0 0
	受験せず、入学しない	802	0.0 0	0.0 0	100.0 802	0.0 0
	無回答	19,046	0.2 32	1.2 226	7.1 1,351	91.6 17,437
	【1】第一志望相当	127	100.0 127	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【2】第二志望相当	334	9.3 31	90.7 303	0.0 0	0.0 0
	【3】第三志望以降相当	859	3.5 30	96.5 829	0.0 0	0.0 0
	【4】第一志望相当＋第二志望相当	461	34.3 158	65.7 303	0.0 0	0.0 0
	【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	1,320	14.2 188	85.8 1,132	0.0 0	0.0 0
受験意向×入学意向別【政策情報学科／ターゲット層のみ】	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、入学する	31	100.0 31	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、入学する	7	100.0 7	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、入学する	8	100.0 8	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、入学する	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	5	0.0 0	100.0 5	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	81	0.0 0	100.0 81	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する	218	0.0 0	100.0 218	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験しないが、他の志望校が不合格の場合に入学する	4	0.0 0	100.0 4	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第一志望として受験するが、入学しない	1	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第二志望として受験するが、入学しない	2	0.0 0	0.0 0	100.0 2	0.0 0
	【ターゲット層のみ】第三志望以降として受験するが、入学しない	16	0.0 0	0.0 0	100.0 16	0.0 0
	【ターゲット層のみ】受験せず、入学しない	66	0.0 0	0.0 0	100.0 66	0.0 0
	【ターゲット層のみ】無回答	1,636	0.2 4	2.0 33	4.4 72	93.3 1,527
	【ターゲット層のみ】【1】第一志望相当	31	100.0 31	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【2】第二志望相当	93	7.5 7	92.5 86	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【3】第三志望以降相当	226	3.5 8	96.5 218	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【4】第一志望相当＋第二志望相当	124	30.6 38	69.4 86	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【5】第一志望相当＋第二志望相当＋第三志望以降相当	350	13.1 46	86.9 304	0.0 0	0.0 0
	【ターゲット層のみ】【6】受験意向なし	1,446	0.0 0	0.3 4	4.6 66	95.2 1,376
	【ターゲット層のみ】【7】入学意向なし	157	0.0 0	0.0 0	100.0 157	0.0 0

資料 6-5 「学びたい分野の検討時期」

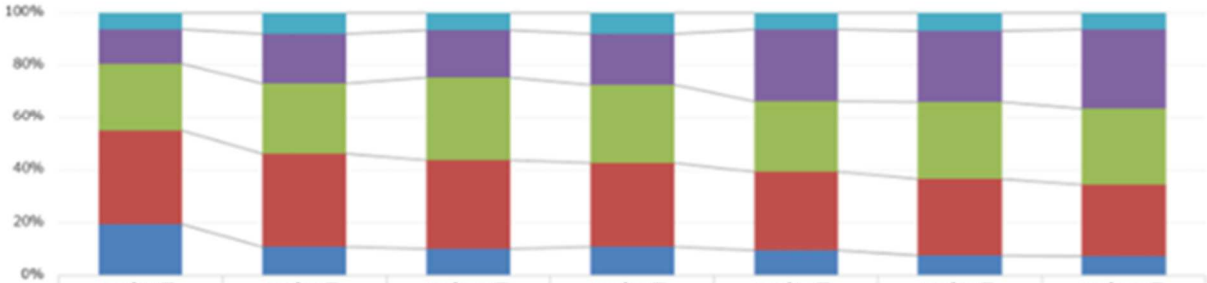
■進学先で学びたい分野・系統の検討状況

24年3月卒(現高校3年生)の回答



	21年11月 (N=247)	22年2月 (N=234)	22年5月 (N=298)	22年8月 (N=475)	22年12月 (N=380)	23年3月 (N=549)	23年6月 (N=757)	23年9月 (N=958)	23年12月 (N=881)
わからない	6.1%	8.1%	4.7%	5.5%	4.5%	7.3%	4.2%	5.8%	5.6%
決定したし、変更しない	21.1%	18.8%	23.5%	23.2%	34.2%	34.8%	51.7%	62.5%	64.6%
決定したが変更するかもしれない	34.8%	32.9%	32.2%	29.9%	26.6%	28.6%	23.5%	20.0%	17.8%
検討しているが、決定はできていない	28.3%	32.9%	32.6%	33.1%	26.3%	23.7%	15.9%	7.8%	8.6%
まだ検討していないが、検討するつもり	9.7%	7.3%	7.0%	8.4%	8.4%	5.6%	4.8%	3.8%	3.4%

25年3月卒(現高校2年生)の回答



	22年5月 (N=113)	22年8月 (N=320)	22年12月 (N=245)	23年3月 (N=380)	23年6月 (N=564)	23年9月 (N=676)	23年12月 (N=639)
わからない	6.2%	7.8%	6.5%	7.9%	6.2%	6.8%	6.3%
決定したし、変更しない	13.3%	19.1%	18.0%	19.5%	27.3%	27.1%	30.0%
決定したが変更するかもしれない	25.7%	26.9%	31.8%	30.0%	27.1%	29.4%	29.3%
検討しているが、決定はできていない	35.4%	35.3%	33.5%	31.6%	29.6%	28.8%	26.9%
まだ検討していないが、検討するつもり	19.5%	10.9%	10.2%	11.1%	9.8%	7.8%	7.5%

マイナビ進学総合研究所「2023 年度マイナビ進学会員定期調査」より

資料6-6

千葉商科大学　総合政策学部
「経済学科」「政策情報学科」（いずれも仮称）
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

令和5年12月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業対象

調査概要

1. 調査目的

2025年4月開設予定の千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」（いずれも仮称）の設置構想に関して、企業・団体からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、宮城県、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、沖縄県
調査方法		Web調査
調査対象数	依頼数	4,388社
	回収数（回収率）	528社（12.0％）
調査時期		2023年9月13日（水）～2023年10月13日（金）
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・勤務先 ・業種 ・正規社員の従業員数 ・正規社員の平均新卒採用人数 ・本年度の新卒採用予定数 ・採用したい学問分野 ・千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」の特色に対する魅力度 ・千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」の社会的必要性 ・千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」卒業生に対する採用意向 ・千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」各コース卒業生に対する採用意向 ・千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

採用意向調査　調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答企業全体（528企業）

企業対象

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」(いずれも仮称)に対する人材需要を確認するための調査として設計し。千葉商科大学の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、528企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は25.9%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が68.4%であり、採用や選考にかかわっている人事担当者から意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社(本部)所在地は、「東京都」が47.2%と最も多く、次いで千葉商科大学の本部所在地である「千葉県」が20.6%、「大阪府」が8.3%と続く。
- 回答者の勤務先は、「東京都」が53.2%と最も多く、次いで千葉商科大学の本部所在地である「千葉県」が21.4%、「大阪府」が4.9%と続く。
- 回答企業の業種としては「卸売・小売業」が24.1%で最も多い。次いで「情報通信業」が17.6%、「製造業」が12.5%である。
- 回答企業の正規社員の従業員数は、「100名～500名未満」が40.7%と最も多く、次いで「1,000名～5,000名未満」が20.3%と多い。100名以上の比較的規模が大きい企業が8割以上を占める。

企業対象

回答企業（回答者）の属性、採用状況等

回答企業の新卒採用状況（過去3か年平均）／本年度の新卒採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の新卒採用人数は「1名～5名未満」が23.7%と最も多く、次いで「5名～10名未満」が19.7%、「10名～20名未満」が16.7%と続く。毎年新卒の正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が56.3%と最も多く、次いで「増やす」が36.9%である。回答企業の多くで昨年以上の採用が予定されている模様である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聞いたところ、「総合政策学部 経済学科」の学びと関連する「商学・経済学（経営学含む）」が78.8%と最も高い。次いで「理学・工学（数学、化学、機械工学など）」が63.3%である。「総合政策学部　政策情報学科」の学びと関連する「政策情報学」は61.4%である。

企業対象

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。(ひとつだけ)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	採用の決裁権があり、選考にかかわっている	採用の決裁権はないが、選考にかかわっている	採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある	無回答
全体	528	25.9 137	68.4 361	5.7 30	0.0 0

■本社(本部)所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えください。(ひとつだけ)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	北海道	青森県	宮城県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	長野県
全体	528	0.9 5	0.4 2	0.4 2	0.4 2	1.3 7	0.8 4	0.4 2	2.5 13	20.6 109	47.2 249	4.0 21	1.9 10	0.2 1	0.2 1	0.4 2	0.2 1

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	岐阜県	静岡県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	岡山県	広島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	宮崎県	沖縄県	無回答
全体	528	0.9 5	0.9 5	2.8 15	0.9 5	8.3 44	0.9 5	0.2 1	0.4 2	0.6 3	0.4 2	0.4 2	0.4 2	0.8 4	0.2 1	0.2 1	0.0 0

■勤務先

Q3. あなたご自身の勤務先について、都道府県名をお教えください。(ひとつだけ)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	北海道	青森県	宮城県	秋田県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
全体	528	0.6 3	0.4 2	0.6 3	0.2 1	0.2 1	1.3 7	0.9 5	0.2 1	2.8 15	21.4 113	53.2 281	4.0 21	1.9 10	0.2 1	0.2 1	0.2 1

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	広島県	山口県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	沖縄県	無回答
全体	528	0.2 1	0.8 4	0.8 4	1.7 9	0.8 4	4.9 26	0.4 2	0.4 2	0.2 1	0.4 2	0.4 2	0.4 2	0.4 2	0.2 1	0.0 0

企業対象

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■業種

Q4. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(ひとつだけ)※複数あてはまる場合は、最も主な業種をお選びください。

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業
全体	528	0.0 0	8.7 46	12.5 66	0.2 1	17.6 93	4.4 23	24.1 127	4.0 21

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業	公務	その他	無回答
全体	528	2.5 13	1.3 7	8.0 42	1.1 6	9.5 50	0.9 5	5.3 28	0.0 0

■正規社員の従業員数

Q5. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(ひとつだけ)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	50名未満	50名～100名未満	100名～500名未満	500名～1,000名未満	1,000名～5,000名未満	5,000名以上	無回答
全体	528	8.3 44	11.2 59	40.7 215	14.8 78	20.3 107	4.7 25	0.0 0

■正規社員の平均新卒採用人数

Q6. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の新卒採用数について、お教えください。(ひとつだけ)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	0名	1名～5名未満	5名～10名未満	10名～20名未満	20名～30名未満	30名～50名未満	50名～100名未満	100名以上	無回答
全体	528	2.7 14	23.7 125	19.7 104	16.7 88	9.5 50	12.9 68	7.6 40	7.4 39	0.0 0

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■本年度の新卒採用予定数

Q7. 貴社・貴団体の本年度の新卒採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(ひとつだけ)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	増やす	昨年度並み	減らす	未定	無回答
全体	528	36.9 195	56.3 297	3.0 16	3.8 20	0.0 0

企業対象

採用したい学問分野

■採用したい学問分野

Q8. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。(いくつでも)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	商学・経済学(経営学含む)	政策情報学	法学・政治学	社会学	人文科学(文学、史学、哲学など)	理学・工学(数学、化学、機械工学など)
全体	528	78.8 416	61.4 324	58.0 306	61.9 327	48.7 257	63.3 334

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	農学(農学、林学、水産学など)	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	教育(教育学、体育学など)	その他	わからない	無回答
全体	528	39.0 206	29.7 157	42.4 224	20.3 107	5.3 28	0.0 0

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」の特色に対する魅力度

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」の特色に対する魅力度

「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」共通の特色に対する魅力度（※）は、以下のとおり。

- 「特色Ⅰ. 総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。」の魅力度は97.2％である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」各学科の特色に対する魅力度

- 「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」各学科の特色に対する魅力度（※）は、以下のとおり。
- 「特色Ⅱ. 経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています。」の魅力度は97.5％である。
- 「特色Ⅲ. 政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。」の魅力度は91.7％である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

企業対象

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」の特色に対する魅力度

■千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」「総合政策学部　政策情報学科」の特色に対する魅力度

Q9. 千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。（それぞれ、ひとつずつ）

特色Ⅰ. 総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。

特色Ⅱ. 経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています。

特色Ⅲ. 政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	魅力度（※）	無回答
総合政策学部	特色Ⅰ	528	58.1 307	39.0 206	2.7 14	0.2 1	97.2 513	0.0 0
経済学科	特色Ⅱ	528	53.6 283	43.9 232	2.5 13	0.0 0	97.5 515	0.0 0
政策情報学科	特色Ⅲ	528	46.4 245	45.3 239	8.3 44	0.0 0	91.7 484	0.0 0

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

企業対象

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」の社会的必要性

- 「総合政策学部　経済学科」各コースについての社会的必要性は以下のとおり。
- 「経済学と政策を中心とした視点から社会課題の解決法を考察 経済政策コース」を「必要だと思う」と回答した企業は96.4％（**509企業**）。
- 「経済学や統計・情報分野の知識を生かしたデータ分析の手法を学習 経済データ分析コース」を「必要だと思う」と回答した企業は98.7％（**521企業**）。
- 「経済学の分析手法をビジネスで活用する実践力を養成 ビジネス経済コース」を「必要だと思う」と回答した企業は97.5％（**515企業**）。
- 多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科と捉えていることがうかがえる。

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 「総合政策学部　経済学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業は97.7％（**516企業**）であり、予定している入学定員150名を上回る数の採用意向企業がみられた。
- 「総合政策学部　経済学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業へ、「総合政策学部　経済学科」のどのコース卒業生を採用したいか聞いたところ、各コースの採用意向は以下のとおり。
- 「コースは問わない」・・・91.7％（**473企業**）
  「経済政策コース」・・・4.1％（**21企業**）
  「経済データ分析コース」・・・4.5％（**23企業**）
  「ビジネス経済コース」・・・4.5％（**23企業**）
- 「総合政策学部　経済学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業へ、「総合政策学部　経済学科」卒業生の採用を年間何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**962名**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。
  このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象

千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

■千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」の社会的必要性

Q10.貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。各学科が設置しているコース別にご意見をお聞かせください。（それぞれ、ひとつだけ）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	必要だと思う	必要だと思わない	無回答
経済政策コース	528	96.4 509	3.6 19	0.0 0
経済データ分析コース	528	98.7 521	1.3 7	0.0 0
ビジネス経済コース	528	97.5 515	2.5 13	0.0 0

■千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」卒業生に対する採用意向

Q11.貴社・貴団体（ご回答者）では、千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、ひとつだけ）※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	採用したいと思う	採用したいと思わない	無回答
全体	528	97.7 516	2.3 12	0.0 0

「採用したいと思う」と答えた516企業のみ抽出

■千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」各コース卒業生に対する採用意向

Q12.先ほど「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」（仮称、設置構想中）のどのコースの卒業生について、採用したいと思われますか。（いくつでも）
※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	コースは問わない	経済政策コース	経済データ分析コース	ビジネス経済コース	無回答
全体	516	91.7 473	4.1 21	4.5 23	4.5 23	0.0 0

※%の母数は、「総合政策学部　経済学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（516企業）

■千葉商科大学「総合政策学部　経済学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q14.先ほど「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（それぞれ、ひとつだけ）※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上		毎年の採用想定人数を示した企業数・計および採用想定人数・計（※）
全体	516	%	63.2%	18.8%	9.3%	1.4%	4.3%	3.1%		
		企業数	326	97	48	7	22	16	⇒	516
		名	326	194	144	28	110	160		962

※%の母数は、「総合政策学部　経済学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（516企業）

※ 毎年の採用想定人数・計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

企業対象

千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」の社会的必要性

- 「総合政策学部　政策情報学科」各コースについての社会的必要性は以下のとおり。
- 「地域共創による問題解決に取り組むリーダーを育成 地域政策コース」を「必要だと思う」と回答した企業は95.3％（**503企業**）。
- 「社会科学の幅広い知識と分析能力を生かして社会を洞察する力を育成 地域経営コース」を「必要だと思う」と回答した企業は96.0％（**507企業**）。
- 「調査能力とデジタルリテラシーを生かし、地域に貢献する人材を育成 政策メディアコース」を「必要だと思う」と回答した企業は96.2％（**508企業**）。
- 多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科と捉えていることがうかがえる。

千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 「総合政策学部　政策情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業は96.4％（**509企業**）であり、予定している入学定員150名を上回る採用意向がみられた。
- 「総合政策学部　政策情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業へ、「総合政策学部　政策情報学科」のどのコース卒業生を採用したいか聞いたところ、各コースの採用意向は以下のとおり。
- 「コースは問わない」・・・91.9％（**468企業**）
  「地域政策コース」・・・3.9％（**20企業**）
  「地域経営コース」・・・4.5％（**23企業**）
  「政策メディアコース」・・・3.9％（**20企業**）
- 「総合政策学部　政策情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業へ、「総合政策学部　政策情報学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**960名**で、予定している入学定員数を大きく上回る採用意向がみられた。
  このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象

千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

■千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」の社会的必要性

Q10.貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。各学科が設置しているコース別にご意見をお聞かせください。（それぞれ、ひとつだけ）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	必要だと思う	必要だと思わない	無回答
地域政策コース	528	95.3 503	4.7 25	0.0 0
地域経営コース	528	96.0 507	4.0 21	0.0 0
政策メディアコース	528	96.2 508	3.8 20	0.0 0

■千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」卒業生に対する採用意向

Q11.貴社・貴団体（ご回答者）では、千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、ひとつだけ）※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	採用したいと思う	採用したいと思わない	無回答
全体	528	96.4 509	3.6 19	0.0 0

「採用したいと思う」と答えた509企業のみ抽出

■千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」各コース卒業生に対する採用意向

Q13.先ほど「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「政策情報学科」（仮称、設置構想中）のどのコースの卒業生について、採用したいと思われますか。（いくつでも）※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	コースは問わない	地域政策コース	地域経営コース	政策メディアコース	無回答
全体	509	91.9 468	3.9 20	4.5 23	3.9 20	0.0 0

※%の母数は、「総合政策学部　政策情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（509企業）

■千葉商科大学「総合政策学部　政策情報学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q14.先ほど「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（それぞれ、ひとつだけ）※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上		毎年の採用想定人数を示した企業数・計および採用想定人数・計（※）
全体	509	%	61.7%	19.8%	9.2%	1.4%	4.9%	2.9%		
		企業数	314	101	47	7	25	15	⇒	509
		名	314	202	141	28	125	150		960

※%の母数は、「総合政策学部　政策情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（509企業）

※ 毎年の採用想定人数・計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

巻末資料　調査票

企業対象

調査票

採用に関するWebアンケート

選択肢記号の説明
□　複数選択（チェックボックス）
○　単一選択（ラジオボタン）
▽　単一選択（プルダウン）

SAR

Q1 アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。（ひとつだけ）

○ 1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
○ 2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
○ 3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

SAP

Q2 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えください。（ひとつだけ）

▽ 1. 北海道
▽ 2. 青森県
▽ 3. 岩手県
▽ 4. 宮城県
▽ 5. 秋田県
▽ 6. 山形県
▽ 7. 福島県
▽ 8. 茨城県
▽ 9. 栃木県
▽ 10. 群馬県
▽ 11. 埼玉県
▽ 12. 千葉県
▽ 13. 東京都
▽ 14. 神奈川県
▽ 15. 新潟県
▽ 16. 富山県
▽ 17. 石川県
▽ 18. 福井県
▽ 19. 山梨県
▽ 20. 長野県
▽ 21. 岐阜県
▽ 22. 静岡県
▽ 23. 愛知県
▽ 24. 三重県
▽ 25. 滋賀県
▽ 26. 京都府
▽ 27. 大阪府
▽ 28. 兵庫県
▽ 29. 奈良県
▽ 30. 和歌山県
▽ 31. 鳥取県
▽ 32. 島根県
▽ 33. 岡山県
▽ 34. 広島県
▽ 35. 山口県
▽ 36. 徳島県
▽ 37. 香川県
▽ 38. 愛媛県
▽ 39. 高知県
▽ 40. 福岡県
▽ 41. 佐賀県
▽ 42. 長崎県
▽ 43. 熊本県
▽ 44. 大分県
▽ 45. 宮崎県
▽ 46. 鹿児島県
▽ 47. 沖縄県
▽ 48. その他

企業対象

調査票

SAP

Q3

あなたご自身の勤務先について、都道府県名をお教えください。（ひとつだけ）

▽ 1. 北海道
▽ 2. 青森県
▽ 3. 岩手県
▽ 4. 宮城県
▽ 5. 秋田県
▽ 6. 山形県
▽ 7. 福島県
▽ 8. 茨城県
▽ 9. 栃木県
▽ 10. 群馬県
▽ 11. 埼玉県
▽ 12. 千葉県
▽ 13. 東京都
▽ 14. 神奈川県
▽ 15. 新潟県
▽ 16. 富山県
▽ 17. 石川県
▽ 18. 福井県
▽ 19. 山梨県
▽ 20. 長野県
▽ 21. 岐阜県
▽ 22. 静岡県
▽ 23. 愛知県
▽ 24. 三重県
▽ 25. 滋賀県
▽ 26. 京都府
▽ 27. 大阪府
▽ 28. 兵庫県
▽ 29. 奈良県
▽ 30. 和歌山県
▽ 31. 鳥取県
▽ 32. 島根県
▽ 33. 岡山県
▽ 34. 広島県
▽ 35. 山口県
▽ 36. 徳島県
▽ 37. 香川県
▽ 38. 愛媛県
▽ 39. 高知県
▽ 40. 福岡県
▽ 41. 佐賀県
▽ 42. 長崎県
▽ 43. 熊本県
▽ 44. 大分県
▽ 45. 宮崎県
▽ 46. 鹿児島県
▽ 47. 沖縄県
▽ 48. その他

SAR

Q4

貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。（ひとつだけ）
※複数あてはまる場合は、最も主な業種をお選びください。

○ 1. 農・林・漁・鉱業
○ 2. 建設業
○ 3. 製造業
○ 4. 電気・ガス・熱供給・水道業
○ 5. 情報通信業
○ 6. 運輸業
○ 7. 卸売・小売業
○ 8. 金融・保険業
○ 9. 不動産業
○ 10. 飲食店・宿泊業
○ 11. 医療・福祉
○ 12. 複合サービス事業
○ 13. サービス業
○ 14. 公務
○ 15. その他

企業対象

調査票

SAR **Q5**

貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。（ひとつだけ）

○ 1. 50名未満
○ 2. 50名～100名未満
○ 3. 100名～500名未満
○ 4. 500名～1，000名未満
○ 5. 1，000名～5，000名未満
○ 6. 5，000名以上

SAR **Q6**

貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の新卒採用数について、お教えください。
（ひとつだけ）

○ 1. 0名
○ 2. 1名～5名未満
○ 3. 5名～10名未満
○ 4. 10名～20名未満
○ 5. 20名～30名未満
○ 6. 30名～50名未満
○ 7. 50名～100名未満
○ 8. 100名以上

SAR **Q7**

貴社・貴団体の本年度の新卒採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。
（ひとつだけ）

○ 1. 増やす
○ 2. 昨年度並み
○ 3. 減らす
○ 4. 未定

MAC **Q8**

貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
（いくつでも）

□ 1. 商学・経済学（経営学含む）
□ 2. 政策情報学
□ 3. 法学・政治学
□ 4. 社会学
□ 5. 人文科学（文学、史学、哲学など）
□ 6. 理学・工学（数学、化学、機械工学など）
□ 7. 農学（農学、林学、水産学など）
□ 8. 保健（医学、歯学、薬学、看護学など）
□ 9. 教育（教育学、体育学など）
□ 10. その他
□ 11. わからない

MTS **Q9**

千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、ひとつずつ）

項目リスト

Q9S1	1.	総合政策学部では、複雑化する社会の課題を分析する理論や手法を修得し、問題解決の提案力、情報発信における表現力を身につけます。
Q9S2	2.	経済学科では、経済政策やデータ分析を重視し、社会課題の発見と解決をめざします。統計学やデータ分析を学べるコースも開設しています。
Q9S3	3.	政策情報学科では、地域政策や地域経営などを学び、地域コミュニティを起点に、より良い社会のあり方を追求します。メディアを学べるコースも開設しています。

選択肢リスト

○ 1. とても魅力を感じる
○ 2. ある程度魅力を感じる
○ 3. あまり魅力を感じない
○ 4. まったく魅力を感じない

企業対象

調査票

MTS **Q10**

貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。
各学科が設置しているコース別にご意見をお聞かせください。（それぞれ、ひとつだけ）

項目リスト

Q10S1	1.	経済学と政策を中心とした視点から社会課題の解決法を考察経済政策コース
Q10S2	2.	経済学や統計・情報分野の知識を生かしたデータ分析の手法を学習経済データ分析コース
Q10S3	3.	経済学の分析手法をビジネスで活用する実践力を養成ビジネス経済コース
Q10S4	4.	地域共創による問題解決に取り組むリーダーを育成地域政策コース
Q10S5	5.	社会科学の幅広い知識と分析能力を生かして社会を洞察する力を育成地域経営コース
Q10S6	6.	調査能力とデジタルリテラシーを生かし、地域に貢献する人材を育成政策メディアコース

選択肢リスト

○ 1. 必要だと思う
○ 2. 必要だと思わない

MTS **Q11**

貴社・貴団体（ご回答者）では、千葉商科大学 総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、ひとつだけ）
※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

項目リスト

Q11S1	1.	総合政策学部 経済学科
Q11S2	2.	総合政策学部 政策情報学科

選択肢リスト

○ 1. 採用したいと思う
○ 2. 採用したいと思わない

MAC **Q12**

先ほど「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」（仮称、設置構想中）のどのコースの卒業生について、採用したいと思われますか。（いくつでも）
※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

□ 1. コースは問わない
□ 2. 経済政策コース
□ 3. 経済データ分析コース
□ 4. ビジネス経済コース

MAC **Q13**

先ほど「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「政策情報学科」（仮称、設置構想中）のどのコースの卒業生について、採用したいと思われますか。（いくつでも）
※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

□ 1. コースは問わない
□ 2. 地域政策コース
□ 3. 地域経営コース
□ 4. 政策メディアコース

調査票

MTS

Q14

先ほど「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、千葉商科大学　総合政策学部「経済学科」「政策情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（それぞれ、ひとつだけ）
※人物個人に対する評価は考慮せずご回答ください。

項目リスト

Q14S1	1.　総合政策学部 経済学科
Q14S2	2.　総合政策学部 政策情報学科

選択肢リスト

○	1.　1名
○	2.　2名
○	3.　3名
○	4.　4名
○	5.　5名～9名
○	6.　10名以上

SAR

Q15

あなたは、このアンケートに回答するよりも前に、
今回の調査と同じ内容（質問）の、千葉商科大学　総合政策学部（仮称、設置構想中）に関するアンケート調査に回答したことがありますか。（ひとつだけ）

○	1.　同じ調査に回答したことはない（このアンケートが初めて）
○	2.　同じ調査に回答したことがある

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	ハラ　シナ　サチ　ヒコ 原　科　幸　彦 ＜平成29（2017）年３月＞		工学博士		千葉商科大学学長 （平成29（2017）年３月～令和７（2025）年３月） ※東京工業大学名誉教授 （平成24（2012）年４月）

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
1	基(主専)	教授 (学部長)	イマイ　シゲオ 今井　重男 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経営学)		学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 2後 3前 3後 4前 4後	0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成22(2010)年4月)	○					
2	基(主専)	准教授 (学科長)	タハラ　シンジ 田原　慎二 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		データ分析入門 経済統計学I 経済統計学II マクロ経済学II 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 社会科学のための情報学特論※ データ活用の統計学実践 総合教養C 総合教養F	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前・後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2 0.8 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成29(2017)年4月)	○					
3	基(主専)	教授	イソヤマ　トモユキ 磯山　友幸 ＜令和7(2025)年4月＞		経済学学士		ジャーナリズム論 経済入門 企業経済学 日本経済論 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1前 2・3・4後 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	4 4 2 2 0.1 2 2 2 2 2	2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 教授 (令和3(2021)年4月)	○					
4	基(主専)	教授	ウツミ　ユキヒサ 内海　幸久 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		ゲーム理論 ミクロ経済学II ミクロ経済学III 経済シミュレーション 経済政策論I 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4前・後 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成19(2007)年4月)	○					
5	基(主専)	教授	エバト　ジュンジ 江波戸　順史 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		財政学I 財政学II 地方財政論 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 総合教養A 総合教養D	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 0.1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成27(2015)年4月)	○					
6	基(他)	教授	ヤマダ　タケシ 山田　武 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済学)		ミクロ経済学I データ分析入門 政治的公正と経済 医療経済学 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成7(1995)年4月)	○					国際教養学部 基(他)
7	基(主専)	准教授	オオガ　キヨコ 大賀　紀代子 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		経済史I 経済史II ヨーロッパ経済論 西洋経済史 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 1前 1後	2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成27(2015)年4月)	○					
8	基(主専)	准教授	オオツカ　シゲアキ 大塚　茂晃 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		金融論I 金融論II マクロ経済学I 経済政策論II 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 1後 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 0.7 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成28(2016)年4月)	○					

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　員　の　氏　名　等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
9	基(主専)	准教授	クラタ　コウゾウ 蔵田　幸三 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		産業政策論I 産業政策論II 地域経済論I 地域経済論II 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成31(2019)年4月)	○					
10	基(主専)	准教授	ゴトウ　ヒロシ 後藤　啓 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		経済数学 国際経済学I 国際経済学II 都市経済学 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 総合教養B 総合教養E	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1・2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成28(2016)年4月)	○					
11	基(主専)	准教授	サトウ　テツアキ 佐藤　哲彰 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済政策)		ミクロ経済学I ミクロ経済学II 労働経済学I 労働経済学II 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 人間社会学部 准教授 (平成23(2011)年4月)	○					
12	基(主専)	准教授	ナカオ　マサト 中尾　将人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		国際金融論I 国際金融論II マクロ経済学I マクロ経済学II マクロ経済学III 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 1後 2・3・4前・後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成31(2019)年4月)	○					
13	基(主専)	准教授	フジタ　タスク 藤田　輔 ＜令和8(2026)年4月＞		修士※(経済学)		開発経済論I 開発経済論II アジア経済論 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成31(2019)年4月)	○					
14	基(主専)	准教授	マツザキ　アケヨシ 松崎　朱芳 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		GIS入門 交通経済学I 交通経済学II 産業組織論I 産業組織論II 計量経済学I 計量経済学II 計量経済学演習 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成30(2018)年4月)	○					
15	基(他)	教授	コバヤシ　ワタル 小林　航 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		公共経済学I 公共経済学II 行動経済学 公共選択論	○ ○ ○ 	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 2	1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成22(2010)年4月)	○					亜細亜大学経済学部 基(主専)
16	その他	教授	アサヒナ　タケシ 朝比奈　剛 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済学)		アメリカ経済論		2・3・4前	2	1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成15(2003)年4月)						人間社会学部 基(主専)
17	その他	教授	アラカワ　トシヒコ 荒川　敏彦 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(文化科学)		社会思想史入門		1・2・3・4前・後	2	1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成23(2011)年4月)						人間社会学部 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況 教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
18	その他	教授	イトウ　ヤスシ 伊藤　康 ＜令和7(2025)年4月＞		経済学修士※		環境経済学	○	2・3・4前	2	1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成7(1995)年4月)						人間社会学部 基(主専)
19	その他	教授	エノキド　ケイスケ 榎戸　敬介 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(計画学)		政策デザイン実践※	○	2・3・4後	0.6	1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (2017(平成29)年4月)						
20	その他	教授	オオヤノ　ジュン 大矢野　潤 ＜令和7(2025)年4月＞		理学修士※		情報入門 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV プログラミング入門 情報化社会のための数学入門 社会科学のための情報学特論※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2 4 0.1	1 1 1 1 1 1 1 1 2 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成8(1996)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
21	その他	教授	オキシオ　ユキコ 沖塩　有希子 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(教育学)		教育学入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成23(2011)年4月)						商経学部 基(主専)
22	その他	教授	オグロ　タケシ 小黒　岳志 ＜令和7(2025)年4月＞		教育学修士		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 英語コミュニケーション基礎A 異文化コミュニケーション（英語） Grammar in Use	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成7(1995)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
23	その他	教授	カシワギ　マサヒロ 柏木　将宏 ＜令和8(2026)年4月＞		修士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成8(1996)年5月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	カシワギ　マサヒロ 柏木　将宏 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前	2 2 2 2	1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)
24	その他	教授	カマタ　ミツノブ 鎌田　光宣 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		情報入門 情報科学概論	○	1前 1・2・3・4前・後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成16(2004)年4月)						人間社会学部 基(主専)
25	その他	教授	クボ　ヒロヤ 久保　裕也 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(政策・メディア)		実験社会科学 社会科学のための情報学特論※	○	2・3・4前 1・2・3・4後	2 0.1	1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成14(2002)年4月)						国際教養学部 基(他)
26	その他	教授	クボ　マコト 久保　誠 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(工学)		社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4後	0.1	1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成9(1997)年4月)						商経学部 基(主専)
27	その他	教授	ゴウハラ　リエ 合原　理映 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(法学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 日本国憲法 法学入門(公法)	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成19(2007)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
28	その他	教授	ゴタンダ　カツヤ 五反田　克也 ＜令和10(2028)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成19(2007)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	ゴタンダ　カツヤ 五反田　克也 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII	○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後	2 2 2 2	1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況 教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
29	その他	教授	ゴ　チュウカ 呉　仲華 ＜令和7(2025)年4月＞		大学（専科）（中国）		自分未来ゼミ 実学入門II 中国語とその世界 中国語コミュニケーション入門 中国語コミュニケーション基礎 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前・後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 3前 3後 4前 4後	2 2 4 2 2 2 2 2 2	1 1 2 1 1 1 1 1 1	CUC市川研究機構 教授 (平成28(2016)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
30	その他	教授	サガラ　ヨウイチロウ 相良　陽一郎 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(心理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 社会ネットワーク論 認知心理学入門	○ ○ 	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成16(2004)年4月)						商経学部 基(主専)
31	その他	教授	サクライ　カズノリ 櫻井　和典 ＜令和7(2025)年4月＞		学士(社会学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成26(2014)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
32	その他	教授	シュ　ミン 朱　珉 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 中国語とその世界 異文化コミュニケーション(中国語) 中国語コミュニケーション入門 ビジネス中国語 実用中国語	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成24(2012)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
33	その他	教授	ジンボ　マサト 神保　雅人 ＜令和7(2025)年4月＞		理学博士		自分未来ゼミ 実学入門II データサイエンス入門 物理学と社会	○ ○ 	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成21(2009)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
34	その他	教授	スギタ　フミ 杉田　文 ＜令和7(2025)年4月＞		学術修士(環境科学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 環境倫理 自然地理学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成7(1995)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
35	その他	教授	スギモト　タクヤ 杉本　卓也 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		自分未来ゼミ 実学入門II データビジュアライゼーション※	○ ○ ○	1前 1後 2・3・4前	2 2 0.6	1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成24(2012)年4月)						
36	その他	教授	セキグチ　ユウスケ 関口　雄祐 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 生命倫理 生物学入門 テクノロジー論※	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 4 1.1	1 1 1 1 1 1 2 2 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成20(2008)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
37	その他	教授	タキザワ　アツヒロ 滝澤　淳浩 ＜令和7(2025)年4月＞		商学士		CSR経営論		2・3・4前	2	1	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (2015(平成27)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
38	その他	教授	タニガワ　キミエ 谷川　喜美江 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成24(2012)年4月)						商経学部 基(主専)
39	その他	教授	ツチヤ　カズユキ 土屋　和之 ＜令和7(2025)年4月＞		商学修士※		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成10(1998)年4月)						商経学部 基(主専)
40	その他	教授	テガ　ヨウイチ 手賀　洋一 ＜令和9(2027)年4月＞		学士(政治学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (令和2(2020)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	テガ　ヨウイチ 手賀　洋一 ＜令和7(2025)年4月＞		学士(政治学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
41	その他	教授	デグチ　ヒロシ 出口　弘 ＜令和7(2025)年4月＞		理学博士		社会科学のための情報学特論※ データサイエンスのための数学		1・2・3・4後 1・2・3・4後	0.1 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (令和3(2021)4月)						商経学部 基(主専)
42	その他	教授	テシガワラ　タカユキ 勅使河原　隆行 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成26(2014)年4月)						人間社会学部 基(主専)
43	その他	教授	テラノ　タカオ 寺野　隆雄 ＜令和7(2025)年4月＞		工学博士		社会科学のための情報学特論※ AI概論 統計システム開発実習I 統計システム開発実習II		1・2・3・4後 2・3・4前 3・4前 3・4後	0.1 2 2 2	1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 教授 (平成31(2019)年4月)						基盤教育機構 その他
44	その他	教授	ナカノ　ユウキ 仲野　友樹 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経営学)		情報入門 社会科学のための情報学特論※	○	1前 1・2・3・4後	2 0.1	1 1	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成26(2014)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
45	その他	教授	ナカムラ　アキラ 中村　晃 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(人間科学)		自分未来ゼミ 実学入門II 応用心理学入門 心理学入門	○ ○	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成14(2002)年4月)						商経学部 基(主専)
46	その他	教授	ニシオ　ジュン 西尾　淳 ＜令和7(2025)年4月＞		芸術学士		地域共創デザイン論		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成26(2014)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
47	その他	教授	ハシモト　タカコ 橋本　隆子 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成21(2009)年4月)						商経学部 基(主専)
48	その他	教授	ヒラハラ　タカシ 平原　隆史 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(地球環境学)		社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4後	0.1	1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成18(2006)年4月)						人間社会学部 基(主専)
49	その他	教授	マツダ　カズヒサ 松田　和久 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(法学)		法学入門(私法)		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成14(2002)年4月)						商経学部 基(主専)
50	その他	教授	ミノハラ　タツオ 箕原　辰夫 ＜令和7(2025)年4月＞		工学修士※		データサイエンスのためのプログラミングI データサイエンスのためのプログラミングII 社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4後 2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 0.1	1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成9(1997)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
51	その他	教授	ミヤタ　ダイスケ 宮田　大輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(工学)		情報処理 社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	4 0.1	2 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成18(2006)年4月)						商経学部 基(主専)
52	その他	教授	モロオ　アキコ 師尾　晶子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士※(西洋史学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 社会史入門 歴史学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成9(1997)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
53	その他	教授	ヤマウチ　マリ 山内　真理 ＜令和7(2025)年4月＞		言語文化学修士※		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 英語コミュニケーション基礎A 国際語としての英語 Digital Communication 海外短期文化研修I 海外短期文化研修II 海外長期文化研修I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成22(2010)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
54	その他	教授	ヤマザキ　サトシ 山崎　聡 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士※		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 英語コミュニケーション基礎B 異文化コミュニケーション（英語） Extensive Reading & Listening	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成4(1992)年4月)						基盤教育機構 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況 教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
55	その他	教授	ユズリハラ　アキコ 譲原　晶子 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(文学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 芸術理論研究入門 演劇・身体表現論 テクノロジー論※	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 4 0.3	1 1 1 1 1 1 2 2 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成12(2000)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
56	その他	教授	ヨシダ　マサヒト 吉田　正人 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(商学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成20(2008)年4月)						商経学部 基(主専)
57	その他	教授	ワダ　ヨシト 和田　義人 ＜令和7(2025)年4月＞		経済学士		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成26(2014)年4月)						人間社会学部 基(主専)
58	その他	教授	ワタナベ　ヤスヒト 渡辺　恭人 ＜令和10(2028)年4月＞		博士(政策・メディア)		自分未来ゼミ 実学入門II 情報入門 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV テクノロジー論※ 社会科学のための情報学特論※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 0.3 0.1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成17(2005)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	ワタナベ　ヤスヒト 渡辺　恭人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策・メディア)		自分未来ゼミ 実学入門II 情報入門 研究ゼミI 研究ゼミII テクノロジー論※ 社会科学のための情報学特論※	○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前 3前 3後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 0.3 0.1	1 1 1 1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)
59	その他	准教授	オグチ　コウタ 小口　広太 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(農学)		サステナブルな地域づくり実践		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 人間社会学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						人間社会学部 基(主専)
59	その他	准教授	カゲウラ　リョウヘイ 影浦　亮平 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(哲学)		研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV SDGs論 倫理学入門 ビジネス倫理 経済思想史入門 イノベーション実践A 社会実践論	○ ○ ○ ○	3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後 1・2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
60	その他	准教授	ギルダート　サムエル GILDART　Samuel ＜令和7(2025)年4月＞		博士(国際開発)		英語とその世界 英語コミュニケーション基礎B	○	1前・後 1・2・3・4前・後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						商経学部 基(主専)
61	その他	准教授	グェン　トゥイ NGUYEN　Thuy ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 経済成長と社会問題 途上国貧困研究入門 テクノロジー論※ 地域研究B 多文化フィールドワークA	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 4 0.3 2 2	1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1	千葉商科大学 人間社会学部 准教授 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
62	その他	准教授	コバヤシ　ナオト 小林　直人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		情報入門 情報科学概論	○	1前 1・2・3・4前・後	2 6	1 3	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成24(2012)年4月)						商経学部 基(主専)
63	その他	准教授	シ　ミン 施　敏 ＜令和10(2028)年4月＞		大学(専科)(中国)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成16(2004)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	准教授	シ　ミン 施　敏 ＜令和7(2025)年4月＞		大学(専科)(中国)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII	○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後	2 2 2 2	1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況 教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
64	その他	准教授	シミズ　ヨシヒサ 清水　喜久 ＜令和7(2025)年4月＞		経営管理(M.B.A) 国際会計(M.B.A)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 サービス創造学部 准教授 (平成26(2014)年4月)						商経学部 基(主専)
65	その他	准教授	タナカ　シンイチロウ 田中　信一郎 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政治学)		政治学入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成31(2019)年4月)						人間社会学部 基(主専)
66	その他	准教授	ツネミ　ヨウヘイ 常見　陽平 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(社会学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成27(2015)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
67	その他	准教授	テシマ　ススム 手嶋　進 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(Master of Business Administration)		仕事の意思決定 地域に役立つ再生可能エネルギービジネス		2・3・4後 1・2・3・4前	2 2	1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成31(2019)年4月)						人間社会学部 基(主専)
68	その他	准教授	トウジョウ　ミワ 東条　美和 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済学)		簿記特講		1・2・3・4後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和4(2022)年4月)						商経学部 基(主専)
69	その他	准教授※ 令和8(2026)年4月教授昇任予定	ナガオ　タケユキ 長尾　雄行 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(数理科学)		情報入門 プログラミング入門 データビジュアライゼーション※ 政策デザイン実践※	○ ○ ○	1前 1・2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 0.6 0.7	1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						
70	その他	准教授	ナカヤマ　タクオ 中山　琢夫 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策科学)		エネルギー論		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和3(2021)年4月)						人間社会学部 基(主専)
71	その他	准教授	ネギシ　リョウヘイ 根岸　亮平 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(商学)		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						商経学部 基(主専)
72	その他	准教授	フジノ　カズキ 藤野　和樹 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(体育スポーツ学)		健康・スポーツ演習 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1前 1後 3前 3後 4前 4後	8 2 2 2 2 2 2	4 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成29(2017)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
73	その他	准教授	フチモト　サトシ 渕元　哲 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(法学)		国際政治学入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成27(2015)年4月)						
74	その他	准教授	マスオカ　ダイスケ 桝岡　大輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(学術)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 哲学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後	4 4 2 2 2 2 4	2 2 1 1 1 1 2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成27(2015)年5月)						基盤教育機構 基(主専)
75	その他	准教授	ミタムラ　サトシ 三田村　智 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(商学)		企業金融論I 企業金融論II	○ ○	2・3・4前 2・3・4後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成22(2010)年4月)						商経学部 基(主専)
76	その他	准教授	ムズラックル　ハリト MIZIRAKLI　Halit ＜令和9(2027)年4月＞		博士(文学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成27(2015)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	准教授	ムズラックル　ハリト MIZIRAKLI　Halit ＜令和7(2025)年4月＞		博士(文学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1							国際教養学部 基(主専)
77	その他	准教授	ワシヤ　コウスケ 鷲谷　浩輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(体育学)		コーチング論 健康・スポーツ演習 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1前 1後 3前 3後 4前 4後	4 4 2 2 2 2 2 2	2 2 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成29(2017)年4月)						基盤教育機構 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
78	その他	准教授	ワタナベ　ケイ 渡邉　圭 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成31(2019)年4月)						商経学部 基(主専)
79	その他	講師	アカギ　カヤ 赤木　茅 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		情報入門 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 情報実践 データ活用の統計学 データサイエンス実践 データサイエンスプロジェクトI データサイエンスプロジェクトII	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 講師 (平成31(2019)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
80	その他	講師	イケダ　タケヒデ 池田　威秀 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（理学）		化学と社会 地学入門 地球環境論		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 4 4	2 2 2	成蹊大学 経済学部 非常勤講師 （平成22（2010）年4月）						
81	その他	講師	イシイ　モトノリ 石井　元基 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（経済学）		経済学入門 経済思想史入門		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 2	2 1	日本学術振興会特別研究員（DC2） （令和5(2023)年9月）						
82	その他	講師	イシダ　サナエ 石田　早苗 ＜令和7(2025)年4月＞		M.A. in TESOL（米国）		Academic English Global Studies 英語とその世界	 ○	2・3・4前 1・2・3・4後 1前・後	2 2 4	1 1 2	有限会社デジタルメソッド （平成14（2002）年9月）						
83	その他	講師	イシダ　ミホコ 石田　美穂子 ＜令和8(2026)年4月＞		短期大学卒		インターンシップ概論 キャリア形成論 ディーセント・ワーク論 ライフヒストリー研究 就業力実践		2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 3・4前・後	4 2 2 2 4	2 1 1 1 2	千葉商科大学 人間社会学部 非常勤講師 （平成23（2011）年4月）						
84	その他	講師	イソザキ　サトコ 磯崎　聡子 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（言語学）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	筑波大学　グローバルコミュニケーション教育センター 非常勤講師 （平成24（2012）年4月）						
85	その他	講師	イ　チョンヒ 李　女正姫 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（法学）		韓国語コミュニケーション入門 韓国語コミュニケーション基礎 異文化コミュニケーション(韓国語)		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4	1 1 2	桜美林大学 LA学群 非常勤講師 （平成17（2005）年4月）						
86	その他	講師	イトウ　コウイチ 伊藤　宏一 ＜令和7(2025)年10月＞		文学修士 経済学修士		生活と金融リテラシーI	○	1後	6	3	千葉商科大学 人間社会学部 名誉教授 （令和6（2024）年4月）						
87	その他	講師	イマダ　タカユキ 今田　隆幸 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（法学）		税務実務入門I 税務実務入門II		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	アンカー税理士法人 代表社員 （平成25（2013）年10月）						
88	その他	講師	イワタ　カズマ 岩田　和馬 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（学術）		比較文化論 多文化フィールドワークB 多文化ワークショップ 民俗学入門		1・2・3・4前・後 2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前・後	4 2 2 4	2 1 1 2	元　ボアジチ大学 文理学部客員研究員 （令和5（2023）年1月まで）						
89	その他	講師	ウエマツ　キクマ 植松　希久磨 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（国際関係学）		中国語コミュニケーション基礎		1・2・3・4後	2	1	大東文化大学 外国語学部 非常勤講師 （平成7（1995）年4月）						
90	その他	講師	ウスイ　ハル 薄井　晴 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（理学）		人文地理学入門		1・2・3・4前・後	4	2	茨城キリスト教大学 文化交流学科 非常勤講師 （令和5(2023)年4月）						
91	その他	講師	ウチダ　トシオ 内田　俊郎 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（理学）		宇宙科学入門		1・2・3・4前・後	4	2	明治大学 非常勤講師 （平成12（2000）年4月）						
92	その他	講師	オオサワ　タケヒコ 大澤　岳彦 ＜令和7(2025)年4月＞		Master of Arts（学術修士：応用言語学）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	Studio Zenith 平成12（2000）年8月						
93	その他	講師	オカドメ　サトコ 岡留　聡子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	明治大学 文学部 非常勤講師 （平成7（1995）年4月）						
94	その他	講師	オガワ　リョウ 小川　亮 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(商学)		ビジネスエコノミクス	○	2・3・4後	2	1	千葉商科大学 商経学部 講師 (平成31(2019)年4月)						商経学部 基(主専)
95	その他	講師	オノ　サトル 小野　聡 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		データ分析プログラミング 人間行動論 社会科学のための情報学特論※ データビジュアライゼーション※	○ ○ ○	2・3・4後 2・3・4後 1・2・3・4後 2・3・4前	2 2 0.2 0.8	1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 講師 (令和2(2020)年4月)						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
96	その他	講師	オノデラ　シュンイチ 小野寺　峻一 ＜令和7(2025)年4月＞		教職修士（専門職）※		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	江戸川学園おおたかの森専門学校 非常勤講師 （令和5（2023）年4月）						
97	その他	講師	カイツカ　ヤスユキ 貝塚　泰幸 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（文学）※		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成25（2013）年4月）						
98	その他	講師	カガミ　ナルミ 加々美　成美 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（文学）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	青山学院大学 非常勤講師 （平成31（2019）年4月）						
99	その他	講師	カタダ　ヨウヘイ 片田　洋平 ＜令和7(2025)年4月＞		経営管理修士（専門職）		キャリア入門 就業力実践		1・2・3・4前・後 3・4前・後	8 4	4 2	株式会社NTTデータグループ 法人コンサルティング事業本部 課長 （令和6（2024）年3月）						
100	その他	講師	カツタニ　チエコ 勝谷　千恵子 ＜令和7(2025)年10月＞		専門学校		簿記特講		1・2・3・4後	4	2	れん税理士法人 （令和5（2023）年9月）						
101	その他	講師	カトウ　スミエ 加藤　澄恵 ＜令和7(2025)年10月＞		教育学修士（英国）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉大学 非常勤講師 （平成20（2008）年4月）						
102	その他	講師	クリハラ　ヨシコ 栗原　よし子 ＜令和7(2025)年10月＞		英文学士		英語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成21（2009）年4月）						
103	その他	講師	クロダ　ナオコ 黒田　尚子 ＜令和7(2025)年10月＞		学士（法学）		生活と金融リテラシーI	○	1後	2	1	黒田尚子FPオフィス 代表 （平成10（1998）年4月）						
104	その他	講師	コバヤシ　タダヨシ 小林　忠好 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成9（1997）年4月）						
105	その他	講師	サイトウ　ハンナ 齋藤　帆奈 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（学際情報学）		文化創造論		1・2・3・4前・後	4	2	東京造形大学 非常勤講師 （令和5(2023)年4月）						
106	その他	講師	サクダ　クミコ 作田　久美子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 非常勤講師 （平成16（2004）年4月）						
107	その他	講師	サトウ　ユウキ 佐藤　優希 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（スポーツ健康学）		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	法政大学リベラルアーツセンター 兼任講師 （令和3（2021）年4月）						
108	その他	講師	サトウ　リョウト 佐藤　竜人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（学術）		現代思想入門 社会思想史入門		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 2	2 1	元　東京大学 教養学部 ティーチングアシスタント （令和4（2022）年9月まで）						
109	その他	講師	サワダ　ナリミ 佐和田　成美 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（学術）※		中国語とその世界	○	1前・後	2	1	東京外国語大学 言語文化学部 非常勤講師 （平成23（2011）年4月）						
110	その他	講師	サワノ　ミユキ 沢野　美由紀 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（文学）		日本語とその世界		1前	2	1	千葉大学 国際教育センター 非常勤講師 （平成29（2017）年4月）						
111	その他	講師	シラト　サユリ 白土　さゆり ＜令和7(2025)年10月＞		法学士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	慶應義塾中等部 非常勤講師 （平成30（2018）年4月）						
112	その他	講師	スガワラ　ノリコ 菅原　典子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士（イギリス文学）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成7（1995）年4月）						
113	その他	講師	タカシマ　タケシ 高島　健 ＜令和7(2025)年10月＞		学士（経済学）		生活と金融リテラシーI	○	1後	4	2	株式会社たかしまFPサービス 代表 （平成21（2009）年1月）						
114	その他	講師	タカハシ　マミ 高橋　麻美 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（社会科学）		社会学入門		1・2・3・4前・後	4	2	川崎市役所 市民文化局人権・男女共同参画室 男女共同参画政策専門調査員 （平成26（2014）年4月）						
115	その他	講師	タケイ　ダイスケ 武井　大輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（体育学）		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	東京薬科大学 生命科学部 非常勤講師 （平成11（1999）年4月）						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
116	その他	講師	タケウチ　ヒサヨシ 竹内　久善 ＜令和7(2025)年4月＞		体育学修士		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	千葉商科大学 非常勤講師 （平成13（2001）年4月）						
117	その他	講師	タダ（ノガミ）　ヨシコ 多田（野上）　佳子 ＜令和7(2025)年10月＞		文学士		中国語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉工業大学 非常勤講師 （平成8（1996）年4月）						
118	その他	講師	タナカ（ヤスイ）　ナオミ 田中（安井）　尚実 ＜令和7(2025)年4月＞		学士（教育学）		業界・企業研究A(IT、金融ビジネス) 生活と金融リテラシーII 生活と金融リテラシーIII		2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2	1 1 1	株式会社ライフプラッサム 代表取締役 （平成24（2012）年1月）						
119	その他	講師	タマカワ　アスミ 玉川　明日美 ＜令和7(2025)年10月＞		修士(文学)		英語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成26（2014）年4月）						
120	その他	講師	トガワ　カズナリ 戸川　和成 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(社会科学)		政策デザイン実践※	○	2・3・4後	0.7	1	千葉商科大学 政策情報学部 講師 （令和2(2020)年4月）						
121	その他	講師	ナガハマ　カズヨ 長濱　和代 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（環境科学）※		情報実践 情報倫理		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 4	2 2	お茶の水女子大学附属校 教諭 （令和5（2023）年4月）						
122	その他	講師	ナルジ　ソウタ 成地　草太 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（史学）		多文化共生社会論		1・2・3・4前・後	4	2	公益財団法人東洋文庫 臨時職員 （令和5(2023)年5月）						
123	その他	講師	ノガワ（オカダ）　ヒロミ 野川（岡田）　浩美 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		英語とその世界	○	1前・後	2	1	明治大学 文学部 非常勤講師 （平成2（1990）年4月）						
124	その他	講師	ノハラ　トシエ 野原　敏江 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（文学）※		国際語としての中国語		1・2・3・4前	2	1	東京都立大学 非常勤講師 （平成17（2005）年4月）						
125	その他	講師	ハギモト　ヨシヒデ 萩本　良秀 ＜令和8(2026)年4月＞		法学士		イノベーション実践B 業界・企業研究B(ホスピタリティ領域、グローバル領域)		2・3・4後 2・3・4前	2 2	1 1	元 株式会社ゼロイン （令和6（2024）年3月まで）						
126	その他	講師	ハシモト　カツミ 橋本　克己 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		文学研究入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 名誉教授 （令和6（2024）年4月）						
127	その他	講師	フクハラ　タカオ 福原　崇夫 ＜令和7(2025)年4月＞		会計修士（専門職）		中国語とその世界	○	1前・後	2	1	青山学院大学 非常勤講師 （平成12（2000）年4月）						
128	その他	講師	ベリー　ブライアン　デビット BERRY　Brian　David ＜令和8(2026)年4月＞		修士※(情報学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後	2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 2	千葉商科大学 国際教養学部 講師 （令和2(2020)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
	その他	講師	ベリー　ブライアン　デビット BERRY　Brian　David ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(情報学)		自分未来ゼミ 実学入門II 英語とその世界	○ ○ ○	1前 1後 1前・後	2 2 4	1 1 2							国際教養学部 基(主専)
129	その他	講師	ホリ　キミト 堀　公人 ＜令和7(2025)年4月＞		学士（経営学）		経理実務入門I 経理実務入門II		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	あると築地有限責任監査法人 代表パートナー （令和5（2023）年10月）						
130	その他	講師	ミカミ　リュウノスケ 三上　竜之介 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（武道・スポーツ）		健康・スポーツ演習 健康科学		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 4	2 2	合同会社ベストパフォーマンス （平成29（2017）年1月）						
131	その他	講師	ムラカミ　マキ 村上　眞紀 ＜令和7(2025)年4月＞		Master of Letters（英国）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成27（2015）年4月）						
132	その他	講師	モリノ　ユタカ 森野　豊 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（言語文化学）※		英語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （令和4（2022）年10月）						
133	その他	講師	ヤクボ　ノリヨシ 矢久保　典良 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（史学）		地域研究A 中国語とその世界	○	2・3・4前 1前・後	2 2	1 1	東洋大学 社会学部 非常勤講師 （平成31（2019）年4月）						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　員　の　氏　名　等

（総合政策学部経済学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
134	その他	講師	ヨシハラ　ユキコ 吉原　由紀子 ＜令和7(2025)年10月＞		M.S.Ed. In TESOL（米国）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	駒澤大学 非常勤講師 （平成30（2018）年4月）						
136	その他	講師	ワダ　ユリ 和田　ゆり ＜令和7(2025)年4月＞		修士（英語教育学 TESOL）（米国）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成8（1996）年4月）						
137	その他	助教	アライ　ユウタ 新井　裕太 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前	2 2 2 14	1 1 1 7	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 （令和3(2021)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
138	その他	助教	イチムラ　ユキ 市村　由起 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(学術)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 （令和5(2023)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
139	その他	助教	エグサ　リョウヘイ 江草　遼平 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(学術)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 （令和3(2021)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
140	その他	助教	ナガオカ　アツシ 長岡　篤 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前	2 2 2 14	1 1 1 7	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 （令和4(2022)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
141	その他	助教	ヨシダ　ケン 吉田　剣 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 （令和6(2024)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
142	その他	助教	ヨシダ（タジマ）　ミク 吉田（田島）　実久 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（学際情報学）		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 （令和6(2024)年4月）						基盤教育機構 基(主専)

1　教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。
2　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。
4　「教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況」の欄は，教育課程の編成等についての意思決定を行う会議体で所属予定の会議体がある場合，欄に「○」を記入すること。
5　「申請に係る大学等の職務に従事する週当たりの平均日数」及び「申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況」の欄は，基幹教員のみ記載すること。
6　「申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況」の欄は，申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）で基幹教員として勤務している場合，その大学及び学部等の名称及びそれらの学部等での教員区分を記載すること。

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
1	基(主専)	准教授※ (学科長) 令和8(2026)年4月 教授昇任予定	ナガオ　タケユキ 長尾　雄行 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(数理科学)		情報入門 プログラミング入門 データビジュアライゼーション※ 政策デザイン実践※ AIと社会 Webとソーシャルメディア デジタルツイン実践※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1・2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 0.6 0.7 2 2 1 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成30(2018)年4月)	○				
2	その他	未定	エノキド　ケイスケ 榎戸　敬介 ＜令和10(2028)年4月＞		博士(計画学)		政策デザイン実践※ 合意形成論 都市計画入門 都市政策・計画論 非営利組織論 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2前 2後 4前 4後	0.6 2 2 2 2 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成29(2017)年4月)						
	基(主専)	教授	エノキド　ケイスケ 榎戸　敬介 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(計画学)		政策デザイン実践※ 合意形成論 都市計画入門 都市政策・計画論 非営利組織論 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	0.6 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		○				
3	基(主専)	教授	クツキ　リョウ 朽木　量 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(史学)		政策情報学演習 質的調査法 政策情報学概論※ 地域文化政策論 地域社会と文化 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 2・3・4後 1前 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 0.7 2 2 1 0.7 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成16(2004)年4月)	○				
4	基(他)	教授	クボ　ヒロヤ 久保　裕也 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(政策・メディア)		実験社会科学 情報社会 社会科学のための情報学特論※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 0.1 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成14(2002)年4月)	○					国際教養学部 基(他)
5	基(主専)	教授	クルミサワ　ジュン 横沢　順 ＜令和7(2025)年4月＞		芸術学士		3次元アバター表現 デジタルツイン景観表現 デジタルツイン実践※ メディアスタディーズI メディアスタディーズII プランニングワークショップI※ プランニングワークショップII※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 1 2 2 0.7 0.7 0.7 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成12(2000)年10月)	○					
6	基(主専)	教授	スギモト　タクヤ 杉本　卓也 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		自分未来ゼミ 実学入門II 環境アセスメント 環境政策入門 環境政策論 地域環境マネジメント データビジュアライゼーション※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2 0.6 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成24(2012)年4月)	○					

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
7	基(主専)	准教授	オオクボ　ユウヤ 大久保　優也 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(法学)		公法各論 憲法特論 行政法 民法I 民法II 民法III 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 1・2・3・4後 2・3・4後 1・2・3・4前 2・3・4前 2・3・4前 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成28(2016)年4月)	○					
8	基(主専)	准教授	ゴトウ　カズキ 後藤　一樹 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(社会学)		ライフストーリーとメディア論 映像コミュニケーション 映像エスノグラフィ 現代社会学入門 プランニングワークショップI※ プランニングワークショップII※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 1・2・3・4前 2・3・4後 1後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 0.7 0.7 0.6 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成31(2019)年4月)	○					
9	基(主専)	准教授	フチモト　サトシ 渕元　哲 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(法学)		社会経済学 行政学 政治学特論 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 国際政治学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1・2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後	2 2 2 1 0.6 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成27(2015)年4月)	○					
10	基(主専)	准教授	ヨシハ　カズユキ 吉羽　一之 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(芸術)		情報編集論 視覚メディア論 広報メディアコミュニケーション デジタルリテラシー プランニングワークショップI※ プランニングワークショップII※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 4 2 2 0.6 0.6 0.7 0.7 2 2 2 2	1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 准教授 (平成27(2015)年4月)	○					
11	基(主専)	講師	オノ　サトル 小野　聡 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		データ分析プログラミング 人間行動論 政策分析とシステム思考 計画理論入門 政策情報学概論※ 社会科学のための情報学特論※ データビジュアライゼーション※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4後 2・3・4後 2・3・4後 1・2・3・4後 1前 1・2・3・4後 2・3・4前 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 0.6 0.2 0.8 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 専任講師 (令和2(2020)年4月)	○					
12	基(主専)	講師	トガワ　カズナリ 戸川　和成 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(社会科学)		公共政策論 コミュニティ政策論 公共政策入門 政策情報学概論※ 政治過程論 地域分析論 政策デザイン実践※ 学部基礎ゼミI※ 学部基礎ゼミII※ 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 1後 1前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後 2前 2後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 0.7 2 2 0.7 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 専任講師 (令和2(2020)年4月)	○					
13	その他	教授	アラカワ　トシヒコ 荒川　敏彦 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(文化科学)		社会思想史入門		1・2・3・4前・後	2	1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成23(2011)年4月)						人間社会学部 基(主専)
14	その他	教授	イソヤマ　トモユキ 磯山　友幸 ＜令和7(2025)年4月＞		経済学学士		ジャーナリズム論 経済入門 日本経済論	 ○ ○	1・2・3・4前・後 1前 2・3・4後	2 2 2	1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 教授 (令和3(2021)年4月)						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
15	その他	教授	エバト　ジュンジ 江波戸　順史 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		地方財政論 総合教養A 総合教養D	○	2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2	1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成27(2015)年4月)						
16	その他	教授	オオヤノ　ジュン 大矢野　潤 ＜令和7(2025)年4月＞		理学修士※		情報入門 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV プログラミング入門 情報化社会のための数学入門 社会科学のための情報学特論※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2 4 0.1	1 1 1 1 1 1 1 1 2 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成8(1996)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
17	その他	教授	オキシオ　ユキコ 沖塩　有希子 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(教育学)		教育学入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成23(2011)年4月)						商経学部 基(主専)
18	その他	教授	オグロ　タケシ 小黒　岳志 ＜令和7(2025)年4月＞		教育学修士		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 英語コミュニケーション基礎A 異文化コミュニケーション（英語） Grammar in Use	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成7(1995)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
19	その他	教授	カシワギ　マサヒロ 柏木　将宏 ＜令和8(2026)年4月＞		修士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成8(1996)年5月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	カシワギ　マサヒロ 柏木　将宏 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前	2 2 2 2	1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)
20	その他	教授	カマタ　ミツノブ 鎌田　光宣 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		情報入門 情報科学概論	○	1前 1・2・3・4前・後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成16(2004)年4月)						人間社会学部 基(主専)
21	その他	教授	クボ　マコト 久保　誠 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(工学)		社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4後	0.1	1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成9(1997)年4月)						商経学部 基(主専)
22	その他	教授	ゴウハラ　リエ 合原　理映 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(法学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 日本国憲法 法学入門(公法)	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成19(2007)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
23	その他	教授	ゴタンダ　カツヤ 五反田　克也 ＜令和10(2028)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成19(2007)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	ゴタンダ　カツヤ 五反田　克也 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII	○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後	2 2 2 2	1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)
24	その他	教授	ゴ　チュウカ 呉　仲華 ＜令和7(2025)年4月＞		大学（専科）（中国）		自分未来ゼミ 実学入門II 中国語とその世界 中国語コミュニケーション入門 中国語コミュニケーション基礎 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前・後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 3前 3後 4前 4後	2 2 4 2 2 2 2 2 2	1 1 2 1 1 1 1 1 1	CUC市川研究機構 教授 (平成28(2016)年4月)						基盤教育機構 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
25	その他	教授	コバヤシ　ワタル 小林　航 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		行動経済学	○	2・3・4前	2	1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成22(2010)年4月)						亜細亜大学経済学部 基(主専)
26	その他	教授	ゴン　エイジ 権　永詞 ＜2025(令和7)年4月＞		博士(政策・メディア)		現代文化論	○	2・3・4後	2	1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (2012(平成24)年4月)						人間社会学部 基(主専)
27	その他	教授	サガラ　ヨウイチロウ 相良　陽一郎 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(心理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 社会ネットワーク論 認知心理学入門	○ ○	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成16(2004)年4月)						商経学部 基(主専)
28	その他	教授	サクライ　カズノリ 櫻井　和典 ＜令和7(2025)年4月＞		学士(社会学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成26(2014)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
29	その他	教授	シュ　ミン 朱　珉 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 中国語とその世界 異文化コミュニケーション(中国語) 中国語コミュニケーション入門 ビジネス中国語 実用中国語	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成24(2012)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
30	その他	教授	ジンボ　マサト 神保　雅人 ＜令和7(2025)年4月＞		理学博士		自分未来ゼミ 実学入門II データサイエンス入門 物理学と社会	○ ○	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成21(2009)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
31	その他	教授	スギタ　フミ 杉田　文 ＜令和7(2025)年4月＞		学術修士(環境科学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 環境倫理 自然地理学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成7(1995)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
32	その他	教授	セキグチ　ユウスケ 関口　雄祐 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 生命倫理 生物学入門 テクノロジー論※	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 4 1.1	1 1 1 1 1 1 2 2 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成20(2008)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
33	その他	教授	タキザワ　アツヒロ 滝澤　淳浩 ＜令和7(2025)年4月＞		商学士		CSR経営論		2・3・4前	2	1	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (2015(平成27)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
34	その他	教授	タニガワ　キミエ 谷川　喜美江 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成24(2012)年4月)						商経学部 基(主専)
35	その他	教授	ツチヤ　カズユキ 土屋　和之 ＜令和7(2025)年4月＞		商学修士※		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成10(1998)年4月)						商経学部 基(主専)
36	その他	教授	テガ　ヨウイチ 手賀　洋一 ＜令和9(2027)年4月＞		学士(政治学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (令和2(2020)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	テガ　ヨウイチ 手賀　洋一 ＜令和7(2025)年4月＞		学士(政治学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1							国際教養学部 基(主専)
37	その他	教授	デグチ　ヒロシ 出口　弘 ＜令和7(2025)年4月＞		理学博士		社会科学のための情報学特論※ データサイエンスのための数学		1・2・3・4後 1・2・3・4後	0.1 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (令和3(2021)年4月)						商経学部 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
38	その他	教授	テシガワラ　タカユキ 勅使河原　隆行 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成26(2014)年4月)						人間社会学部 基(主専)
39	その他	教授	テラノ　タカオ 寺野　隆雄 ＜令和7(2025)年4月＞		工学博士		社会科学のための情報学特論※ AI概論 統計システム開発実習I 統計システム開発実習II		1・2・3・4後 2・3・4前 3・4前 3・4後	0.1 2 2 2	1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 教授 (平成31(2019)年4月)						基盤教育機構 その他
40	その他	教授	ナカノ　ユウキ 仲野　友樹 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経営学)		情報入門 社会科学のための情報学特論※	○	1前 1・2・3・4後	2 0.1	1 1	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成26(2014)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
41	その他	教授	ナカムラ　アキラ 中村　晃 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(人間科学)		自分未来ゼミ 実学入門II 応用心理学入門 心理学入門	○ ○	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成14(2002)年4月)						商経学部 基(主専)
42	その他	教授	ニシオ　ジュン 西尾　淳 ＜令和7(2025)年4月＞		芸術学士		地域共創デザイン論		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 サービス創造学部 教授 (平成26(2014)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
43	その他	教授	ハシモト　タカコ 橋本　隆子 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成21(2009)年4月)						商経学部 基(主専)
44	その他	教授	ヒラハラ　タカシ 平原　隆史 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(地球環境学)		社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4後	0.1	1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成18(2006)年4月)						人間社会学部 基(主専)
45	その他	教授	マツダ　カズヒサ 松田　和久 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(法学)		法学入門(私法)		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成14(2002)年4月)						商経学部 基(主専)
46	その他	教授	ミノハラ　タツオ 箕原　辰夫 ＜令和7(2025)年4月＞		工学修士※		データサイエンスのためのプログラミングI データサイエンスのためのプログラミングII 社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4後 2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 0.1	1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成9(1997)年4月)						サービス創造学部 基(主専)
47	その他	教授	ミヤタ　ダイスケ 宮田　大輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(工学)		情報処理 社会科学のための情報学特論※		1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	4 0.1	2 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成18(2006)年4月)						商経学部 基(主専)
48	その他	教授	モロオ　アキコ 師尾　晶子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士※(西洋史学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 社会史入門 歴史学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成9(1997)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
49	その他	教授	ヤマウチ　マリ 山内　真理 ＜令和7(2025)年4月＞		言語文化学修士※		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 英語コミュニケーション基礎A 国際語としての英語 Digital Communication 海外短期文化研修I 海外短期文化研修II 海外長期文化研修I	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成22(2010)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
50	その他	教授	ヤマザキ　サトシ 山崎　聡 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士※		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 英語コミュニケーション基礎B 異文化コミュニケーション（英語） Extensive Reading & Listening	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 教授 (平成4(1992)年4月)						基盤教育機構 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
51	その他	教授	ヤマダ　タケシ 山田　武 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済学)		ミクロ経済学I	○	2・3・4前	2	1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成7(1995)年4月)						
52	その他	教授	ユズリハラ　アキコ 譲原　晶子 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(文学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 芸術理論研究入門 演劇・身体表現論 テクノロジー論※	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 4 0.3	1 1 1 1 1 1 2 2 1	千葉商科大学 政策情報学部 教授 (平成12(2000)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
53	その他	教授	ヨシダ　マサヒト 吉田　正人 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(商学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成20(2008)年4月)						商経学部 基(主専)
54	その他	教授	ワダ　ヨシト 和田　義人 ＜令和7(2025)年4月＞		経済学士		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 人間社会学部 教授 (平成26(2014)年4月)						人間社会学部 基(主専)
55	その他	教授	ワタナベ　ヤスヒト 渡辺　恭人 ＜令和10(2028)年4月＞		博士(政策・メディア)		自分未来ゼミ 実学入門II 情報入門 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV テクノロジー論※ 社会科学のための情報学特論※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前・後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 0.3 0.1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 教授 (平成17(2005)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	教授	ワタナベ　ヤスヒト 渡辺　恭人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策・メディア)		自分未来ゼミ 実学入門II 情報入門 研究ゼミI 研究ゼミII テクノロジー論※ 社会科学のための情報学特論※	○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前 3前 3後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 0.3 0.1	1 1 1 1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)
56	その他	准教授	オオガ　キヨコ 大賀　紀代子 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成27(2015)年4月)						
57	その他	准教授	オオカゼ　カオル 大風　薫 ＜令和8(2026)年4月＞		博士（社会科学）		マーケティング論I	○	2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 准教授 （令和6（2024）年4月）						商経学部 基(主専)
58	その他	准教授	オオカツ　ヒロフミ 大勝　裕史 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(文学)		表象文化論 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界 国際語としての英語 Global Communication Language & Culture	○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後 1・2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後	4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
59	その他	准教授	オオツカ　シゲアキ 大塚　茂晃 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		マクロ経済学I	○	2・3・4後	2	1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成28(2016)年4月)						
60	その他	准教授	オグチ　コウタ 小口　広太 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(農学)		サステナブルな地域づくり実践		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 人間社会学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						人間社会学部 基(主専)
61	その他	准教授	カゲウラ　リョウヘイ 影浦　亮平 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(哲学)		研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV SDGs論 倫理学入門 ビジネス倫理 経済思想史入門 イノベーション実践A 社会実践論	○ ○ ○ ○	3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後 1・2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
62	その他	准教授	ギルダート　サムエル GILDART　Samuel ＜令和7(2025)年4月＞		博士(国際開発)		英語とその世界 英語コミュニケーション基礎B	○	1前・後 1・2・3・4前・後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						商経学部 基(主専)
63	その他	准教授	グェン　トゥイ NGUYEN　Thuy ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 経済成長と社会問題 途上国貧困研究入門 テクノロジー論※ 地域研究B 多文化フィールドワークA	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前	2 2 2 2 2 2 4 4 0.3 2 2	1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1	千葉商科大学 人間社会学部 准教授 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
64	その他	准教授	クラタ　コウゾウ 蔵田　幸三 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		地域経済論I 地域経済論II	○ ○	2・3・4前 2・3・4後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成31(2019)年4月)						
65	その他	准教授	ゴトウ　ヒロシ 後藤　啓 ＜2025(令和7)年4月＞		博士(経済学)		総合教養B 総合教養E		2・3・4前 2・3・4後	2 2	1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (2016(平成28)年4月)						
66	その他	准教授	コバヤシ　ナオト 小林　直人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		情報入門 情報科学概論	○	1前 1・2・3・4前・後	2 6	1 3	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成24(2012)年4月)						商経学部 基(主専)
67	その他	准教授	サトウ　テツアキ 佐藤　哲彰 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済政策)		ミクロ経済学I	○	2・3・4前	2	1	千葉商科大学 人間社会学部 准教授 (平成23(2011)年4月)						
68	その他	准教授	シ　ミン 施　敏 ＜令和10(2028)年4月＞		大学(専科)(中国)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成16(2004)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	准教授	シ　ミン 施　敏 ＜令和7(2025)年4月＞		大学(専科)(中国)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII	○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後	2 2 2 2	1 1 1 1							国際教養学部 基(主専)
69	その他	准教授	シミズ　ヨシヒサ 清水　喜久 ＜令和7(2025)年4月＞		経営管理(M.B.A) 国際会計(M.B.A)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉商科大学 サービス創造学部 准教授 (平成26(2014)年4月)						商経学部 基(主専)
70	その他	准教授	タナカ　シンイチロウ 田中　信一郎 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政治学)		政治学入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成31(2019)年4月)						人間社会学部 基(主専)
71	その他	准教授	タハラ　シンジ 田原　慎二 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		社会科学のための情報学特論※ データ活用の統計学実践 総合教養C 総合教養F		1・2・3・4後 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後	0.8 2 2 2	1 1 1 1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成29(2017)年4月)						
72	その他	准教授	ツネミ　ヨウヘイ 常見　陽平 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(社会学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成27(2015)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
73	その他	准教授	テシマ　ススム 手嶋　進 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(Master of Business Administration)		仕事の意思決定 地域に役立つ再生可能エネルギービジネス		2・3・4後 1・2・3・4前	2 2	1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成31(2019)年4月)						人間社会学部 基(主専)
74	その他	准教授	トウジョウ　ミワ 東条　美和 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(経済学)		簿記特講		1・2・3・4後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和4(2022)年4月)						商経学部 基(主専)
75	その他	准教授	ナカオ　マサト 中尾　将人 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(経済学)		マクロ経済学I	○	2・3・4後	2	1	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成31(2019)年4月)						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
76	その他	准教授	ナカヤマ　タクオ 中山　琢夫 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策科学)		エネルギー論		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (令和3(2021)年4月)						人間社会学部 基(主専)
77	その他	准教授	ネギシ　リョウヘイ 根岸　亮平 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(商学)		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 商経学部 准教授 (平成30(2018)年4月)						商経学部 基(主専)
78	その他	准教授	フジノ　カズキ 藤野　和樹 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(体育スポーツ学)		健康・スポーツ演習 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1前 1後 3前 3後 4前 4後	8 2 2 2 2 2 2	4 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成29(2017)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
79	その他	准教授	マスオカ　ダイスケ 枡岡　大輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(学術)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 哲学入門	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後	4 4 2 2 2 2 4	2 2 1 1 1 1 2	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成27(2015)年5月)						基盤教育機構 基(主専)
80	その他	准教授	ムズラックル　ハリト MIZIRAKLI　Halit ＜令和9(2027)年4月＞		博士(文学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 国際教養学部 准教授 (平成27(2015)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
	その他	准教授	ムズラックル　ハリト MIZIRAKLI　Halit ＜令和7(2025)年4月＞		博士(文学)		自分未来ゼミ 実学入門II	○ ○	1前 1後	2 2	1 1							国際教養学部 基(主専)
81	その他	准教授	ワシヤ　コウスケ 鷲谷　浩輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(体育学)		コーチング論 健康・スポーツ演習 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1前 1後 3前 3後 4前 4後	4 4 2 2 2 2 2 2	2 2 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成29(2017)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
82	その他	准教授	ワタナベ　ケイ 渡邉　圭 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(政策研究)		会計リテラシー	○	1前・後	6	3	千葉商科大学 基盤教育機構 准教授 (平成31(2019)年4月)						商経学部 基(主専)
83	その他	講師	アカギ　カヤ 赤木　茅 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		情報入門 自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 情報実践 データ活用の統計学 データサイエンス実践 データサイエンスプロジェクトI データサイエンスプロジェクトII	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	1前 1前 1後 3前 3後 4前 4後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉商科大学 基盤教育機構 専任講師 (平成31(2019)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
84	その他	講師	イケダ　タケヒデ 池田　威秀 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（理学）		化学と社会 地学入門 地球環境論		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 4 4	2 2 2	成蹊大学 経済学部 非常勤講師 （平成22（2010）年4月）						
85	その他	講師	イシイ　モトノリ 石井　元基 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（経済学）		経済学入門 経済思想史入門		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 2	2 1	日本学術振興会特別研究員（DC2） （令和5(2023)年9月）						
86	その他	講師	イシダ　サナエ 石田　早苗 ＜令和7(2025)年4月＞		M.A. in TESOL（米国）		Academic English Global Studies 英語とその世界	 ○	2・3・4前 1・2・3・4後 1前・後	2 2 4	1 1 2	有限会社デジタルメソッド （平成14（2002）年9月）						
87	その他	講師	イシダ　ミホコ 石田　美穂子 ＜令和8(2026)年4月＞		短期大学卒		インターンシップ概論 キャリア形成論 ディーセント・ワーク論 ライフヒストリー研究 就業力実践		2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前 2・3・4前 3・4前・後	4 2 2 2 4	2 1 1 1 2	千葉商科大学 人間社会学部 非常勤講師 （平成23（2011）年4月）						
88	その他	講師	イソザキ　サトコ 磯崎　聡子 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（言語学）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	筑波大学　グローバルコミュニケーション教育センター 非常勤講師 （平成24（2012）年4月）						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
89	その他	講師	イ　チョンヒ 李　女正姫 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（法学）		韓国語コミュニケーション入門 韓国語コミュニケーション基礎 異文化コミュニケーション(韓国語)		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 4	1 1 2	桜美林大学 LA学群 非常勤講師 （平成17（2005）年4月）						
90	その他	講師	イトウ　コウイチ 伊藤　宏一 ＜令和7(2025)年10月＞		文学修士 経済学修士		生活と金融リテラシーI	○	1後	6	3	千葉商科大学 人間社会学部 名誉教授 （令和6（2024）年4月）						
91	その他	講師	イトウ　タケオ 伊藤　健生 ＜令和8(2026)年4月＞		高等学校		数理的思考法I 数理的思考法II 論理とデータ解釈技法I 論理とデータ解釈技法II		2・3前 2・3後 2・3前 2・3後	2 2 2 2	1 1 1 1	TAC株式会社 （平成14（2002）年9月）						
92	その他	講師	イトウ　ヒロミ 井藤　浩美 ＜令和8(2026)年4月＞		学士（音楽）		MIDIワークショップ		2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （令和5（2023）年4月）						
93	その他	講師	イトウ　ミユキ 伊藤　美由紀 ＜令和7(2025)年4月＞		Doctor of musical arts（米国）		情報メディア分析論 音響と文化 メディア音響論 音楽と地域文化		2・3・4後 2・3・4前 1・2・3・4前 2・3・4後	2 2 2 2	1 1 1 1	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （平成19（2007）年4月）						
94	その他	講師	イマダ　タカユキ 今田　隆幸 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（法学）		税務実務入門I 税務実務入門II		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	アンカー税理士法人 代表社員 （平成25（2013）年10月）						
95	その他	講師	イワタ　カズマ 岩田　和馬 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（学術）		比較文化論 多文化フィールドワークB 多文化ワークショップ 民俗学入門		1・2・3・4前・後 2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前・後	4 2 2 4	2 1 1 2	元　ボアジチ大学 文理学部客員研究員 （令和5（2023）年1月まで）						
96	その他	講師	ウエダ　コウゾウ 上田　耕造 ＜令和8(2026)年4月＞		美術学修士※		マルチメディア論 メディアワークショップ 表象文化論基礎A		2・3・4前 2・3・4前・後 2・3・4前	2 4 2	1 2 1	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （平成21（2009）年4月）						
97	その他	講師	ウエダ　ユウコ 上田　裕子 ＜令和7(2025)年4月＞		学士（美術）		広報メディアコミュニケーション デジタルリテラシー アニメーションと社会	○	2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 2・3・4後	2 4 2	1 2 1	デザインハウスOZONE （平成12（2000）年4月）						
98	その他	講師	ウエマツ　キクマ 植松　希久磨 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（国際関係学）		中国語コミュニケーション基礎		1・2・3・4後	2	1	大東文化大学 外国語学部 非常勤講師 （平成7（1995）年4月）						
99	その他	講師	ウスイ　ハル 薄井　晴 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（理学）		人文地理学入門		1・2・3・4前・後	4	2	茨城キリスト教大学 文化交流学科 非常勤講師 （令和5(2023)年4月）						
100	その他	講師	ウチダ　トシオ 内田　俊郎 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（理学）		宇宙科学入門		1・2・3・4前・後	4	2	明治大学 非常勤講師 （平成12（2000）年4月）						
101	その他	講師	エハラ（エハラ）　アイ（アイ） えはら（江原）　あい（愛） ＜令和8(2026)年10月＞		学士（芸術学）		ビジュアルメディア論		2・3・4後	2	1	株式会社ディーオン （平成31（2019）年4月）						
102	その他	講師	オオキ　ミカ 大木　実香 ＜令和8(2026)年10月＞		短期大学卒		表象文化論基礎B		2・3・4後	2	1	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （令和3（2021）年4月）						
103	その他	講師	オオサワ　タケヒコ 大澤　岳彦 ＜令和7(2025)年4月＞		Master of Arts（学術修士：応用言語学）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	Studio Zenith 平成12（2000）年8月						
104	その他	講師	オカドメ　サトコ 岡留　聡子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	明治大学 文学部 非常勤講師 （平成7（1995）年4月）						
105	その他	講師	オノデラ　シュンイチ 小野寺　峻一 ＜令和7(2025)年4月＞		教職修士（専門職）※		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	江戸川学園おおたかの森専門学校 非常勤講師 （令和5（2023）年4月）						
106	その他	講師	カイツカ　ヤスユキ 貝塚　泰幸 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（文学）※		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成25（2013）年4月）						
107	その他	講師	カガミ　ナルミ 加々美　成美 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（文学）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	青山学院大学 非常勤講師 （平成31（2019）年4月）						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
108	その他	講師	カタダ　ヨウヘイ 片田　洋平 ＜令和7(2025)年4月＞		経営管理修士（専門職）		キャリア入門 就業力実践		1・2・3・4前・後 3・4前・後	8 4	4 2	株式会社NTTデータグループ 法人コンサルティング事業本部 課長 （令和6（2024）年3月）						
109	その他	講師	カツタニ　チエコ 勝谷　千恵子 ＜令和7(2025)年10月＞		専門学校		簿記特講		1・2・3・4後	4	2	れん税理士法人 （令和5（2023）年9月）						
110	その他	講師	カトウ　スミエ 加藤　澄恵 ＜令和7(2025)年10月＞		教育学修士（英国）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉大学 非常勤講師 （平成20（2008）年4月）						
111	その他	講師	カネコ　ジロウ 金子　二郎 ＜令和8(2026)年4月＞		文学士		シナリオ・ライティング		2・3・4後	2	1	日本映画大学 非常勤講師 （平成25（2013）年4月）						
112	その他	講師	クリハラ　ヨシコ 栗原　よし子 ＜令和7(2025)年10月＞		英文学士		英語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成21（2009）年4月）						
113	その他	講師	クロダ　ナオコ 黒田　尚子 ＜令和7(2025)年10月＞		学士（法学）		生活と金融リテラシーI	○	1後	2	1	黒田尚子FPオフィス 代表 （平成10（1998）年4月）						
114	その他	講師	コジマ　ユキコ 小島　侑子 ＜令和8(2026)年4月＞		修士（国文学）※		論文作成技法 言語表現解釈論I 言語表現解釈論II		2・3・4前 2・3前 2・3後	2 2 2	1 1 1	TAC株式会社 （平成22（2010）年9月）						
115	その他	講師	コバヤシ　タダヨシ 小林　忠好 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成9（1997）年4月）						
116	その他	講師	サイトウ　ハンナ 齋藤　帆奈 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（学際情報学）		文化創造論		1・2・3・4前・後	4	2	東京造形大学 非常勤講師 （令和5(2023)年4月）						
117	その他	講師	サクダ　クミコ 作田　久美子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 非常勤講師 （平成16（2004）年4月）						
118	その他	講師	サトウ　チヒロ 佐藤　千尋 ＜令和8(2026)年4月＞		博士（メディアデザイン学）		サービスデザイン		2・3・4前	2	1	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 准教授 （令和2（2020）年4月）						慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 「基（他）」
119	その他	講師	サトウ　ヒロキ 佐藤　宏樹 ＜令和8(2026)年4月＞		修士（経営学）		シリアスゲームデザイン		2・3・4前	2	1	特定非営利活動法人こととふラボ 代表理事 （平成29（2017）年4月）						
120	その他	講師	サトウ　ユウキ 佐藤　優希 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（スポーツ健康学）		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	法政大学リベラルアーツセンター 兼任講師 （令和3（2021）年4月）						
121	その他	講師	サワダ　ナリミ 佐和田　成美 ＜令和7(2025)年10月＞		修士（学術）※		中国語とその世界	○	1前・後	2	1	東京外国語大学 言語文化学部 非常勤講師 （平成23（2011）年4月）						
122	その他	講師	サワノ　ミユキ 沢野　美由紀 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（文学）		日本語とその世界		1前	2	1	千葉大学 国際教育センター 非常勤講師 （平成29（2017）年4月）						
123	その他	講師	シバタ　ガボン（ヒロユキ） 柴田　賀盆（博之） ＜令和8(2026)年4月＞		高等学校		メディアプロデュース実践I メディアプロデュース実践II		2・3・4前 2・3・4後	2 2	1 1	株式会社エディット(オートマチック・フラワーズ) （平成17（2005）年1月）						
124	その他	講師	シマダ　ヨシヤ 嶋田　吉哉 ＜令和8(2026)年4月＞		修士（商学）		社会科学特論I		2・3前	2	1	TAC株式会社 （平成16（2004）年4月）						
125	その他	講師	シラト　サユリ 白土　さゆり ＜令和7(2025)年10月＞		法学士		英語とその世界	○	1前・後	4	2	慶應義塾中等部 非常勤講師 （平成30（2018）年4月）						
126	その他	講師	スガワラ　ノリコ 菅原　典子 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士（イギリス文学）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成7（1995）年4月）						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　員　の　氏　名　等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
127	その他	講師	タカシマ　タケシ 高島　健 ＜令和7(2025)年10月＞		学士（経済学）		生活と金融リテラシーI	○	1後	4	2	株式会社たかしまFPサービス 代表 （平成21（2009）年1月）						
128	その他	講師	タカハシ　マミ 高橋　麻美 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（社会科学）		社会学入門		1・2・3・4前・後	4	2	川崎市役所 市民文化局人権・男女共同参画室男女共同参画政策専門調査員 （平成26（2014）年4月）						
129	その他	講師	タケイ　ダイスケ 武井　大輔 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（体育学）		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	東京薬科大学 生命科学部 非常勤講師 （平成11（1999）年4月）						
130	その他	講師	タケウチ　ヒサヨシ 竹内　久善 ＜令和7(2025)年4月＞		体育学修士		健康・スポーツ演習		1・2・3・4前・後	8	4	千葉商科大学 非常勤講師 （平成13（2001）年4月）						
131	その他	講師	タダ（ノガミ）　ヨシコ 多田（野上）　佳子 ＜令和7(2025)年10月＞		文学士		中国語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉工業大学 非常勤講師 （平成8（1996）年4月）						
132	その他	講師	タナカ（ヤスイ）　ナオミ 田中（安井）　尚実 ＜令和7(2025)年4月＞		学士（教育学）		業界・企業研究A(IT、金融ビジネス) 生活と金融リテラシーII 生活と金融リテラシーIII		2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2	1 1 1	株式会社ライフプラッサム 代表取締役 （平成24（2012）年1月）						
133	その他	講師	タマカワ　アスミ 玉川　明日美 ＜令和7(2025)年10月＞		修士(文学)		英語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成26（2014）年4月）						
134	その他	講師	ナカオ　ヤスコ 中尾　泰子 ＜令和8(2026)年10月＞		文学修士※		文学表現 批評的思考法		2・3・4後 2・3・4後	2 2	1 1	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （平成15（2003）年10月）						
135	その他	講師	ナガハマ　カズヨ 長濱　和代 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（環境科学）※		情報実践 情報倫理		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 4	2 2	お茶の水女子大学附属校 教諭 （令和5（2023）年4月）						
136	その他	講師	ナルジ　ソウタ 成地　草太 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（史学）		多文化共生社会論		1・2・3・4前・後	4	2	公益財団法人東洋文庫 臨時職員 （令和5(2023)年5月）						
137	その他	講師	ノガワ（オカダ）　ヒロミ 野川（岡田）　浩美 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		英語とその世界	○	1前・後	2	1	明治大学 文学部 非常勤講師 （平成2（1990）年4月）						
138	その他	講師	ノハラ　トシエ 野原　敏江 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（文学）※		国際語としての中国語		1・2・3・4前	2	1	東京都立大学 非常勤講師 （平成17（2005）年4月）						
139	その他	講師	ハギモト　ヨシヒデ 萩本　良秀 ＜令和8(2026)年4月＞		法学士		イノベーション実践B 業界・企業研究B(ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ領域、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ領域)		2・3・4後 2・3・4前	2 2	1 1	元 株式会社ゼロイン （令和6（2024）年3月まで）						
140	その他	講師	ハシモト　カツミ 橋本　克己 ＜令和7(2025)年4月＞		文学修士		文学研究入門		1・2・3・4前・後	4	2	千葉商科大学 商経学部 名誉教授 （令和6（2024）年4月）						
141	その他	講師	フクハラ　タカオ 福原　崇夫 ＜令和7(2025)年4月＞		会計修士（専門職）		中国語とその世界	○	1前・後	2	1	青山学院大学 非常勤講師 （平成12（2000）年4月）						
142	その他	講師	ﾍﾞﾘｰ　ﾌﾞﾗｲｱﾝ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ BERRY　Brian　David ＜令和8(2026)年4月＞		修士※(情報学)		自分未来ゼミ 実学入門II 研究ゼミI 研究ゼミII 研究ゼミIII 研究ゼミIV 英語とその世界	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 3前 3後 4前 4後 1前・後	2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 2	千葉商科大学 国際教養学部 専任講師 （令和2(2020)年4月）						基盤教育機構 基(主専)
	その他	講師	ﾍﾞﾘｰ　ﾌﾞﾗｲｱﾝ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ BERRY　Brian　David ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(情報学)		自分未来ゼミ 実学入門II 英語とその世界	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1前・後	2 2 2 4	1 1 1 2							国際教養学部 基(主専)
143	その他	講師	ホリ　キミト 堀　公人 ＜令和7(2025)年4月＞		学士（経営学）		経理実務入門I 経理実務入門II		1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	あると築地有限責任監査法人 代表パートナー （令和5（2023）年10月）						

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教員の氏名等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
144	その他	講師	マルハマ　チヒロ 丸浜　千紘 ＜令和7(2025)年4月＞		修士※(心理学)		社会心理学	○	2・3・4後	2	1	千葉商科大学 人間社会学部 専任講師 (平成26(2014)年4月)						人間社会学部 基(主専)
145	その他	講師	ミカミ　サオリ 三上　さおり ＜令和8(2026)年4月＞		学士（文学）		ソーシャルプロデュース論		2・3・4前	2	1	公益財団法人せたがや文化財団世田谷パブリックシアター劇場部 （平成14（2002）年4月）						
146	その他	講師	ミカミ　リュウノスケ 三上　竜之介 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（武道・スポーツ）		健康・スポーツ演習 健康科学		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	4 4	2 2	合同会社ベストパフォーマンス （平成29（2017）年1月）						
147	その他	講師	ムラカミ　マキ 村上　眞紀 ＜令和7(2025)年4月＞		Master of Letters（英国）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成27（2015）年4月）						
148	その他	講師	モリノ　ユタカ 森野　豊 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（言語文化学）※		英語とその世界	○	1前・後	2	1	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （令和4（2022）年10月）						
149	その他	講師	ヤクボ　ノリヨシ 矢久保　典良 ＜令和7(2025)年4月＞		博士（史学）		地域研究A 中国語とその世界	 ○	2・3・4前 1前・後	2 2	1 1	東洋大学 社会学部 非常勤講師 （平成31（2019）年4月）						
150	その他	講師	ヤマウチ　タカシ 山内　孝志 ＜令和8(2026)年4月＞		学士（教養）		Webデザイン		2・3・4後	2	1	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （令和3（2021）年4月）						
151	その他	講師	ヤマウチ（ヤマダ）　マイコ 山内（山田）　舞子 ＜令和8(2026)年4月＞		修士（文学）		現代アート論		2・3・4前	2	1	千葉商科大学 政策情報学部 非常勤講師 （平成29（2017）年4月）						
152	その他	講師	ヨシハラ　ユキコ 吉原　由紀子 ＜令和7(2025)年10月＞		M.S.Ed. In TESOL（米国）		英語とその世界	○	1前・後	2	1	駒澤大学 非常勤講師 （平成30（2018）年4月）						
153	その他	講師	ワダ　ユリ 和田　ゆり ＜令和7(2025)年4月＞		修士（英語教育学TESOL）（米国）		英語とその世界	○	1前・後	4	2	千葉商科大学 基盤教育機構 非常勤講師 （平成8（1996）年4月）						
154	その他	講師	ワタナベ　アキノリ 渡辺　彰規 ＜令和8(2026)年4月＞		修士（社会学）※		政策事情特論 社会科学特論II		2・3・4後 2・3後	2 2	1 1	TAC株式会社 （平成24（2012）年4月）						
155	その他	助教	アライ　ユウタ 新井　裕太 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(理学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前	2 2 2 14	1 1 1 7	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
156	その他	助教	イチムラ　ユキ 市村　由起 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(学術)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 (令和5(2023)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
157	その他	助教	エグサ　リョウヘイ 江草　遼平 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(学術)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 (令和3(2021)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
158	その他	助教	ナガオカ　アツシ 長岡　篤 ＜令和7(2025)年4月＞		博士(工学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1前	2 2 2 14	1 1 1 7	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 (令和4(2022)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
159	その他	助教	ヨシダ　ケン 吉田　剣 ＜令和7(2025)年4月＞		修士(経済学)		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 (令和6(2024)年4月)						基盤教育機構 基(主専)
160	その他	助教	ヨシダ（タジマ）　ミク 吉田（田島）　実久 ＜令和7(2025)年4月＞		修士（学際情報学）		自分未来ゼミ 実学入門I 実学入門II 情報処理 情報入門	○ ○ ○ ○	1前 1前 1後 1・2・3・4前・後 1前	2 2 2 2 12	1 1 1 1 6	千葉商科大学 基盤教育機構 助教 (令和6(2024)年4月)						基盤教育機構 基(主専)

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　員　の　氏　名　等

（総合政策学部政策情報学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		

（注）
1　教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。
2　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。
4　「教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況」の欄は，教育課程の編成等についての意思決定を行う会議体で所属予定の会議体がある場合，欄に「○」を記入すること。
5　「申請に係る大学等の職務に従事する週当たりの平均日数」及び「申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況」の欄は，基幹教員のみ記載すること。
6　「申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況」の欄は，申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）で基幹教員として勤務している場合，その大学及び学部等の名称及びそれらの学部等での教員区分を記載すること。

別記様式第３号（その３の１）

総合政策学部経済学科　　（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基幹教員の年齢構成・学位保有状況

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	3人	人	人	人	3人	
	修　士	人	人	人	人	2人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短 期 大 学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博　士	人	人	5人	2人	人	人	人	7人	
	修　士	人	人	人	1人	1人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	5人	5人	人	人	人	10人	
	修　士	人	人	人	1人	3人	人	人	4人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短 期 大 学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

2　この書類は，基幹教員についてのみ作成すること。

3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。

4　「基幹教員の年齢構成・学位保有状況」欄の「基幹教員」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合，「専任教員」と読み替えること。

5　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の１）

総合政策学部政策情報学科　　（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基幹教員の年齢構成・学位保有状況

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修　士	人	人	人	2人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	1人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修　士	人	人	人	1人	1人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	1人	1人	人	人	人	人	2人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	1人	3人	2人	人	人	人	6人	
	修　士	人	人	人	3人	1人	人	人	4人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	1人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

2　この書類は，基幹教員についてのみ作成すること。

3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。

4　「基幹教員の年齢構成・学位保有状況」欄の「基幹教員」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合，「専任教員」と読み替えること。

5　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。